

関越自動車道  
大泉高架橋補修工事  
設 計 図

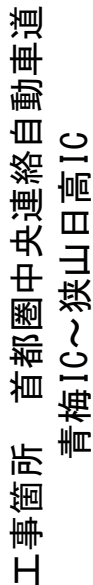
令和 7 年 5 月

東日本高速道路株式会社 関東支社  
所 沢 管 理 事 務 所

## 目 次

図面番号	図面名称
1	全体位置図
2	全体数量総括表（その１）
3	全体数量総括表（その２）
4	全体数量総括表（その３）
1～26/26	大泉高架橋
1～67/67	入間高架橋
1～13/38	東草橋
14～20/38	吉拓歩道橋
21～38/38	東永久保 1 号橋
1～42/42	公園駅南通大橋

## 全体位置図



関越自動車道 大宮高架橋補修工事			
図面の種類	全体位置図		
縮 尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

全体数量総括表（その１）

路線名	橋梁名	15－(11)	15－(17)	17－(2)	17－(2)	17－(28)	17－(28)	17－(28)	17－(28)	17－(29)	17－(29)	17－(29)	17－(29)	17－(29)	17－(29)	17－(30)	17－(30)	17－(31)	17－(31)
		立入防止柵撤去設置工 一般型非積雪地用 A	落下物防止柵撤去設置工 A(滑)	塗替塗装 塗替塗装(特殊部) g－3－(3)(三)(夜)	塗替塗装 曲面加工(R面取り)	ひび割れ注入工 A1(滑)(夜)	ひび割れ注入工 A2(滑)(夜)	ひび割れ注入工 B(滑)	断面修復工 A2－1(三)	断面修復工 A2－1(三)(夜)	断面修復工 A2－1－1(滑)(夜)	断面修復工 A2－1－2(滑)(夜)	断面修復工 A2－2	断面修復工 A2－2(三)	断面修復工 A2－2(滑)	コンクリート表面処理工 A(三)(夜)	コンクリート表面処理工 B(滑)	はく落防止対策工 B1(三)(夜)	はく落防止対策工 B2(滑)
		m	m	基	m	m	m	m	L	L	L	L	L	L	L	m2	m2	m2	m2
関越自動車道	大泉高架橋	30.0											4556.5						
	東草橋			2.0						9.6						157.6		157.6	
	吉拓歩道橋			1.0						16.4						115.1		115.1	
	東永久保1号橋			6.0					20.0	1768.0				21.6		232.7		232.7	
	公園駅南通大橋		109.0			9.0	15.4	1203.7			56.8	4.3			519.8		855.5		855.5
	計	30.0	109.0	9.0		9.0	15.4	1203.7	20.0	1794.0	56.8	4.3	4556.5	21.6	519.8	505.4	855.5	505.4	855.5
首都圏中央連絡自動車道	人間高架橋	56.0			16.4								3599.0						
	計	56.0			16.4								3599.0						
合計		86.0	109.0	9.0	16.4	9.0	15.4	1203.7	20.0	1794.0	56.8	4.3	8155.5	21.6	519.8	505.4	855.5	505.4	855.5

路線名	橋梁名	17－(32)	17－(32)	17－(32)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)
		表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1	表面保護工 コンクリート表面被覆工 B2	表面保護工 コンクリート表面被覆工 B(滑)	交通規制工 ランプ規制 I×1(三)	交通規制工 一車線規制 I×1×0×2・A1(三)(夜)	交通規制工 一車線規制 I×1×0×2・A2(三)(夜)	交通規制工 一車線規制 I×1×0×1・A1(滑)(夜)	交通規制工 一車線規制 I×1×0×1・A2(滑)(夜)	交通規制工 二車線規制 II×1×0×2・A1(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 II×1×0×2・A2(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 II×1×0×2・A3(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 II×1×0×2・A4(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 II×1×0×2・A1(滑)(夜)	交通規制工 二車線規制 II×1×0×2・A2(滑)(夜)	交通規制工 二車線規制 II×1×0×2・A3(滑)(夜)	交通規制工 二車線規制 II×1×0×2・A4(滑)(夜)	交通規制工 中央分離帯規制 I×1(三)(夜)	交通規制工 中央分離帯規制 II×1(三)(夜)
		m2	m2	m2	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回
関越自動車道	大泉高架橋	66.0																	
	東草橋								9.0		10.0							19.0	
	吉拓歩道橋								東草橋に含む		東草橋に含む							東草橋に含む	
	東永久保1号橋				18.0	38.0	47.0			42.0		21.0							10.0
	公園駅南通大橋			142.8				13.0	12.0					11.0	7.0	13.0	8.0		
	計	66.0		142.8	18.0	38.0	47.0	13.0	12.0	9.0	42.0	10.0	21.0	11.0	7.0	13.0	8.0	19.0	10.0
首都圏中央連絡自動車道	人間高架橋		38.3																
	計		38.3																
合計		66.0	38.3	142.8	18.0	38.0	47.0	13.0	12.0	9.0	42.0	10.0	21.0	11.0	7.0	13.0	8.0	19.0	10.0



全体数量総括表（その2）

路線名	橋梁名	19－(1)	19－(2)	19－(2)	19－(2)	19－(2)	19－(2)	19－(2)	19－(2)	特－(1)	特－(1)	特－(1)	特－(1)	特－(1)	特－(1)	特－(1)	特－(2)	特－(2)	特－(2)
		交通規制工 中央分離帯規制 1×1(滑X夜)	交通保安要員 交通監視員 A(三)	交通保安要員 交通監視員 A(三X夜)	交通保安要員 交通監視員 A1(滑X夜)	交通保安要員 交通監視員 A2(滑X夜)	交通保安要員 交通誘導警備員 B	交通保安要員 交通誘導警備員 B(夜)	交通保安要員 交通誘導警備員 B(滑)	コンクリートはつり工 A(三)	コンクリートはつり工 A(三X夜)	コンクリートはつり工 A1(滑X夜)	コンクリートはつり工 A2(滑X夜)	コンクリートはつり工 B	コンクリートはつり工 B(三)	コンクリートはつり工 B(滑)	ひび割れ充填工 A	ひび割れ充填工 A(三)	ひび割れ充填工 A(三X夜)
		回	人・日	人・日	人・日	人・日	人・日	人・日	人・日	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m	m	m
関越自動車道	大泉高架橋						6.0	33.0						4.557					
	東草橋			57.0							0.014								
	吉拓歩道橋			東草橋に含む							0.016								
	東永久保1号橋		18.0	168.0						0.020	1.768				0.023			16.5	0.7
	公園駅南通大橋	5.0			13.0	61.0			360.0			0.057	0.006			0.526			
	計	5.0	18.0	225.0	13.0	61.0	6.0	33.0	360.0	0.020	1.798	0.057	0.006	4.557	0.023	0.526		16.5	0.7
首都圏中央連絡自動車道	入間高架橋						18.0							3.599			4.6		
	計						18.0							3.599			4.6		
合計		5.0	18.0	225.0	13.0	61.0	24.0	33.0	360.0	0.020	1.798	0.057	0.006	8.156	0.023	0.526	4.6	16.5	0.7

路線名	橋梁名	特－(2)	特－(2)	特－(3)	特－(3)	特－(4)	特－(5)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(7)	特－(7)	特－(7)	特－(8)	特－(8)
		ひび割れ充填工 A1(滑X夜)	ひび割れ充填工 A2(滑X夜)	試料採取 B	試料採取 C	外装板撤去設置工 A(夜)	防鳥ネット撤去設置工 A(夜)	鋼部材補修工 EP8－1	鋼部材補修工 EP13－1	鋼部材補修工 EP13－2	鋼部材補修工 EP16－1	鋼部材補修工 FP10－1	鋼部材補修工 FP10－2	鋼部材補修工 FP16－1	ひび割れ含浸工 A(三)	ひび割れ含浸工 A(三X夜)	ひび割れ含浸工 A(滑)	沓座モルタル補修工 A(三X夜)	沓座モルタル補修工 B(滑)
		m	m	箇所	箇所	m2	m2	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	m	m	m	基	基
関越自動車道	大泉高架橋			24.0		64.0	32.0												
	東草橋															13.4		1.0	
	吉拓歩道橋														1.7				
	東永久保1号橋													66.9	11.0				
	公園駅南通大橋	6.0	3.3														3.3		24.0
	計	6.0	3.3	24.0		64.0	32.0								66.9	26.1	3.3	1.0	24.0
首都圏中央連絡自動車道	入間高架橋			2.0	2.0			195.7	201.1	176.9	185.6	204.0	202.3	188.8					
	計			2.0	2.0			195.7	201.1	176.9	185.6	204.0	202.3	188.8					
合計		6.0	3.3	26.0	2.0	64.0	32.0	195.7	201.1	176.9	185.6	204.0	202.3	188.8	66.9	26.1	3.3	1.0	24.0

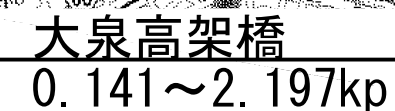
全体数量総括表（その3）

路線名	橋梁名	特－(9)	特－(9)	特－(9)	特－(10)	特－(10)	特－(11)	特－(12)	特－(12)	特－(13)	特－(13)	特－(14)	特－(14)	特－(15)	特－(15)	特－(15)	特－(15)	特－(15)
		表面仕上げ補修工 A(三)(夜)	表面仕上げ補修工 A1(滑)(夜)	表面仕上げ補修工 A2(滑)(夜)	橋名板撤去設置工 A(三)(夜)	橋名板撤去設置工 B(滑)	橋名板撤去工 A(三)(夜)	支承防錆工 B1(滑)	支承防錆工 B2(滑)	排水装置取替工 A1(滑)(夜)	排水装置取替工 A2(滑)(夜)	塗替塗装(極小部) 塗替塗装(一般部) c－3－(1)w	塗替塗装(極小部) 塗替塗装(特殊部) g－3－(1)w	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 A(三)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 A(三)(夜)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 A1(滑)(夜)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 A2(滑)(夜)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 B(三)
		m2	m2	m2	枚	枚	枚	基	基	m	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
関越自動車道	大泉高架橋																	
	東草橋	32.0			2.0													
	吉拓歩道橋	21.7			2.0													
	東永久保1号橋	47.5			1.0		1.0							0.25	0.50			0.27
	公園駅南通大橋		7.2	2.4		2.0		16.0	8.0	8.7	8.1					0.51	0.039	
	計	101.2	7.2	2.4	5.0	2.0	1.0	16.0	8.0	8.7	8.1			0.25	0.50	0.51	0.039	0.27
首都圏中央連絡自動車道	入間高架橋											3.35	0.05					
	計											3.35	0.05					
合計		101.2	7.2	2.4	5.0	2.0	1.0	16.0	8.0	8.7	8.1	3.35	0.05	0.25	0.50	0.51	0.039	0.27

# 大泉高架橋

目 次

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1	大泉高架橋 位置図	21	大泉高架橋 外装板・防鳥ネット撤去設置工（その１）
2	大泉高架橋 数量総括表	22	大泉高架橋 外装板・防鳥ネット撤去設置工（その２）
3	大泉高架橋 工法詳細図	23	大泉高架橋 規制図（その１）
4	大泉高架橋 橋梁一般図（その１）	24	大泉高架橋 規制図（その２）
5	大泉高架橋 橋梁一般図（その２）	25	大泉高架橋 規制図（その３）
6	大泉高架橋 損傷展開図（その１）	26	大泉高架橋 足場仮設図（参考図）
7	大泉高架橋 損傷展開図（その２）		
8	大泉高架橋 損傷展開図（その３）		
9	大泉高架橋 損傷展開図（その４）		
10	大泉高架橋 損傷展開図（その５）		
11	大泉高架橋 損傷展開図（その６）		
12	大泉高架橋 損傷展開図（その７）		
13	大泉高架橋 損傷展開図（その８）		
14	大泉高架橋 損傷展開図（その９）		
15	大泉高架橋 損傷展開図（その１０）		
16	大泉高架橋 損傷展開図（その１１）		
17	大泉高架橋 損傷展開図（その１２）		
18	大泉高架橋 試料採取 位置図		
19	大泉高架橋 立入防止柵撤去設置工		
20	大泉高架橋 立入防止柵撤去設置図（参考図）		



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋		
縮 尺		位置図	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速度道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

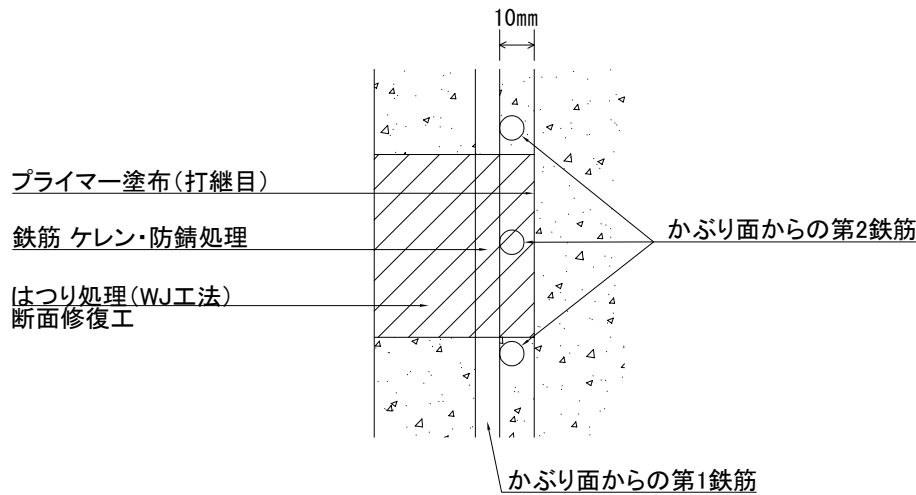
大泉高架橋 数量総括表

路線名	橋梁名	上下線	上・下部工	径間	1 5－（1 1）	1 7－（2 9）	1 7－（3 2）	1 9－（2）	1 9－（2）	特－（1）	特－（3）	特－（4）	特－（5）	
					立入防止柵撤去設置工 一般型非積雪地用 A	断面修復工 A 2－2	表面保護工 コンクリート表面被覆工 B 1	交通保安要員 交通誘導警備員 B	交通保安要員 交通誘導警備員 B(夜)	コンクリートはつり工 B	試料採取 B	外装板撤去設置工 A(夜)	防鳥ネット撤去設置工 A(夜)	
					m	L	m 2	人・日	人・日	m 3	箇所	m 2	m 2	
関越自動車道	大泉高架橋	上り線	上部工	P68 ～ P69	10.0	14.4	0.5			0.014	2.0	8.0	4.0	
				P69 ～ P70										
				P70 ～ P71	10.0	12.6	0.5			0.013	4.0	16.0	8.0	
				P71 ～ P72										
				P72 ～ P73	10.0	1050.0	15.0			1.050	2.0			
				P73 ～ P74		875.0	12.5			0.875	2.0			
				P74 ～ P75		11.7	0.4			0.012	2.0	8.0	4.0	
				P75 ～ P76		840.0	12.0			0.840	2.0	8.0	4.0	
				P76 ～ A2		183.4	2.6			0.183	2.0			
				小計	30.0	2987.1	43.5			2.987	16.0	40.0	20.0	
		下り線	上部工	P68 ～ P69		42.0	0.6			0.042	2.0	8.0	4.0	
				P70 ～ P71		81.9	1.2			0.082	4.0	16.0	8.0	
				P71 ～ P72		45.5	0.7			0.046	2.0			
				P72 ～ P73		1050.0	15.0			1.050				
				P73 ～ P74		350.0	5.0			0.350				
				小計		1569.4	22.5			1.570	8.0	24.0	12.0	
		合計				30.0	4556.5	66.0	6.0	33.0	4.557	24.0	64.0	32.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 数量総括表		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

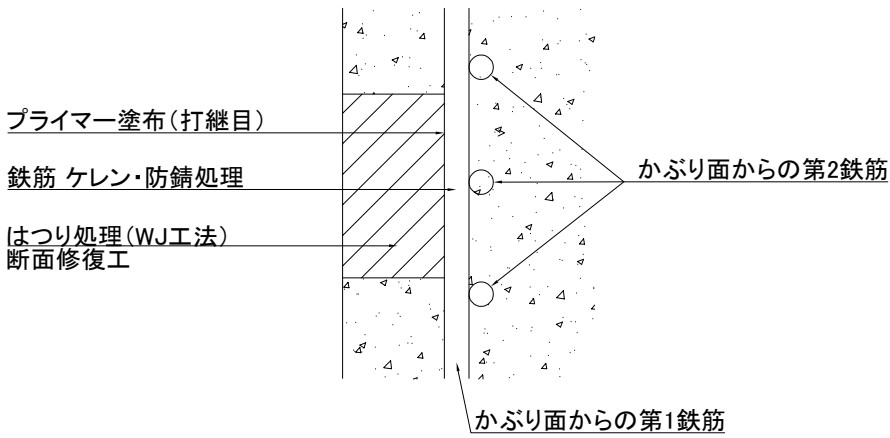
大泉高架橋 工法詳細図

コンクリートはつりエ・断面修復工詳細図  
(PC部を除く)



※第1鉄筋背面10mmまではつり作業を行うこと。

コンクリートはつりエ・断面修復工詳細図  
(PC部)



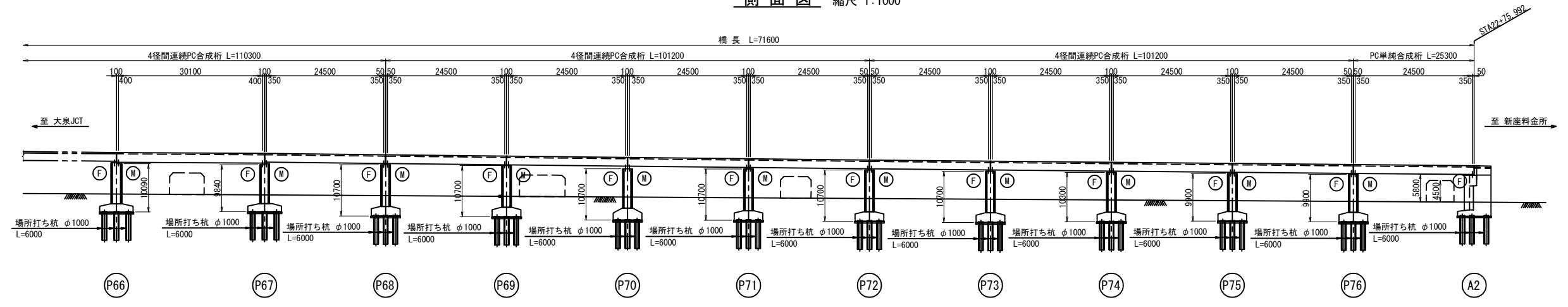
※第1鉄筋純かぶりまではつり作業

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 工法詳細図		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

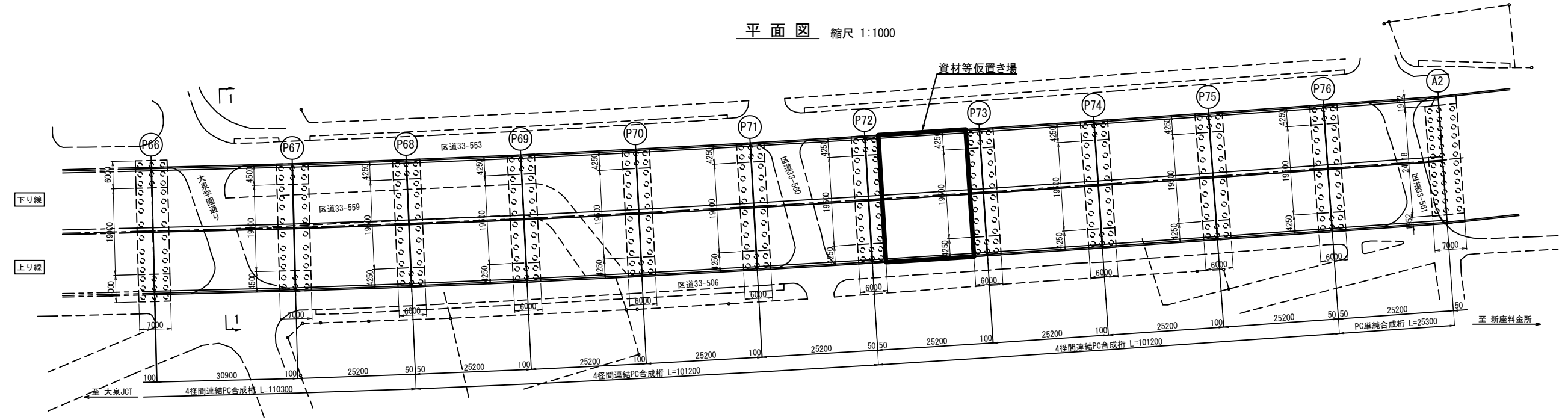


大泉高架橋 橋梁一般図（その1）

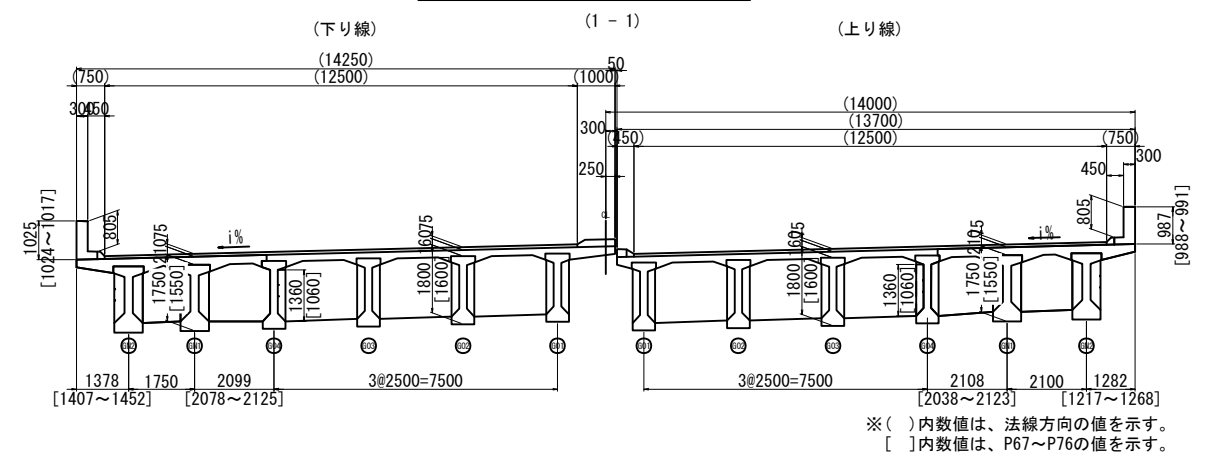
側面図 縮尺 1:1000



平面図 縮尺 1:1000



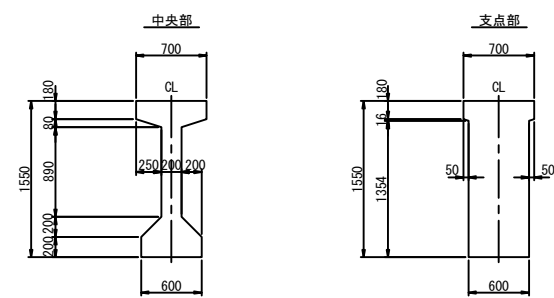
上部工標準断面図 縮尺 1:200



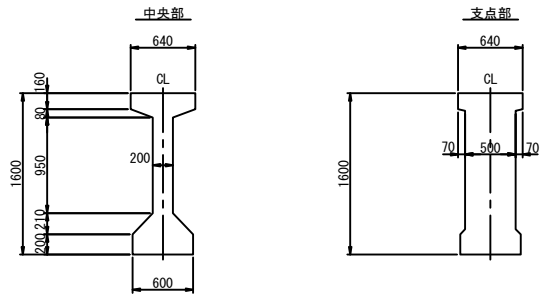
関係自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 橋梁一般図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 橋梁一般図（その2）

新設主桁断面図 縮尺 1:75  
P67～A2

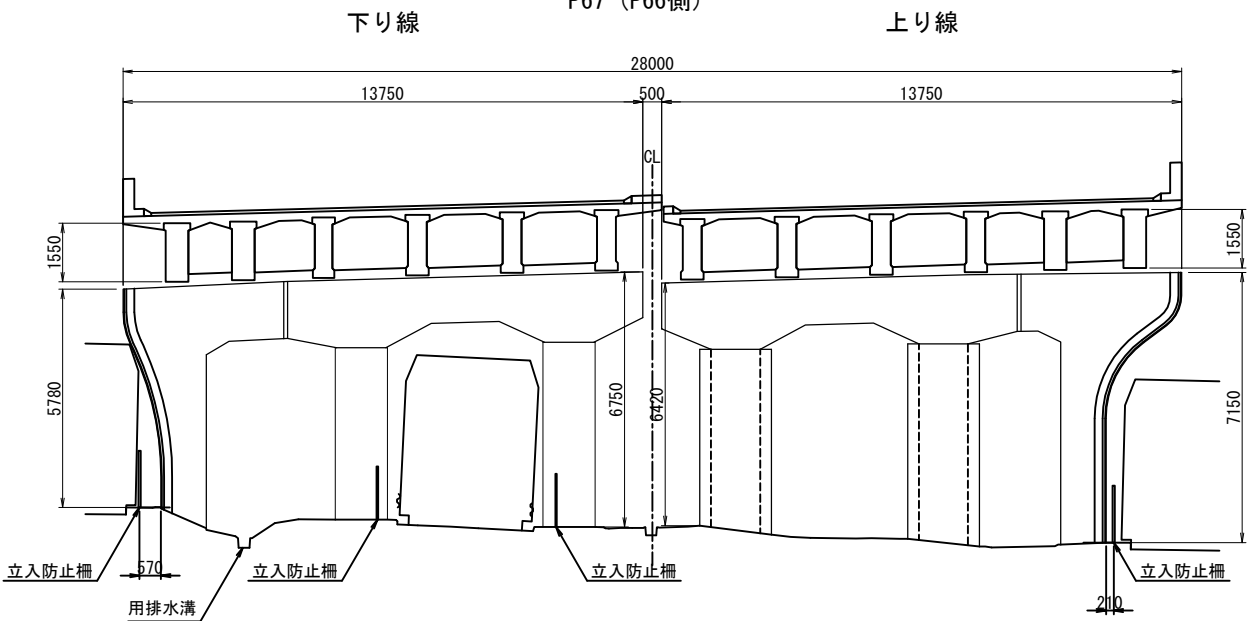


既設主桁断面図 縮尺 1:75  
P67～A2

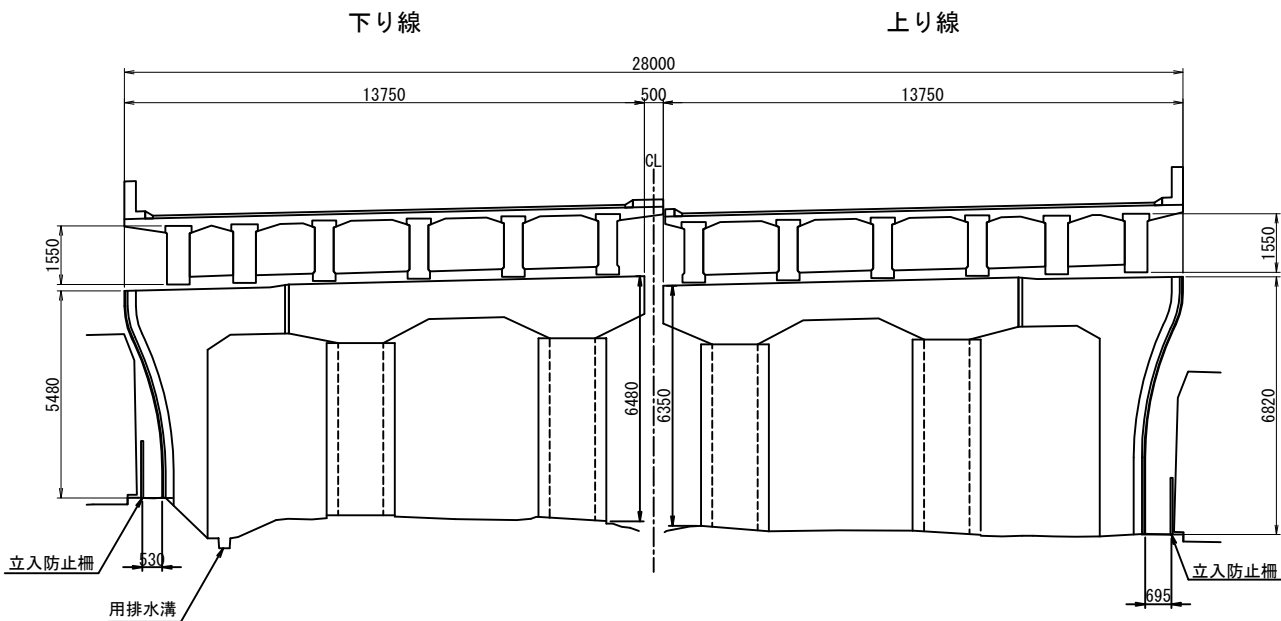


※支点部寸法内約不明

標準断面図 縮尺 1:200  
P67（P66側）



標準断面図 縮尺 1:200  
P72（P71側）



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 橋梁一般図（その2）		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所0.141KP~2.197KP

側面図

練馬P61P62P63P64P65P66P67P68P69P70本庄児玉

標準横断面図

上り線

大泉高架橋 損傷展開図（その1）

上り線 P68~P69

P68 (1.969KP)

P69 (1.995KP)

練馬

上り線

21-0678 鉄筋の露出・腐食 A1/e  
0.48m2 / 0.4m\*1.2m

断面修復工 A 2-2

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P68~P69	21-0678	鉄筋の露出・腐食	0.48	0.03	14.4

表面保護 コンクリート表面被覆工B 1

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	数量 (m2)
上り線	上部工	P68~P69	21-0678	鉄筋の露出・腐食	0.48	0.5

コンクリートはつりエ B

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
上り線	上部工	P68~P69	21-0678	鉄筋の露出・腐食	0.48	0.03	0.014

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その1）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]      L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所      0.141KP～2.197KP

側面図

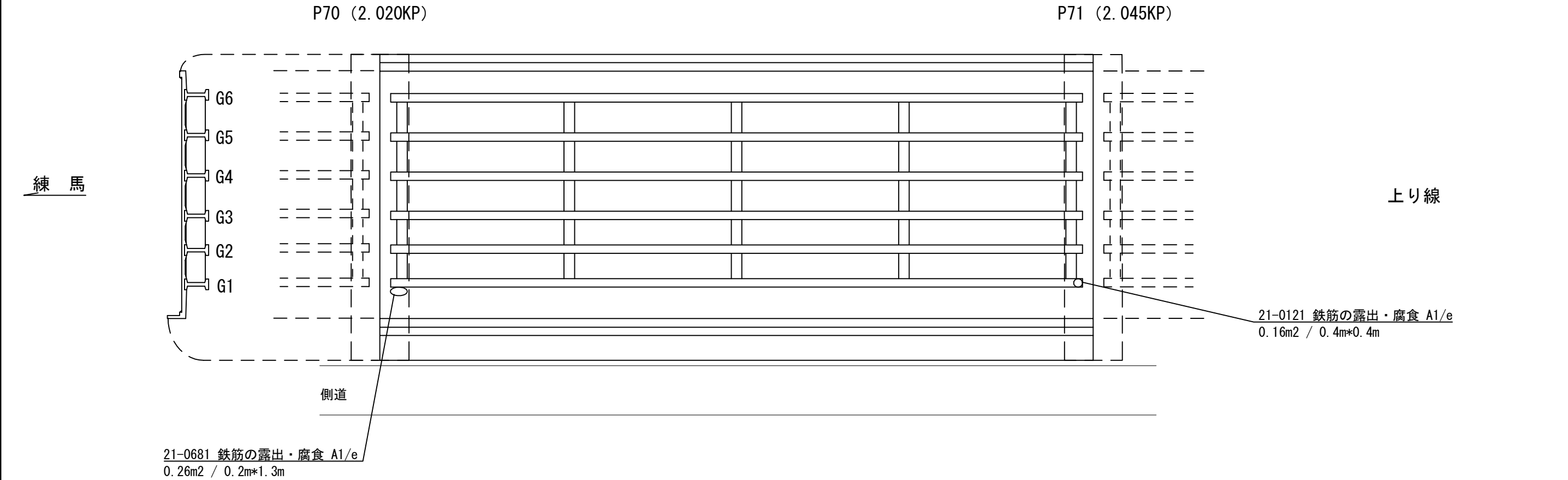
練馬 P68 P69 P70 P71 P72 P73 P74 P75 P76 A2 本庄児玉

標準横断面図

上り線

大泉高架橋 損傷展開図（その2）

上り線 P70～P71



数量表：固定足場

断面修復工 A 2－2							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P70～P71	21-0121	鉄筋の露出・腐食	0.16	0.03	4.8
上り線	上部工	P70～P71	21-0681	鉄筋の露出・腐食	0.26	0.03	7.8
				小計	12.6		

コンクリートはつりエ B							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
上り線	上部工	P70～P71	21-0121	鉄筋の露出・腐食	0.16	0.03	0.005
上り線	上部工	P70～P71	21-0681	鉄筋の露出・腐食	0.26	0.03	0.008
				小計	0.013		

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
上り線	上部工	P70～P71	21-0121	鉄筋の露出・腐食	0.2
上り線	上部工	P70～P71	21-0681	鉄筋の露出・腐食	0.3
				小計	0.5

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その2）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]      L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所      0.141KP～2.197KP

側面図

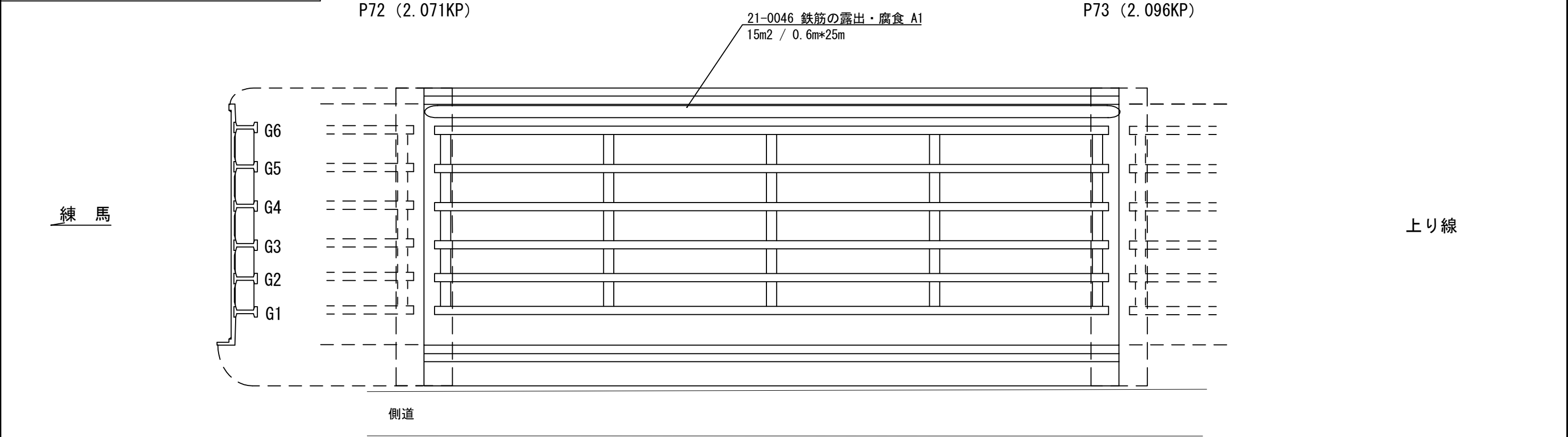
練馬 P68 P69 P70 P71 P72 P73 P74 P75 P76 A2 本庄児玉

標準横断面図

上り線

大泉高架橋 損傷展開図（その3）

上り線 P72～P73



数量表：固定足場

断面修復工 A 2-2						
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	数量 (L)
上り線	上部工	P72～P73	21-0046	鉄筋の露出・腐食	15.0	1050.0
					小計 1050.0	

コンクリートはつり工 B						
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	数量 (m3)
上り線	上部工	P72～P73	21-0046	鉄筋の露出・腐食	15.0	1.050
					小計 1.050	

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
上り線	上部工	P72～P73	21-0046	鉄筋の露出・腐食	15.0
					小計 15.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その3）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]      L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所      0.141KP~2.197KP

側面図

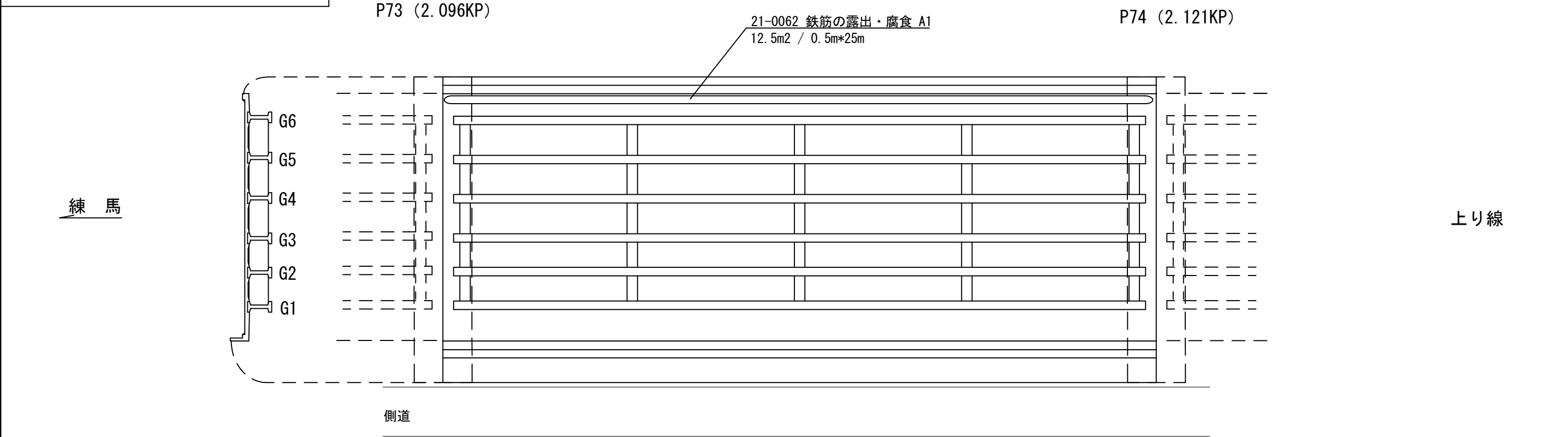
練馬 P68 P69 P70 P71 P72 P73 P74 P75 P76 A2 本庄児玉

標準横断面図

上り線

大泉高架橋 損傷展開図（その4）

上り線 P73~P74



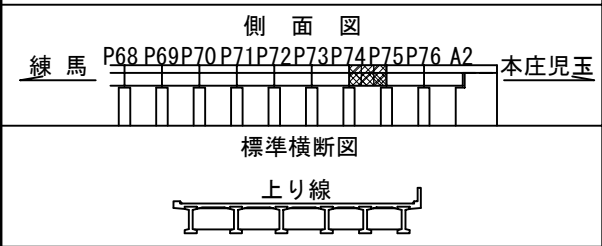
数量表：固定足場

断面修復工 A 2-2							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P73~P74	21-0062	鉄筋の露出・腐食	12.5	0.07	875.0
小計					875.0		

コンクリートはつり工 B							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
上り線	上部工	P73~P74	21-0062	鉄筋の露出・腐食	12.5	0.07	0.875
小計					0.875		

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
上り線	上部工	P73~P74	21-0062	鉄筋の露出・腐食	12.5
小計				12.5	

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その4）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



P74 (2.121KP)

P75 (2.146KP)

練馬

上り線

21-0690 鉄筋の露出・腐食 A1/e  
0.39m2 / 0.3m\*1.3m

数量表：固定足場

断面修復工 A 2-2							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P74~P75	21-0690	鉄筋の露出・腐食	0.39	0.03	11.7
小計					11.7		

コンクリートはつり工 B							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
上り線	上部工	P74~P75	21-0690	鉄筋の露出・腐食	0.39	0.03	0.012
小計					0.012		

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
上り線	上部工	P74~P75	21-0690	鉄筋の露出・腐食	0.4
小計				0.4	

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その5）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]      L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所      0.141KP～2.197KP

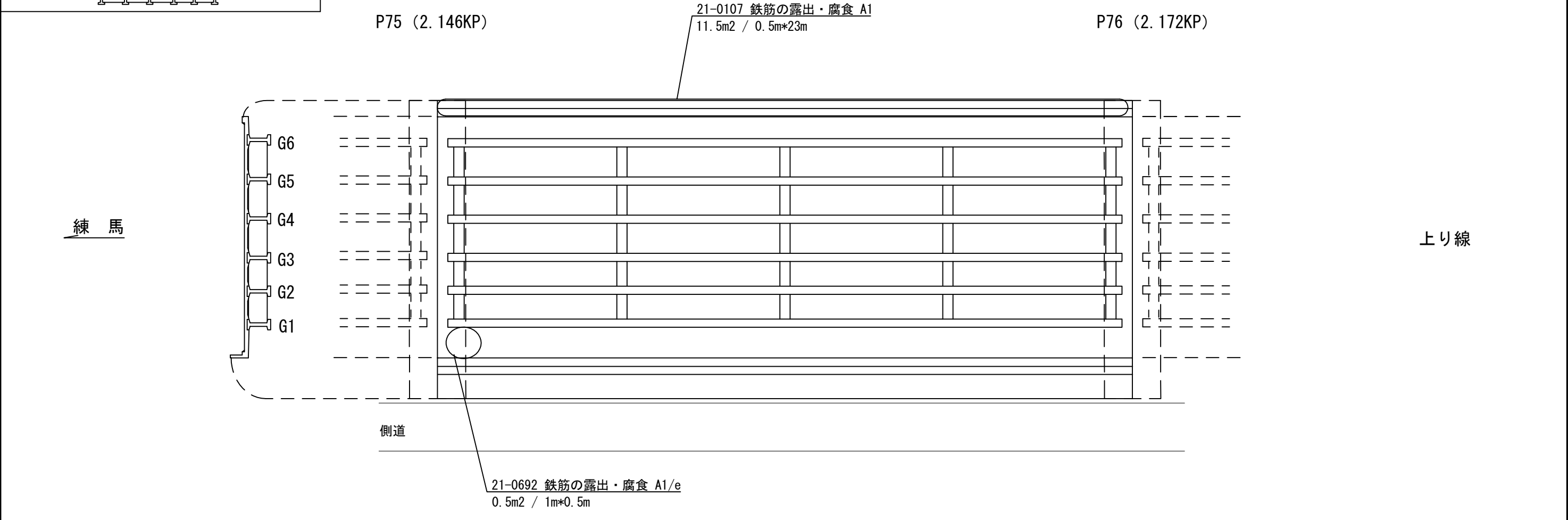
側面図

練馬 P68 P69 P70 P71 P72 P73 P74 P75 P76 A2 本庄児玉

標準横断面図  
上り線

大泉高架橋 損傷展開図（その6）

上り線 P75～P76



数量表：固定足場

断面修復工 A2-2							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m <sup>2</sup> )	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P75～P76	21-0107	鉄筋の露出・腐食	11.5	0.07	805.0
上り線	上部工	P75～P76	21-0692	鉄筋の露出・腐食	0.50	0.07	35.0
				小計	840.0		

コンクリートはつり工 B							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m <sup>2</sup> )	深さ (m)	数量 (m <sup>3</sup> )
上り線	上部工	P75～P76	21-0107	鉄筋の露出・腐食	11.5	0.07	0.805
上り線	上部工	P75～P76	21-0692	鉄筋の露出・腐食	0.50	0.07	0.035
				小計	0.840		

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m <sup>2</sup> )
上り線	上部工	P75～P76	21-0107	鉄筋の露出・腐食	11.5
上り線	上部工	P75～P76	21-0692	鉄筋の露出・腐食	0.5
				小計	12.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その6）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]      L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所      0.141KP～2.197KP

側面図

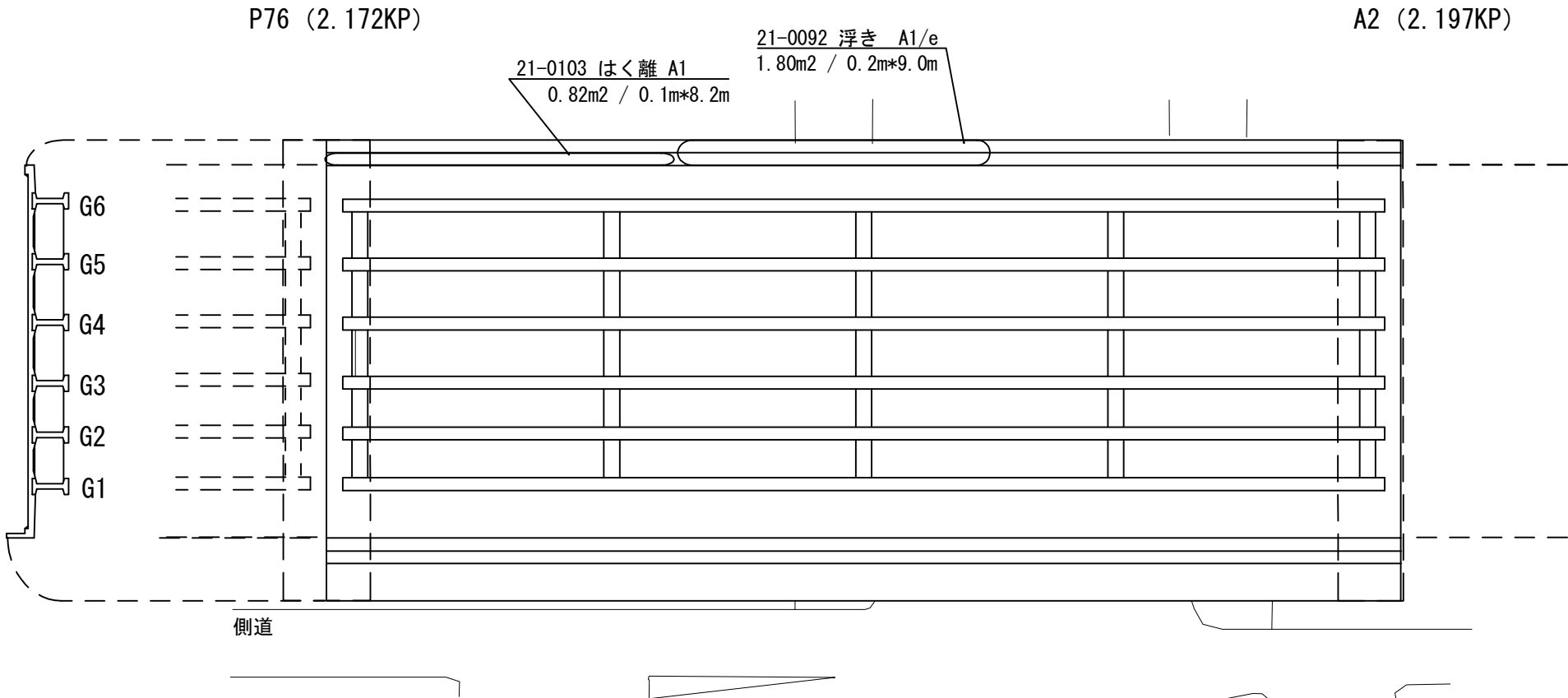
練馬 P68 P69 P70 P71 P72 P73 P74 P75 P76 A2 本庄児玉

標準横断面図

上り線

大泉高架橋 損傷展開図（その7）

上り線 P76～A2



数量表：固定足場

断面修復工 A2-2							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P76～A2	21-0092	浮き	1.80	0.07	126.0
上り線	上部工	P76～A2	21-0103	はく離	0.82	0.07	57.4
				小計	183.4		

コンクリートはつり工 B							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
上り線	上部工	P76～A2	21-0092	浮き	1.80	0.07	0.126
上り線	上部工	P76～A2	21-0103	はく離	0.82	0.07	0.057
				小計	0.183		

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
上り線	上部工	P76～A2	21-0092	浮き	1.8
上り線	上部工	P76～A2	21-0103	はく離	0.8
小計					2.6

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その7）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]      L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所      0.141KP～2.197KP

側面図

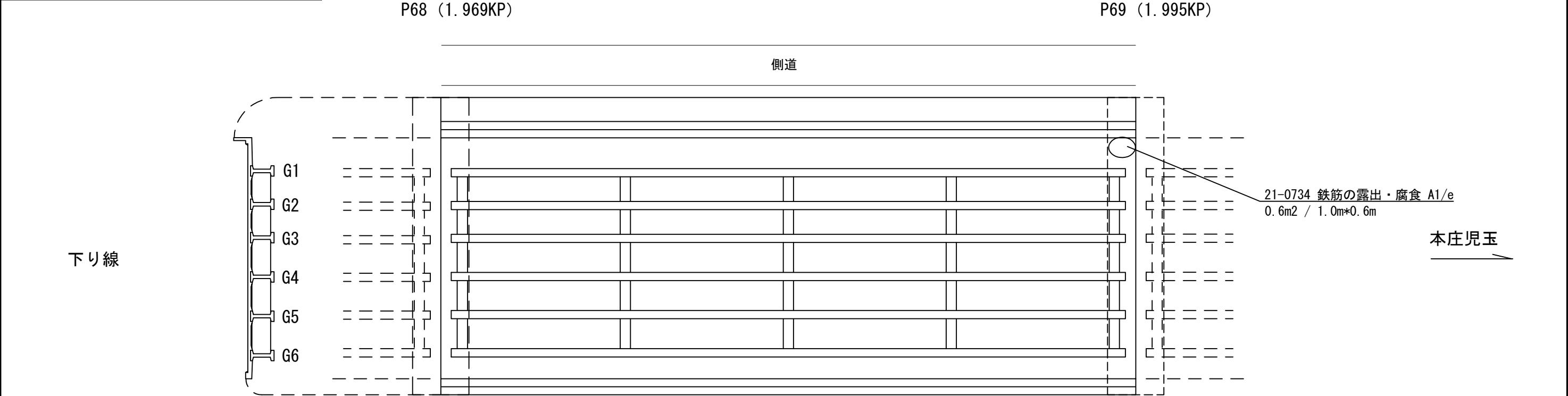
練馬 P61P62P63P64P65P66P67P68P69P70 本庄児玉

標準横断面図

下り線

大泉高架橋 損傷展開図（その8）

下り線 P68～P69



数量表：固定足場

断面修復工 A 2-2

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
下り線	上部工	P68～P69	21-0734	鉄筋の露出・腐食	0.60	0.07	42.0

小計 42.0

コンクリートはつり工 B

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
下り線	上部工	P68～P69	21-0734	鉄筋の露出・腐食	0.60	0.07	0.042

小計 0.042

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
下り線	上部工	P68～P69	21-0734	鉄筋の露出・腐食	0.6

小計 0.6

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その8）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]      L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所      0.141KP～2.197KP

側面図

練馬 P68 P69 P70 P71 P72 P73 P74 P75 P76 A2 本庄児玉

標準横断面図

下り線

大泉高架橋 損傷展開図（その9）

下り線 P70～P71

P70（2.020KP）

P71（2.045KP）

21-0737 鉄筋の露出・腐食 A1/e  
0.4m2 / 1.0m\*0.4m

側道

下り線

21-0736 鉄筋の露出・腐食 A1/e  
0.77m2 / 1.1m\*0.7m

本庄児玉

数量表：固定足場

断面修復工 A 2-2

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
下り線	上部工	P70～P71	21-0736	鉄筋の露出・腐食	0.77	0.07	53.9
下り線	上部工	P70～P71	21-0737	鉄筋の露出・腐食	0.40	0.07	28.0
				小計	81.9		

コンクリートはつり工 B

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
下り線	上部工	P70～P71	21-0736	鉄筋の露出・腐食	0.77	0.07	0.054
下り線	上部工	P70～P71	21-0737	鉄筋の露出・腐食	0.40	0.07	0.028
				小計	0.082		

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
下り線	上部工	P70～P71	21-0736	鉄筋の露出・腐食	0.8
下り線	上部工	P70～P71	21-0737	鉄筋の露出・腐食	0.4
				小計	1.2

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その9）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]      L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所      0.141KP~2.197KP

側面図

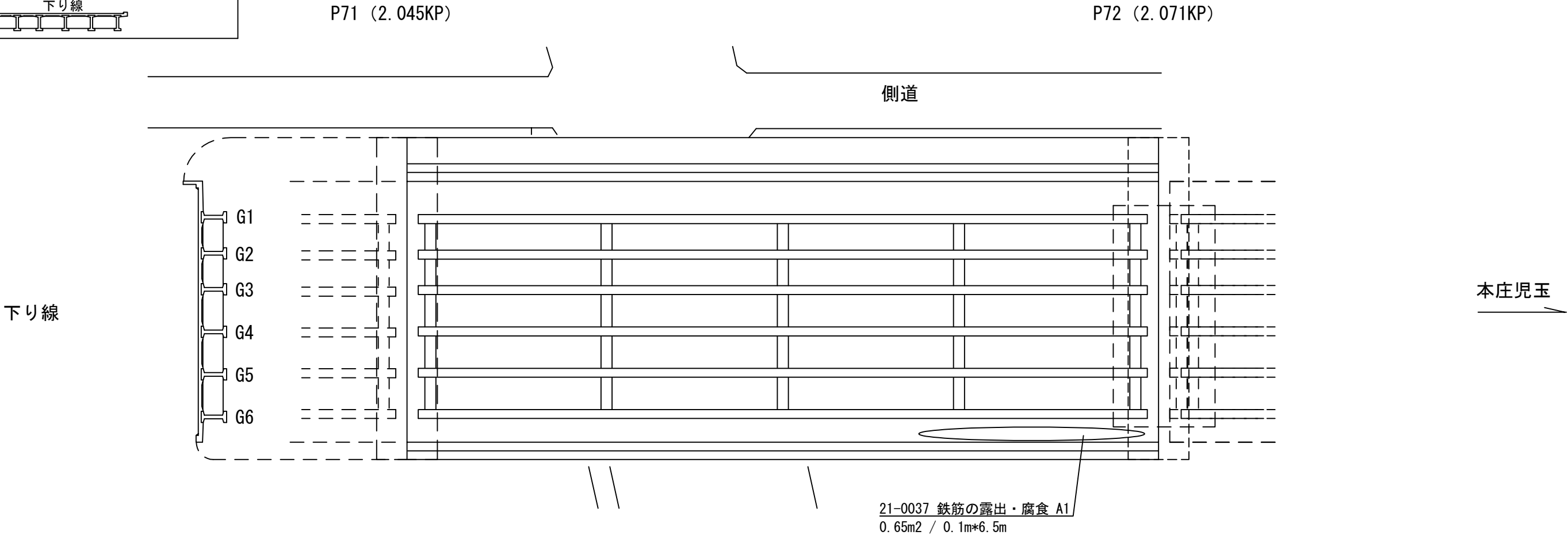
練馬 P68 P69 P70 P71 P72 P73 P74 P75 P76 A2 本庄児玉

標準横断面図

下り線

大泉高架橋 損傷展開図（その１０）

下り線 P71~P72



数量表：固定足場

断面修復工 A2-2

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
下り線	上部工	P71~P72	21-0037	鉄筋の露出・腐食	0.65	0.07	45.5
				小計	45.5		

コンクリートはつり工 B

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
下り線	上部工	P71~P72	21-0037	鉄筋の露出・腐食	0.65	0.07	0.046
				小計	0.046		

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
下り線	上部工	P71~P72	21-0037	鉄筋の露出・腐食	0.7
				小計	0.7

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その１０）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋]L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所0.141KP~2.197KP

側面図

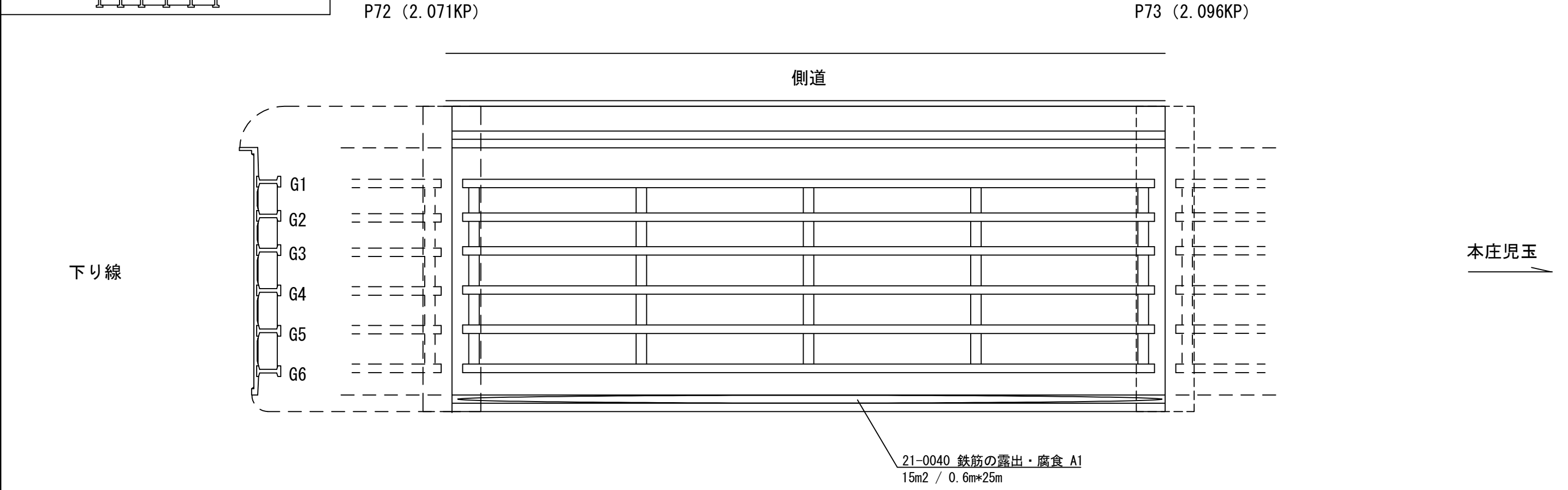
練馬P68P69P70P71P72P73P74P75P76A2本庄児玉

標準横断面図

下り線

大泉高架橋 損傷展開図（その11）

下り線 P72~P73



数量表：固定足場

断面修復工 A2-2

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
下り線	上部工	P72~P73	21-0040	鉄筋の露出・腐食	15.0	0.07	1050.0

小計 1050.0

コンクリートはつりエ B

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
下り線	上部工	P72~P73	21-0040	鉄筋の露出・腐食	15.0	0.070	1.050

小計 1.050

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
下り線	上部工	P72~P73	21-0040	鉄筋の露出・腐食	15.0

小計 15.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その11）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 その1[単純PC合成I桁橋] L=2,056.000m

関越自動車道 所沢管理事務所 0.141KP~2.197KP

側面図

練馬 P68 P69 P70 P71 P72 P73 P74 P75 P76 A2 本庄児玉

標準横断面図

下り線

大泉高架橋 損傷展開図（その１２）

下り線 P73~P74

P73 (2.096KP)

P74 (2.121KP)

下り線

本庄児玉

21-0059 鉄筋の露出・腐食 A1  
5.0m2 / 0.2m\*25m

数量表：固定足場

断面修復工 A2-2							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
下り線	上部工	P73~P74	21-0059	鉄筋の露出・腐食	5.00	0.07	350.0
				小計	350.0		

コンクリートはつり工 B							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
下り線	上部工	P73~P74	21-0059	鉄筋の露出・腐食	5.00	0.07	0.350
				小計	0.350		

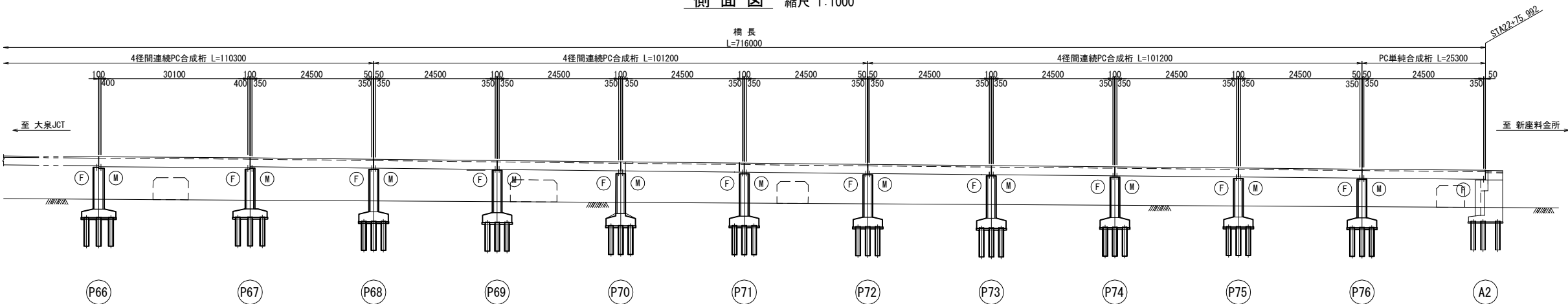
表面保護工 コンクリート表面被覆工 B1					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
下り線	上部工	P73~P74	21-0059	鉄筋の露出・腐食	5.0
				小計	5.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 損傷展開図（その１２）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

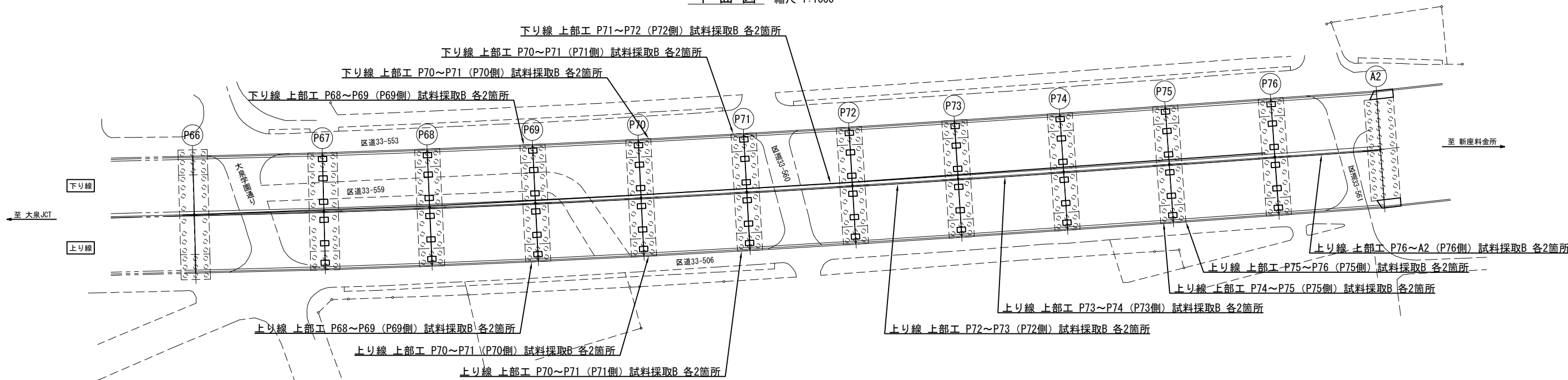


大泉高架橋 試料採取 位置図

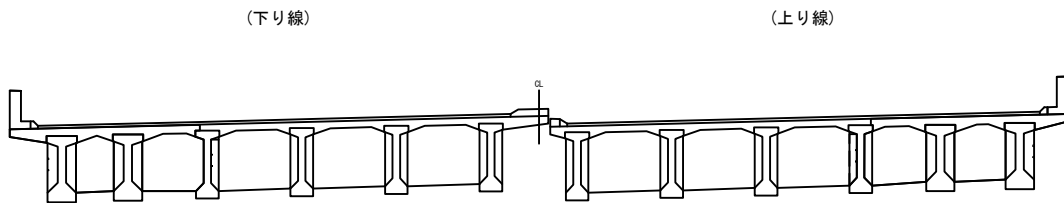
側面図 縮尺 1:1000



平面図 縮尺 1:1000



上部工標準断面図 縮尺 1:200

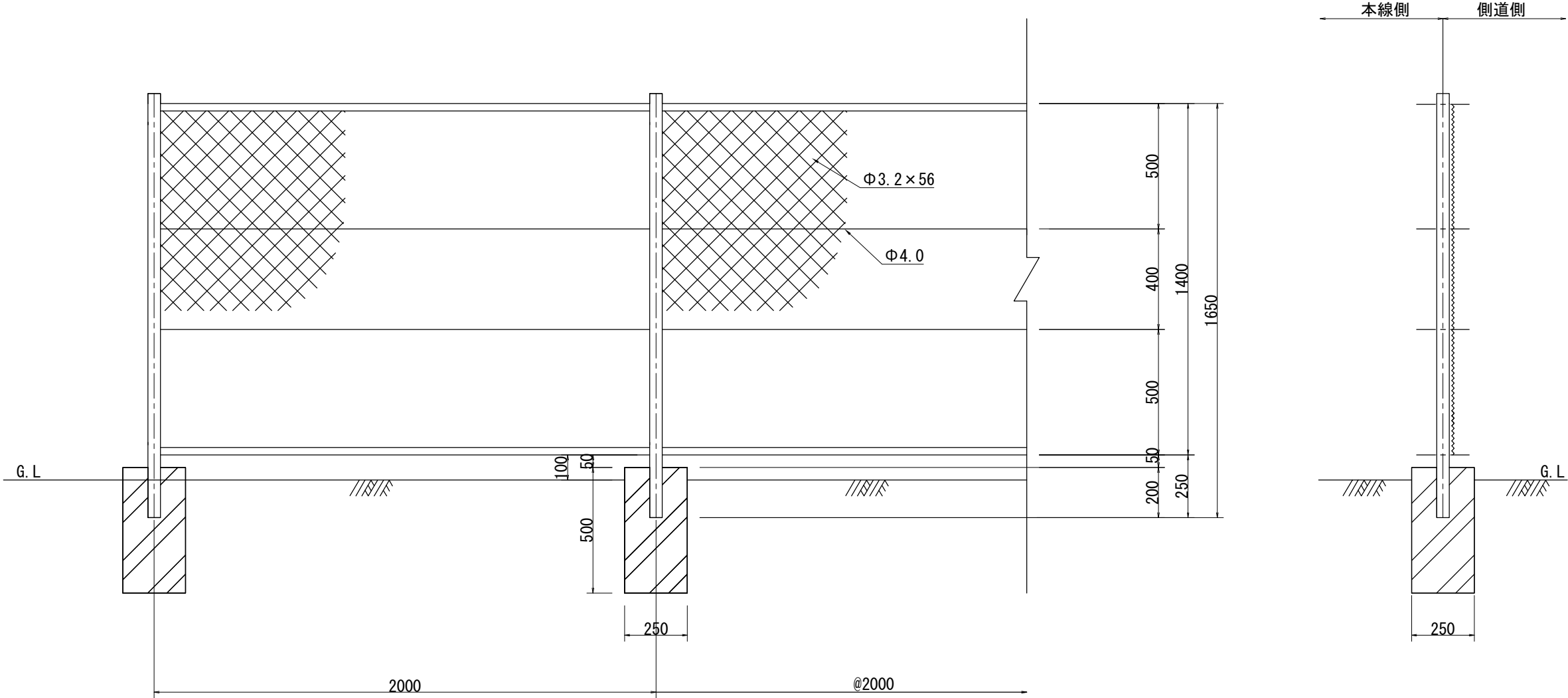


数量表							
大泉高架橋	区分	単位	経間	上り線	下り線	合計数量	備考
	試料採取B	箇所	P68~P69	2	2	24	上部工
			P70~P71	2	2		"
			P70~P71	2	2		"
			P71~P72		2		"
			P72~P73	2			"
			P73~P74	2			"
			P74~P75	2			"
			P75~P76	2			"
			P76~A2	2			"

関越自動車道 大泉高架橋補修工事				
図面の種類	大泉高架橋 試料採取 位置図			
	縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所			

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 立入防止柵撤去設置工		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 立入防止柵撤去設置図（参考図）

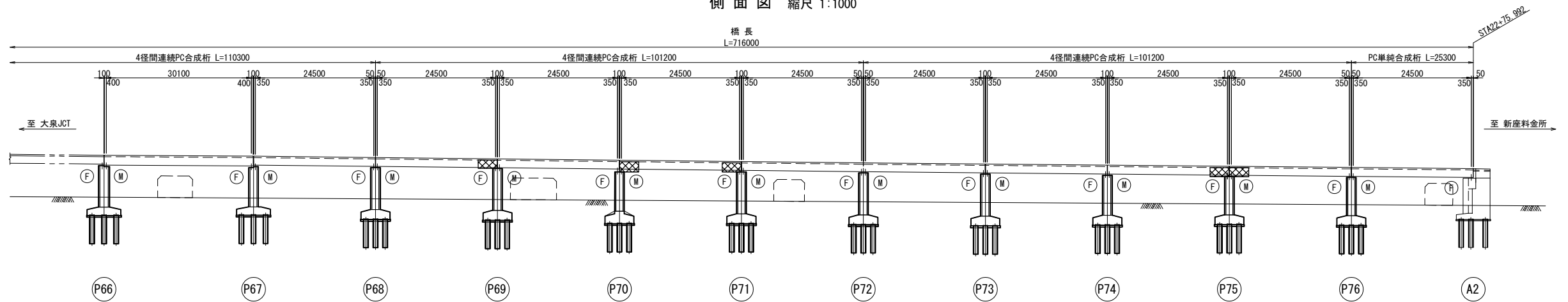


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 立入防止柵撤去設置図（参考図）		
	縮 尺	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

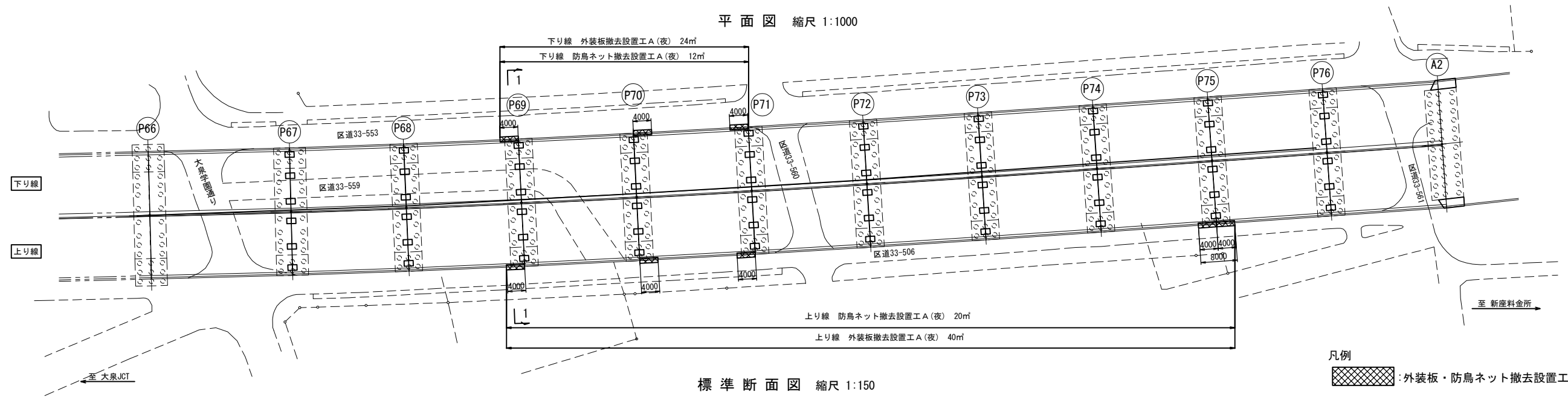
# 大泉高架橋 外装板・防鳥ネット撤去設置工（その1）

位置図

側面図 縮尺 1:1000



平面図 縮尺 1:1000



標準断面図 縮尺 1:150

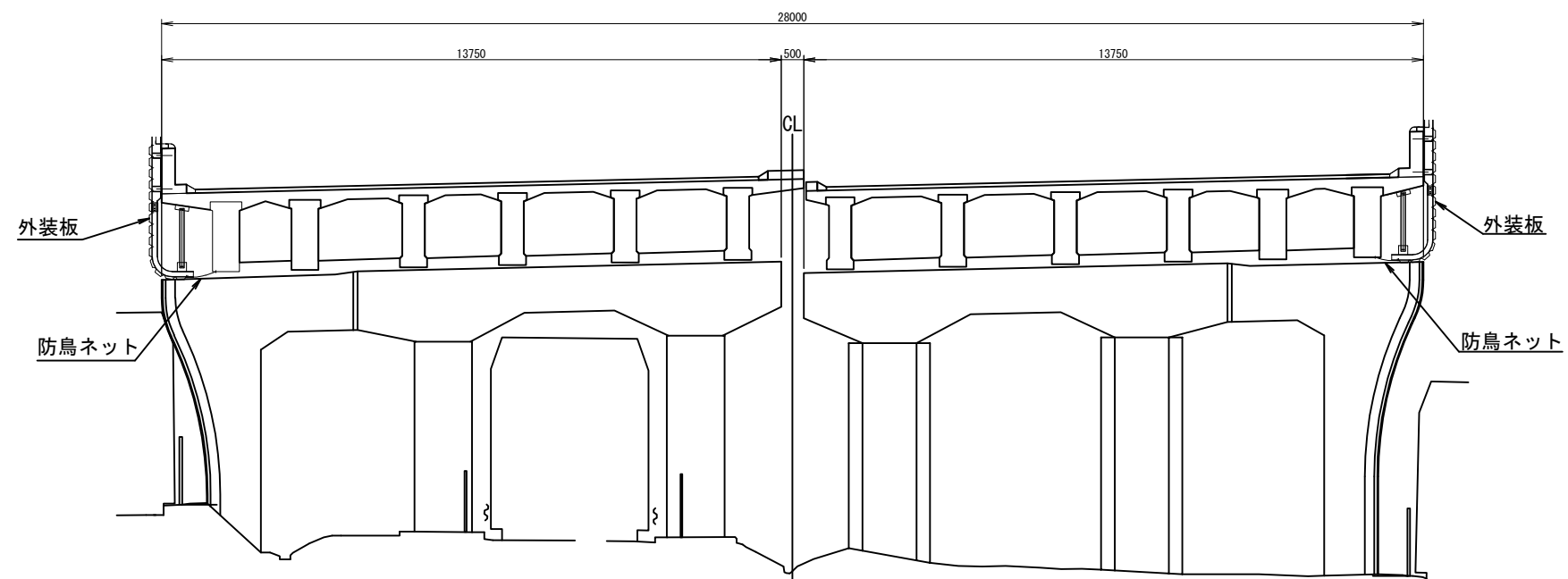
凡例

■:外装板・防鳥ネット撤去設置工A(夜)

下り線

1-1

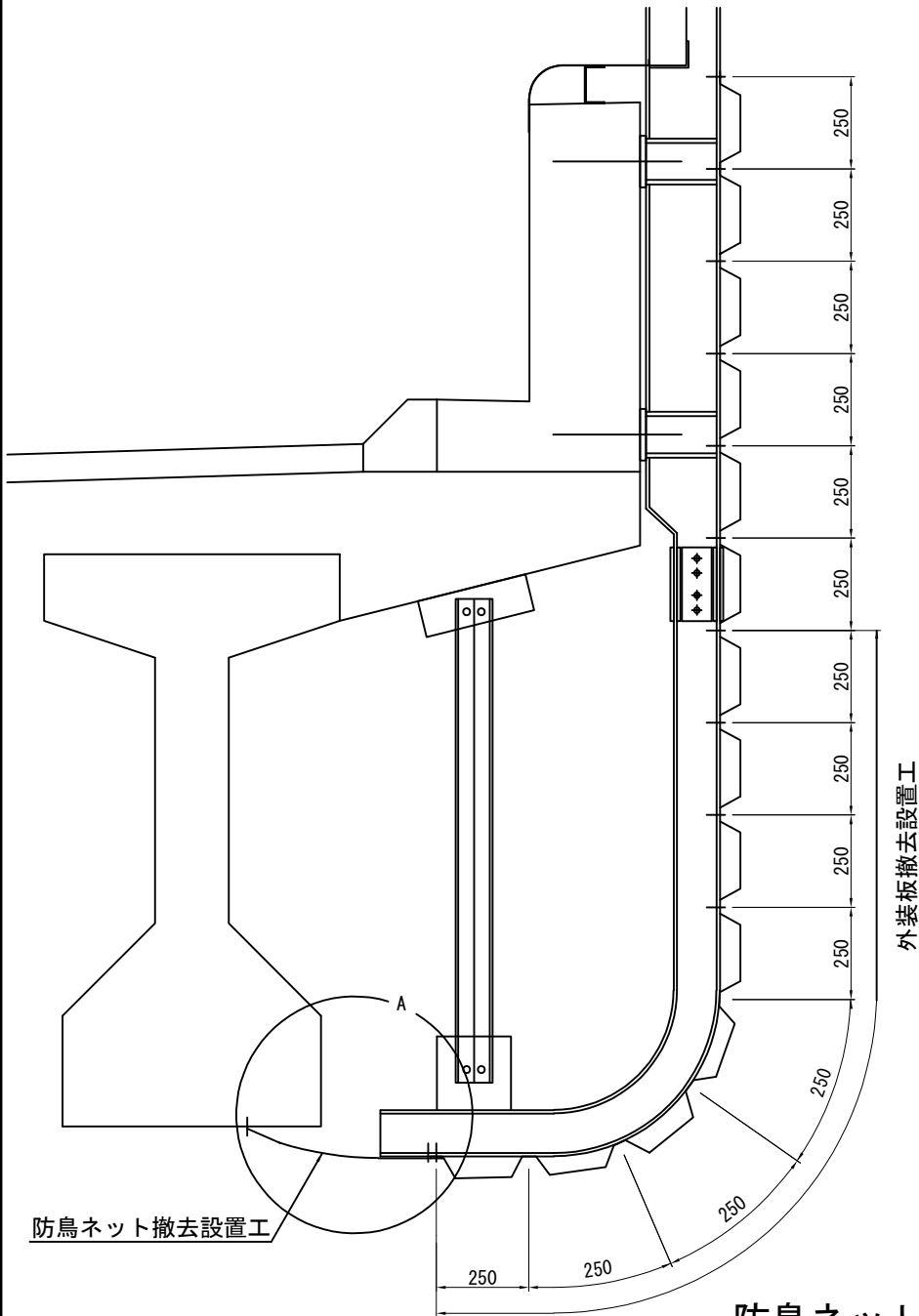
上り線



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋		
	外装板・防鳥ネット撤去設置工（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

大泉高架橋 外装板・防鳥ネット撤去設置工（その2）

外装板詳細図 S=1:20



外装板撤去設置工

防鳥ネット撤去設置工

上り線 外装板撤去設置工A(夜) 数量表

支間	撤去・設置 延長(m)	外装板周長 (m)	外装板 面積(㎡)	摘要
P68-P69	4.0	2.0	8.0	P69側
P70-P71	4.0	2.0	8.0	P70側
P70-P71	4.0	2.0	8.0	P71側
P74-P75	4.0	2.0	8.0	P75側
P75-P76	4.0	2.0	8.0	P75側
上り線計			40.0	

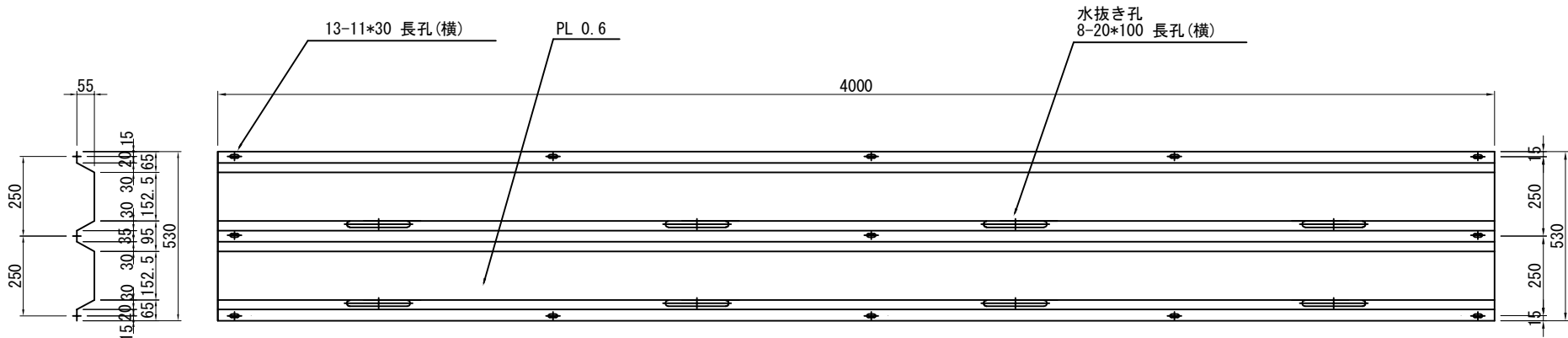
下り線 外装板撤去設置工A(夜) 数量表

支間	撤去・設置 延長(m)	外装板周長 (m)	外装板 面積(㎡)	摘要
P68-P69	4.0	2.0	8.0	P69側
P70-P71	4.0	2.0	8.0	P70側
P70-P71	4.0	2.0	8.0	P71側
下り線計			24.0	

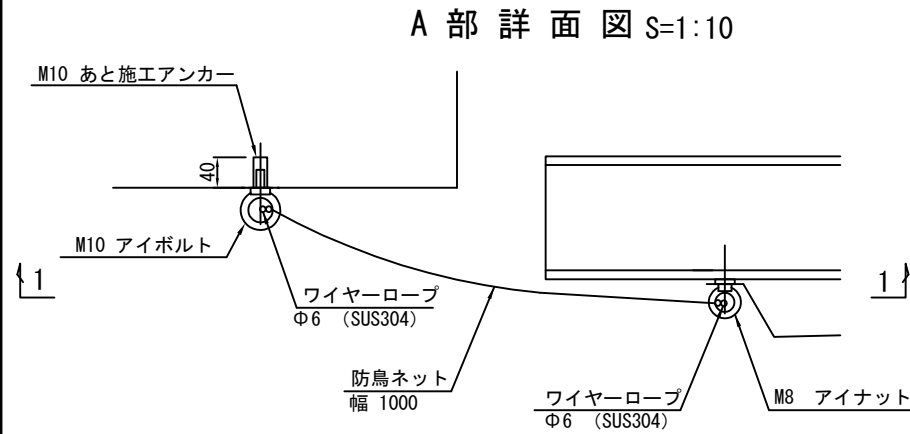
上下線 外装板撤去設置工A(夜) 数量集計表

上下線区分	外装板面積 (㎡)
上り線	40.0
下り線	24.0
合計	64.0

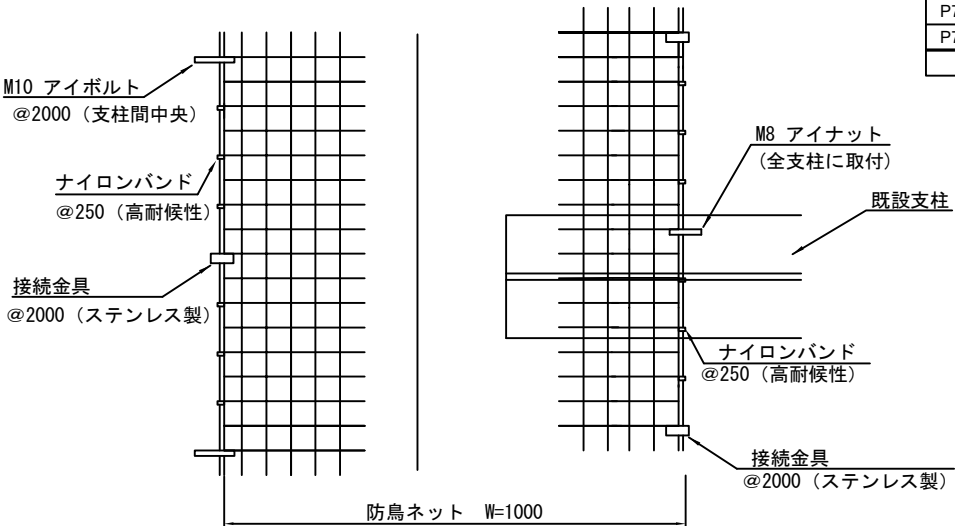
外装板側面図 S=1:20



1-1 S=1:10



A部詳面図 S=1:10



上り線 防鳥ネット撤去設置工A(夜) 数量表

支間	撤去・設置 延長(m)	防鳥ネット 幅(m)	防鳥ネット 面積(㎡)	摘要
P68-P69	4.0	1.0	4.0	P69側
P70-P71	4.0	1.0	4.0	P70側
P70-P71	4.0	1.0	4.0	P71側
P74-P75	4.0	1.0	4.0	P75側
P75-P76	4.0	1.0	4.0	P75側
上り線計			20.0	

下り線 防鳥ネット撤去設置工A(夜) 数量表

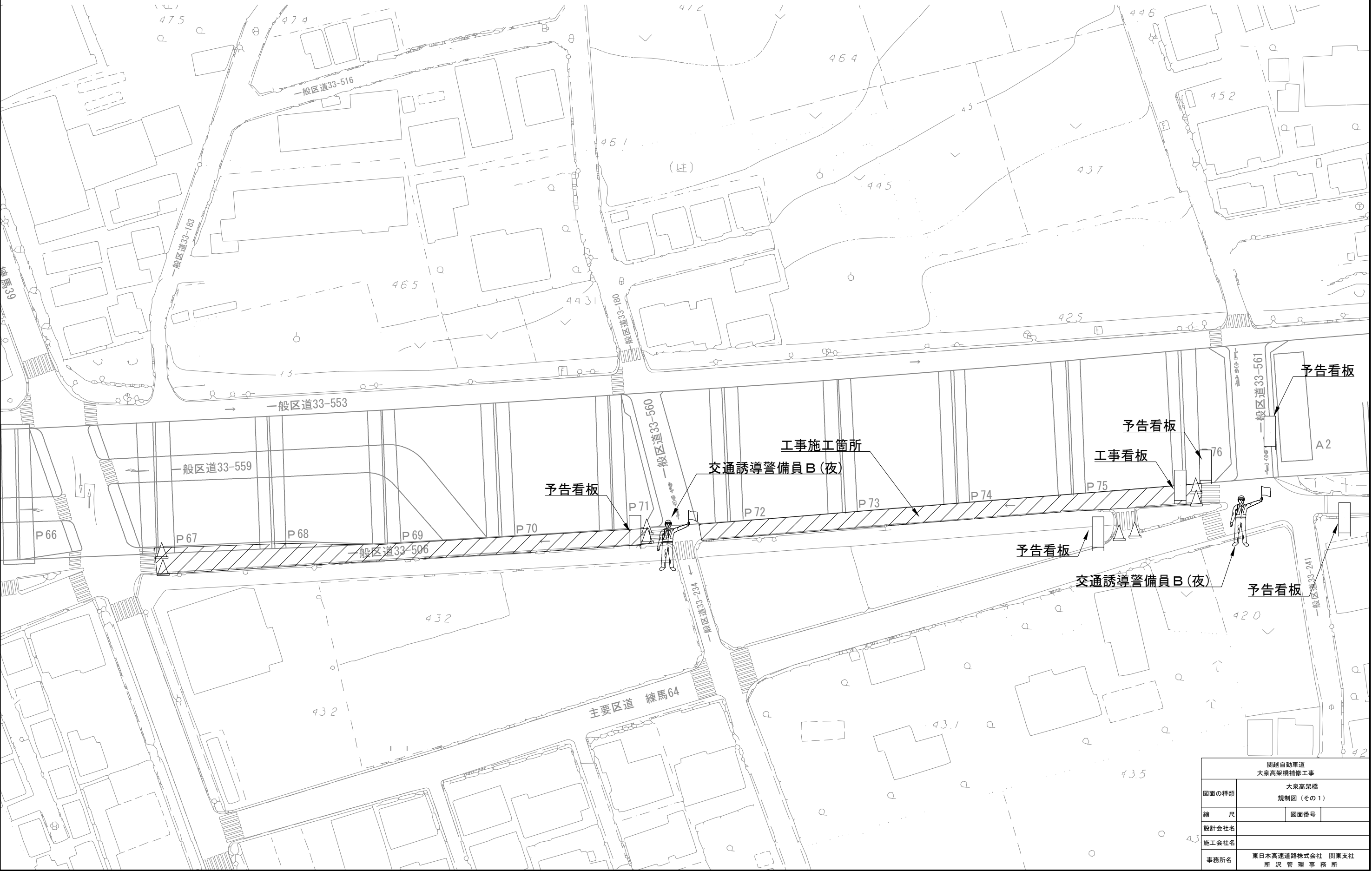
支間	撤去・設置 延長(m)	防鳥ネット 幅(m)	防鳥ネット 面積(㎡)	摘要
P68-P69	4.0	1.0	4.0	P69側
P70-P71	4.0	1.0	4.0	P70側
P70-P71	4.0	1.0	4.0	P71側
下り線計			12.0	

上下線 防鳥ネット撤去設置工A(夜) 数量集計表

上下線区分	防鳥ネット面積 (㎡)
上り線	20.0
下り線	12.0
合計	32.0

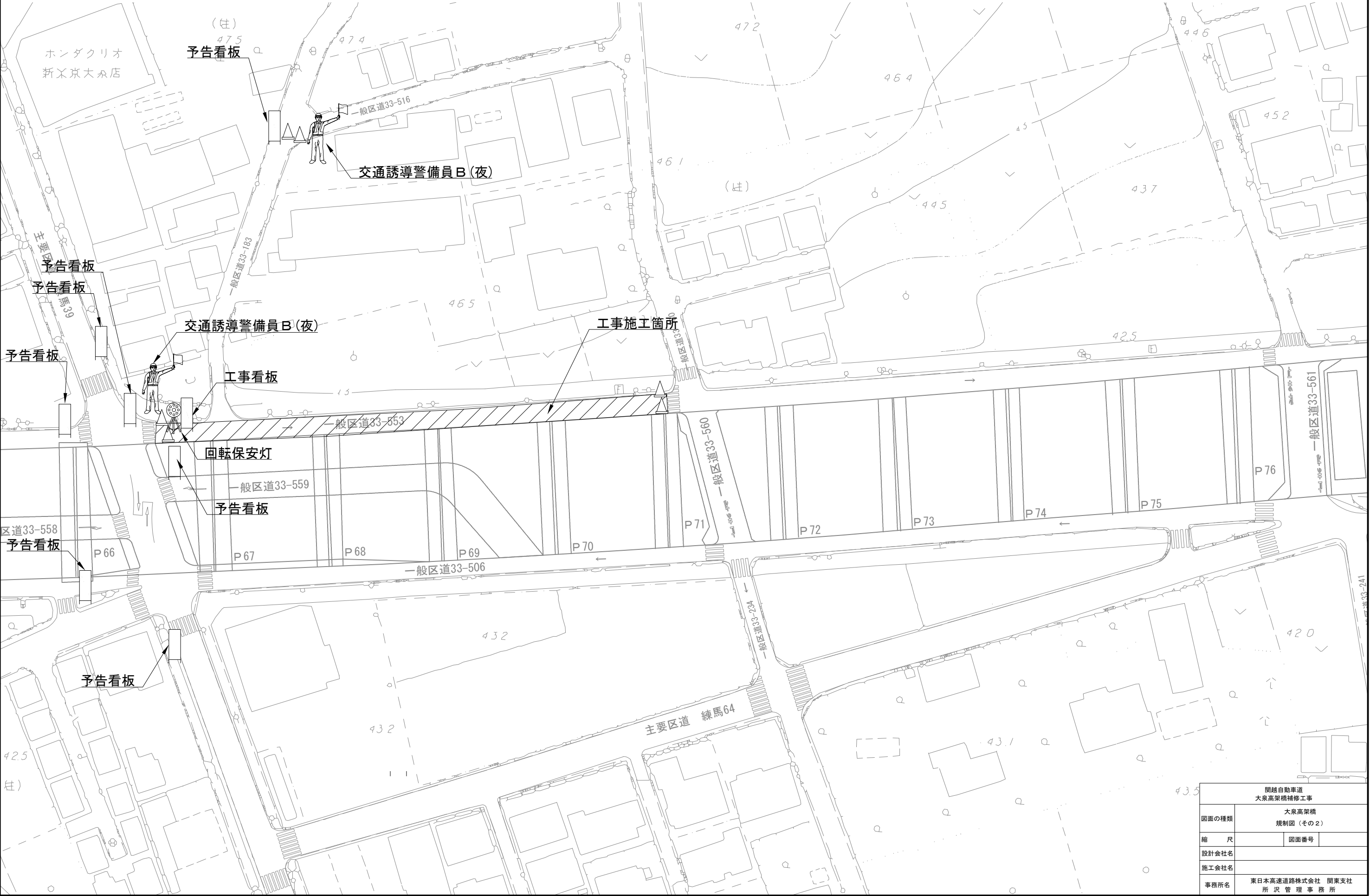
問題自動車道 大泉高架橋補修工事				
図面の種類		大泉高架橋 外装板・防鳥ネット撤去設置工（その２）		
縮尺	図示	図面番号	/	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

大泉高架橋 規制図（その1）  
練馬一般区道33-506通行止め（夜）



関係自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	大泉高架橋 規制図（その1）
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所

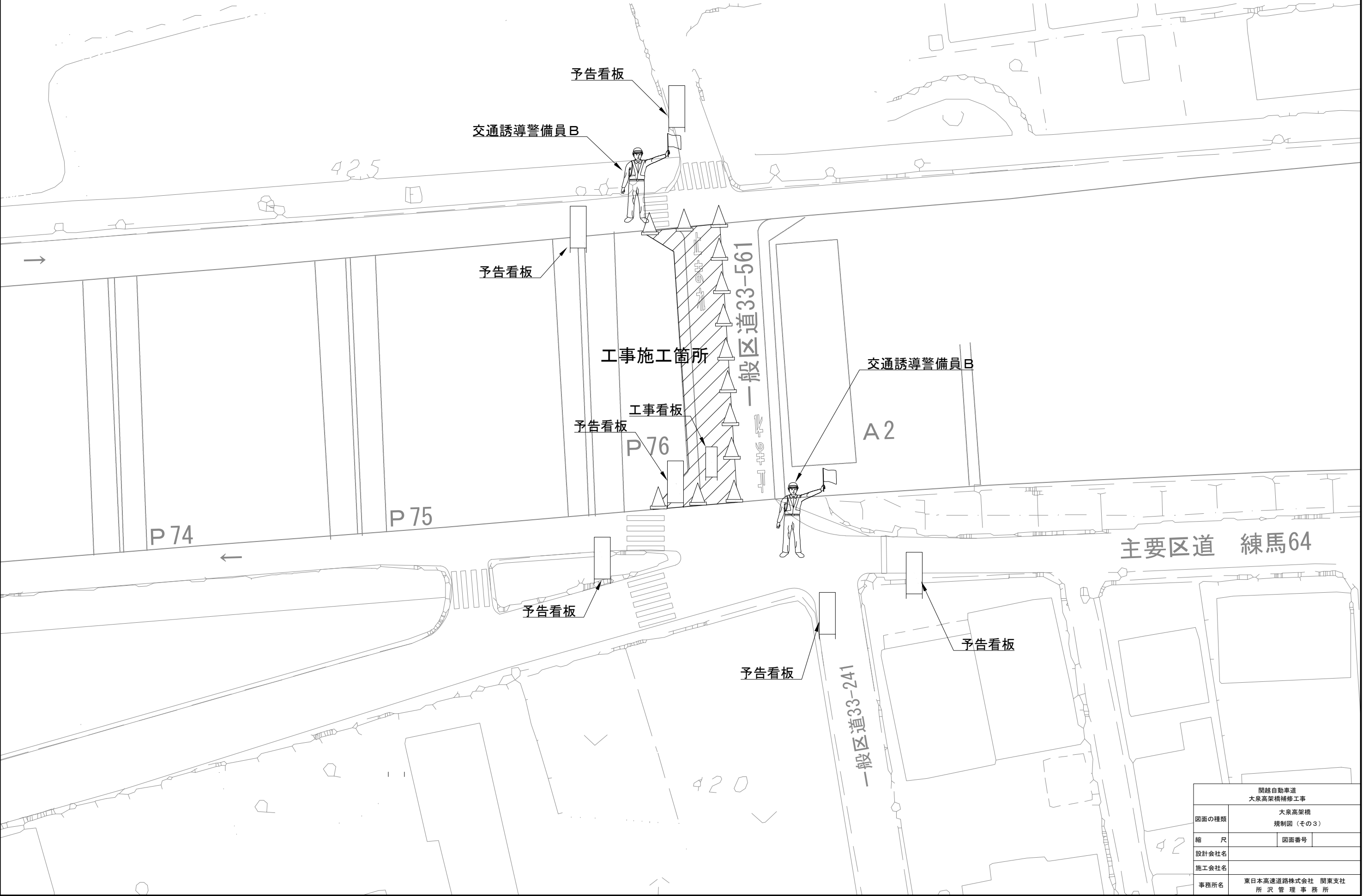
大泉高架橋 規制図（その2）  
練馬一般区道33-553通行止め（夜）



関越自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	大泉高架橋 規制図（その2）
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所



大泉高架橋 規制図（その3）  
練馬一般区道33-561片側交互通行規制

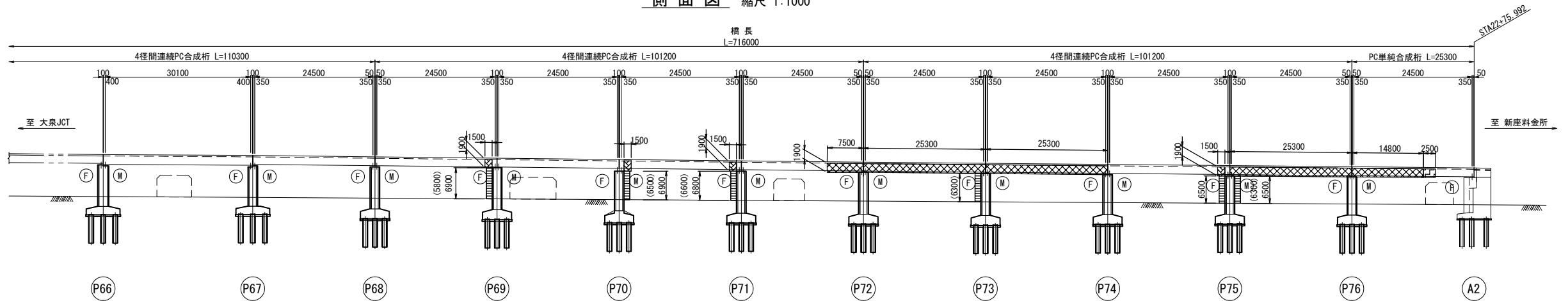


関越自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	大泉高架橋 規制図（その3）
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所

大泉高架橋 足場仮設図（参考図）

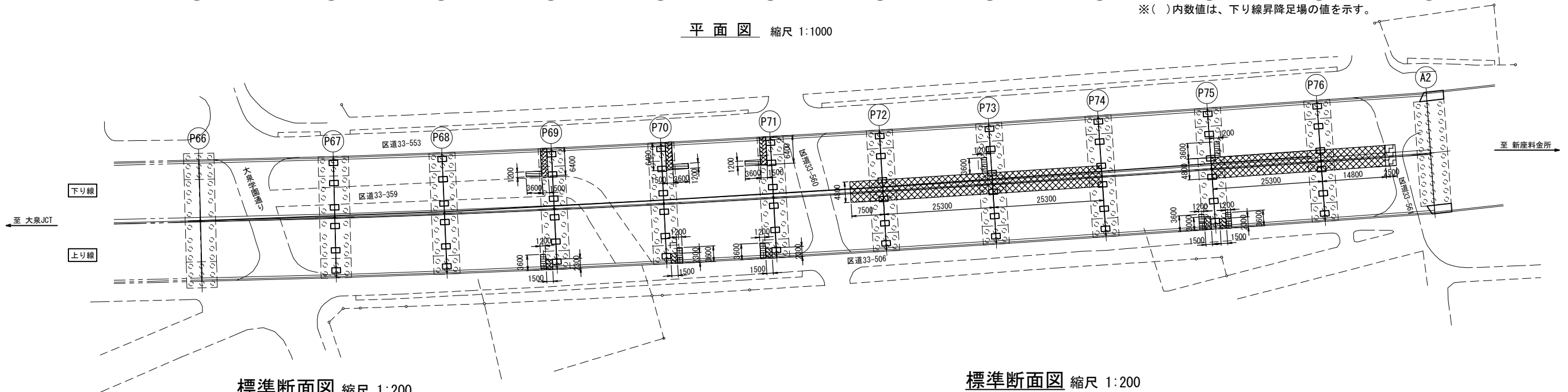
側面図 縮尺 1:1000

- 凡例
- 昇降足場
  - 吊り足場（標準型）
  - 吊り足場（防護型）
  - 吊り足場（防護型（夜））



※（ ）内数値は、下り線昇降足場の値を示す。

平面図 縮尺 1:1000

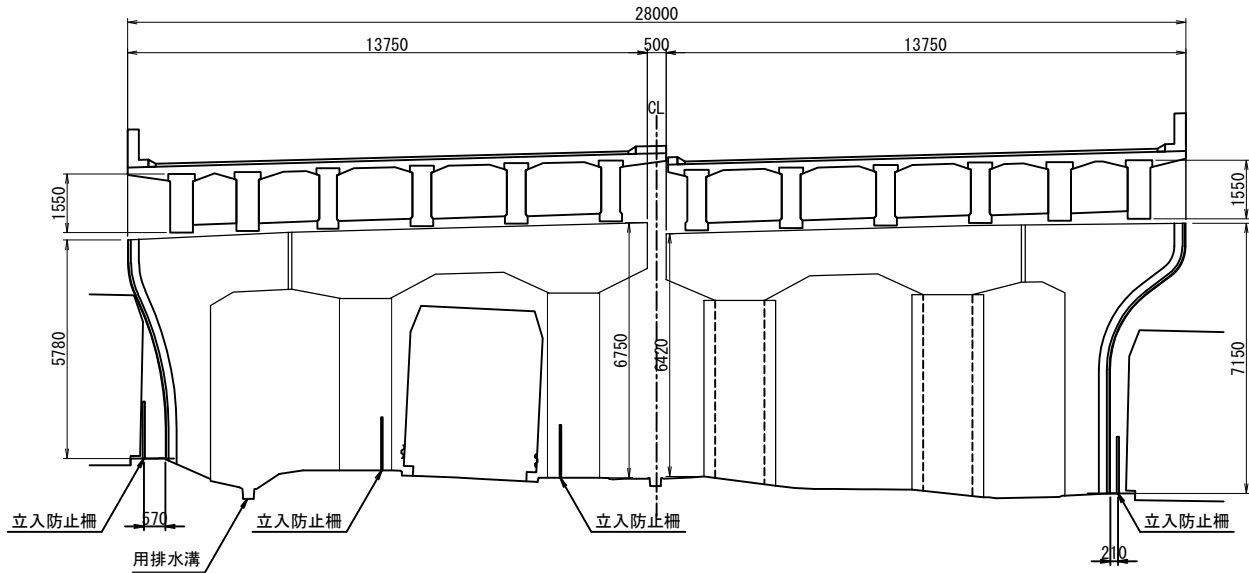


標準断面図 縮尺 1:200

P69（P68側）

下り線

上り線

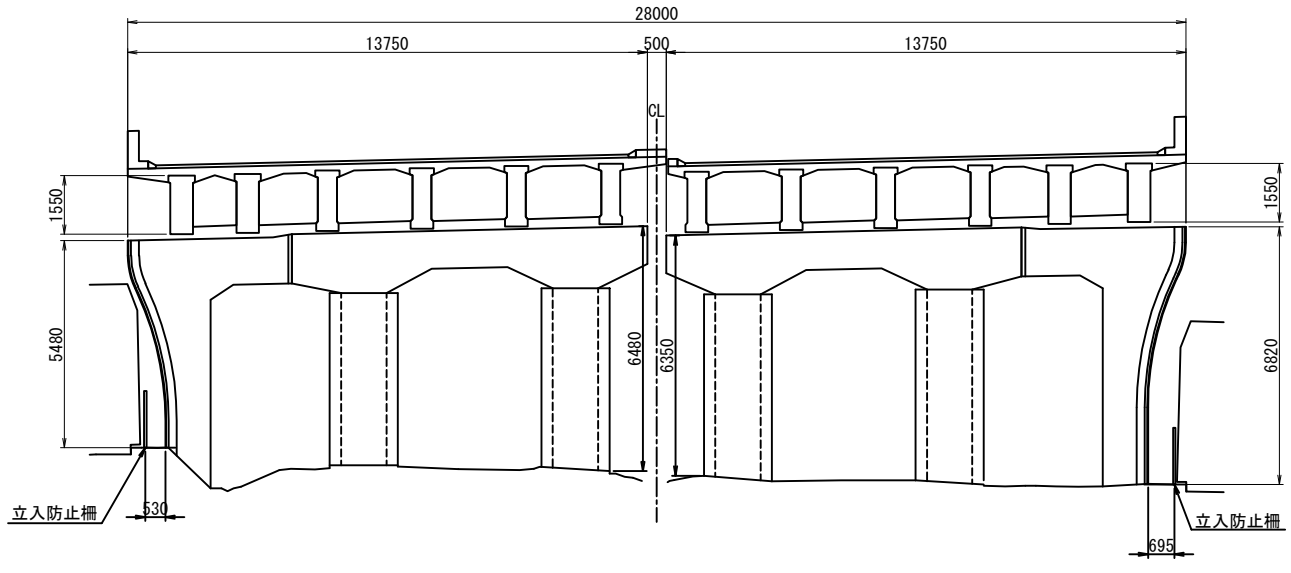


標準断面図 縮尺 1:200

P72（P71側）

下り線

上り線



開越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	大泉高架橋 足場仮設図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

# 入間高架橋

目 次

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1	入間高架橋 位置図	39	入間高架橋Eランプ 塗装補修図（EP16－1）
2～3	入間高架橋 数量総括表（その１）（その２）	40	入間高架橋 損傷位置図（FP3－1）
4	入間高架橋 工法詳細図	41	入間高架橋Fランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図（FP3－1）
5～13	入間高架橋 橋梁一般図（その１）～（その９）	42	入間高架橋 損傷位置図（FP6－1）
14～16	入間高架橋 損傷展開図（その１）～（その３）	43	入間高架橋Fランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図（FP6－1）
17	入間高架橋 試料採取 位置図	44	入間高架橋 損傷位置図（FP10－1）
18	入間高架橋 鋼部材補修数量総括表	45～46	入間高架橋Fランプ 塗装補修図（FP10－1）（その１）（その２）
19～21	入間高架橋 鋼部材補修一般図（その１）～（その３）	47	入間高架橋Fランプ 塗装補修図（FP10－1）
22	入間高架橋 損傷位置図（EP3－1）	48	入間高架橋 損傷位置図（FP10－2）
23	入間高架橋Eランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図（EP3－1）	49	入間高架橋Fランプ 塗装補修図（FP10－2）
24	入間高架橋 損傷位置図（EP8－1）	50	入間高架橋Fランプ 対傾構・横構撤去図（FP10－2）
25～26	入間高架橋Eランプ 当て板補修図（EP8－1）（その１）（その２）	51	入間高架橋Fランプ 対傾構・横構復旧図（FP10－2）
27	入間高架橋Eランプ 塗装補修図（EP8－1）	52	入間高架橋 損傷位置図（FP16－1）
28	入間高架橋 損傷位置図（EP10－1）	53～54	入間高架橋Fランプ 当て板補修図（FP16－1）（その１）（その２）
29	入間高架橋Eランプ 塗装補修図（EP10－1）	55	入間高架橋Fランプ 塗装補修図（FP16－1）
30	入間高架橋 損傷位置図（EP13－1）	56	入間高架橋 塗り区分図
31～32	入間高架橋Eランプ 当て板補修図（EP13－1）（その１）（その２）	57～59	入間高架橋 立入防止柵撤去設置工（その１）～（その３）
33	入間高架橋 損傷位置図（EP13－2）	60	入間高架橋 立入防止柵撤去設置図（参考図）
34～35	入間高架橋Eランプ 当て板補修図（EP13－2）（その１）（その２）	61～62	入間高架橋 規制図（その１）～（その２）
36	入間高架橋 損傷位置図（EP16－1）	63～67	入間高架橋 足場仮設図（参考図）（その１）～（その５）
37～38	入間高架橋Eランプ 当て板補修図（EP16－1）（その１）（その２）		

## 入間高架橋 位置図



関越自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	入間高架橋 位置図
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所

入間高架橋 数量総括表（その１）

路線名	橋梁名	上下線	上・下部工	径間	15－(11)	17－(2)	17－(29)	17－(32)	19－(2)	特－(1)	特－(2)	特－(3)	特－(3)
					立入防止柵撤去設置工 一般型非積雪地用 A	塗替塗装 曲面加工(R面取り)	断面修復工 A2－2	表面保護工 コンクリート表面被覆工 B2	交通保安要員 交通誘導警備員 B	コンクリートはつり工 B	ひび割れ充填工 A	試料採取 B	試料採取 C
					m	m	L	m2	人・日	m3	m	箇所	箇所
首都圏 中央連絡 自動車道	入間 高架橋	Eランプ	上部工	A1 ～ P1									
				P1 ～ P2									
				P2 ～ P3									
				P3 ～ P4		6.1							
				P4 ～ P5									
				P5 ～ P6									
				P6 ～ P7									
				P7 ～ P8		1.0							
				P9 ～ P10		2.1	525.0	7.5		0.525		2.0	
				P12 ～ P13									
				P13 ～ P14									
				P15 ～ P16		0.8							
				小計		10.0	525.0	7.5		0.525		2.0	
			下部工	P5									
				P6			1638.0	16.4		1.638			
				小計			1638.0	16.4		1.638			
			Eランプ計		20.0	10.0	2163.0	23.9		2.163		2.0	
		Fランプ	上部工	A1 ～ P1									
				P1 ～ P2									
				P2 ～ P3									
				P3 ～ P4		3.1							
				P4 ～ P5									
				P5 ～ P6		0.6							
				P6 ～ P7									
				P7 ～ P8									
				P9 ～ P10		2.2							
				P12 ～ P13									
				P13 ～ P14									
				P15 ～ P16		0.5							
				小計		6.4							
			下部工	P6			1436.0	14.4		1.436			2.0
				A2							4.6		
				小計			1436.0	14.4		1.436	4.6		2.0
			Fランプ計		36.0	6.4	1436.0	14.4		1.436	4.6		2.0
		合計			56.0	16.4	3599.0	38.3	18.0	3.599	4.6	2.0	2.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 数量総括表（その１）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

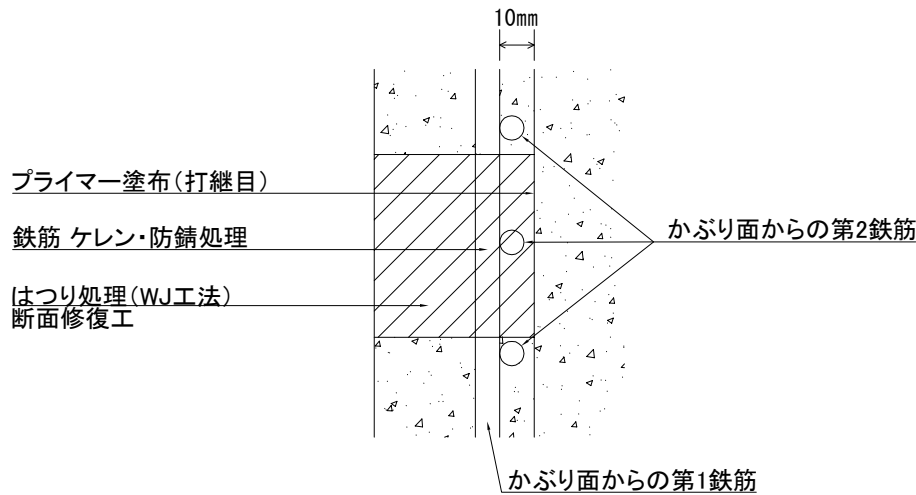
入間高架橋 数量総括表（その2）

路線名	橋梁名	上下線	上・下部工	径間	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(6)	特－(14)	特－(14)
					鋼部材補修工 EP8－1	鋼部材補修工 EP13－1	鋼部材補修工 EP13－2	鋼部材補修工 EP16－1	鋼部材補修工 FP10－1	鋼部材補修工 FP10－2	鋼部材補修工 FP16－1	塗替塗装(極小部) 塗替塗装(一般部) c－3－(1)w	塗替塗装(極小部) 塗替塗装(特殊部) g－3－(1)w
					kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	m2	m2
首都圏 中央連絡 自動車道	入間 高架橋	Eランプ	上部工	A1 ～ P1									
				P1 ～ P2									
				P2 ～ P3									
				P3 ～ P4								1.70	
				P4 ～ P5									
				P5 ～ P6									
				P6 ～ P7									
				P7 ～ P8	195.7							0.11	
				P9 ～ P10								0.17	0.03
				P12 ～ P13		201.1							
				P13 ～ P14			176.9						
				P15 ～ P16				185.6				0.08	
				小計	195.7	201.1	176.9	185.6				2.06	0.03
			下部工	P5									
				P6									
				小計									
			Eランプ計		195.7	201.1	176.9	185.6				2.06	0.03
		Fランプ	上部工	A1 ～ P1									
				P1 ～ P2									
				P2 ～ P3									
				P3 ～ P4								0.69	
				P4 ～ P5									
				P5 ～ P6								0.30	
				P6 ～ P7									
				P7 ～ P8									
				P9 ～ P10				204.0	202.3			0.24	0.02
				P12 ～ P13									
				P13 ～ P14									
				P15 ～ P16							188.8	0.06	
				小計				204.0	202.3	188.8	1.29	0.02	
			下部工	P6									
				A2									
				小計									
			Fランプ計					204.0	202.3	188.8	1.29	0.02	
		合計			195.7	201.1	176.9	185.6	204.0	202.3	188.8	3.35	0.05

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 数量総括表（その2）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

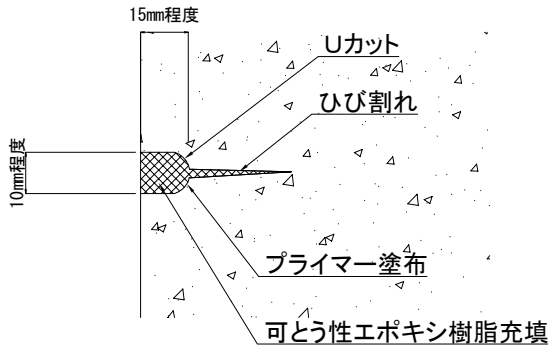
入間高架橋 工法詳細図

コンクリートはつりエ・断面修復工詳細図  
(PC部を除く)



※第1鉄筋背面10mmまではつり作業を行うこと。

ひび割れ充填工詳細図

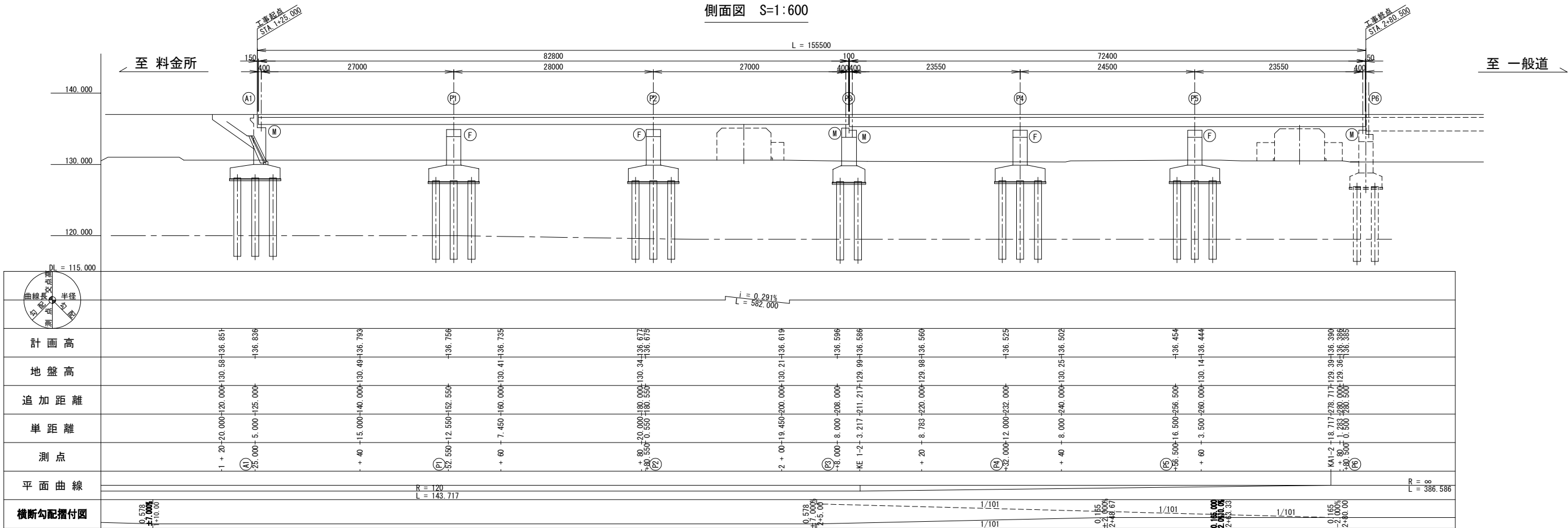


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 工法詳細図		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

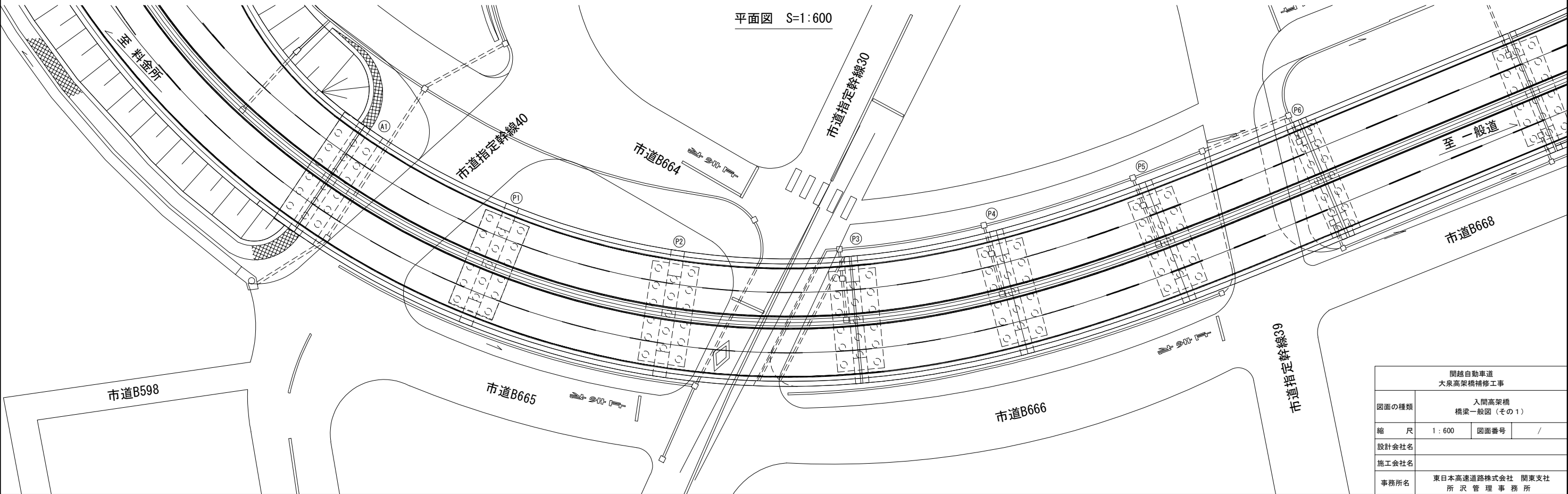


入間高架橋 橋梁一般図（その1）  
(A1~P6)

側面図 S=1:600



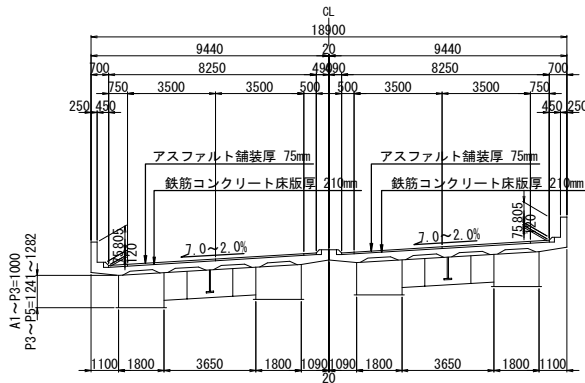
平面図 S=1:600



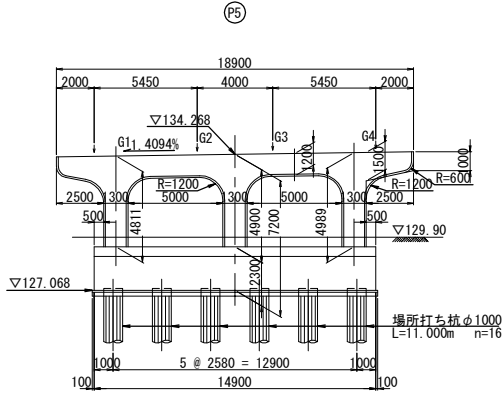
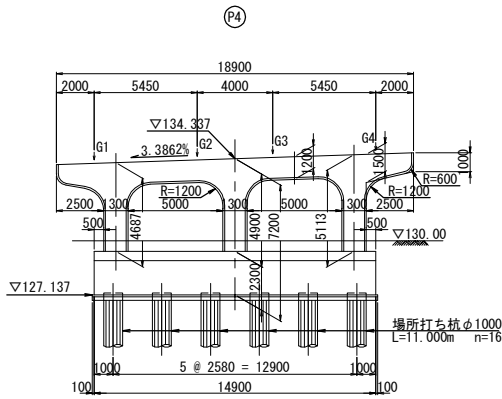
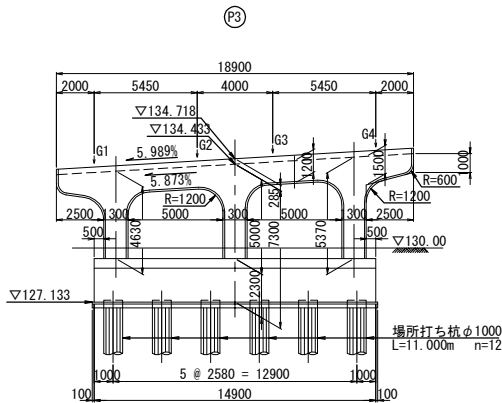
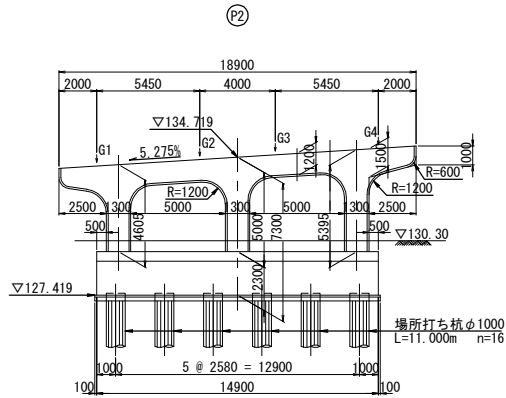
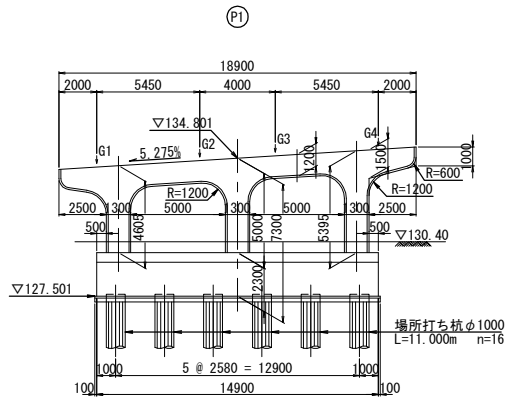
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 橋梁一般図（その1）		
縮 尺	1:600	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 橋梁一般図（その2）  
(A1~P6)

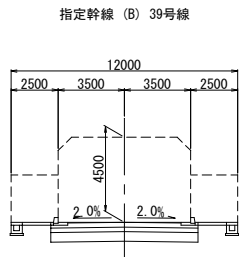
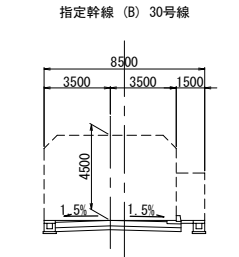
標準断面図 S = 1:300



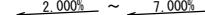

正面図 S = 1:400



交差道路断面図 S = 1:400



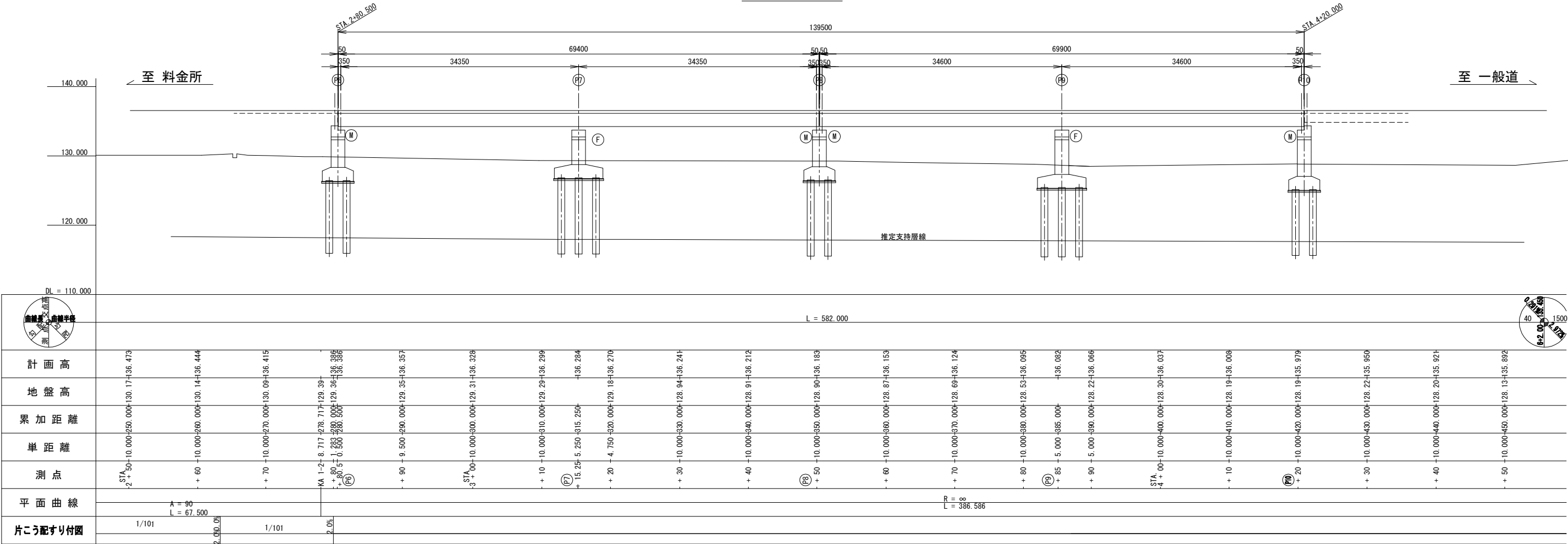
設計条件

橋長	155.500m	桁長	82.800m、72.400m
道路区分	A規格ランプ、設計速度 V = 40Km/h		
荷重	B活荷重 (TL-25)		
型式	上部工	3径間連続鋼非合成鋼箱桁	
	下部工	3柱式ラーメン橋脚5基、逆T式橋台	
	基礎工	場所打ち杭 φ1000	
支間	27.000m + 28.000m + 27.000m		
	23.550m + 24.500m + 23.550m		
有効幅員	8.250m + 8.250m	斜角	90° 00' 00"
横断勾配			
縦断勾配			
設計震度	水平震度 Kh = 0.25 鉛直震度 Kv = ±0		
コンクリート	圧縮強度 σck = 240 kg/cm		
鉄筋	材質 SD345 許容引張応力度 σsa = 1800 kg/cm		
適用示方書	設計要領第二集 (H.2.7) 道路橋示方書、同解説 (H.2.2)		
使用材料	SS400、SM490Y、S10T		

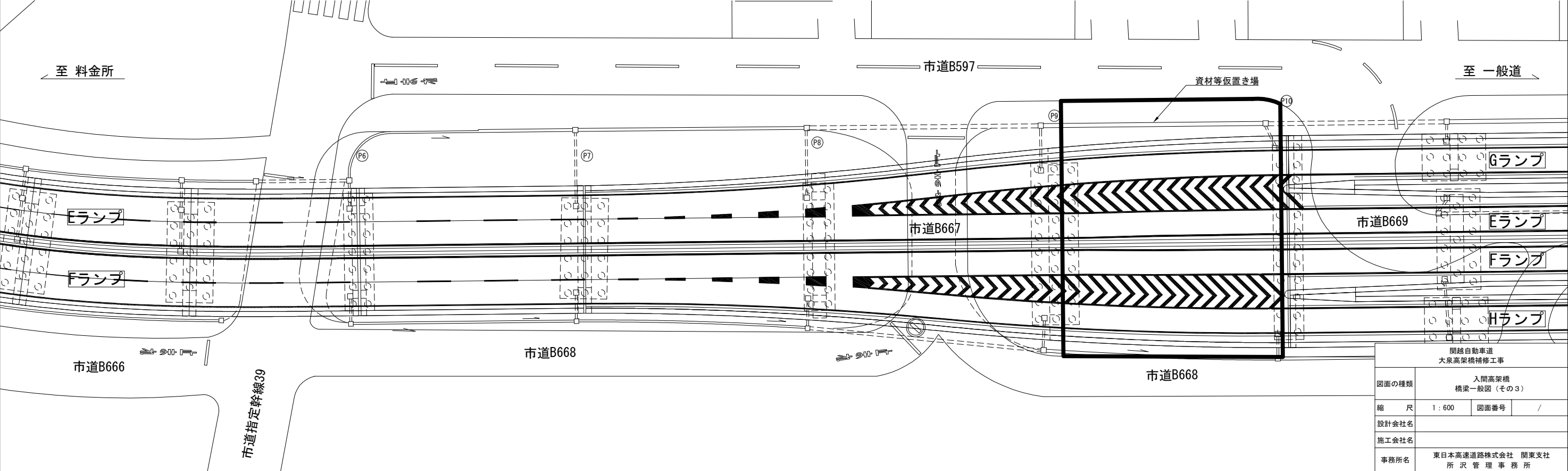
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 橋梁一般図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 橋梁一般図 (その3)  
(P6~P10)

側面図 S=1:600



平面図 S=1:600

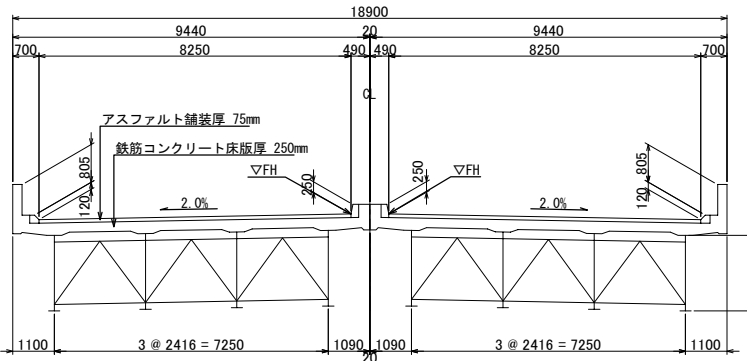


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 橋梁一般図 (その3)		
縮 尺	1:600	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

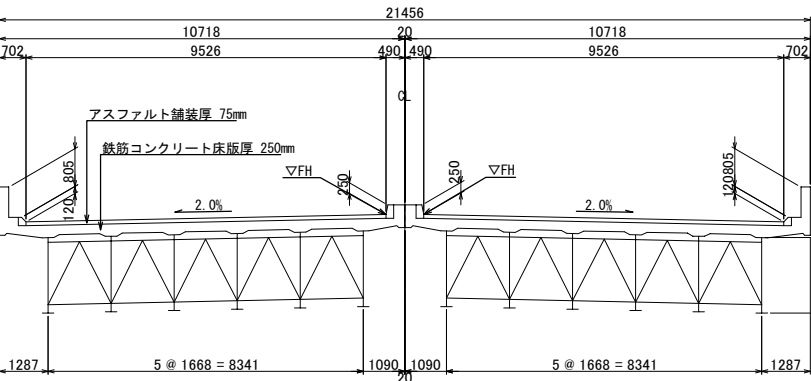
入間高架橋 橋梁一般図（その4）  
(P6～P10)

標準断面図 S = 1:200

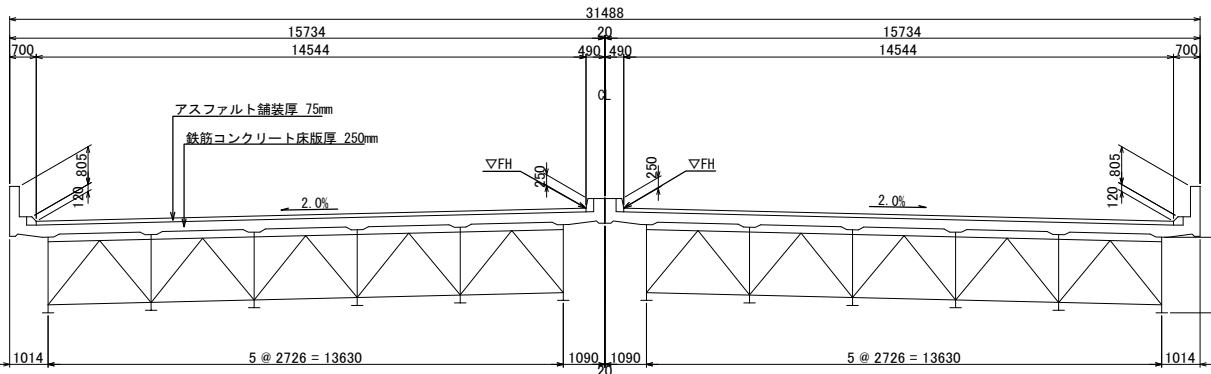
P6 支点上



P8 支点上



P10 支点上



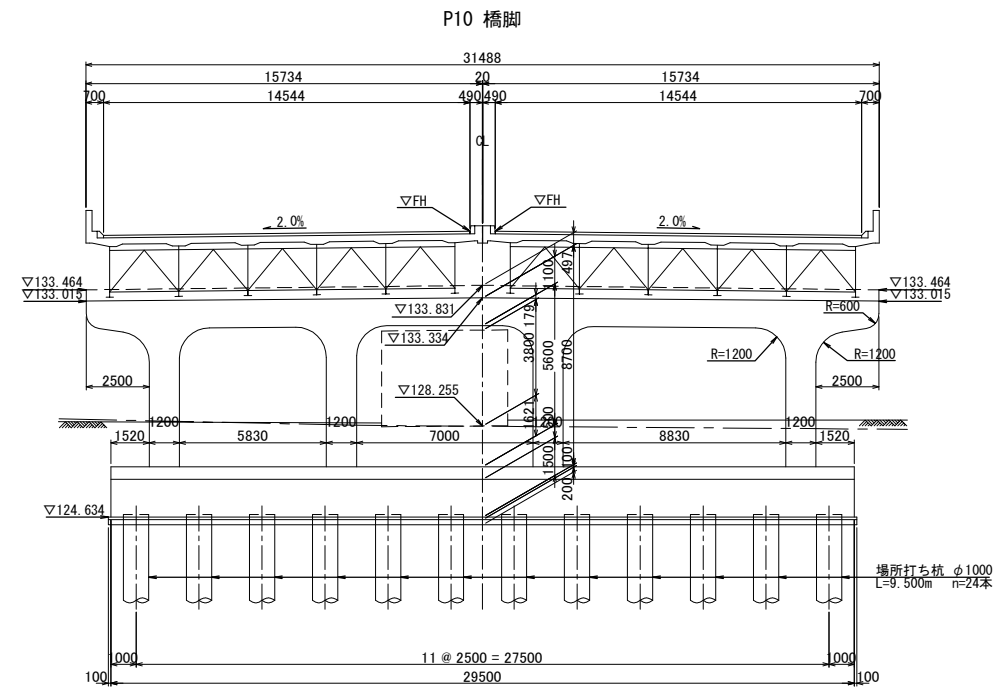
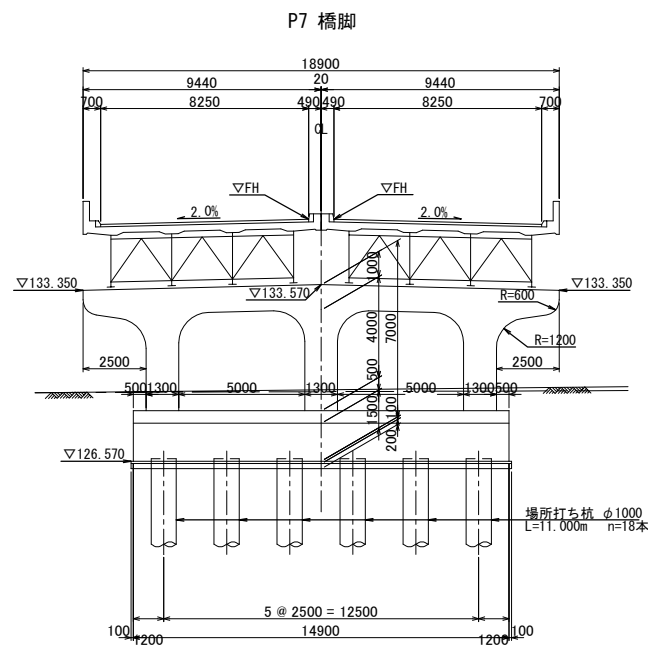
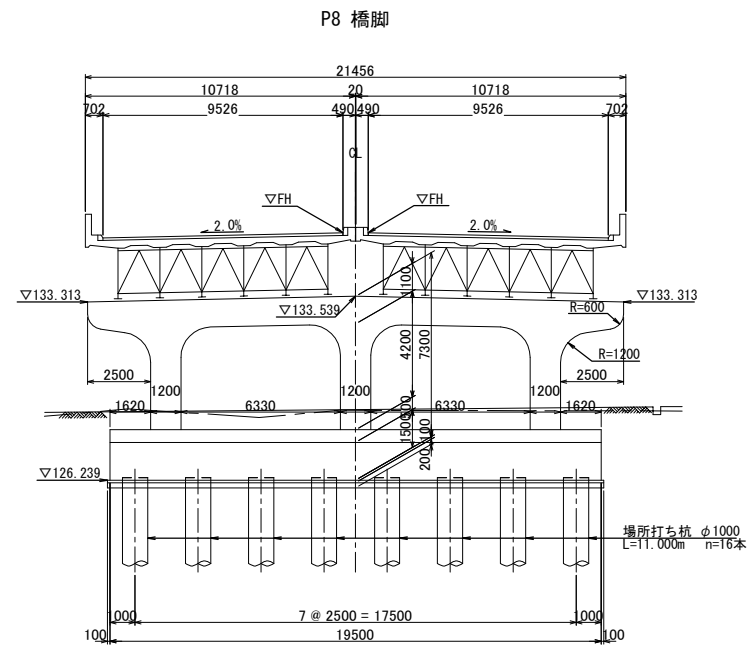
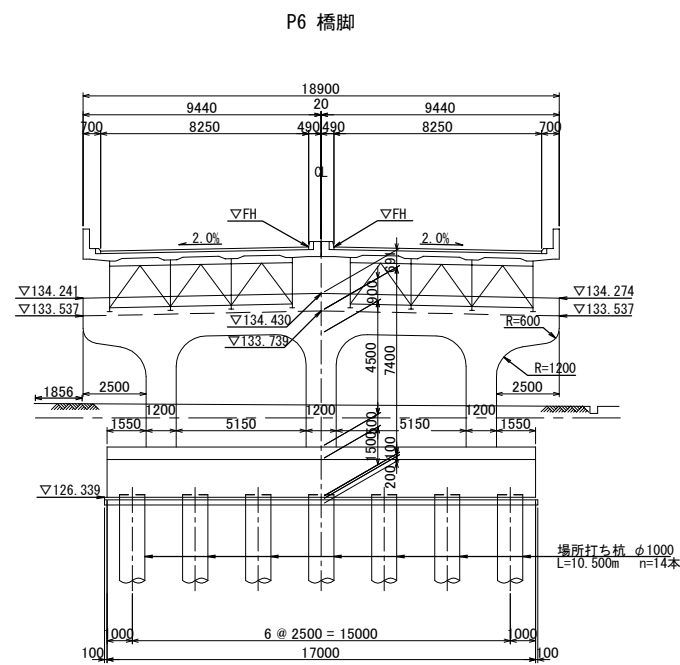
## 設計条件

橋長	139. 000m	桁長	69. 400m、69. 900m
道路区分	A規格ランプ、設計速度 V = 40Km/h		
荷重	暫定荷重 (TL-25)		
型式	上部工	3径間連続鋼钣桁、2径間連続鋼钣桁	
	下部工	3柱式ラーメン橋脚3基、4柱式ラーメン橋脚2基	
	基礎工	場所打ち杭 φ1000	
支間	34. 350m + 34. 350m		
	34. 600m + 34. 600m		
有効幅員	8. 250m + 14. 549m (片側)	斜角	90° 00' 00"
横断勾配	<u>2. 000%</u> <u>2. 000%</u>		
縦断勾配	<u>0. 291%</u>		
設計震度	水平震度 Kh = 0. 25    鉛直震度 Kv = ±0		
コンクリート	圧縮強度 σck = 240 kg/cm <sup>2</sup>		
鉄筋	材質 SD345    許容引張応力度 σsa = 1800 kg/cm <sup>2</sup>		
適用示方書	設計要領第二集 (H. 2. 7)    道路橋示方書、同解説 (H. 2. 2)		
使用材料	SS400、SM490Y		

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 橋梁一般図（その４）		
縮尺	1 : 200	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 況 管 理 車 務 所		

入間高架橋 橋梁一般図（その5）  
(P6~P10)

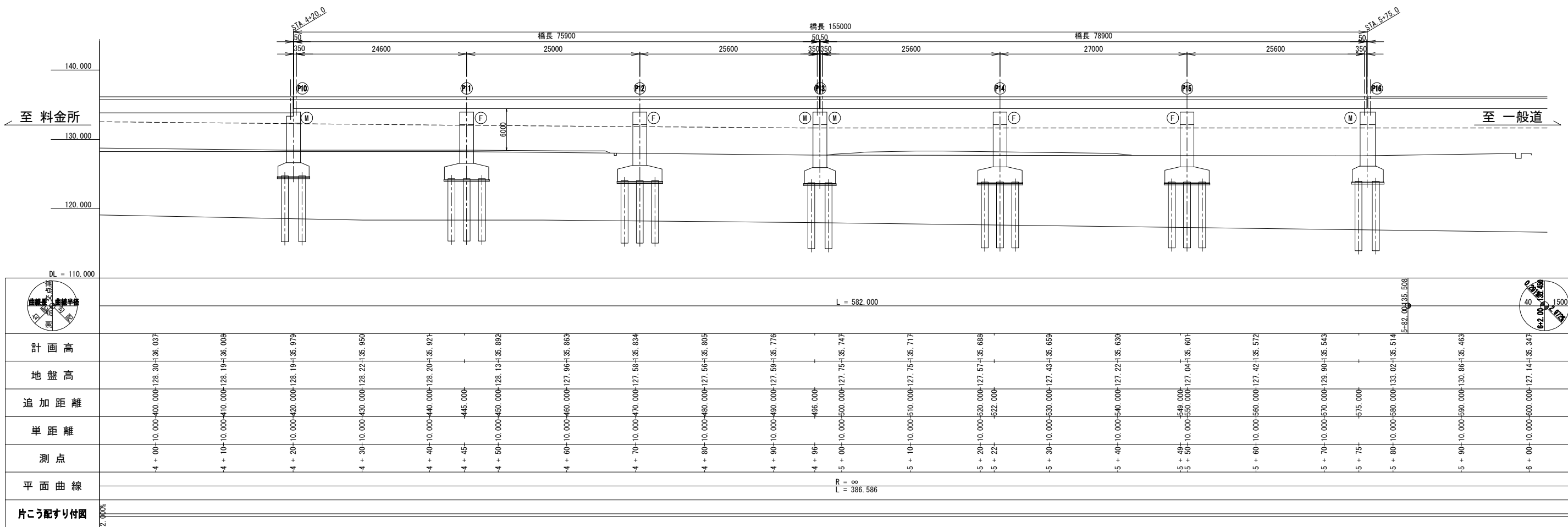
断面図 S = 1:300



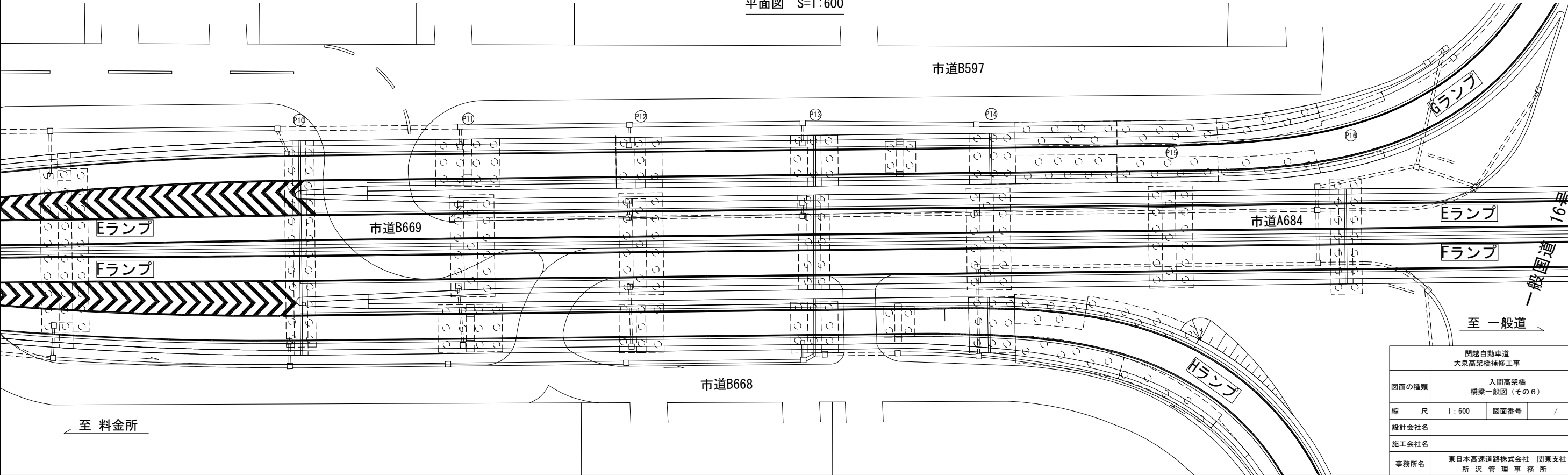
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 橋梁一般図（その5）		
縮 尺	1 : 300	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 橋梁一般図（その6）  
(P10~P16)

側面図 S=1:600



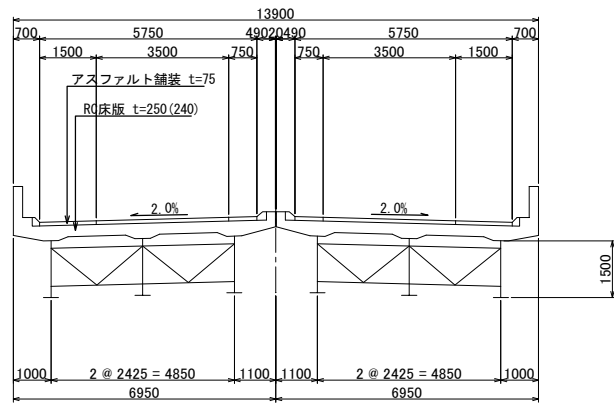
平面図 S=1:600



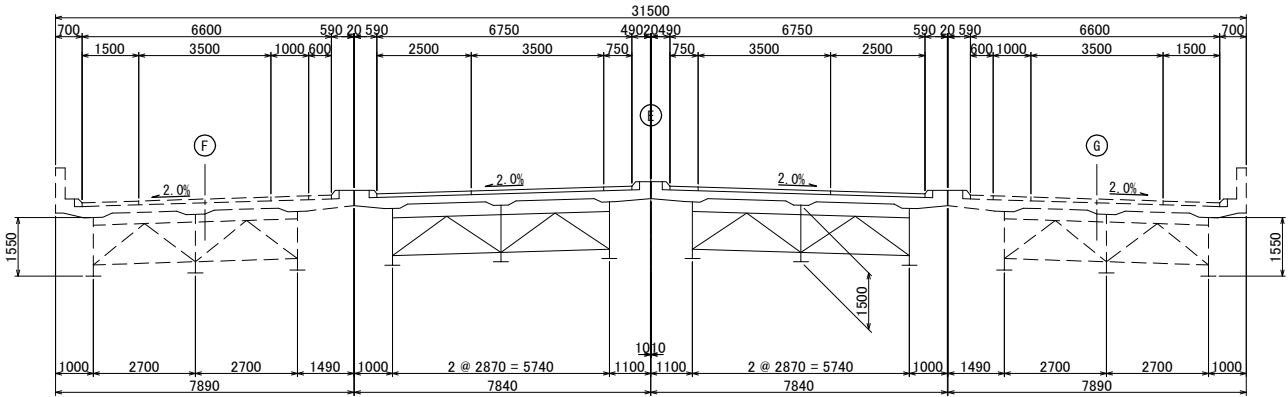
入間高架橋 橋梁一般図（その7）  
(P10~P16)

上部工断面図 s = 1:200

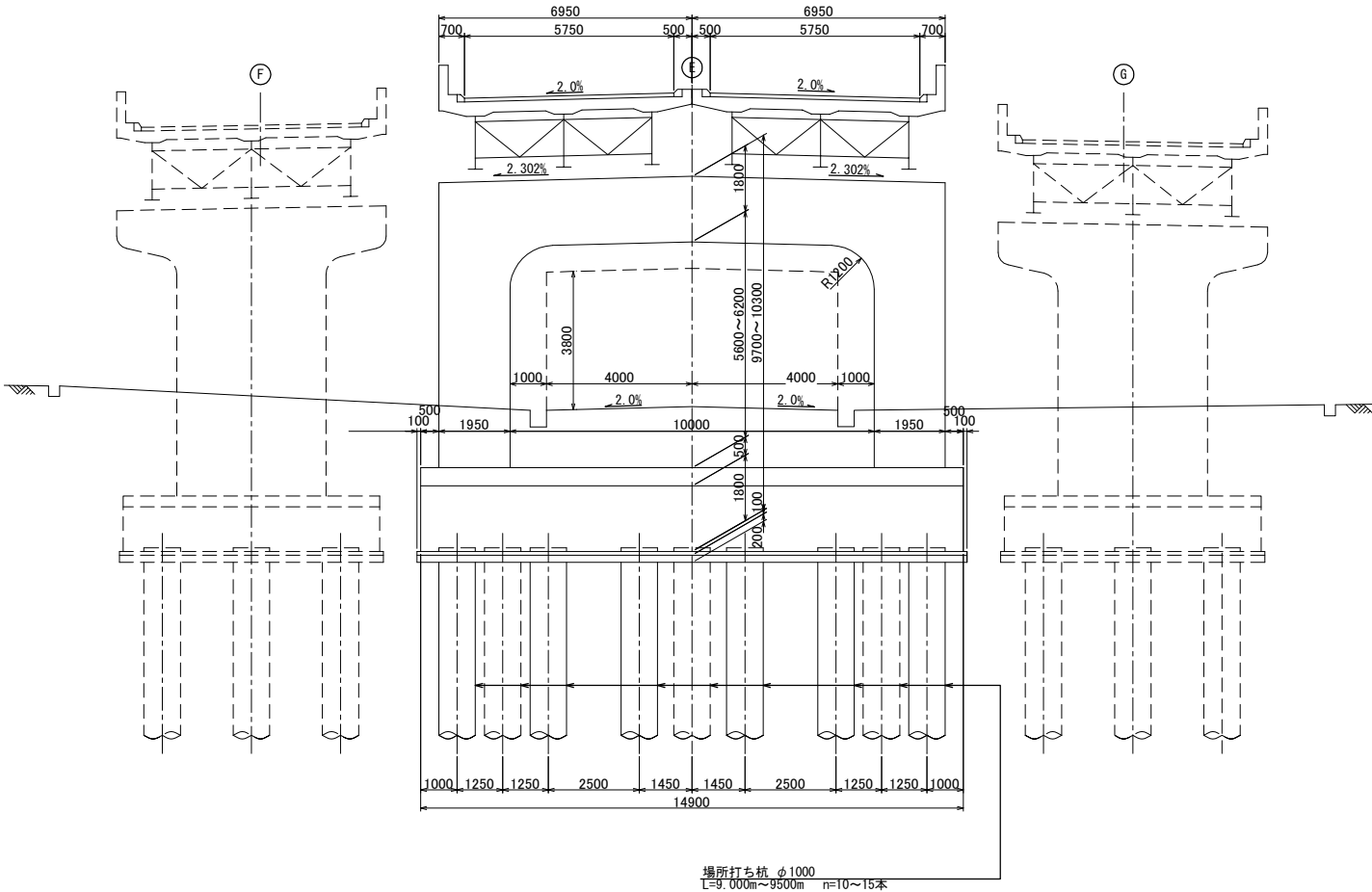
標準部



分合流ノーズ部 (STA. 4+20.0)


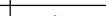


下部工断面図 s = 1:200



場所打ち杭 φ1000  
L=9.000m~9500m n=10~15本

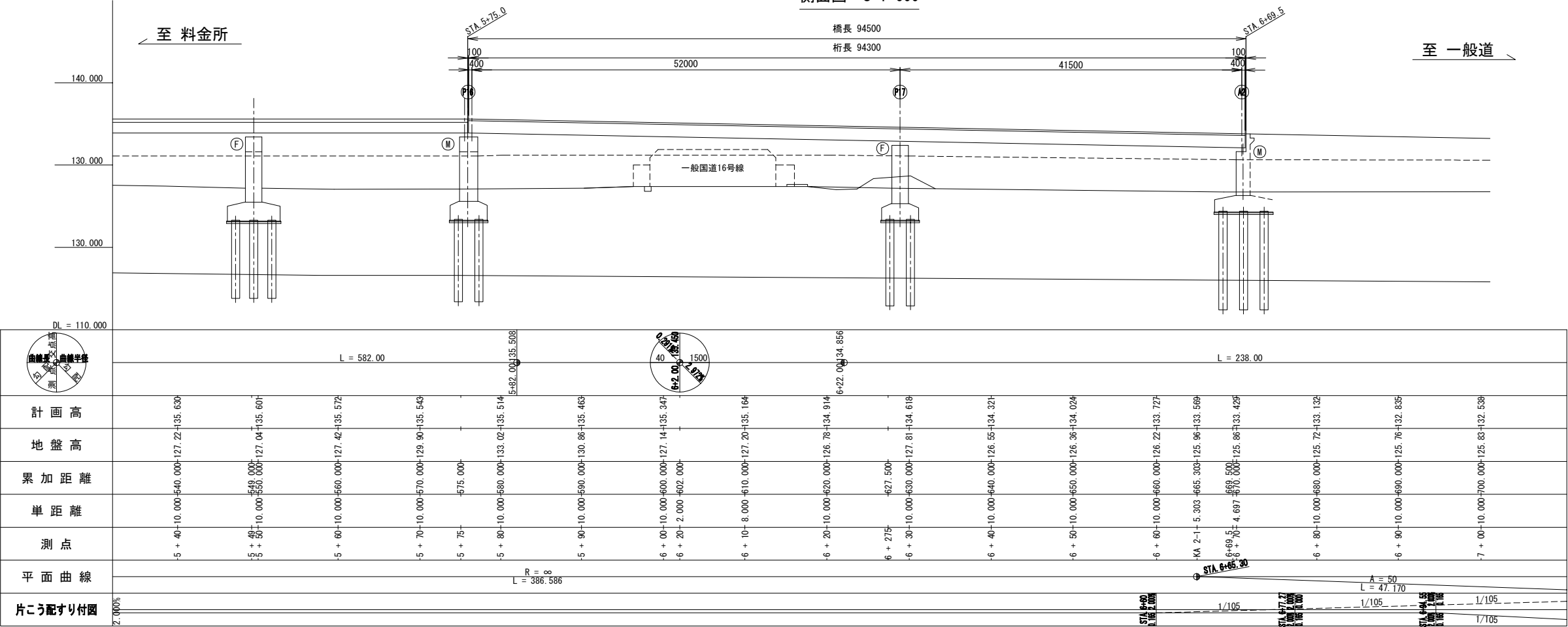
設計条件

橋長	155.000m	桁長	75.900m、78.900m
道路区分	A規格ランプ、設計速度 V = 40Km/h		
荷重	B活荷重 (TL-25)		
型式	上部工	3径間連続鋼板桁	
	下部工	2柱式ラーメンRC橋脚	
	基礎工	場所打ち杭 φ1000 (ベノト工法)	
支間	24.600m + 25.000m + 25.600m		
	25.600m + 27.000m + 25.600m		
有効幅員	5.750m ~ 6.750m	斜角	90° 00' 00"
横断勾配			
縦断勾配			
設計震度	水平震度 Kh = 0.25 鉛直震度 Kv = ±0		
コンクリート	圧縮強度 σck = 240 kg/cm		
鉄筋	材質 SD345 許容引張応力度 σsa = 1800 kg/cm		
適用示方書	設計要領第二集 (H.2.7) 道路橋示方書、同解説 (H.2.2)		
使用材料	SS400、SM490Y		

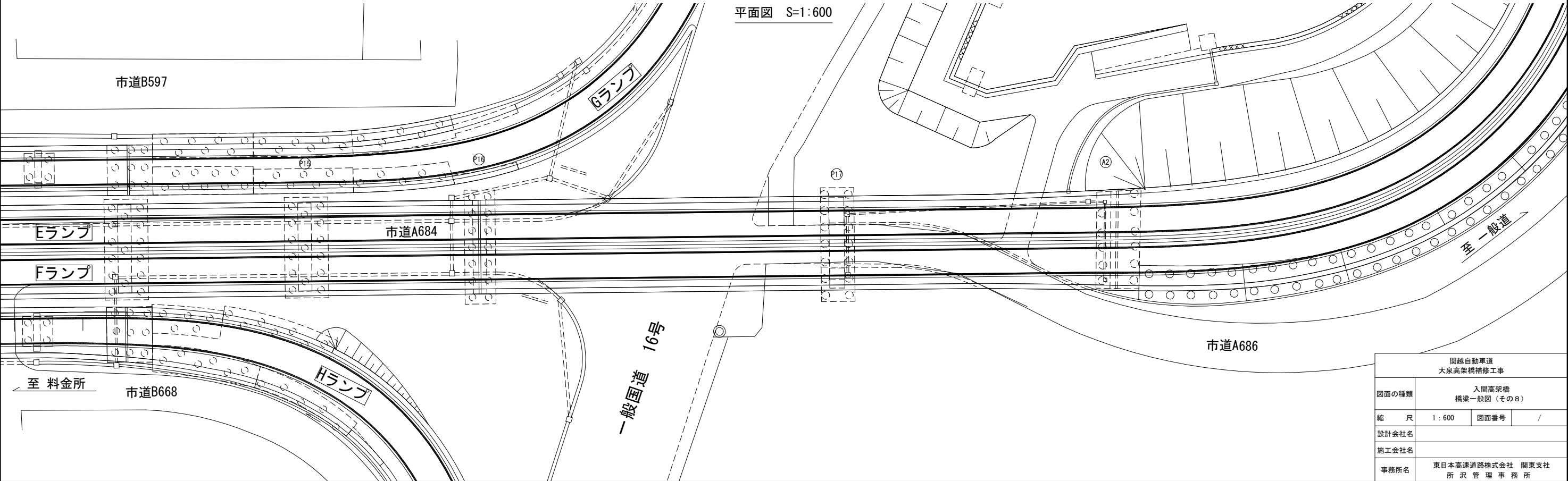
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 橋梁一般図（その7）		
縮 尺	1 : 200	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋 橋梁一般図 (その8)  
(P15~A2)

側面図 S=1:600



平面図 S=1:600

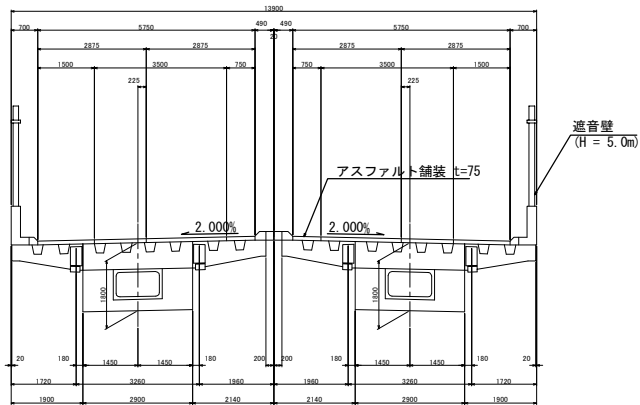


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 橋梁一般図 (その8)		
縮 尺	1 : 600	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

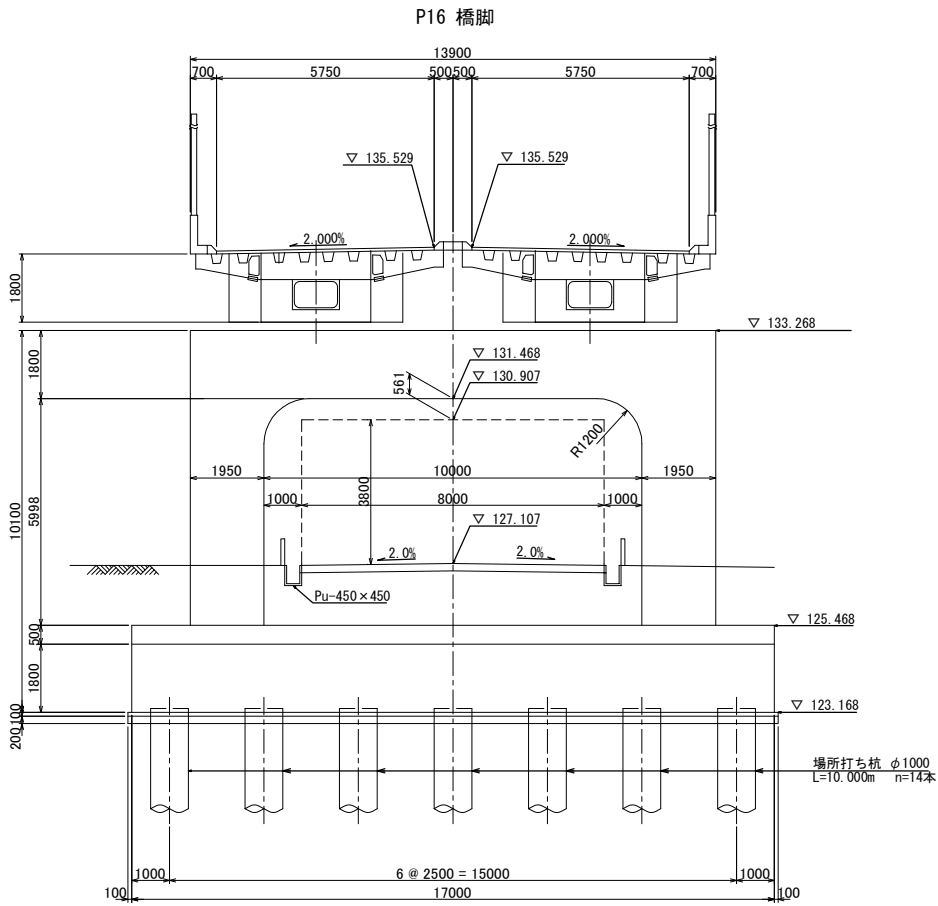


入間高架橋 橋梁一般図（その9）  
(P16~A2)

上部工断面図 S = 1:200



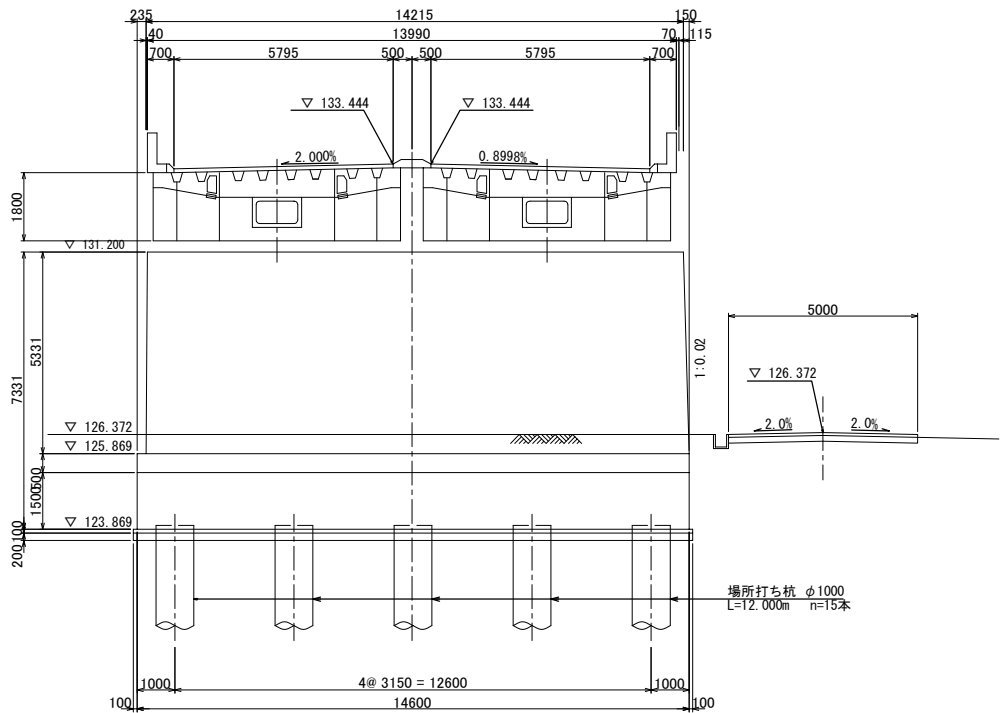
下部工断面図 S = 1:200



設計条件

橋長	94.500m	桁長	94.300m
道路区分	A規格ランプ、設計速度 V = 40Km/h		
荷重	B活荷重 (TL-25)		
型式	上部工	2径間連続鋼床版箱桁	
	下部工	2柱式ラーメンRC橋脚、逆T式橋台	
	基礎工	場所打ち杭 φ1000 (ベノト工法)	
支間	52.000m + 41.500m		
有効幅員	5.750m~5.795m+5.750m~5.795m	斜角	90° 00' 00"
横断勾配	<u>2.000% 2.000% ~ 0.8998%</u>		
縦断勾配	<u>0.291% ~ 2.972%</u>		
設計震度	水平震度 Kh = 0.25	鉛直震度 Kv = ±0	
コンクリート	圧縮強度 σck = 240 kg/cm		
鉄筋	材質 SD345	許容引張応力度 σsa = 1800 kg/cm	
適用示方書	道路橋示方書・同解説 (H. 2. 2) 設計要領第二集 (H. 2. 7)		
使用材質	SS400、SM490Y		

A2 橋台



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 橋梁一般図（その9）		
縮 尺	1 : 200	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 損傷展開図（その１）

Eランプ P9～P10

上部工・壁高欄(Eランプ)  
(10／18)

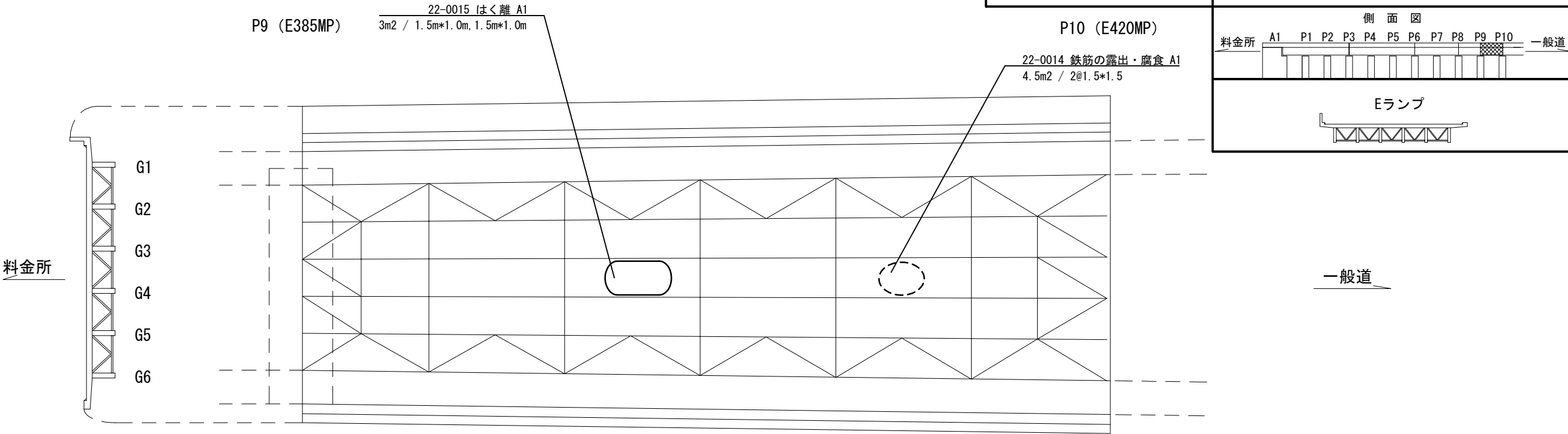
入間高架橋[2径間連続鋼鈑桁] L=544.500m  
首都圏中央連絡自動車道 所沢管理事務所 E125MP～E670MP

P10 (E420MP)

22-0014 鉄筋の露出・腐食 A1  
4.5m2 / 2@1.5\*1.5

22-0015 はく離 A1  
3m2 / 1.5m\*1.0m, 1.5m\*1.0m

P9 (E385MP)



数量表：固定足場

断面修復工 A2-2

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
Eランプ	上部工	P9～P10	22-0014	鉄筋の露出・腐食	4.50	0.07	315.0
Eランプ	上部工	P9～P10	22-0015	はく離	3.00	0.07	210.0
				小計	525.0		

コンクリートはつり工 B

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
Eランプ	上部工	P9～P10	22-0014	鉄筋の露出・腐食	4.50	0.07	0.315
Eランプ	上部工	P9～P10	22-0015	はく離	3.00	0.07	0.210
				小計	0.525		

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B2

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
Eランプ	上部工	P9～P10	22-0014	鉄筋の露出・腐食	4.5
Eランプ	上部工	P9～P10	22-0015	はく離	3.0
				小計	7.5

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類		入間高架橋 損傷展開図（その１）	
縮	尺	図面番号	/
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所	

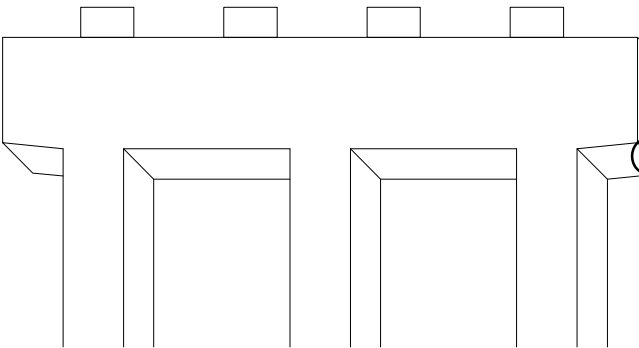
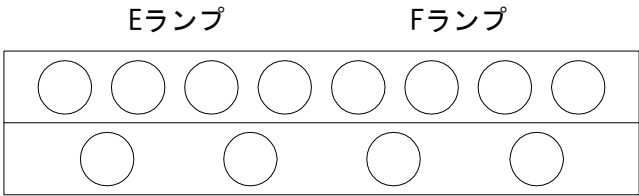
入間高架橋 損傷展開図（その2）

P6橋脚

P6橋脚

(281MP)

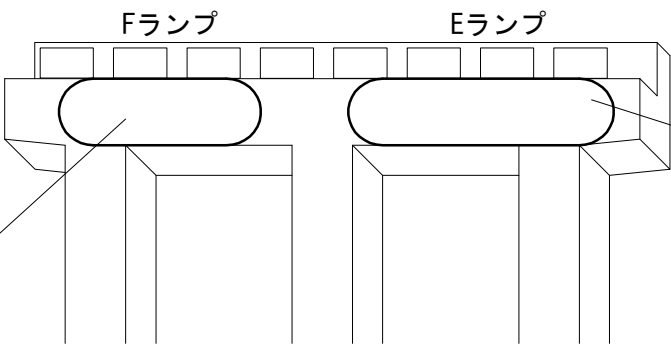
下部工・支承 (4/11)	入間高架橋[3径間連続鋼箱桁]		L=544.500m
	首都圏中央連絡自動車道 所沢管理事務所		E125MP～E670MP
支承凡例 ○ 可動 □ 固定	側 面 図		
	<div>料金所</div> <div>A1 P1 P2 P3 P4 P5 P6 P7 P8 P9 P10</div> <div>一般道</div>		



P5側より

22-0010 はく離 A1/e  
3.96m2 / 2.2m\*1.8m

22-0011 はく離 A1/e  
10.4m2 / 2.0m\*5.2m



P7側より

22-0012 はく離 A1/e  
16.38m2 / 2.1m\*7.8m

数量表：固定足場

断面修復工 A2-2

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
Fランプ	下部工	P6	22-0010	はく離	3.96	0.10	396.0
Fランプ	下部工	P6	22-0011	はく離	10.40	0.10	1040.0
Eランプ	下部工	P6	22-0012	はく離	16.38	0.10	1638.0

小計 3074.0

コンクリートはつり工 B

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
Fランプ	下部工	P6	22-0010	はく離	3.96	0.10	0.396
Fランプ	下部工	P6	22-0011	はく離	10.40	0.10	1.040
Eランプ	下部工	P6	22-0012	はく離	16.38	0.10	1.638

小計 3.074

表面保護工 コンクリート表面被覆工 B2

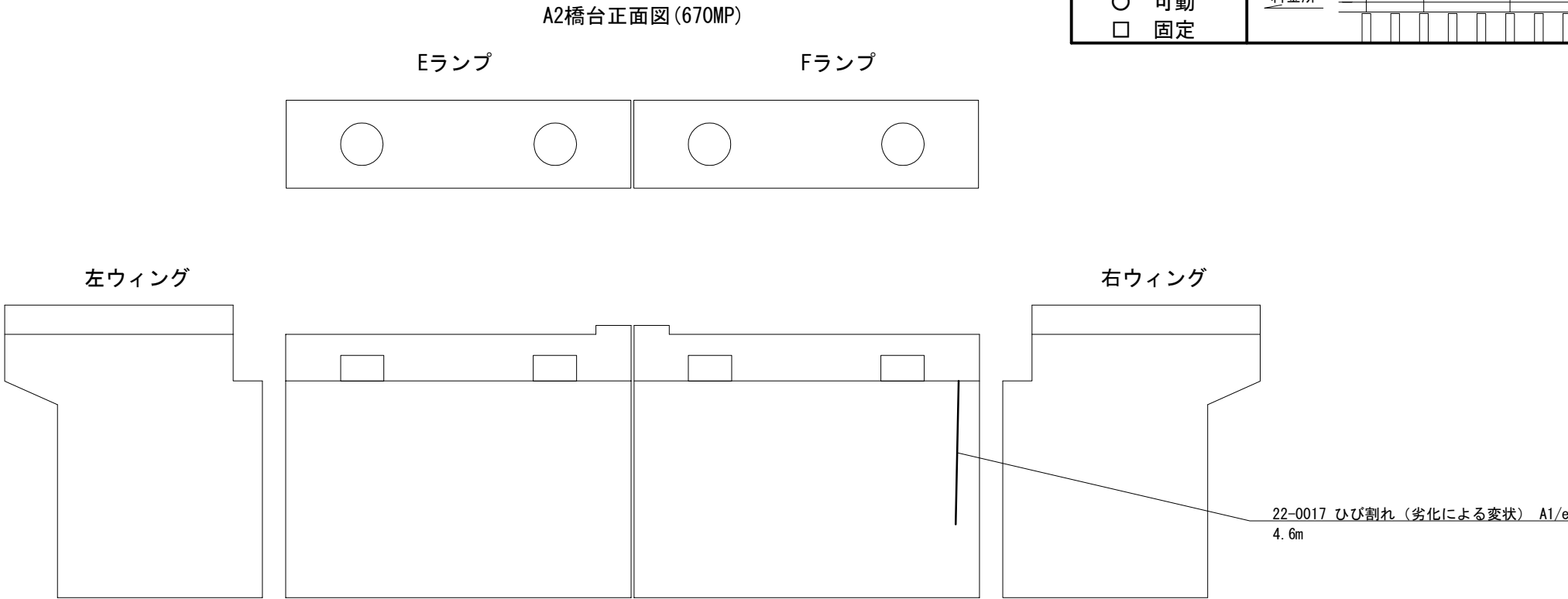
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
Fランプ	下部工	P6	22-0010	はく離	4.0
Fランプ	下部工	P6	22-0011	はく離	10.4
Eランプ	下部工	P6	22-0012	はく離	16.4

小計 30.8

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類		入間高架橋 損傷展開図（その２）	
縮	尺	図面番号	/
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所	

入間高架橋 損傷展開図（その3）  
A2橋台

下部工・支承 (11/11)	入間高架橋[2径間連続鋼箱桁]		L=544.500m
	首都圏中央連絡自動車道 所沢管理事務所		E125MP～E670MP
支承凡例 ○ 可動 □ 固定	側 面 図		
	料金所 P8 P9 P10 P11 P12 P13 P14 P15 P16 P17 A2 一般道		

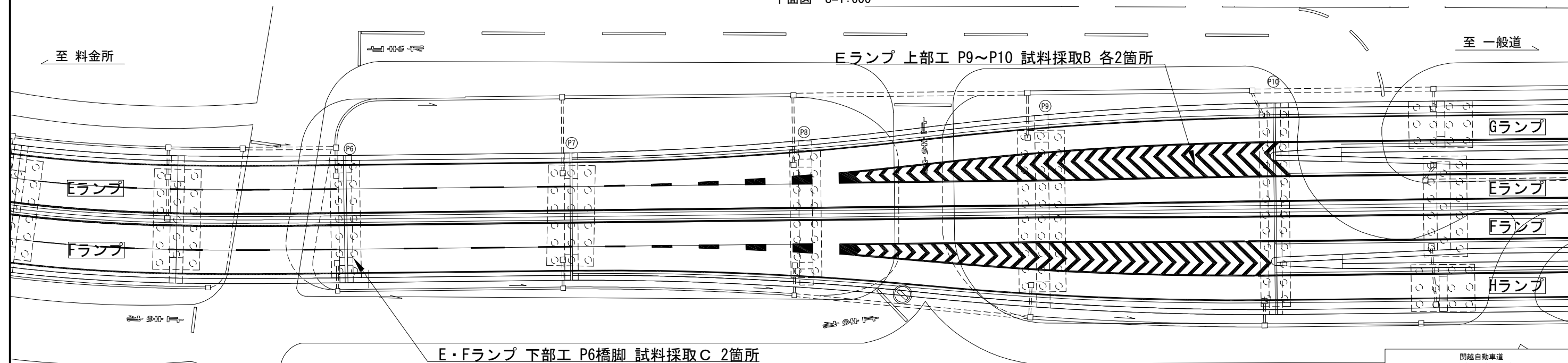
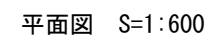


数量表：固定足場

ひび割れ充填工 A					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	数量 (m)
Fランプ	下部工	A2	22-0017	ひび割れ(劣化による変状)	4.6
小計					4.6

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類		入間高架橋 損傷展開図（その３）	
縮 尺		図面番号	/
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所	

側面図 S=1:600



数量表							
入間高架橋	区分	単位	経間	Eランプ	E・Fランプ	合計数量	備考
	試料採取B	箇所	P9～P10	2		2	上部工
	試料採取C		P6～P6		2	2	下部工

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 試料採取 位置図		
縮 尺	1 : 600	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 鋼部材補修数量総括表

新設材料数量総括表（全体）

材種	材 質	形 状	Eランプ	Fランプ	総計
PL	SM400A	16	58.9	74.6	143.5
		12	284.1	124.6	408.7
		9	43.2	51.4	94.6
	SM400A 集計		396.2	250.6	646.8
	SS400	10	2.1		2.1
		9	175.3	121.7	297.0
	SS400 集計		177.4	121.7	299.1
PL 集計			573.6	372.3	945.9
L	SS400	130* 130* 12		72.7	72.7
CT	SS400	95*152*8*8		34.6	34.6
加工質量 集計			573.6	479.6	1053.2
TCB	S10T	M 22	152.4	98.1	250.5
HTB	F10T	M 22	22.7	12.0	34.7
BOLT	SS400	M 24	6.2	3.2	9.4
		M 22	4.0	2.0	6.0
BOLT 集計			10.2	5.2	15.4
WASH	SS400	M 22	0.4	0.2	0.6
部品質量 集計			185.7	115.5	301.2
総計			759.3	595.1	1354.4

新設材料数量総括表Eランプ

(単位：kg)							
材種	材 質	形 状	G1 損傷番号 EP8-1	G1 損傷番号 EP13-1	G1 損傷番号 EP13-2	G1 損傷番号 EP16-1	総計
PL	SM400A	16	20.5	16.7	18.3	13.4	68.9
		12	56.6	74.7	63.0	79.8	284.1
		9	15.2	14.1	13.9		43.2
	SM400A 集計		102.3	105.5	95.2	93.2	396.2
	SS400	10	2.1				2.1
		9	44.2	48.0	42.2	40.9	175.3
	SS400 集計		46.3	48.0	42.2	40.9	177.4
PL 集計			148.6	153.5	137.4	134.1	573.6
加工質量 集計			148.6	153.5	137.4	134.1	573.6
TCB	S10T	M 22	38.2	39.2	31.2	43.8	152.4
HTB	F10T	M 22	6.2	5.7	5.7	5.1	22.7
BOLT	SS400	M 24	1.6	1.6	1.5	1.5	6.2
		M 22	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0
BOLT 集計			2.6	2.6	2.5	2.5	10.2
WASH	SS400	M 22	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4
部品質量 集計			47.1	47.6	39.5	51.5	185.7
総計			195.7	201.1	176.9	185.6	759.3

新設材料数量総括表Fランプ

(単位：kg)						
材種	材 質	形 状	G1 損傷番号 FP10-1	S2 損傷番号 FP10-2	G1 損傷番号 FP16-1	総計
PL	SM400A	16	56.3		18.3	74.6
		12	54.4		70.2	124.6
		9		37.5	13.9	51.4
	SM400A 集計		110.7	37.5	102.4	250.6
	SS400	9	52.0	26.7	43.0	121.7
PL 集計			162.7	64.2	145.4	372.3
L	SS400	130* 130* 12		72.7		72.7
CT	SS400	95*152*8*8		34.6		34.6
加工質量 集計			162.7	171.5	145.4	479.6
TCB	S10T	M 22	32.2	30.8	35.1	98.1
HTB	F10T	M 22	6.3		5.7	12.0
BOLT	SS400	M 24	1.7		1.5	3.2
		M 22	1.0		1.0	2.0
BOLT 集計			2.7		2.5	5.2
WASH	SS400	M 22	0.1		0.1	0.2
部品質量 集計			41.3	30.8	43.4	115.5
総計			204.0	202.3	188.8	595.1

塗装数量総括表

上下線別	損傷番号	塗替塗装系(m2)				新設塗装系(m2)					合計 (m2)	
		c-3-(1)	g-3-(1)	境界部 c-3-(4)		計	C5	F3	J	F11		計
				塗替塗装	当て板補修等							
Eランプ	EP3-1	1.70		0.36		2.06						2.06
	EP8-1	0.11		0.02	0.25	0.38	0.16	1.07	2.51	0.47	4.21	4.59
	EP10-1	0.17	0.03	0.01		0.21						0.21
	EP13-1				0.26	0.26	0.13	1.12	2.63	0.47	4.35	4.61
	EP13-2				0.25	0.25	0.13	1.00	2.35	0.40	3.88	4.13
	EP16-1	0.08		0.06	0.29	0.43		1.06	2.24	0.50	3.80	4.23
	計	2.06	0.03	0.45	1.05	3.59	0.42	4.25	9.73	1.84	16.24	19.83
Fランプ	FP3-1	0.69		0.40		1.09						1.09
	FP6-1	0.30		0.24		0.54						0.54
	FP10-1	0.16		0.08	0.29	0.53		1.09	2.71	0.41	4.21	4.74
	FP10-2	0.08	0.02	0.04		0.14	2.95	1.03	0.66	0.30	4.94	5.08
	FP16-1	0.06		0.06	0.26	0.38	0.13	1.07	2.44	0.43	4.07	4.45
	計	1.29	0.02	0.82	0.55	2.68	3.08	3.19	5.81	1.14	13.22	15.90
	合計	3.35	0.05	1.27	1.60	6.27	3.50	7.44	15.54	2.98	29.46	35.73

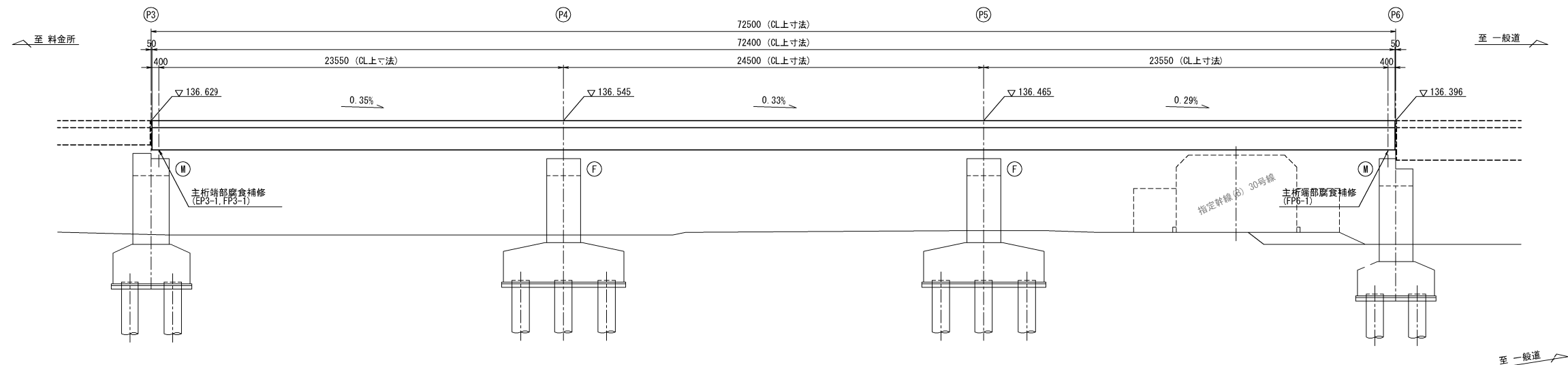
ボルト本数数量総括表

材種	材質	断 面	Eランプ				Fランプ			総計
			G1 損傷番号 EP8-1	G1 損傷番号 EP13-1	G1 損傷番号 EP13-2	G1 損傷番号 EP16-1	G1 損傷番号 FP10-1	S2 損傷番号 FP10-2	G1 損傷番号 FP16-1	
TCB	S10T	M 22* 105	7				7			14
		M 22* 100	12	6	6	4		12	6	46
		M 22* 95		12	12	13			12	49
		M 22* 90	20	18	12	26	28		15	119
		M 22* 70		23			22			45
		M 22* 65	14		15	36		6	19	90
		M 22* 60		4				26		30
		M 22* 55	16	8	12			16	12	64
TCB 集計			68	71	57	79	57	60	64	457
HTB	F10T	M 22* 110	1				1			2
		M 22* 105		1	1	1			1	4
		M 22* 75		5			6			11
		M 22* 70	6	4	5	4	4		5	28
		M 22* 65	4		4	4			4	16
		HTB 集計			11	10	10	9	11	
BOLT	SS400	M 24* 90					4			4
		M 24* 85	4	4						8
		M 24* 80			4	4			4	12
		M 22* 55	4	4	4	4	4		4	24
		BOLT 集計			8	8	8	8		8
総計			88	89	75	96	76	60	82	566

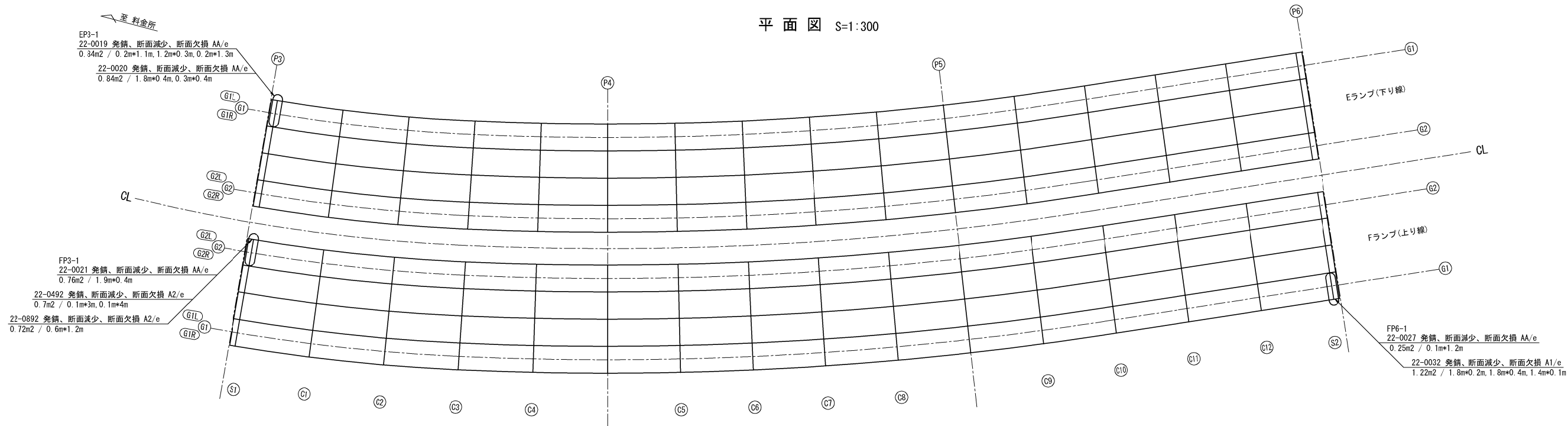
関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 鋼部材補修数量総括表		
	縮 尺	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 鋼部材補修一般図（その1）  
Eランプ・Fランプ  
P3 ~ P6

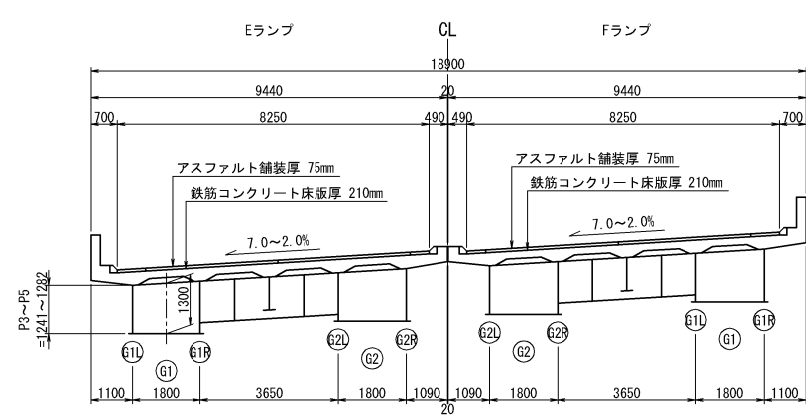
側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



断面図 S=1:200



鋼部材の補修

ランプ	番号	部位	鋼板当て 板補修	対傾構・ 横構取替	塗装 補修	備 考
E	EP3-1	主桁端部			○	切断仕上げ
F	FP3-1	主桁端部			○	切断仕上げ
	FP6-1	主桁端部			○	切断仕上げ
合計箇所数			—	—	3ヶ所	

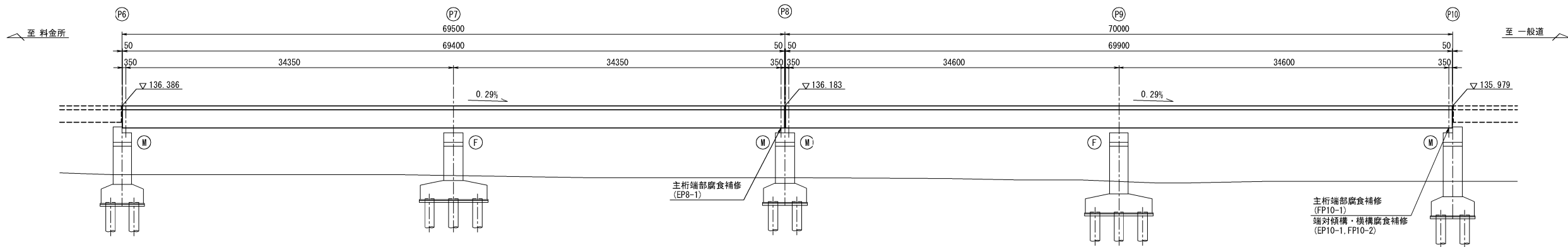
関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 鋼部材補修一般図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 鋼部材補修一般図（その2）

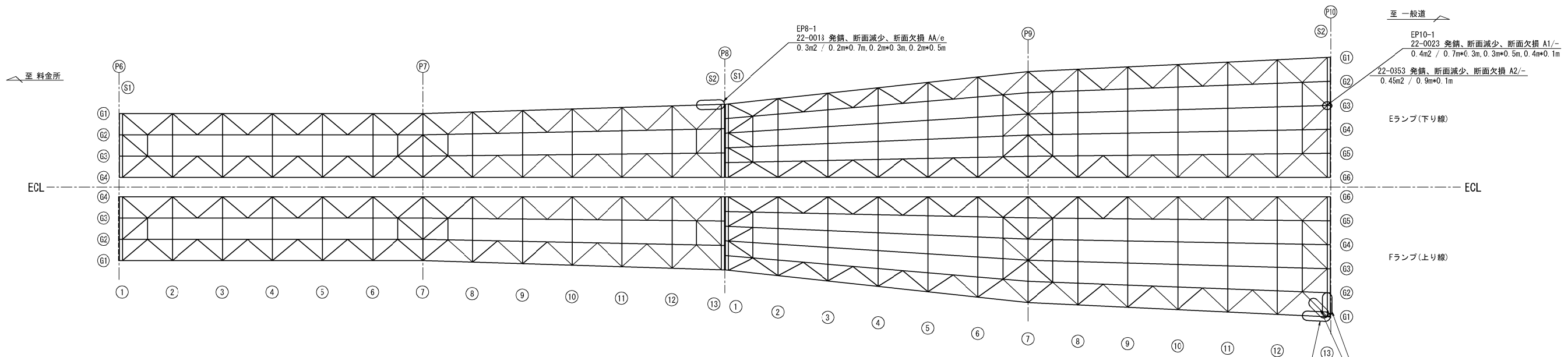
Eランプ・Fランプ

P6 ~ P8 ~ P10

側面図 S=1:500

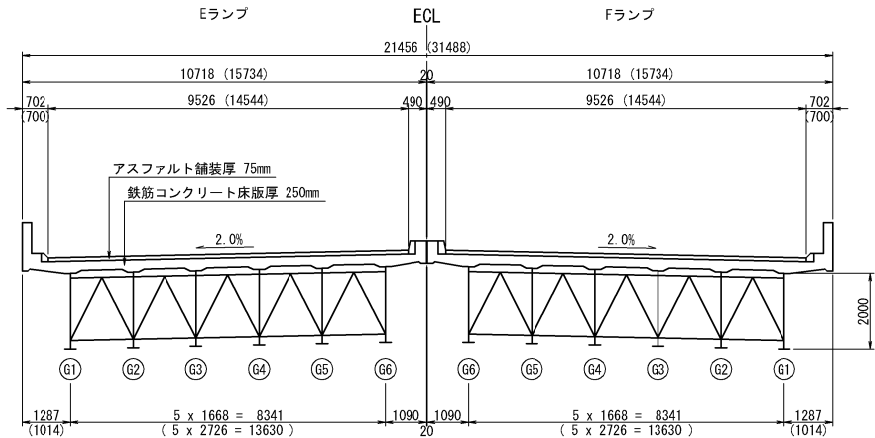


平面図 S=1:500



断面図 S=1:200

P8(P10) 支点上



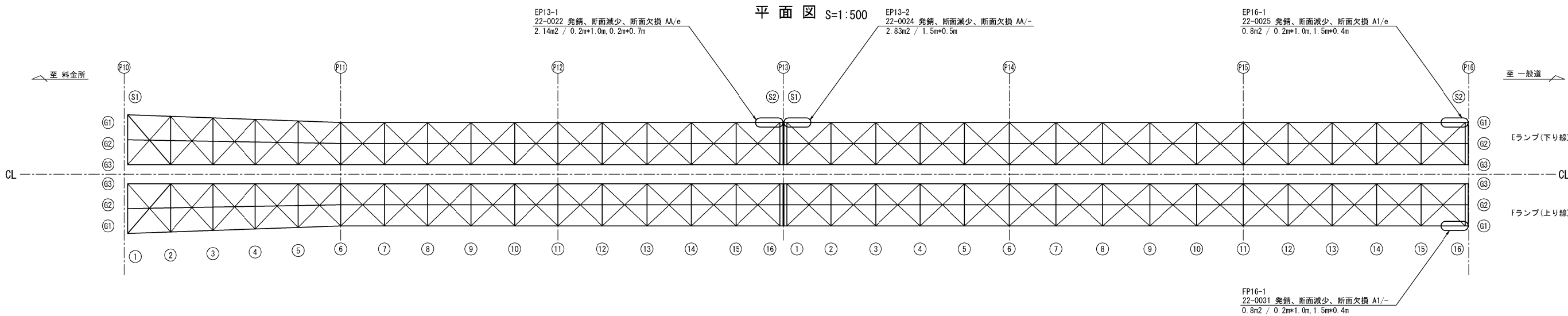
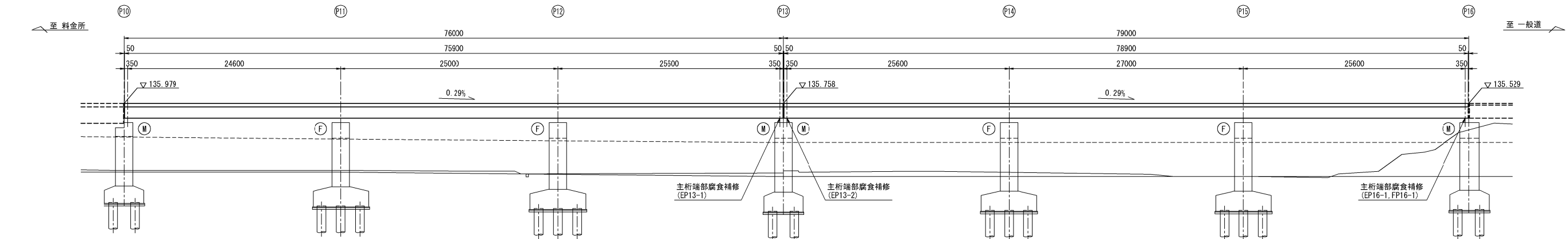
鋼部材の補修

ランプ	番号	部位	鋼板当て 板補修	対傾構・ 横構取替	塗装 補修	備 考
E	EP8-1	主桁端部	○		○	ガセットプレート取替え
	EP10-1	端対傾構・横構			○	切断仕上げ
F	FP10-1	主桁端部	○		○	
	FP10-2	端対傾構・横構		○	○	ガセットプレート取替え
合計箇所数			2ヶ所	1ヶ所	4ヶ所	

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 鋼部材補修一般図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

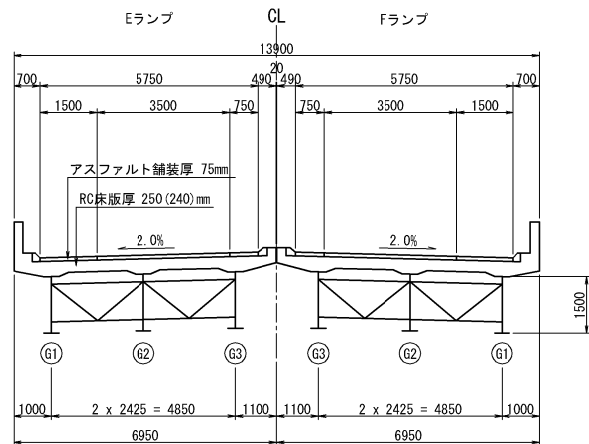


入間高架橋 鋼部材補修一般図（その3）  
Eランプ・Fランプ  
P10 ~ P13 ~ P16  
側面図 S=1:500



断面図 S=1:200

P10~P13 (P13~P16) 標準部

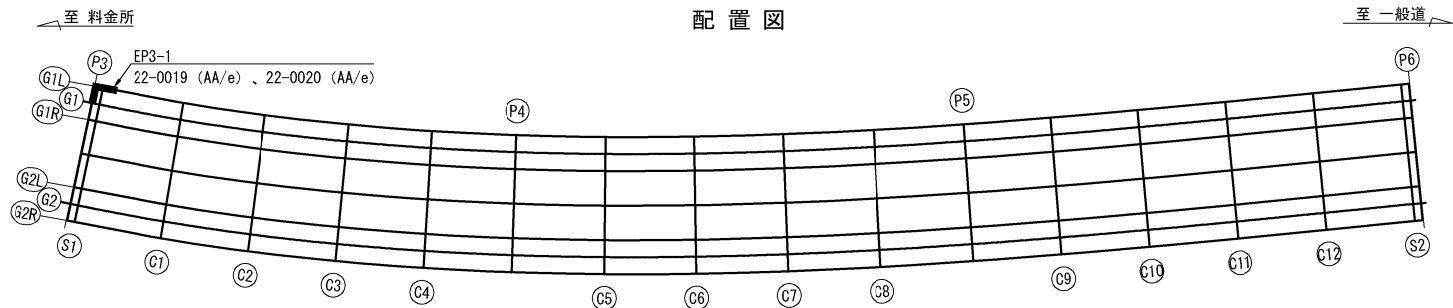
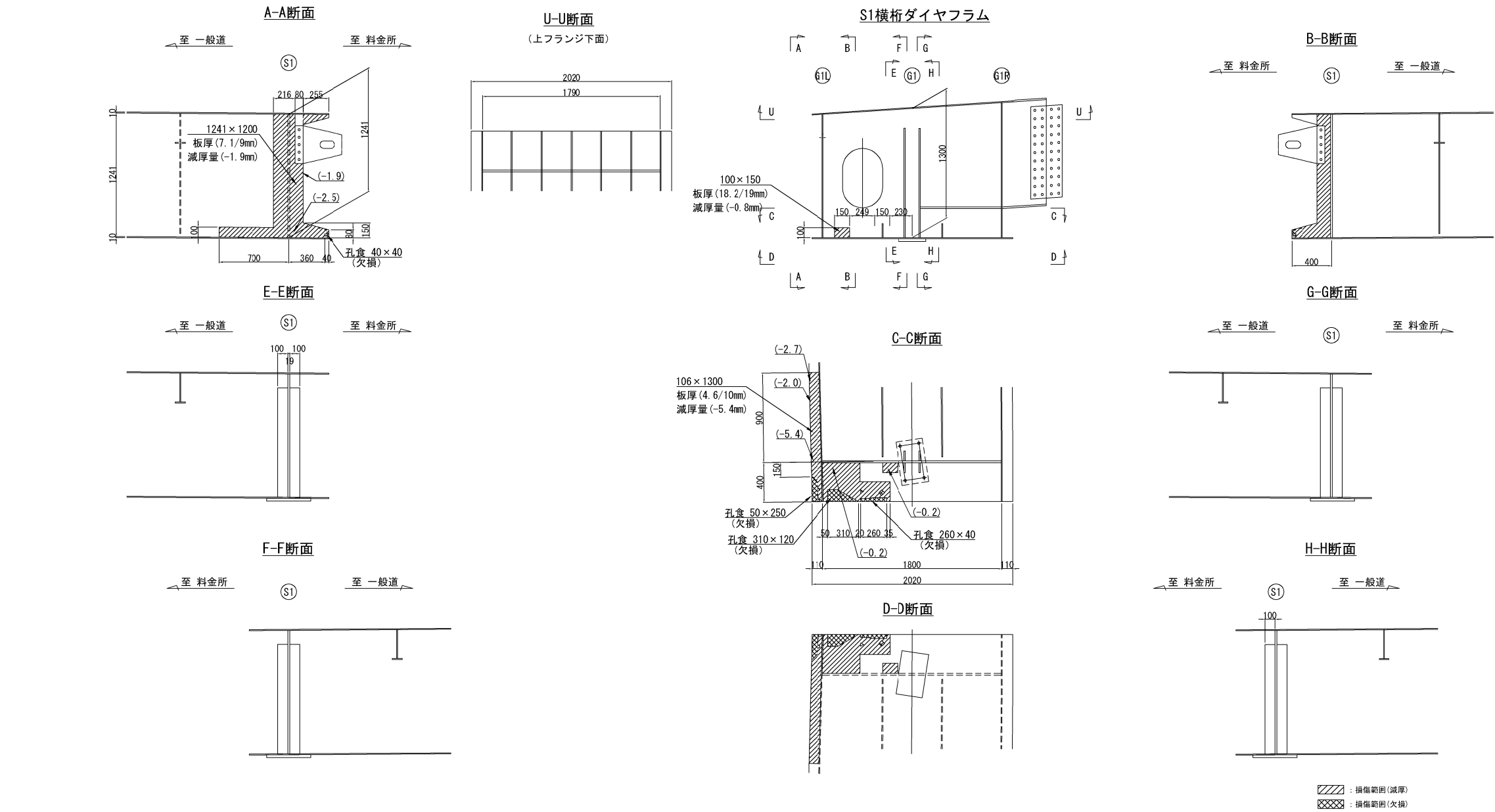


鋼部材の補修

ランプ	番号	部位	鋼板当て 板補修	対傾構・ 横構取替	塗装 補修	備 考
E	EP13-1	主桁端部	○			ガセットプレート取替え
	EP13-2	主桁端部	○			ガセットプレート取替え
	EP16-1	主桁端部	○		○	
F	FP16-1	主桁端部	○		○	ガセットプレート取替え
合計箇所数			4ヶ所	—	2ヶ所	

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 鋼部材補修一般図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 損傷位置図 (EP3-1) S=1:50  
(Eランプ) G1主桁 P3 (P4側)



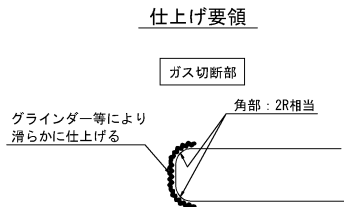
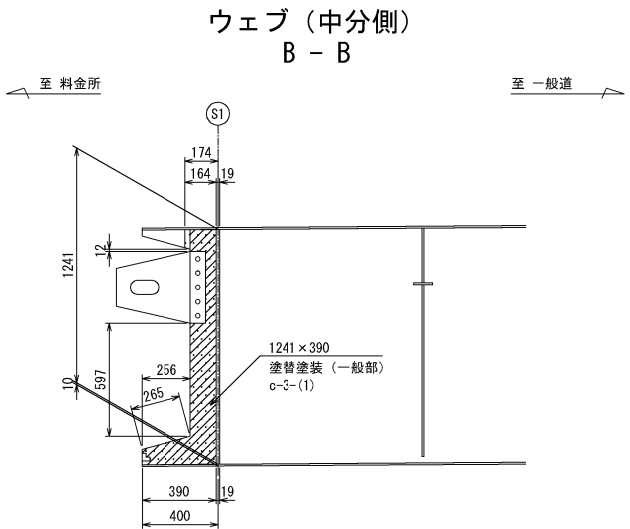
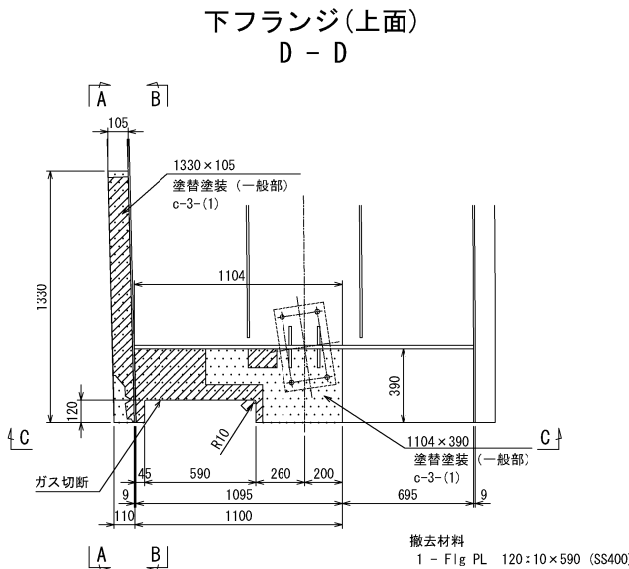
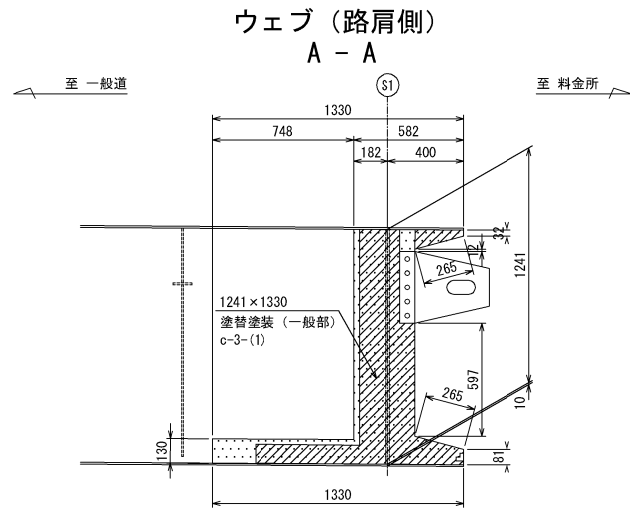
塗替塗装 (極小部)		塗替塗装 (一般部) c-3-(1) w		(1.70m2当り)	
項目	細目	単位	数量	備考	
塗替塗装	c-3 素地調整程度1種相当	m2	1.70	最終下塗り1層増し塗り	
	境界部 素地調整程度4種	m2	0.36	既存塗膜との境界部	
鋼部材撤去	L-Flg ガス切断 (t=10mm)	m	0.8	グラインダー仕上げ	
	撤去材 PL 120*10*590	kg	5.6		

塗替塗装 曲面加工 (R面取り)		単位	数量	備考
項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	曲面加工 (R面取り)	m	6.1	

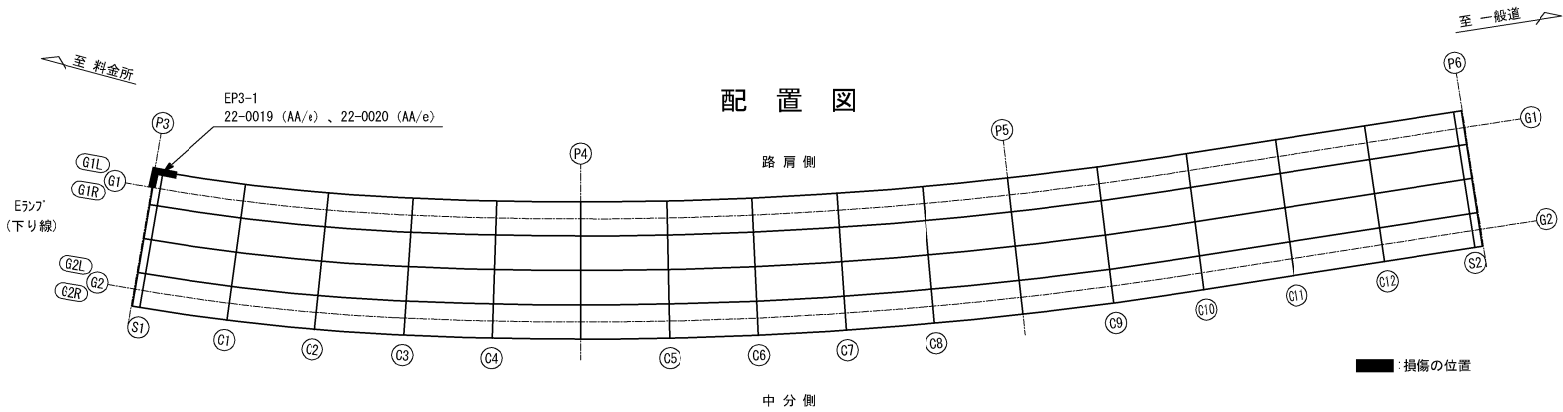
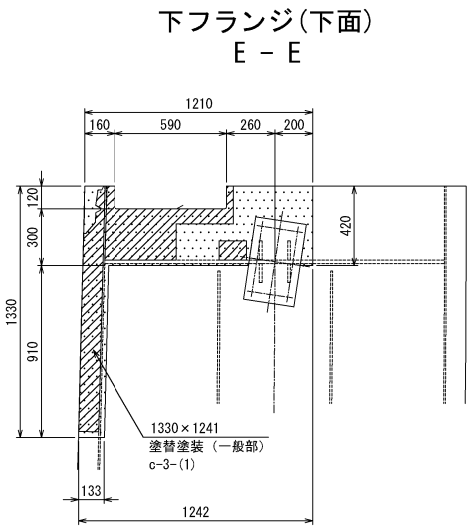
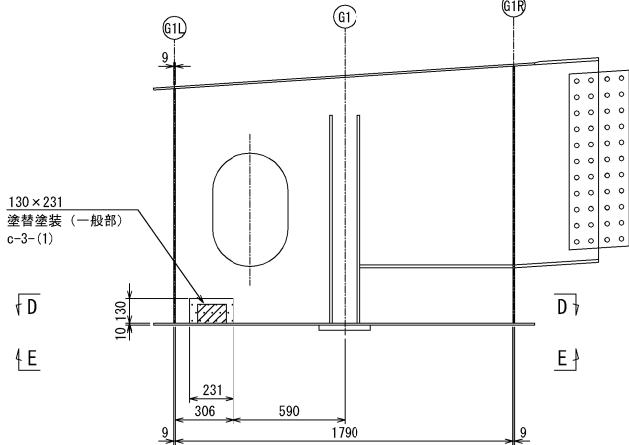
関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (EP3-1) (Eランプ) G1主桁 P3 (P4側)		
	縮 尺	1:50	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋Eランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図 (EP3-1) S=1:40  
〈P3-P6〉

S1-S2間 G1桁 損傷番号EP3-1



S1 横桁ダイアフラム (P2側)  
C - C



凡 例

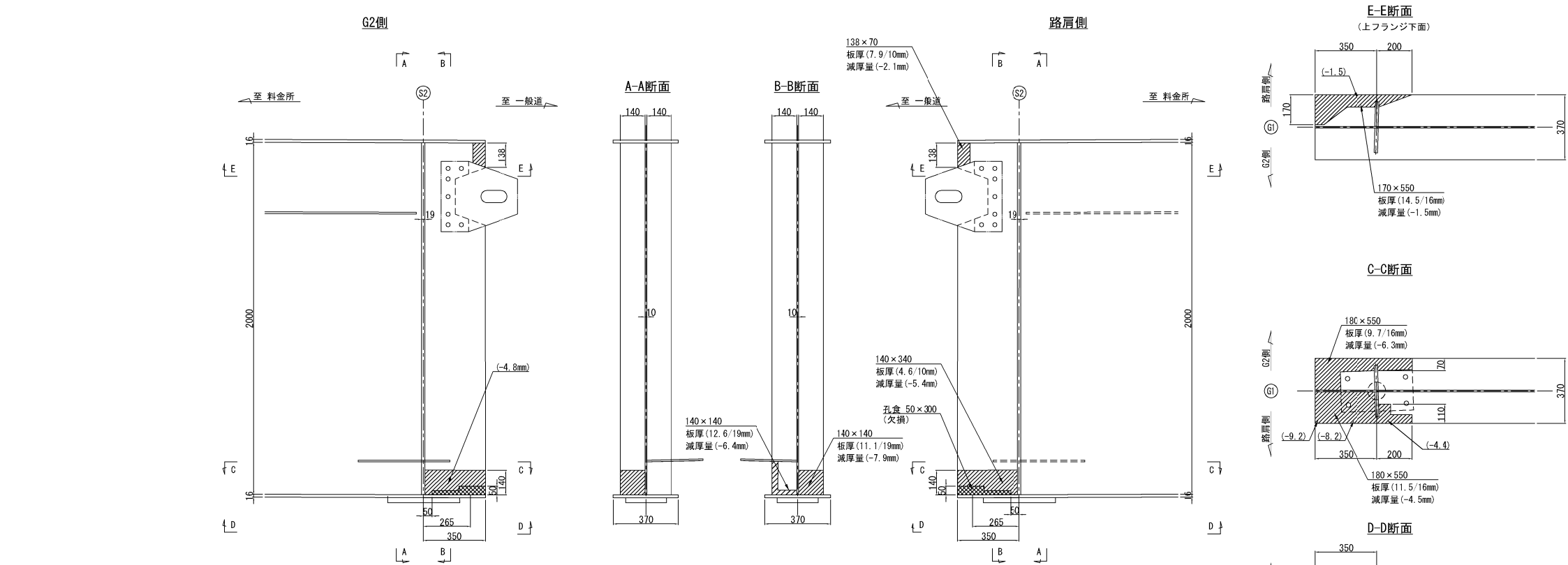
- 錆・腐食範囲
- 1種ケレン相当

注記

- 実際の施工法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
- 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Eランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図 (EP3-1)		
	縮 尺	1:40	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	所 沢 管 理 事 務 所		

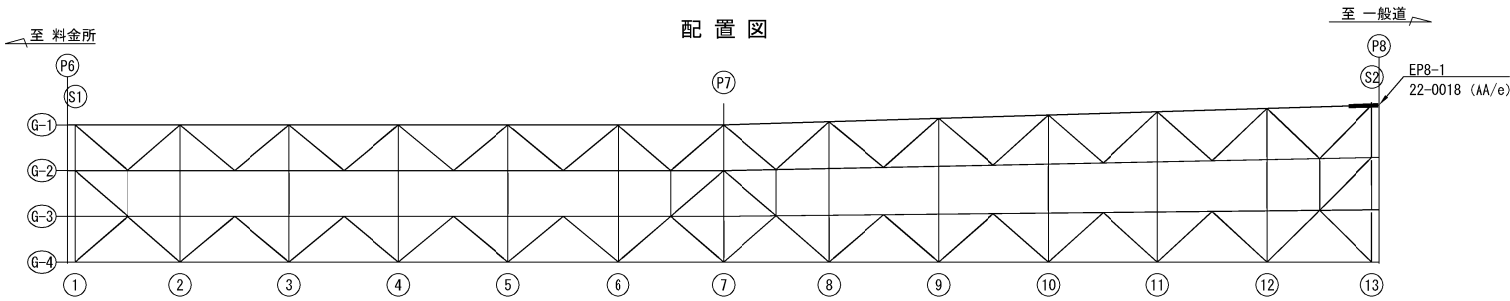
入間高架橋 損傷位置図 (EP8-1) S=1:30  
(Eランプ) G1主桁 P8 (P7側)



鋼部材補修工 EP8-1 (195.7kg当り)				
項目	細目	単位	数量	備考
当て板補修	製作、購入重量	PL, TCB, HTB, BOLT	kg	172.9
	高力ボルト	TCB S10T M22	本	53
		HTB F10T M22	本	11
	タップボルト	BOLT WASH M22*55	本	4 タッピング後ボルト設置
	セットボルト	BOLT M24*85	本	4
	現場孔明	PL t=10mm、Φ=24.5mm	箇所	28 既設Web
		PL t=16mm、Φ=24.5mm	箇所	24 既設L-Flg
		PL t=19mm、Φ=24.5mm	箇所	6 既設V-Stiff
		タップボルト 深さ45mm、Φ=19.5mm	箇所	4 既設L-Flg、Sole PL、上沓
	不陸修正	エポキシ樹脂接着剤	L	0.9 腐食減肉部充填
	シーリング	シリコーン系 クラス25 低モジュラス	L	1.5 JIS A 5758
横構Guss PL取替	製作、購入重量	PL, TCB	kg	22.8
	高力ボルト	TCB S10T M22*55	本	16 G2側の既設部材を含む
	現場孔明	Guss PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	8
鋼部材撤去	Web PL	ガス切断 (t=10mm)	m	0.7 グラインダー仕上げ
		撤去材 PL 100*10*305	kg	2.4
	Guss PL	ガス切断 (t=9mm)	m	0.4 グラインダー仕上げ
		撤去材 PL 347*9*520, TCB	kg	20.3
塗膜除去	セットボルト	撤去材 M24*70	kg	1.4
	当て板部	当て板補修図(その1)注記参照	m2	0.86
塗装(新設部材)	既設部材	素地調整程度2種	m2	0.06 高力ボルト接合部(接触面)
		C5 Guss PL	m2	0.16 最終下塗り1層増し塗り
		F3 PL, Guss PL, Fill PL	m2	1.07 最終下塗り1層増し塗り
		J PL, Guss PL, Fill PL	m2	2.51 高力ボルト接合部(接触面)
		Fill TCB, HTB, BOLT	m2	0.47 ボルト頭部
	境界部	素地調整程度4種	m2	0.25 既存塗膜との境界部の処理

塗替塗装 (極小部) 塗替塗装 (一般部) c-3-(1)w (0.11m2当り)				
項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	C-3 素地調整程度1種相当	m2	0.11	最終下塗り1層増し塗り
	境界部 素地調整程度4種	m2	0.02	既存塗膜との境界部

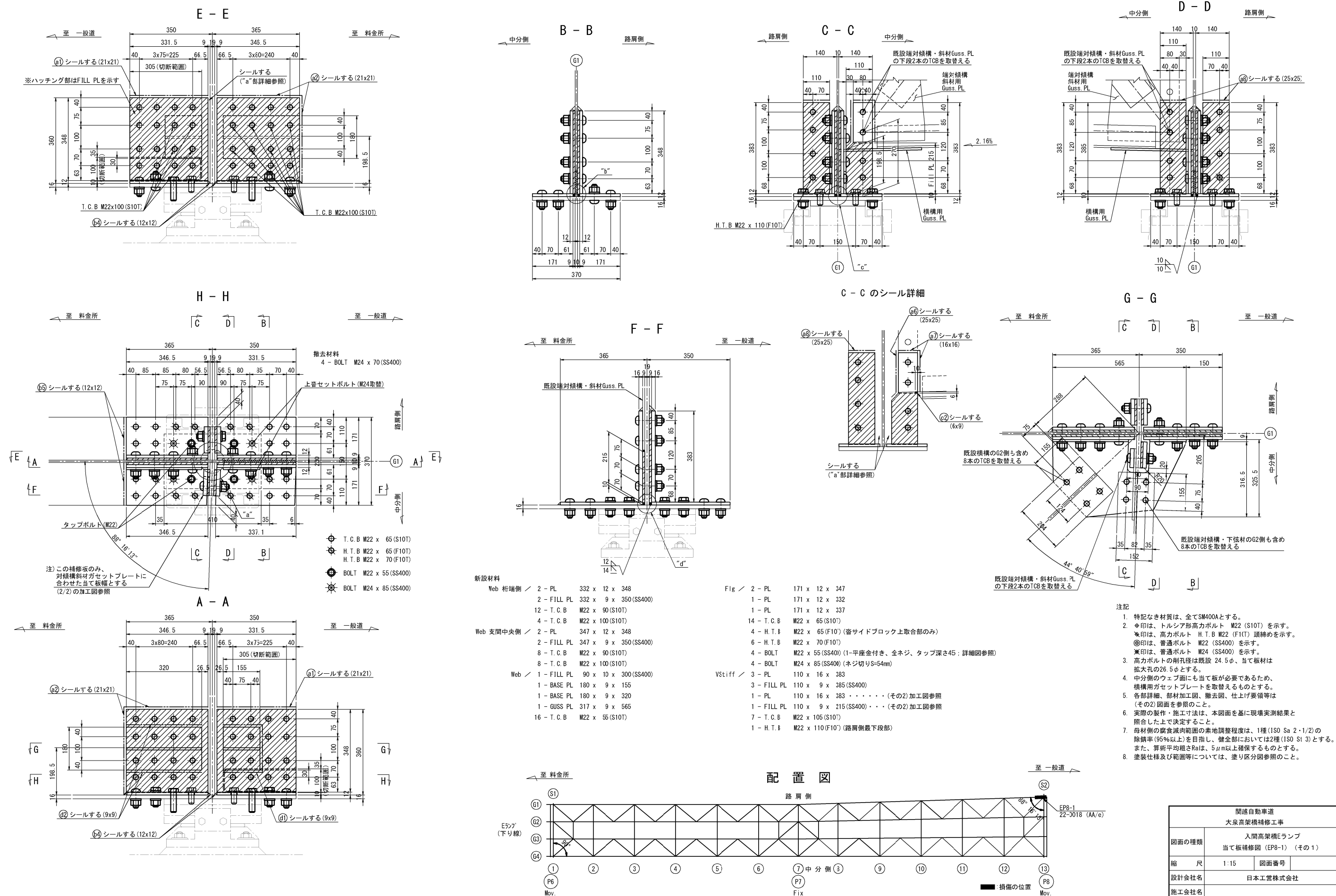
塗替塗装 曲面加工 (R面取り)				
項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	曲面加工 (R面取り)	m	1.0	



関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (EP8-1) (Eランプ) G1主桁 P8 (P7側)		
縮尺	1:30	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP8-1) (その1) S=1:15

P8上 G1桁 損傷番号 EP8-1 (1/2)

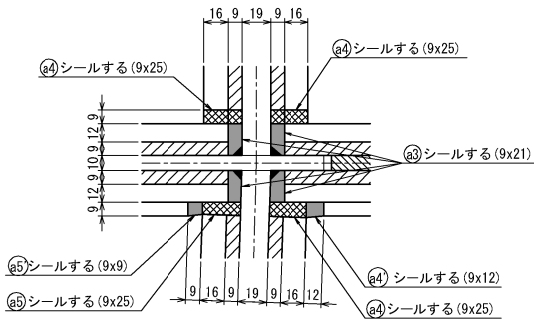


<p align="center"><b>関越自動車道</b> 大泉高架橋補修工事</p>			
図面の種類	<p align="center">入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP8-1) (その1)</p>		
縮 尺	1 : 15	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	<p align="center">東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所</p>		

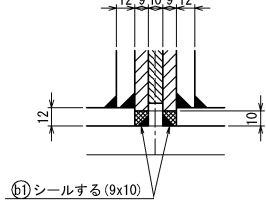
入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP8-1) (その2)

P8上 G1桁 損傷番号 EP8-1 (2/2)

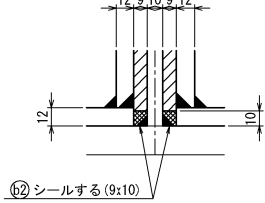
“a”部詳細 S=1:5



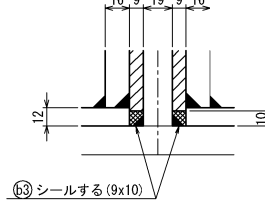
“b”部詳細 S=1:5



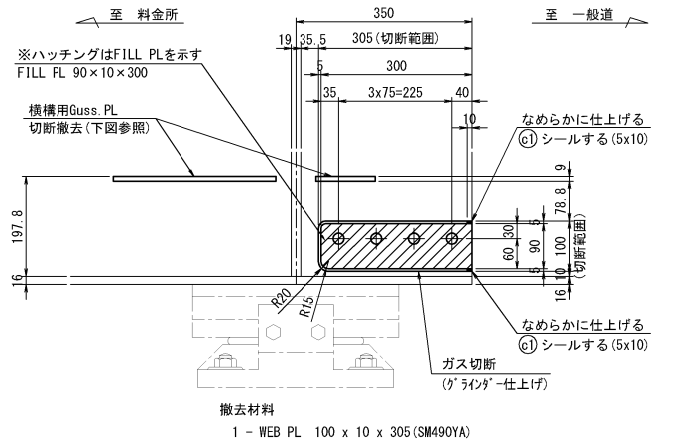
“c”部詳細 S=1:5



“d”部詳細 S=1:5

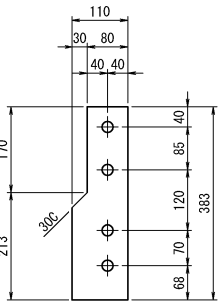


切断仕上げ および Fill PL詳細 S=1:15

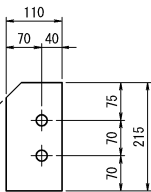


垂直補剛材の当て板加工図 S=1:15  
(中分側の支間中央側)

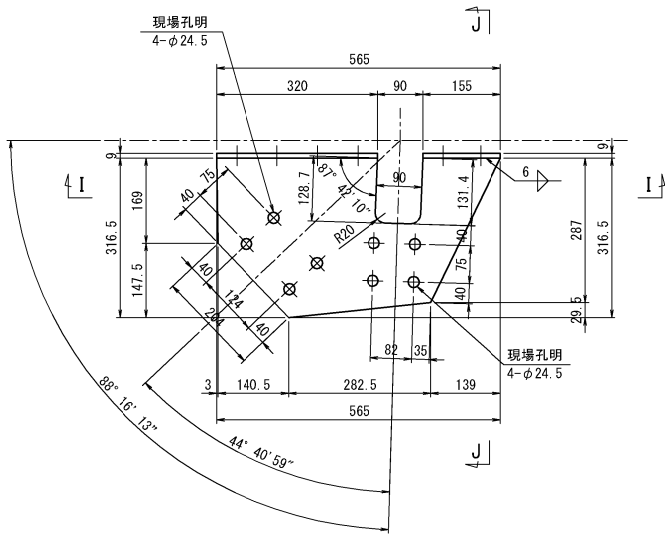
当て板



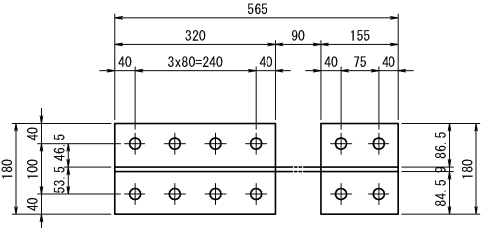
FILL PL



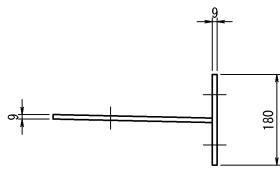
横構用ガセットプレート加工図 S=1:15



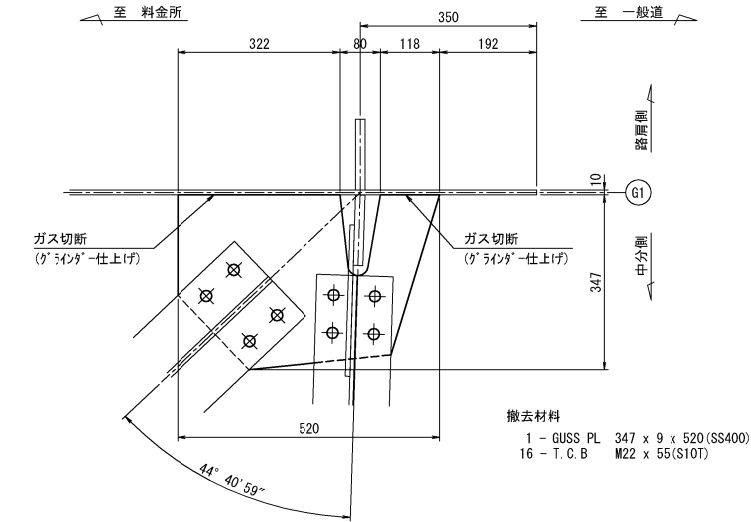
I - I



J - J



横構用ガセットプレート撤去図 S=1:15



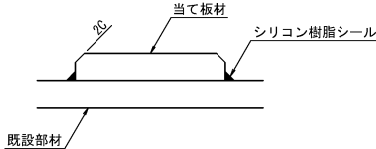
- 注記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - φ印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  - 特記なき高力ボルトの削孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
  - 既設横構ガセットプレート撤去(ガス切断及びグラインダ仕上げ)時、母材を削り込まないように注意すること。  
(母材側の凹は0.5mm程度以下とすること)
  - 実際の製作・施工寸法は、本図面に基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
  - 母材側の腐食減肉範囲の素地調整程度は、1種(ISO Sa 2・1/2)の除錆率(95%以上)を目指し、健全部においては2種(ISO St 3)とする。  
また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。
  - 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

材 量 表

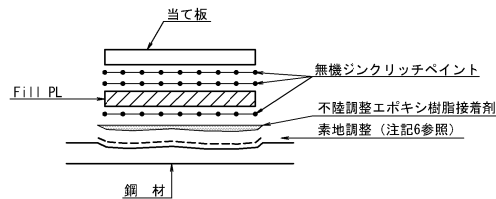
(単位: kg)

材種	材 質	形 状	当て板補修	横構復旧	總計
PL	SM400A	16	20.5		20.5
		12	66.6		66.6
		9		15.2	15.2
	SM400A 集計		87.1	15.2	102.3
	SS400	10	2.1		2.1
		9	44.2		44.2
	SS400 集計		46.3		46.3
	PL 集計		133.4	15.2	148.6
加工質量 集計		133.4	15.2	148.6	
TCB	S10T	M 22	30.6	7.6	38.2
HTB	F10T	M 22	6.2		6.2
BOLT	SS400	M 24	1.6		1.6
		M 22	1.0		1.0
BOLT 集計		2.6		2.6	
WASH	SS400	M 22	0.1		0.1
部品質量 集計			39.5	7.6	47.1
總計			172.9	22.8	195.7

新設部材コバ処理詳細



補修断面図

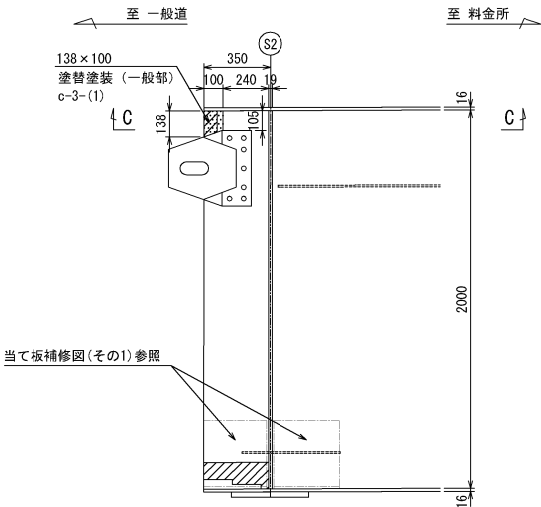


関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP8-1) (その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

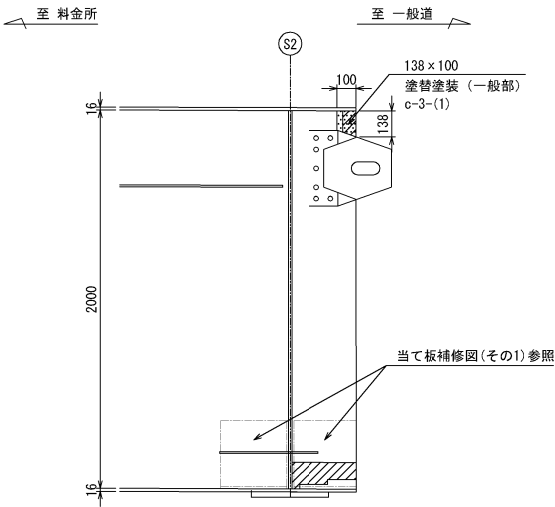
入間高架橋Eランプ 塗装補修図 (EP8-1) S=1:40  
〈P6-P10〉

P6-P8 S1-S2間 G1桁 損傷番号EP8-1

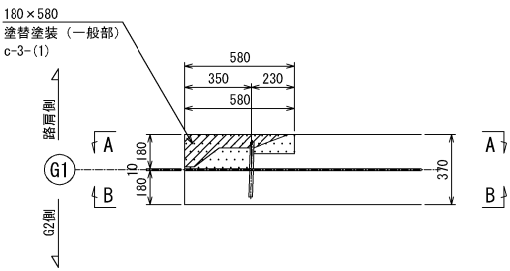
ウェブ（路肩側）  
A - A



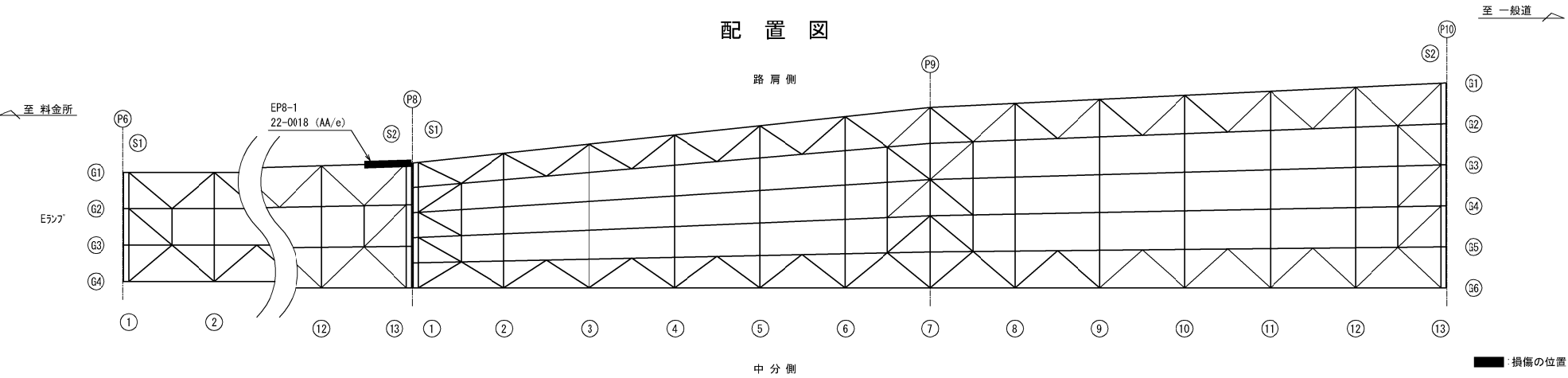
ウェブ（G2側）  
B - B



上フランジ(下面)  
C - C



配置図



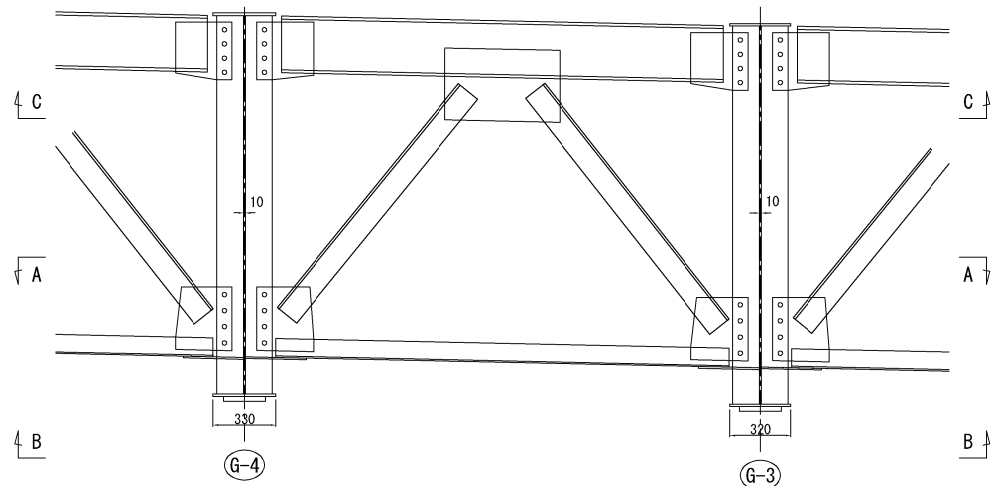
凡 例

- 錆・腐食範囲
- 1種ケレン相当

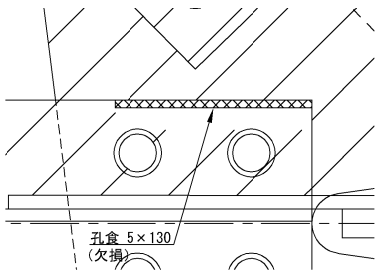
注記  
1. 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。  
2. 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Eランプ 塗装補修図 (EP8-1)		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

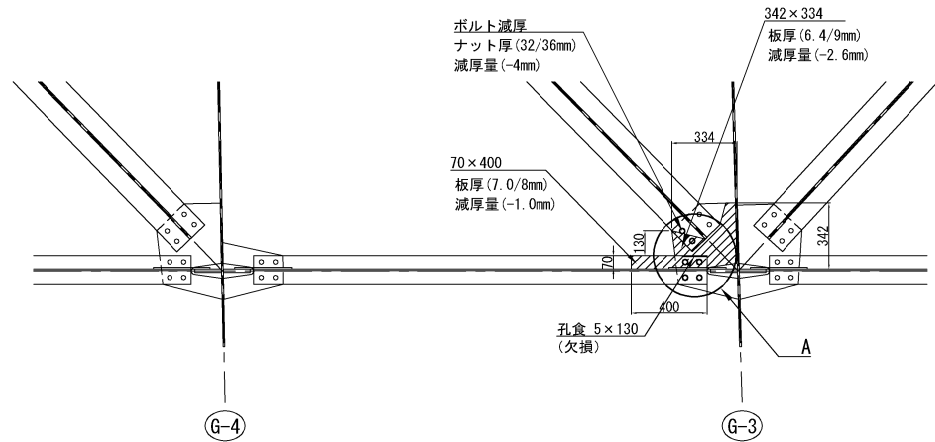
入間高架橋 損傷位置図 (EP10-1)  
(Eランプ) G3-G4間端対傾構 P10 (P9側)



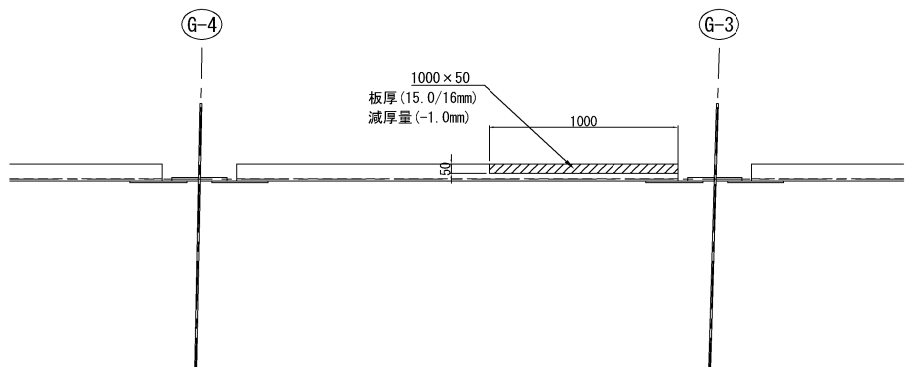
A部詳面図 S=1:5



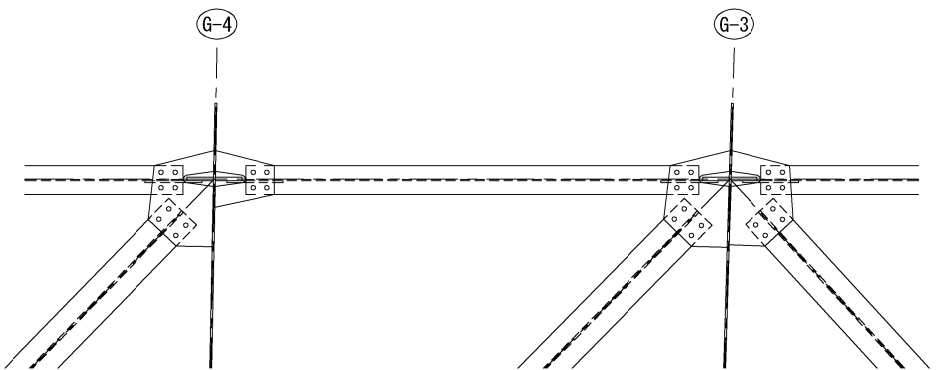
A-A断面 S=1:40



C-C断面 S=1:40



B-B断面 S=1:40



/// : 損傷範囲(減厚)  
xxx : 損傷範囲(欠損)

塗替塗装 (極小部) 塗替塗装 (一般部) c-3-(1) w (0.17m2当り)

項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	C-3 素地調整程度1種相当	n2	0.17	最終下塗り1層増し塗り
	境界部 素地調整程度4種	n2	0.01	既存塗膜との境界部

塗替塗装 (極小部) 塗替塗装 (特殊部) g-3-(1) w (0.03m2当り)

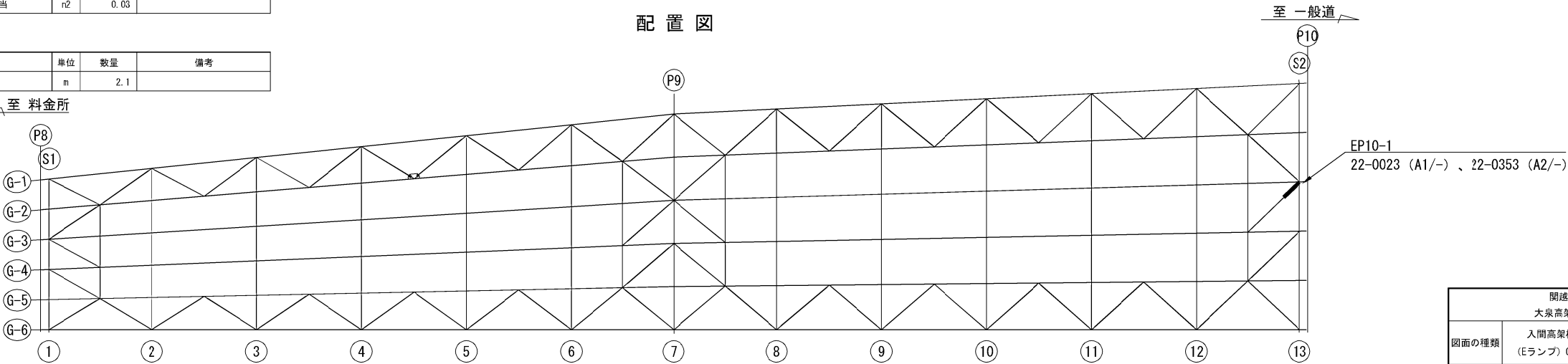
項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	g-3 素地調整程度1種相当	n2	0.03	

塗替塗装 曲面加工 (R面取り)

項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	曲面加工 (R面取り)	m	2.1	

至 料金所

配置図



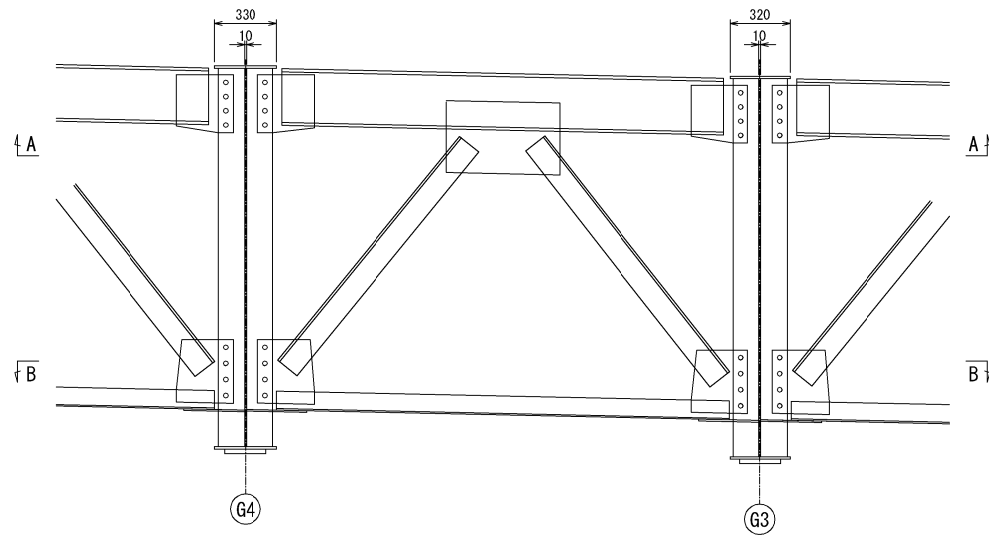
関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (EP10-1) (Eランプ) G3-G4間端対傾構 P10 (P9側)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



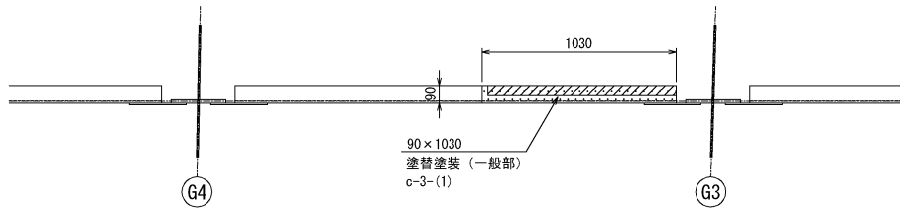
# 入間高架橋Eランプ 塗装補修図 (EP10-1) S=1:40

〈P6-P10〉

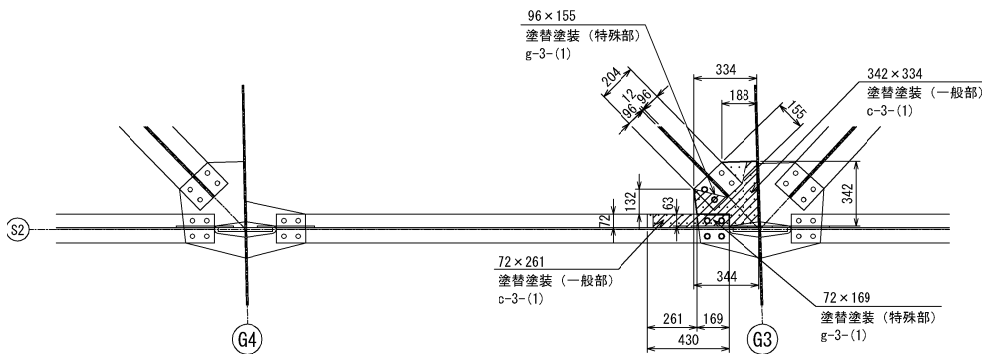
P8-P10 S2上 G3-G4間 損傷番号EP10-1



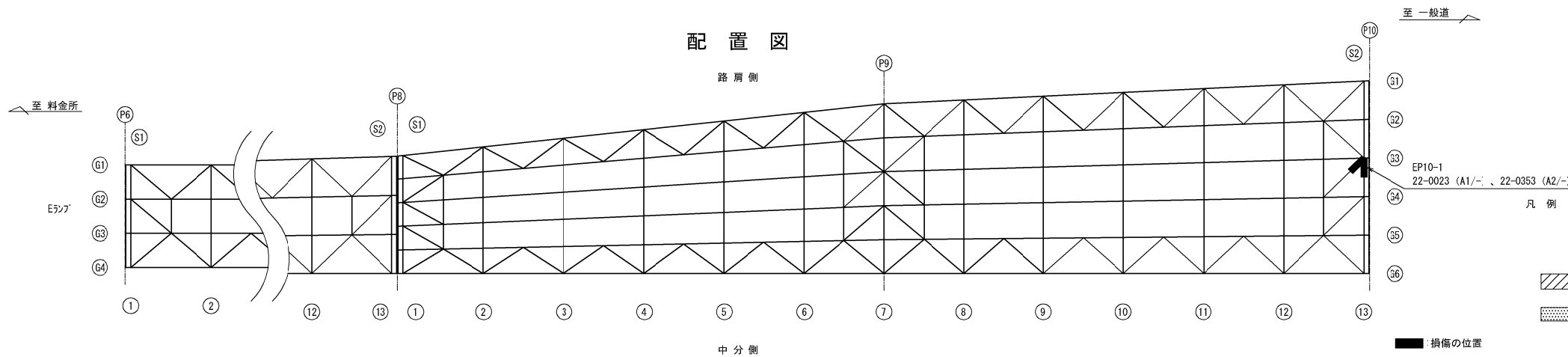
上弦材(下面)  
A - A



下弦材(上面)  
B - B



配置図



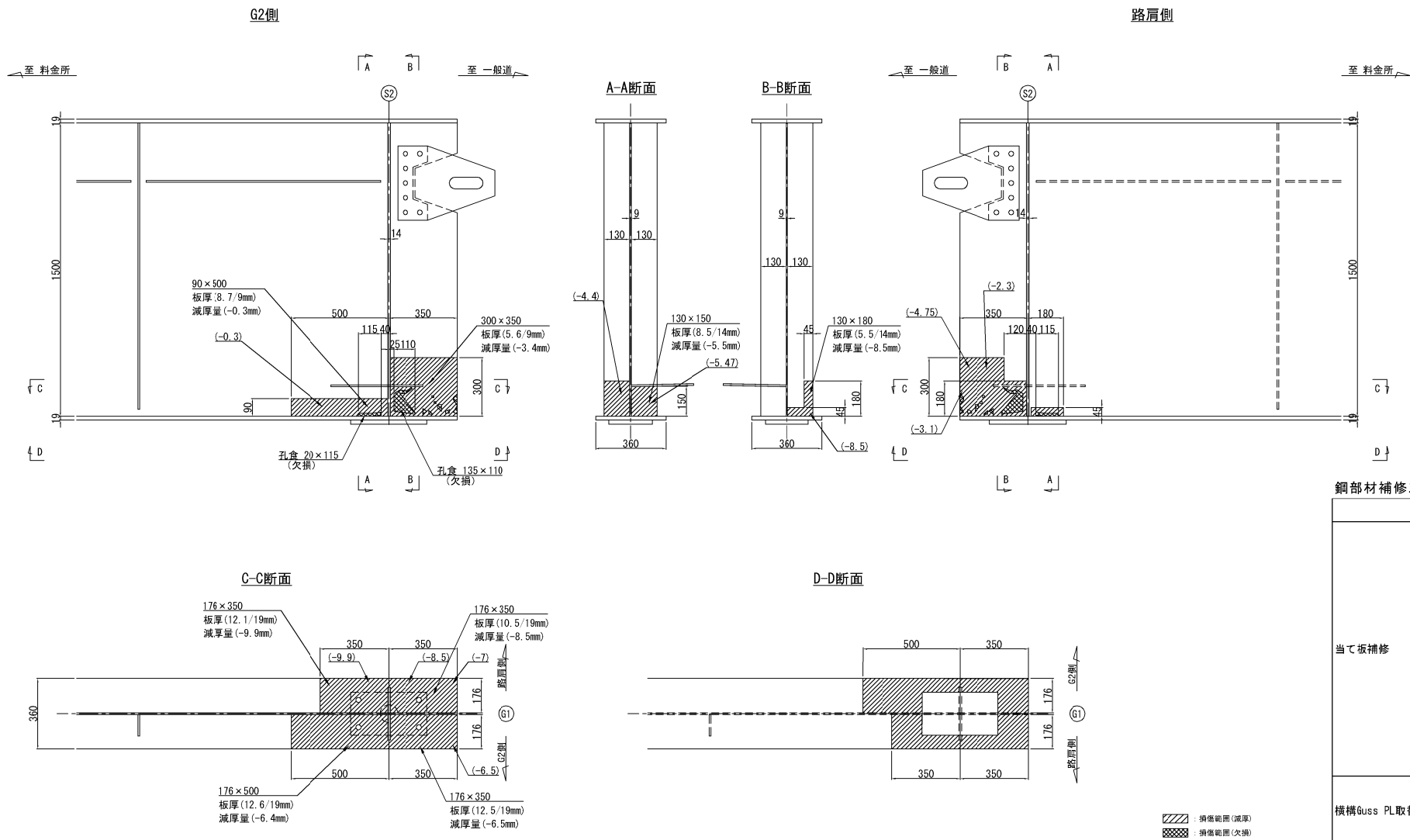
- 注記
- 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
  - 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

錆・腐食範囲  
1種ケレン相当

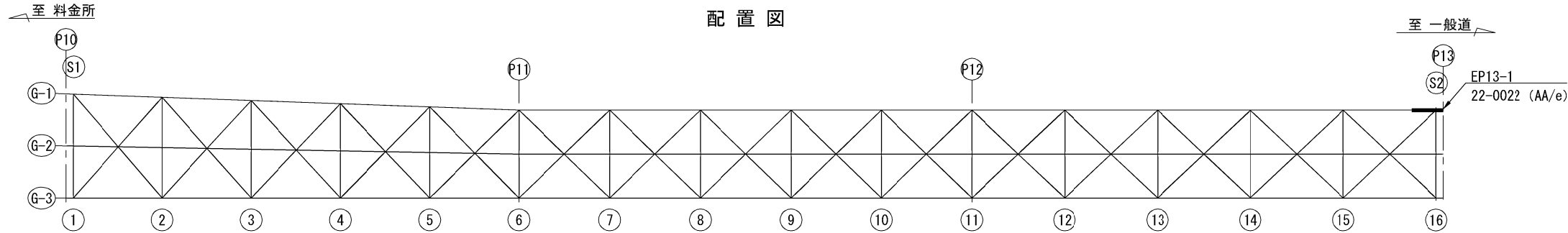
損傷の位置

関東自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Eランプ 塗装補修図 (EP10-1)		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 損傷位置図 (EP13-1) S=1:30  
(Eランプ) G1主桁 P13 (P12側)



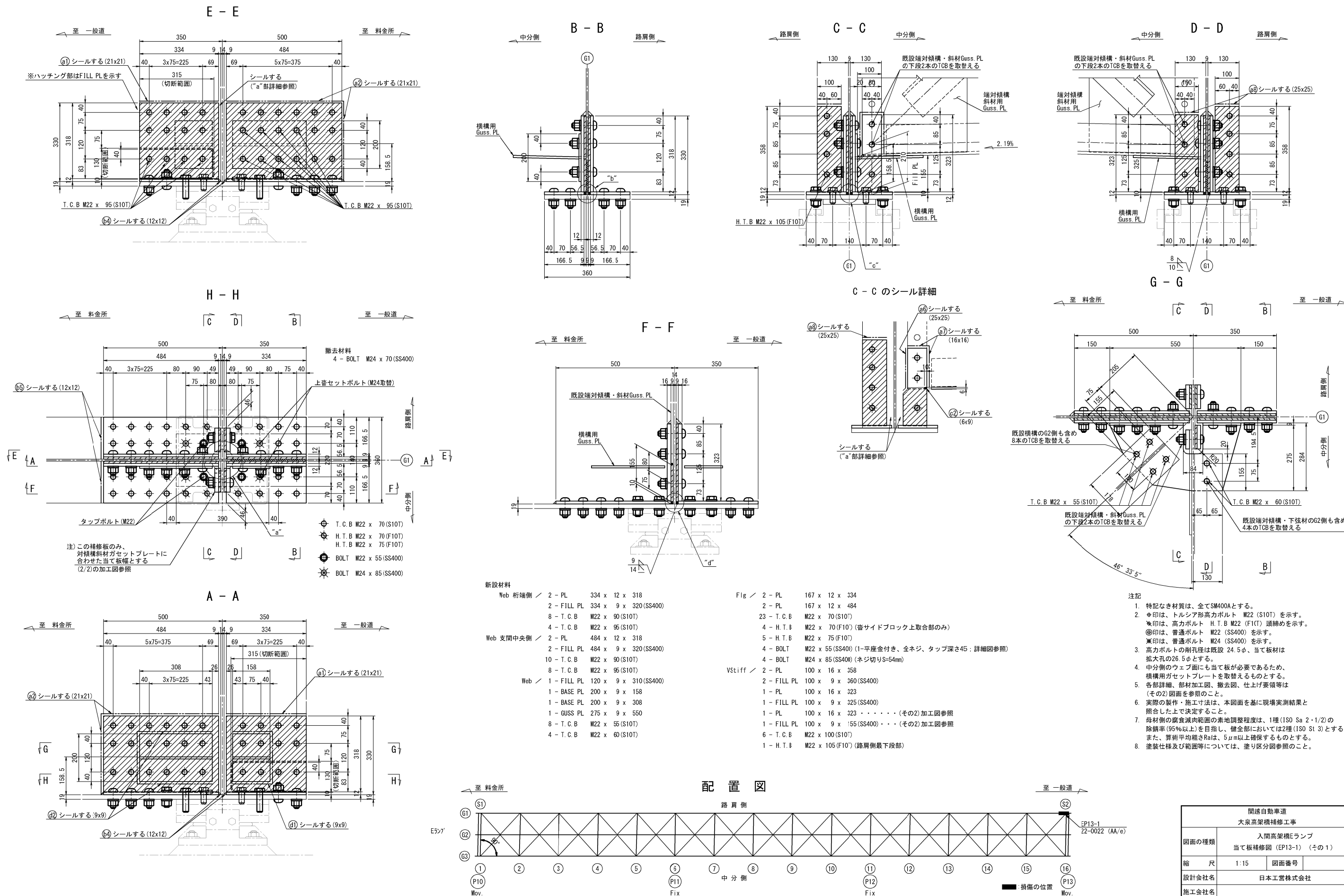
鋼部材補修工 EP13-1 (201.1kg当り)				
項目	細目	単位	数量	備考
当て板補修	製作、購入重量	PL, TCB, HT3, BOLT	kg	181.2
	高力ボルト	TCB S10T M22	本	59
	タップボルト	HTB F10T M22	本	10
	セットボルト	BOLT WASH M22*55	本	4
	現場孔明	BOLT M24*85	本	4
		PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	26 既設Web
		PL t=19mm、Φ=24.5mm	箇所	32 既設L-Flg
		PL t=14mm、Φ=24.5mm	箇所	5 既設V-Stiff
		タップボルト 深さ45mm、Φ=19.5mm	箇所	4 既設L-Flg、Sole PL、上唇
	不陸修正	エポキシ樹脂接着剤	L	2.5 腐食減肉及び孔食部充填
横構Guss PL取替	シーリング	シリコーン系 クラス25 低モジュラス	L	1.5 JIS A 5758
	製作、購入重量	PL, TCB	kg	19.9
	高力ボルト	TCB S10T M22*55, 60	本	12 G2側の既設部材を含む
鋼部材撤去	現場孔明	Guss PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	6
	Web PL	ガス切断 (L=9mm)	m	0.8 グライNDER仕上げ
		撤去材 PL 130*9*315	kg	2.9
	Guss PL	ガス切断 (L=9mm)	m	0.4 グライNDER仕上げ
塗膜除去		撤去材 PL 320*9*470, TCB	kg	16.4
	セットボルト	撤去材 M24*70	kg	1.4
塗装 (新設部材)	当て板部	当て板補修図 (その1) 注記参照	m2	0.90
	既設部材	素地調整程度2種	m2	0.05 高力ボルト接合部 (接触面)
		C5 Guss PL	m2	0.13 最終下塗り1層増し塗り
		F3 PL Guss PL, Fill PL	m2	1.12 最終下塗り1層増し塗り
		J PL Guss PL, Fill PL	m2	2.63 高力ボルト接合部 (接触面)
		F11 TCB, HTB, BOLT	m2	0.47 ボルト頭部
	境界部	素地調整程度4種	m2	0.26 既存塗膜との境界部の処理



関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (EP13-1) (Eランプ) G1主桁 P13 (P12側)		
縮尺	1:30	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP13-1) (その1) S=1:15

P13上 G1桁 損傷番号 EP13-1 (1/2)

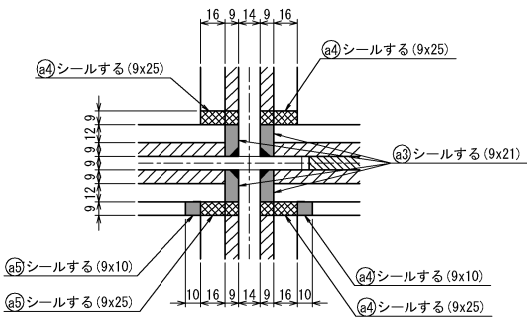


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	上開高架橋Eランプ 当て板補修図（EPI3-1）（その１）		
縮 尺	1：15	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管理 事務 所		

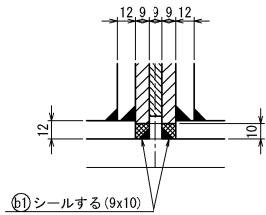
入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP13-1) (その2)

P13上 G1桁 損傷番号 EP13-1 (2/2)

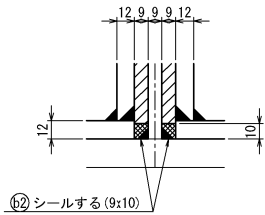
“a”部詳細 S=1:5



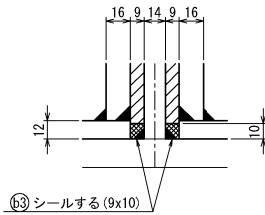
“b”部詳細 S=1:5



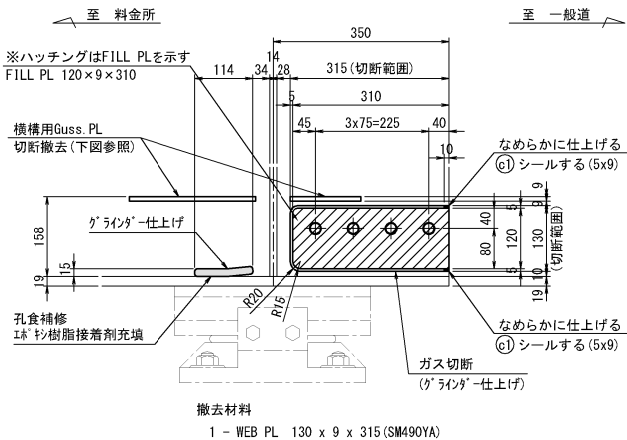
“c”部詳細 S=1:5



“d”部詳細 S=1:5

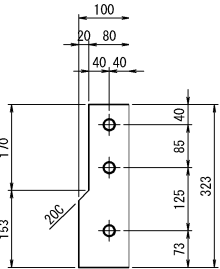


切断仕上げ および Fill PL詳細 S=1:15

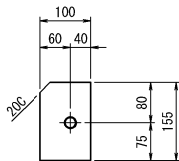


垂直補剛材の当て板加工図 S=1:15  
(中分側の支間中央側)

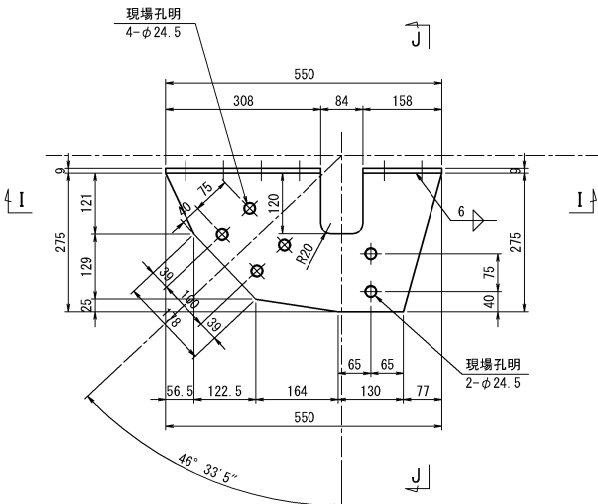
当て板



FILL PL

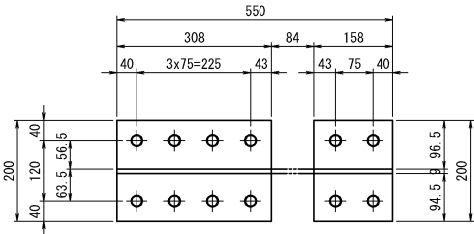


横構用ガセットプレート加工図 S=1:15

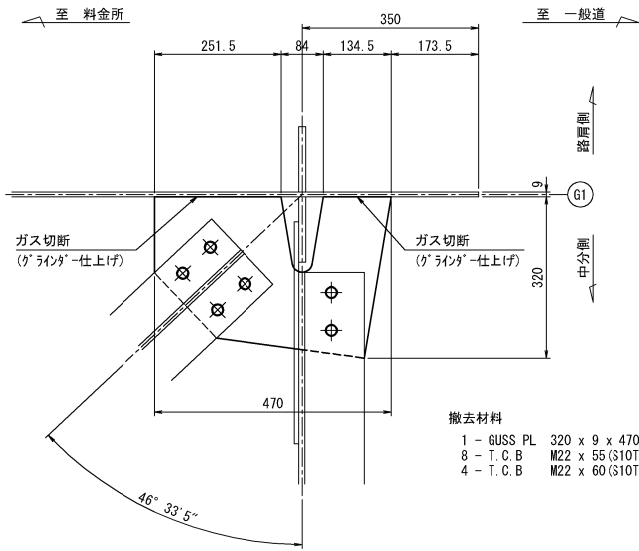


I - I

J - J

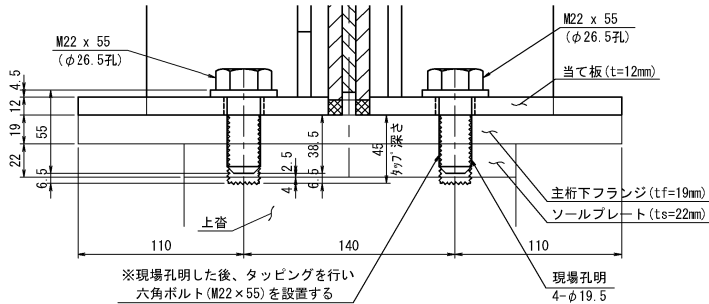


横構用ガセットプレート撤去図 S=1:15



- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  2. 印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  3. 特記なき高力ボルトの削孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
  4. 既設横構ガセットプレート撤去(ガス切断及び「ラインダ」仕上げ)時、母材を削り込まないように注意すること。  
(母材側の凹は0.5mm程度以下とすること)
  5. 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
  6. 母材側の腐食減肉範囲の素地調整程度は、1種 (ISO Sa 2・1/2) の除錆率 (95%以上) を目指し、健全部においては2種 (ISO St 3) とする。  
また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。
  7. 塗装仕様及び範囲については、塗分け図参照のこと。

タップ詳細図 S=1:5

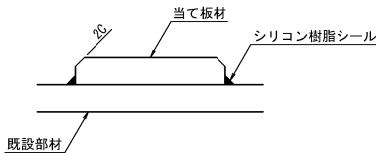


材 量 表

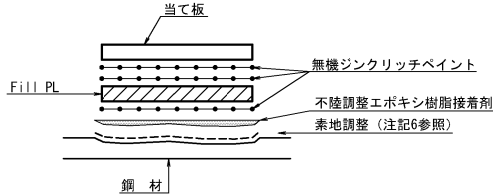
(単位: kg)

材種	材 質	形 状	当て板補修	横構復旧	総計
PL	SM400A		16	16.7	16.7
			12	74.7	74.7
			9		14.1
	SM400A 集計		91.4	14.1	105.5
	SS400		9	48.0	48.0
PL 集計			139.4	14.1	153.5
加工質量 集計			139.4	14.1	153.5
TCB	S10T	M 22	33.4	5.8	39.2
HTB	F10T	M 22	5.7		5.7
BOLT	SS400	M 24	1.6		1.6
		M 22	1.0		1.0
BOLT 集計			2.6		2.6
WASH	SS400	M 22	0.1		0.1
部品質量 集計			41.8	5.8	47.6
総計			181.2	19.9	201.1

新設部材コバ処理詳細

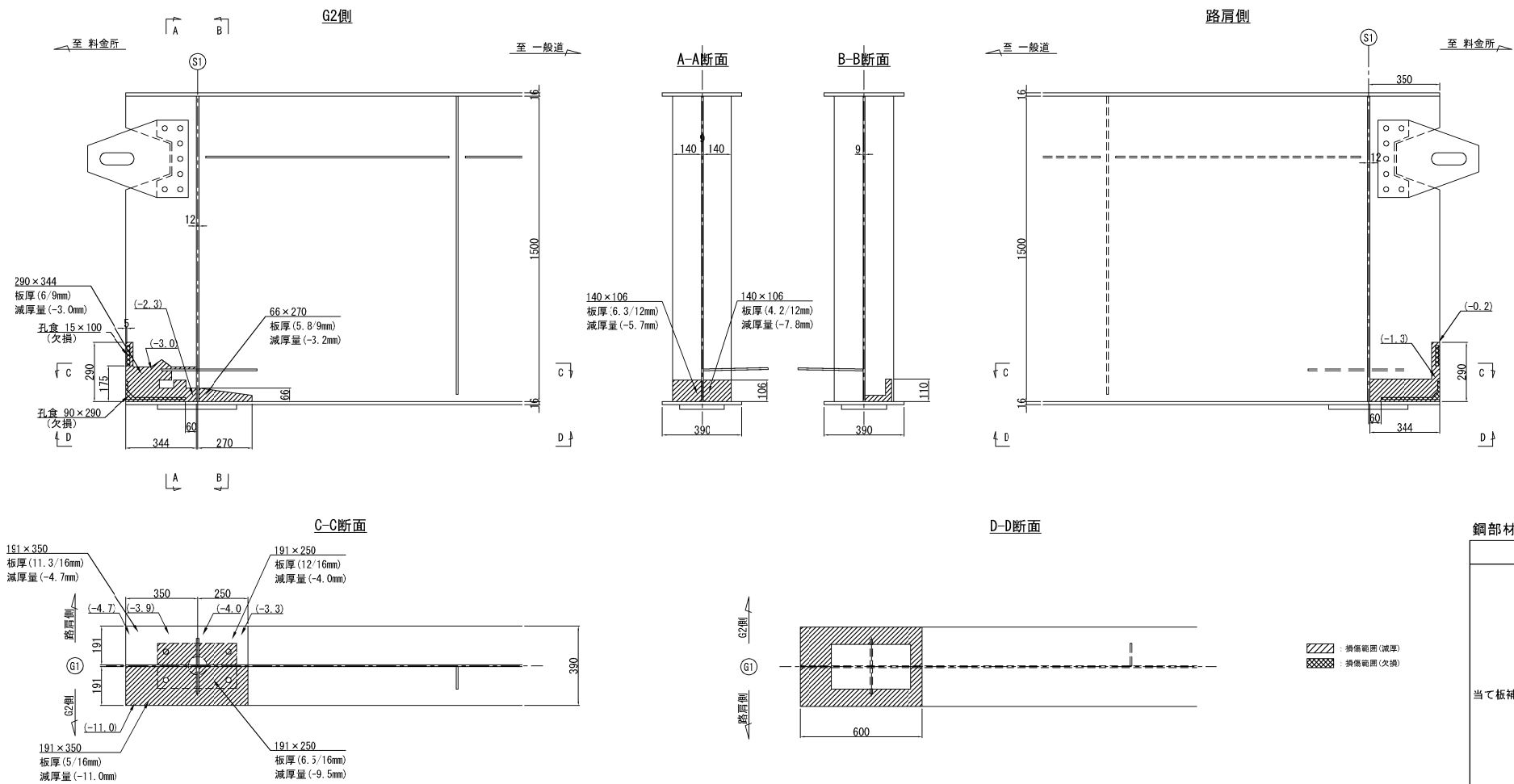


補修断面図



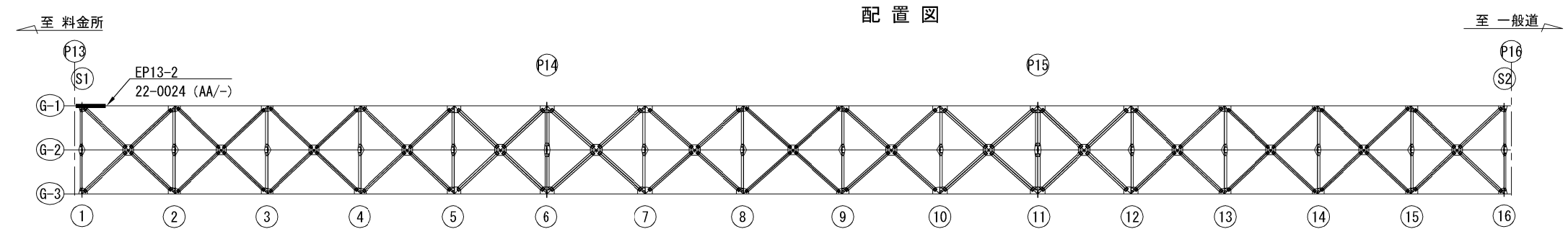
関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP13-1) (その2)		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋 損傷位置図 (EP13-2) S=1:30  
(Eランプ) G1主桁 P13 (P14側)



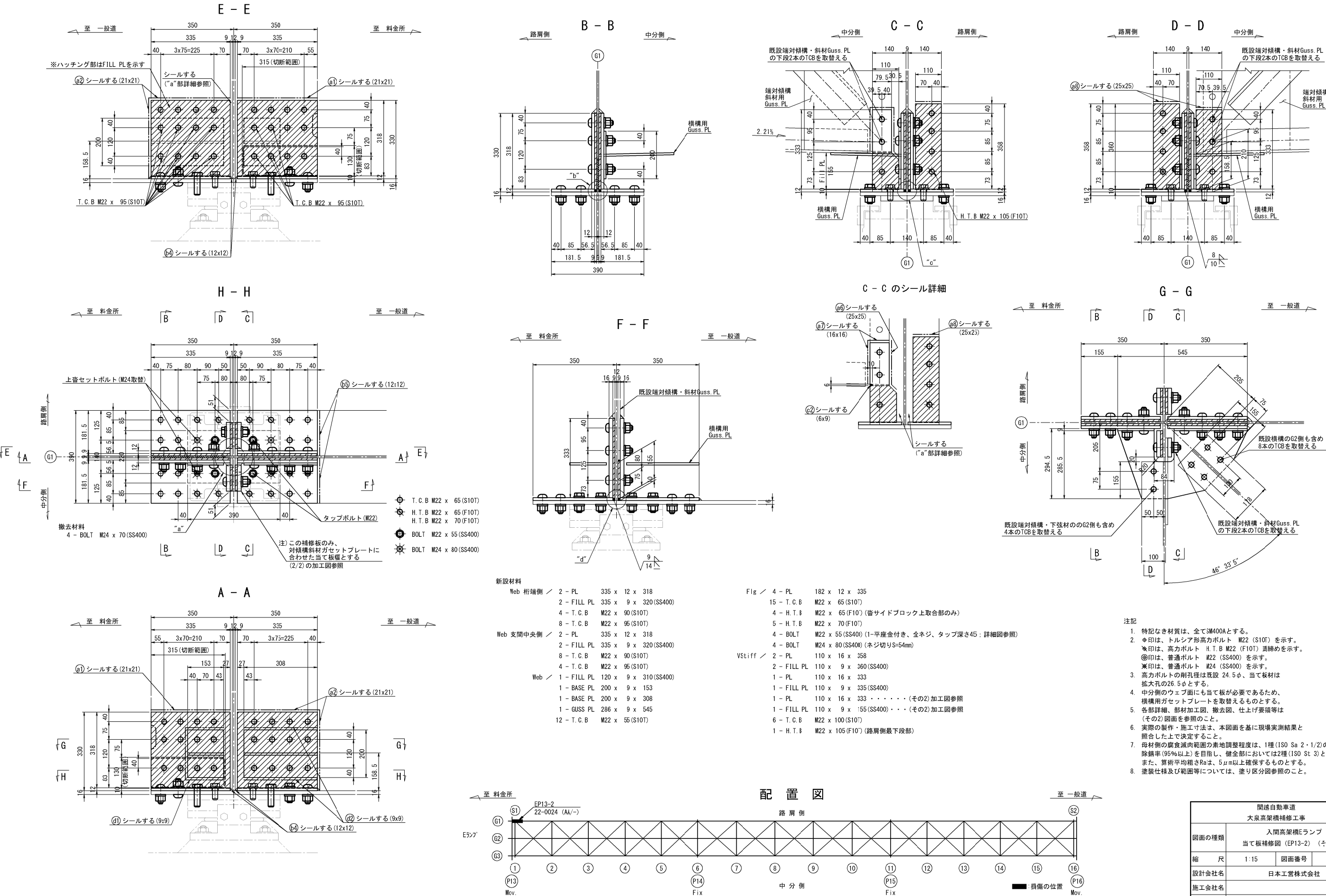
鋼部材補修工 E P 1 3 - 2 (176.9kg当り)

項目		細目	単位	数量	備考
当て板補修	製作、購入重量	PL, TCB, HTB, BOLT	kg	157.3	
	高力ボルト	TCB S10T M22	本	45	
		HTB F10T M22	本	10	
	タップボルト	BOLT WASH M22*55	本	4	ナベ'ング後ボルト設置
	セットボルト	BOLT M24*80	本	4	
	現場孔明	PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	20	既設Web
		PL t=16mm、Φ=24.5mm	箇所	24	既設L-Flg
		PL t=12mm、Φ=24.5mm	箇所	5	既設V-Stiff
		タップボルト 深さ45mm、Φ=19.5mm	箇所	4	既設L-Flg、Sole PL、上咨
	不陸修正	エポキシ樹脂接着剤	L	1.9	腐食減肉及び孔食部充填
横構Guss PL取替	製作、購入重量	PL, TCB	kg	19.6	
	高力ボルト	TCB S10T M22*55	本	12	G2側の既設部材を含む
	現場孔明	Guss PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	6	
鋼部材撤去	Web PL	ガス切断 (t=9mm)	m	0.9	グラインダー仕上げ
		撤去材 PL 130*9*315	kg	2.9	
	Guss PL	撤去材 PL 20*9*100	kg	0.1	
		ガス切断 (t=9mm)	m	0.4	グラインダー仕上げ
		撤去材 PL 325*9*470, TCB	kg	16.5	
塗膜除去	当て板部	当て板補修図(その1) 注記参照	m2	0.78	
	既設部材	素地調整程度2種	m2	0.04	高力ボルト接合部(接触面)
塗装(新設部材)		C5 Guss PL	m2	0.13	最終下塗り1層増し塗り
		F3 PL Guss PL, Fill PL	m2	1.00	最終下塗り1層増し塗り
		J PL Guss PL, Fill PL	m2	2.35	高力ボルト接合部(接触面)
		F11 TCB, HTB, BOLT	m2	0.40	ボルト頭部
	境界部	素地調整程度4種	m2	0.25	既存塗膜との境界部の処理



関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (EP13-2) (Eランプ) G1主桁 P13 (P14側)		
縮 尺	1:30	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

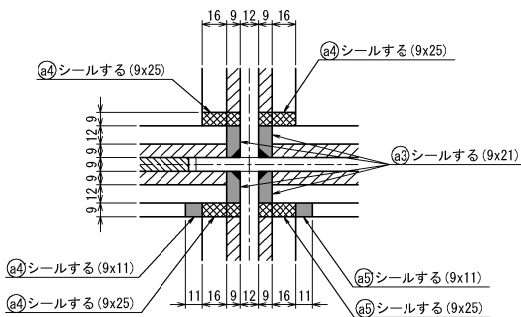
入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP13-2) (その1) S=1:15  
P13上 G1桁 損傷番号 EP13-2 (1/2)



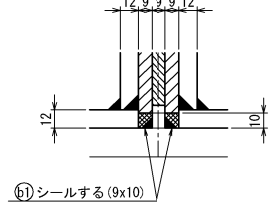
入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP13-2) (その2)

P13上 G1桁 損傷番号 EP13-2 (2/2)

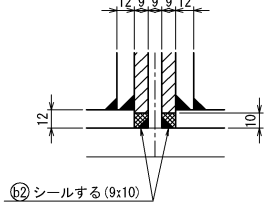
“a”部詳細 S=1:5



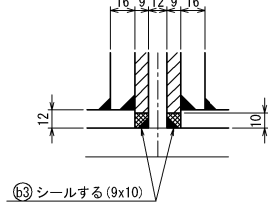
“b”部詳細 S=1:5



“c”部詳細 S=1:5

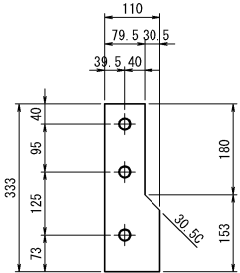


“d”部詳細 S=1:5

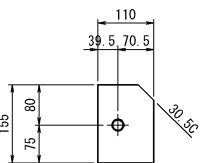


垂直補剛材の当て板加工図 S=1:15  
(中分側の支間中央側)

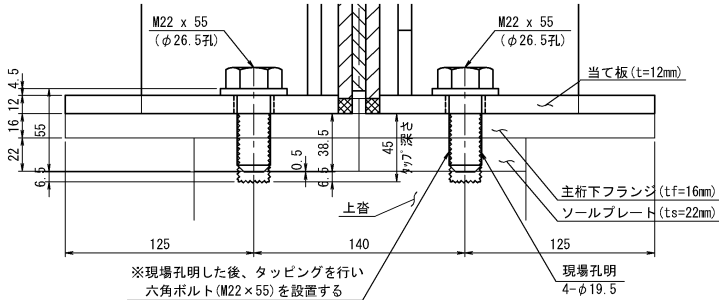
当て板



FILL PL



タップ詳細図 S=1:5

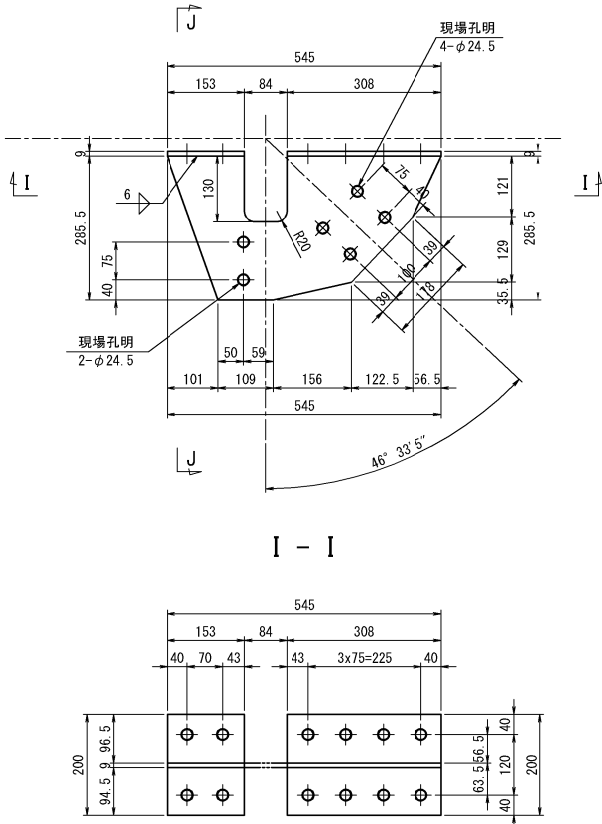


材 量 表

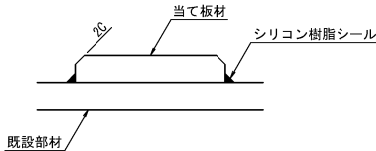
(単位: kg)

材種	材 質	形 状	当て板補修	横構復旧	総計
PL	SM400A		16	18.3	18.3
			12	63.0	63.0
			9		13.9
	SM400A 集計		81.3	13.9	95.2
	SS400	9	42.2		42.2
PL 集計			123.5	13.9	137.4
加工質量 集計			123.5	13.9	137.4
TCB	S10T	M 22	25.5	5.7	31.2
HTB	F10T	M 22	5.7		5.7
BOLT	SS400	M 24	1.5		1.5
		M 22	1.0		1.0
BOLT 集計			2.5		2.5
WASH	SS400	M 22	0.1		0.1
部品質量 集計			33.8	5.7	39.5
総計			157.3	19.6	176.9

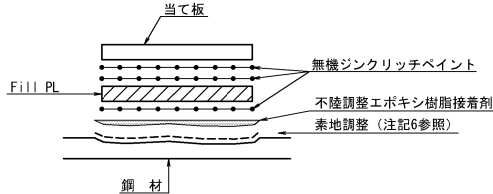
横構用ガセットプレート加工図 S=1:15



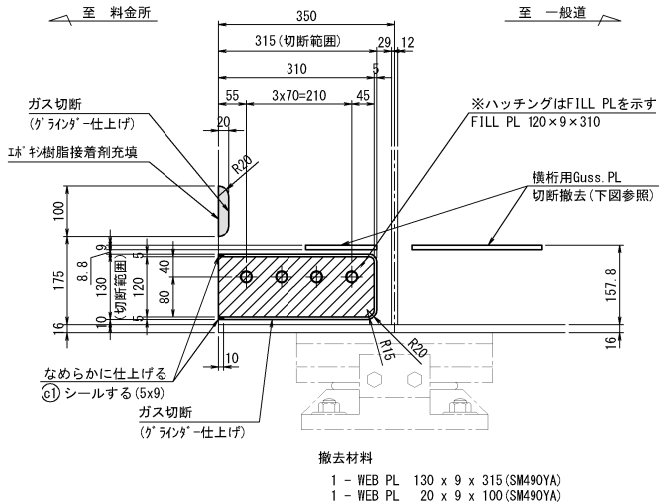
新設部材コバ処理詳細



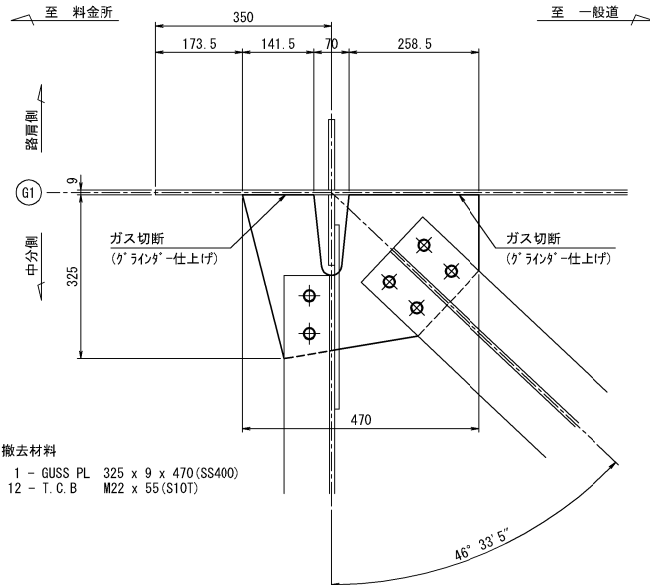
補修断面図



切断仕上げ および Fill PL詳細 S=1:15



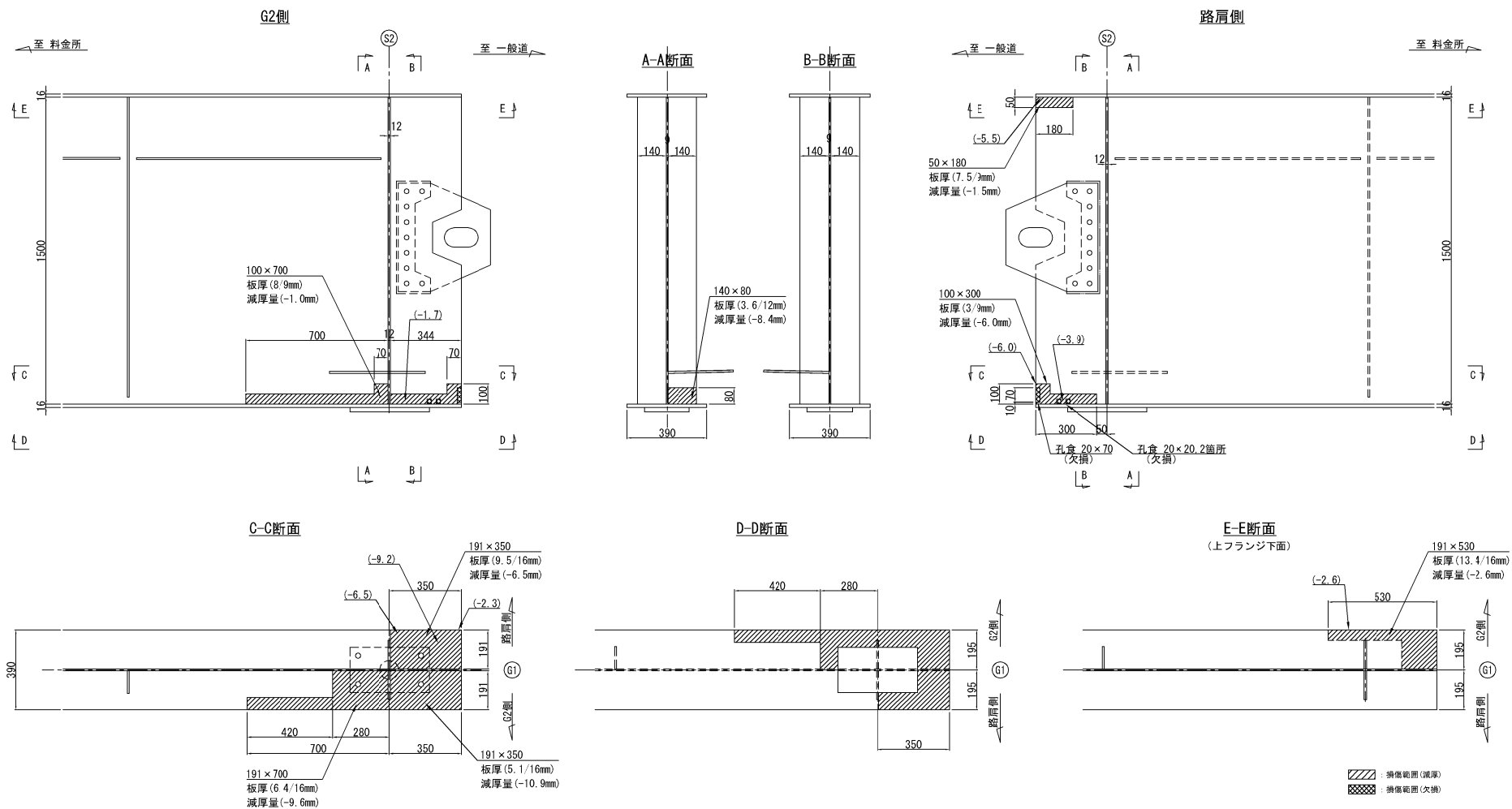
横構用ガセットプレート撤去図 S=1:15



- 注記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - φ印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  - 特記なき高力ボルトの剛孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
  - 既設横構ガセットプレート撤去(ガス切断及びグライダ-仕上げ)時、母材を削り込まないように注意すること。  
(母材側の凹は0.5mm程度以下とする)
  - 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
  - 母材側の腐食減肉範囲の表地調整程度は、1種(ISO Sa 2・1/2)の除錆率(95%以上)を目指し、健全部においては2種(ISO St 3)とする。  
また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。
  - 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP13-2) (その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 損傷位置図 (EP16-1) S=1:30  
(Eランプ) G1主桁 P16 (P15側)



鋼部材補修工 EP16-1 (185.6kg当り)

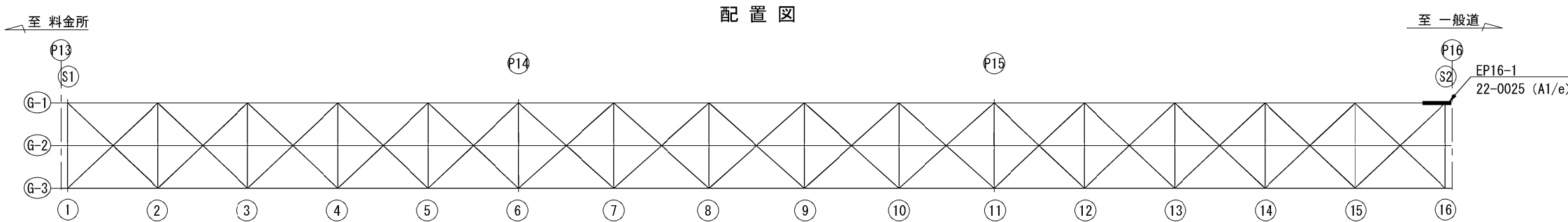
項目		細目	単位	数量	備考
当て板補修	製作、購入重量	PL, TCB, HTB, BOLT	kg	185.6	
	高力ボルト	TCB S10T M22	本	79	
		HTB F10T M22	本	9	
	タップボルト	BOLT WASH M22*55	本	4	「タピン」後ボルト設置
	セットボルト	BOLT M24*80	本	4	
	現場孔明	PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	39	既設Web
		PL t=16mm、Φ=24.5mm	箇所	44	既設L-Flg
		PL t=12mm、Φ=24.5mm	箇所	5	既設V-Stiff
	タップボルト	深さ45mm、Φ=19.5mm	箇所	4	既設L-Flg、Sole PL、上寄
	不陸修正	エポキシ樹脂接着剤	L	2.2	腐食減肉及び孔食部充填
鋼部材撤去	シーリング	シリコーン系 クラス25 低モジュラス	L	1.4	JIS A 5758
	Web PL	ガス切断 (t=9mm)	m	0.1	グラインダー仕上げ
		撤去材 PL 20*9*70	kg	0.1	
	セットボルト	撤去材 M24*80	kg	1.4	
塗膜除去	当て板部	当て板補修図(その1) 注記参照	m2	1.02	
塗装(新設部材)	F3	PL, Fill PL	m2	1.06	最終下塗り1層増し塗り
		J PL, Fill PL	m2	2.24	高力ボルト接合部(接触面)
	F11	TCB, HTB, BOLT	m2	0.50	ボルト頭部
	境界部	素地調整程度4種	m2	0.29	既存塗膜との境界部の処理

塗替塗装(極小部) 塗替塗装(一般部) c-3-(1) w (0.08m2当り)

項目		細目	単位	数量	備考
塗替塗装		C-3 素地調整程度1種相当	m2	0.08	最終下塗り1層増し塗り
		境界部 素地調整程度4種	m2	0.06	既存塗膜との境界部

塗替塗装 曲面加工(R面取り)

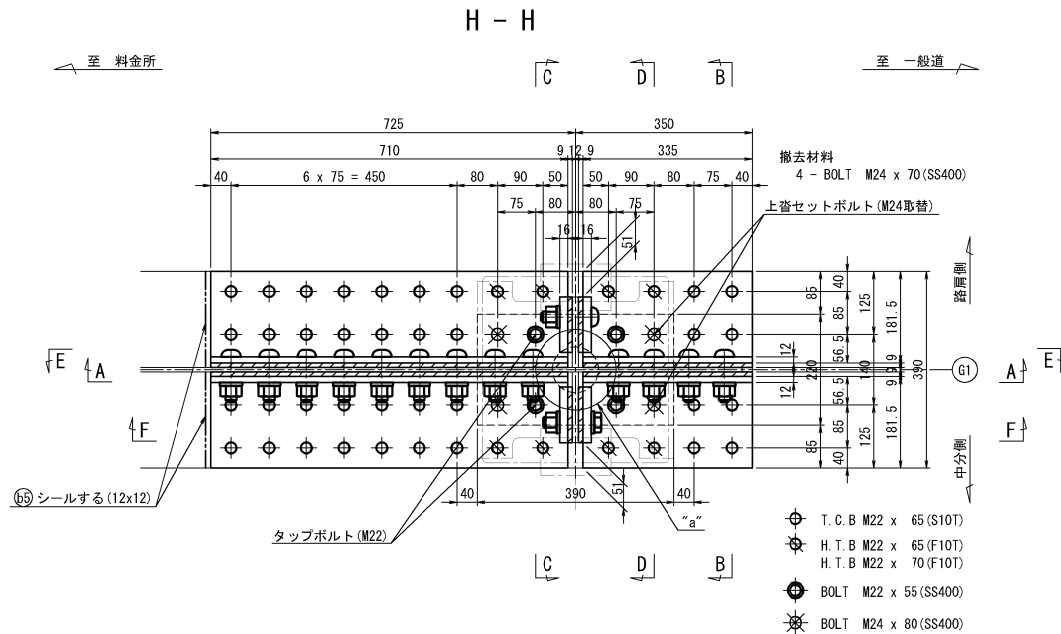
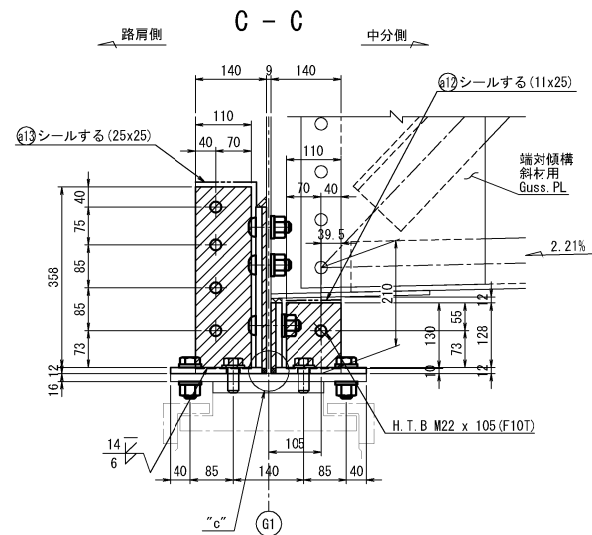
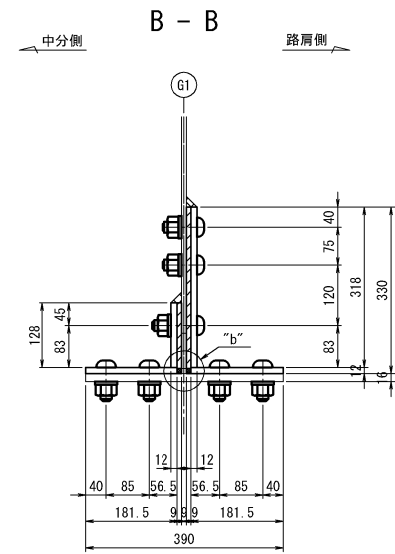
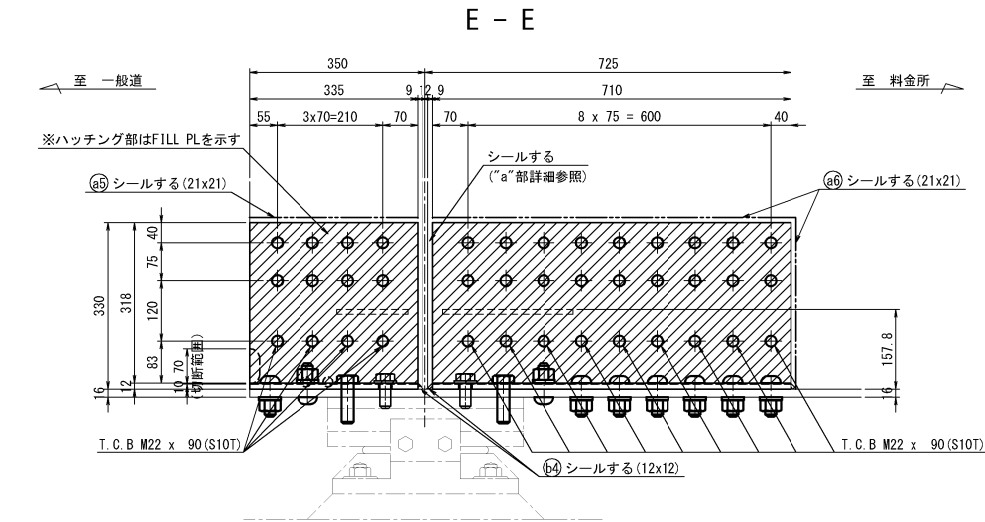
項目		細目	単位	数量	備考
塗替塗装		曲面加工(R面取り)	m	0.8	



関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (EP16-1) (Eランプ) G1主桁 P16 (P15側)		
縮 尺	1:30	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

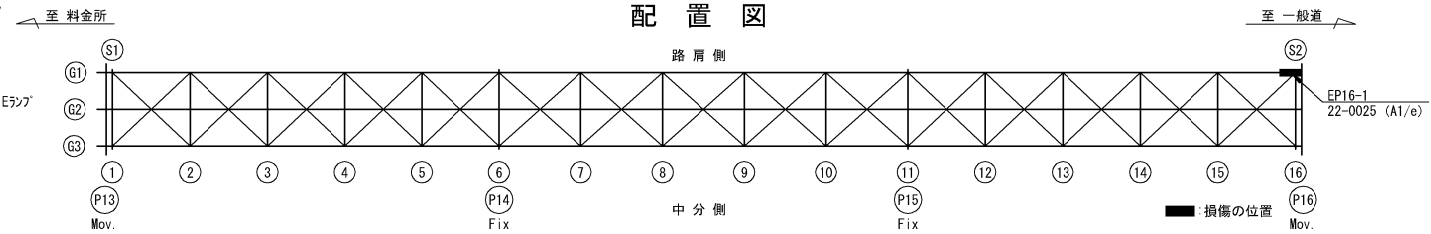
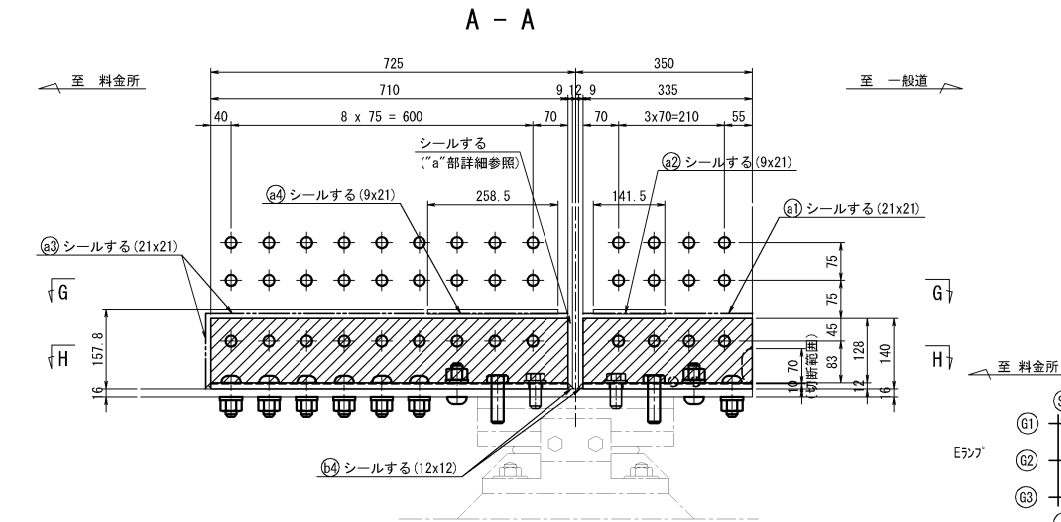
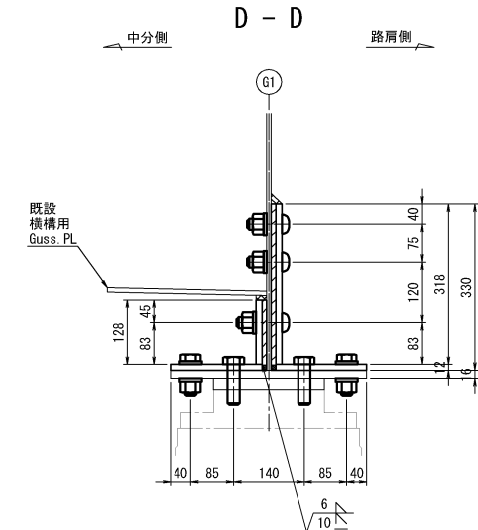


入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP16-1) (その1) S=1:15  
P16上 G1桁 損傷番号 EP16-1 (1/2)



新設材料

Web 桁端側	1 - PL	335 x 12 x 128
	1 - FILL PL	335 x 9 x 130 (SS400)
	1 - PL	335 x 12 x 318
	1 - FILL PL	335 x 9 x 320 (SS400)
	8 - T.C.B	M22 x 90 (S10T)
	4 - T.C.B	M22 x 95 (S10T)
Web 支間中央側	1 - PL	710 x 12 x 128
	1 - FILL PL	710 x 9 x 130 (SS400)
	1 - PL	710 x 12 x 318
	1 - FILL PL	710 x 9 x 320 (SS400)
	18 - T.C.B	M22 x 90 (S10T)
	9 - T.C.B	M22 x 95 (S10T)
F1g	2 - PL	182 x 12 x 335
	2 - PL	182 x 12 x 710
	36 - T.C.B	M22 x 65 (S10T)
	4 - H.T.3	M22 x 65 (F10T) (番サイドブロック上取合部のみ)
	4 - H.T.B	M22 x 70 (F10T)
	4 - BOLT	M22 x 55 (SS400) (1-平座金付き、全ネジ、タップ深さ45; 詳細図参照)
	4 - BOLT	M24 x 80 (SS400) (ネジ切りS=54mm)
VStiff	2 - PL	110 x 16 x 358
	2 - FILL PL	110 x 9 x 360 (SS400)
	2 - PL	110 x 16 x 128
	2 - FILL PL	110 x 9 x 130 (SS400)
	4 - T.C.B	M22 x 100 (S10T)
	1 - H.T.3	M22 x 105 (F10T) (中分側)



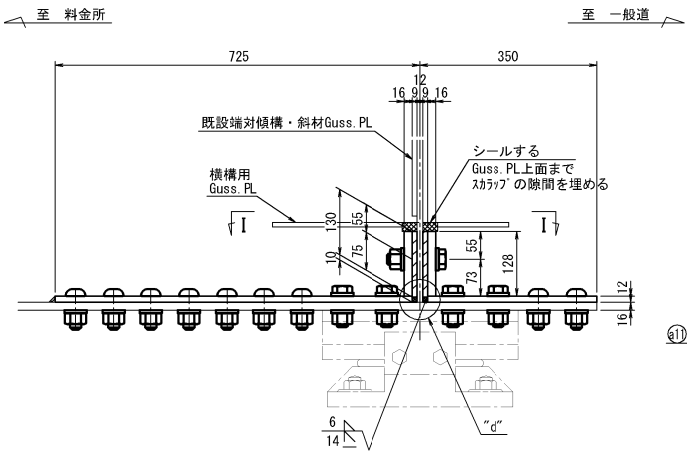
- 注記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - ⊕印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。  
⊗印は、高力ボルト H.T.B M22 (F10T) 頭締めを示す。  
⊙印は、普通ボルト M22 (SS400) を示す。  
⊛印は、普通ボルト M24 (SS400) を示す。
  - 高力ボルトの削孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
  - F-F側面、G-G平面、各部詳細、仕上げ要領等は (その2) 図面を参照のこと。
  - 実際の製作・施工方法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
  - 母材側の腐食減肉範囲の素地調整程度は、1種 (ISO Sa 2・1/2) の除錆率 (95%以上) を目指し、健全部においては2種 (ISO St 3) とする。また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。
  - 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP16-1) (その1)		
縮 尺	1:15	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

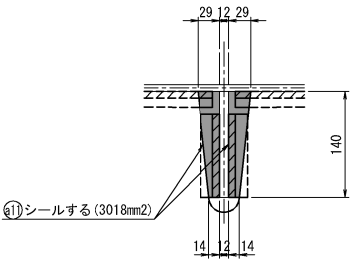
入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP16-1) (その2)

P16上 G1桁 損傷番号 EP16-1 (2/2)

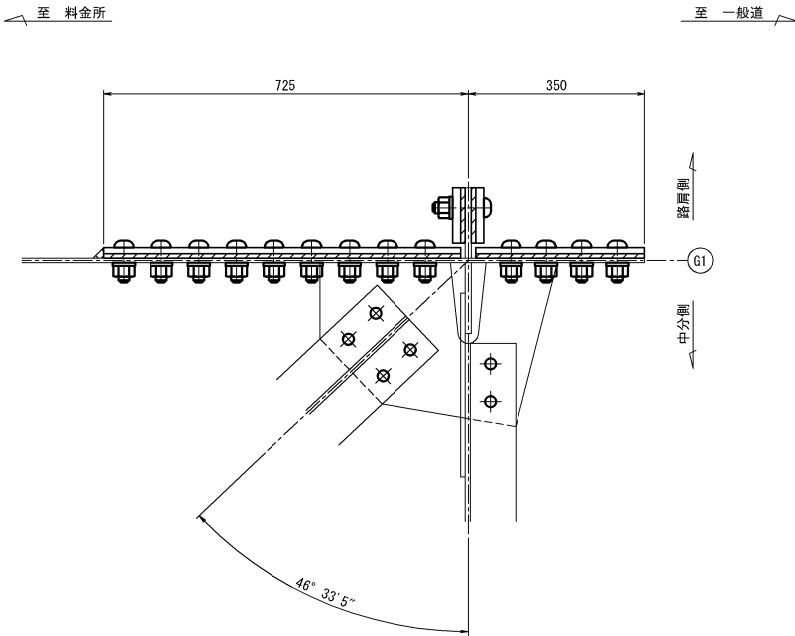
F - F S=1:15



I - I 詳細 S=1:15



G - G S=1:15

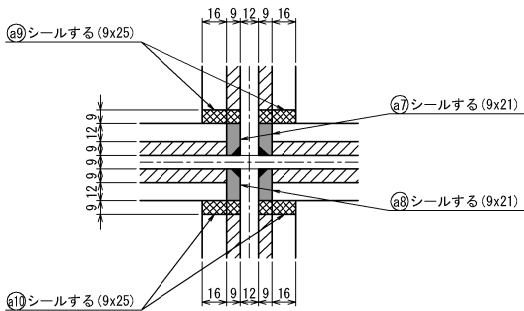


材 量 表

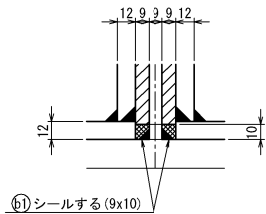
(単位: kg)

材種	材 質	形 状	当て板補修	総計
PL	SM400A	16	13.4	13.4
		12	79.8	79.8
	SM400A 集計		93.2	93.2
	SS400	9	40.9	40.9
PL 集計			134.1	134.1
加工質量 集計			134.1	134.1
TCB	S10T	M 22	43.8	43.8
HTB	F10T	M 22	5.1	5.1
BOLT	SS400	M 24	1.5	1.5
		M 22	1.0	1.0
BOLT 集計			2.5	2.5
WASH	SS400	M 22	0.1	0.1
部品質量 集計			51.5	51.5
総計			185.6	185.6

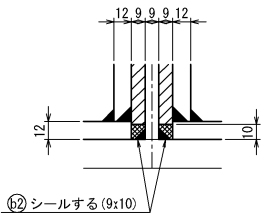
"a"部詳細 S=1:5



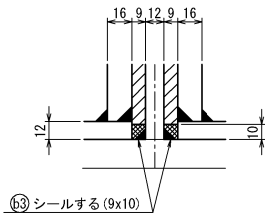
"b"部詳細 S=1:5



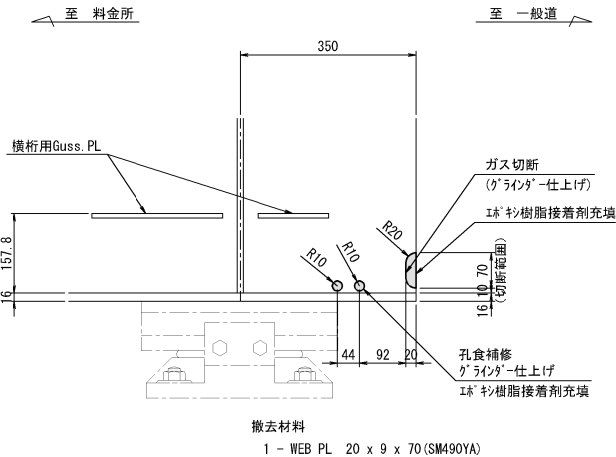
"c"部詳細 S=1:5



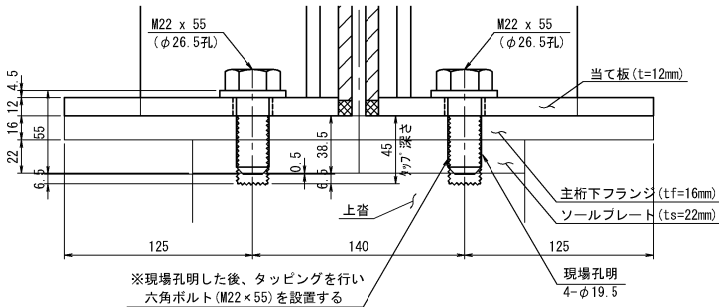
"d"部詳細 S=1:5



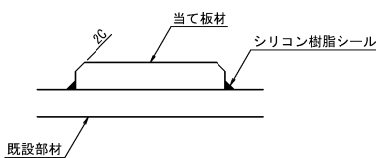
切断仕上げ詳細 S=1:15



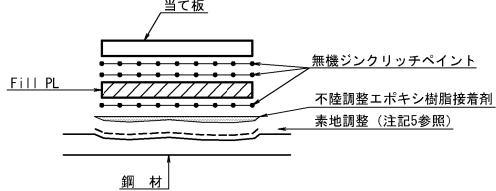
タップ詳細図 S=1:5



新設部材コバ処理詳細



補修断面図



注記

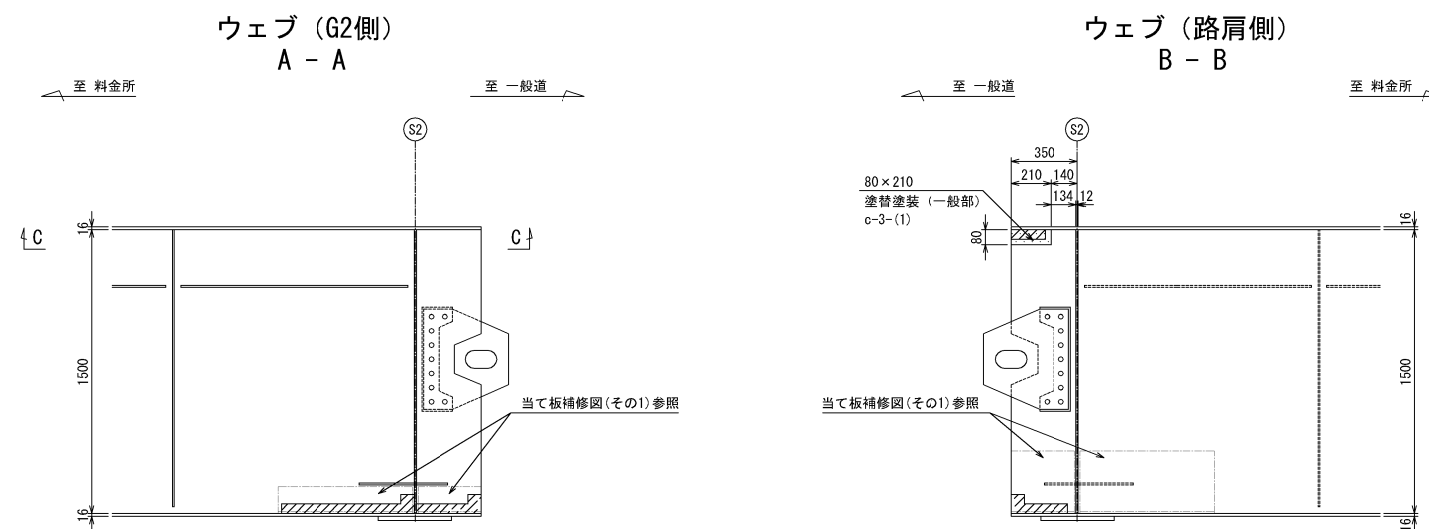
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- φ印は、トルシヤ形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
- 特記なき高力ボルトの開口径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
- 実際の製作・施工方法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
- 母材側の腐食減肉範囲の素地調整程度は、1種 (ISO Sa 2・1/2) の除錆率 (95%以上) を目指し、健全部においては2種 (ISO St 3) とする。また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。
- 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Eランプ 当て板補修図 (EP16-1) (その2)		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

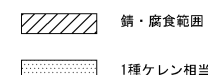
入間高架橋Eランプ 塗装補修図 (EP16-1) S=1:40

〈P13-P16〉

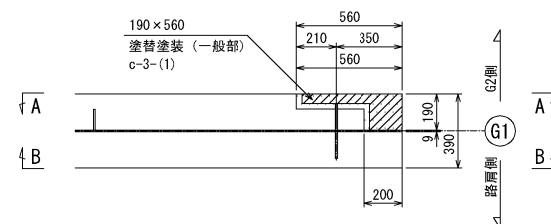
S1-S2間 G1桁 損傷番号EP16-1



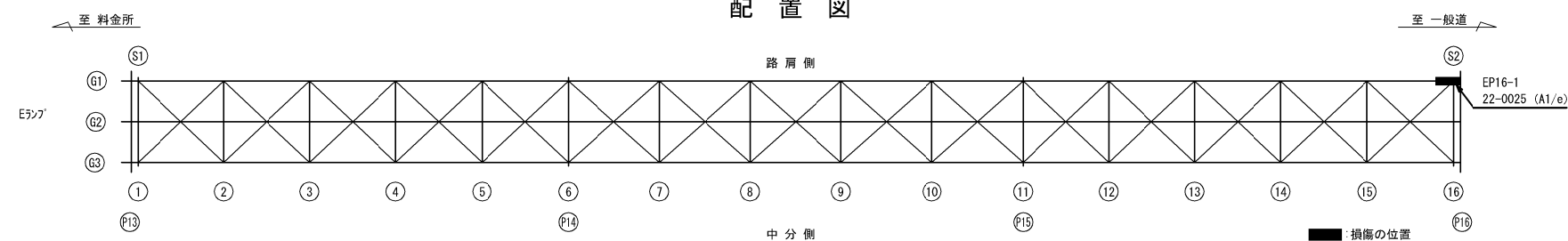
凡 例



上フランジ(下面)  
C - C



## 配置图

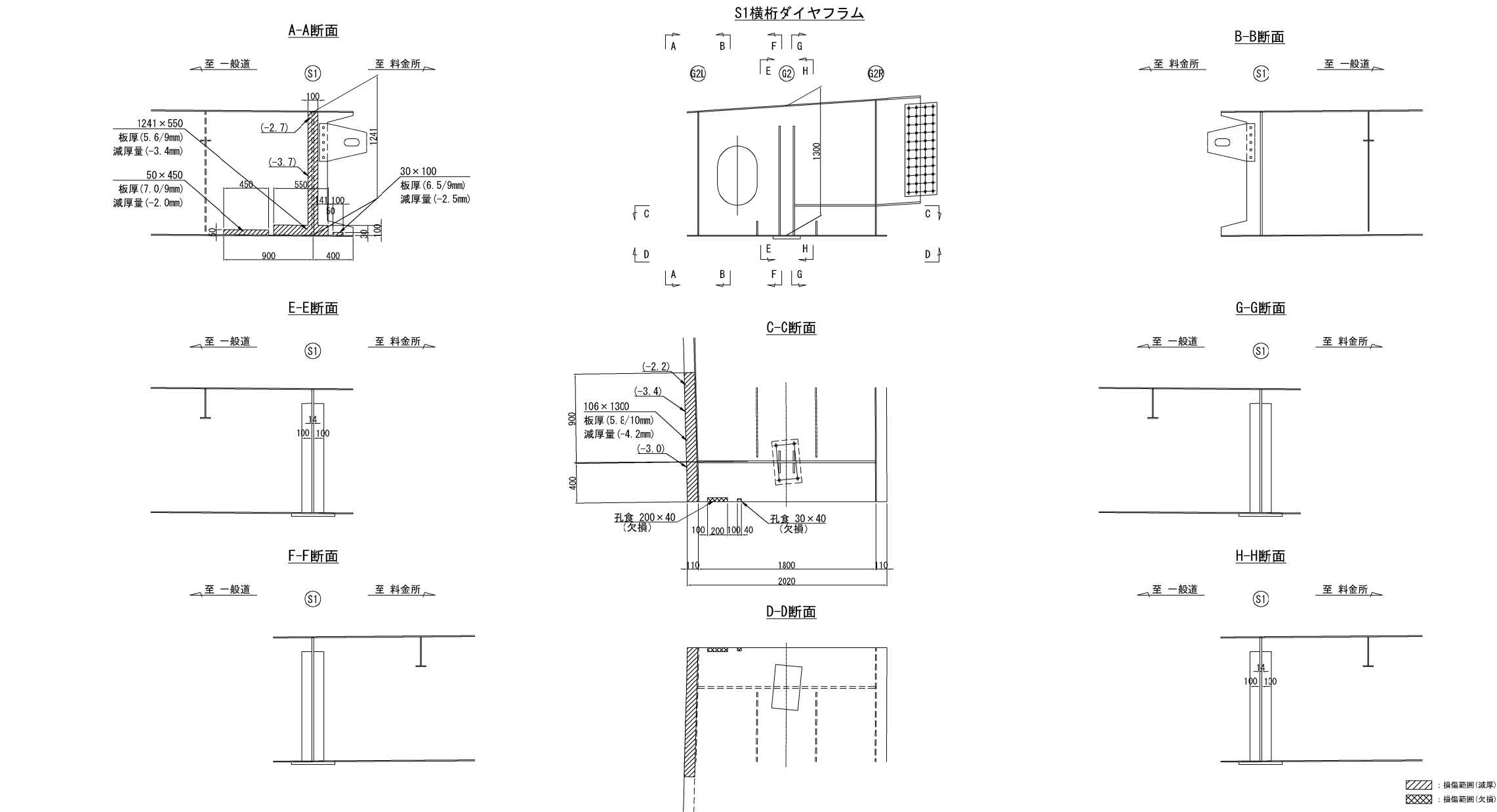


注記

1. 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
2. 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

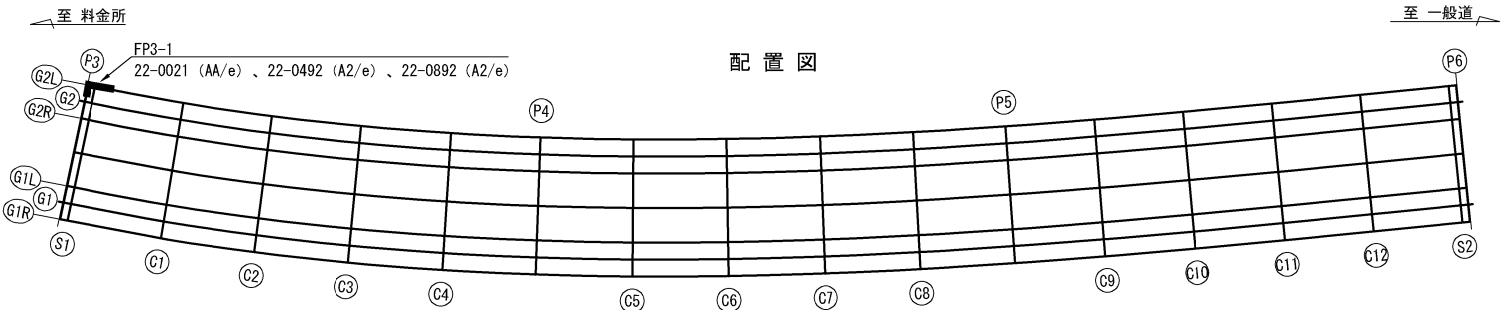
開落自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋エランプ 塗装修図 (EP16-1)		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 開東支社 市 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 損傷位置図 (FP3-1) S=1:50  
(Fランプ) G2主桁 P3 (P4側)



塗替塗装 (極小部) 塗替塗装 (一般部) c-3-(1)w		(0.69m2当り)		
項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	C-3 素地調整程度1種相当	m2	0.69	最終下塗り1層増し塗り
	境界部 素地調整程度4種	m2	0.40	既存塗膜との境界部
鋼部材除去	ガス切断 (t=10mm)	m	0.4	グラインダー仕上げ
	除去材 PL 40*10*340	kg	1.1	

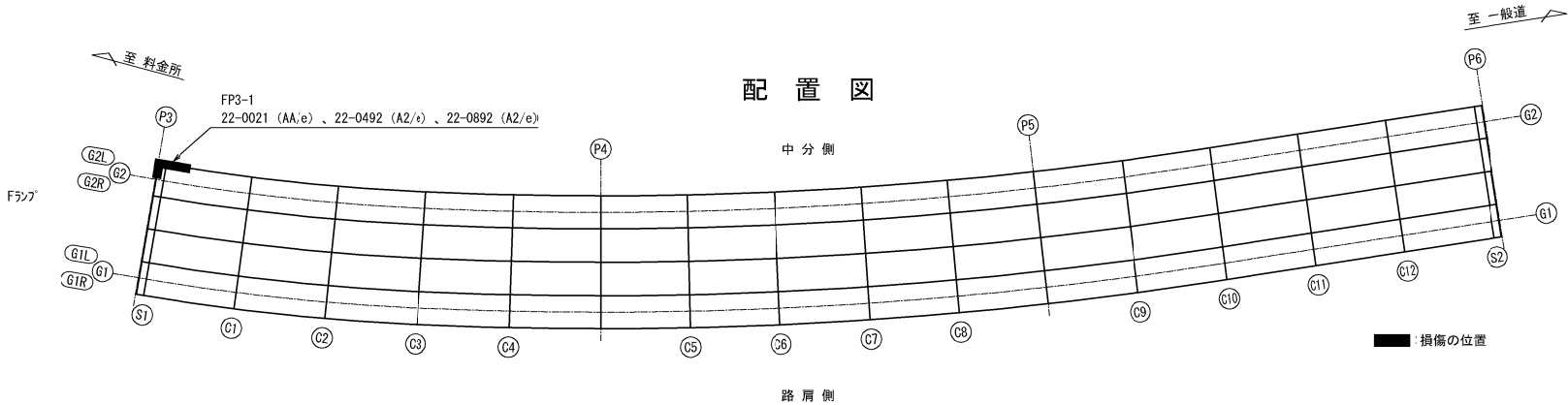
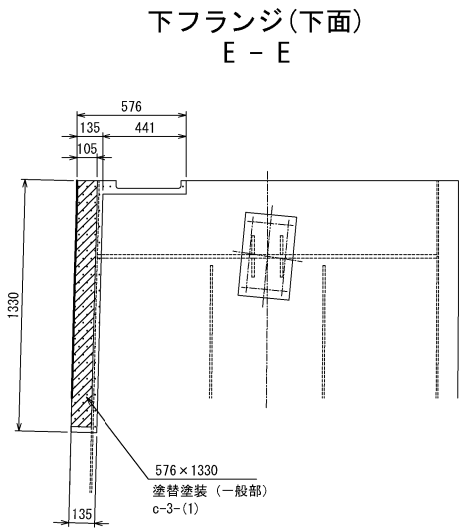
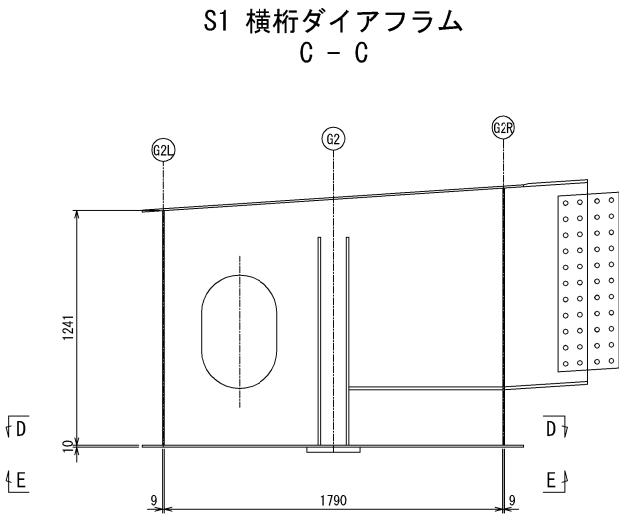
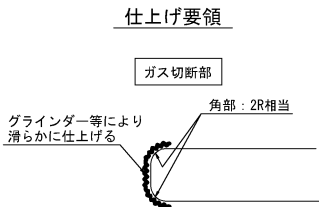
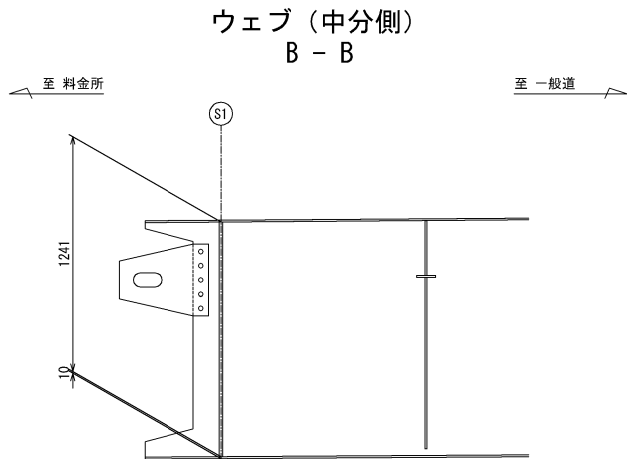
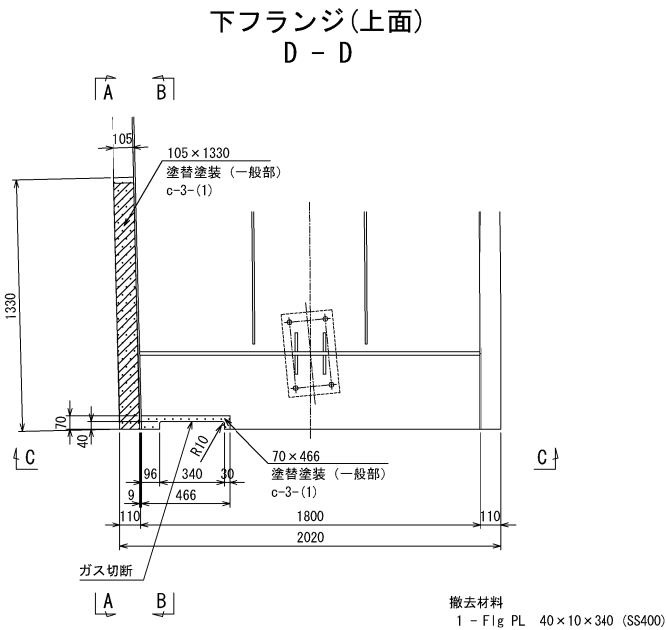
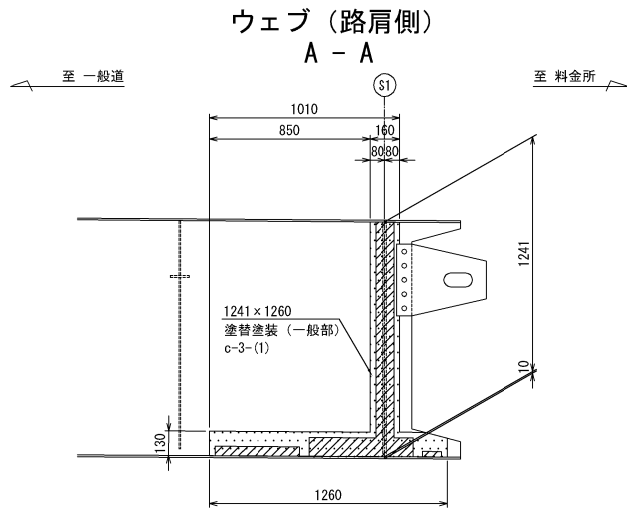
塗替塗装 曲面加工 (R面取り)				
項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	曲面加工 (R面取り)	m	3.1	



関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (FP3-1) (Fランプ) G2主桁 P3 (P4側)		
縮 尺	1:50	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋Fランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図 (FP3-1) S=1:40  
〈P3-P6〉

S1-S2間 G2桁 損傷番号FP3-1

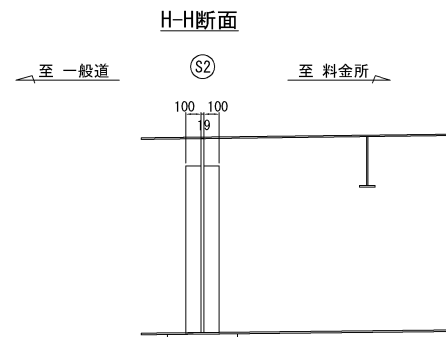
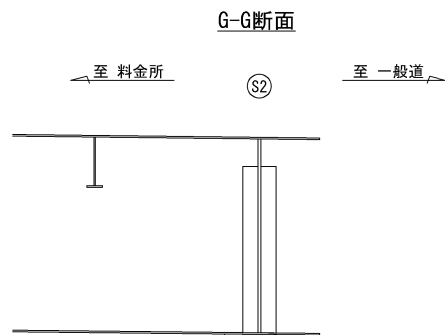
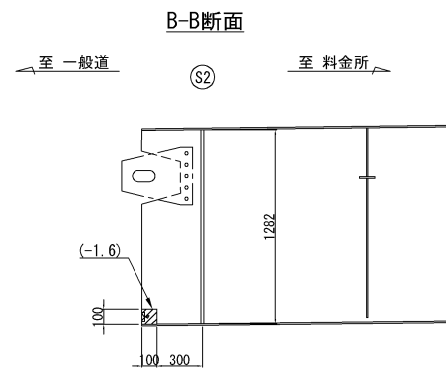
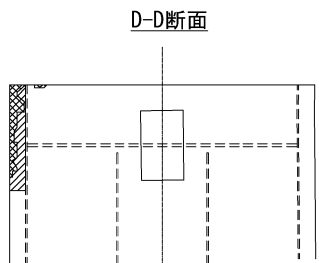
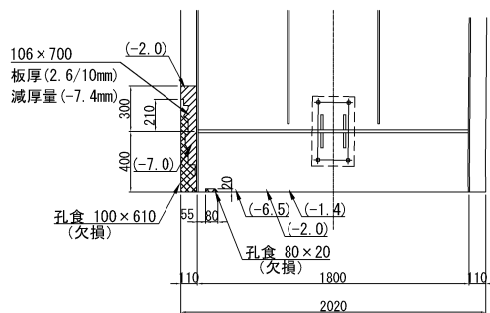
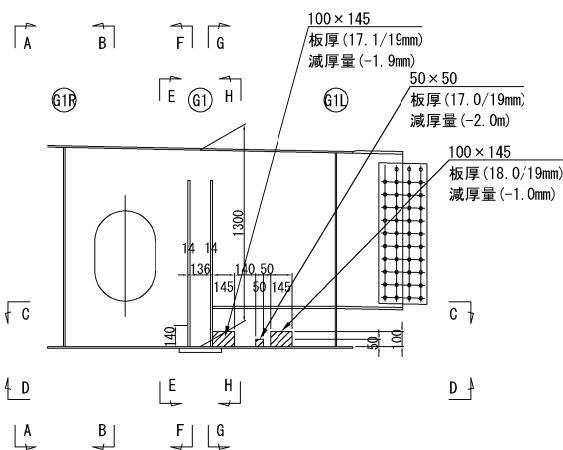
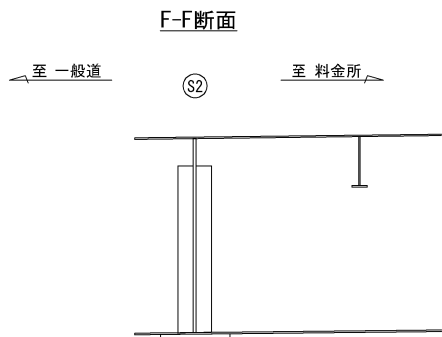
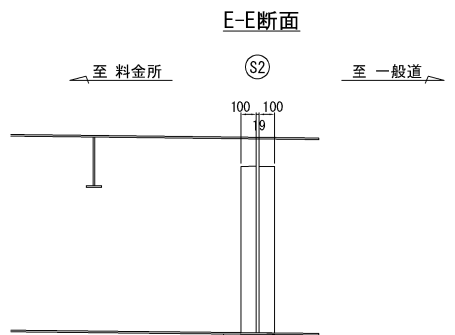
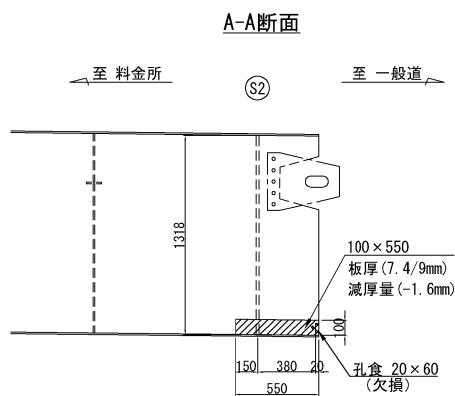


- 注記
- 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
  - 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

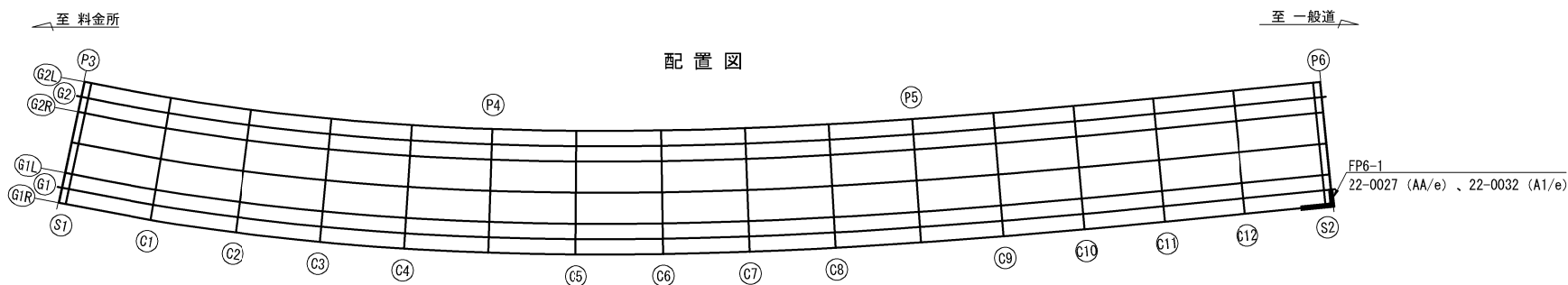
凡 例	
	錆・腐食範囲
	1種ケレン相当

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Fランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図 (FP3-1)		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 損傷位置図 (FP6-1) S=1:50  
(Fランプ) G1主桁 P6 (P5側)



/// : 損傷範囲 (減厚)  
xxx : 損傷範囲 (欠損)



塗替塗装 (極小部) 塗替塗装 (一般部) c-3-(1) w (0.30m2当り)

項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	C-3 素地調整程度1種相当	m2	0.30	最終下塗り1層増し塗り
	境界部 素地調整程度4種	m2	0.24	既存塗膜との境界部
鋼部材撤去	Web PL ガス切断 (t=9mm)	m	0.1	グラインダー仕上げ
	撤去材 PL 20*9*60	kg	0.1	
	L-Flg ガス切断 (t=10mm)	m	0.8	グラインダー仕上げ
	撤去材 PL 610*10*95	kg	2.2	
	撤去材 PL 20*10*80	kg	0.1	

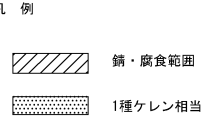
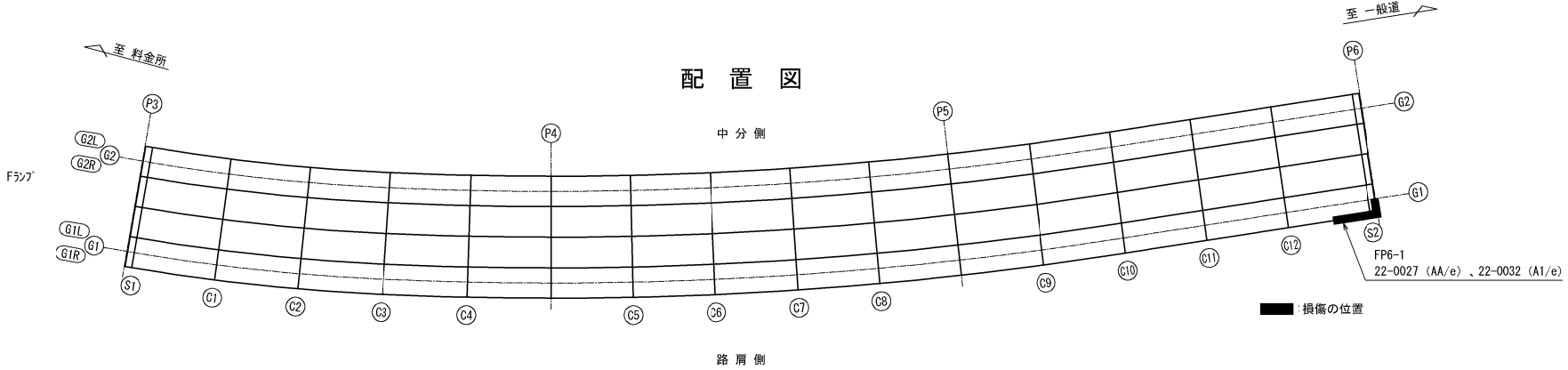
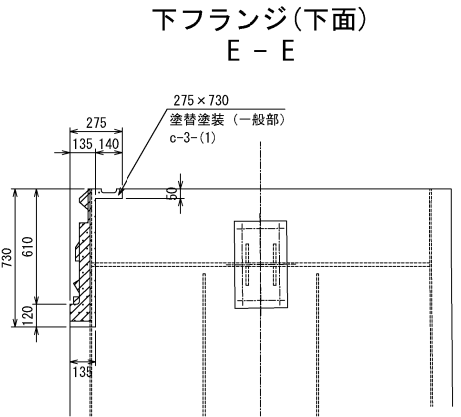
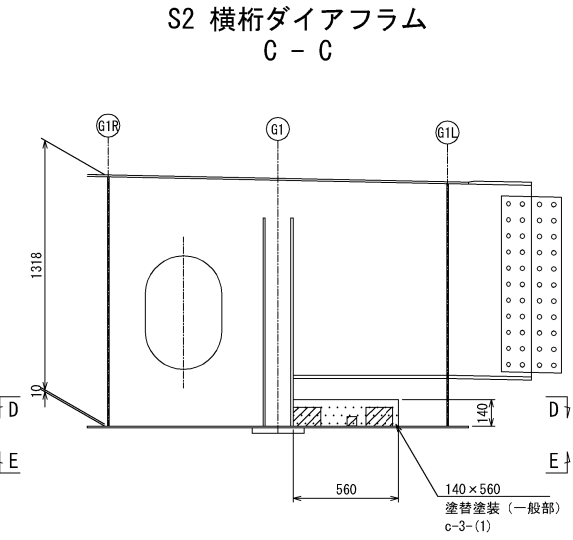
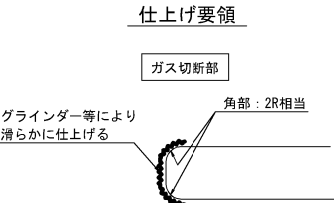
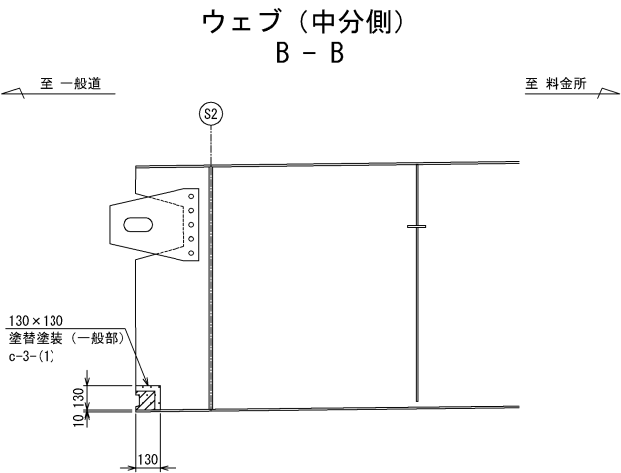
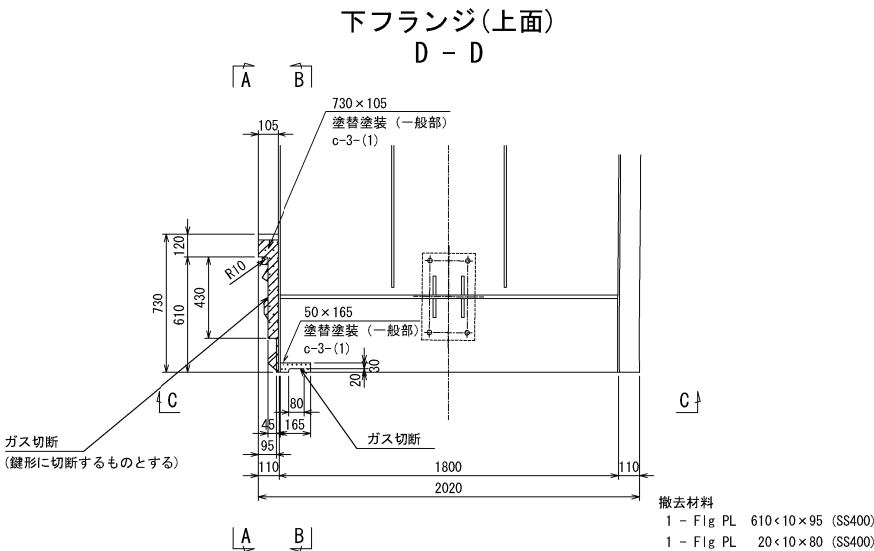
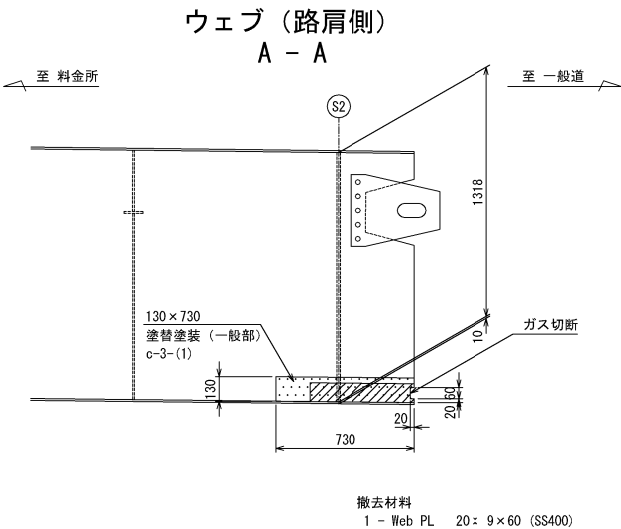
塗替塗装 曲面加工 (R面取り)

項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	曲面加工 (R面取り)	m	0.6	

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (FP6-1) (Fランプ) G1主桁 P6 (P5側)		
縮 尺	1:50	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

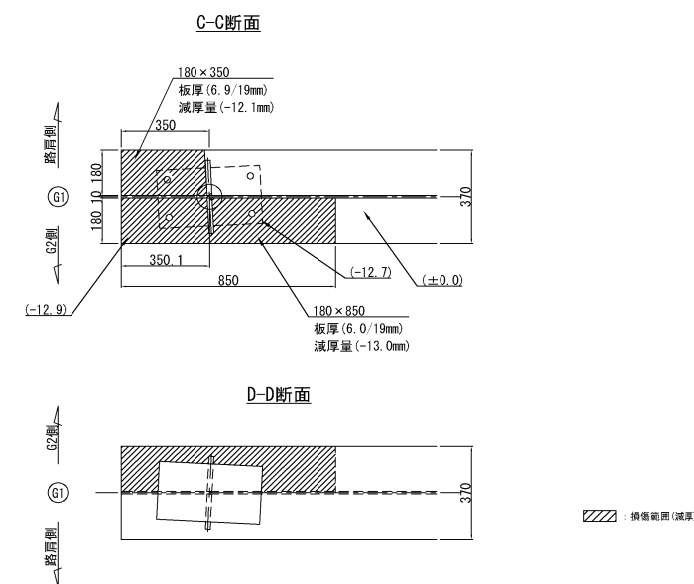
入間高架橋Fランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図 (FP6-1) S=1:40  
〈P3-P6〉

S1-S2間 G1桁 損傷番号FP6-1



注記  
1. 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。  
2. 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Fランプ 切断仕上げ要領および塗装補修図 (FP6-1)		
縮尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		



鋼部材補修工			F P 1 O - 1		(204.0kg 当り)
項目		細目	単位	数量	備考
当て板補修	製作、購入重量	PL、TGB、HTB、BOLT	kg	204.0	
	高力ボルト	TGB S10T M22	本	57	
		HTB F10T M22	本	11	
	タップボルト	BOLT WASH M22×55	本	4	ナゲン 後ボルト設置
	セットボルト	BOLT M24×90	本	4	
	現場孔明	PL t=10mm、Φ=24.5mm	箇所	28	既設Web
		PL t=19mm、Φ=24.5mm	箇所	32	既設L-Flg
		PL t=19mm、Φ=24.5mm	箇所	6	既設V-Stiff
		タップボルト 深さ45mm、Φ=19.5mm	箇所	4	既設L-Flg、Sole PL、上巻
	不陸修正	エポキシ樹脂接着剤	L	3.8	腐食減肉部充填
シーリング	シリコン系 クラス25 低モジュラス	L	1.6	JIS A 5758	
鋼部材除去	セットボルト	撤去材 M24×70	kg	1.4	
塗膜剥去	当て板部	当て板補修図(その1)注記参照	m2	1.08	
塗装(新設部材)	F3	PL、Fill、PL	m2	1.09	最終下塗り1層増し塗り
	J	PL、Fill、PL	m2	2.71	高力ボルト接合部(接触面)
	Fill	TGB、HTB、BOLT	m2	0.41	ボルト頭部
	境界部	素地調整程度4種	m2	0.29	既存塗膜との境界部の処理

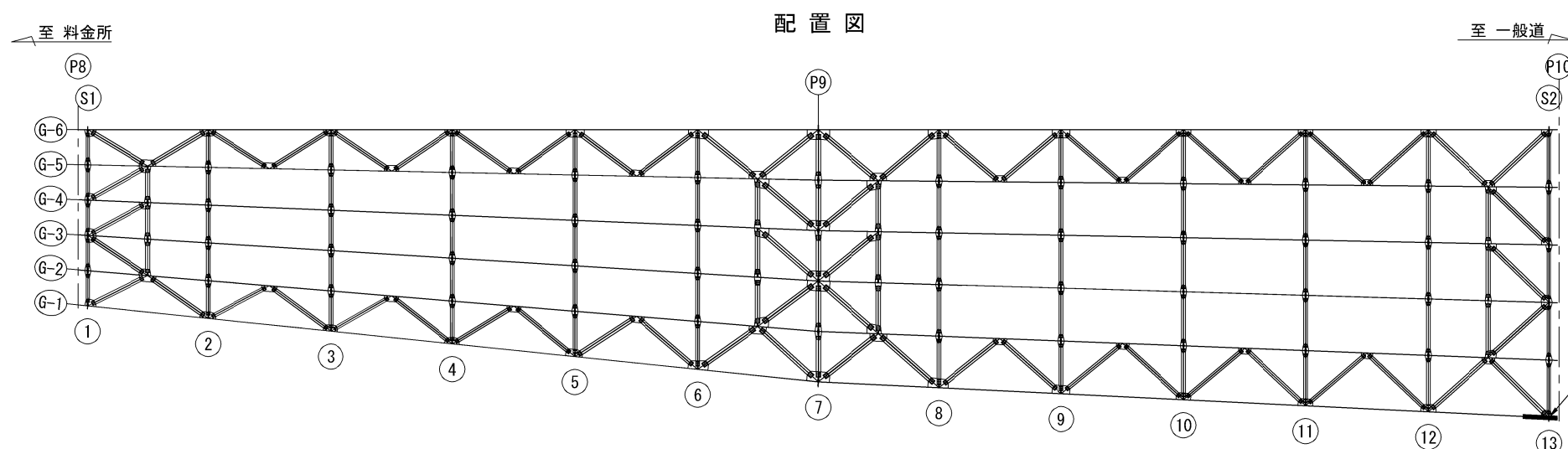
塗替塗装（極小部） 塗替塗装（一般部） c-3-(1) w				(0.16m2当り)	
項目		細目	単位	数量	備考
塗替塗装		C-3 素地調整程度1種相当	m2	0.16	最終下塗り1層増し塗り
		境界部 素地調整程度4種	m2	0.08	既存盛縁との境界部

塗替塗装 曲面加工（R面取り）				
項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	曲面加工(R面取り)	m	1.1	

注)

1. 取合いが関連する横構ガセットプレート及び、端対傾構の損傷状況は損傷位置図(FP10-2)を参照のこと。

閑路自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	高架間架橋 掘削位置図 (FP10-1) (FランP) G1主桁 P10 (P9側)		
縮 尺	1:30	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

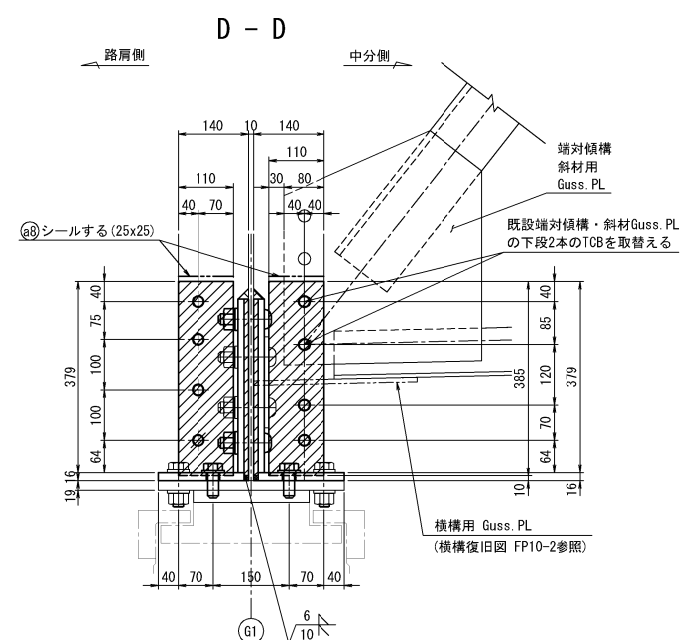
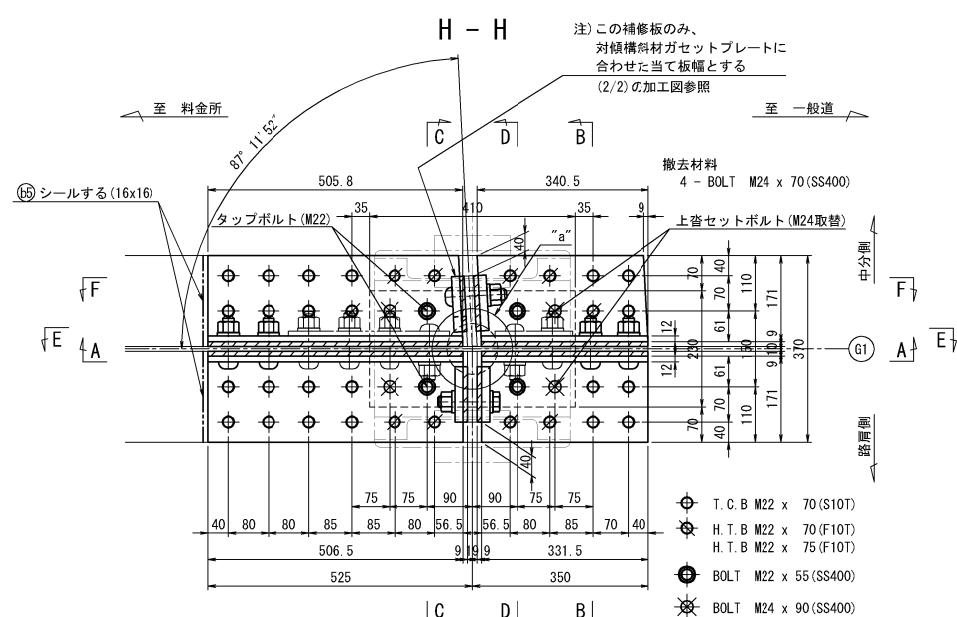
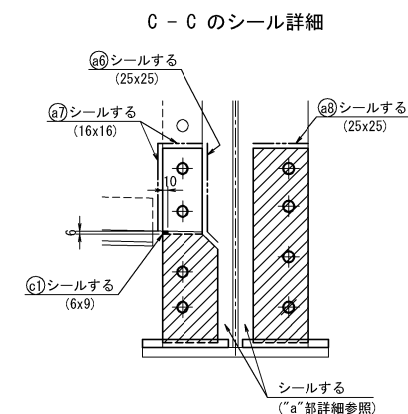
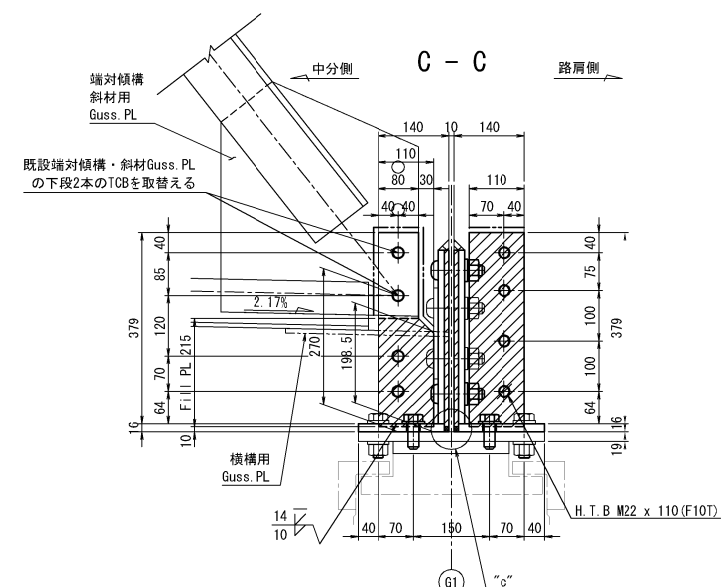
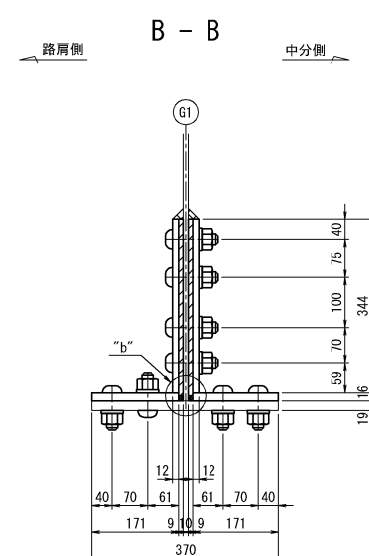
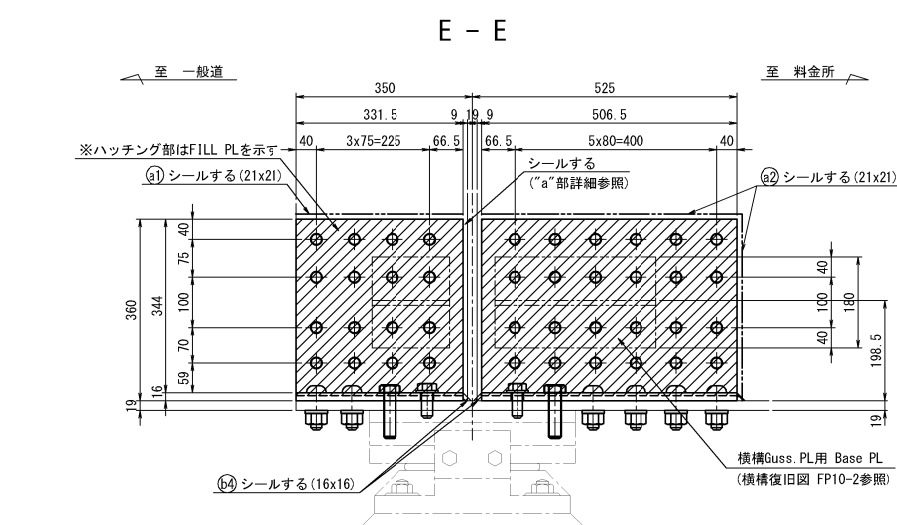


FP10-1  
22-0028 (A1/-) 、 22-0029 (A1/-)



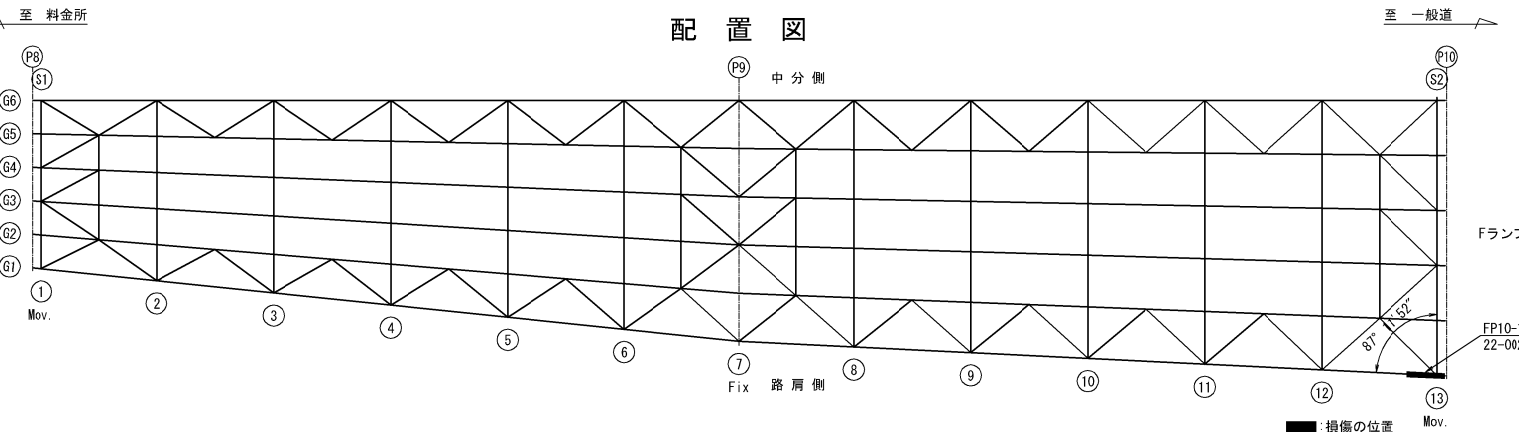
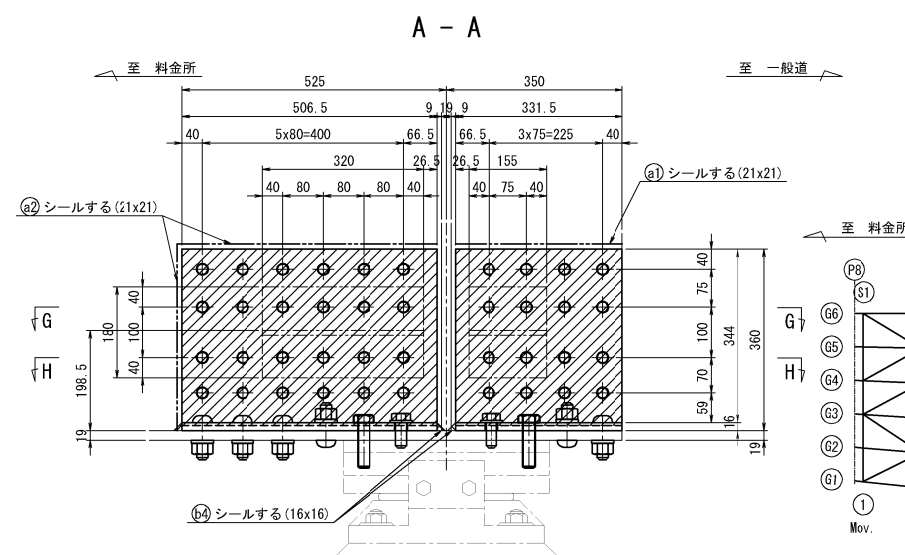
入間高架橋Fランプ 当て板補修図 (FP10-1) (その1) S=1:15

P10上 G1桁 損傷番号 FP10-1 (1/2)



新設材料

Web 桁端側	2 - PL	332 x	12 x	344	
	2 - FILL PL	332 x	9 x	350 (SS400)	
	12 - T.C.B	M22 x	90 (S10T)		
Web 支間中央側	2 - PL	507 x	12 x	344	
	2 - FILL PL	507 x	9 x	350 (SS400)	
	16 - T.C.B	M22 x	90 (S10T)		
Flg	1 - PL	171 x	16 x	332	
	1 - PL	171 x	16 x	341	
	1 - PL	171 x	16 x	506	
	1 - PL	171 x	16 x	507	
	22 - T.C.B	M22 x	70 (S10T)		
	4 - H.T.B	M22 x	71 (F10T) (省サイドブロック上取合部のみ)		
	6 - H.T.B	M22 x	75 (F10T)		
	4 - BOLT	M22 x	51 (SS400) (1-平座金付き、全ネジ、タップ深さ45；詳細図参照)		
	4 - BOLT	M24 x	91 (SS400) (ネジ切りS=54mm)		
	VStiff	3 - PL	110 x	16 x	379
3 - FILL PL		110 x	9 x	385 (SS400)	
1 - PL		110 x	16 x	379	・・・(その2)加工図参照
1 - FILL PL		110 x	9 x	215 (SS400)	・・・(その2)加工図参照
7 - T.C.B		M22 x	105 (S10T)		
	1 - H.T.B	M22 x	111 (F10T) (路肩側最下段部)		



注記

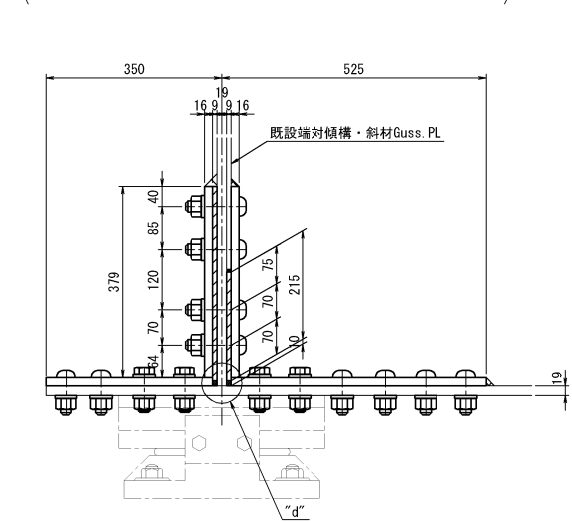
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2.  $\Phi$ 印は、トルシヤ形高力ボルト M22 (310T) を示す。  
※印は、高力ボルト H.T.B M22 (F10T 調練めを示す。  
◎印は、普通ボルト M22 (SS400) を示す。  
※印は、普通ボルト M22 (SS400) を示す。
3. 高力ボルトの剛孔径は既設 24.5  $\phi$ 、当て板材は  
拡大孔の26.5  $\phi$ とする。
4. 横構用ガセットプレートと関連ボルトについては  
"対傾構・横構撤去図" および"対傾構・横構復旧図"  
を参照のこと。
5. 各部詳細、部材加工図は(その2)図面を参照のこと。
6. 実際の製作・施工方法は、本図面を基に現場実測結果と  
照合した上で決定すること。
7. 母材側の腐食減肉部の素地調整程度は、1種(ISO Sa 2 + 1/2)の  
除錆層(95%)以上を目指し、健全部においては2種(ISO St 3)とする。  
また、算術平均粗さRaは、5  $\mu$ m以上確保するものとする。
8. 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

閑路自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋（より線）フラップ 当て板補修図（FP10-1）（その１）		
縮 尺	1:15	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 閑東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

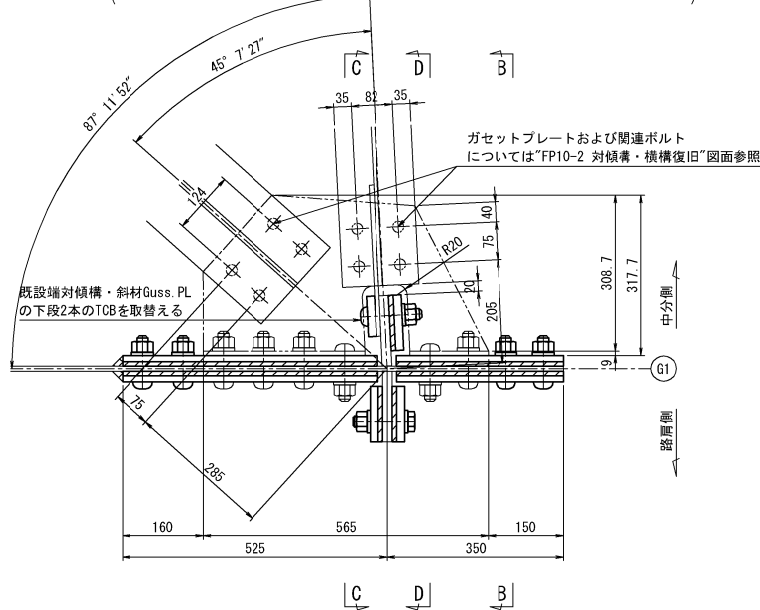
入間高架橋Fランプ 当て板補修図 (FP10-1) (その2)

P10上 G1桁 損傷番号 FP10-1 (2/2)

F - F S=1:15

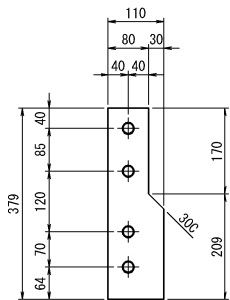


G - G S=1:15

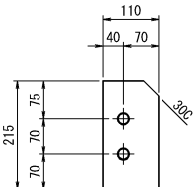


垂直補剛材の当て板加工図 S=1:15  
(中分側の支間中央側)

当て板



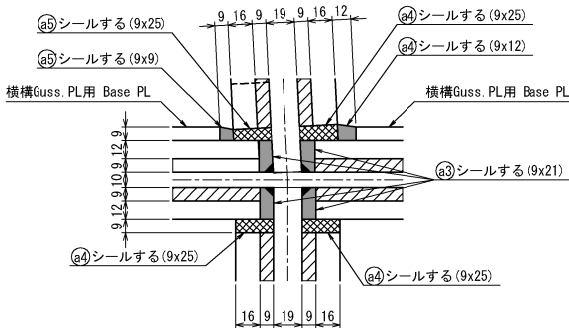
FILL PL



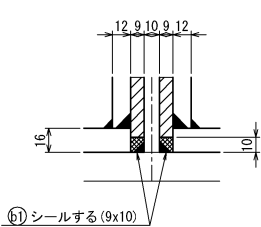
材 量 表

材種	材 質	形 状	当て板補修	総計
PL	SM400A	16	56.3	56.3
		12	54.4	54.4
	SM400A 集計		110.7	110.7
	SS400	9	52.0	52.0
PL 集計			162.7	162.7
加工質量 集計			162.7	162.7
TCB	S10T	M 22	32.2	32.2
HTB	F10T	M 22	6.3	6.3
BOLT	SS400	M 24	1.7	1.7
		M 22	1.0	1.0
BOLT 集計			2.7	2.7
WASH	SS400	M 22	0.1	0.1
部品質量 集計			41.3	41.3
総計			204.0	204.0

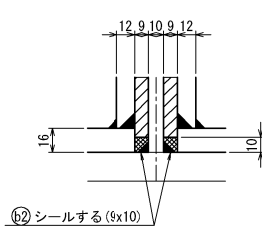
“a”部詳細 S=1:5



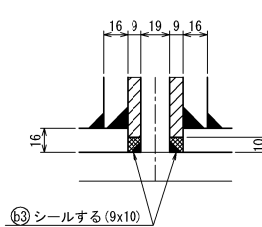
“b”部詳細 S=1:5



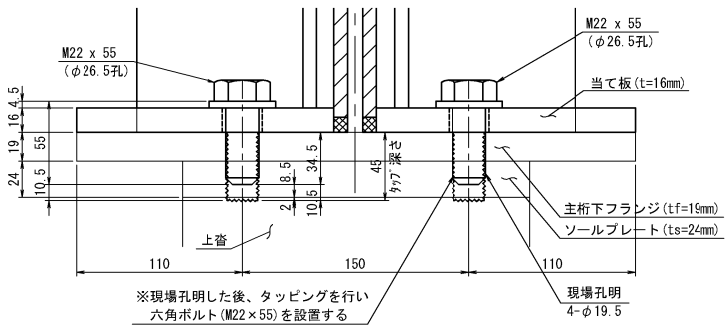
“c”部詳細 S=1:5



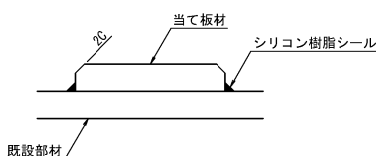
“d”部詳細 S=1:5



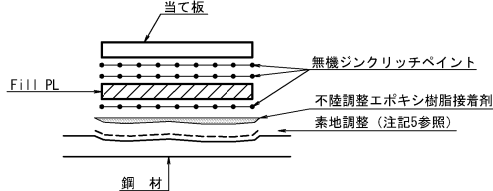
タップ詳細図 S=1:5



新設部材コバ処理詳細



補修断面図



注記

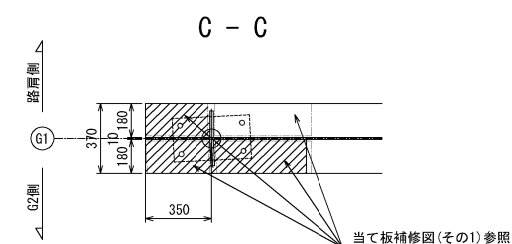
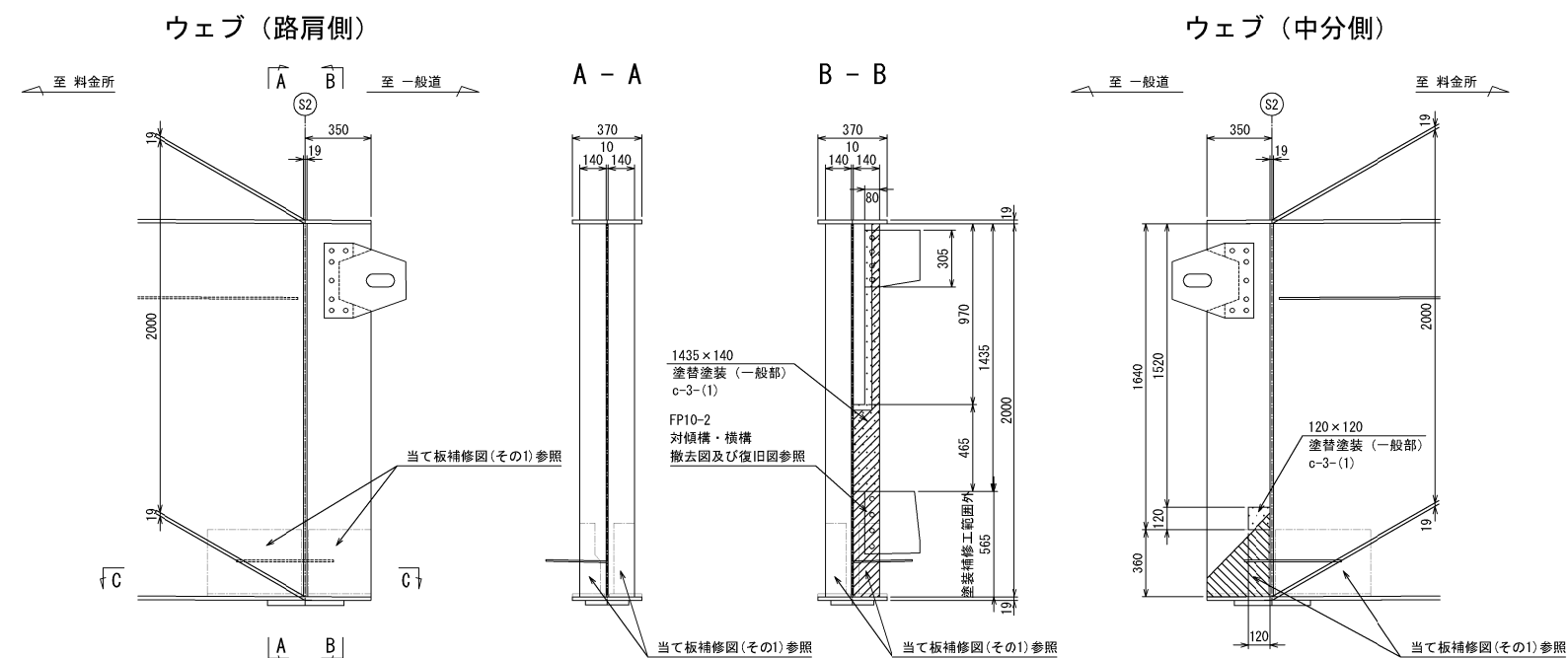
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- ⊕印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
- 特記なき高力ボルトの剛孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
- 実際の製作・施工方法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
- 母材側の腐食減肉範囲の素地調整程度は、1種 (ISO Sa 2-1/2) の除錆率 (95%以上) を目指し、健全部においては2種 (ISO St 3) とする。  
また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。
- 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Fランプ 当て板補修図 (FP10-1) (その2)		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

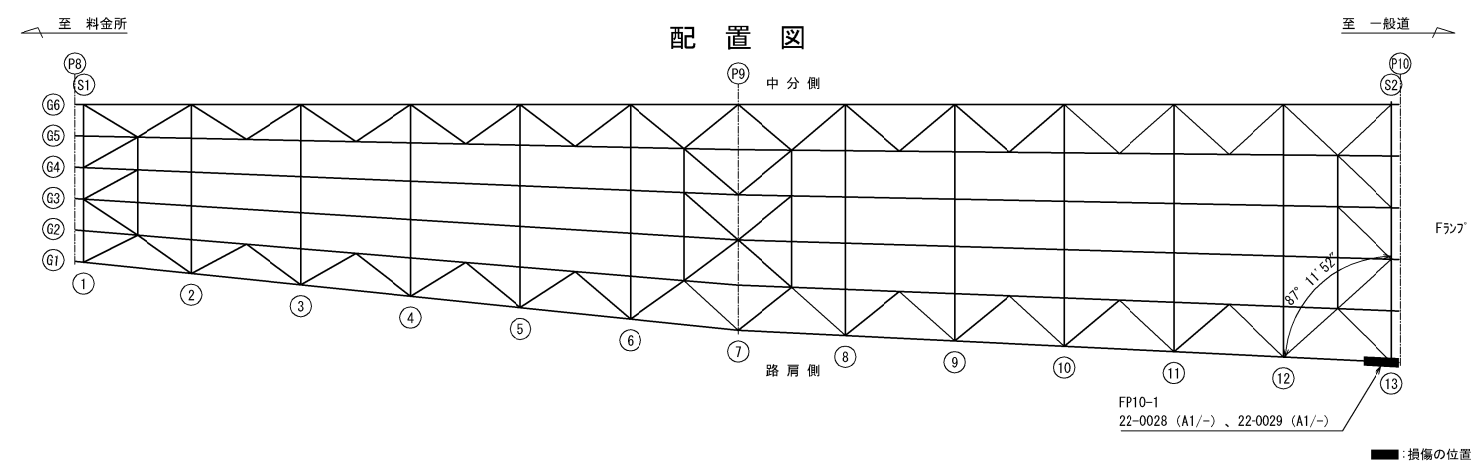
入間高架橋ランプ 塗装補修図 (FP10-1) S=1:40

〈P8-P10〉

S1-S2間 G1桁 損傷番号FP10-1



## 凡 例

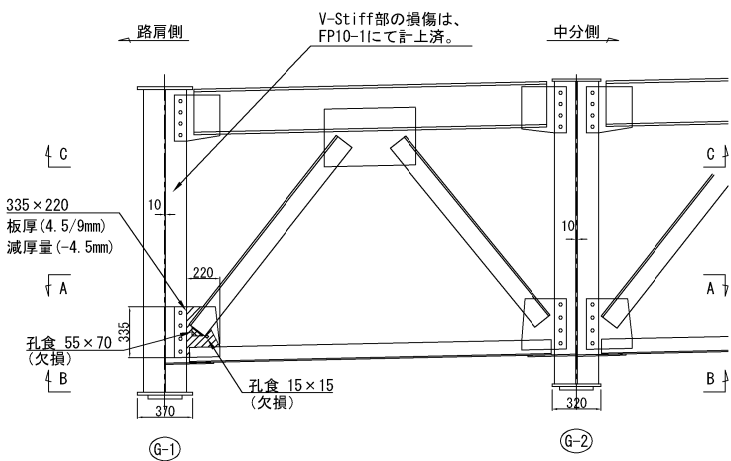


注記

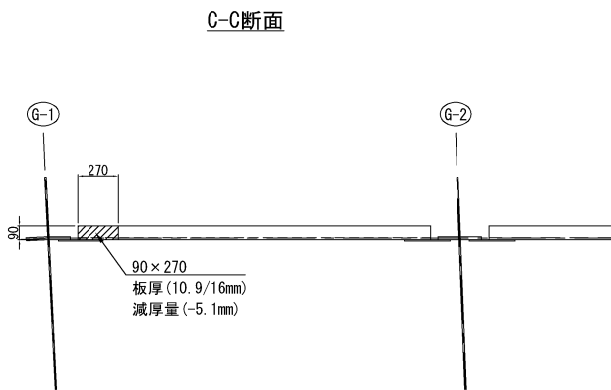
1. 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
2. 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

閑話自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋ランプ 塗装補修図 (FP10-1)		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 府 沢 補 修 課		

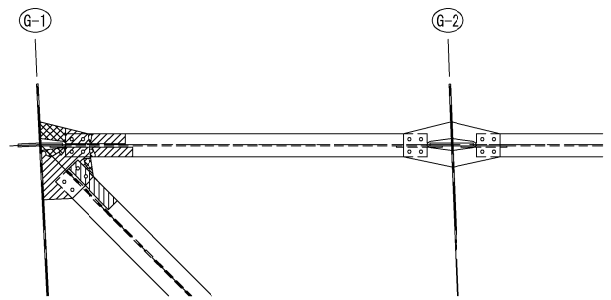
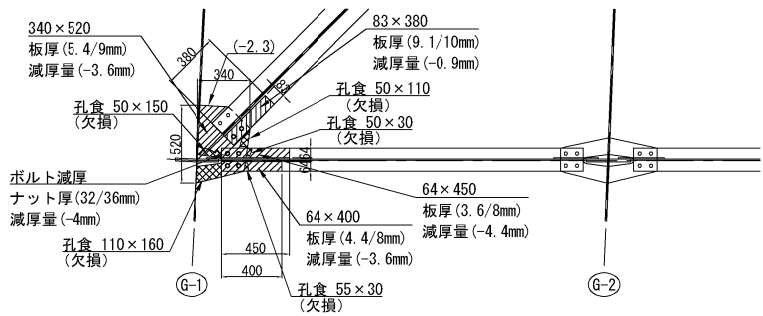
入間高架橋 損傷位置図 (FP10-2) S=1:50  
(ランプ) G1-G2間端対傾構 P10 (P9側)



A-A断面



B-B断面



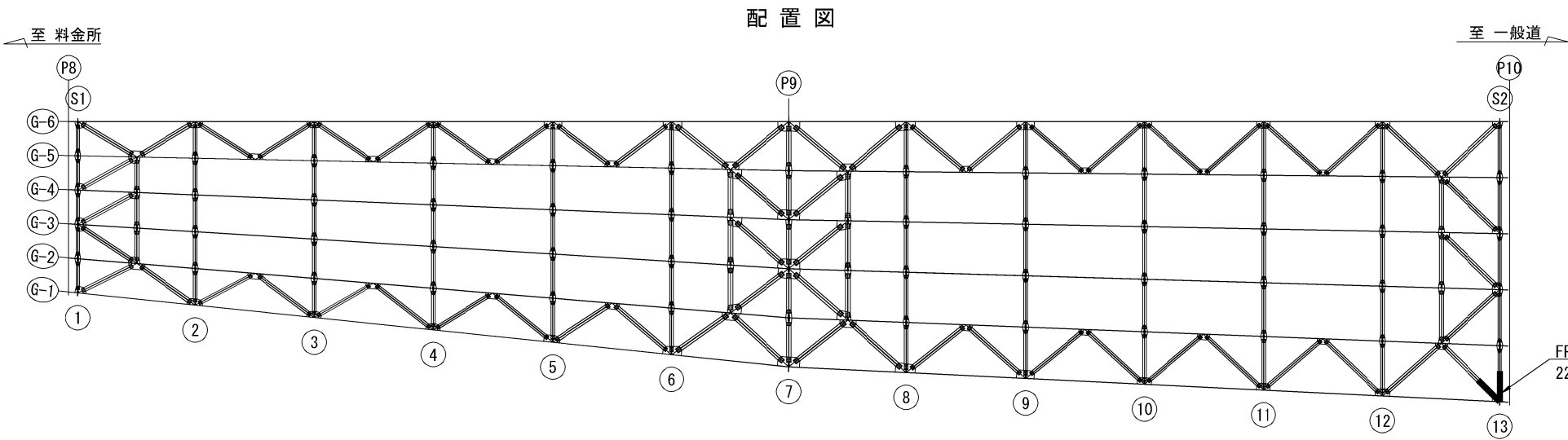
/// : 損傷範囲 (減厚)  
XXXX : 損傷範囲 (欠損)

鋼部材補修工 FP10-2		(202.3kg当り)			
項目		細目	単位	数量	備考
対傾構取替 (Guss含む)	製作、購入重量	PL, L, CT, TCB	kg	176.1	
	高力ボルト	TCB S10T M22*55, 60, 65	本	40	
	現場孔明	既設上弦対傾構 t=12mm、Φ=24.5mm	箇所	10	
	シーリング	Guss PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	8	上弦対傾構Guss
横構Guss PL取替	製作、購入重量	シリコン系 クラス25 低モジュラス	L	0.1	JIS A 5758
	高力ボルト	PL, TCB	kg	26.2	
	現場孔明	TCB S10T M22*100, 55	本	20	当て板部、横構
	シーリング	PL t=10mm、Φ=24.5mm	箇所	12	既設Web
鋼部材撤去	現場孔明	Guss PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	8	
	対傾構Guss PL	シリコン系 クラス25 低モジュラス	L	0.1	JIS A 5758
	対傾構 (Guss含む)	ガウジング (すみ肉t=6mm)	m	1.5	グラインダー仕上げ
	対傾構 (高力ボルト)	撤去材 Guss, L, TCB	kg	107.9	
	横構Guss PL	撤去材 TCB S10T M22*65	本	8	
	横構 (高力ボルト)	撤去材 TCB S10T M22*55	本	16	
補修塗装	ガウジング熱影響部塗装	撤去材 PL 340*9*520, CT, TCB	kg	56.5	接縁CT対傾構含む
塗膜除去	既設部材	撤去材 TCB S10T M22*55	本	16	
塗装 (新設部材)	素地調整程度1種相当	F11	m2	0.11	幅10cm
	素地調整程度2種	C5 Guss, L, CT	m2	2.95	最終下塗り1層増し塗り
	素地調整程度4種	F3 Guss, L, CT	m2	1.03	最終下塗り1層増し塗り
	高力ボルト接合部 (接触面)	J Guss, L, CT	m2	0.66	
	ボルト頭部	F11 TCB, HTB	m2	0.30	

塗替塗装 (極小部) 塗替塗装 (一般部) c-3-(1)w		(0.08m2当り)			
項目		細目	単位	数量	備考
塗替塗装		C-3 素地調整程度1種相当	m2	0.08	最終下塗り1層増し塗り
		境界部 素地調整程度4種	m2	0.04	既存塗膜との境界部

塗替塗装 (極小部) 塗替塗装 (特殊部) g-3-(1)w		(0.02m2当り)			
項目		細目	単位	数量	備考
塗替塗装		g-3 素地調整程度1種相当	m2	0.02	再接合下横構 (特殊部)

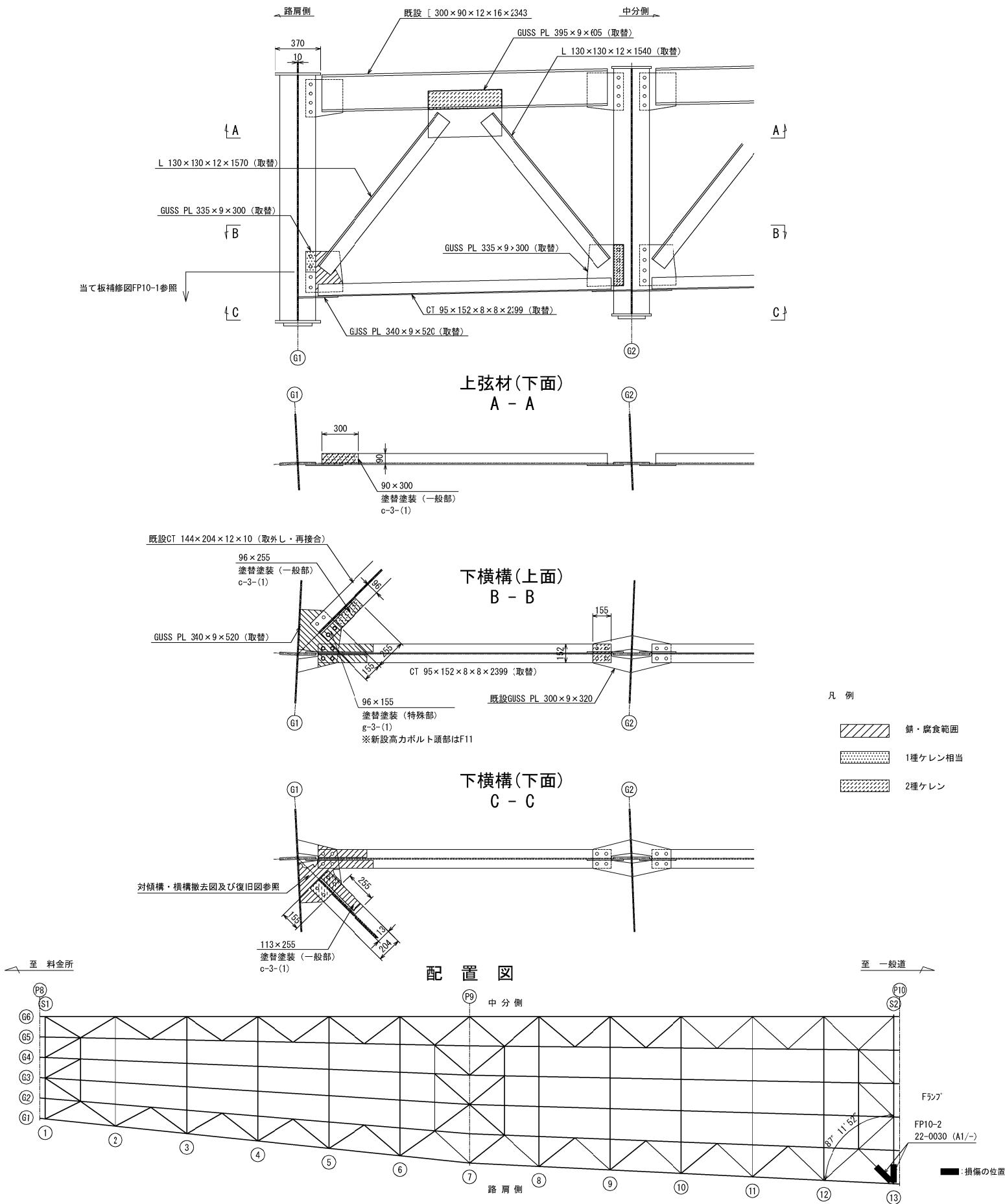
塗替塗装 曲面加工 (R面取り)					
項目		細目	単位	数量	備考
塗替塗装		曲面加工 (R面取り)	m	1.1	



関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (FP10-2) (ランプ) G1-G2間端対傾構 F10 (P9側)		
縮尺	1:50	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋Fランプ 塗装補修図 (FP10-2) S=1:40  
〈P8-P10〉

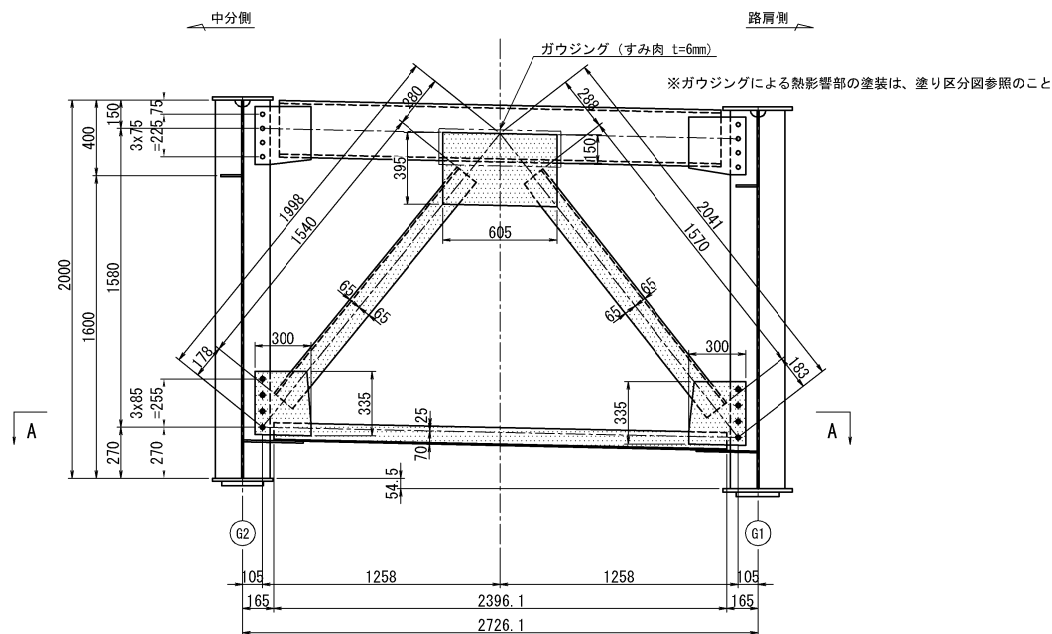
S2上 G1-G2間 損傷番号FP10-2



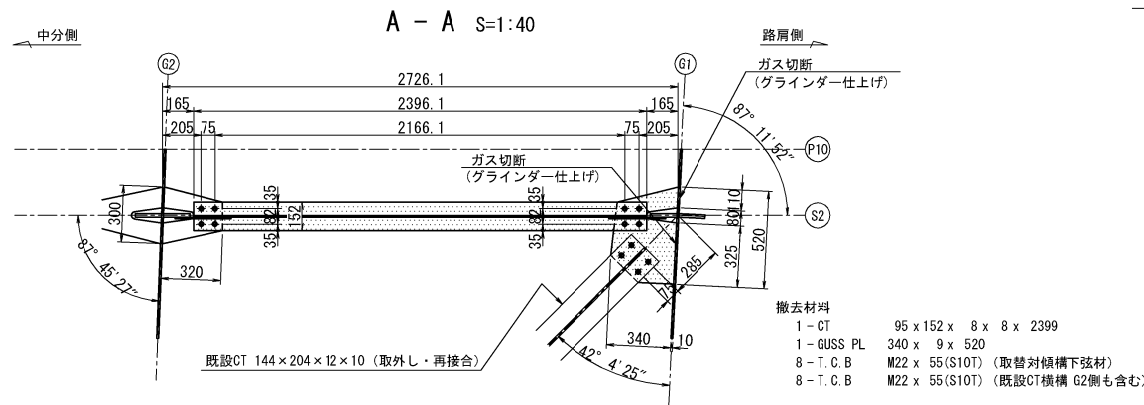
注記  
1. 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。  
2. 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Fランプ 塗装補修図 (FP10-2)		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

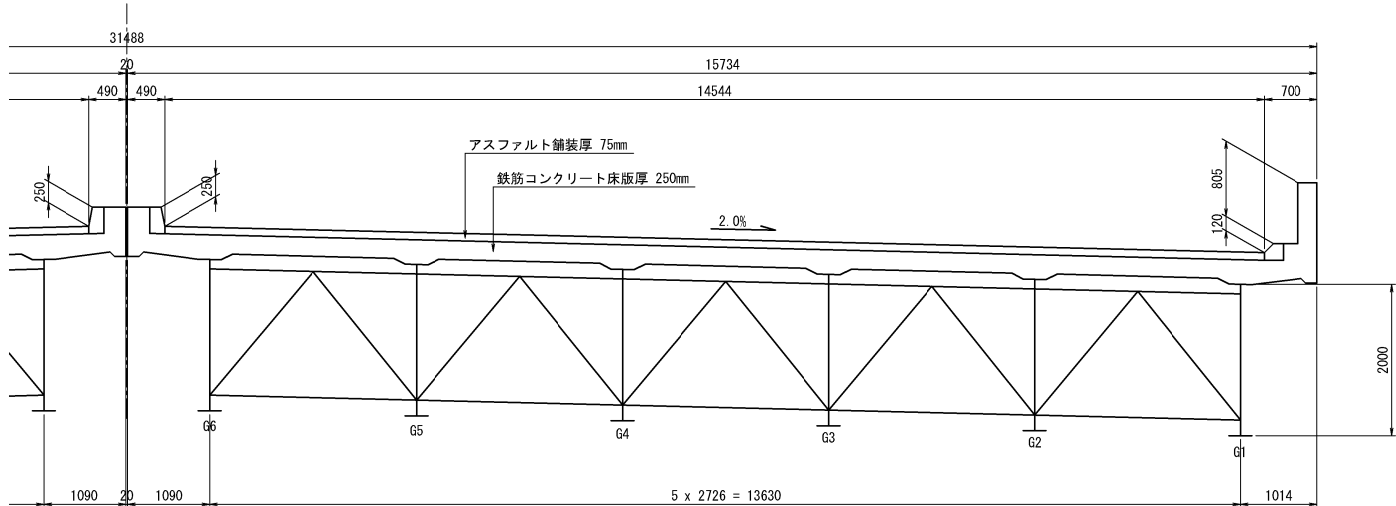
人間高架橋Fランプ 対傾構・横構撤去図 (FP10-2)  
P9-P10間 S2上 損傷番号 FP10-2



撤去材料  
1-L 130 x 130 x 12 x 1570  
1-L 130 x 130 x 12 x 1540  
1-GUSS PL 395 x 9 x 605  
2-GUSS PL 335 x 9 x 300  
8-T.C.B M22 x 65 (S10T)



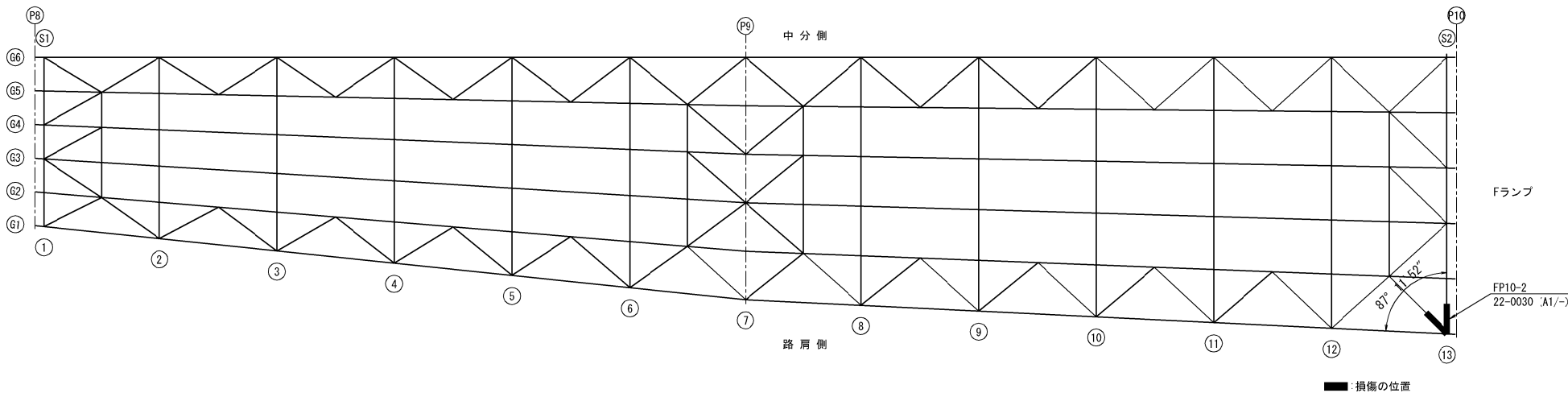
断面図 S=1:100



至 料金所

配置図

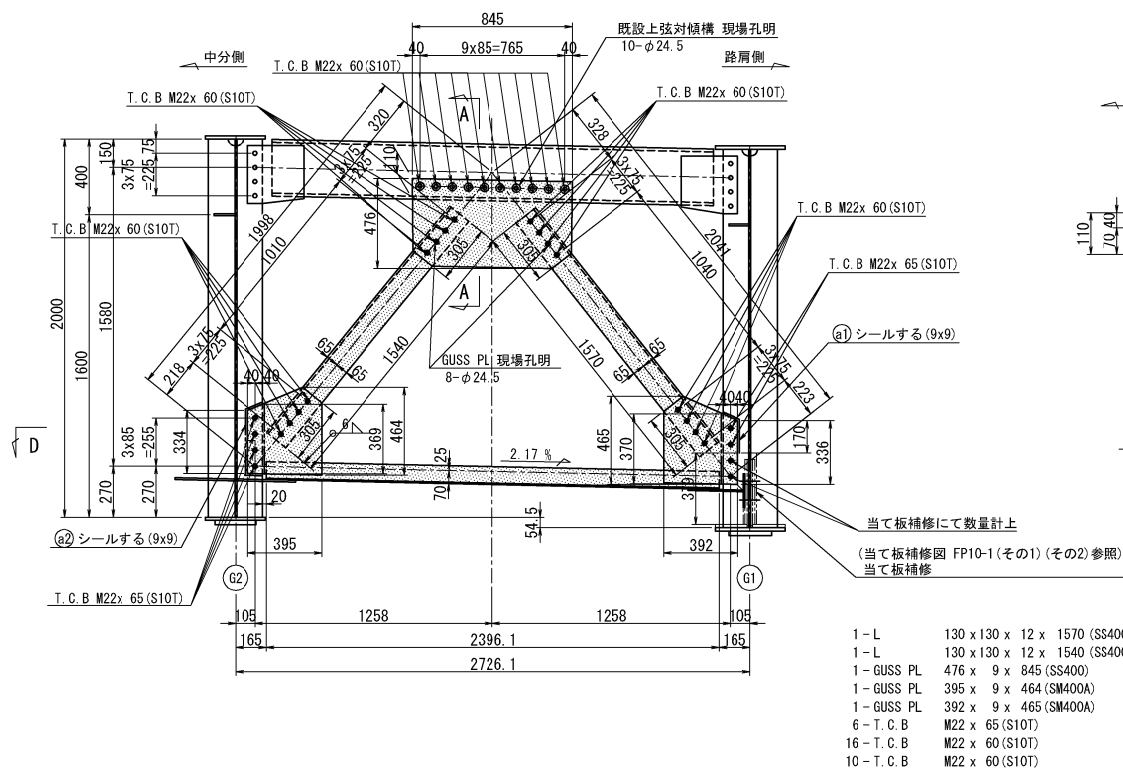
至 一般道



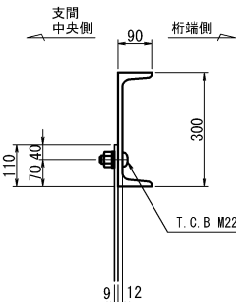
注記  
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。  
2. 印は、撤去部材を示す。  
3. 印は、撤去トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。  
4. 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	人間高架橋Fランプ 対傾構・横構撤去図 (FP10-2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

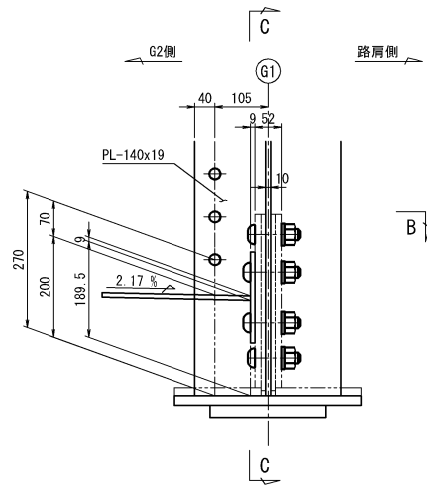
人間高架橋Fランプ 対傾構・横構復旧図 (FP10-2) S=1:40  
P9-P10間 S2上 損傷番号 FP10-2



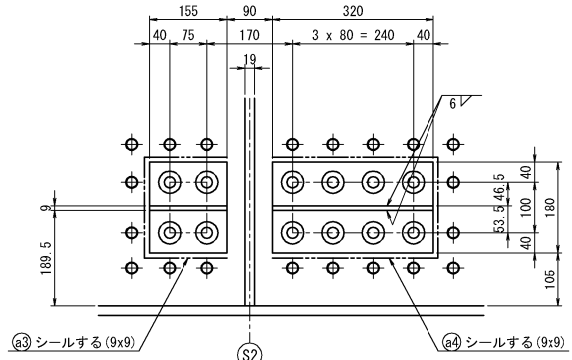
A - A S=1:20



新設横構ガセット S=1:15

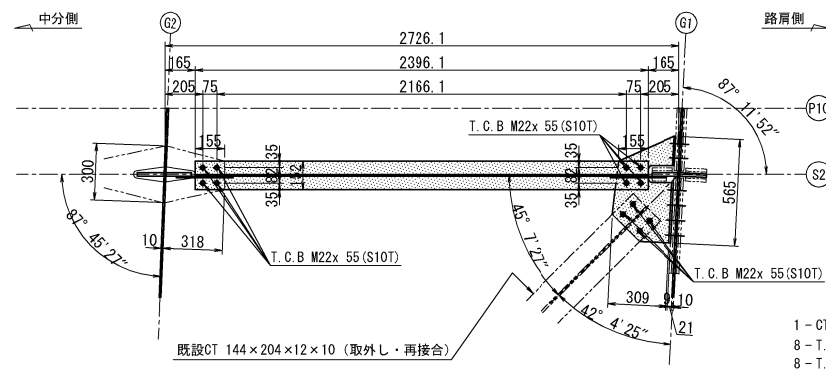


C - C

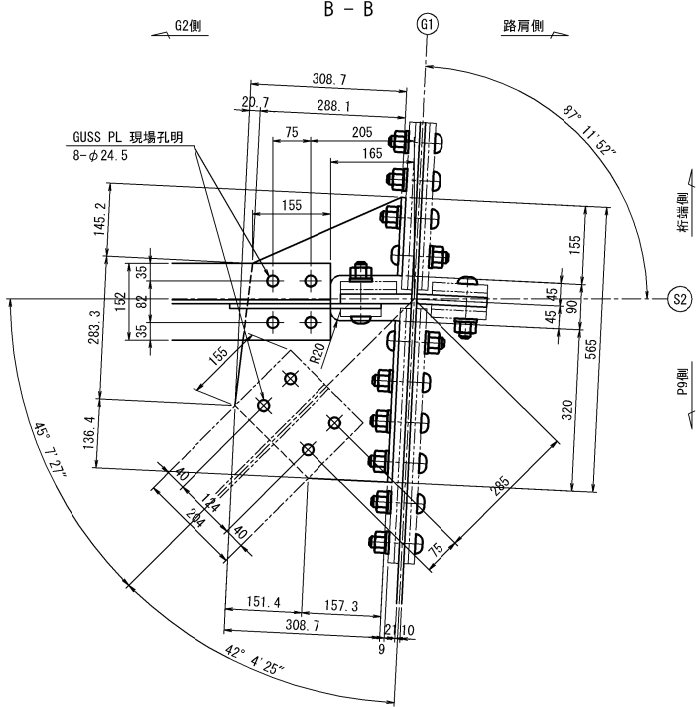


- 1 - GUSS PL 309 x 9 x 565 (SM400A)
- 1 - BASE PL 180 x 9 x 320 (SM400A)
- 1 - BASE PL 180 x 9 x 155 (SM400A)
- 12 - T.C.B M22 x 100 (S10T)

D - D



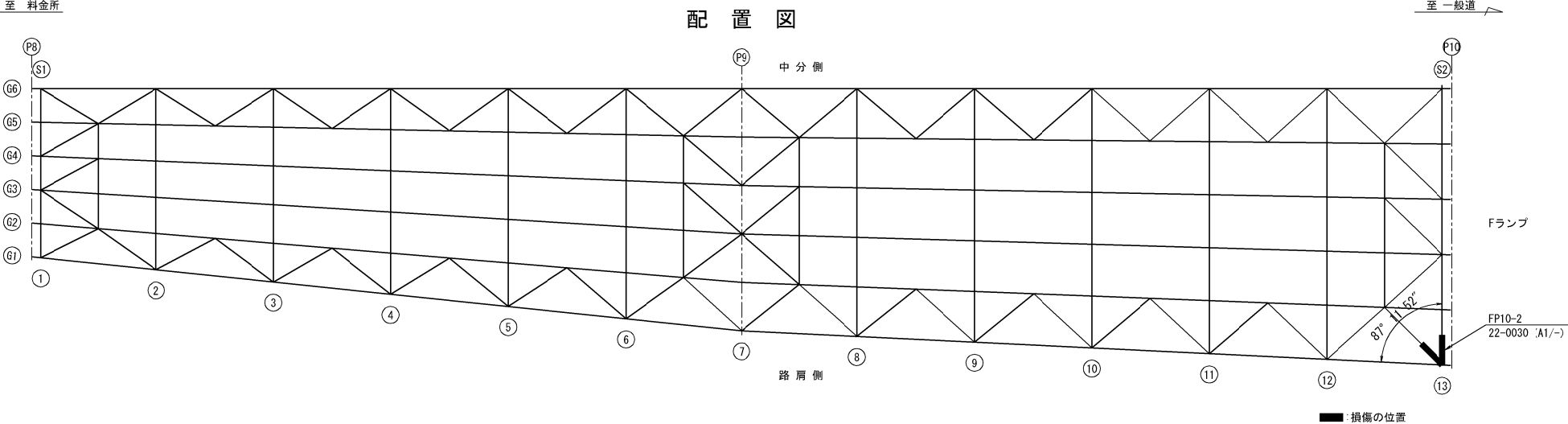
- 1 - CT 95 x 152 x 8 x 8 x 2396
- 8 - T.C.B M22 x 55 (S10T) (取替対傾構下弦材)
- 8 - T.C.B M22 x 55 (S10T) (既設対傾構 G2側も含む)



材量表

材種	材質	形状	構復旧	対傾構復旧	総計
PL	SM400A	9	15.0	22.5	37.5
	SS400	9		26.7	26.7
PL 集計			15.0	49.2	64.2
L	SS400	130* 130* 12		72.7	72.7
CT	SS400	95*152*8*8		34.6	34.6
加工質量 集計			15.0	156.5	171.5
TCB	S10T	M 22	11.2	19.6	30.8
部品質量 集計			11.2	19.6	30.8
総計			26.2	176.1	202.3

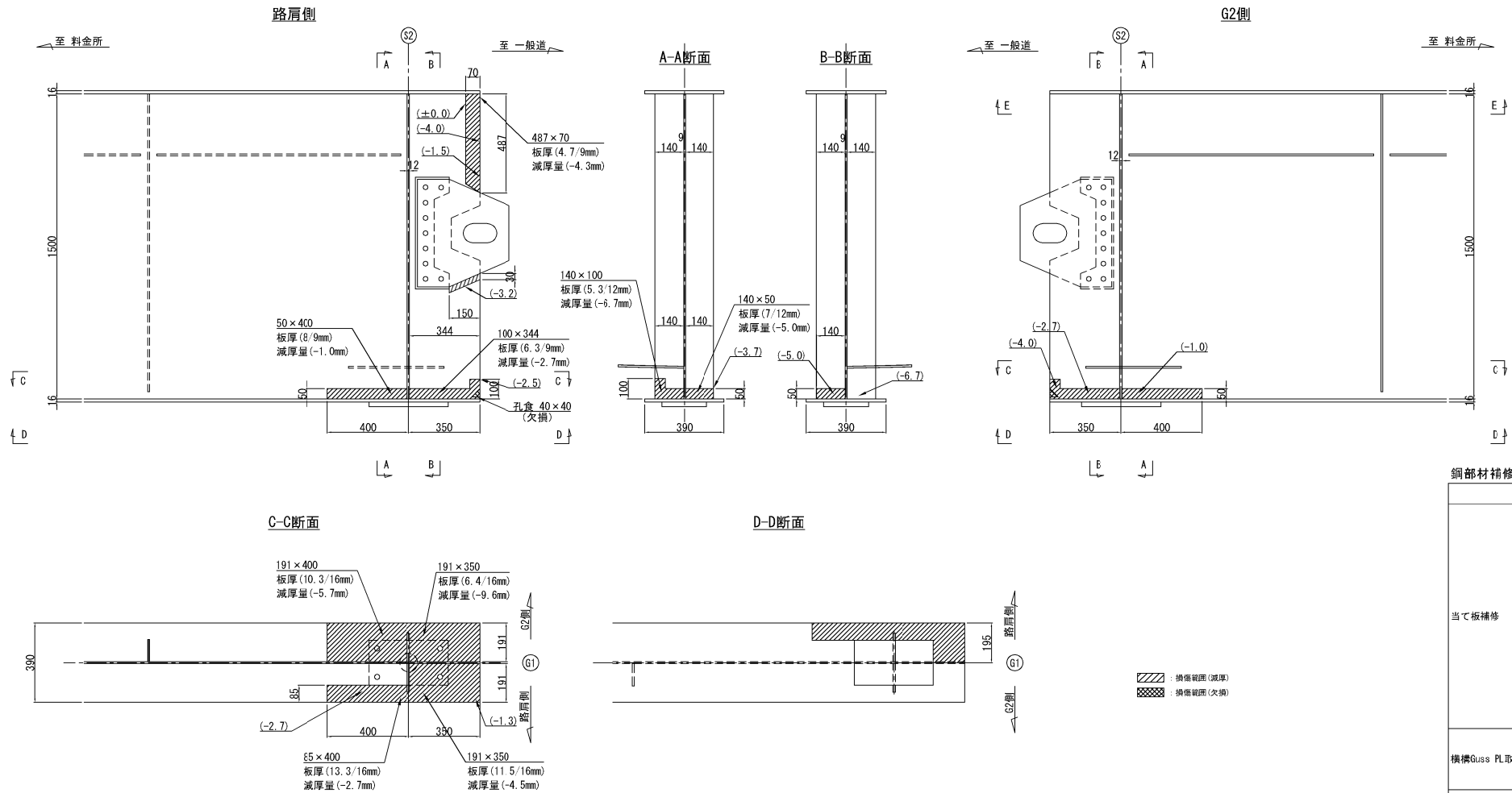
配置図



- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
  - ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
  - ⊙印は、既設部材の孔明けとトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
  - 特記なき高力ボルトの削孔径は既設部材 24.5φとする。
  - 新設部材は拡孔の26.5φとする。
  - 当て板補修については、“当て板補修図 FP10-1 (その1) (その2)”図面を参照のこと。
  - 実際の製作・施工方法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
  - 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	人間高架橋Fランプ 対傾構・横構復旧図 (FP10-2)		
縮尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋 損傷位置図 (FP16-1) S=1:30  
(Fランプ) G1主桁 P16 (P15側)



鋼部材補修工 FP16-1 (188.8kg当り)

項目	細目	単位	数量	備考
当て板補修	製作、購入重量	PL, TCB, HTB, BOLT	kg	169.2
	高力ボルト	TCB S10T M22	本	52
	タップボルト	HTE F10T M22	本	10
	タップボルト	BOLT WASH M22*55	本	4
	セットボルト	BOLT M24*80	本	4
	現場孔明	PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	27 既設Web
		PL t=16mm、Φ=24.5mm	箇所	28 既設L-Fig
		PL t=12mm、Φ=24.5mm	箇所	5 既設V-S:iff
	不陸修正	エポキシ樹脂接着剤	L	1.6 腐食減肉及び孔食部充填
	シーリング	シリコン系 クラス25 低モジュラス	L	1.5 JIS A 5758
横構Guss PL取替	製作、購入重量	PL, TCB	kg	19.6
	高力ボルト	TCB S10T M22*55	本	12 G2側の既設部材を含む
	現場孔明	Guss PL t=9mm、Φ=24.5mm	箇所	6
鋼部材撤去	Web PL	ガス切断 (t=9mm)	m	0.1 グラインダー仕上げ
	撤去材	PL 40*9*50	kg	0.1
	Guss PL	ガス切断 (t=9mm)	m	0.4 グラインダー仕上げ
	撤去材	PL 325*9*470, TCB	kg	16.5
塗膜除去	当て板部	撤去材 M24*70	kg	1.4
	既設部材	当て板補修図(その1)注記参照	㎡	0.94
塗装(新設部材)	素地調整程度2種	C5 Guss PL	m2	0.04 高力ボルト接合部(接触面)
		F3 PL, Guss PL, Fill PL	m2	1.07 最終下塗り1層増し塗り
		J PL, Guss PL, Fill PL	m2	2.44 高力ボルト接合部(接触面)
		F11 TCB, HTB, BOLT	m2	0.43 ボルト頭部
	境界部	素地調整程度4種	m2	0.26 既存塗膜との境界部の処理

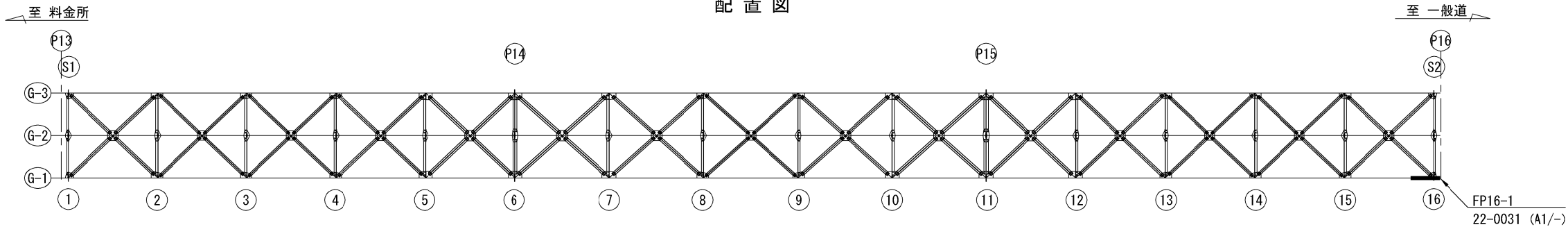
塗替塗装(極小部) 塗替塗装(一般部) c-3-(1)w (0.06m2当り)

項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	C-3 素地調整程度1種相当	m2	0.06	最終下塗り1層増し塗り
	境界部 素地調整程度4種	m2	0.06	既存塗膜との境界部

塗替塗装 曲面加工(R面取り)

項目	細目	単位	数量	備考
塗替塗装	曲面加工(R面取り)	m	0.5	

配置図

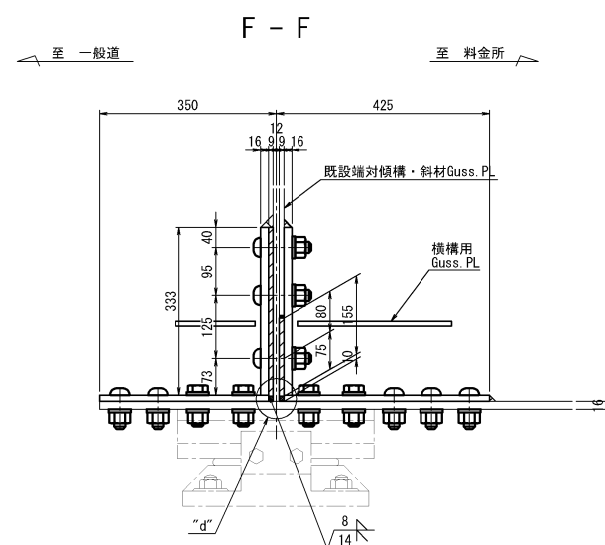
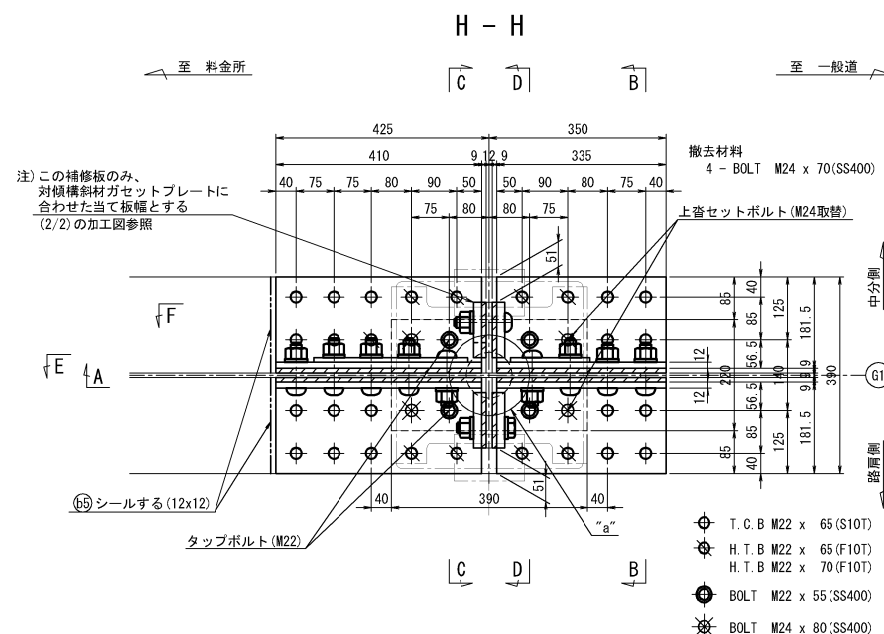
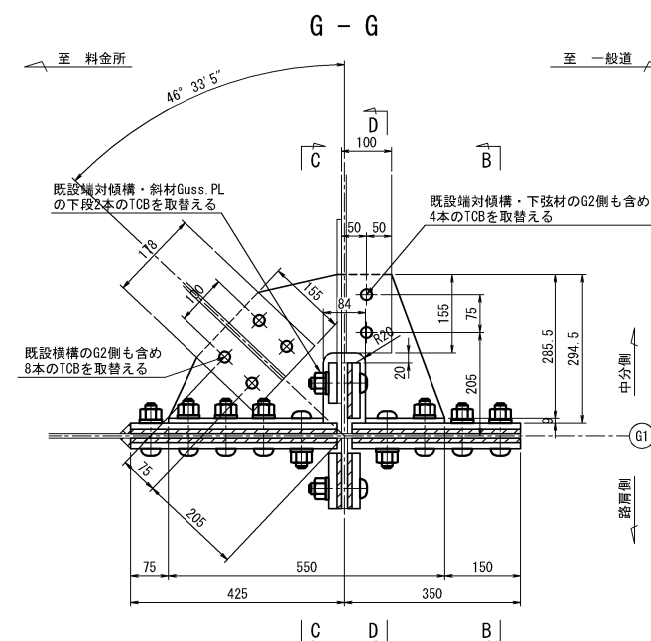
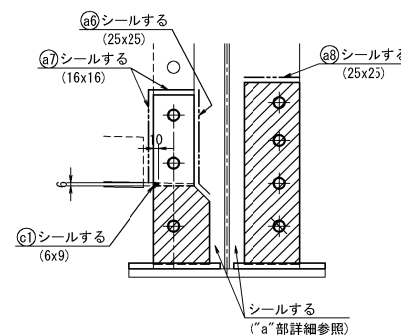
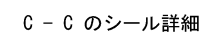
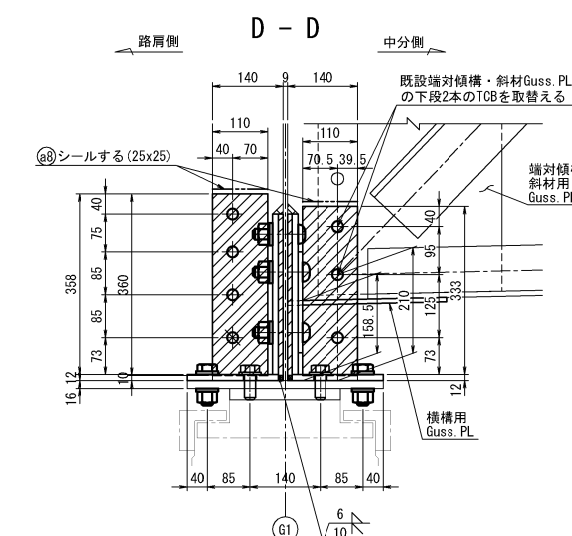
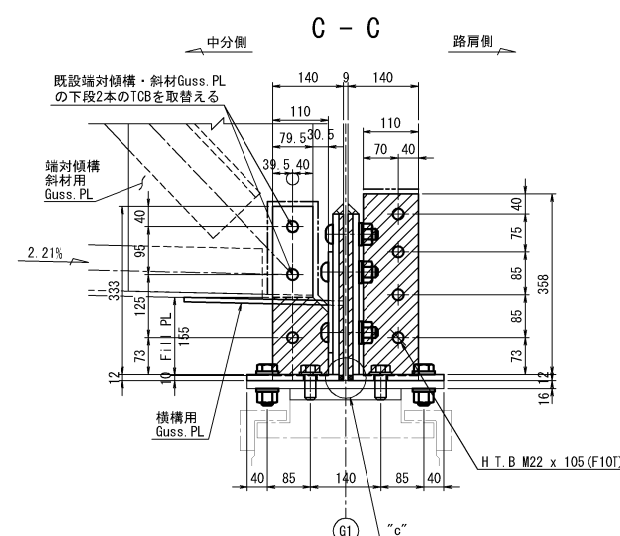
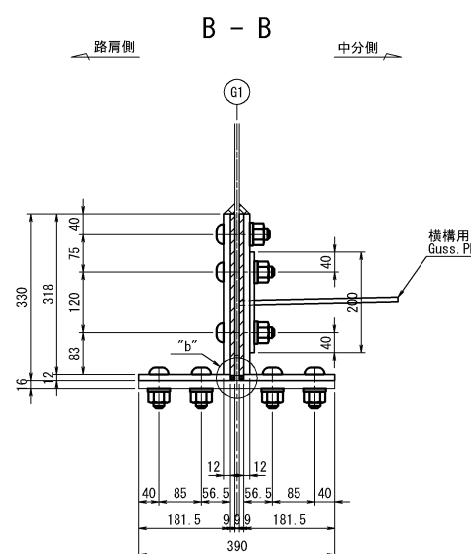
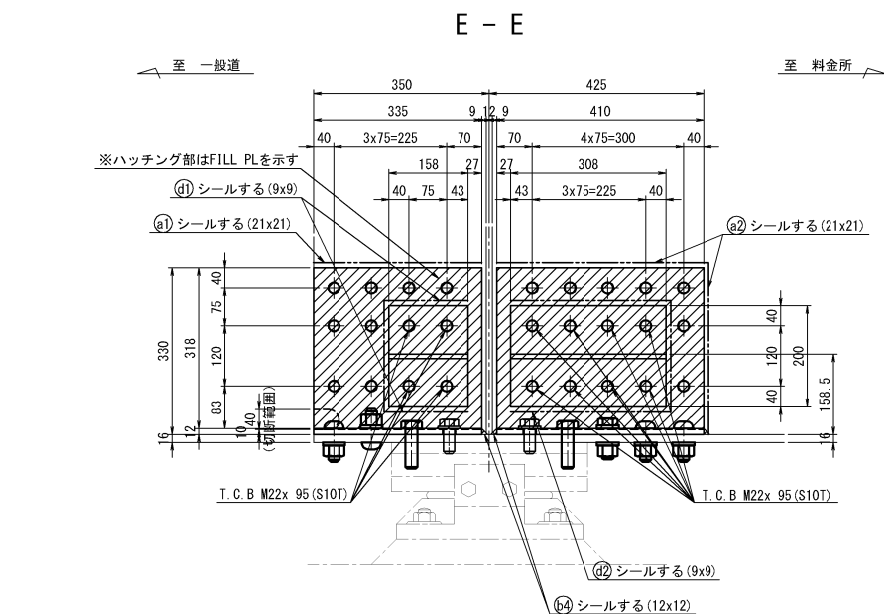


関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 損傷位置図 (FP16-1) (Fランプ) G1主桁 P16 (P15側)		
縮 尺	1:30	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



入間高架橋Fランプ 当て板補修図 (FP16-1) (その1) S=1:15

P16上 G1桁 損傷番号 FP16-1 (1/2)



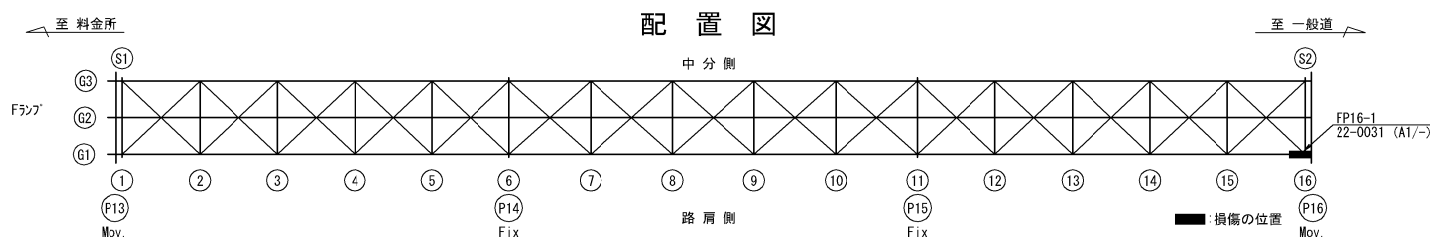
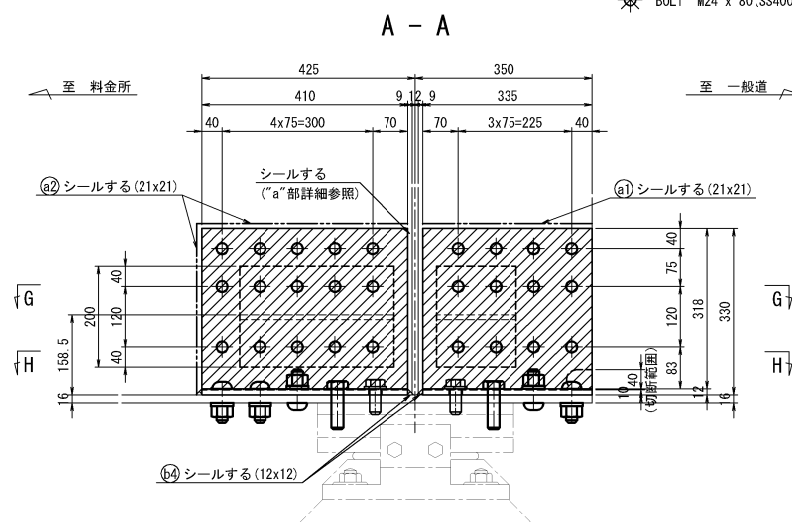
新設材料

Web 桁端側	Web 桁端側	2 - PL	335 x	12 x	318	
		2 - FILL PL	335 x	9 x	320 (\$S400)	
		8 - T. C. B	M22 x	90 (\$T0T)		
		4 - T. C. B	M22 x	95 (\$T0T)		
		2 - PL	410 x	12 x	318	
	Web 支間中央側	2 - FILL PL	410 x	9 x	320 (\$S400)	
		7 - T. C. B	M22 x	90 (\$T0T)		
		8 - T. C. B	M22 x	95 (\$T0T)		
		Web	1 - BASE PL	200 x	9 x	158
			1 - BASE PL	200 x	9 x	308
1 - GUSS PL	286 x		9 x	550		
12 - T. C. B	M22 x		95 (\$T0T)			

VStiff /	2 - PL	182 x	12 x	335	
	2 - PL	182 x	12 x	410	
	19 - T.C.B	M22 x	65 (S107)		
	4 - H.T.B	M22 x	65 (F107)	(※サイドブロック上取合部のみ)	
	5 - H.T.B	M22 x	70 (F107)		
	4 - BOLT	M22 x	55 (SS400)	(1=平座金付き、全ネジ、タップ深さ45；詳細図参照)	
	4 - BOLT	M24 x	80 (SS400)	(ネジ切りS=54mm)	
	2 - PL	110 x	16 x	358	
	2 - FILL PL	110 x	9 x	360 (SS400)	
	1 - PL	110 x	16 x	333	
	1 - FILL PL	110 x	9 x	335 (SS400)	
	1 - PL	110 x	16 x	333	・・・ (その2) 加工図参照
	1 - FILL PL	110 x	9 x	155 (SS400)	・・・ (その2) 加工図参照
	6 - T.C.B	M22 x	100 (S107)		
1 - H.T.B	M22 x	105 (F107)	(路肩側最下段部)		

注記

1. 特記な材質は、全てSM400Aとする。
2. ①印は、トルシア形高力ボルト M22 (S13T) を示す。  
②印は、高力ボルト H.T.B M22 (F10T) 締結めを示す。  
③印は、普通ボルト M22 (SS400) を示す。  
④印は、普通ボルト M24 (SS400) を示す。
3. 高力ボルトの剛孔径に既設 24.5φ、当て板材は  
拡大孔の26.5φとする。
4. 中分側のウェブ面にも当て板が必要であるため、  
横構用ガセットプレートを取付けるものとする。
5. 各部詳細、部材加工図、撤去図、仕上り要領等は  
(その2)図面を参照すること。
6. 実際の製作・施工とは、本図面を基に現場実測結果と  
照合した上で決定すること。
7. 母材側の腐食減肉範囲の素地調整程度は、1種(ISO Sa 2 + 1/2)の  
除錆率(95%)以上を目指し、健全部においては2種(ISO St 3)とする。  
また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。
8. 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

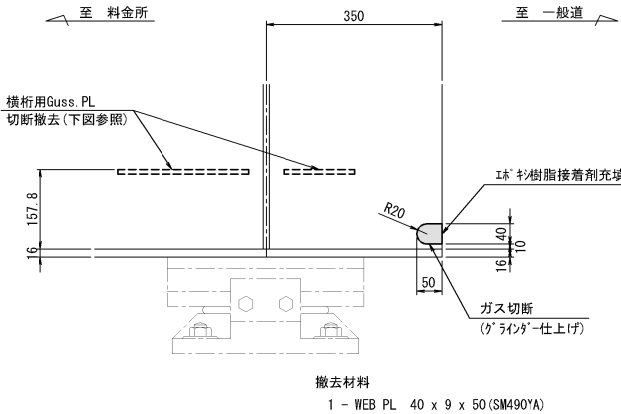


関越自動車道 大久保架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Fランプ 当て板補修図 (FP16-1) (その1)		
縮 尺	1:15	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 所 沢 管 理 事 務 所		関東支社

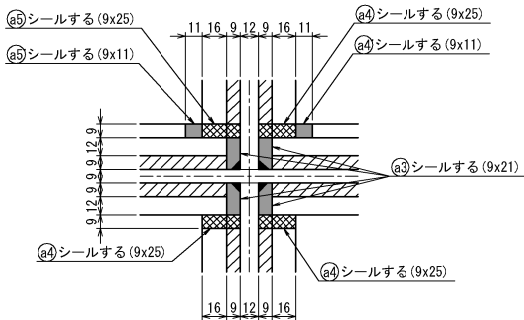
入間高架橋Fランプ 当て板補修図 (FP16-1) (その2)

P16上 G1桁 損傷番号 FP16-1 (2/2)

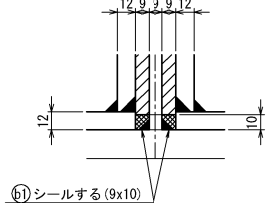
切断仕上げ詳細 S=1:15



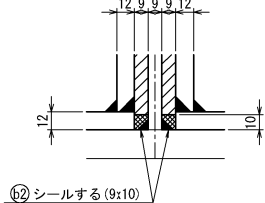
“a”部詳細 S=1:5



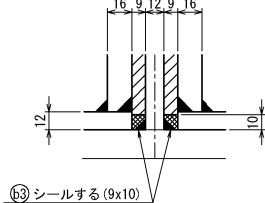
“b”部詳細 S=1:5



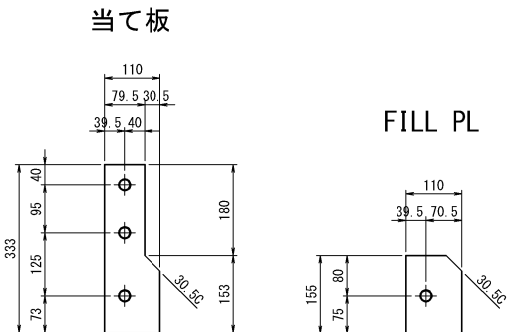
“c”部詳細 S=1:5



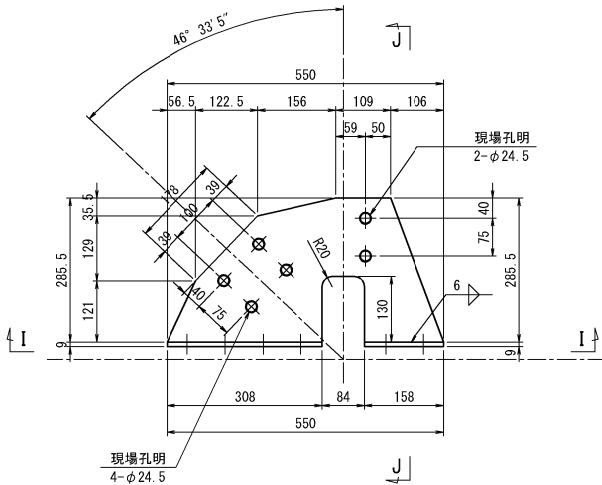
“d”部詳細 S=1:5



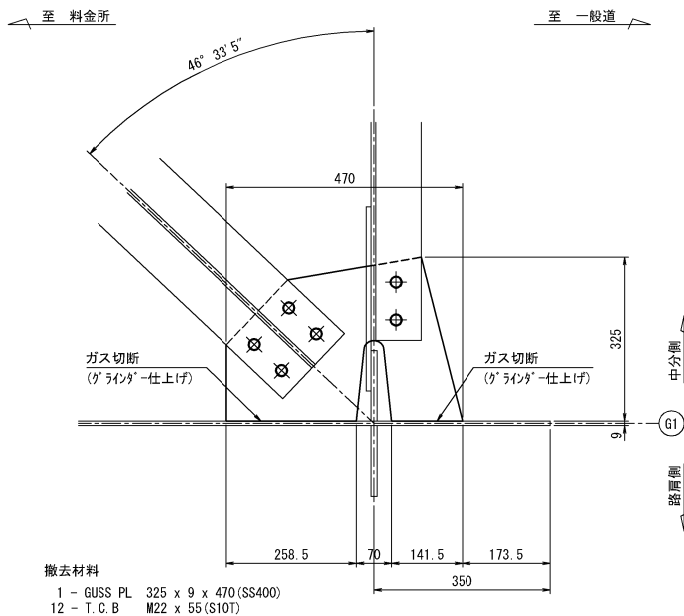
垂直補剛材の当て板加工図 S=1:15  
(中分側の支間中央側)



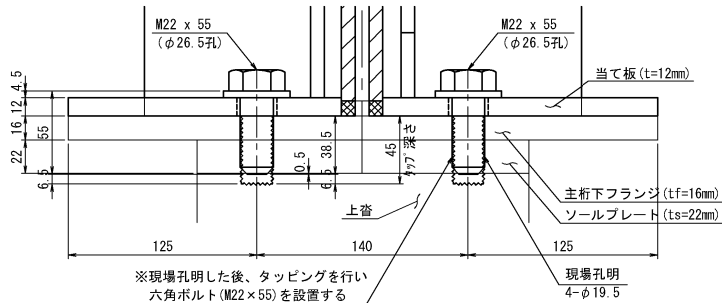
横構用ガセットプレート加工図 S=1:15



横構用ガセットプレート撤去図 S=1:15



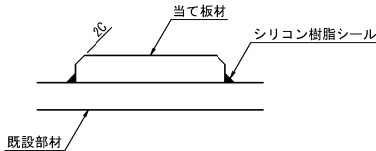
タップ詳細図 S=1:5



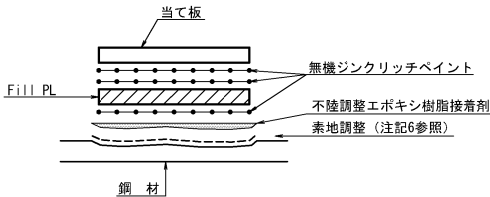
材 量 表

材種	材 質	形 状	当て板補修	横構復旧	総計
PL	SM400A		16	18.3	18.3
			12	70.2	70.2
			9		
	SM400A 集計		88.5	13.9	102.4
	SS400		9	43.0	43.0
PL 集計			131.5	13.9	145.4
加工質量 集計			131.5	13.9	145.4
TOB	S10T	M 22	29.4	5.7	35.1
HTB	F10T	M 22	5.7		5.7
BOLT	SS400	M 24	1.5		1.5
		M 22	1.0		1.0
BOLT 集計			2.5		2.5
WASH	SS400	M 22	0.1		0.1
部品質量 集計			37.7	5.7	43.4
総計			169.2	19.6	188.8

新設部材コバ処理詳細

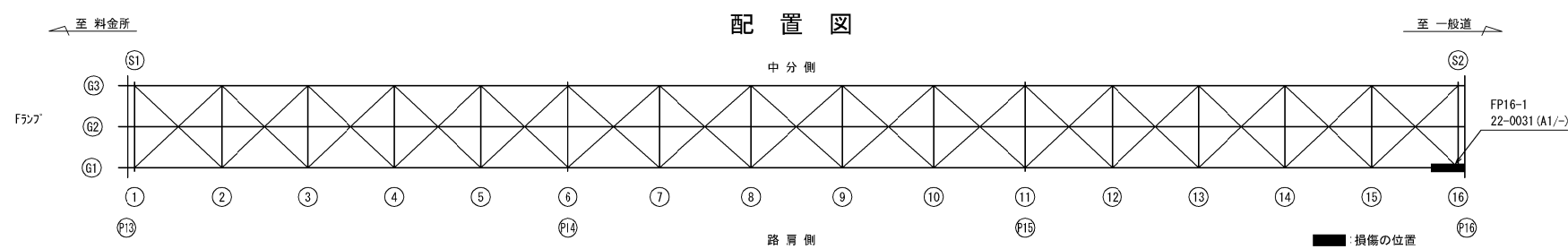
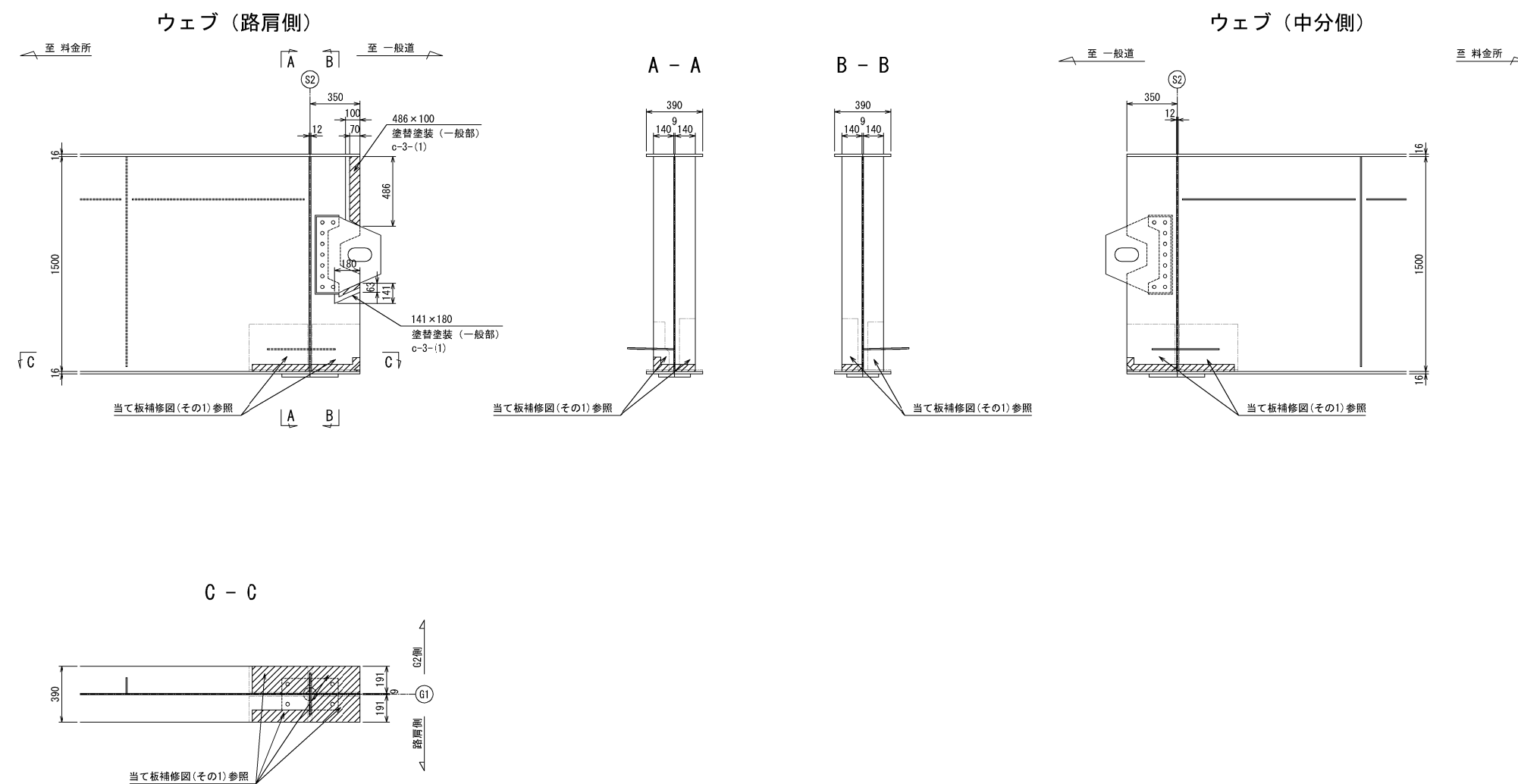


補修断面図





- 注記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - 印は、トルンシ形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  - 特記なき高力ボルトの削孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
  - 既設横構ガセットプレート撤去(ガス切断及びグライダ-仕上げ)時、母材を削り込まないように注意すること。  
(母材側の凹は0.5mm程度以下とすること)
  - 実際の製作・施工方法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
  - 母材側の腐食減肉範囲の素地調整程度は、1種(ISO Sa 2・1/2)の除錆率(95%以上)を目指し、健全部においては2種(ISO St 3)とする。  
また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。
  - 塗装仕様及び範囲等については、塗分け図参照のこと。

関連自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋Fランプ 当て板補修図 (FP16-1) (その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



凡 例

-  錆・腐食範囲
-  1種ケレン相当

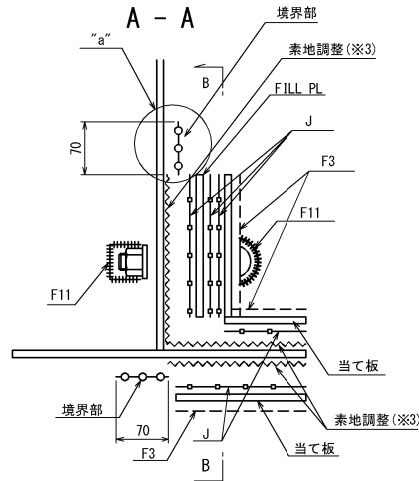
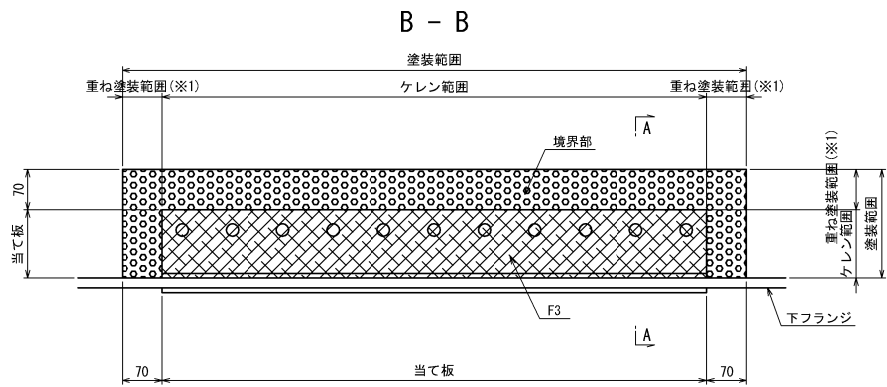
注記

1. 実際の施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
2. 塗装仕様及び範囲等については、塗り区分図参照のこと。

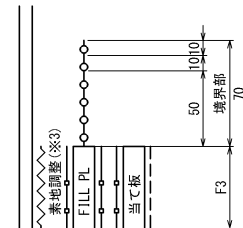
関係自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋ランプ 塗装修図 (FP16-1)		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間高架橋 塗り区分図

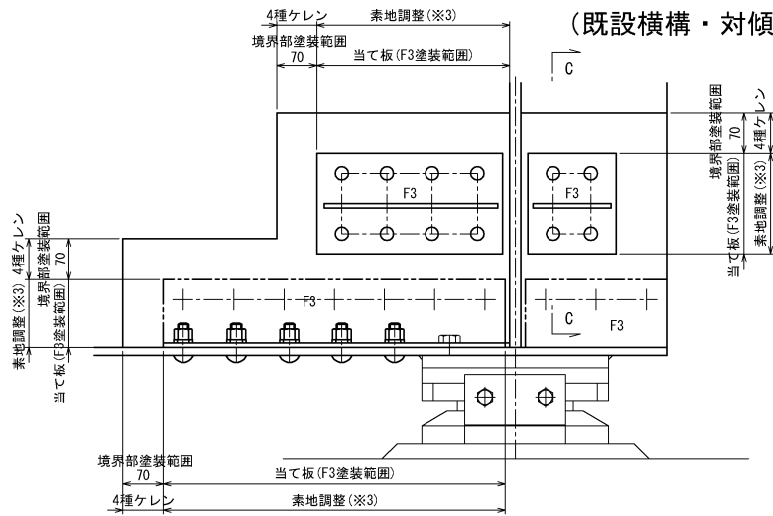
当て板部



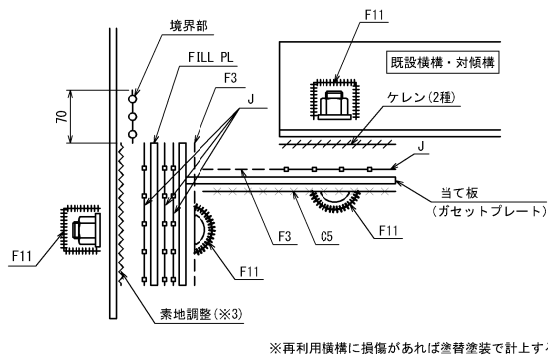
"a"部詳細



横構用ガセットプレートを取替える当て板部  
(既設横構・対傾構を利用する場合)

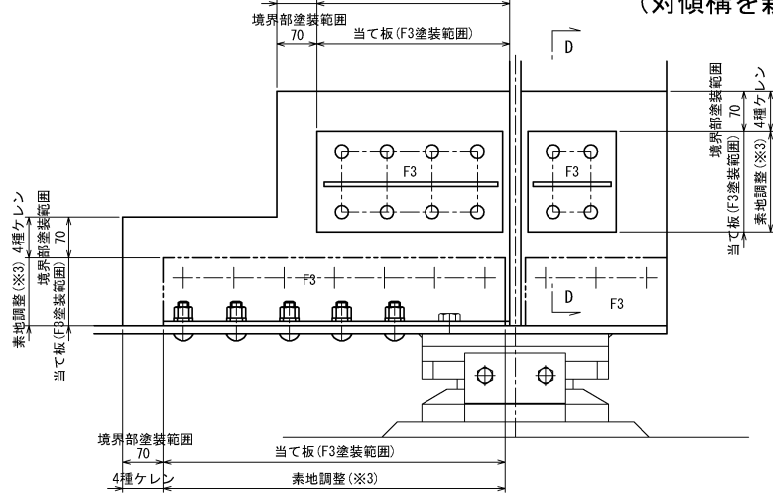


C - C

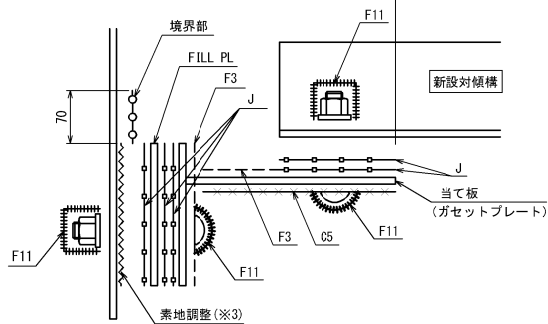


※再利用横構に損傷があれば塗替塗装で計上する。

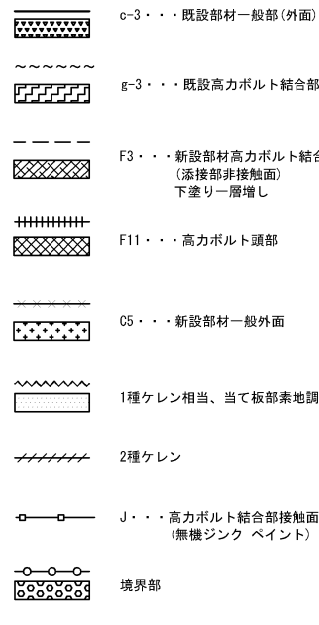
横構用ガセットプレートを取替える当て板部  
(対傾構を新設する場合)



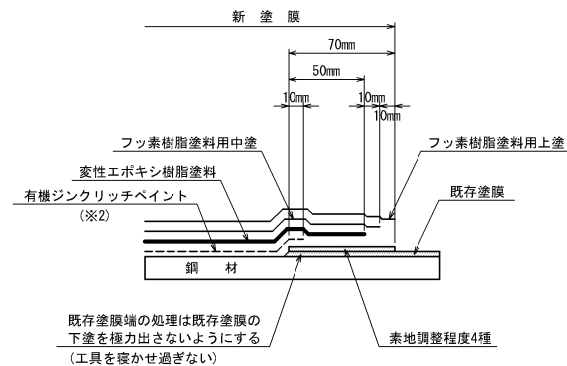
D - D



凡例



※1 既存塗膜との境界部の処理

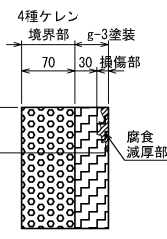
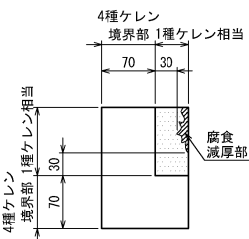
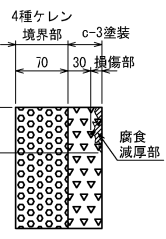
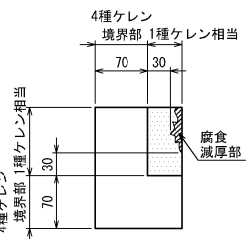


※2: 但し、当て板部との接触面は有機ジンクリッチペイントを塗布しない。  
※3: 母材側の腐食減肉範囲の素地調整程度は、1種(ISO Sa 2・1/2)の除錆≧(95%以上)を目指し、健全部においては2種(ISO St 3)とする。また、算術平均粗さRaは、5μm以上確保するものとする。  
※4: 1種ケレン相当及び当て板施工の母材側素地調整に先立ち、既存塗膜を湿潤化させ除去するものとする。  
※5: 当て板補修及び塗装補修工は桁端部に位置するため、主桁部の塗装においては、最終下塗りを1層増し塗りする。但し、F11、g-3については、増し塗りを行わない。

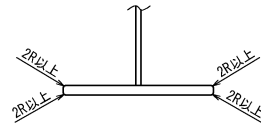
塗装補修工

一般部

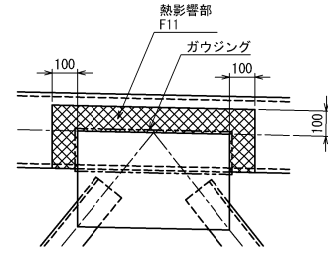
添接部



曲面加工 (R面取り)



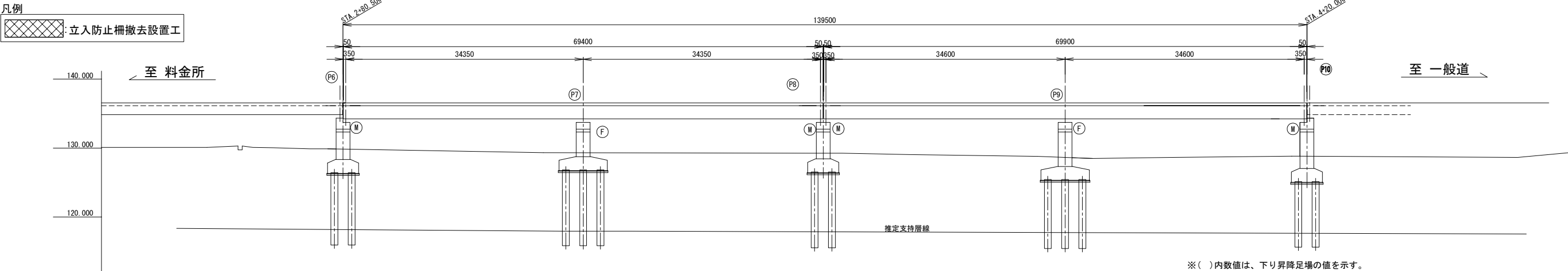
ガウジングの熱影響部



入間高架橋 立入防止柵撤去設置工（その1）

位置図 (P6~P10)

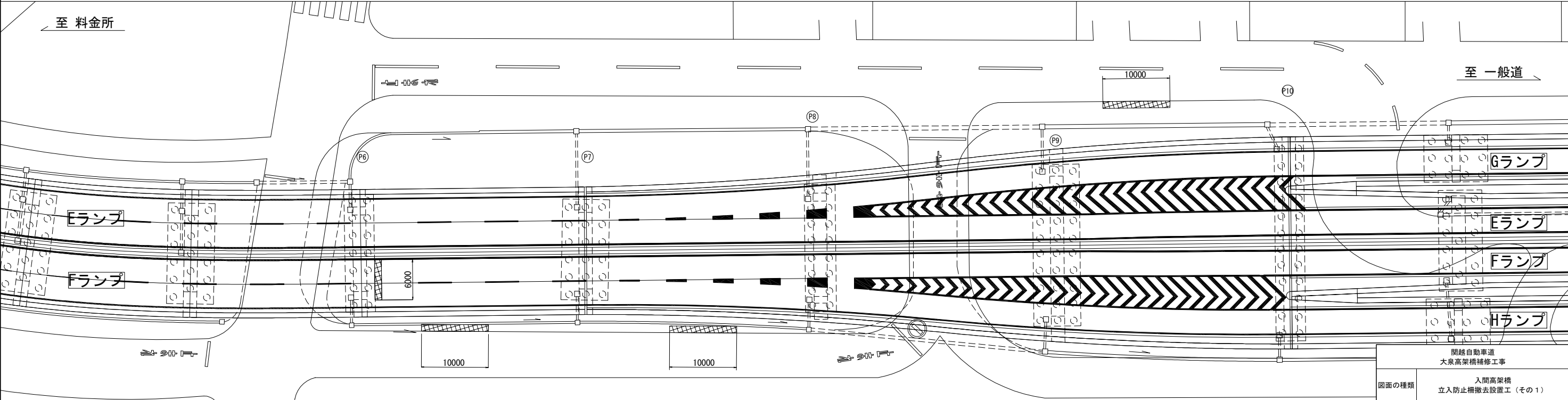
側面図 S=1:600



※（ ）内数値は、下り昇降足場の値を示す。

<div><div><div>平面曲線</div><div>片こう配すり付図</div></div><div><div>1/101</div><div>2.0%</div><div>1/101</div><div>2.0%</div></div></div>	<div>平面曲線</div> <div>片こう配すり付図</div>	<div>測点</div> <div>STA +2 + 50-10.000-250.000-130.17+36.773  + 60 -10.000-260.000-130.14+36.444  + 70 -10.000-270.000-130.09+36.415  KA 1-2- 8.717-278.717+129.39+ + 80 - 1.263-280.000-129.36+36.386 + 80.57 0.500-280.500-136.386 (P6)</div>	<div>単距離</div> <div>  &lt;</div>
---	-------------------------------------	--	--

平面図 S=1:600




関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 立入防止柵撤去設置工（その1）	図面番号	
縮尺	1:40	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

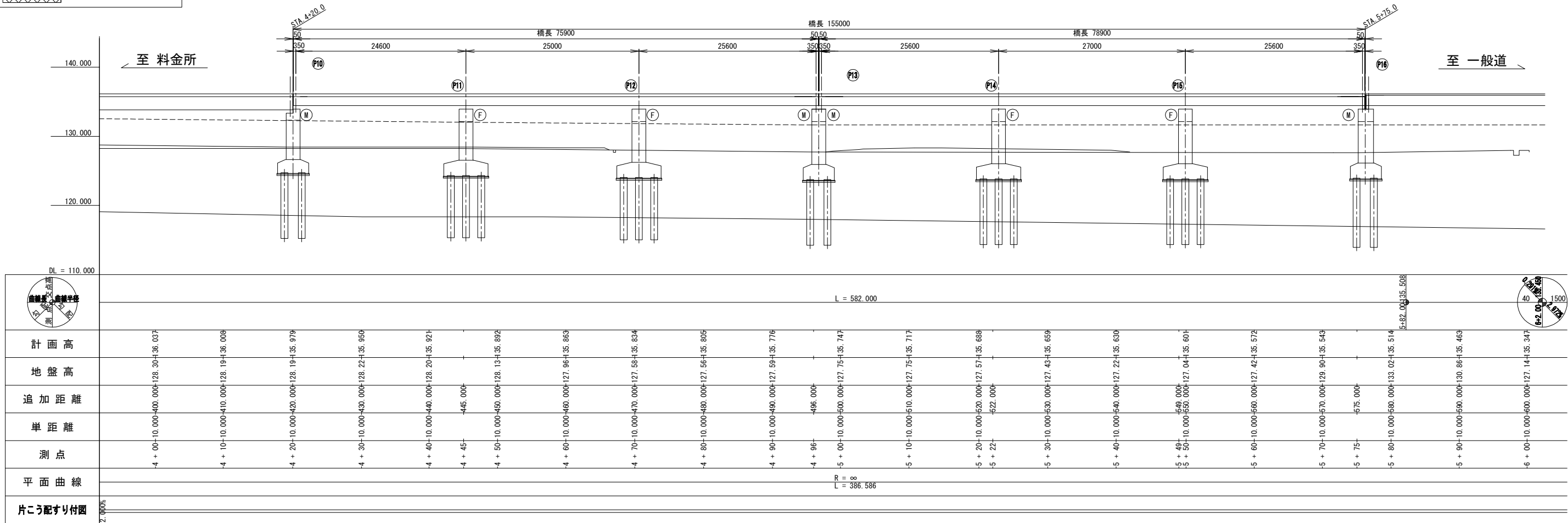
入間高架橋 立入防止柵撤去設置工（その2）

位置図（P10～P16）

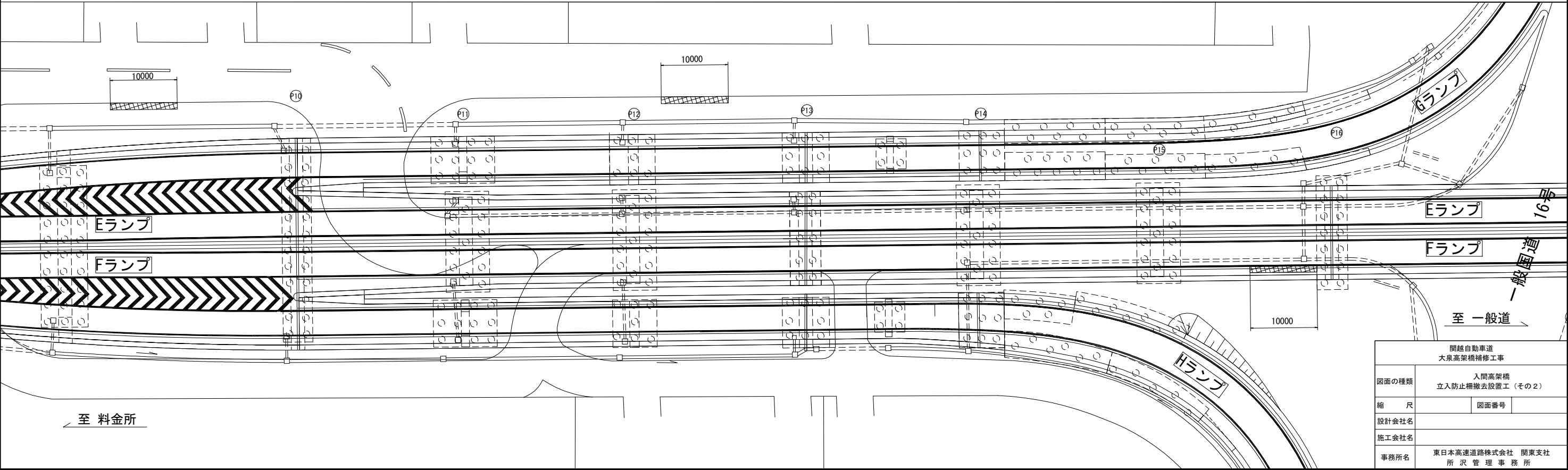
側面図 S=1:600

凡例

 立入防止柵撤去設置工



平面図 S=1:600



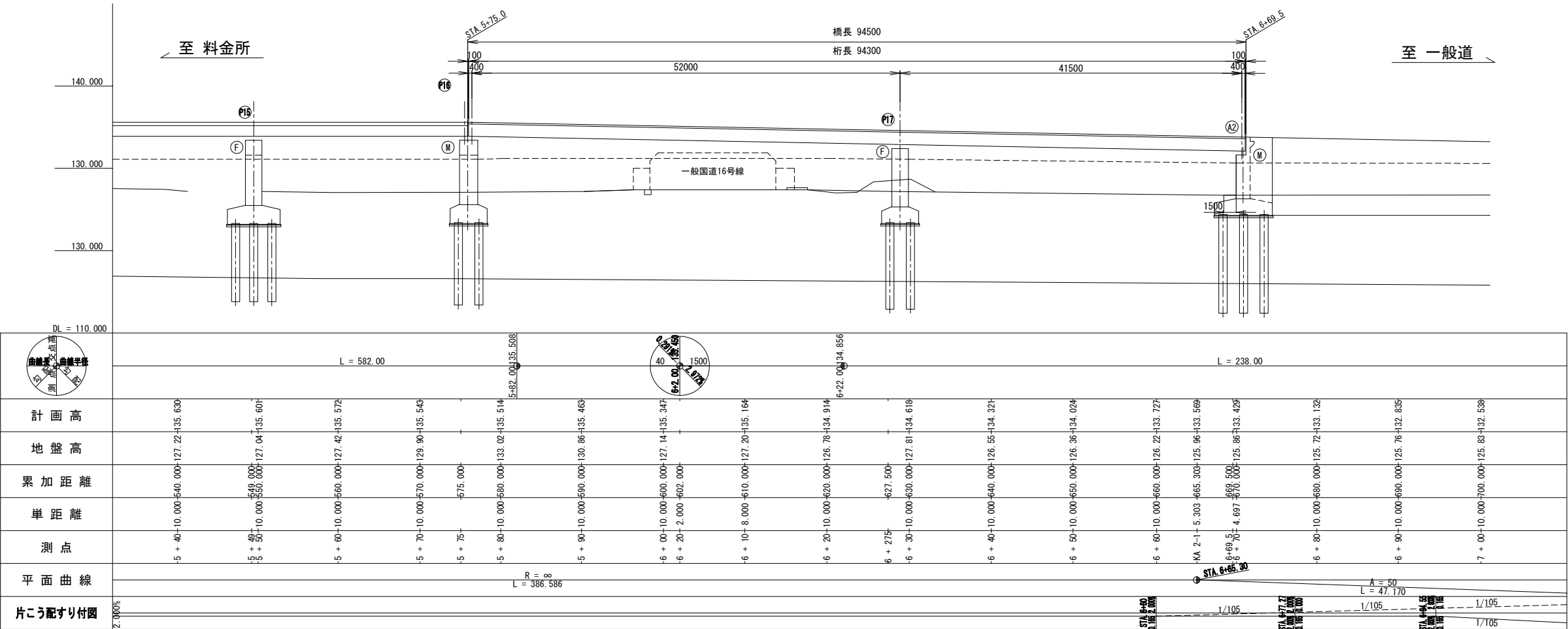
凡例

立入防止柵撤去設置工

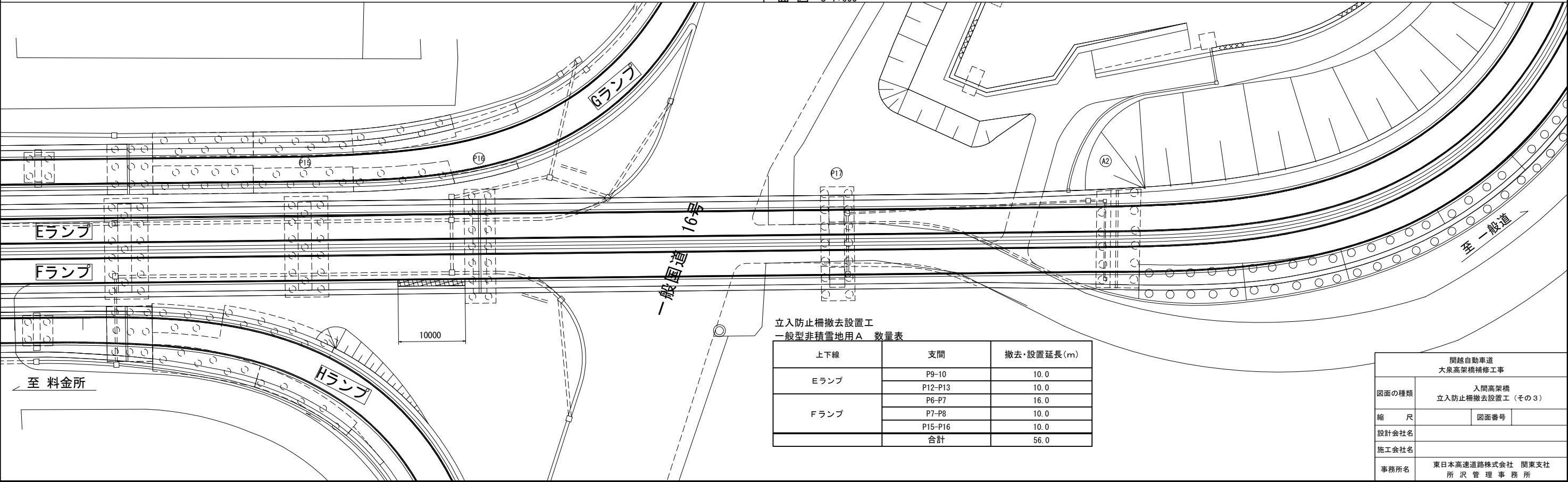
入間高架橋 立入防止柵撤去設置工（その3）

位置図 (P15~A2)

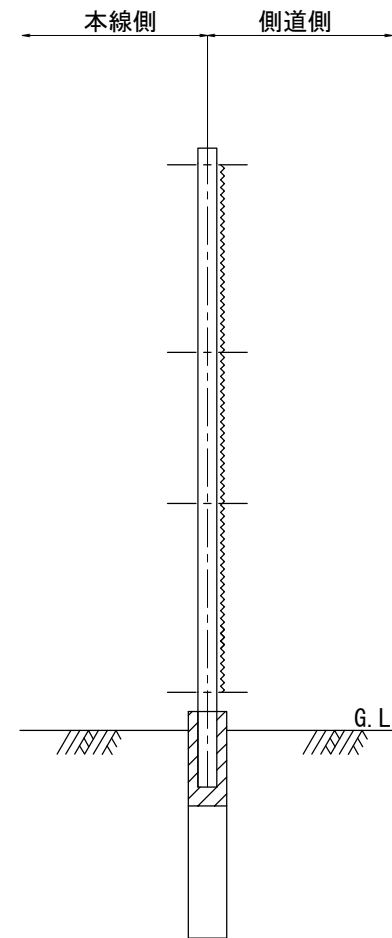
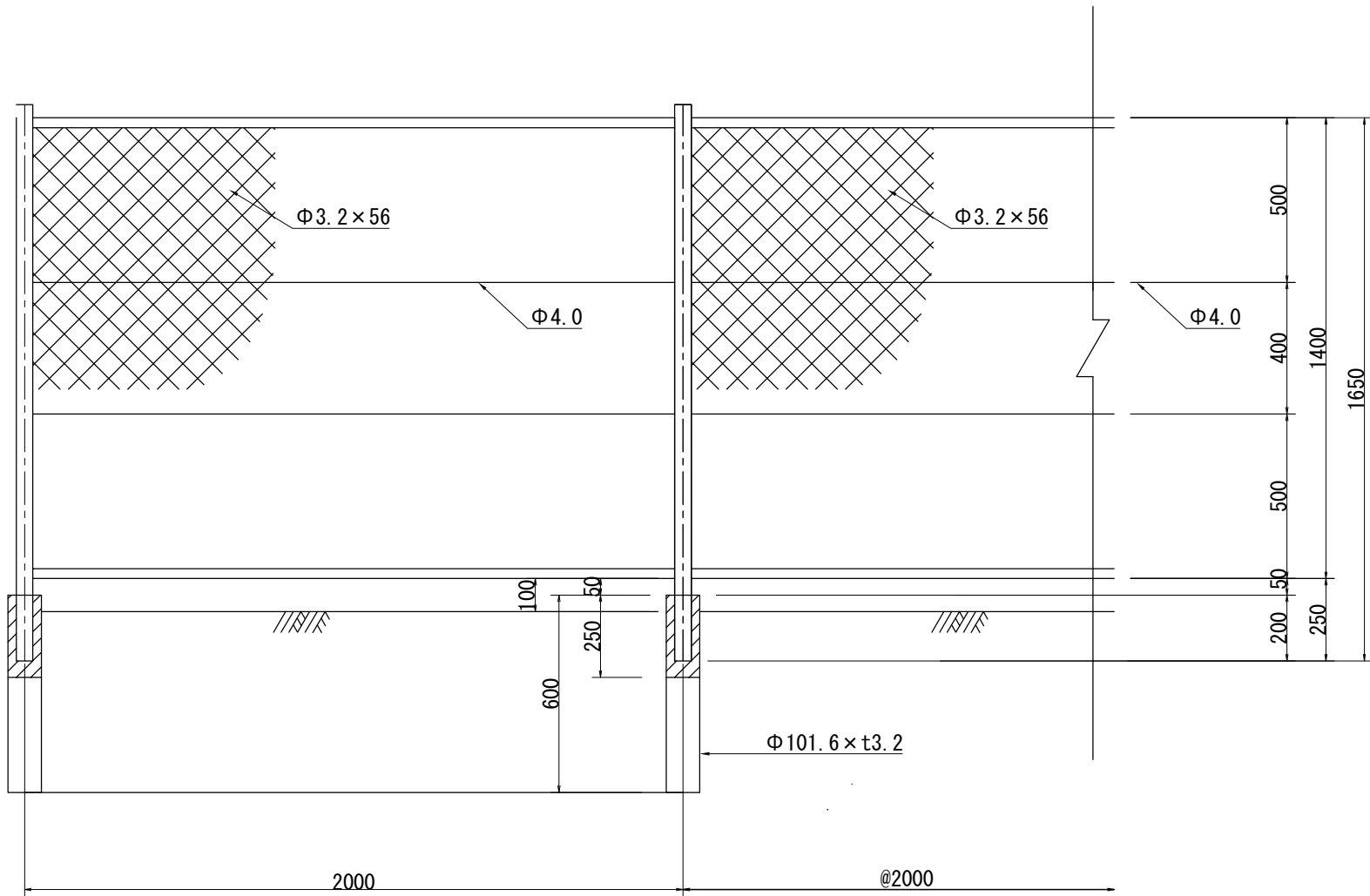
側面図 S=1:600



平面図 S=1:600



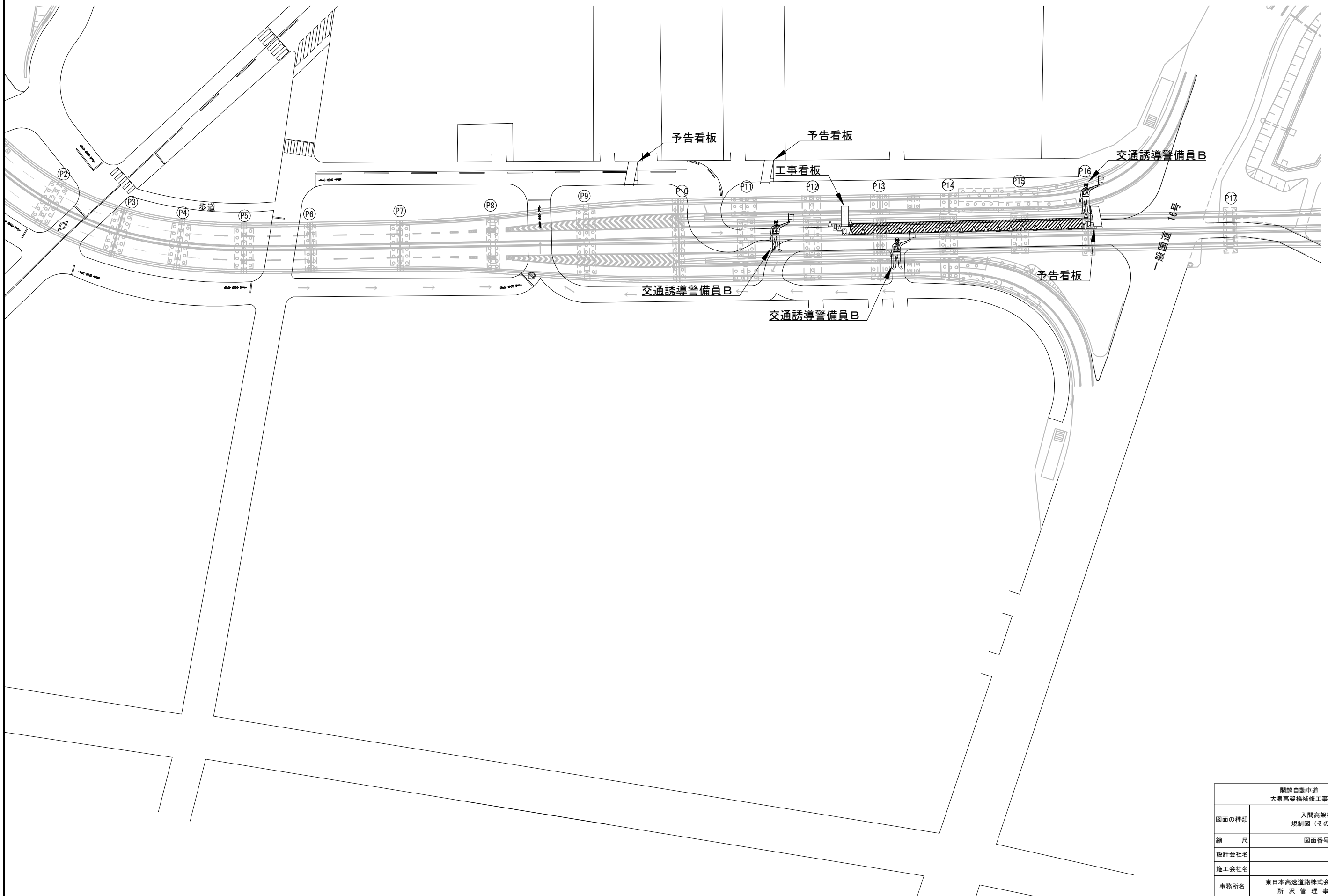
入間高架橋 立入防止柵撤去設置図（参考図）



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 立入防止柵撤去設置図（参考図）		
	縮 尺	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

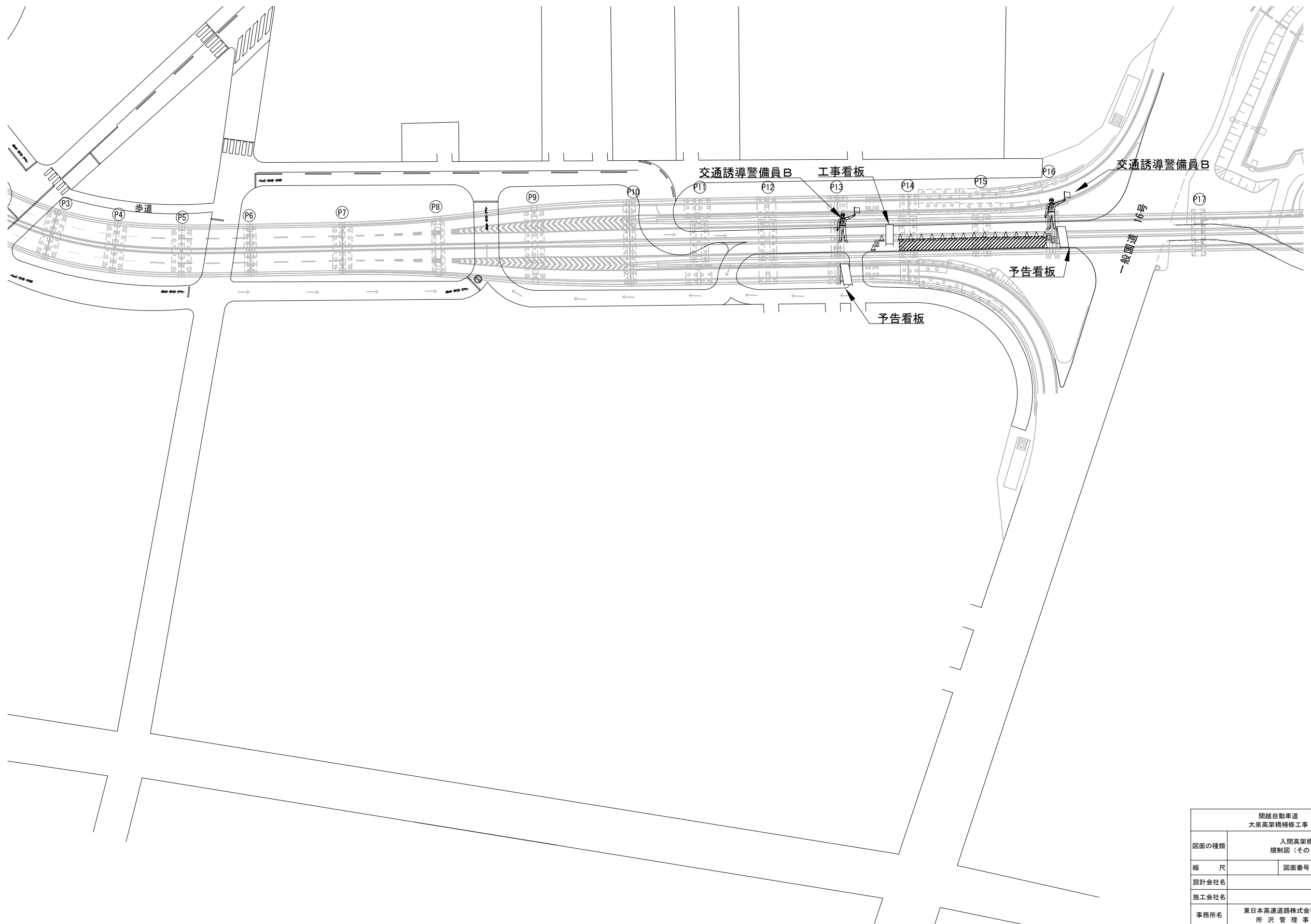


入間高架橋 規制図（その1）  
市道B669片側交互通行規制



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 規制図（その1）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 規制図（その2）  
市道B669片側交互通行規制

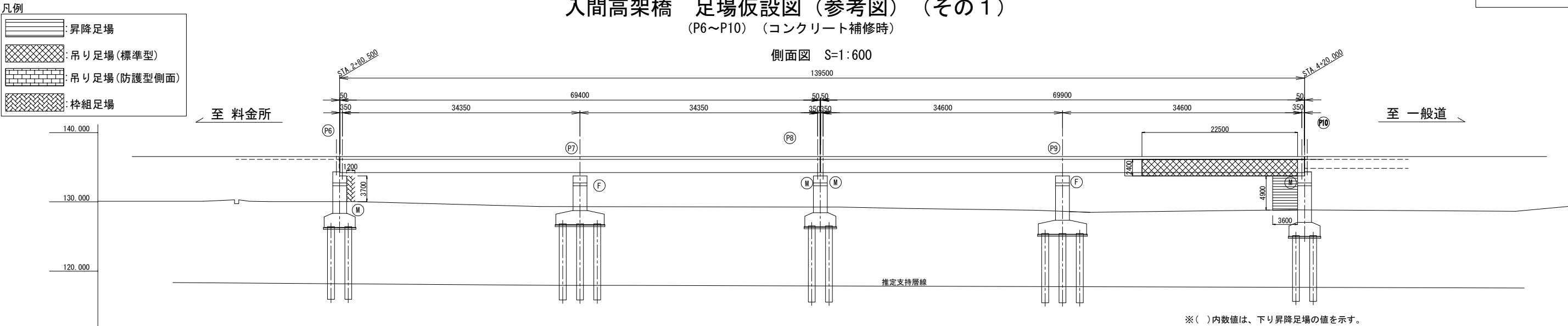


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 規制図（その2）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

入間高架橋 足場仮設図（参考図）（その１）

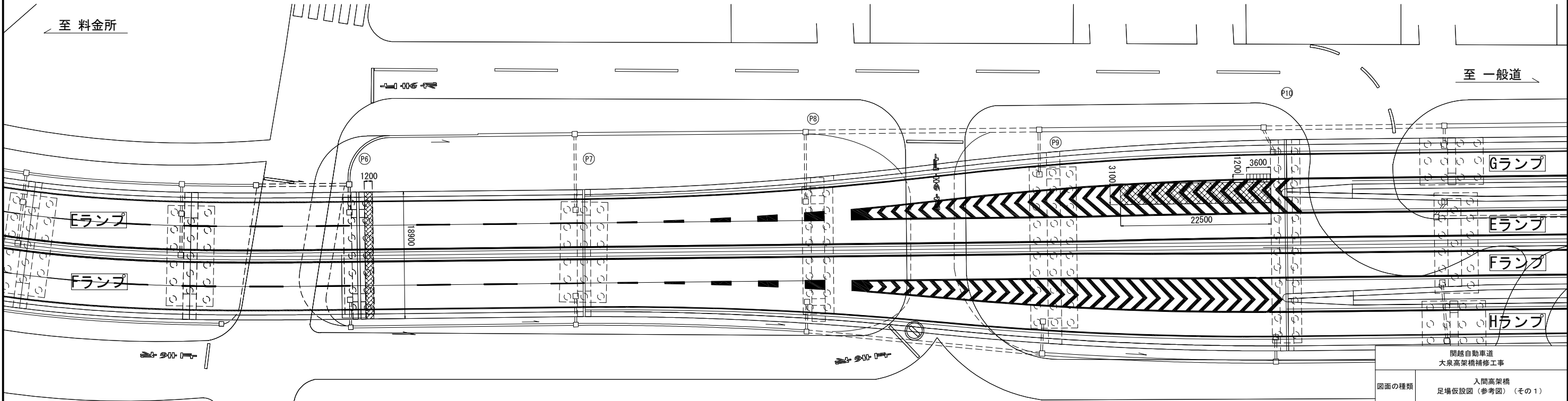
(P6～P10)（コンクリート補修時）

側面図 S=1:600



	L = 582.000																									
計画高																										
地盤高																										
果加距離																										
単距離																										
測点																										
平面曲線																										
片こう配すり付図																										

平面図 S=1:600

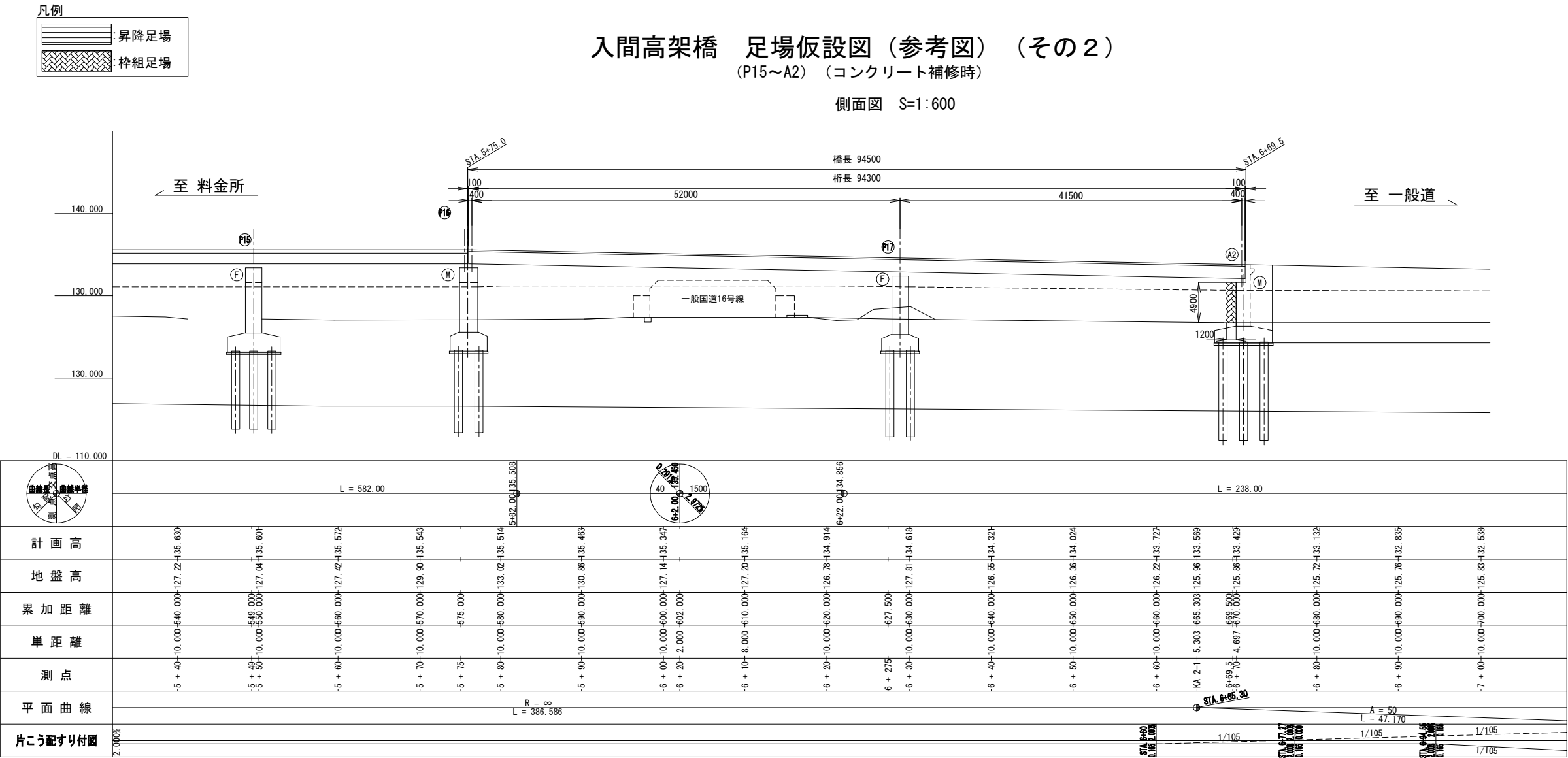


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 足場仮設図（参考図）（その１）		
縮 尺	1:600	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

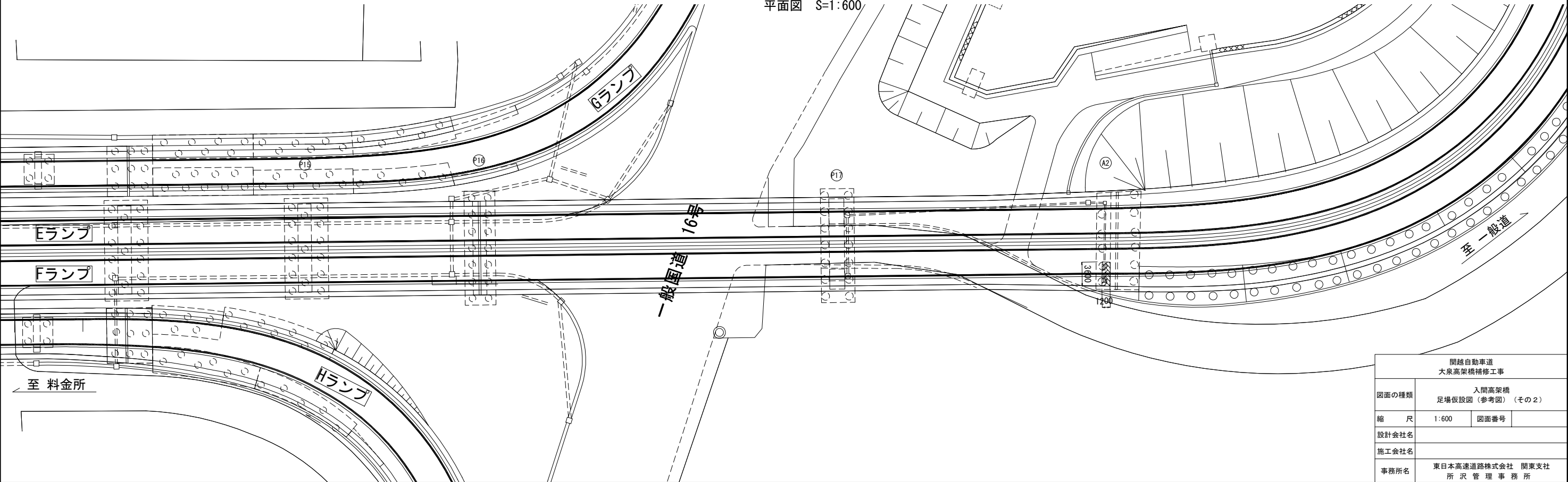
入間高架橋 足場仮設図（参考図）（その2）

(P15～A2)（コンクリート補修時）

側面図 S=1:600



平面図 S=1:600



凡例

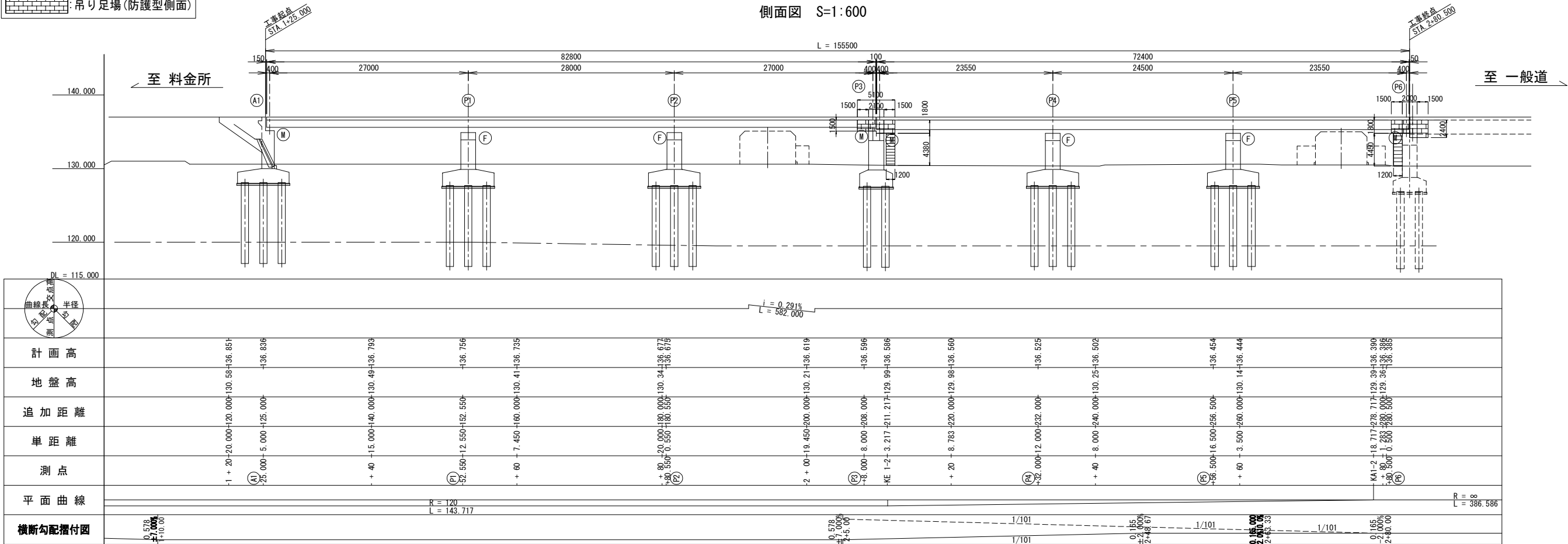
昇降足場

吊り足場(標準型)

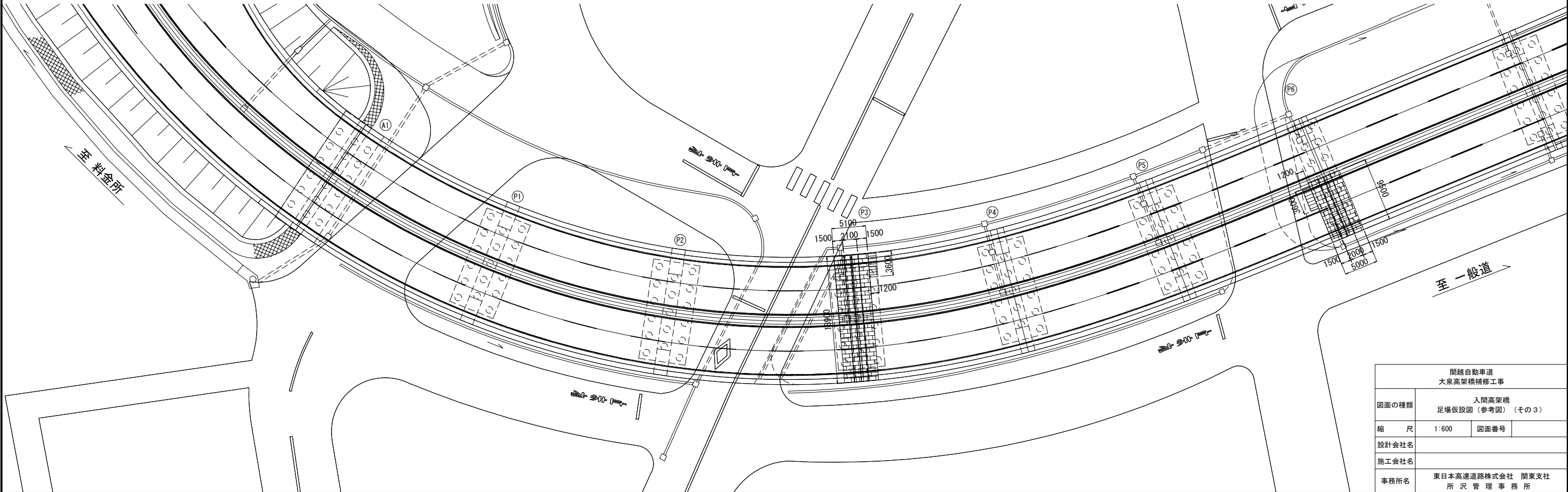
吊り足場(防護型側面)

入間高架橋 足場仮設図(参考図)(その3)  
(A1~P6) (鋼部材補修時)

側面図 S=1:600



平面図 S=1:600



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 足場仮設図(参考図)(その3)		
縮尺	1:600	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

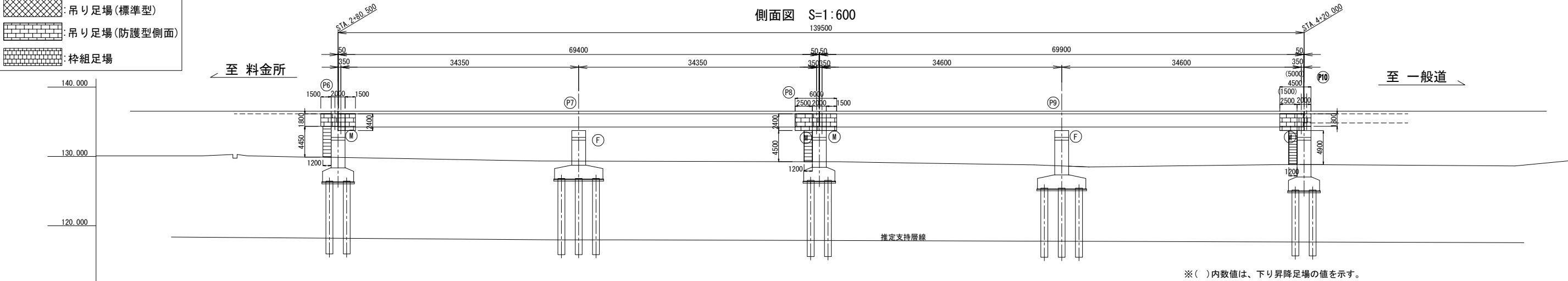
入間高架橋 足場仮設図（参考図）（その4）

(P6～P10)（鋼部材補修時）

側面図 S=1:600

凡例

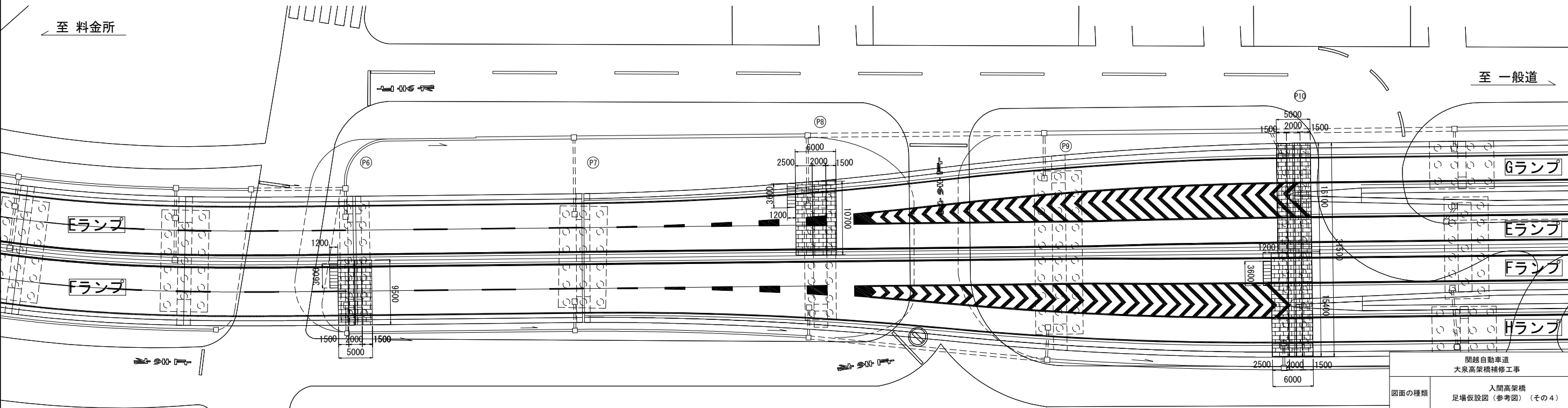
- 昇降足場
- 吊り足場(標準型)
- 吊り足場(防護型側面)
- 枠組足場



※( )内数値は、下り昇降足場の値を示す。

DL = 110.000	L = 582.000										
計画高	STA 2+50-10.000-250.000+130.17+36.473										
地盤高											
累加距離											
単距離											
測点											
平面曲線	A = 90 L = 67.500										R = 8 L = 386.586
片こう配すり付図	1/101	2.00.0%	1/101	2.0%							

平面図 S=1:600



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 足場仮設図（参考図）（その4）	縮尺	1:600
設計会社名		図面番号	
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

凡例

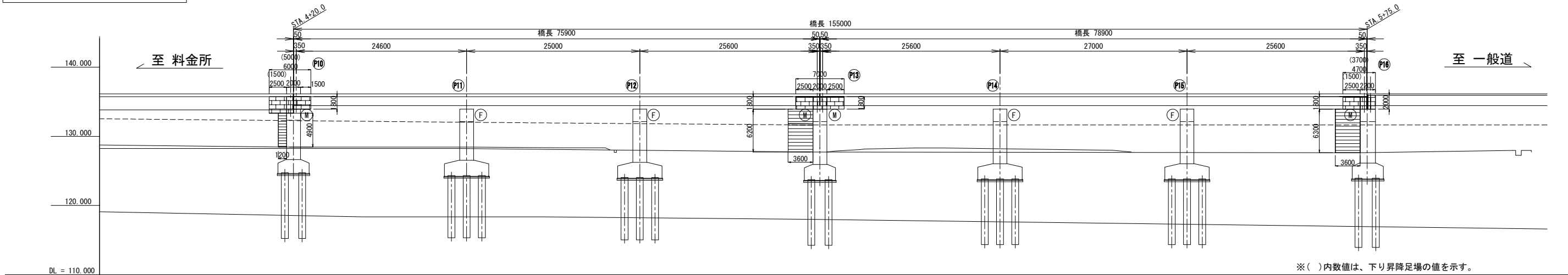
昇降足場

吊り足場(標準型)

吊り足場(防護型側面)

入間高架橋 足場仮設図(参考図)(その5)

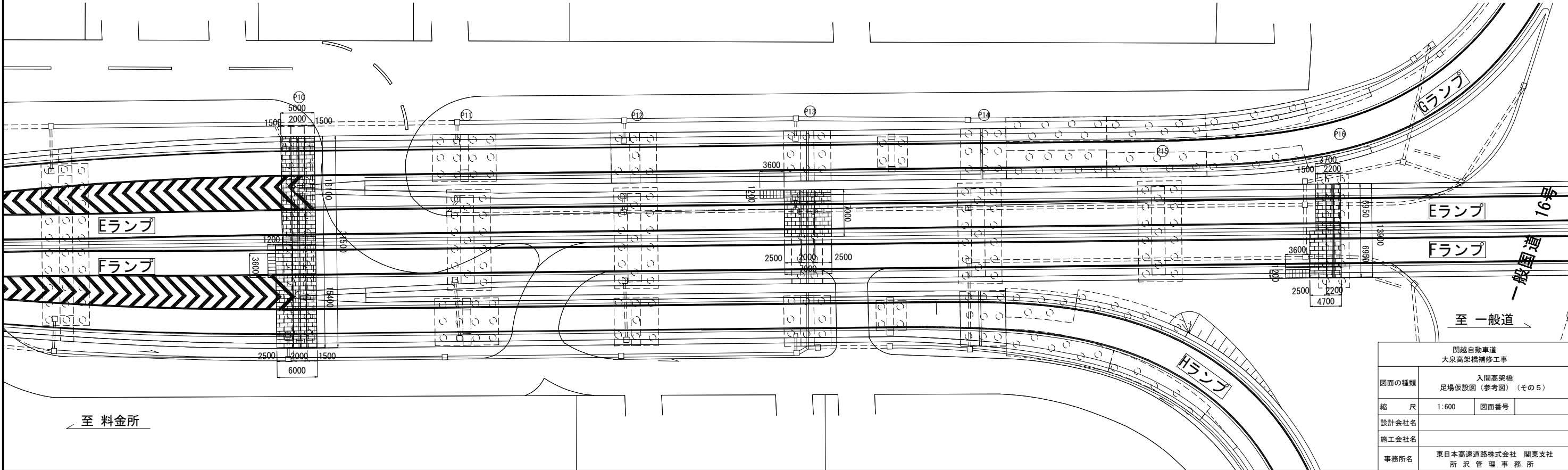
側面図 S=1:600



※( )内数値は、下り昇降足場の値を示す。

<div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>曲線半径</div><div>曲線半径</div></div>	L = 582.000																								
	R = 8 L = 386.586																								
計画高	-4 + 00-10.000-400.000-128.30+35.037																								
地盤高	-4 + 10-10.000-410.000-128.19+35.008																								
追加距離	-4 + 20-10.000-420.000-128.19+35.979																								
単距離	-4 + 30-10.000-430.000-128.22+35.950																								
測点	-4 + 40-10.000-440.000-128.20+35.921																								
平面曲線	-4 + 45-445.000																								
片こう配すり付図	-4 + 50-10.000-450.000-128.13+35.892																								
	-4 + 60-10.000-460.000-127.96+35.863																								
	-4 + 70-10.000-470.000-127.58+35.834																								
	-4 + 80-10.000-480.000-127.56+35.805																								
	-4 + 90-10.000-490.000-127.59+35.776																								
	-4 + 96-496.000																								
	-5 + 00-10.000-500.000-127.75+35.747																								
	-5 + 10-10.000-510.000-127.75+35.717																								
	-5 + 20-10.000-520.000-127.57+35.688																								
	-5 + 22-522.000																								
	-5 + 30-10.000-530.000-127.43+35.659																								
	-5 + 40-10.000-540.000-127.22+35.630																								
	-5 + 49-549.000																								
	-5 + 50-10.000-550.000-127.04+35.601																								
	-5 + 60-10.000-560.000-127.42+35.572																								
	-5 + 70-10.000-570.000-129.90+35.543																								
	-5 + 75-575.000																								
	-5 + 80-10.000-580.000-133.02+35.514																								
	-5 + 90-10.000-590.000-130.86+35.463																								
	-6 + 00-10.000-600.000-127.14+35.347																								

平面図 S=1:600



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	入間高架橋 足場仮設図(参考図)(その5)		
縮尺	1:600	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

# 三芳町跨道橋

(東草橋・吉拓歩道橋・東永久保1号橋)



# 目 次

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1	三芳町跨道橋 数量総括表	21	東永久保1号橋 位置図
2	三芳町跨道橋 工法詳細図	22	東永久保1号橋 数量総括表
3	三芳町跨道橋 コンクリート表面処理工詳細図	23	東永久保1号橋 補修一般図（その1）
4	三芳町跨道橋 はく落防止対策工詳細図	24	東永久保1号橋 補修一般図（その2）ボックスカルバート
5	東草橋 位置図	25	東永久保1号橋 損傷一覧
6	東草橋 数量総括表	26	東永久保1号橋 補修図（その1）
7	東草橋 補修一般図	27	東永久保1号橋 補修図（その2）
8	東草橋 補修図（その1）	28	東永久保1号橋 補修図（その3）
9	東草橋 補修図（その2）	29	東永久保1号橋 補修図（その4）
10	東草橋 補修図（その3）	30	東永久保1号橋 補修図（その5）ボックスカルバート
11	東草橋 補修図（その4）	31	東永久保1号橋 交通規制図（その1）ボックスカルバート
12	東草橋・吉拓歩道橋 交通規制図（その1）	32	東永久保1号橋 交通規制図（その2）ボックスカルバート
13	東草橋・吉拓歩道橋 交通規制図（その2）	33	東永久保1号橋 交通規制図（その3）
14	吉拓歩道橋 位置図	34	東永久保1号橋 交通規制図（その4）
15	吉拓歩道橋 数量総括表	35	東永久保1号橋 交通規制図（その5）
16	吉拓歩道橋 補修一般図	36	東永久保1号橋 交通規制図（その6）
17	吉拓歩道橋 補修図（その1）	37	東永久保1号橋 交通規制図（その7）
18	吉拓歩道橋 補修図（その2）	38	東永久保1号橋 交通規制図（その8）
19	吉拓歩道橋 補修図（その3）		
20	吉拓歩道橋 補修図（その4）		

三芳町跨道橋 数量総括表

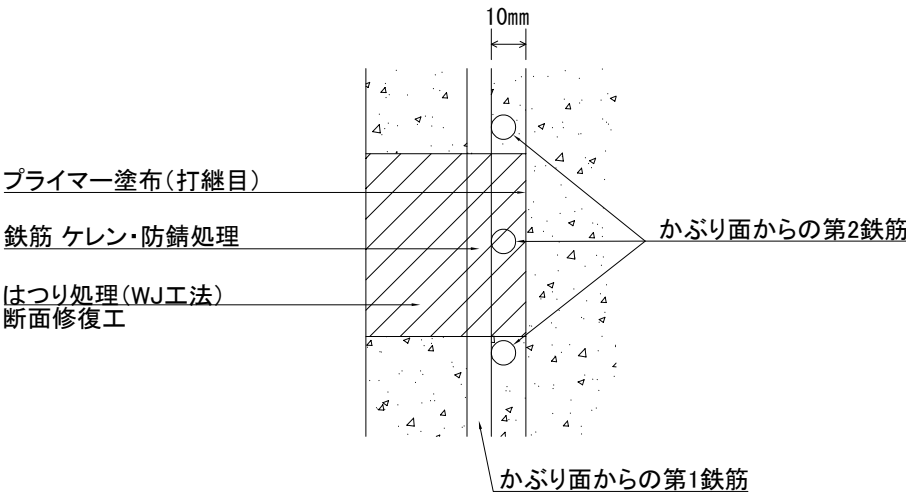
路線名	橋梁名	17－(2)	17－(29)	17－(29)	17－(29)	17－(30)	17－(31)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(2)	19－(2)
		塗替塗装 塗替塗装(特殊部) g－3－(3)(三)(夜)	断面修復工 A2－1(三)	断面修復工 A2－1(三)(夜)	断面修復工 A2－2(三)	コンクリート表面処理工 A(三)(夜)	はく落防止対策工 B1(三)(夜)	交通規制工 ランプ規制 I × 1(三)	交通規制工 一車線規制 I × 1×0×2・A1(三)(夜)	交通規制工 一車線規制 I × 1×0×2・A2(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ × 1×0×2・A1(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ × 1×0×2・A2(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ × 1×0×2・A3(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ × 1×0×2・A4(三)(夜)	交通規制工 中央分離帯規制 I × 1(三)(夜)	交通規制工 中央分離帯規制 Ⅱ × 1(三)(夜)	交通保安要員 交通監視員 A(三)	交通保安要員 交通監視員 A(三)(夜)
		基	L	L	L	m2	m2	回	回	回	回	回	回	回	回	回	人・日	人・日
関越自動車道	東草橋	2.0		9.6		157.6	157.6				9.0		10.0		19.0			57.0
	吉拓歩道橋	1.0		16.4		115.1	115.1				東草橋に含む		東草橋に含む		東草橋に含む			東草橋に含む
	東永久保1号橋	6.0		1768.0		232.7	232.7		38.0	47.0		42.0		21.0		10.0		168.0
	東永久保1号橋 (ボックスカルバート)		20.0		21.6			18.0									18.0	
	合計	9.0	20.0	1794.0	21.6	505.4	505.4	18.0	38.0	47.0	9.0	42.0	10.0	21.0	19.0	10.0	18.0	225.0

路線名	橋梁名	特－(1)	特－(1)	特－(1)	特－(2)	特－(2)	特－(7)	特－(7)	特－(8)	特－(9)	特－(10)	特－(11)	特－(15)	特－(15)	特－(15)
		コンクリートはつり工 A(三)	コンクリートはつり工 A(三)(夜)	コンクリートはつり工 B(三)	ひび割れ充填工 A(三)	ひび割れ充填工 A(三)(夜)	ひび割れ含浸工 A(三)	ひび割れ含浸工 A(三)(夜)	杓座モルタル補修工 A(三)(夜)	表面仕上げ補修工 A(三)(夜)	橋名板撤去設置工 A(三)(夜)	橋名板撤去工 A(三)(夜)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 A(三)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 A(三)(夜)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 B(三)
		m3	m3	m3	m	m	m	m	基	m2	枚	枚	m2	m2	m2
関越自動車道	東草橋		0.014					13.4	1.0	32.0	2.0				
	吉拓歩道橋		0.016					1.7		21.7	2.0				
	東永久保1号橋		1.768			0.7	11.0			47.5	1.0	1.0		0.50	
	東永久保1号橋 (ボックスカルバート)	0.020		0.023	16.5		66.9						0.25		0.27
	合計	0.020	1.798	0.023	16.5	0.7	66.9	26.1	1.0	101.2	5.0	1.0	0.25	0.50	0.27

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	三芳町跨道橋 数量総括表		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

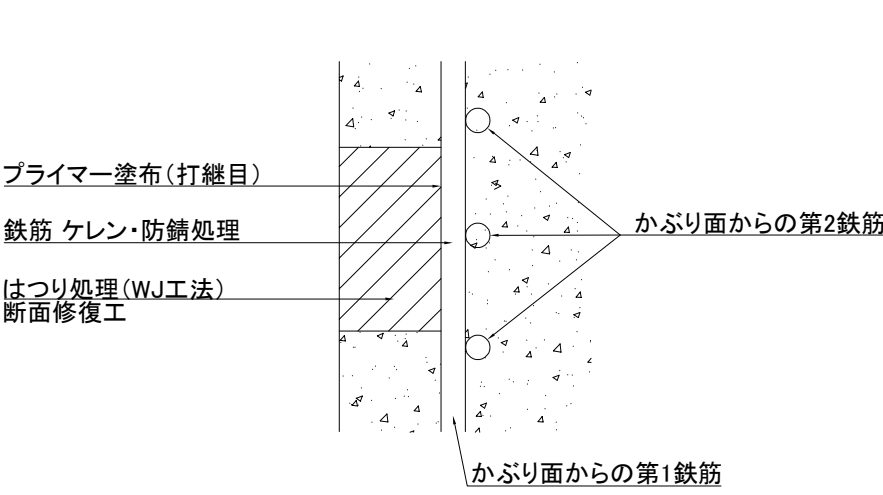
三芳町跨道橋 工法詳細図

コンクリートはつリエA(三)・断面修復工詳細図  
(PC床版部を除く)



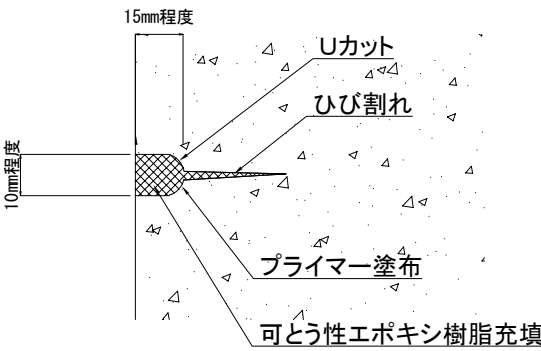
※第1鉄筋背面10mmまではつり作業を行うこと。

コンクリートはつリエ・断面修復工詳細図  
(PC床版部)

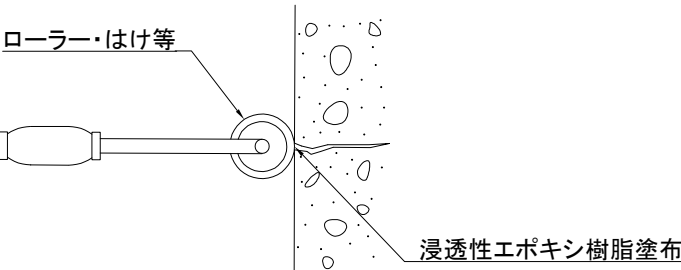


※第1鉄筋純かぶりまではつり作業

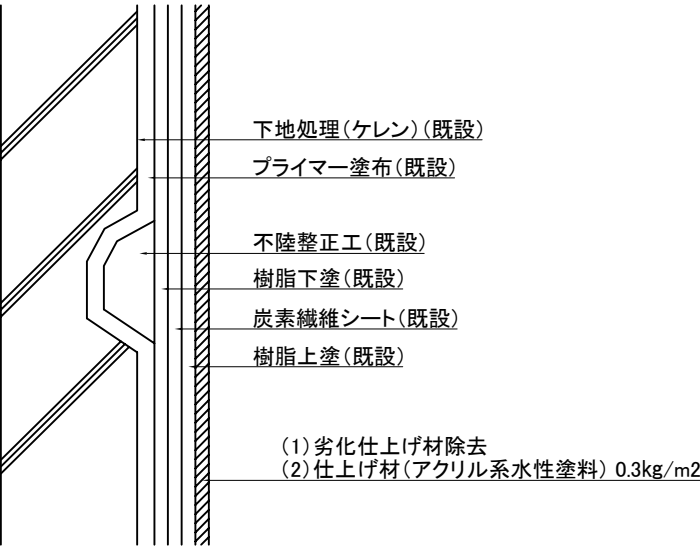
ひび割れ充填工詳細図



ひび割れ含浸工詳細図



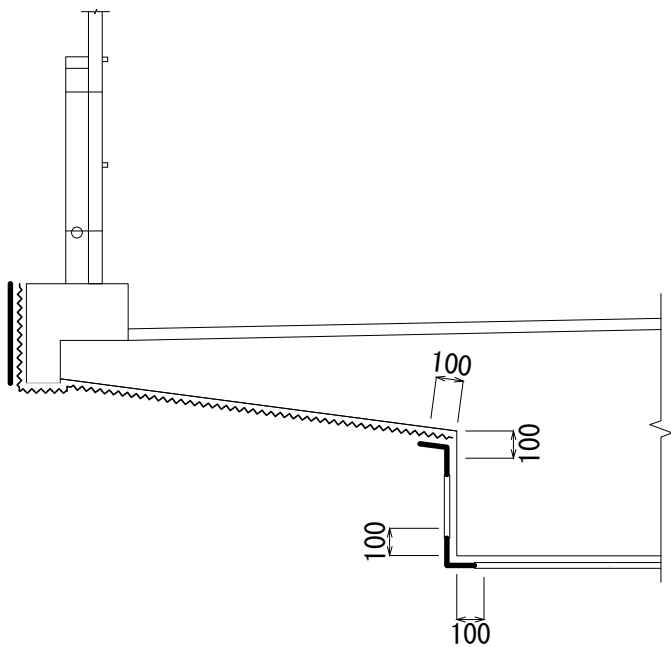
表面仕上げ補修工詳細図



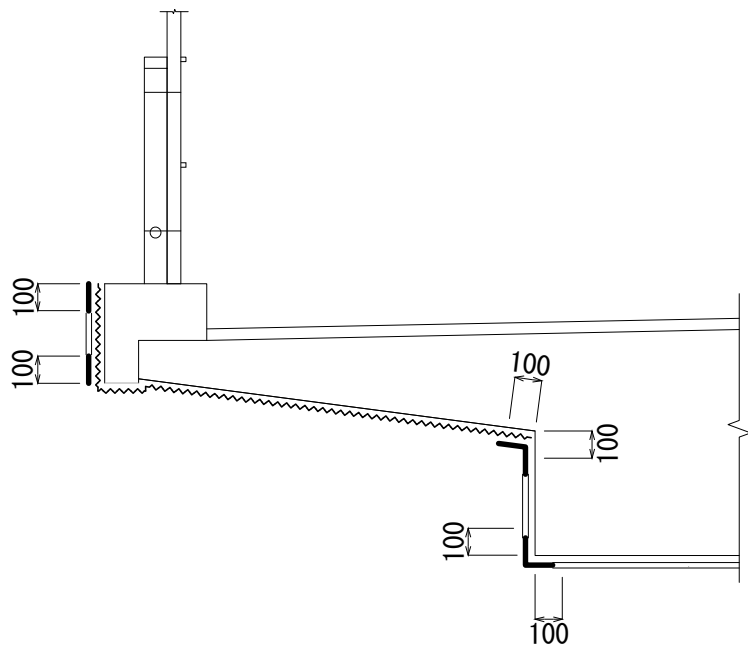
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	三芳町跨道橋 工法詳細図		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

三芳町跨道橋 コンクリート表面処理工詳細図

東草橋・吉拓歩道橋断面図



東永久保 1 号橋断面図



【凡例】

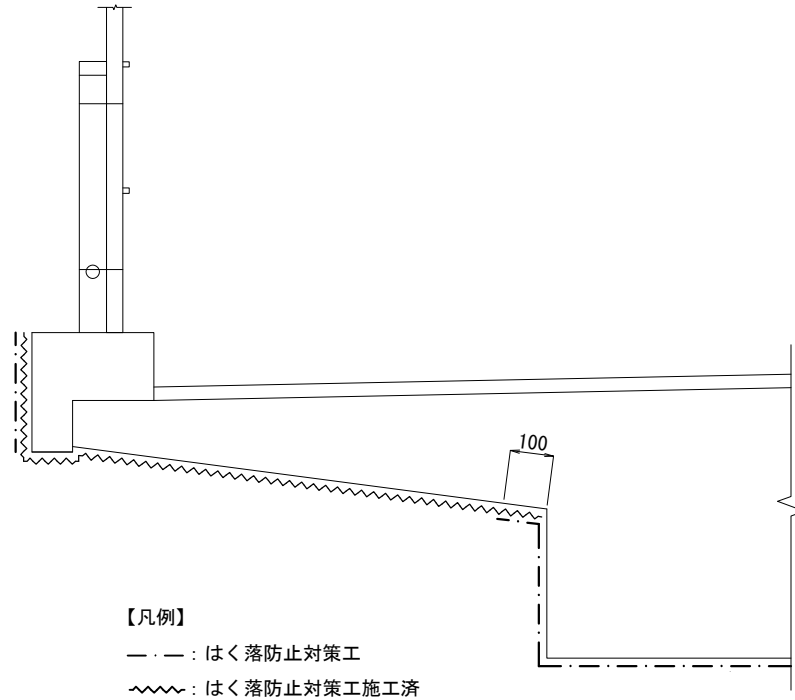
- ~~~~ : はく落防止対策工施工済
- : ディスクサンダー工法
- == : ウォータージェット工法

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	三芳町跨道橋 コンクリート表面処理工詳細図		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

三芳町跨道橋 はく落防止対策工詳細図

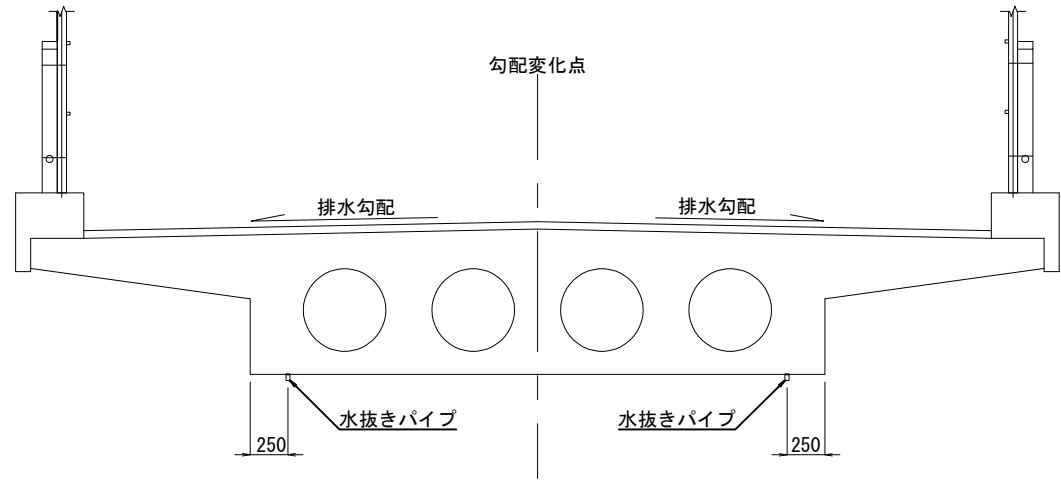
標準断面図

(東草橋・吉拓歩道橋・東永久保 1 号橋)



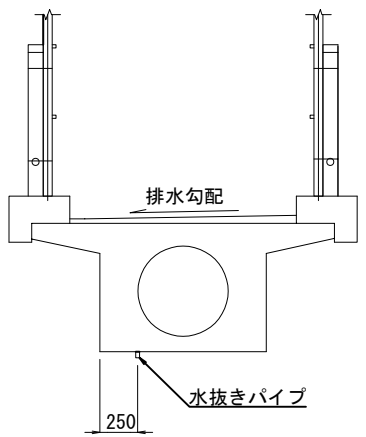
水抜き対策断面図

(東草橋・東永久保第 1 号橋)



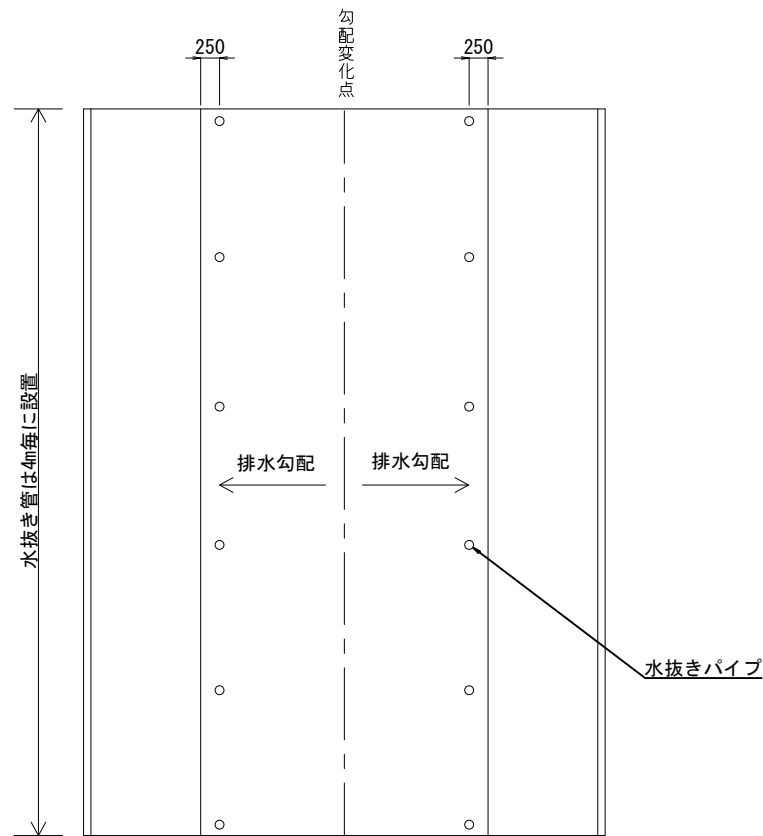
水抜き対策断面図

(吉拓歩道橋)



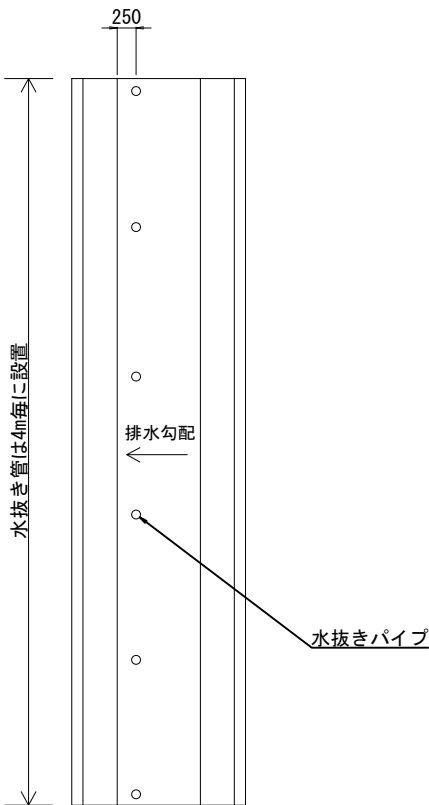
水抜き対策床版下面図

東草橋・東永久保第 1 号橋

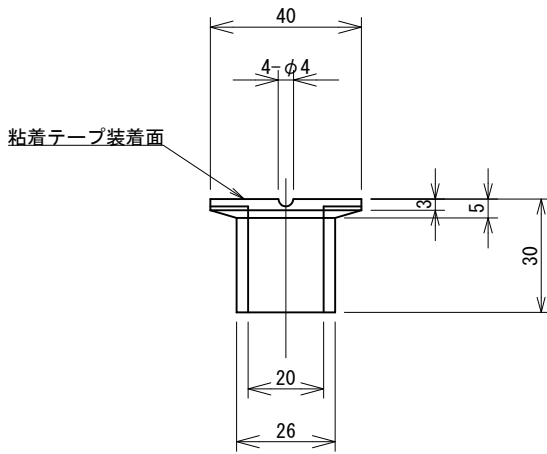


水抜き対策床版下面図

吉拓歩道橋



水抜きパイプ詳細図 (参考図)



※1 上図の水抜きパイプの形状・寸法は、参考である。  
※2 水抜きパイプの材質は、硬質塩化ビニル管やポリプロピレン管等の耐食性や耐候性を有するものとする。

水抜きパイプ数量表

橋梁名	東草橋	吉拓歩道橋	東永久保 1 号橋	合計
橋梁形式				
中空床版 (個)	16	10	20	46

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	三芳町跨道橋 はく落防止対策工詳細図		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東草橋 位置図



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋 位置図		
	縮 尺	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

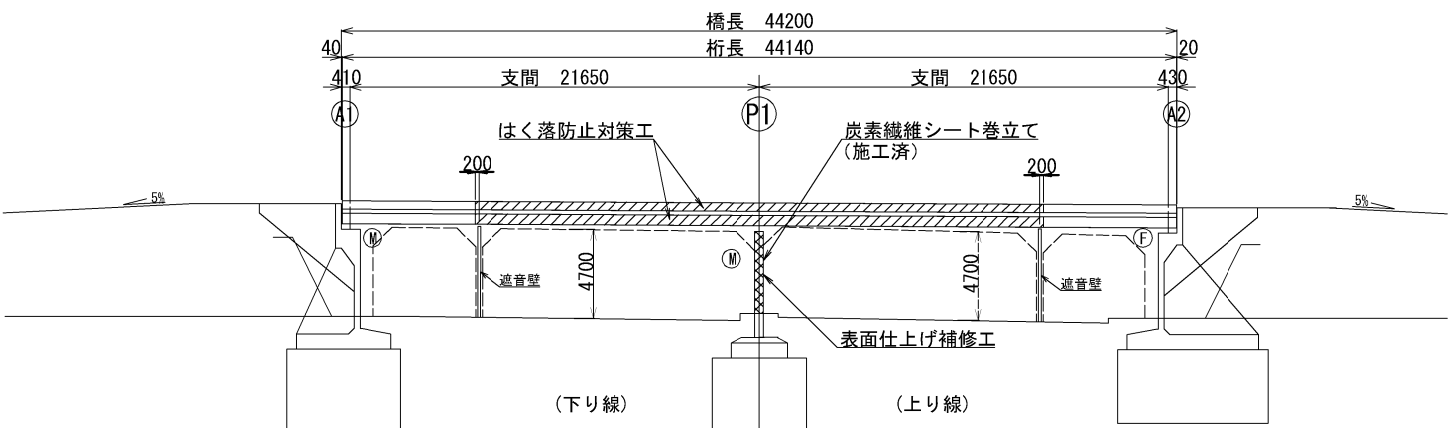
東草橋 数量総括表

路線名	橋梁名	上・下部工	支間・橋台・橋脚	17－(2)	17－(29)	17－(30)	17－(31)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(2)	特－(1)	特－(7)	特－(8)	特－(9)	特－(10)
				塗替塗装 塗替塗装(特殊部) g－3－(3)(三)(夜)	断面修復工 A2－1(三)(夜)	コンクリート表面処理工 A(三)(夜)	はく落防止対策工 B1(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ×1×0×2・A1(三)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ×1×0×2・A3(三)(夜)	交通規制工 中央分離帯規制 I×1(三)(夜)	交通保安要員 交通監視員 A(三)(夜)	コンクリートはつり工 A(三)(夜)	ひび割れ含浸工 A(三)(夜)	沓座モルタル補修工 A(三)(夜)	表面仕上げ補修工 A(三)(夜)	橋名板撤去設置工 A(三)(夜)
				基	L	m2	m2	回	回	回	人・日	m3	m	基	m2	枚
関越自動車道	東草橋	上部工	A1－P1 下り線		4.4	78.8	78.8	9.0		8.0	18.0	0.007	0.5			1.0
			P1－A2 上り線		5.2	78.8	78.8		10.0		17.0	0.007	12.9			1.0
			小計		9.6	157.6	157.6	9.0	10.0	8.0	35.0	0.014	13.4			2.0
		下部工	P1	2.0						11.0	22.0			1.0	32.0	
			小計	2.0						11.0	22.0			1.0	32.0	
		合計		2.0	9.6	157.6	157.6	吉拓歩道橋含む 9.0	吉拓歩道橋含む 10.0	吉拓歩道橋含む 19.0	吉拓歩道橋含む 57.0	0.014	13.4	1.0	32.0	2.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋 数量総括表		
縮 尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

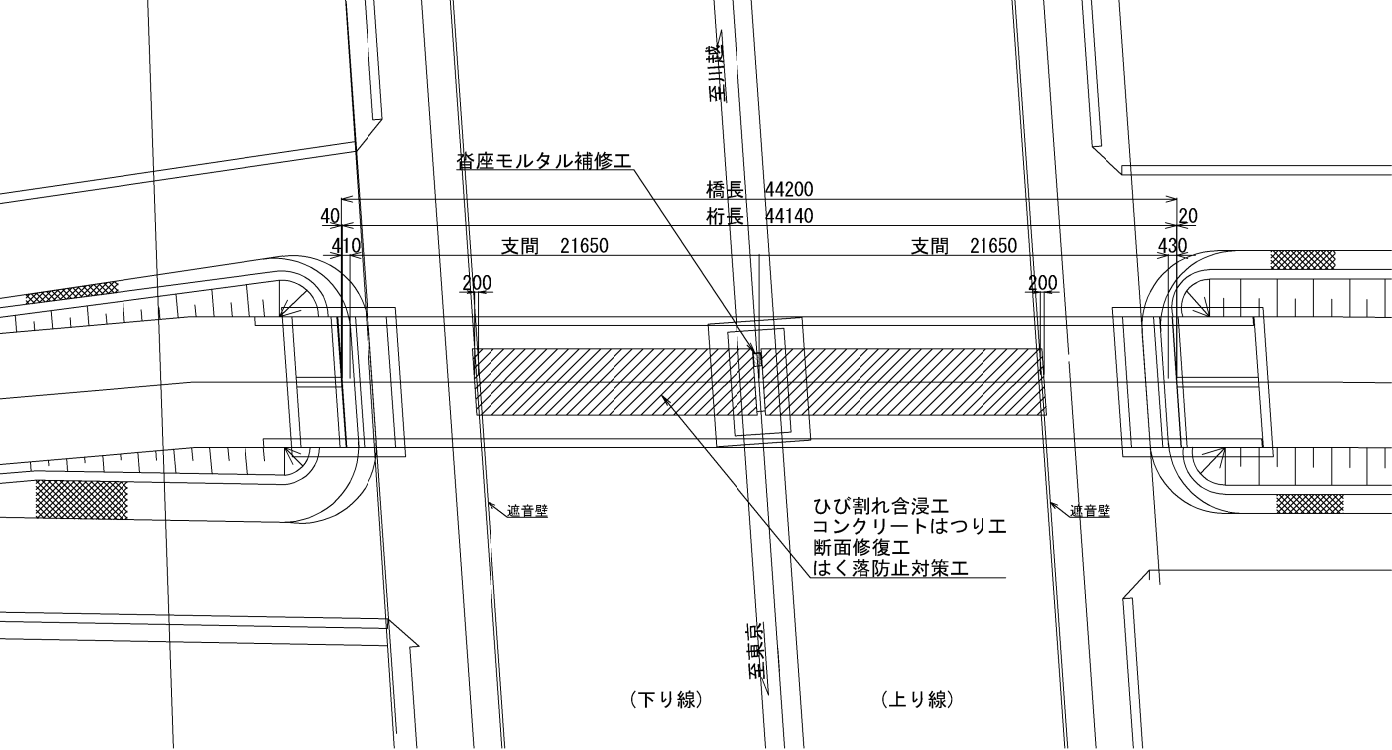
東草橋 補修一般図

側面図 S=1:400

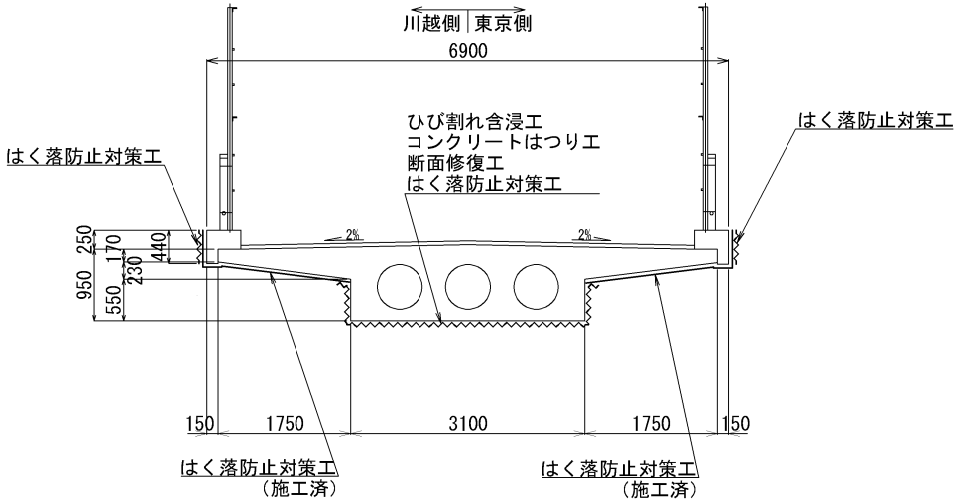


勾配	$i=0.3\%$ $L=44.200$							
計画高	47.911			47.800			47.689	
地盤高	42.200	42.180	42.070	42.030	41.970	41.930	41.900	
追加距離	30.000	22.100	20.000	10.000	0.000	10.000	20.000	30.000
単距離	7.900	2.100	20.000	10.000	0.000	10.000	20.000	7.900
測点	No. -30	-22.100	No. -20	-10	No. 0	10	No. 20	-22.100
測点	No. -30	-22.100	No. -20	-10	No. 0	10	No. 20	-22.100
曲線	R=200m							

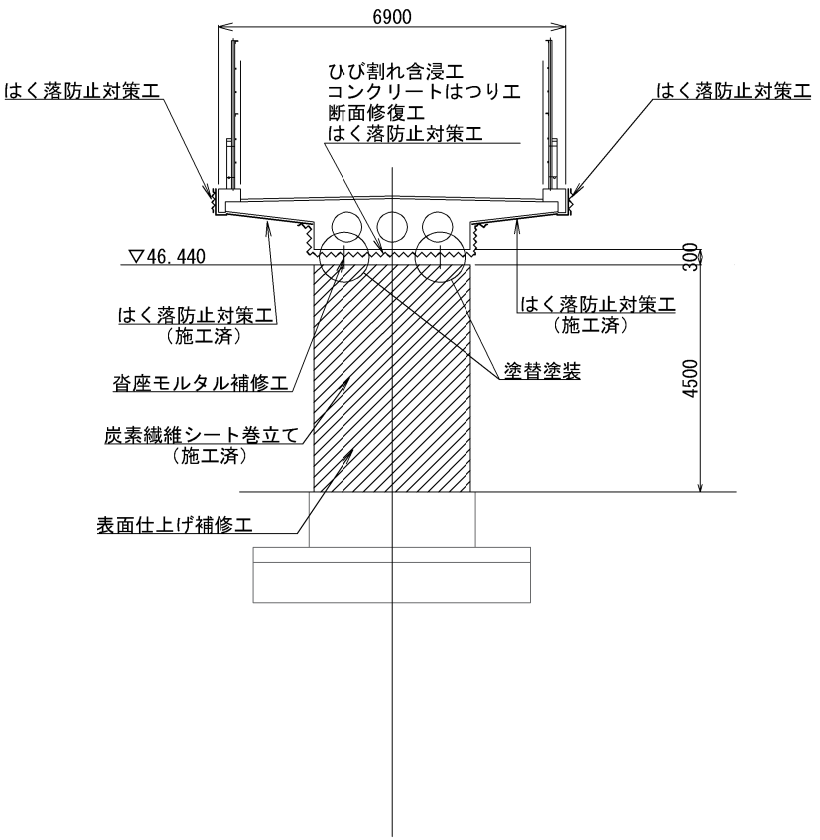
平面図 S=1:400



上部工断面図 S=1:100



P1橋脚断面図 S=1/150

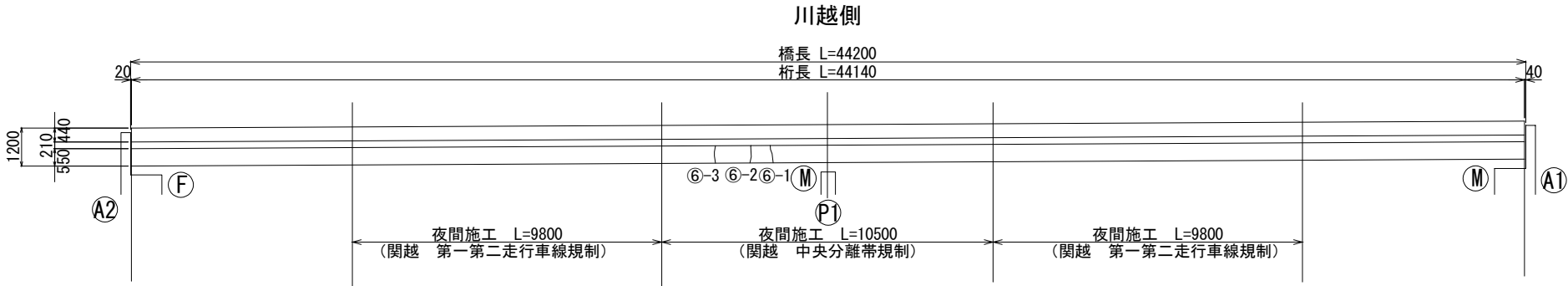


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋 補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

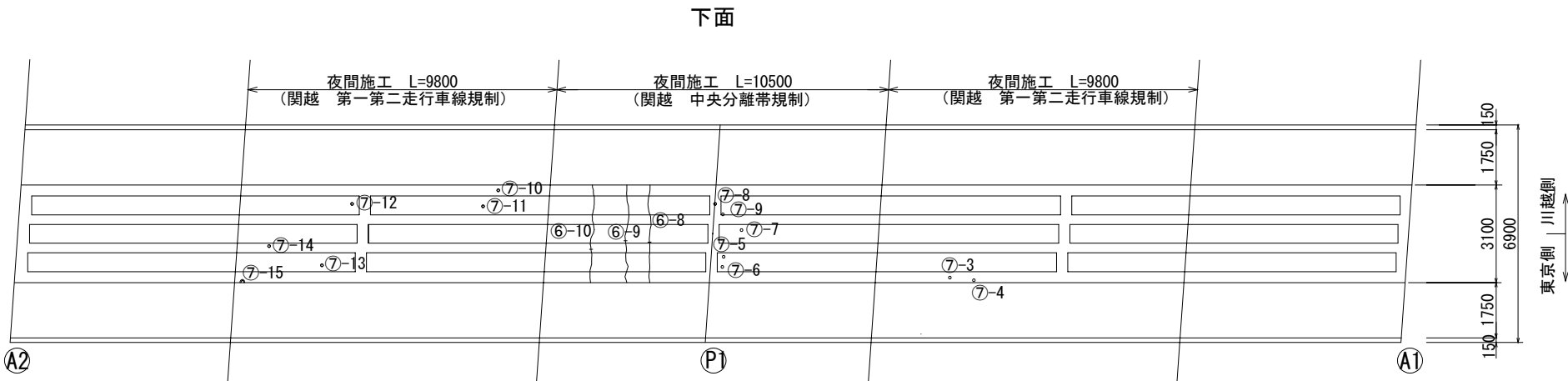


東草橋 補修図（その１）  
ひび割れ含浸工、コンクリートはつりエ、断面修復工

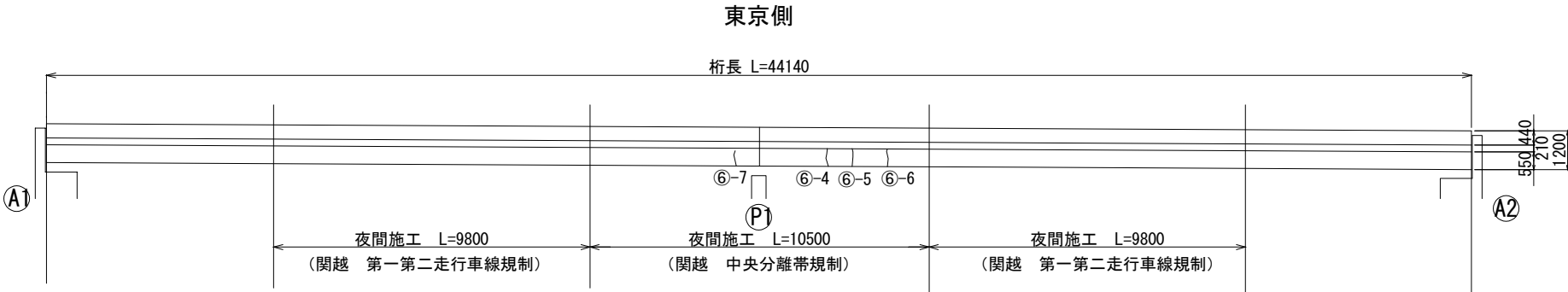
①-① 側面図 S=1:200



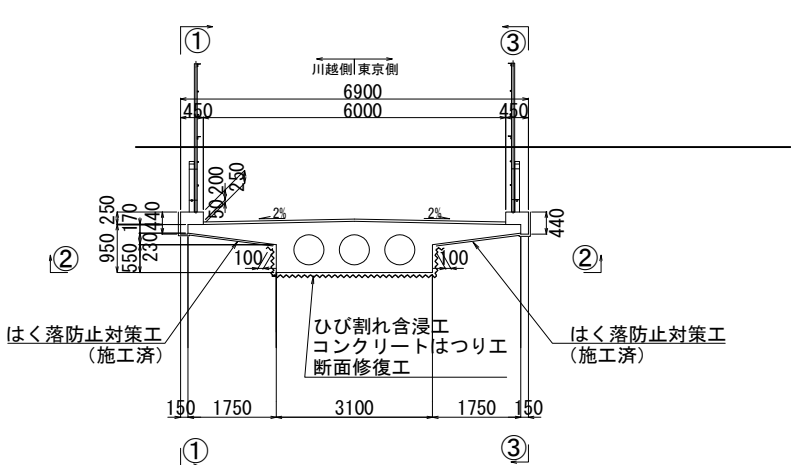
②-② 平面図 S=1:200



③-③ 側面図 S=1:200



上部工断面図 S=1:150



数量表（上り線）

ひび割れ含浸工 A (三) (夜)					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
上り線	上部工	P1~A2	⑥-1	0.2	0.6
上り線	上部工	P1~A2	⑥-2	0.2	0.6
上り線	上部工	P1~A2	⑥-3	0.2	0.6
上り線	上部工	P1~A2	⑥-4	0.2	0.6
上り線	上部工	P1~A2	⑥-5	0.2	0.6
上り線	上部工	P1~A2	⑥-6	0.2	0.6
上り線	上部工	P1~A2	⑥-8	0.3	3.1
上り線	上部工	P1~A2	⑥-9	0.2	3.1
上り線	上部工	P1~A2	⑥-10	0.2	3.1
小計					12.9

コンクリートはつりエ A (三) (夜)							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m <sup>2</sup> )	深さ (m)	数量 (m <sup>3</sup> )
上り線	上部工	P1~A2	⑦-10	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	0.001
上り線	上部工	P1~A2	⑦-11	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
上り線	上部工	P1~A2	⑦-12	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.001
上り線	上部工	P1~A2	⑦-13	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.001
上り線	上部工	P1~A2	⑦-14	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.001
上り線	上部工	P1~A2	⑦-15	浮き	0.05	0.04	0.002
						小計	0.007

断面修復工 A 2-1 (三) (夜)							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P1~A2	⑦-10	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	1.2
上り線	上部工	P1~A2	⑦-11	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
上り線	上部工	P1~A2	⑦-12	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.4
上り線	上部工	P1~A2	⑦-13	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.4
上り線	上部工	P1~A2	⑦-14	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.4
上り線	上部工	P1~A2	⑦-15	浮き	0.05	0.04	2.0
					小計		5.2

数量表（下り線）

ひび割れ含浸工 A (三) (夜)					
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
下り線	上部工	A1~P1	⑥-7	0.2	0.5
小計					0.5

コンクリートはつりエ A (三) (夜)							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積	深さ	数量
下り線	上部工	A1~P1	⑦-3	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
下り線	上部工	A1~P1	⑦-4	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.001
下り線	上部工	A1~P1	⑦-5	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.001
下り線	上部工	A1~P1	⑦-6	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
下り線	上部工	A1~P1	⑦-7	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.001
下り線	上部工	A1~P1	⑦-8	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
下り線	上部工	A1~P1	⑦-9	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001

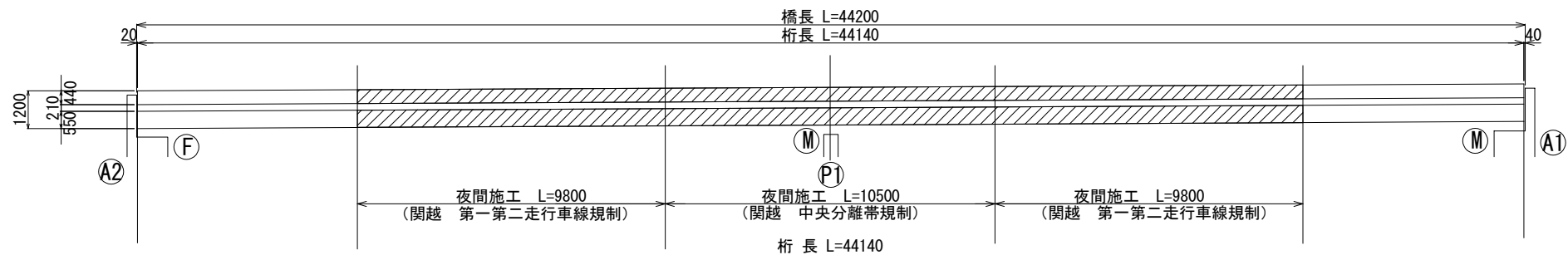
断面修復工 A 2-1 (三) (夜)							
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積	深さ	数量
下り線	上部工	A1~P1	⑦-3	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
下り線	上部工	A1~P1	⑦-4	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.4
下り線	上部工	A1~P1	⑦-5	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.4
下り線	上部工	A1~P1	⑦-6	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
下り線	上部工	A1~P1	⑦-7	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.04	0.4
下り線	上部工	A1~P1	⑦-8	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
下り線	上部工	A1~P1	⑦-9	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
小計							4.4

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋 補修図（その１）		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

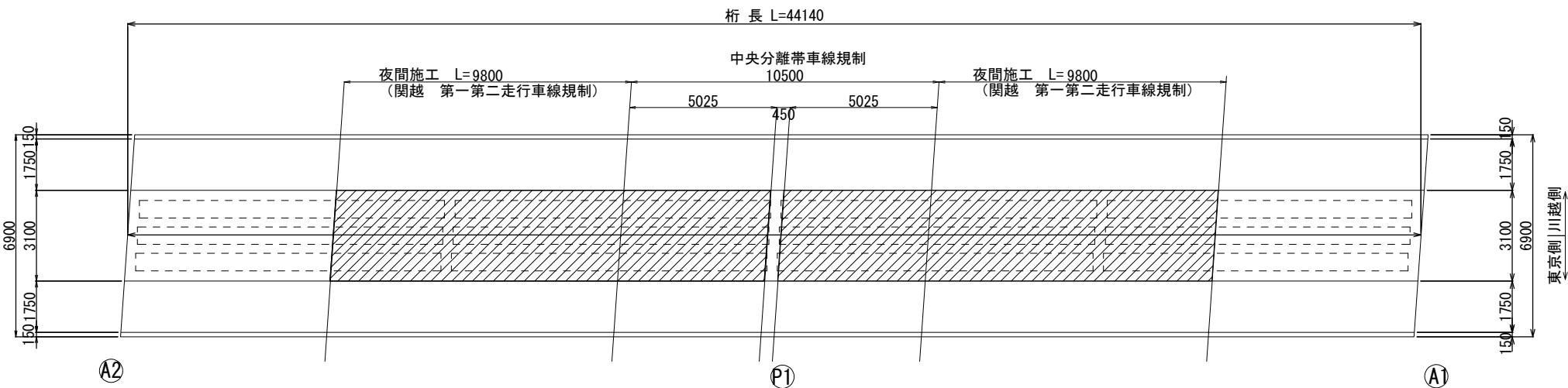
東草橋 補修図（その2）  
コンクリート表面処理工、はく落防止対策工

①-① 側面図 S=1:200

川越側

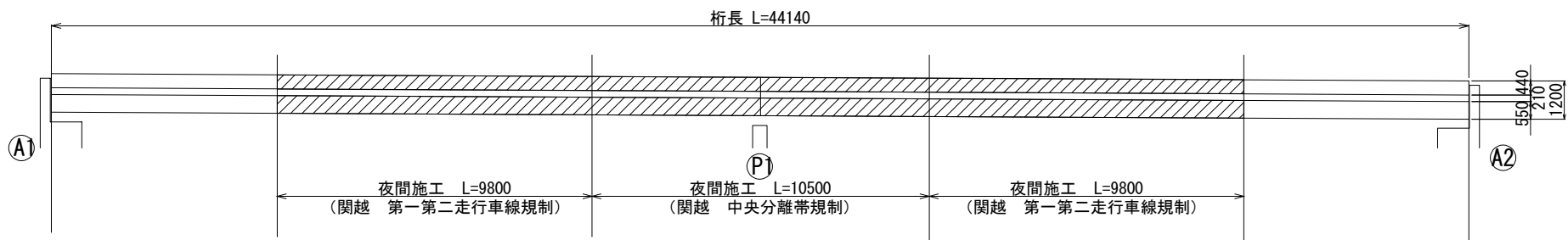


②-② 下面図 S=1:200

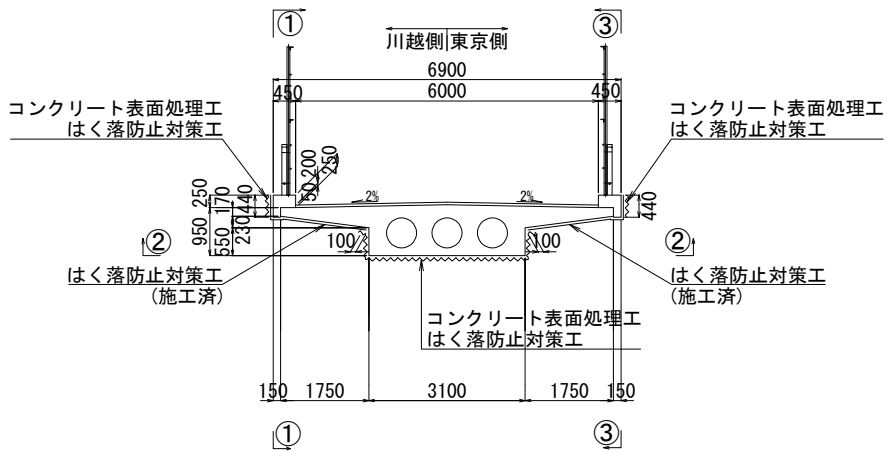


③-③ 側面図 S=1:200

東京側



上部工断面図 S=1:150



コンクリート表面処理工 A (三) (夜)

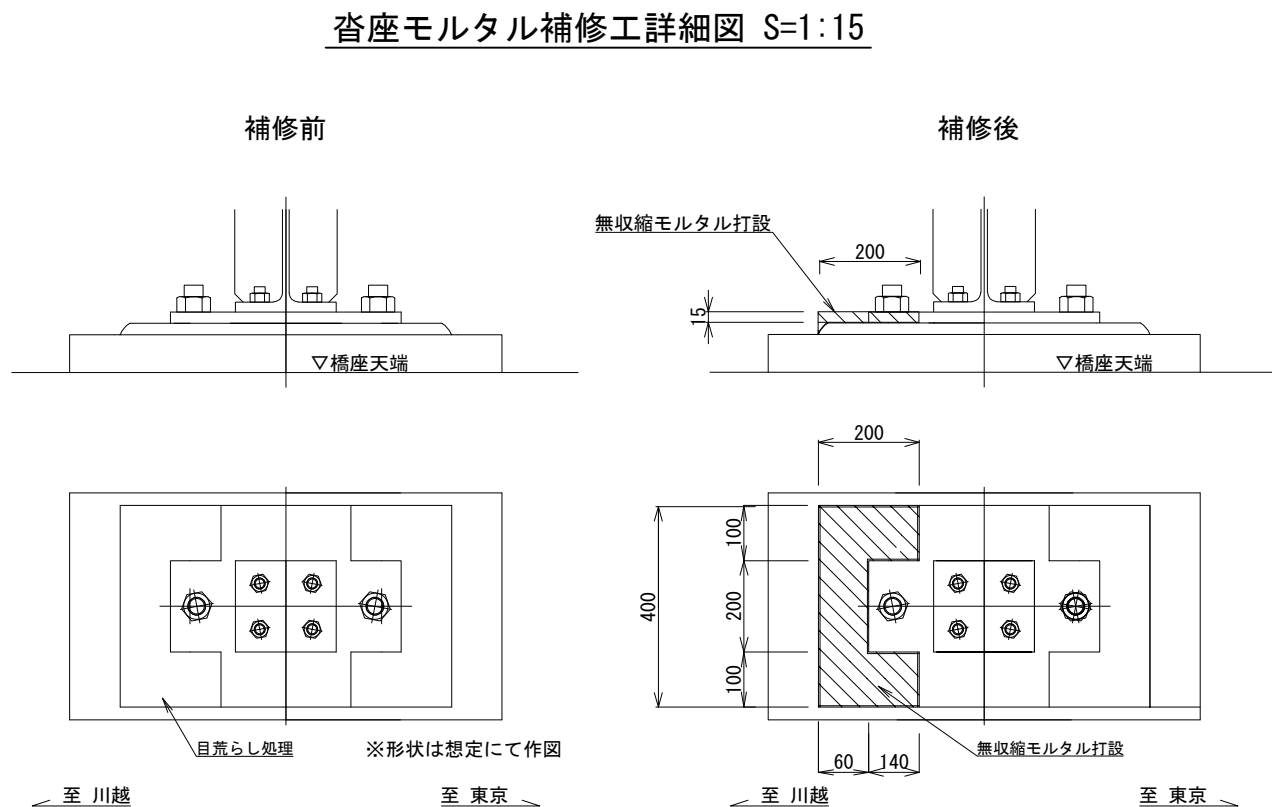
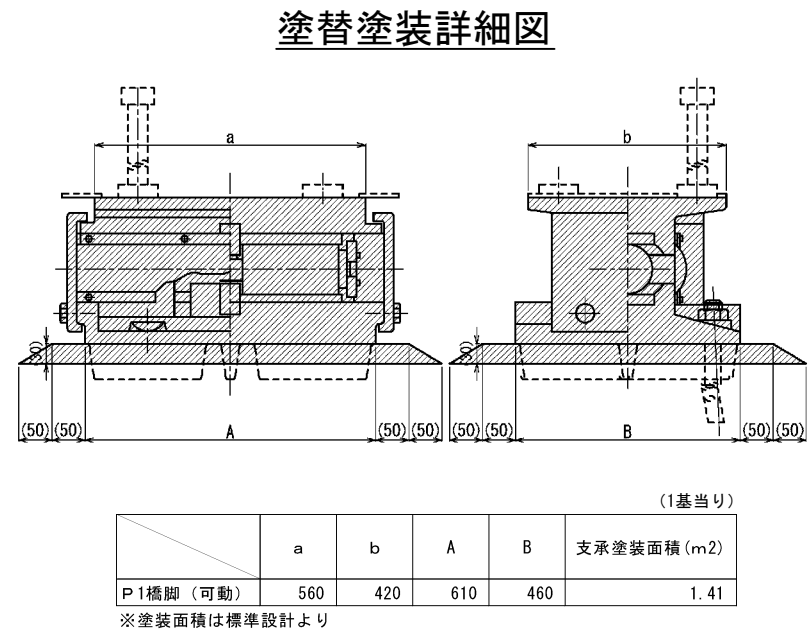
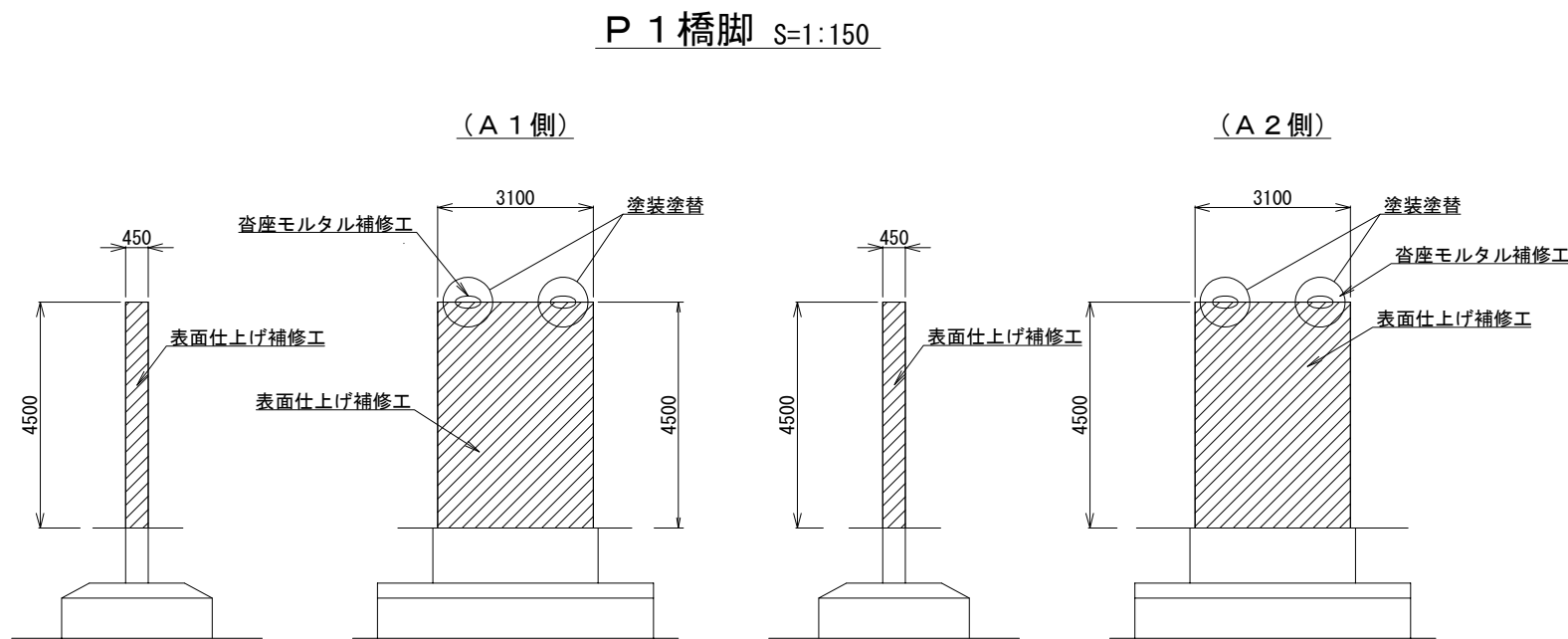
上下線区分	上下部区分	支間	施工数量 (m <sup>2</sup> )
下り線	上部工	A1-P1	78.8
上り線	上部工	P1-A2	78.8
小計			157.6

はく落防止対策工 B 1 (三) (夜)

上下線区分	上下部区分	支間	施工数量 (m <sup>2</sup> )
下り線	上部工	A1-P1	78.8
上り線	上部工	P1-A2	78.8
小計			157.6

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋 補修図（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東草橋 補修図（その3）  
塗替塗装、表面仕上げ補修工、沓座モルタル補修工



塗替塗装（特殊部）g-3-(3)(三)(夜)			
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量(基)
上下線	下部工	P1	2.0
小計			2.0

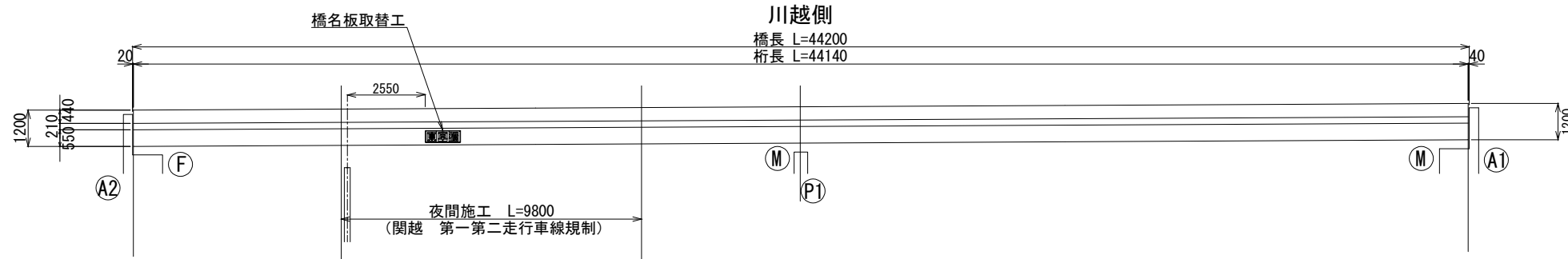
表面仕上げ補修工 A (三)(夜)			
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量(m2)
上り線	下部工	P1	16.0
下り線	下部工	P1	16.0
小計			32.0

沓座モルタル補修工 A (三)(夜)			
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量(基)
上下線	下部工	P1	1.0
小計			1.0

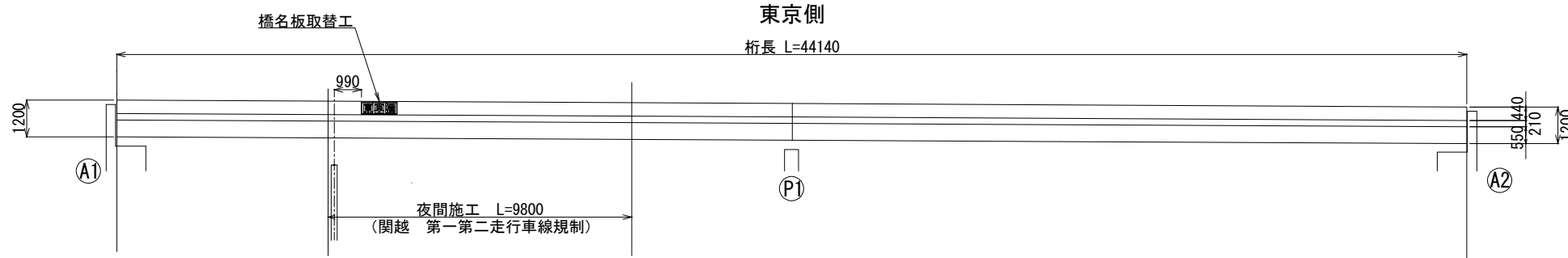
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋 補修図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

# 東草橋 補修図（その4） 橋名板撤去設置工

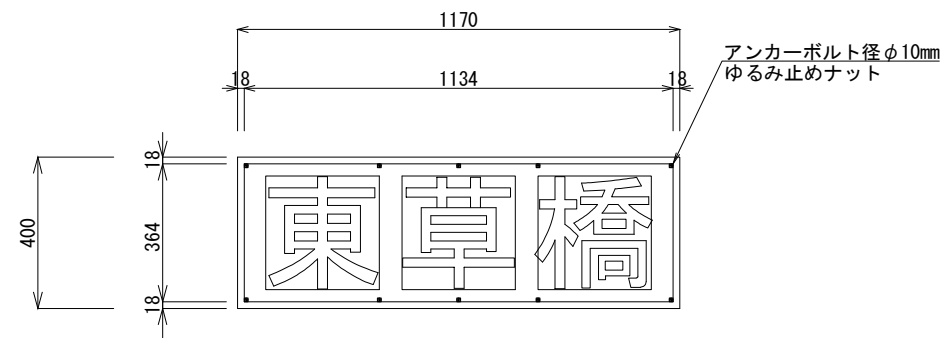
①-① 側面図 S=1:200



②-② 側面図 S=1:200

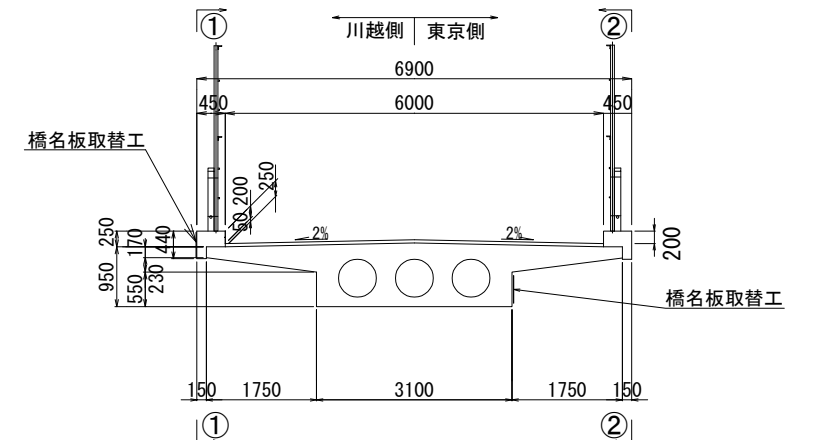


橋名板詳細図 S=1:20



- ※ 橋名板は、はく落防止対策工の施工前に一時撤去し、その際に既設ボルトも撤去する。
- ※ はく落防止対策工の施工後にボルトを新設し、橋名板を再設置する。

上部工断面図 S=1:120



橋名板撤去設置工 A (三) (夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量 (枚)
上り線	上部工	A1～P1	1.0
下り線	上部工	P1～A2	1.0
小計			2.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋 補修図（その4）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東草橋・吉拓歩道橋 交通規制図（その１）

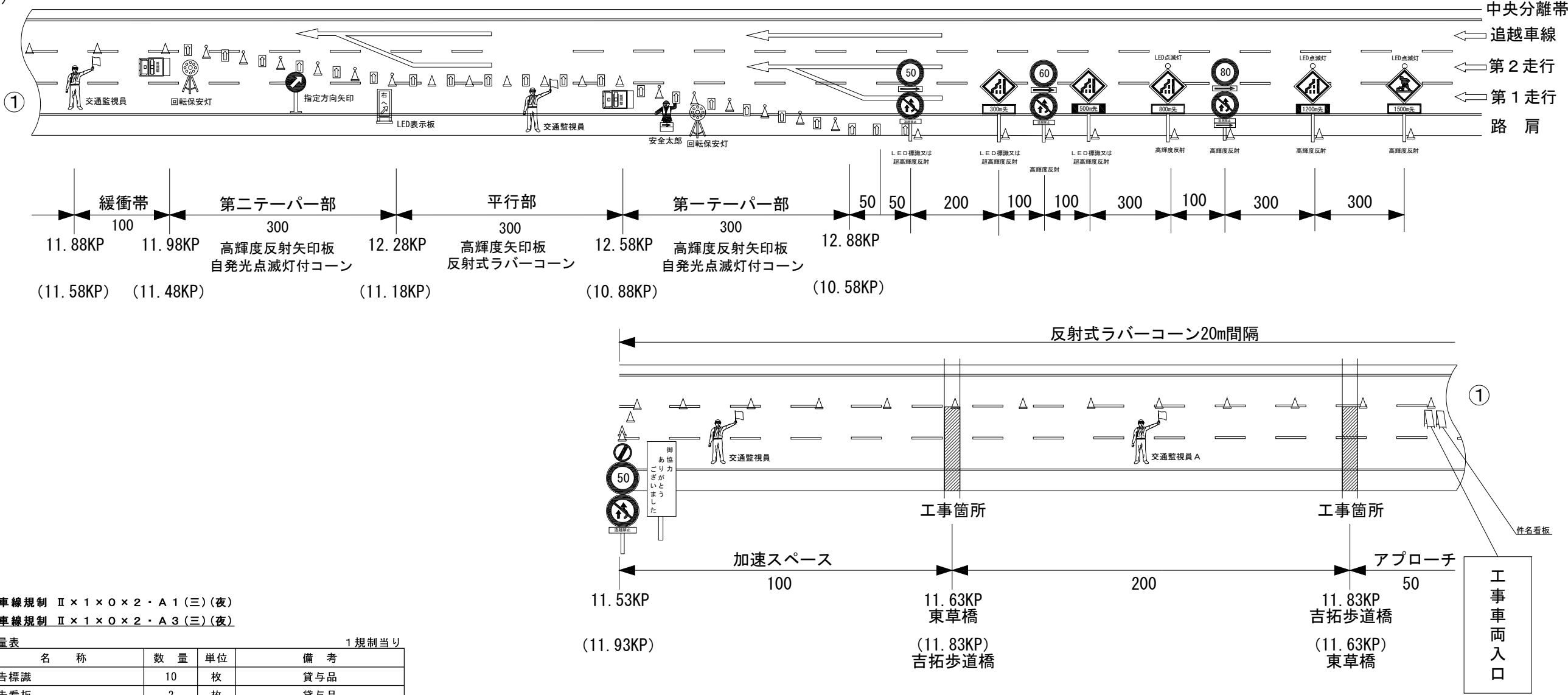
二車線規制 Ⅱ×１×０×２・Ａ１（三）（夜）（上り線）

二車線規制 Ⅱ×１×０×２・Ａ３（三）（夜）（下り線）

※（ ）内ＫＰは下り線

至練馬  
（至新潟）

至新潟  
（至練馬）



二車線規制 Ⅱ×１×０×２・Ａ１（三）（夜）  
二車線規制 Ⅱ×１×０×２・Ａ３（三）（夜）

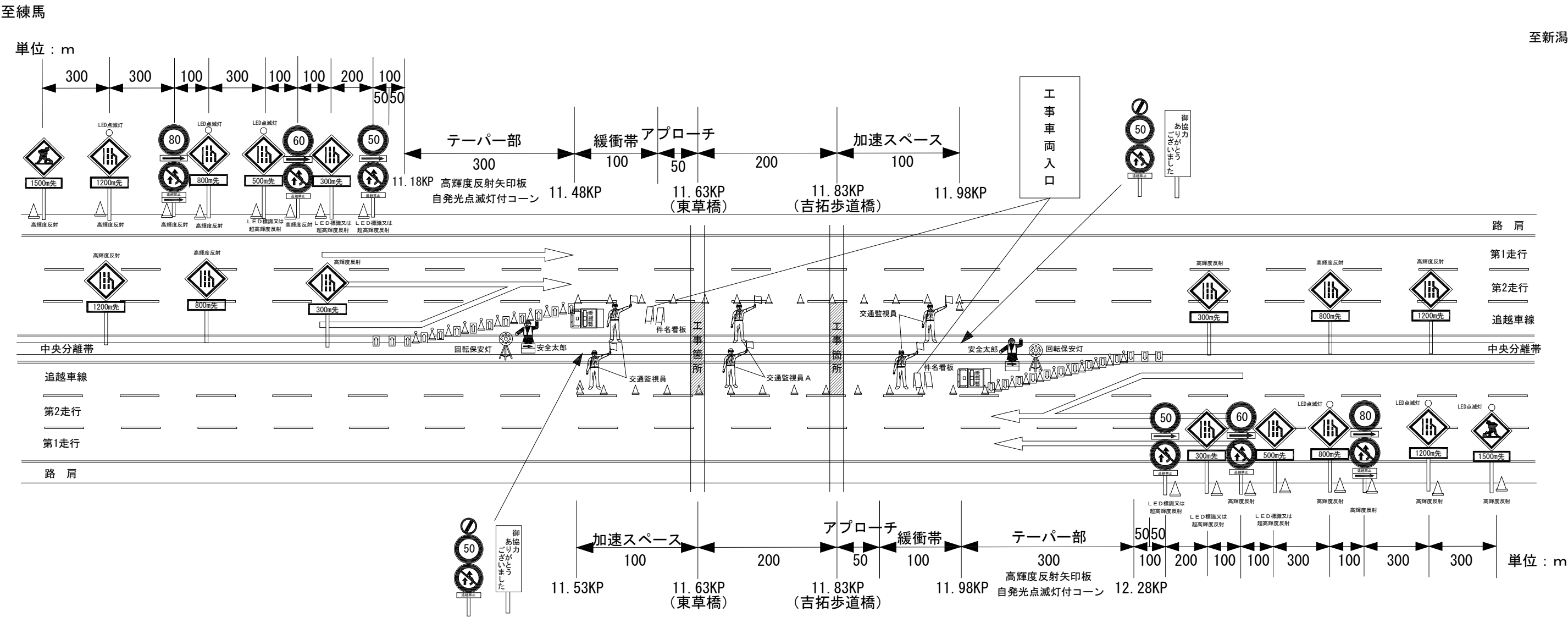
数量表				1 規制当り
名 称	数 量	単 位	備 考	
予告標識	10	枚	貸与品	
予告看板	2	枚	貸与品	
矢印板	必要数	枚	貸与品	
ラバーコーン	必要数	本	貸与品	
LED点滅灯	必要数	本	貸与品	
標識車	2	台	貸与品	
安全太郎	1	台	貸与品	
回転保安灯	2	台	貸与品	
指定方向矢印	1	台	貸与品	
LED表示板	1	台	貸与品	
発煙筒（設置・撤去）	12	本	受注者持	
交通監視員（規制材保守）	4	人	規制費に含む（交替含む）	
交通監視員A（工事箇所）	1	人	別途検測	

※予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。  
※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパー設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋・吉拓歩道橋		
	交通規制図（その１）		
縮 尺	図面番号		
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東草橋・吉拓歩道橋 交通規制図（その2）

中央分離帯規制 I × 1（三）（夜）



中央分離帯規制 I × 1（三）（夜）

数量表		1 規制当り		
名 称	数 量	単位	備 考	
予告標識	26	枚	貸与品	
予告看板	4	枚	貸与品	
矢印板	必要数	枚	貸与品	
ラバーコーン	必要数	本	貸与品	
LED点滅灯	必要数	本	貸与品	
標識車	2	台	貸与品	
安全太郎	2	台	貸与品	
回転保安灯	2	台	貸与品	
発煙筒（設置・撤去）	12	本	受注者持	
交通監視員（規制材保守）	5	人	規制費に含む（交替含む）	
交通監視員 A（工事箇所）	2	人	別途検測	

※ 予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。  
※ 発煙筒（5分用）使用本数は、各テーパ設置・撤去時本数3本/箇所とする。（設置時：3本、撤去時：3本）  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東草橋・吉拓歩道橋		
	交通規制図（その2）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

## 吉拓歩道橋 位置図



関越自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	吉拓歩道橋 位置図
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所

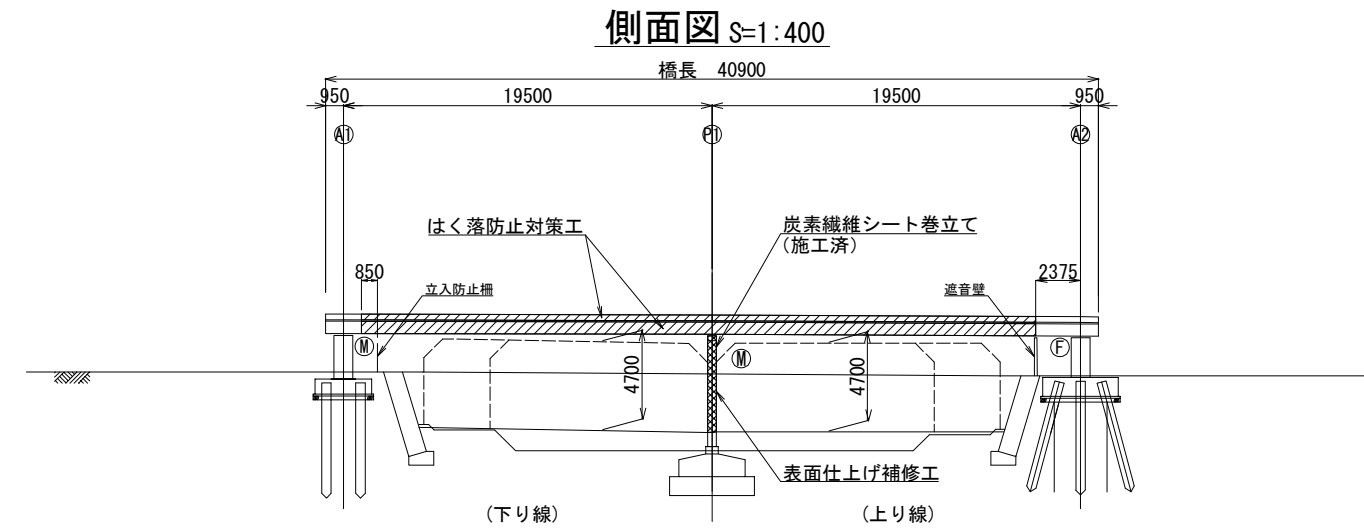
吉拓歩道橋 数量総括表

路線名	橋梁名	上・下部工	支間・橋台・橋脚	17－(2)	17－(29)	17－(30)	17－(31)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(2)	特－(1)	特－(7)	特－(9)	特－(10)		
				塗替塗装	断面修復工	コンクリート表面処理工	はく落防止対策工	交通規制工	交通規制工	交通規制工	交通保安要員	コンクリートはつり工	ひび割れ含浸工	表面仕上げ補修工	橋名板撤去設置工		
				塗替塗装(特殊部)	A2－1(三)(夜)	A(三)(夜)	B1(三)(夜)	二車線規制	二車線規制	中央分離帯規制	交通監視員	A(三)(夜)	A(三)(夜)	A(三)(夜)	A(三)(夜)		
				g－3－(3)(三)(夜)				Ⅱ×1×0×2・A1(三)(夜)	Ⅱ×1×0×2・A3(三)(夜)	I×1(三)(夜)	A(三)(夜)						
				基	L	m2	m2	回	回	回	人・日	m3	m	m2	枚		
関越自動車道	吉拓歩道橋	上部工	A1－P1 下り線		3.2	60.7	60.7					0.003			1.0		
			P1－A2 上り線		13.2	54.4	54.4					0.013	1.7		1.0		
			小計		16.4	115.1	115.1					0.016	1.7		2.0		
		下部工	P1	1.0											21.7		
			小計	1.0											21.7		
		合計				1.0	16.4	115.1	115.1	東草橋に含む	東草橋に含む	東草橋に含む	東草橋に含む	0.016	1.7	21.7	2.0

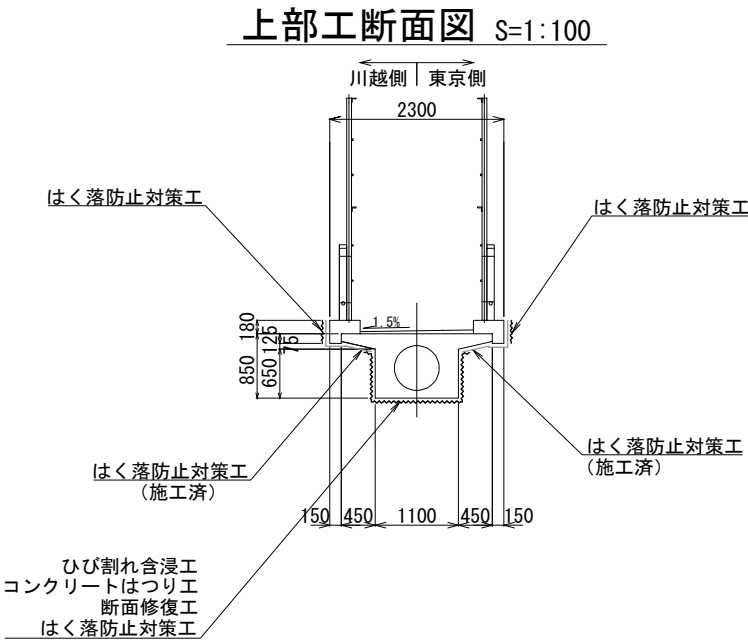
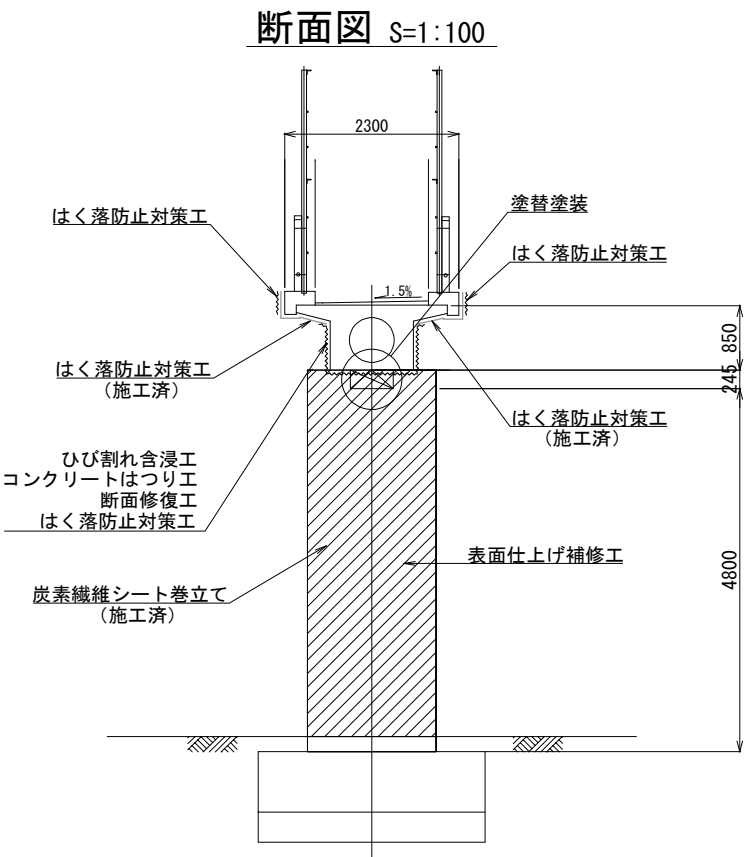
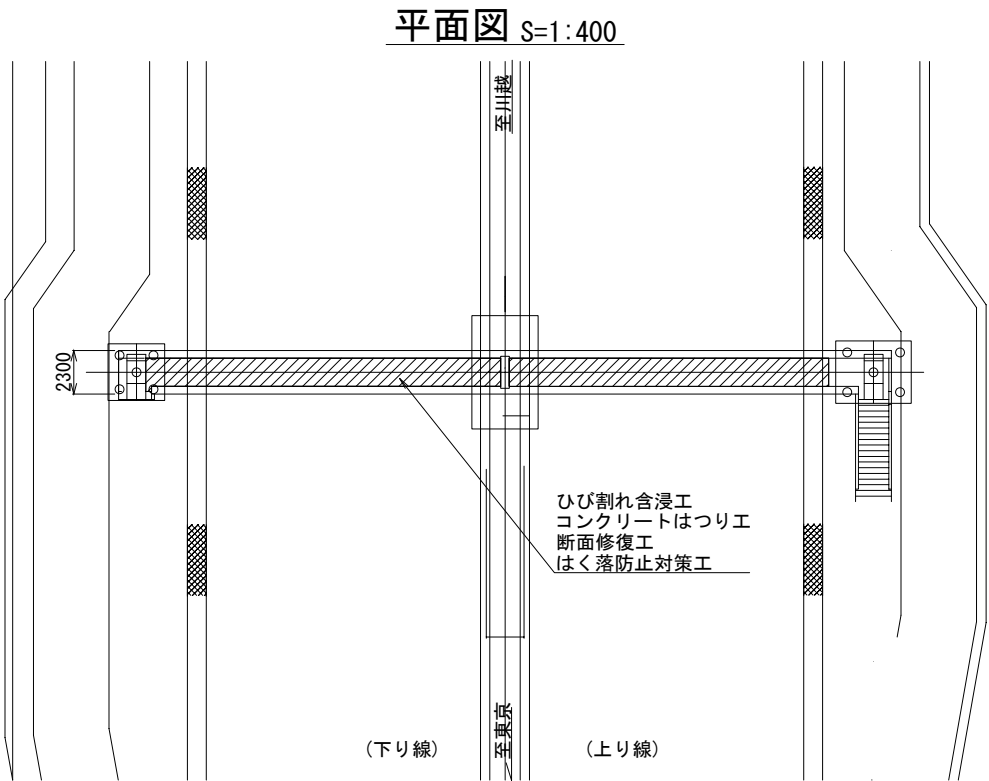
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	吉拓歩道橋 数量総括表		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



吉拓歩道橋 補修一般図

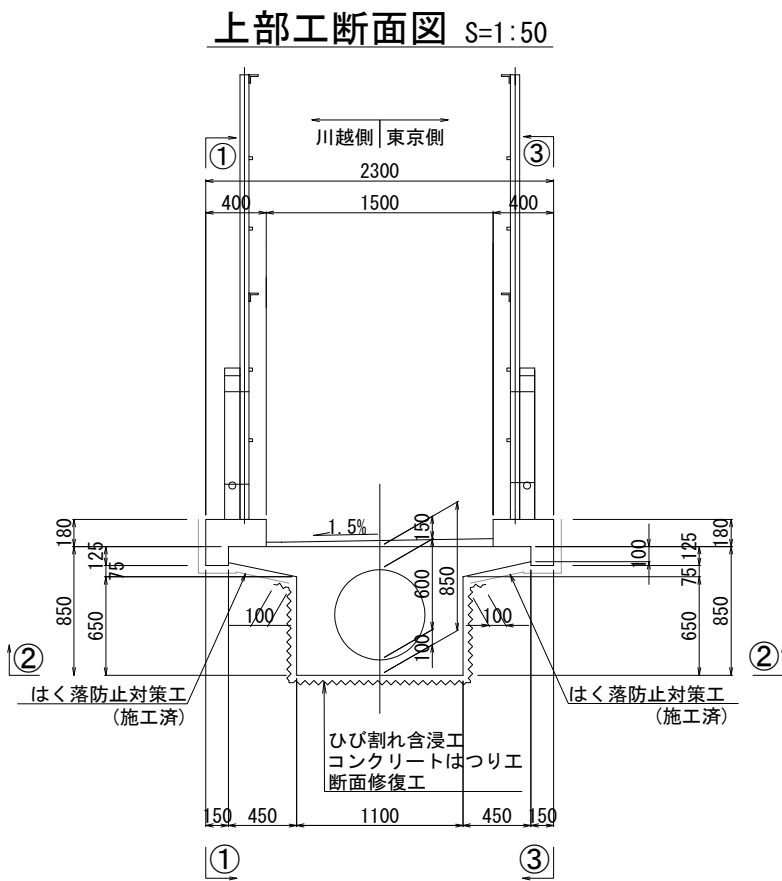
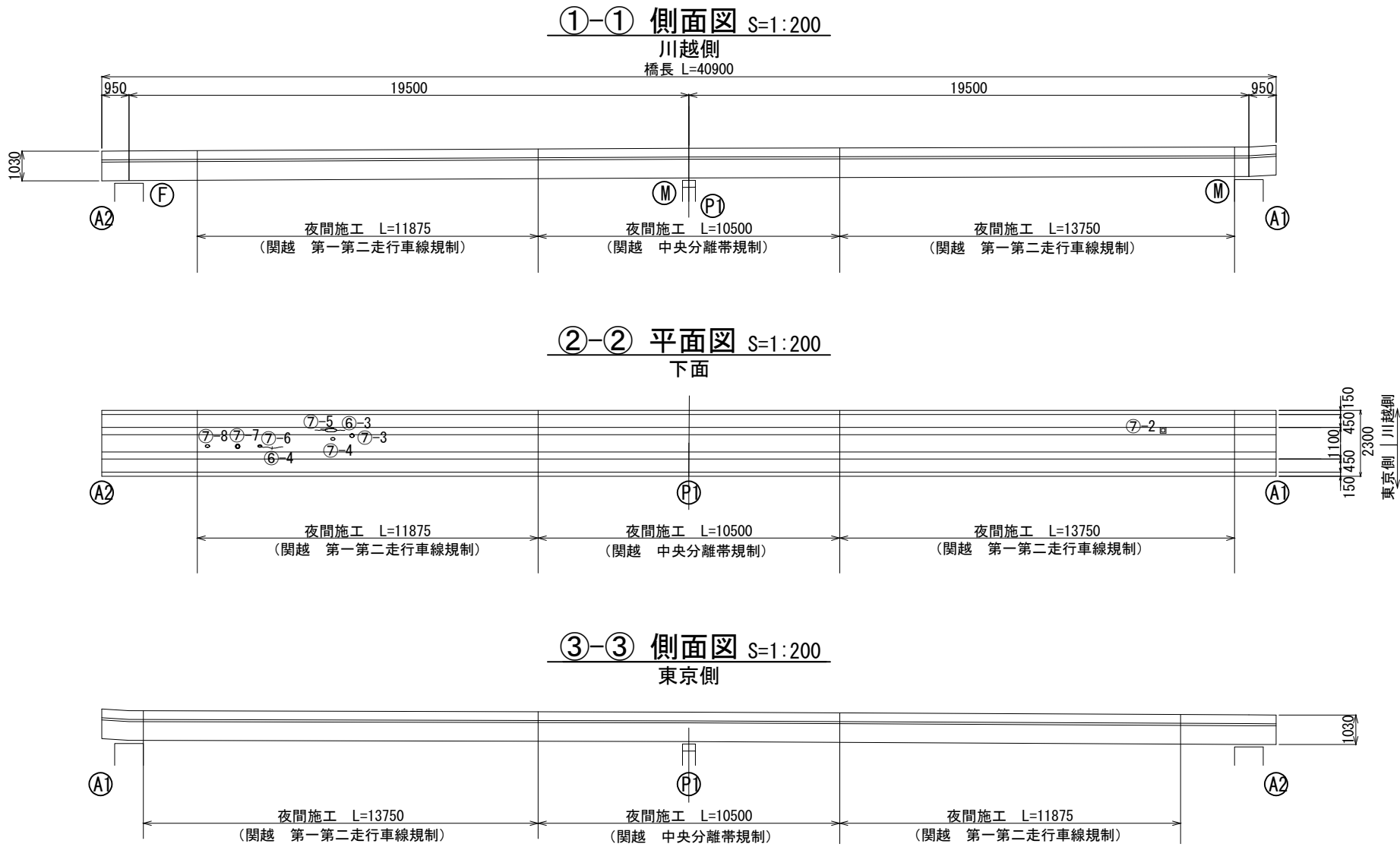


勾配	$i=0.5\%$ $L=40900$					
計画高	45.602	45.598			45.403	45.398
地盤高	42.658	42.612	42.567	42.579	42.477	42.447
追加距離	30.000	20.450 19.500	10.000	0.000	10.000	19.500 20.450
単距離	9.550	0.450 8.500	10.000	0.000	10.000	9.500 0.450
測点	-30.000	-20.450 -19.500	-10.000	0.000	+10.000	+19.500 +20.450
曲線	$R=\infty$					



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	吉拓歩道橋 補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

吉拓歩道橋 補修図（その１）  
ひび割れ含浸工、コンクリートはつり工、断面修復工



数量表（上り線）

ひび割れ含浸工 A (三) (夜)

上下線区分	上下区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
上り線	上部工	P1～A2	⑥-3	0.2	1.0
上り線	上部工	P1～A2	⑥-4	0.2	0.7
				小計	1.7

コンクリートはつり工 A (三) (夜)

上下線区分	上下区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m <sup>2</sup> )	深さ (m)	数量 (m <sup>3</sup> )
上り線	上部工	P1～A2	⑦-3	鉄筋の露出・腐食	0.07	0.04	0.003
上り線	上部工	P1～A2	⑦-4	鉄筋の露出・腐食	0.05	0.04	0.002
上り線	上部工	P1～A2	⑦-5	鉄筋の露出・腐食	0.12	0.04	0.005
上り線	上部工	P1～A2	⑦-6	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	0.001
上り線	上部工	P1～A2	⑦-7	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	0.001
上り線	上部工	P1～A2	⑦-8	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	0.001
				小計			0.013

断面修復工 A2-1 (三) (夜)

上下線区分	上下区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m <sup>2</sup> )	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P1～A2	⑦-3	鉄筋の露出・腐食	0.07	0.04	2.8
上り線	上部工	P1～A2	⑦-4	鉄筋の露出・腐食	0.05	0.04	2.0
上り線	上部工	P1～A2	⑦-5	鉄筋の露出・腐食	0.12	0.04	4.8
上り線	上部工	P1～A2	⑦-6	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	1.2
上り線	上部工	P1～A2	⑦-7	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	1.2
上り線	上部工	P1～A2	⑦-8	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	1.2
				小計			13.2

数量表（下り線）

コンクリートはつり工 A (三) (夜)

上下線区分	上下区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m <sup>2</sup> )	深さ (m)	数量 (m <sup>3</sup> )
下り線	上部工	A1～P1	⑦-2	鉄筋の露出・腐食	0.08	0.04	0.003
				小計			0.003

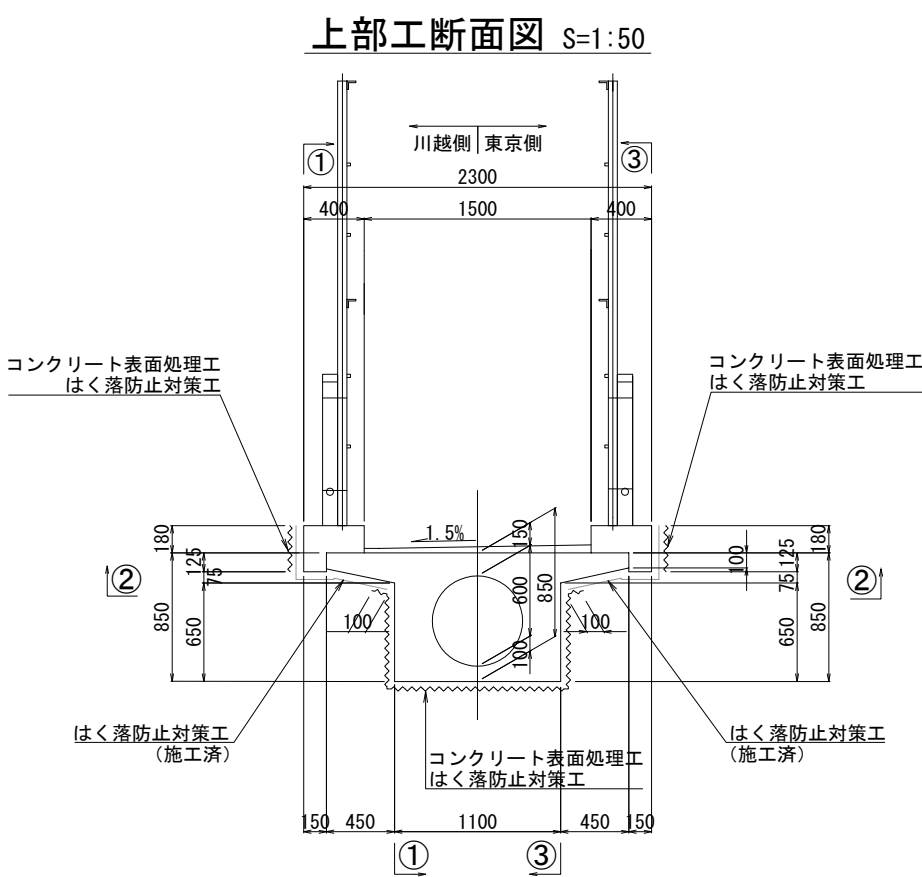
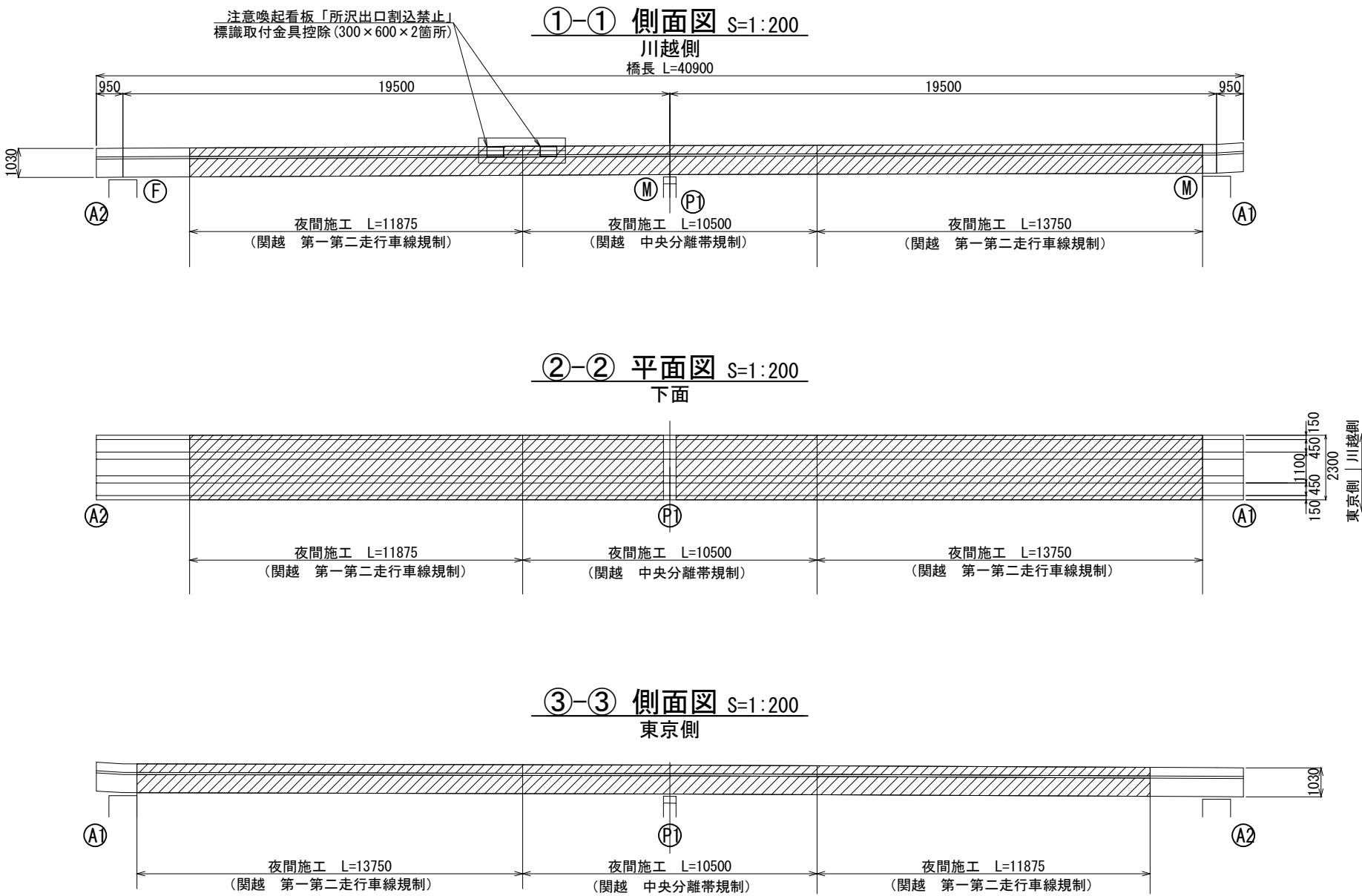
断面修復工 A2-1 (三) (夜)

上下線区分	上下区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m <sup>2</sup> )	深さ (m)	数量 (L)
下り線	上部工	A1～P1	⑦-2	鉄筋の露出・腐食	0.08	0.04	3.2
				小計			3.2

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	吉拓歩道橋 補修図（その１）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

吉拓歩道橋 補修図（その2）

コンクリート表面処理工、はく落防止対策工



コンクリート表面処理工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間	施工数量(m2)
下り線	上部工	A1-P1	60.7
上り線	上部工	P1-A2	54.4
小計			115.1

はく落防止対策工B1(三)(夜)

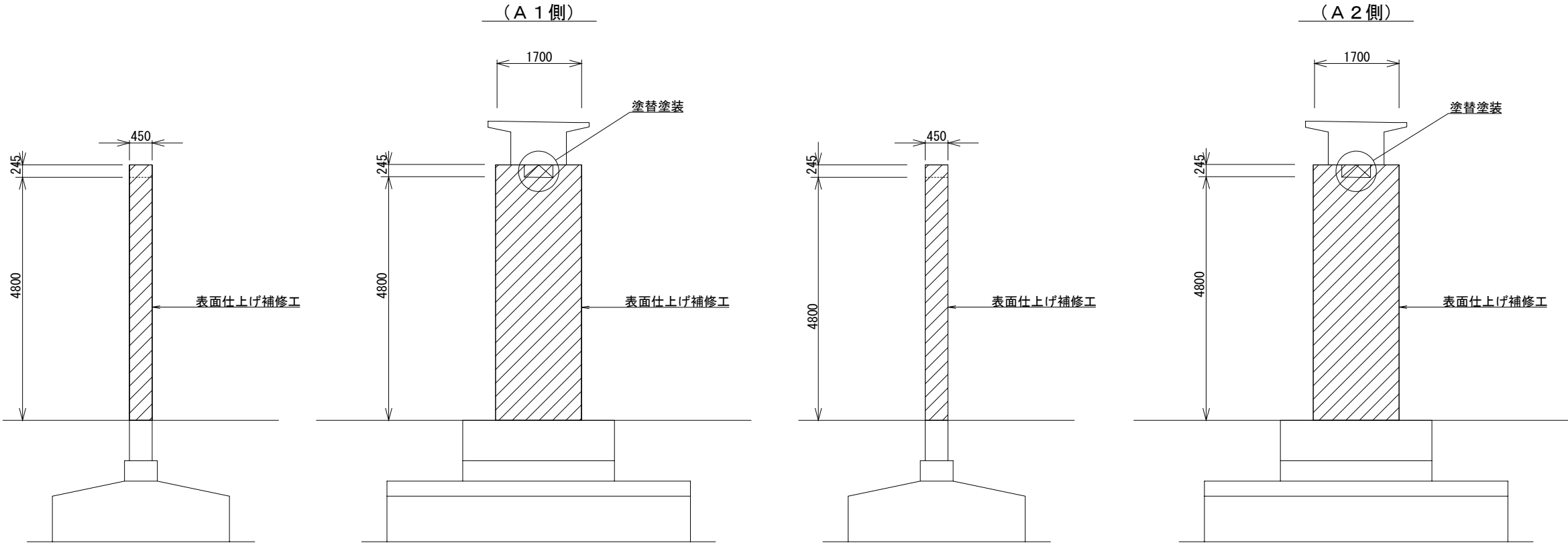
上下線区分	上下部区分	支間	施工数量(m2)
下り線	上部工	A1-P1	60.7
上り線	上部工	P1-A2	54.4
小計			115.1

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	吉拓歩道橋 補修図（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

吉拓歩道橋 補修図（その3）

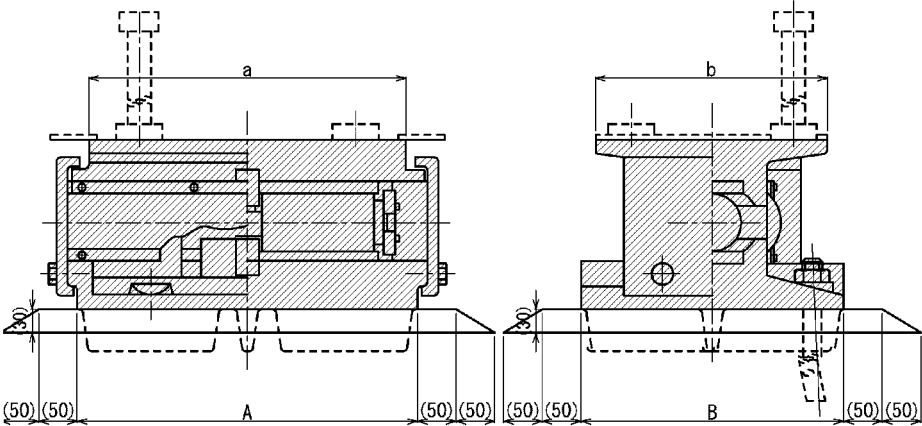
塗替塗装、表面仕上げ補修工

P1橋脚 S=1:100



表面仕上げ補修工A(三)(夜)			
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量 (m2)
上下線	下部工	P1	21.7
小計			21.7

塗替塗装詳細図 S=1:10



(1基当り)					
	a	b	A	B	支承塗装面積(m2)
P1橋脚	320	340	370	370	0.90

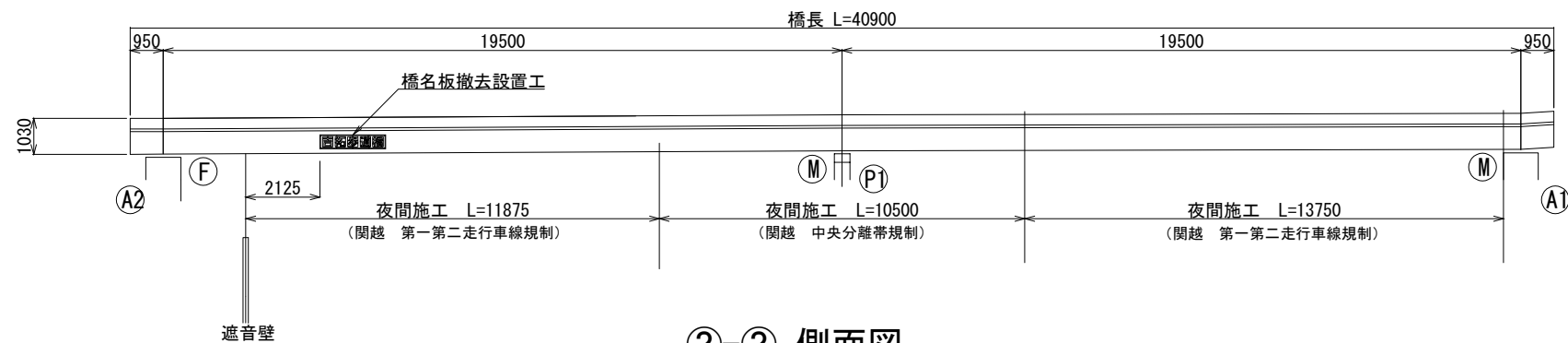
塗装面積は標準設計より

塗替塗装(特殊部)g-3-(3)(三)(夜)			
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量(基)
上下線	下部工	P1	1.0
小計			1.0

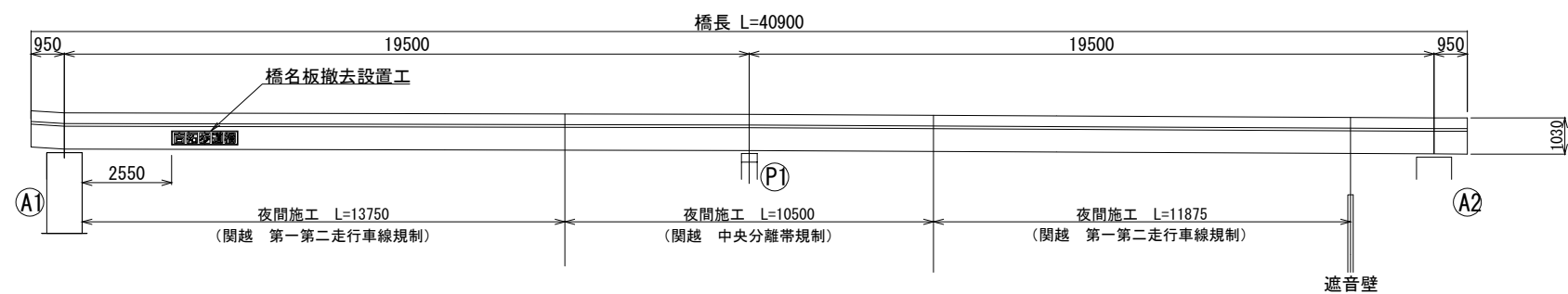
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	吉拓歩道橋 補修図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

吉拓歩道橋 補修図（その4）  
橋名板撤去設置工

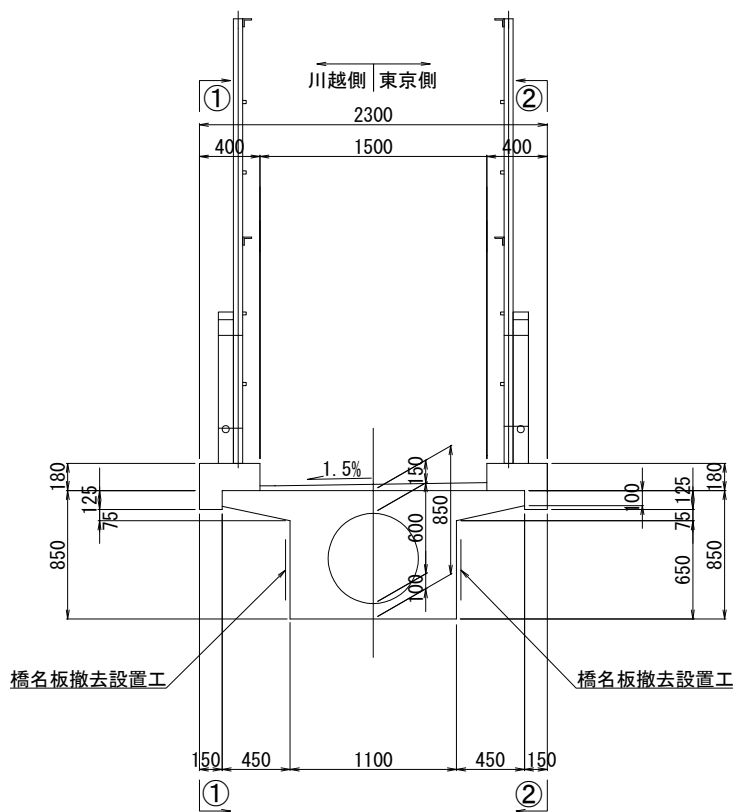
①-① 側面図 S=1:200  
川越側



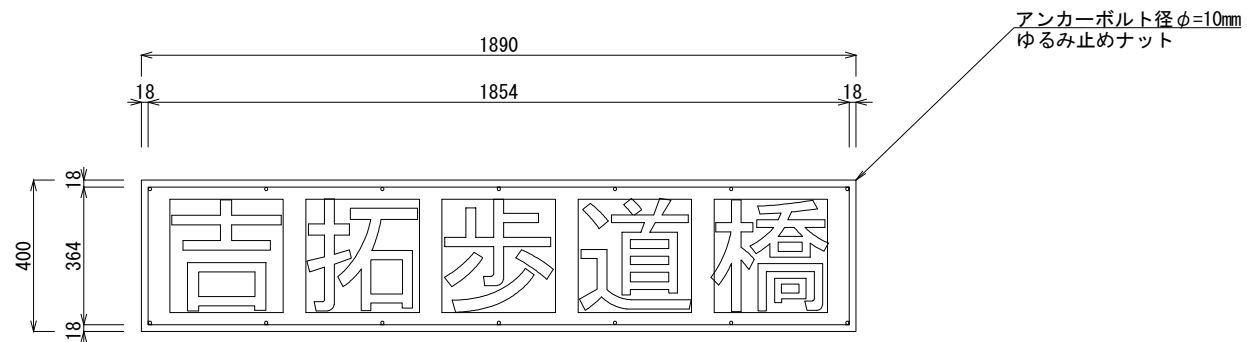
②-② 側面図  
東京側



上部工断面図 S=1:50



橋名板構造図 S=1:20



※ 橋名板は、はく落防止対策工の施工前に  
一時撤去し、その際に既設ボルトも撤去する。

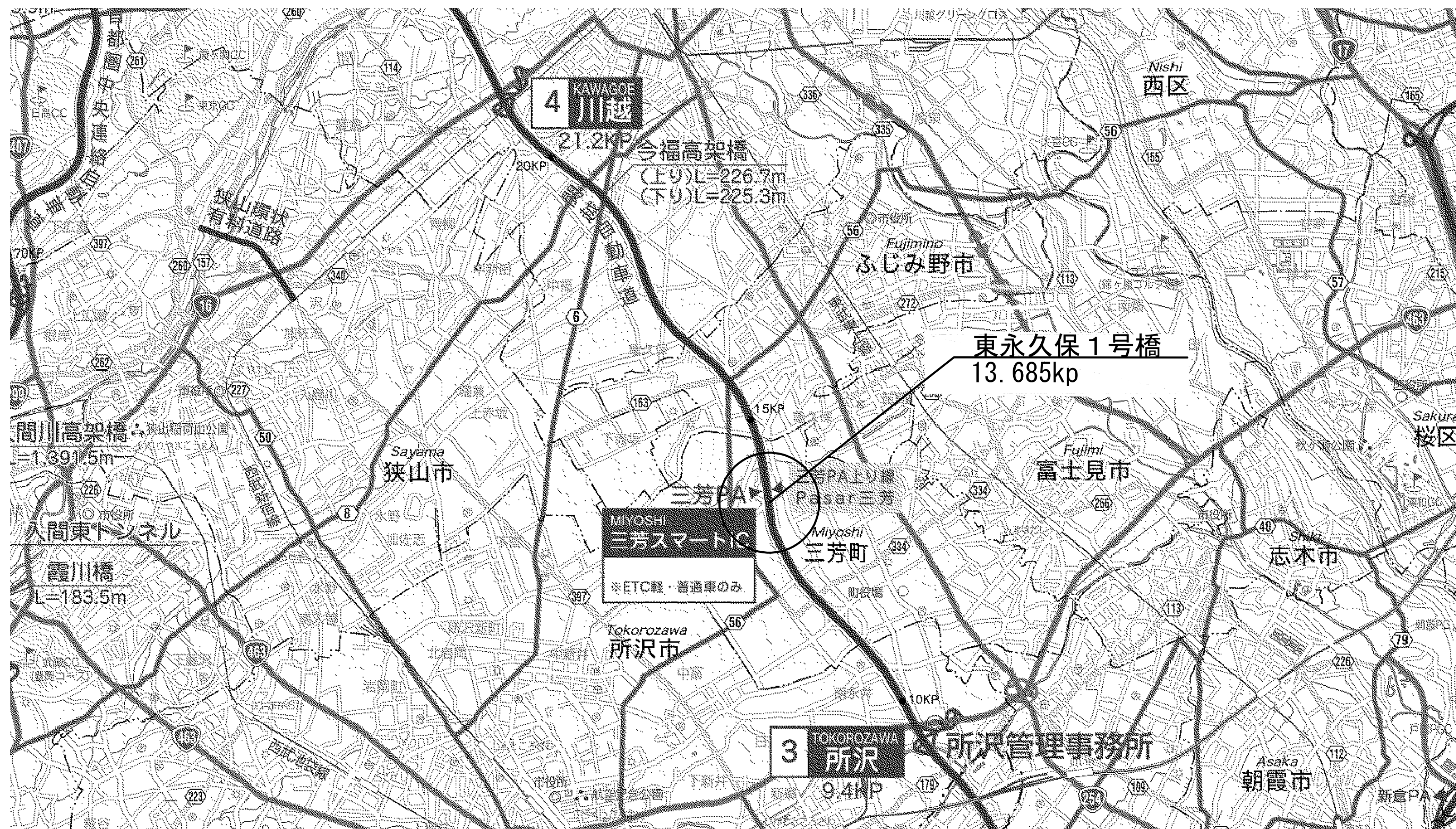
※ はく落防止対策工の施工後にボルトを新設し、  
橋名板を再設置する。

橋名板撤去設置工 A (三) (夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量 (枚)
上り線	上部工	P1～A2	1.0
下り線	上部工	A1～P1	1.0
小計			2.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	吉拓歩道橋 補修図（その4）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

## 東永久保1号橋 位置図



関越自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	東永久保1号橋 位置図
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所

東永久保 1 号橋 数量総括表

路線名	橋梁名	上・下部工	支間・橋台・橋脚	17－(2)	17－(29)	17－(30)	17－(31)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(2)	特－(1)	特－(2)	特－(7)	特－(9)	特－(10)	特－(11)	特－(15)	
				塗替塗装	断面修復工	コンクリート表面処理工	はく落防止対策工	交通規制工	交通規制工	交通規制工	交通規制工	交通規制工	交通保安要員	コンクリートはつり工	ひび割れ充填工	ひび割れ含浸工	表面仕上げ補修工	橋名板撤去設置工	橋名板撤去工	表面保護工(極小部)	
				塗替塗装(特殊部)	A2－1(三)(夜)	A(三)(夜)	B1(三)(夜)	一車線規制	一車線規制	二車線規制	二車線規制	中央分離帯規制	交通監視員	A(三)(夜)	A(三)(夜)	A(三)(夜)	A(三)(夜)	A(三)(夜)	A(三)(夜)	コンクリート表面被覆工	
				g－3－(3)(三)(夜)				I × 1 × 0 × 2-A1(三)(夜)	I × 1 × 0 × 2-A2(三)(夜)	Ⅱ × 1 × 0 × 2-A2(三)(夜)	Ⅱ × 1 × 0 × 2-A4(三)(夜)	Ⅱ × 1(三)(夜)	A(三)(夜)						A(三)(夜)		
				基	L	m2	m2	回	回	回	回	回	人・日	m3	m	m	m2	枚	枚	m2	
関越自動車道	東永久保1号橋	上部工	A1－P1 下り線		1166.4	117.2	117.2		47.0	42.0			89.0	1.167		5.4			1.0		
			P1－A2 上り線		571.6	115.5	115.5	38.0			21.0		59.0	0.573		4.5		1.0			
			小計		1738.0	232.7	232.7	38.0	47.0	42.0	21.0		148.0	1.740		9.9		1.0	1.0		
		下部工	A1 下り線	2.0	11.4				※上部工に含む					※上部工に含む	0.010	0.7					0.19
			A2 上り線	2.0	18.6			※上部工に含む						※上部工に含む	0.018		1.1				0.31
			P1	2.0								10.0	20.0				47.5				
			小計	6.0	30.0							10.0	20.0	0.028	0.7	1.1	47.5			0.50	
		合計			6.0	1768.0	232.7	232.7	38.0	47.0	42.0	21.0	10.0	168.0	1.768	0.7	11.0	47.5	1.0	1.0	0.50

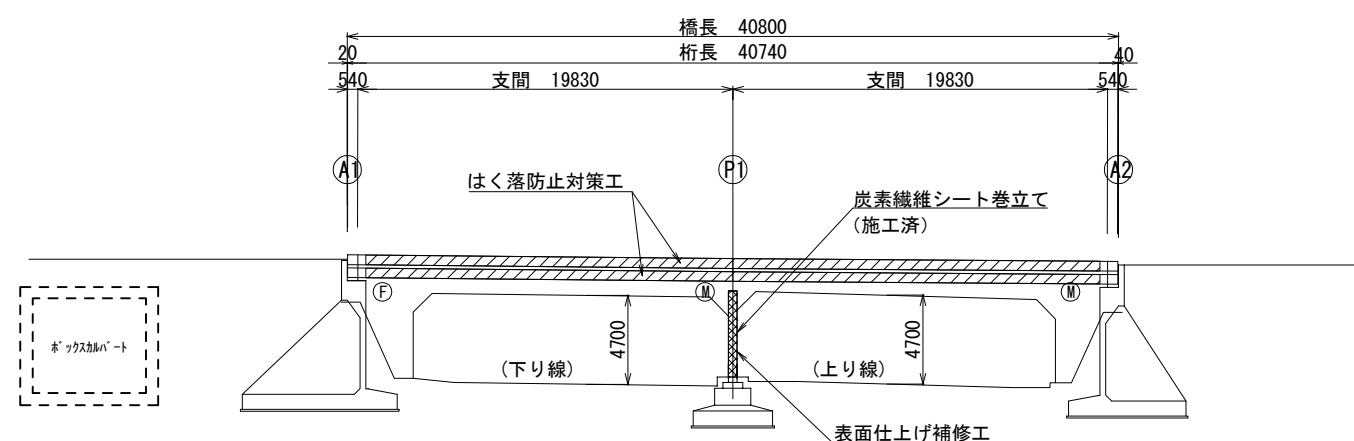
路線名	橋梁名	構造物	17－(29)	17－(29)	19－(1)	19－(2)	特－(1)	特－(1)	特－(2)	特－(7)	特－(15)	特－(15)
			断面修復工	断面修復工	交通規制工	交通保安要員	コンクリートはつり工	コンクリートはつり工	ひび割れ充填工	ひび割れ含浸工	表面保護工(極小部)	表面保護工(極小部)
			A2－1(三)	A2－2(三)	ランプ規制	交通監視員	A(三)	B(三)	A(三)	A(三)	コンクリート表面被覆工	コンクリート表面被覆工
関越自動車道	東永久保1号橋 (ボックスカルバート)	ボックスカルバート	L	L	回	人・日	m3	m3	m	m	m2	m2
			20.0	21.6	18.0	18.0	0.020	0.023	16.5	66.9	0.25	0.27
			20.0	21.6	18.0	18.0	0.020	0.023	16.5	66.9	0.25	0.27

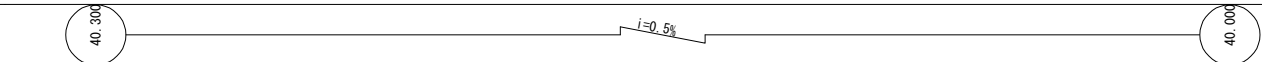
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 数量総括表		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



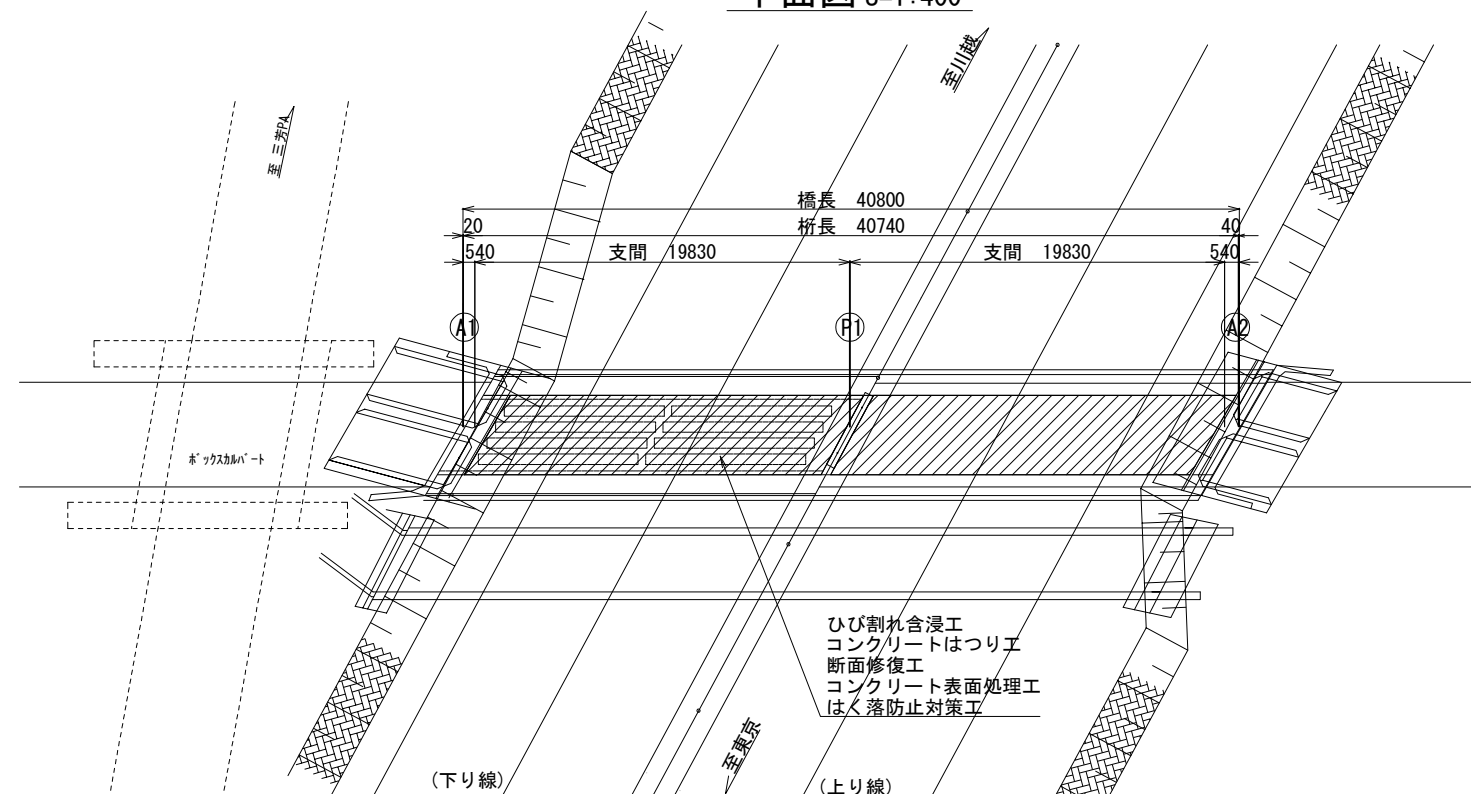
## 東永久保1号橋 補修一般図 (その1)

側面図 S=1:400

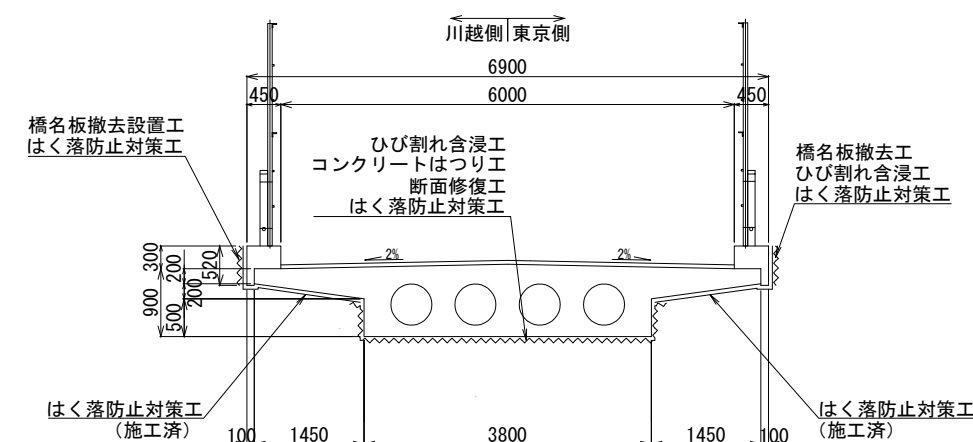


勾配													
計画高	40.300		40.252		40.200		40.150		38.639		40.054		40.000
地盤高	39.658		39.560		39.138		38.584		38.639		38.418		38.157
追加距離	-30.000		-20.390		-10.000		0.000		10.000		20.880		30.000
単距離	9.610		0.990		10.000		0.000		10.000		0.990		9.590
測点	-30.000		-20.390		-10.000		0.000		+10.000		+20.880		+30.000
曲線	R=∞												

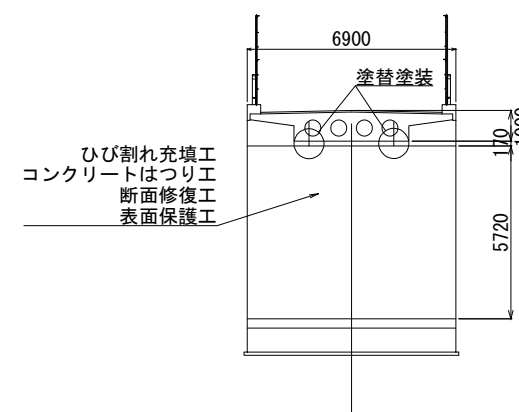
平面图 S=1:400



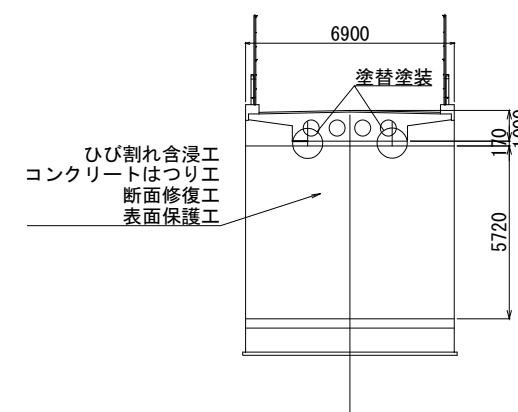
上部工断面図 S=1:100



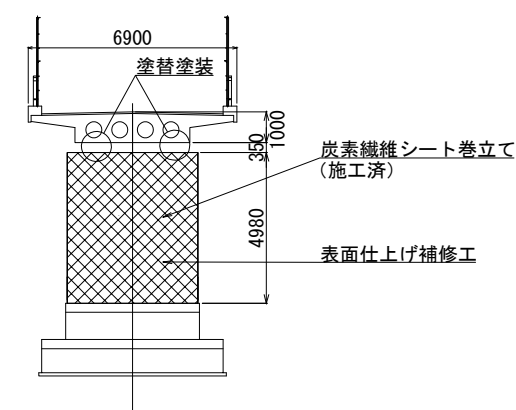
A1橋台正面図 S=1:250



A2橋台正面図 S=1:250



P1橋脚正面図 S=1:250

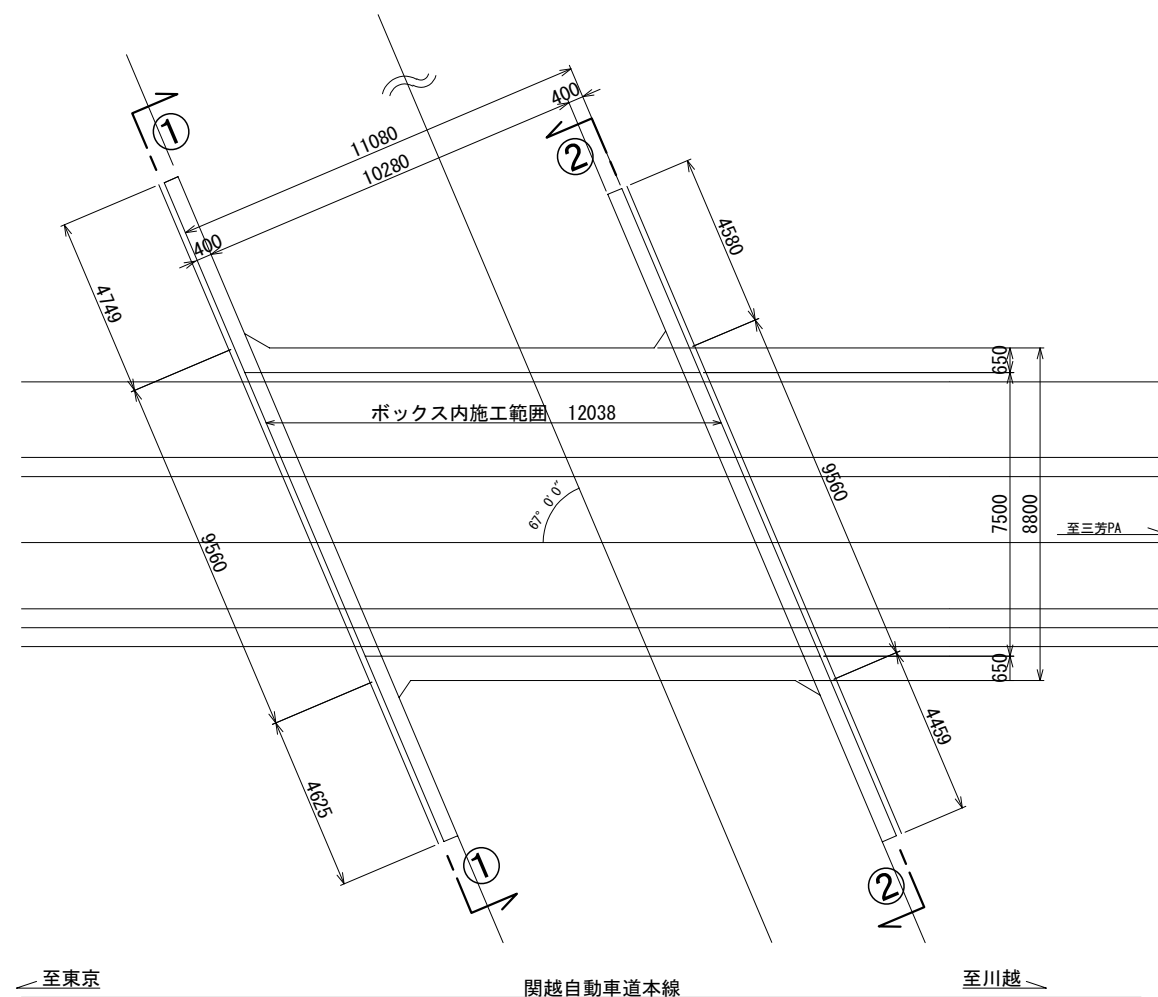


関越自動車道 大泉高架橋補修工事		
図面の種類	東久保1号橋 補修一般図（その1）	
縮 尺		図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所	

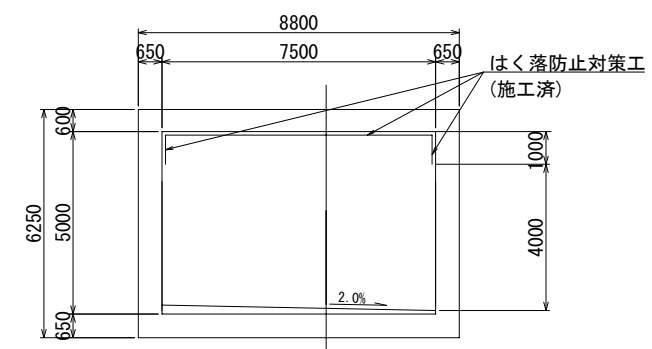


## 東永久保1号橋 補修一般図（その2）ボックスカルバート

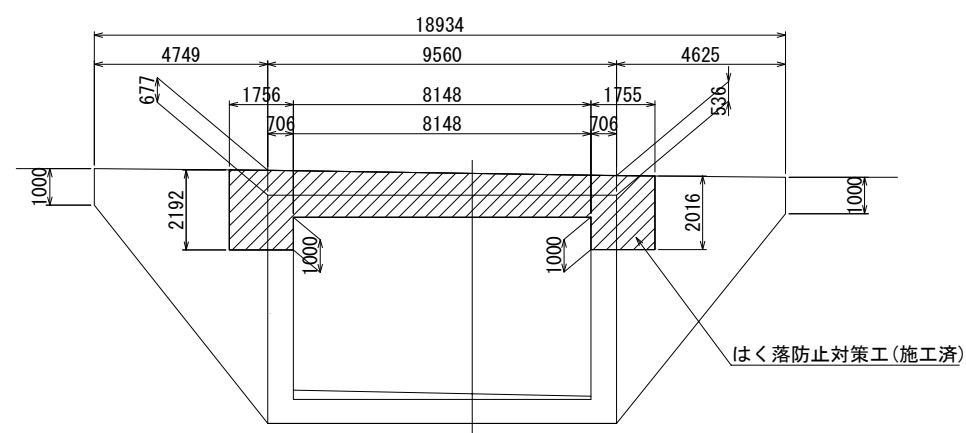
平面图



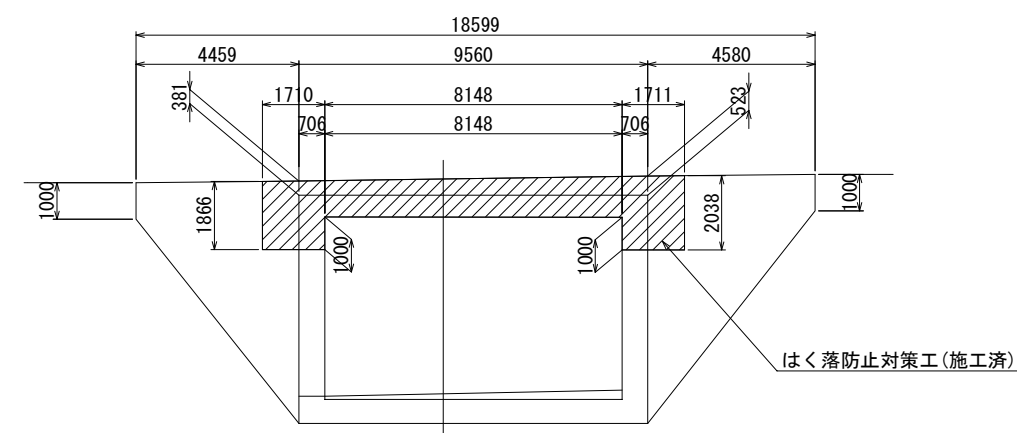
断面図



①-①断面



②-②断面



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保1号橋 補修一般図（その2）ボックスカルバート		
縮 尺	S=1:200	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東永久保 1 号橋 損傷一覧

上り線 上部工

ひび割れ含浸工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
上り線	上部工	P1～A2	⑥-5	0.2	3.0
上り線	上部工	P1～A2	⑥-6	0.2	1.5
				小計	4.5

コンクリートはつり工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
上り線	上部工	P1～A2	⑦-13	はく離	3.25	0.04	0.130
上り線	上部工	P1～A2	⑦-14	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
上り線	上部工	P1～A2	⑦-15	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
上り線	上部工	P1～A2	⑦-16	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
上り線	上部工	P1～A2	⑦-17	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
上り線	上部工	P1～A2	⑦-18	はく離	1.71	0.04	0.068
上り線	上部工	P1～A2	⑦-19	はく離	1.98	0.04	0.079
上り線	上部工	P1～A2	⑦-20	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
上り線	上部工	P1～A2	⑦-21	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.001
上り線	上部工	P1～A2	⑦-22	はく離	0.2	0.04	0.008
上り線	上部工	P1～A2	⑦-23	はく離	0.19	0.04	0.008
上り線	上部工	P1～A2	⑦-24	はく離	0.09	0.04	0.004
上り線	上部工	P1～A2	⑦-25	はく離	6.75	0.04	0.270
				小計			0.573

断面修復工A2-1(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
上り線	上部工	P1～A2	⑦-13	はく離	3.25	0.04	130.0
上り線	上部工	P1～A2	⑦-14	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
上り線	上部工	P1～A2	⑦-15	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
上り線	上部工	P1～A2	⑦-16	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
上り線	上部工	P1～A2	⑦-17	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
上り線	上部工	P1～A2	⑦-18	はく離	1.71	0.04	68.4
上り線	上部工	P1～A2	⑦-19	はく離	1.98	0.04	79.2
上り線	上部工	P1～A2	⑦-20	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
上り線	上部工	P1～A2	⑦-21	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.04	0.8
上り線	上部工	P1～A2	⑦-22	はく離	0.2	0.04	8.0
上り線	上部工	P1～A2	⑦-23	はく離	0.19	0.04	7.6
上り線	上部工	P1～A2	⑦-24	はく離	0.09	0.04	3.6
上り線	上部工	P1～A2	⑦-25	はく離	6.75	0.04	270.0
				小計			571.6

A1橋台

ひび割れ充填工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
下り線	下部工	A1	⑥-7	0.5	0.7
				小計	0.7

コンクリートはつり工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
下り線	下部工	A1	⑦-26	鉄筋の露出・腐食	0.04	0.06	0.002
下り線	下部工	A1	⑦-27	鉄筋の露出・腐食	0.04	0.06	0.002
下り線	下部工	A1	⑦-28	鉄筋の露出・腐食	0.07	0.06	0.004
下り線	下部工	A1	⑦-29	鉄筋の露出・腐食	0.04	0.06	0.010
				小計			0.010

断面修復工A2-1(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
下り線	下部工	A1	⑦-26	鉄筋の露出・腐食	0.04	0.06	2.4
下り線	下部工	A1	⑦-27	鉄筋の露出・腐食	0.04	0.06	2.4
下り線	下部工	A1	⑦-28	鉄筋の露出・腐食	0.07	0.06	4.2
下り線	下部工	A1	⑦-29	鉄筋の露出・腐食	0.04	0.06	2.4
				小計			11.4

表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
下り線	下部工	A1	⑦-26	鉄筋の露出・腐食	0.04
下り線	下部工	A1	⑦-27	鉄筋の露出・腐食	0.04
下り線	下部工	A1	⑦-28	鉄筋の露出・腐食	0.07
下り線	下部工	A1	⑦-29	鉄筋の露出・腐食	0.04
				小計	0.19

下り線 上部工

ひび割れ含浸工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
下り線	上部工	A1～P1	⑥-1	0.2	0.5
下り線	上部工	A1～P1	⑥-2	0.2	3.2
下り線	上部工	A1～P1	⑥-3	0.2	1.0
下り線	上部工	A1～P1	⑥-4	0.2	0.7
				小計	5.4

コンクリートはつり工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
下り線	上部工	A1～P1	⑦-1	鉄筋の露出・腐食	0.35	0.04	0.014
下り線	上部工	A1～P1	⑦-2	鉄筋の露出・腐食	0.24	0.04	0.010
下り線	上部工	A1～P1	⑦-3	はく離	0.50	0.04	0.020
下り線	上部工	A1～P1	⑦-4	鉄筋の露出・腐食	0.15	0.04	0.006
下り線	上部工	A1～P1	⑦-5	はく離	0.75	0.04	0.030
下り線	上部工	A1～P1	⑦-6	はく離	3.60	0.04	0.144
下り線	上部工	A1～P1	⑦-7	はく離	7.25	0.04	0.290
下り線	上部工	A1～P1	⑦-8	はく離	0.44	0.04	0.018
下り線	上部工	A1～P1	⑦-9	はく離	0.42	0.04	0.017
下り線	上部工	A1～P1	⑦-10	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	0.001
下り線	上部工	A1～P1	⑦-11	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	0.001
下り線	上部工	A1～P1	⑦-12	はく離	15.40	0.04	0.616
				小計			1.167

断面修復工A2-1(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
下り線	上部工	A1～P1	⑦-1	鉄筋の露出・腐食	0.35	0.04	14.0
下り線	上部工	A1～P1	⑦-2	鉄筋の露出・腐食	0.24	0.04	9.6
下り線	上部工	A1～P1	⑦-3	はく離	0.50	0.04	20.0
下り線	上部工	A1～P1	⑦-4	鉄筋の露出・腐食	0.15	0.04	6.0
下り線	上部工	A1～P1	⑦-5	はく離	0.75	0.04	30.0
下り線	上部工	A1～P1	⑦-6	はく離	3.60	0.04	144.0
下り線	上部工	A1～P1	⑦-7	はく離	7.25	0.04	290.0
下り線	上部工	A1～P1	⑦-8	はく離	0.44	0.04	17.6
下り線	上部工	A1～P1	⑦-9	はく離	0.42	0.04	16.8
下り線	上部工	A1～P1	⑦-10	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	1.2
下り線	上部工	A1～P1	⑦-11	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.04	1.2
下り線	上部工	A1～P1	⑦-12	はく離	15.40	0.04	616.0
				小計			1166.4

A2橋台

ひび割れ含浸工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
上り線	下部工	A2	⑥-8	0.3	1.1
				小計	1.1

コンクリートはつり工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (m3)
上り線	下部工	A2	⑦-30	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.06	0.002
上り線	下部工	A2	⑦-31	はく離	0.15	0.06	0.009
上り線	下部工	A2	⑦-32	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.06	0.001
上り線	下部工	A2	⑦-33	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.06	0.001
上り線	下部工	A2	⑦-34	鉄筋の露出・腐食	0.09	0.06	0.005
				小計			0.018

断面修復工A2-1(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)	深さ (m)	数量 (L)
上り線	下部工	A2	⑦-30	鉄筋の露出・腐食	0.03	0.06	1.8
上り線	下部工	A2	⑦-31	はく離	0.15	0.06	9.0
上り線	下部工	A2	⑦-32	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.06	1.2
上り線	下部工	A2	⑦-33	鉄筋の露出・腐食	0.02	0.06	1.2
上り線	下部工	A2	⑦-34	鉄筋の露出・腐食	0.09	0.06	5.4
				小計			18.6

表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積 (m2)
上り線	下部工	A2	⑦-30	鉄筋の露出・腐食	0.03
上り線	下部工	A2	⑦-31	はく離	0.15
上り線	下部工	A2	⑦-32	鉄筋の露出・腐食	0.02
上り線	下部工	A2	⑦-33	鉄筋の露出・腐食	0.02
上り線	下部工	A2	⑦-34	鉄筋の露出・腐食	0.09
				小計	0.31

ボックスカルバート

ひび割れ含浸工A(三)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
下り線	下部工	A1	⑥-1	0.2	0.9
下り線	下部工	A1	⑥-2	0.2	1.0
下り線	下部工	A1	⑥-5	0.2	4.5
下り線	下部工	A1	⑥-6	0.2	3.3
下り線	下部工	A1	⑥-7	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-8	0.2	5.0
下り線	下部工	A1	⑥-9	0.2	1.8
下り線	下部工	A1	⑥-10	0.2	1.8
下り線	下部工	A1	⑥-11	0.2	3.5
下り線	下部工	A1	⑥-12	0.2	1.0
下り線	下部工	A1	⑥-13	0.2	1.2
下り線	下部工	A1	⑥-14	0.2	3.5
下り線	下部工	A1	⑥-15	0.2	1.5
下り線	下部工	A1	⑥-18	0.2	2.0
下り線	下部工	A1	⑥-19	0.2	1.5
下り線	下部工	A1	⑥-20	0.2	1.5
下り線	下部工	A1	⑥-21	0.2	2.0
下り線	下部工	A1	⑥-22	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-23	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-24	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-25	0.2	1.0
下り線	下部工	A1	⑥-26	0.3	2.0
下り線	下部工	A1	⑥-27	0.2	1.7
下り線	下部工	A1	⑥-28	0.2	1.5
下り線	下部工	A1	⑥-29	0.4	2.9
下り線	下部工	A1	⑥-30	0.2	1.0
下り線	下部工	A1	⑥-31	0.2	1.0
下り線	下部工	A1	⑥-32	0.2	1.1
下り線	下部工	A1	⑥-33	0.4	1.1
下り線	下部工	A1	⑥-34	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-35	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-36	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-37	0.2	2.0
下り線	下部工	A1	⑥-38	0.2	1.0
下り線	下部工	A1	⑥-39	0.2	2.0
下り線	下部工	A1	⑥-40	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-41	0.3	2.3
下り線	下部工	A1	⑥-42	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-43	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-45	0.2	0.5
下り線	下部工	A1	⑥-46	0.2	0.7
下り線	下部工	A1	⑥-48	0.2	1.4
下り線	下部工	A1	⑥-49	0.2	1.5
下り線	下部工	A1	⑥-50	0.3	1.2
				計	66.9

ひび割れ充填工A(三)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	ひび割れ幅 (mm)	数量 (m)
下り線	下部工	A1	⑥-3	0.5	1.7
下り線	下部工	A1	⑥-4	0.5	3.7
下り線	下部工	A1	⑥-16	0.5	1.9
下り線	下部工	A1	⑥-17	0.9	1.9
下り線	下部工	A1	⑥-44	0.7	3.9
下り線	下部工	A1	⑥-47	0.5	3.4
				計	16.5

コンクリートはつり工(三)

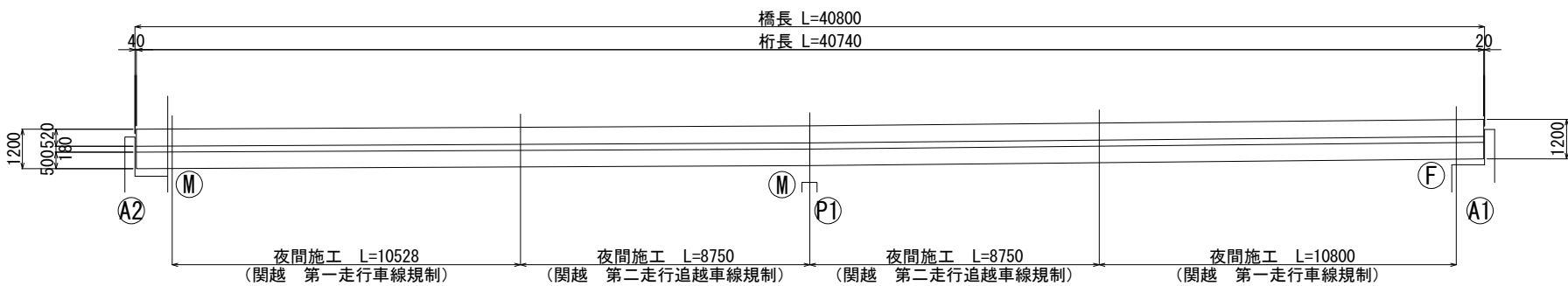
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	番号	損傷	面積(m2)	深さ(m)	A	B	合計数量 (m3)
下り線	下部工	A1	⑦-1	鉄筋の露出・腐食	0.01	0.08		0.001	0.0

東永久保1号橋 補修図（その1）

ひび割れ含浸工、コンクリートはつり工、断面修復工

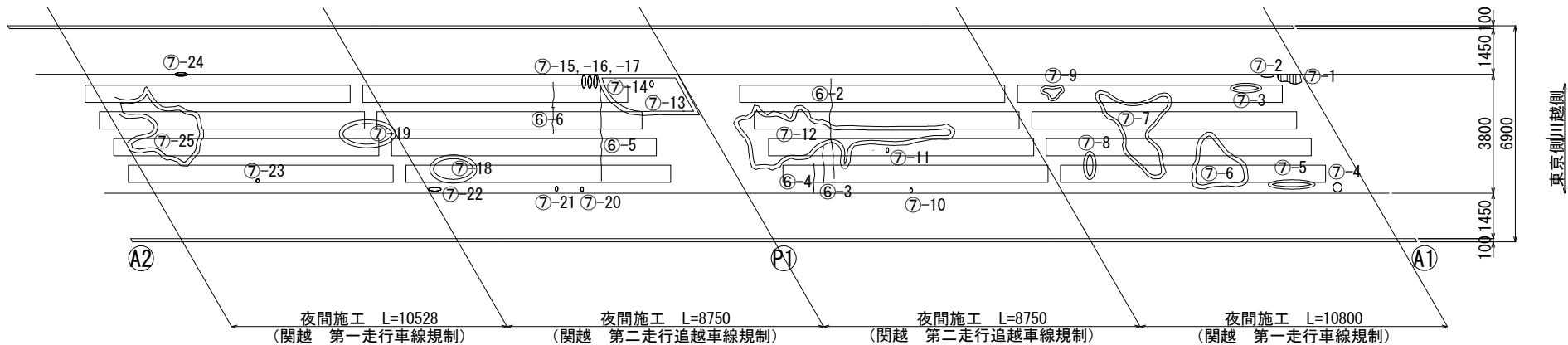
①-① 側面図 S=1:200

川越側



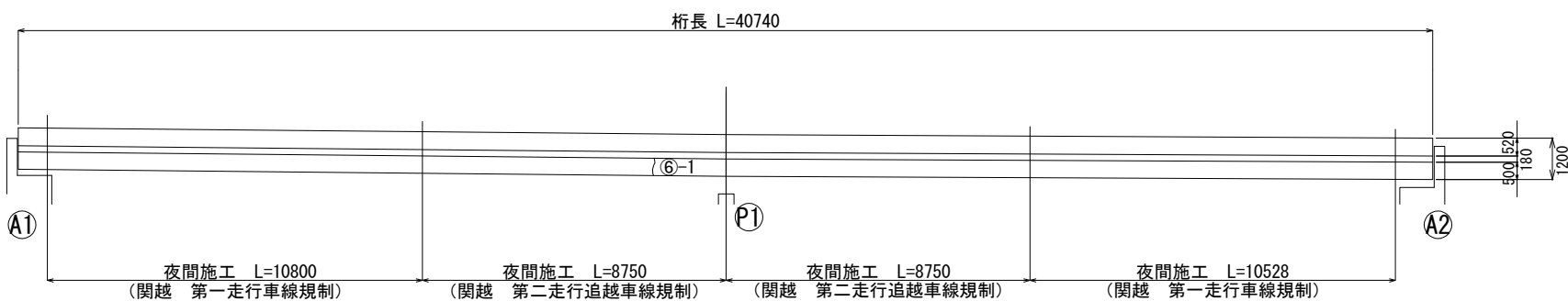
②-② 平面図 S=1:200

下面

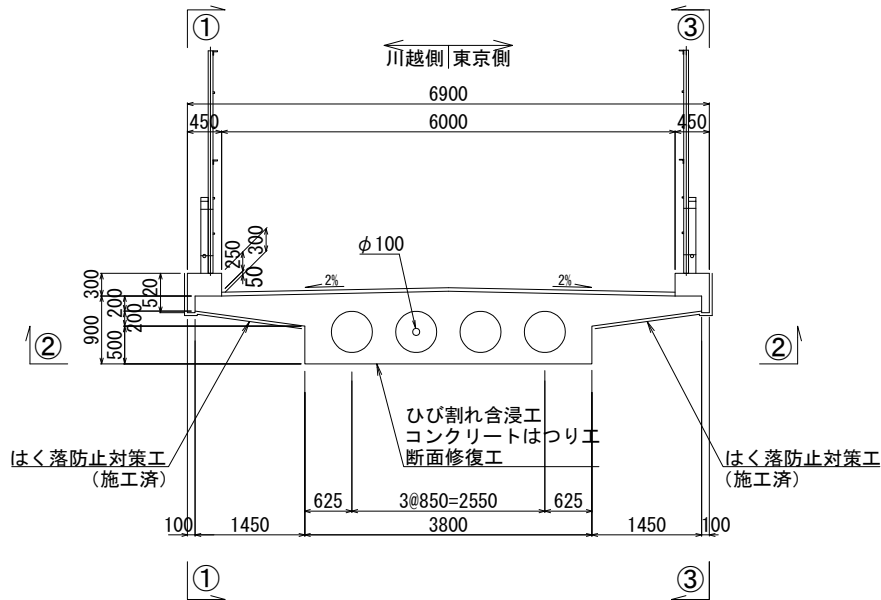


③-③ 側面図 S=1:200

東京側



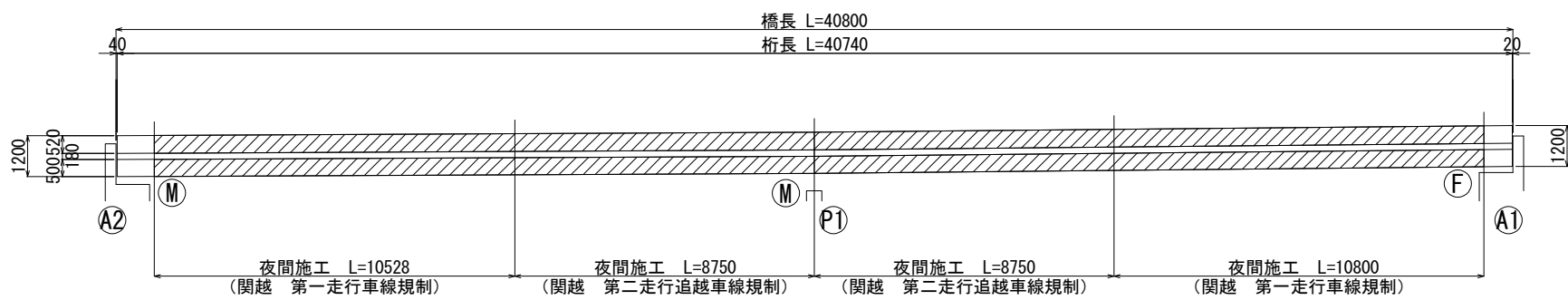
上部工断面図 S=1:100



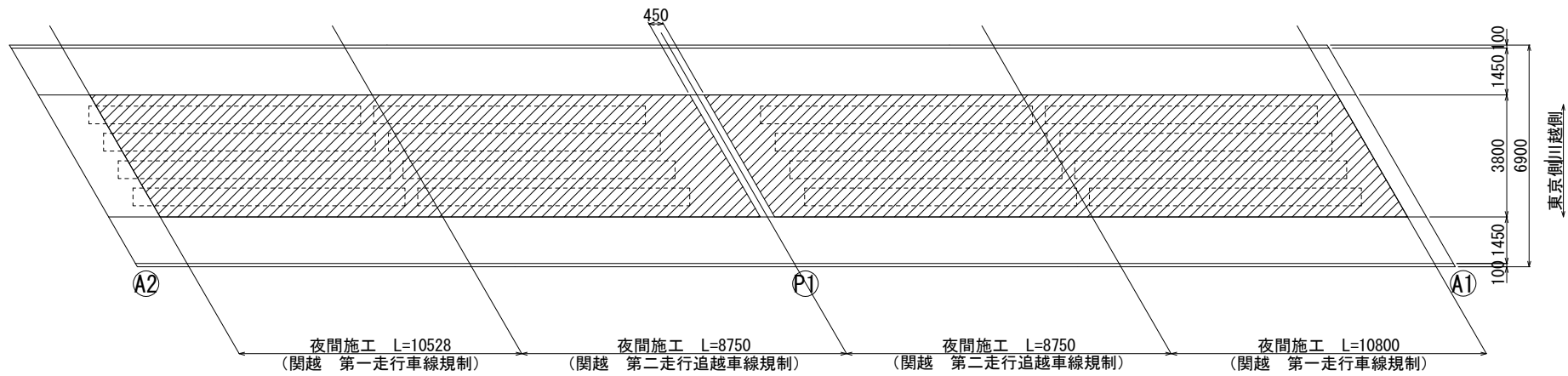
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保1号橋 補修図（その1）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東永久保 1 号橋 補修図（その 2）  
コンクリート表面処理工、はく落防止対策工

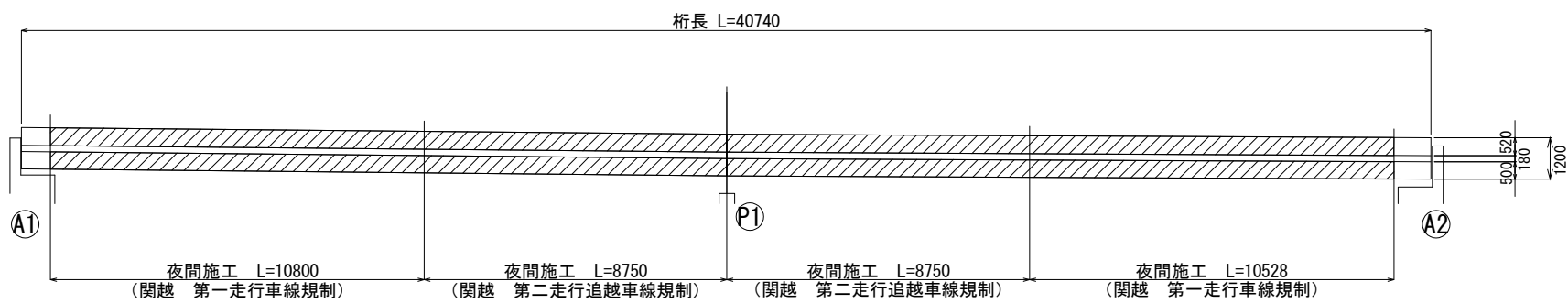
①-① 側面図 S=1:200  
川越側



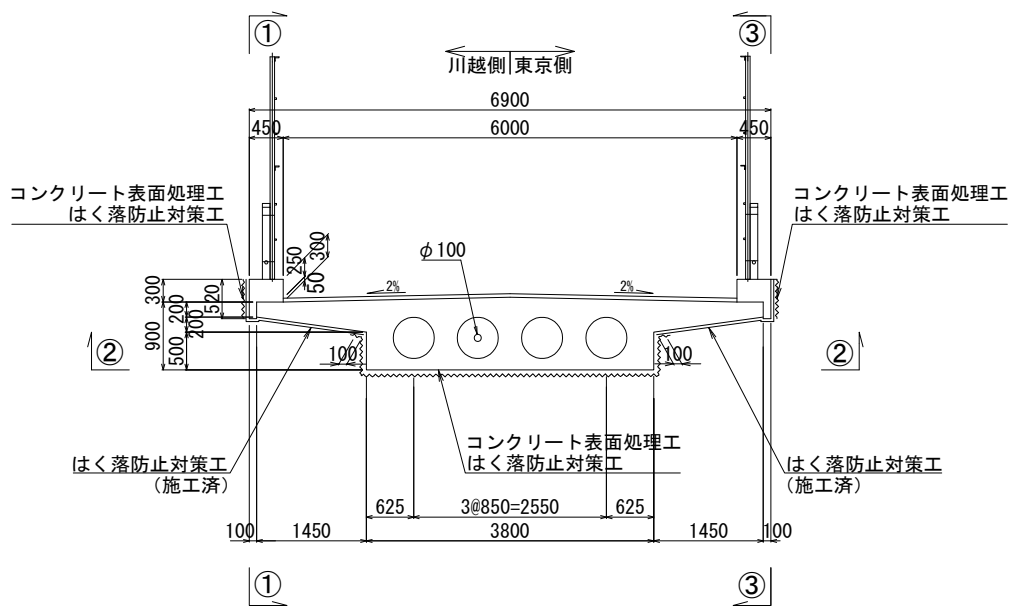
②-② 平面図 S=1:200  
下面



③-③ 側面図 S=1:200  
東京側



上部工断面図 S=1:100



コンクリート表面処理工 A (三) (夜)

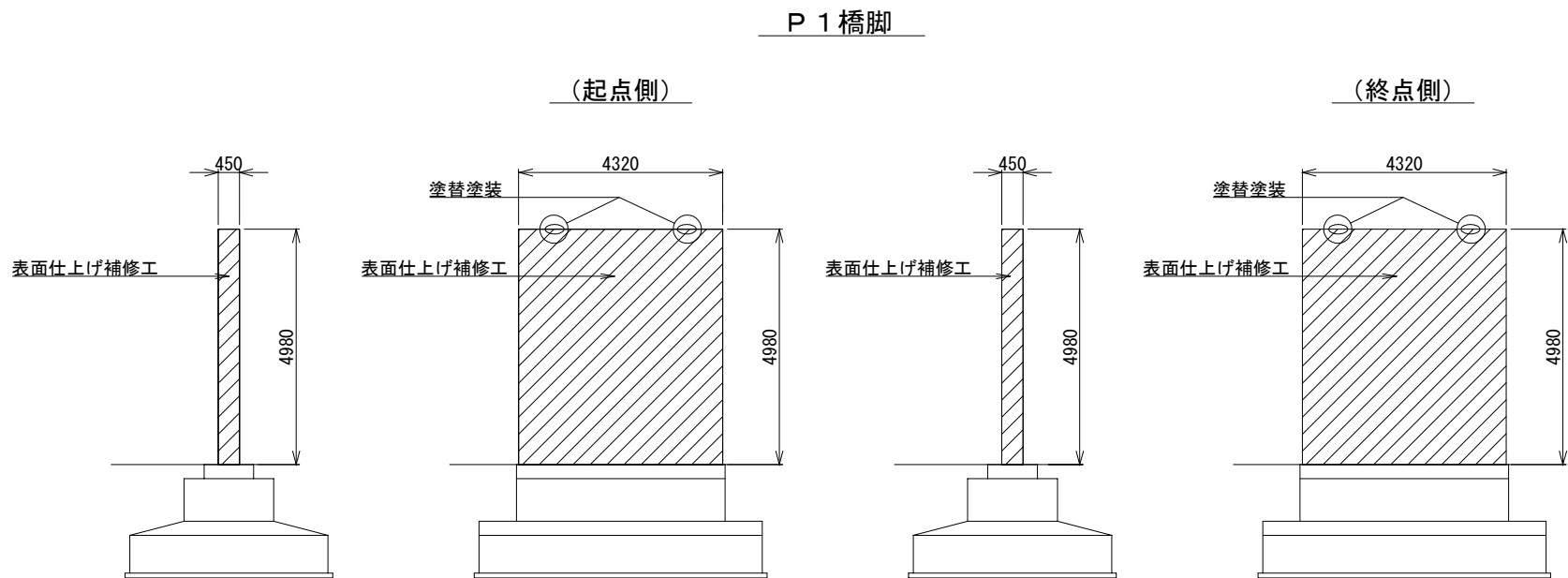
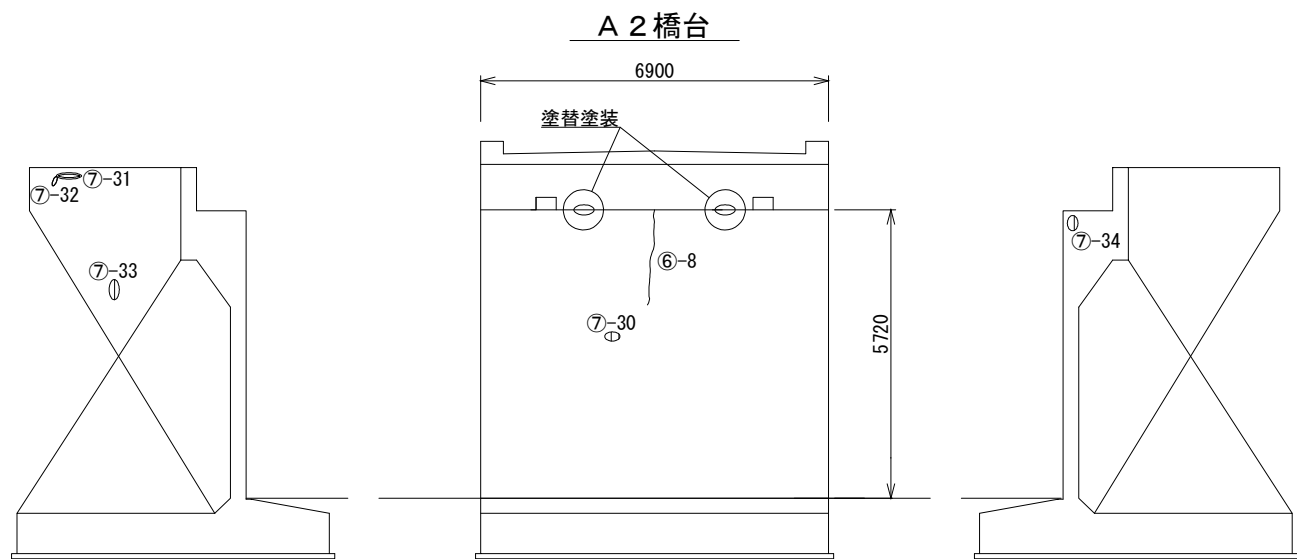
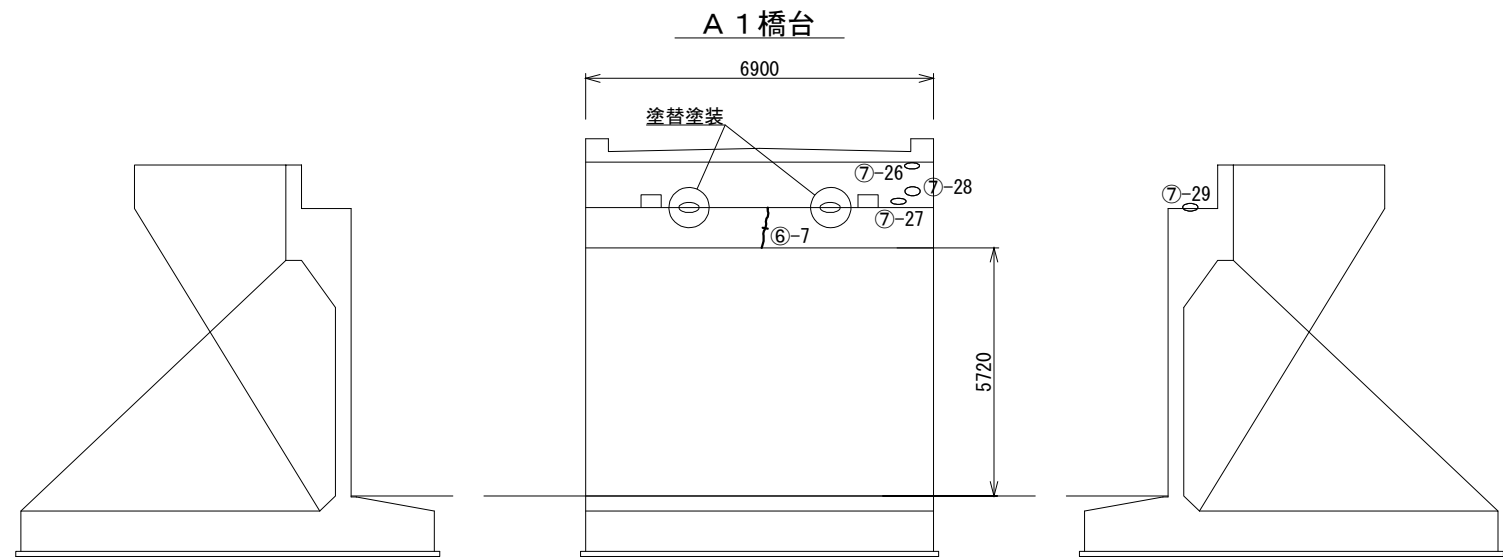
上下線区分	上下部区分	支間	規格		施工数量 (m2)
			D S 工法		
下り線	上部工	A1-P1	W J 工法	上向き	23.3
				水平	69.6
上り線	上部工	P1-A2	D S 工法		24.3
					22.9
			W J 工法	上向き	68.6
				水平	24.0
小計					232.7

はく落防止対策工 B 1 (三) (夜)

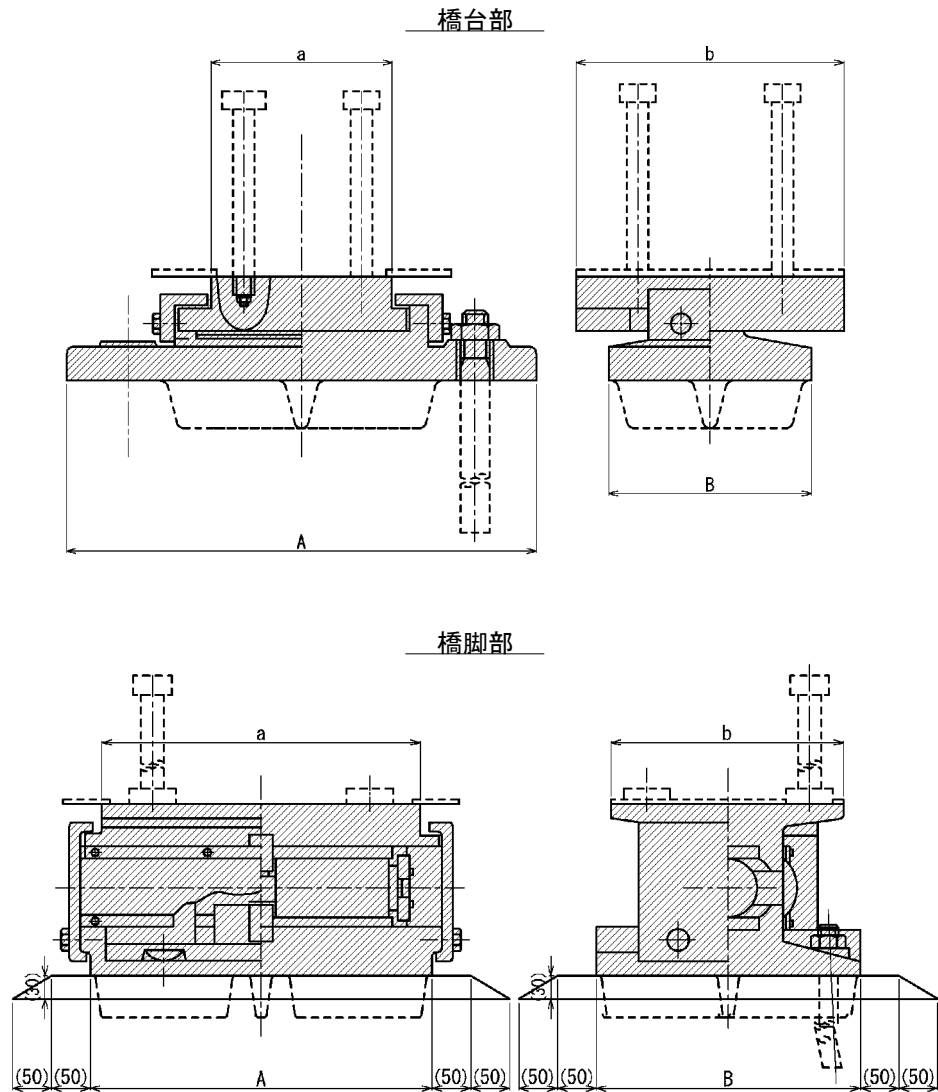
上下線区分	上下部区分	支間	規格	施工数量 (m2)
下り線	上部工	A1-P1	床版下面	73.4
			床版張出(壁高欄含む)	43.8
上り線	上部工	P1-A2	床版下面	72.4
			床版張出(壁高欄含む)	43.1
小計				232.7

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 補修図 (その 2)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東永久保 1 号橋 補修図（その 3）  
塗替塗装、表面仕上げ補修工



塗替塗装詳細図



(1基当り)					
	a	b	A	B	支承塗装面積(m2)
A1橋脚	300	370	790	350	0.91
A2橋脚	300	450	790	350	0.79
P1橋脚	560	420	610	460	1.41

塗装面積は標準設計より

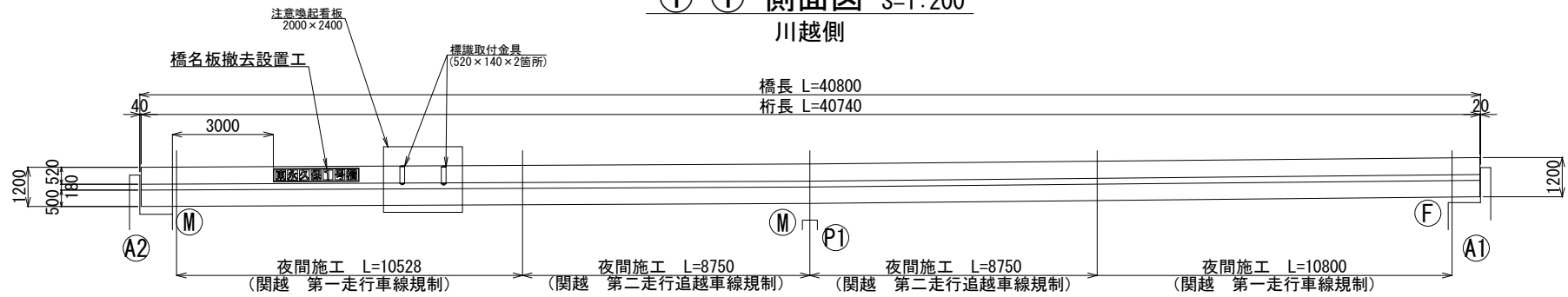
塗替塗装(特殊部)g-3-(3)(三)(夜)			
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量(基)
下り線	下部工	A1	2.0
上り線	下部工	A2	2.0
上下線	下部工	P1	2.0
小計			6.0

表面仕上げ補修工A(三)(夜)			
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量(m2)
上下線	下部工	P1	47.5
小計			47.5

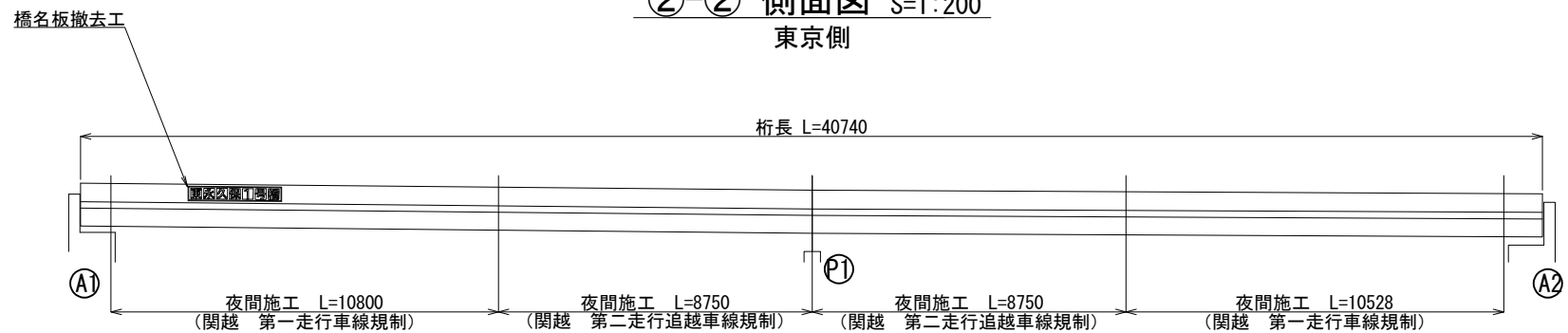
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 補修図 (その 3)		
縮 尺	S=1:150	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東永久保 1 号橋 補修図（その 4）  
橋名板撤去設置工、橋名板撤去工

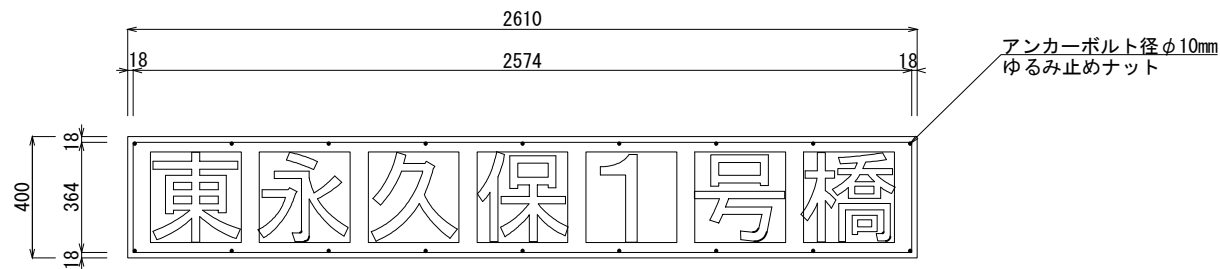
①-① 側面図 S=1:200  
川越側



②-② 側面図 S=1:200  
東京側

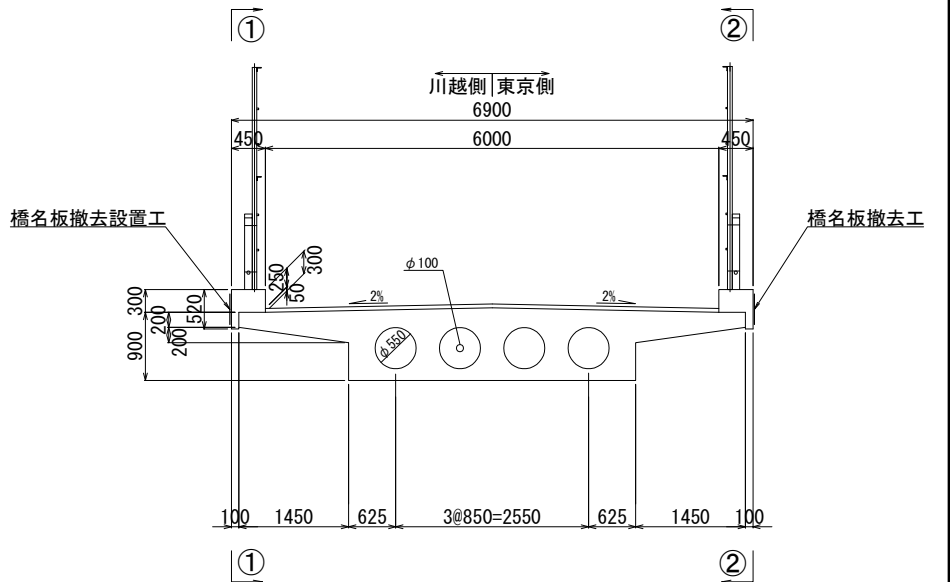


橋名板詳細図 S=1:25



- ※ 橋名板は、はく落防止対策工の施工前に一時撤去し、その際に既設ボルトも撤去する。
- ※ はく落防止対策工の施工後にボルトを新設し、橋名板を再設置する。

上部工断面図 S=1:100



橋名板撤去設置工A(三)(夜)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量 (枚)
上り線	上部工	P1～A2	1.0
小計			1.0

橋名板撤去工A(三)(夜)

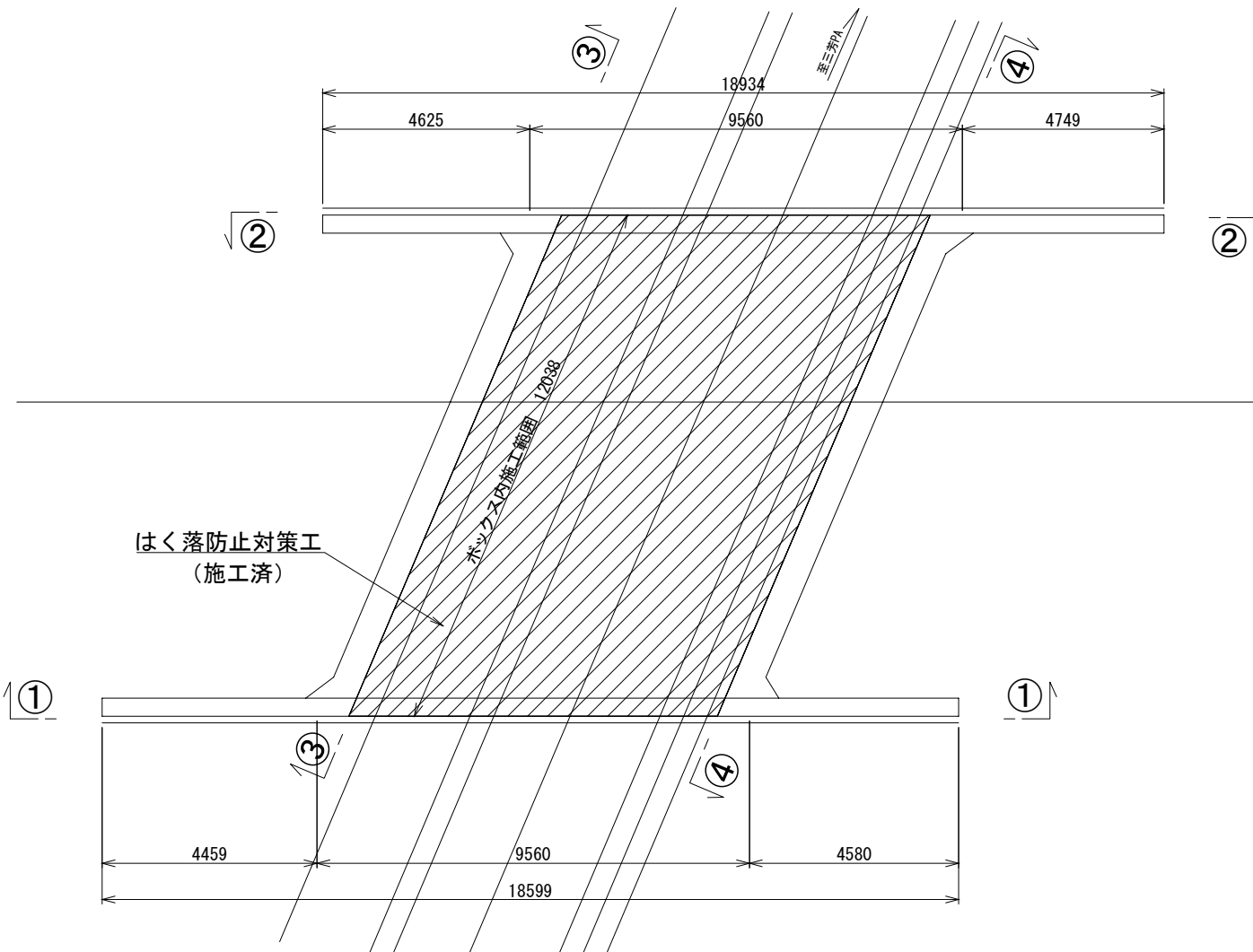
上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	数量 (枚)
下り線	上部工	A1～P1	1.0
小計			1.0

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 補修図（その 4）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

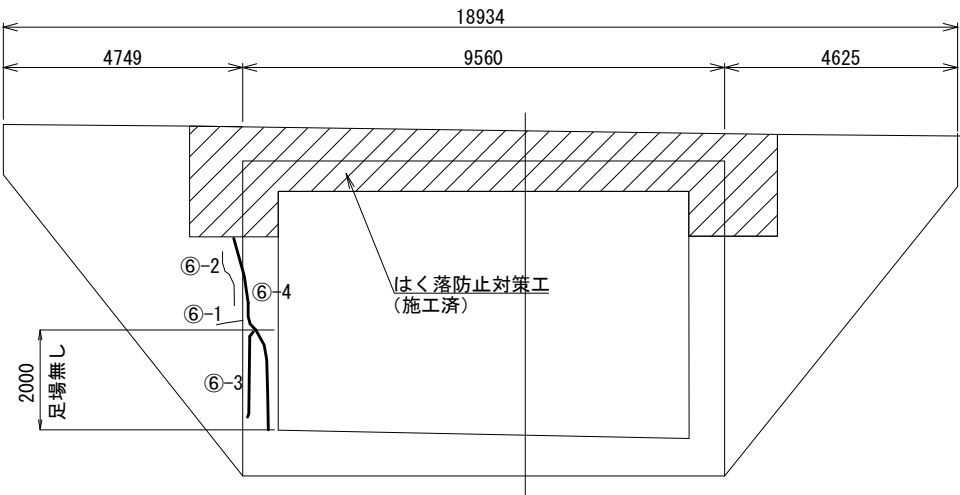
東永久保 1 号橋 補修図（その 5）ボックスカルバート

ひび割れ含浸工・ひび割れ充填工・コンクリートはつり工・断面修復工・表面保護工

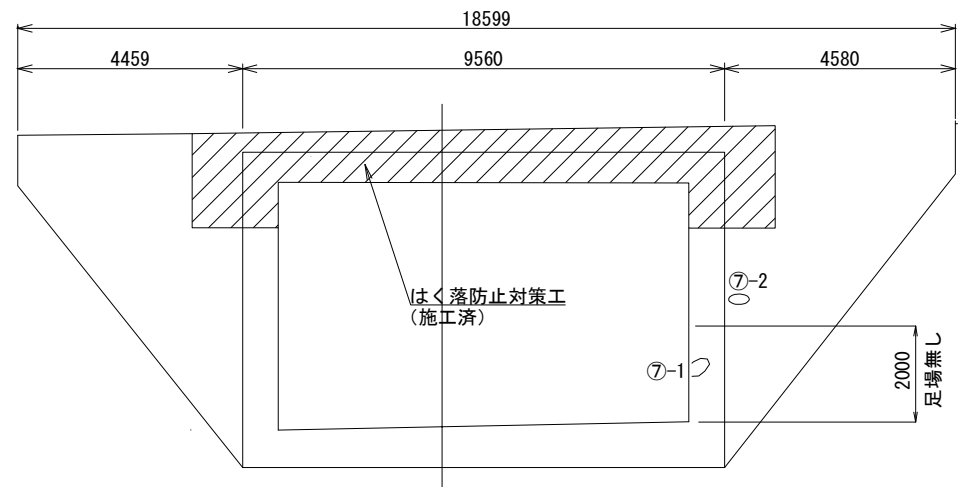
平面図



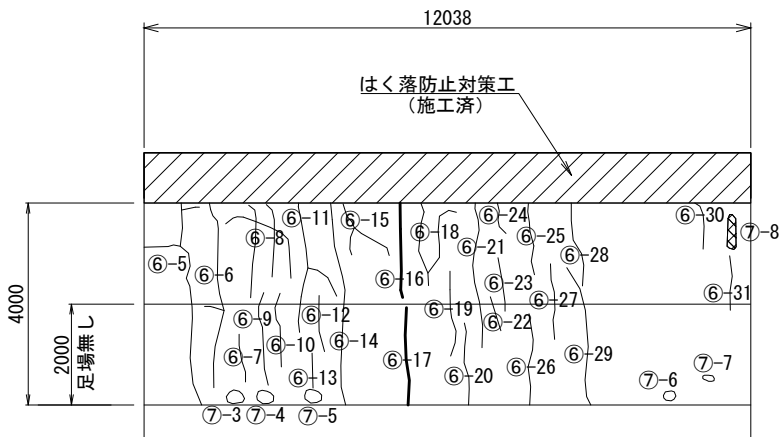
①-①断面図



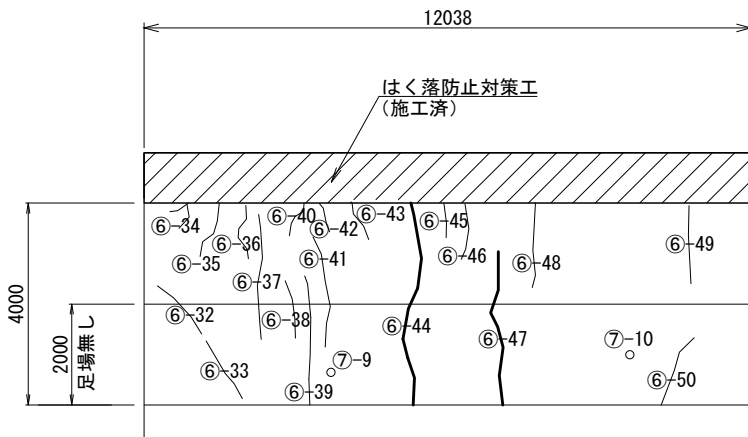
②-②断面図



③-③断面図



④-④断面図



【凡例】

ひび割れ含浸工

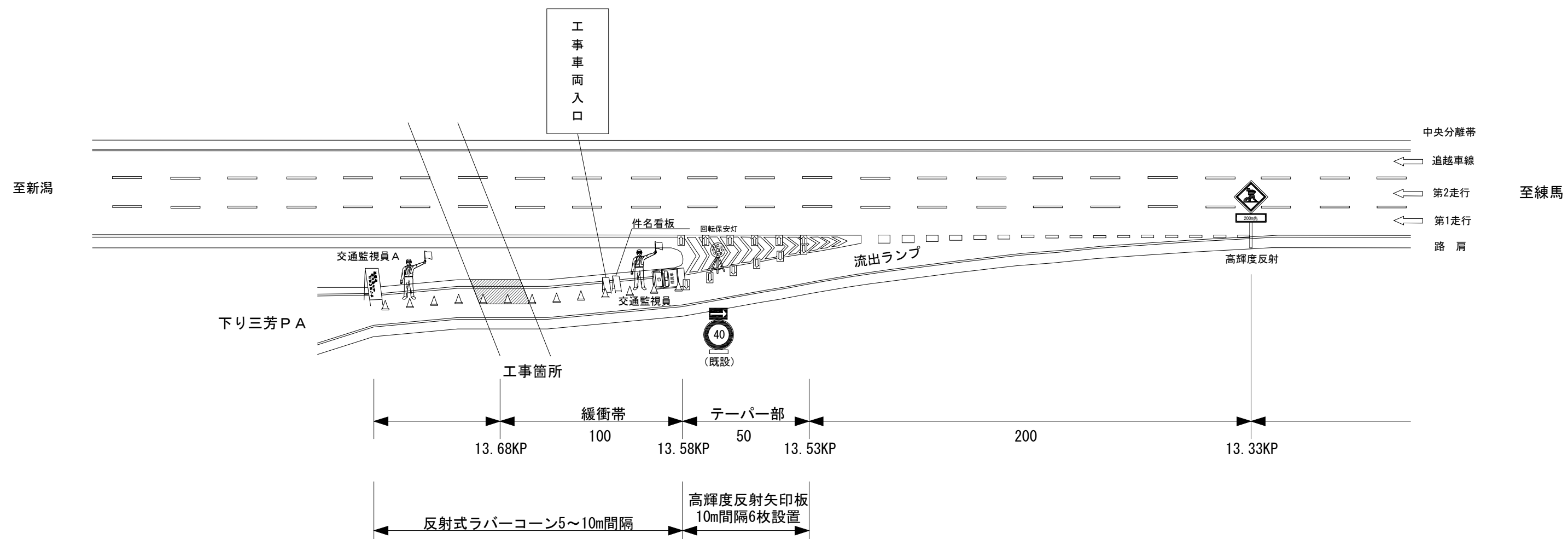
ひび割れ充填工

コンクリートはつり工・断面修復工・表面保護工

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 補修図（その 5）ボックスカルバート		
縮 尺	S=1:150	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

## 東永久保1号橋 交通規制図（その1） ボックスカルバート

ランプ規制 I × 1 (三) (右側)



ランプ規制  $I \times 1$  (三)

数量表

1 規制当り

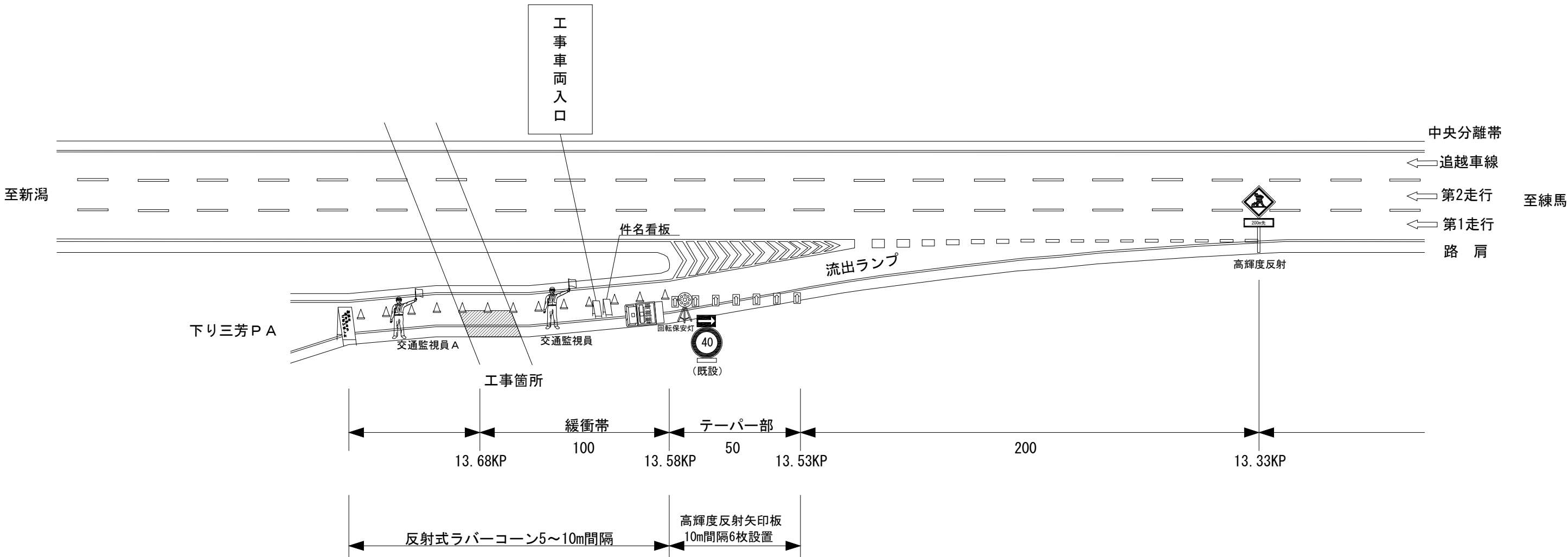
数量表	名 称	数 量	単位	備 考
	予告標識	1	枚	貸与品
	予告看板	3	枚	貸与品
	矢印板	必要数	枚	貸与品
	ラバーコーン	必要数	本	貸与品
	標識車	1	台	貸与品
	回転保安灯	1	台	貸与品
	交通監視員（規制材保守）	2	人	規制費に含む（交替含む）
	交通監視員A（工事箇所）	1	人	別途検測

関越自動車道 大泉高架橋補修工事		
図面の種類	東久保1号橋 交通規制図 (その1)	
縮 尺		図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所	



東永久保1号橋 交通規制図（その2） ボックスカルバート

ランプ規制 I × 1 (三) （左側）



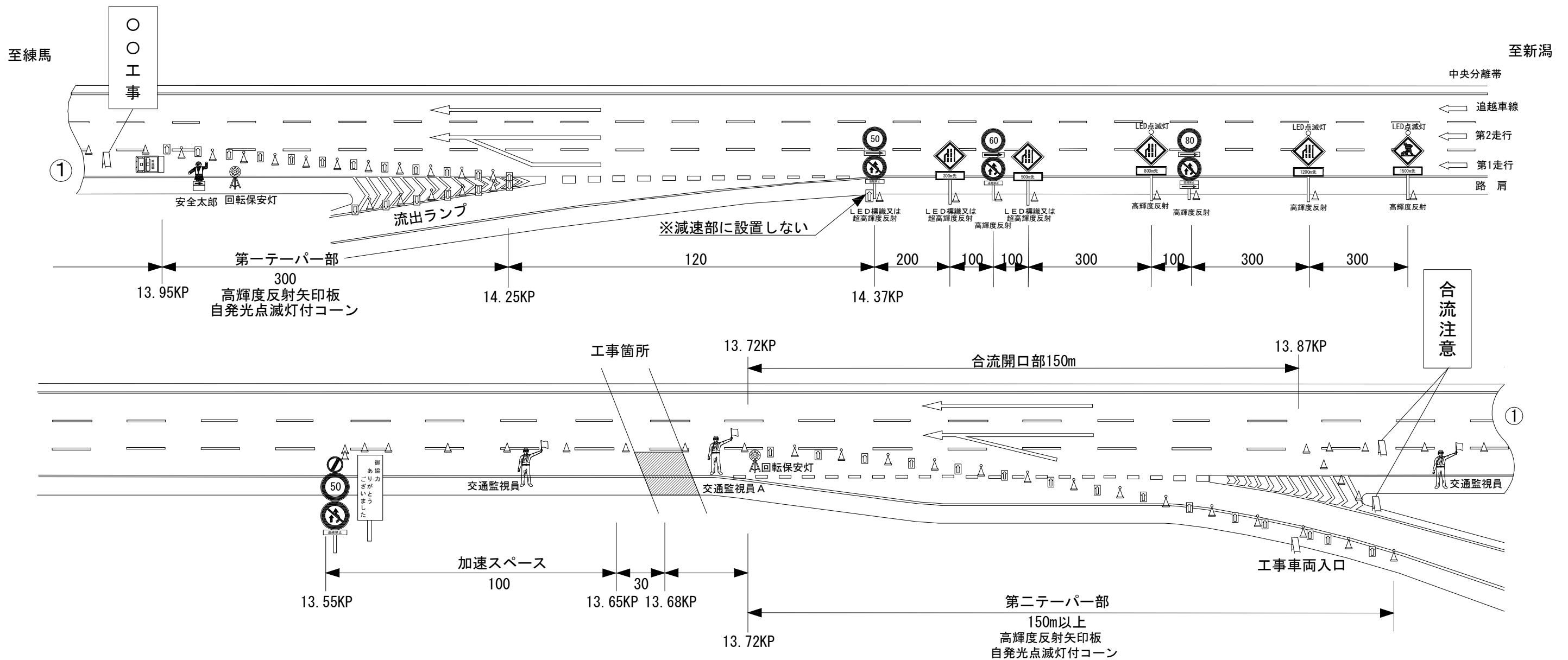
ランプ規制 I × 1 (三)

数量表		1 規制当り	
名 称	数 量	単 位	備 考
予告標識	1	枚	貸与品
予告看板	3	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
回転保安灯	1	台	貸与品
標識車	1	台	貸与品
交通監視員（規制材保守）	2	人	規制費に含む（交替含む）
交通監視員 A（工事箇所）	1	人	別途検測

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保1号橋 交通規制図（その2）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

# 東永久保1号橋 交通規制図（その3）

一車線規制 I×1×0×2・A1(三)(夜) (上り線)



※予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。  
※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパー設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

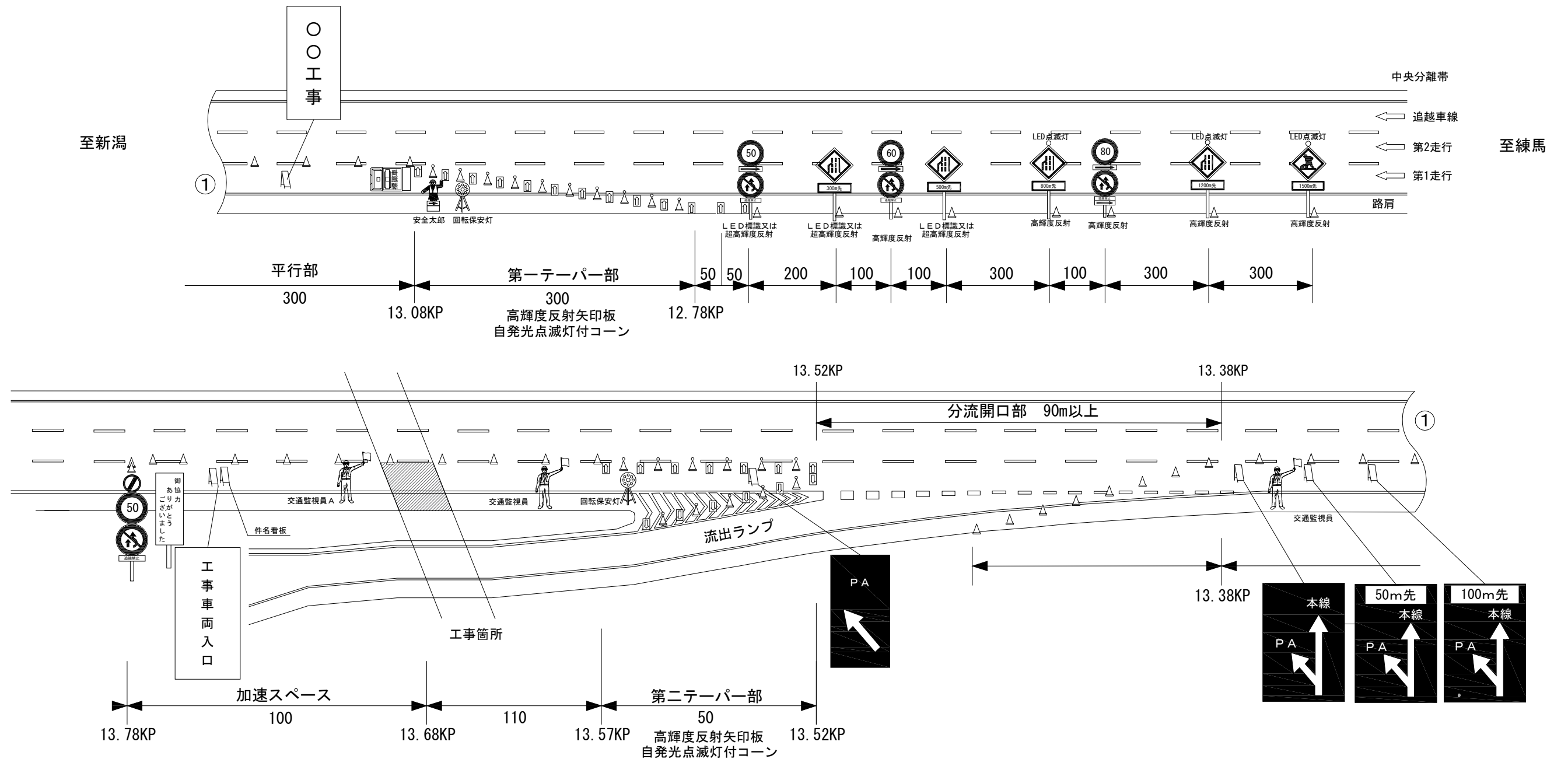
一車線規制 I×1×0×2・A1(三)(夜)

数 量 表		1 規制当たり	
名 称	数 量	単 位	備 考
予告標識	10	枚	貸与品
予告看板	4	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
LED点滅灯	必要数	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
安全太郎	1	台	貸与品
回転保安灯	2	台	貸与品
発煙筒(設置・撤去)	12	本	受注者持ち
交通監視員(規制材保守)	3	人	規制費に含む(交替含む)
交通監視員A(工事箇所)	1	人	別途検測

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保1号橋 交通規制図(その3)		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

# 東永久保 1 号橋 交通規制図（その 4）

一車線規制 I × 1 × 0 × 2 ・ A 2（三）（夜）（下り線）



一車線規制 I × 1 × 0 × 2 ・ A 2（三）（夜）

数量表

1 規制当り

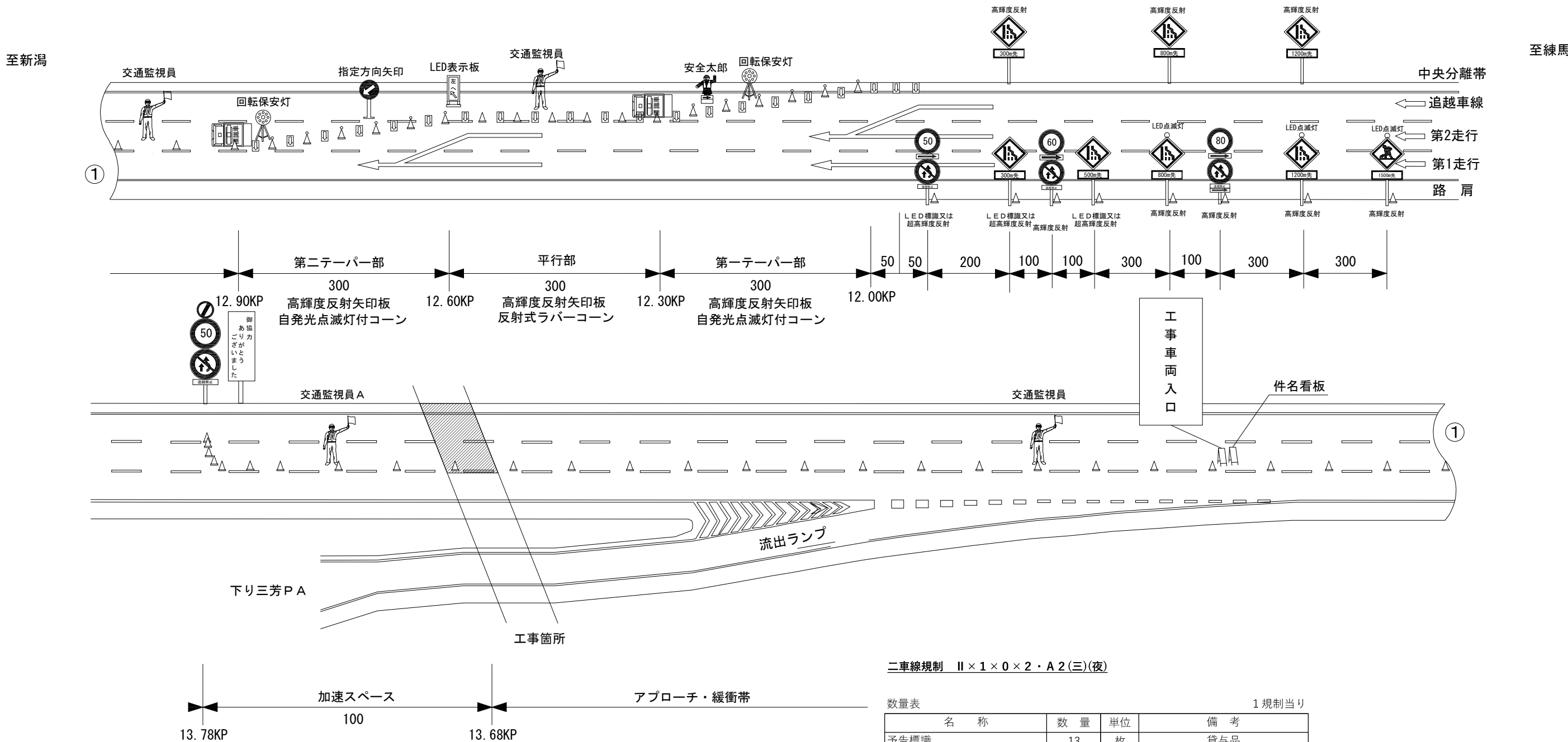
名 称	数 量	単 位	備 考
予告標識	10	枚	貸与品
予告看板	7	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
LED点滅灯	必要数	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
安全太郎	1	台	貸与品
回転保安灯	2	台	貸与品
発煙筒（設置・撤去）	12	本	受注者持
交通監視員（規制材保守）	3	人	規制費に含む（交替含む）
交通監視員 A（工事箇所）	1	人	別途検測

- ※ 予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。
- ※ 発煙筒（5分用）使用本数は、各テーパー設置・撤去時本数3本/箇所とする。（設置時：3本、撤去時：3本）
- ※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 交通規制図（その 4）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

東永久保 1 号橋 交通規制図（その 5）

二車線規制 II × 1 × 0 × 2 ・ A 2（三）（夜）（下り線）



※予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。  
※ 発煙筒 (5分用) 使用本数は、各テーパ設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

二車線規制 II × 1 × 0 × 2 ・ A 2（三）（夜）

数量表				1 規制当り
名 称	数 量	単位	備 考	
予告標識	13	枚	貸与品	
予告看板	2	枚	貸与品	
矢印板	必要数	枚	貸与品	
ラバーコーン	必要数	本	貸与品	
LED点滅灯	必要数	本	貸与品	
標識車	2	台	貸与品	
安全太郎	1	台	貸与品	
回転保安灯	2	台	貸与品	
指定方向矢印	1	台	貸与品	
LED表示板	1	台	貸与品	
発煙筒（設置・撤去）	12	本	受注者持	
交通監視員（規制材保守）	4	人	規制費に含む（交替含む）	
交通監視員 A（工事箇所）	1	人	別途検測	

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 交通規制図（その 5）		
	縮 尺	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

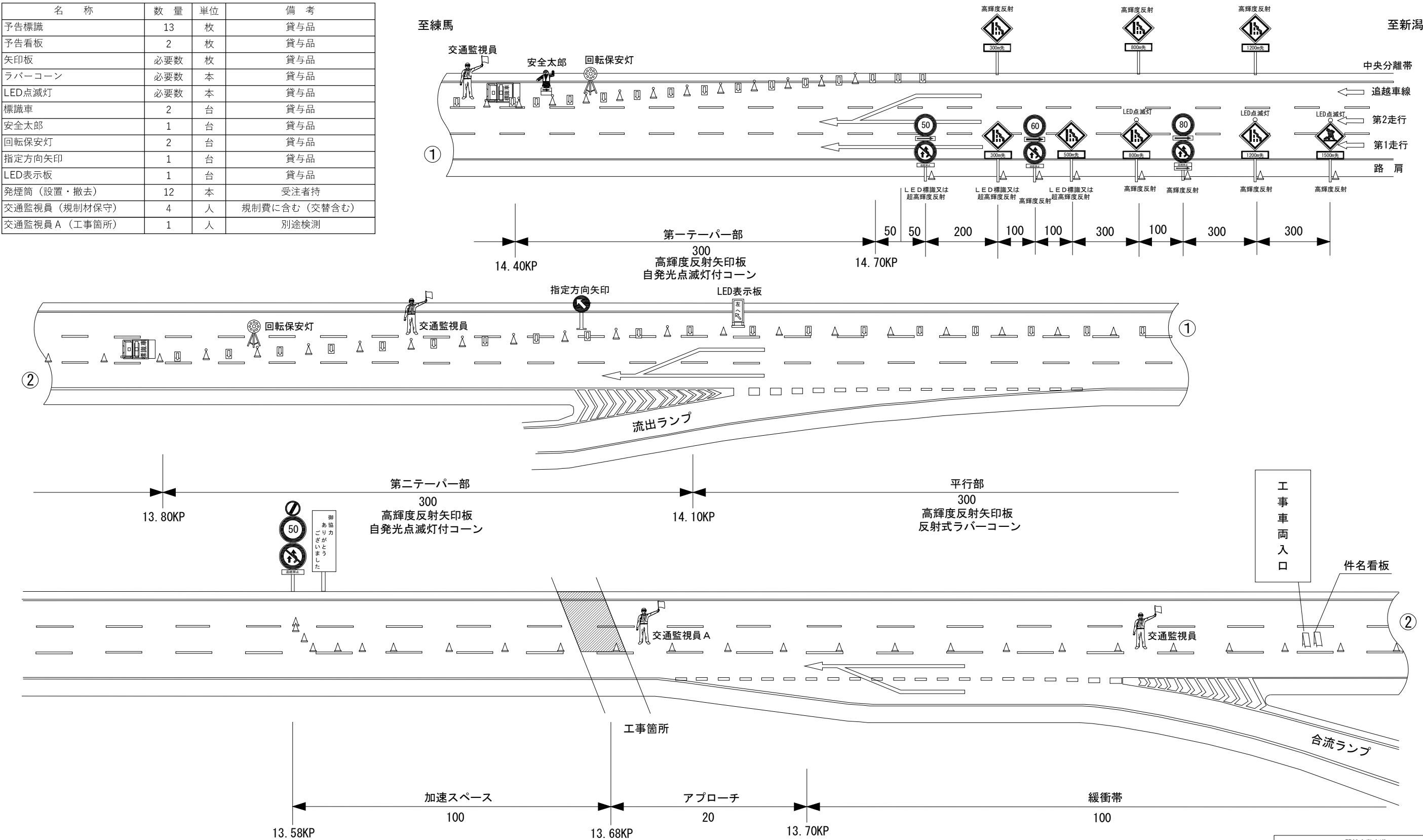
東永久保 1 号橋 交通規制図（その 6）

二車線規制 II × 1 × 0 × 2 ・ A 4（三）（夜）（上り線）

二車線規制 II × 1 × 0 × 2 ・ A 4（三）（夜）

数量表 1 規制当り

名 称	数 量	単 位	備 考
予告標識	13	枚	貸与品
予告看板	2	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
LED点滅灯	必要数	本	貸与品
標識車	2	台	貸与品
安全太郎	1	台	貸与品
回転保安灯	2	台	貸与品
指定方向矢印	1	台	貸与品
LED表示板	1	台	貸与品
発煙筒（設置・撤去）	12	本	受注者持
交通監視員（規制材保守）	4	人	規制費に含む（交替含む）
交通監視員 A（工事箇所）	1	人	別途検測



※ 予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。

※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパ設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)

※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

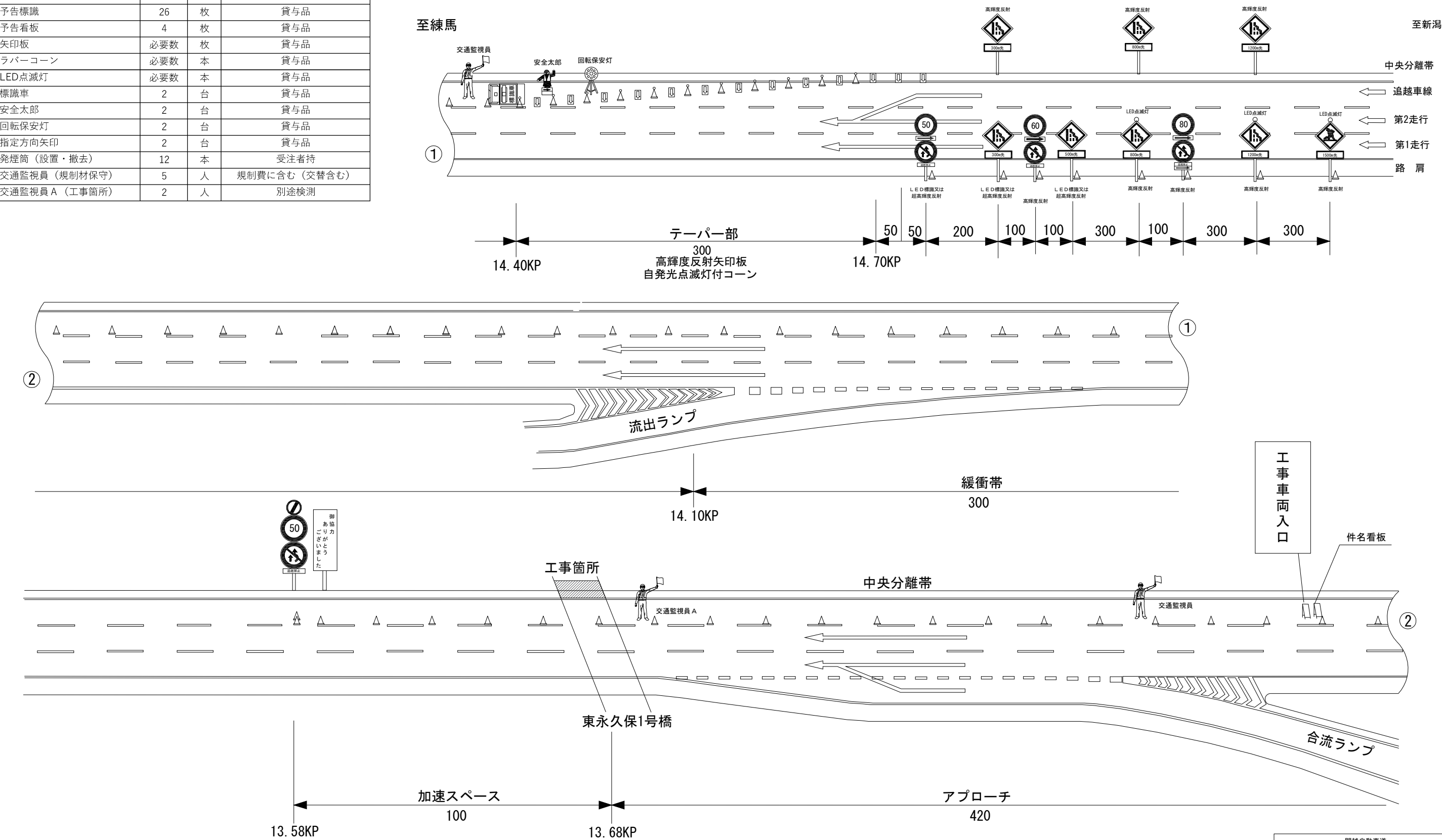
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 交通規制図（その 6）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

中央分離帯規制 II × 1 (三)(夜)

数量表		1 規制当り※その②下り線含む		
名 称	数 量	単 位	備 考	
予告標識	26	枚	貸与品	
予告看板	4	枚	貸与品	
矢印板	必要数	枚	貸与品	
ラバーコーン	必要数	本	貸与品	
LED点滅灯	必要数	本	貸与品	
標識車	2	台	貸与品	
安全太郎	2	台	貸与品	
回転保安灯	2	台	貸与品	
指定方向矢印	2	台	貸与品	
発煙筒（設置・撤去）	12	本	受注者持	
交通監視員（規制材保守）	5	人	規制費に含む（交替含む）	
交通監視員 A（工事箇所）	2	人	別途検測	

東永久保 1 号橋 交通規制図（その 7）

中央分離帯規制 II × 1 (三) (夜) その①（上り線）  
※中央分離帯規制 その①と中央分離帯規制 その②は、同日に設置するものとする。



※予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。  
※ 発煙筒 (5分用) 使用本数は、各テーパ設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

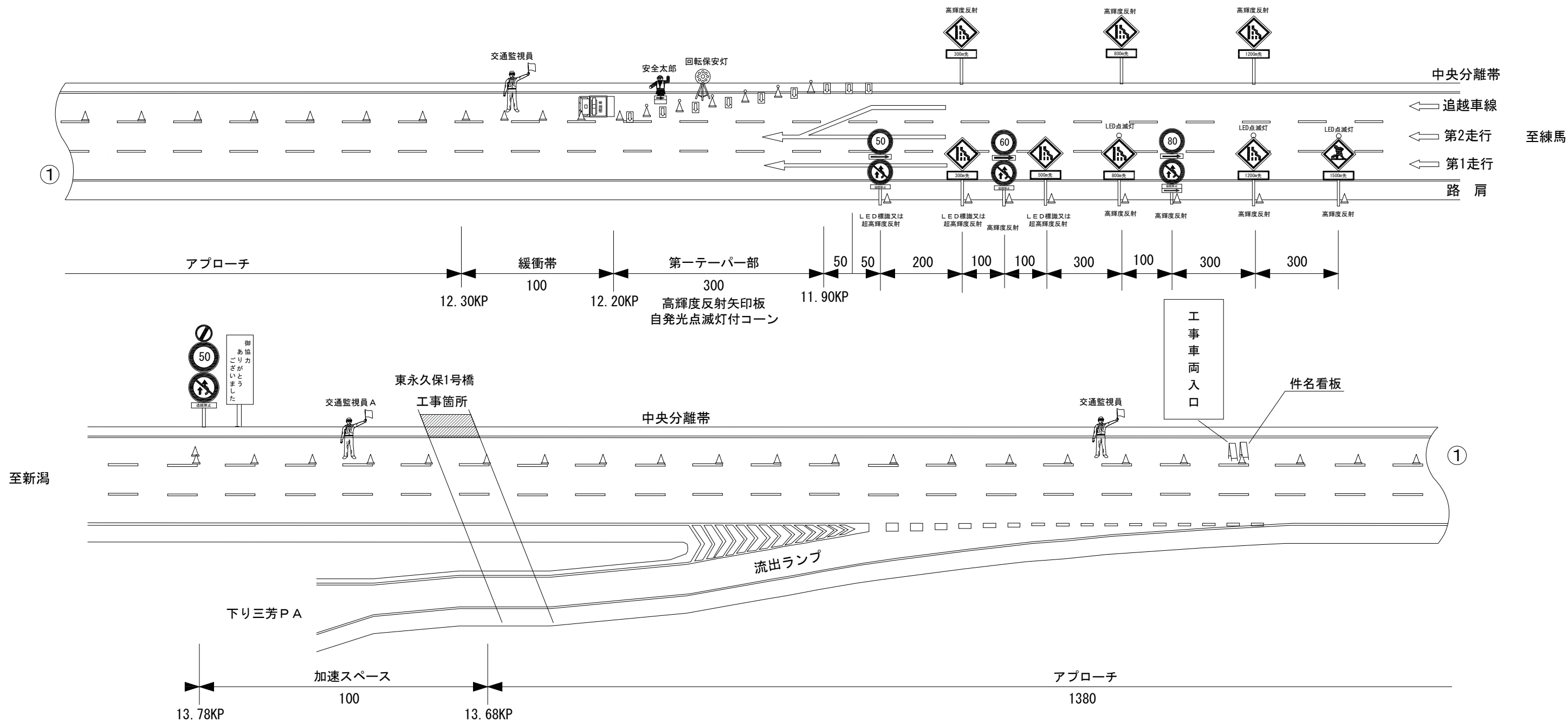
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 交通規制図（その 7）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



# 東永久保 1 号橋 交通規制図（その 8）

中央分離帯規制 II × 1 (三) (夜) その②（下り線）

※中央分離帯規制 その①と中央分離帯規制 その②は、同日に設置するものとする。



※予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。  
※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパー設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	東永久保 1 号橋 交通規制図（その 8）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

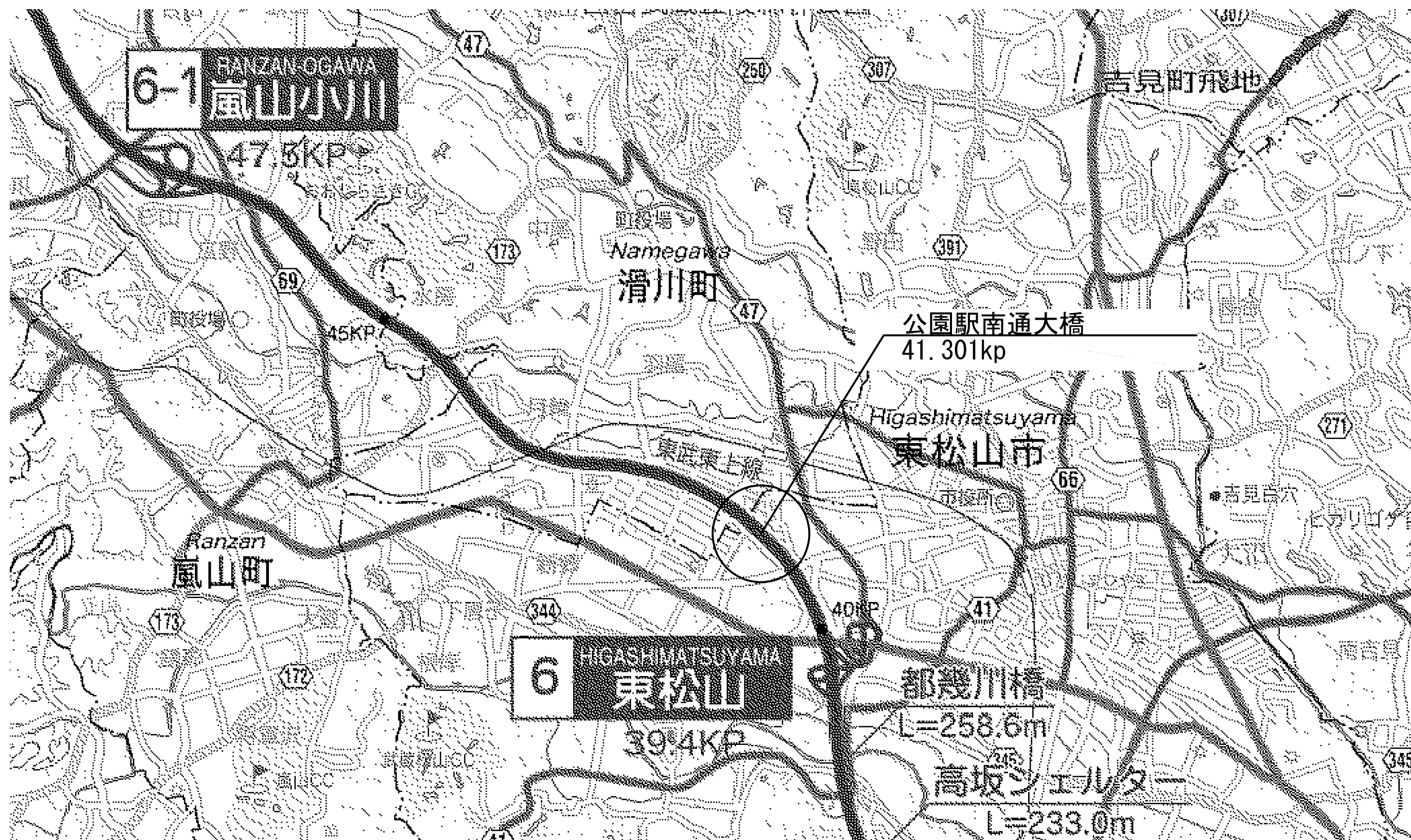
# 滑川町跨道橋 (公園駅南通大橋)



# 目 次

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1	公園駅南通大橋 位置図	25	公園駅南通大橋 排水装置取替工（その１）
2	公園駅南通大橋 数量総括表	26	公園駅南通大橋 排水装置取替工（その２）
3	公園駅南通大橋 工法詳細図（その１）	27	公園駅南通大橋 落下物防止柵撤去設置工
4	公園駅南通大橋 工法詳細図（その２）	28	公園駅南通大橋 交通規制図（その１）
5	公園駅南通大橋 橋梁現況一般図	29	公園駅南通大橋 交通規制図（その２）
6	公園駅南通大橋 橋梁補修一般図	30	公園駅南通大橋 交通規制図（その３）
7	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１）	31	公園駅南通大橋 交通規制図（その４）
8	公園駅南通大橋 補修詳細図（その２）	32	公園駅南通大橋 交通規制図（その５）
9	公園駅南通大橋 補修詳細図（その３）	33	公園駅南通大橋 交通規制図（その６）
10	公園駅南通大橋 補修詳細図（その４）	34	公園駅南通大橋 交通規制図（その７）
11	公園駅南通大橋 補修詳細図（その５）	35	公園駅南通大橋 規制図（その１）
12	公園駅南通大橋 補修詳細図（その６）	36	公園駅南通大橋 規制図（その２）
13	公園駅南通大橋 補修詳細図（その７）	37	公園駅南通大橋 規制図（その３）
14	公園駅南通大橋 補修詳細図（その８）	38	公園駅南通大橋 足場仮設図（参考図）
15	公園駅南通大橋 補修詳細図（その９）	39	公園駅南通大橋 施工計画図（その１）（参考図）
16	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１０）	40	公園駅南通大橋 施工計画図（その２）（参考図）
17	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１１）	41	公園駅南通大橋 施工計画図（その３）（参考図）
18	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１２）	42	公園駅南通大橋 施工計画図（その４）（参考図）
19	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１３）		
20	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１４）		
21	公園駅南通大橋 はく落防止対策工・コンクリート表面保護工図（その１）		
22	公園駅南通大橋 はく落防止対策工・コンクリート表面保護工図（その２）		
23	公園駅南通大橋 橋名板撤去設置工		
24	公園駅南通大橋 支承防錆工 沓座モルタル補修工		

## 公園駅南通大橋 位置図



関越自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	公園駅南通大橋 位置図
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所

公園駅南通大橋 数量総括表

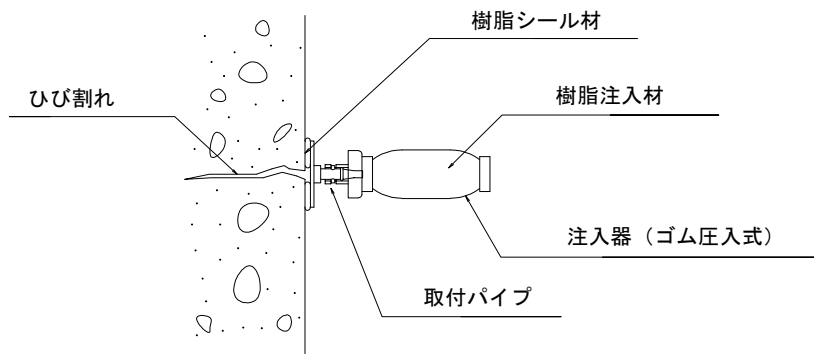
路線名	橋梁名	上・下部工	支間・橋台・橋脚	15－(17)	17－(28)	17－(28)	17－(28)	17－(29)	17－(29)	17－(29)	17－(30)	17－(31)	17－(32)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(1)	19－(2)
				落下物防止柵撤去設置工 A(滑)	ひび割れ注入工 A1(滑)(夜)	ひび割れ注入工 A2(滑)(夜)	ひび割れ注入工 B(滑)	断面修復工 A2－1－1(滑)(夜)	断面修復工 A2－1－2(滑)(夜)	断面修復工 A2－2(滑)	コンクリート表面処理工 B(滑)	はく落防止対策工 B2(滑)	表面保護工 コンクリート表面被覆工 B(滑)	交通規制工 一車線規制 Ⅰ×1×0×1・A1(滑)(夜)	交通規制工 一車線規制 Ⅰ×1×0×1・A2(滑)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ×1×0×2・A1(滑)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ×1×0×2・A2(滑)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ×1×0×2・A3(滑)(夜)	交通規制工 二車線規制 Ⅱ×1×0×2・A4(滑)(夜)	交通規制工 中央分離帯規制 Ⅰ×1(滑)(夜)	交通保安要員 交通監視員 A1(滑)(夜)
関越自動車道	公園駅南通大橋	上部工	A1－P1 下り線				618.4			306.1	427.7	427.7	16.0			11.0	7.0				
			P1－A2 上り線				585.3			185.4	427.8	427.8	18.0					13.0	8.0		
			A1－A2 上り線橋面	109.0						28.3			108.8								
			小計	109.0			1203.7			519.8	855.5	855.5	142.8			11.0	7.0	13.0	8.0		
		下部工	A1 下り線		9.0			56.8						13.0							13.0
			A2 上り線			15.4			4.3						12.0						
			P1																	5.0	
			小計		9.0	15.4		56.8	4.3					13.0	12.0					5.0	13.0
		合計		109.0	9.0	15.4	1203.7	56.8	4.3	519.8	855.5	855.5	142.8	13.0	12.0	11.0	7.0	13.0	8.0	5.0	13.0

路線名	橋梁名	上・下部工	支間・橋台・橋脚	19－(2)	19－(2)	特－(1)	特－(1)	特－(1)	特－(2)	特－(2)	特－(7)	特－(8)	特－(9)	特－(9)	特－(10)	特－(12)	特－(12)	特－(13)	特－(13)	特－(15)	特－(15)
				交通保安要員 交通監視員 A2(滑)(夜)	交通保安要員 交通誘導警備員 B(滑)	コンクリートはつり工 A1(滑)(夜)	コンクリートはつり工 A2(滑)(夜)	コンクリートはつり工 B(滑)	ひび割れ充填工 A1(滑)(夜)	ひび割れ充填工 A2(滑)(夜)	ひび割れ含浸工 A(滑)	寄座モルタル補修工 B(滑)	表面仕上げ補修工 A1(滑)(夜)	表面仕上げ補修工 A2(滑)(夜)	橋名板撤去設置工 B(滑)	支承防錆工 B1(滑)	支承防錆工 B2(滑)	排水装置取替工 A1(滑)(夜)	排水装置取替工 A2(滑)(夜)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 A1(滑)(夜)	表面保護工(極小部) コンクリート表面被覆工 A2(滑)(夜)
関越自動車道	公園駅南通大橋	上部工	A1－P1 下り線	人・日	人・日	m3	m3	m3	m	m	m	基	m2	m2	枚	基	基	m	m	m2	m2
			P1－A2 上り線	18.0				0.306			0.8				1.0						
			A1－A2 上り線	21.0				0.190			2.5				1.0						
			A1－A2 上り線橋面		360.0			0.030													
			小計	39.0	360.0			0.526			3.3				2.0						
		下部工	A1 下り線			0.057			6.0			8.0				8.0				8.1	0.51
			A2 上り線	12.0			0.006			3.3		8.0				8.0		8.7			0.039
			P1	10.0							8.0	7.2	2.4				8.0				
			小計	22.0		0.057	0.006		6.0	3.3		24.0	7.2	2.4		16.0	8.0	8.7	8.1	0.51	0.039
		合計		61.0	360.0	0.057	0.006	0.526	6.0	3.3	3.3	24.0	7.2	2.4	2.0	16.0	8.0	8.7	8.1	0.51	0.039

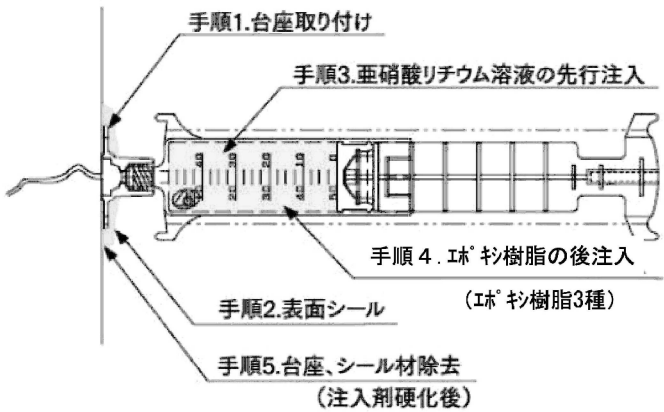
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 数量総括表		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 工法詳細図（その1）

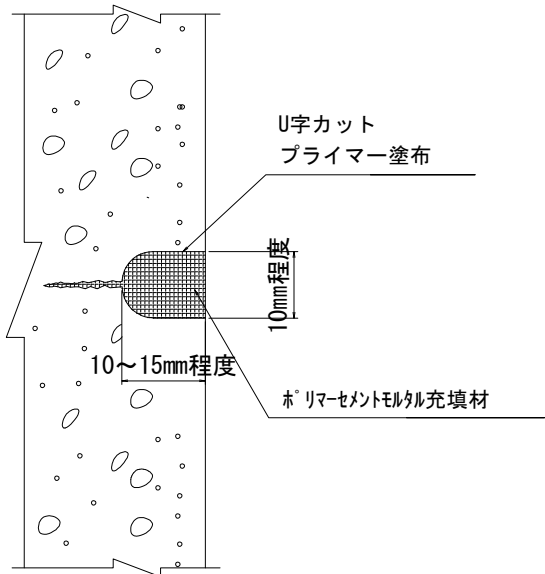
ひび割れ注入工 A 詳細図（参考図）



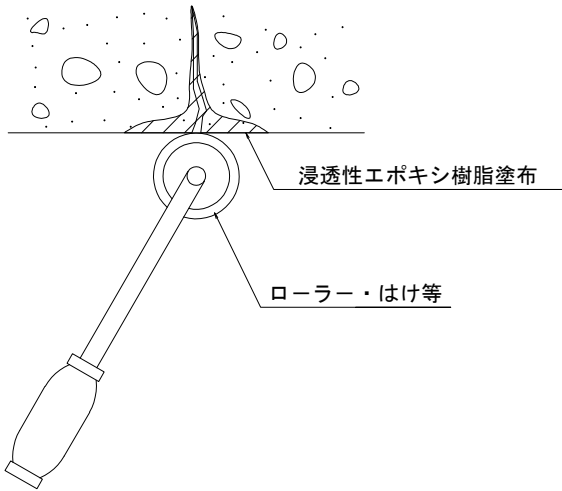
ひび割れ注入工 B 詳細図（参考図）



ひび割れ充填工詳細図



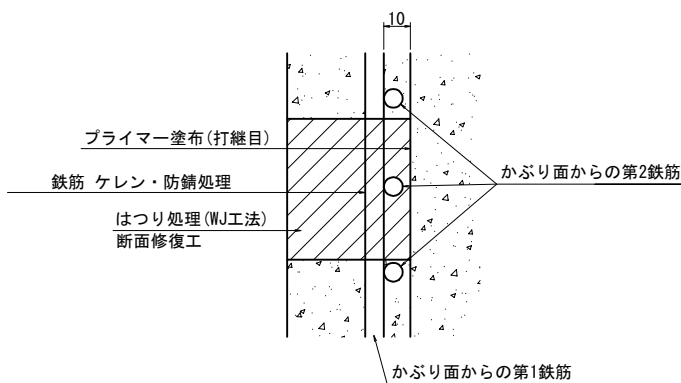
ひび割れ含浸工詳細図



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 工法詳細図（その1）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

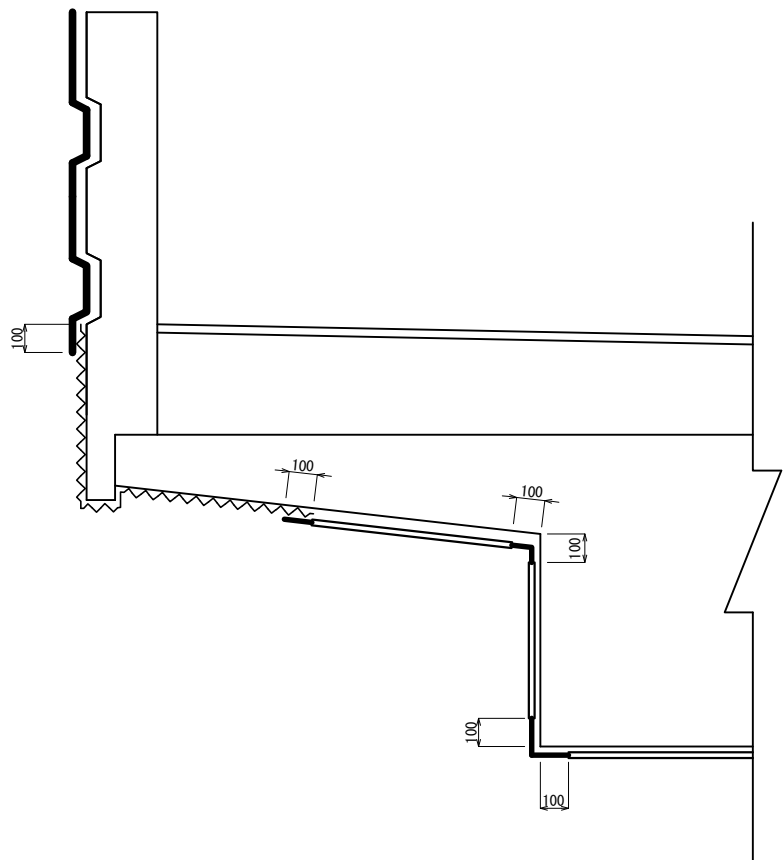
公園駅南通大橋 工法詳細図（その2）

断面修復工詳細図



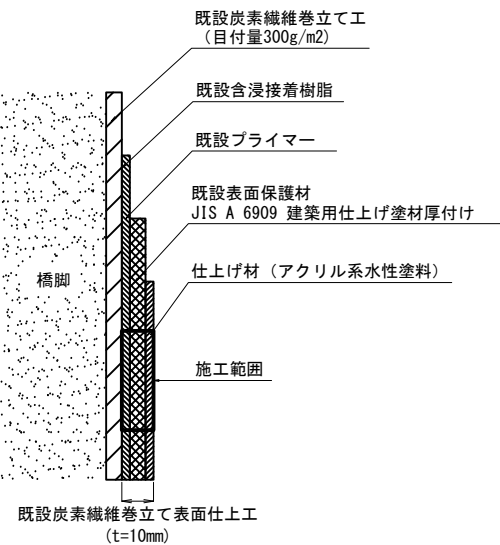
注記)  
・第1鉄筋背面10mmまではつり作業を行うこと。  
・はく落防止対策工を施工する場合は、コンクリート表面保護工を行わないこと

コンクリート表面処理工  
ウォータージェット・ディスクサンダー区分



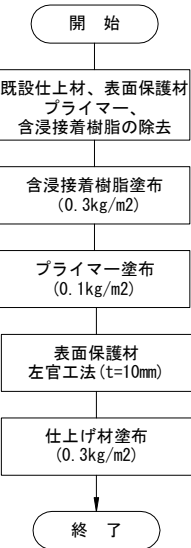
【凡例】  
〰〰〰: はく落防止対策工済  
——: ディスクサンダー工法  
〰〰〰: ウォータージェット工法

表面仕上げ補修工 A 1 詳細図  
(橋梁耐震補強部)

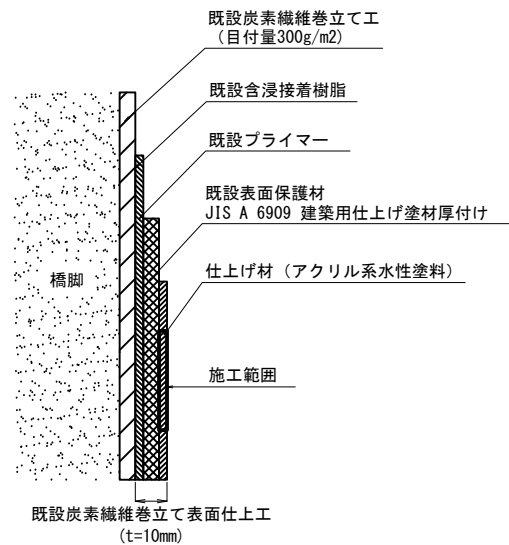


注記)  
・補修材料については、既設炭素繊維巻立て表面仕上工の材料規格・仕様と同等以上のものを使用する。

<施工手順>

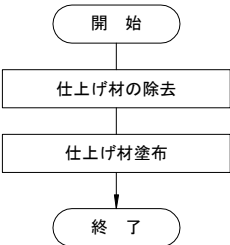


表面仕上げ補修工 A 2 詳細図  
(橋梁耐震補強部)



注記)  
・補修材料については、既設炭素繊維巻立て表面仕上工の材料規格・仕様と同等以上のものを使用する。

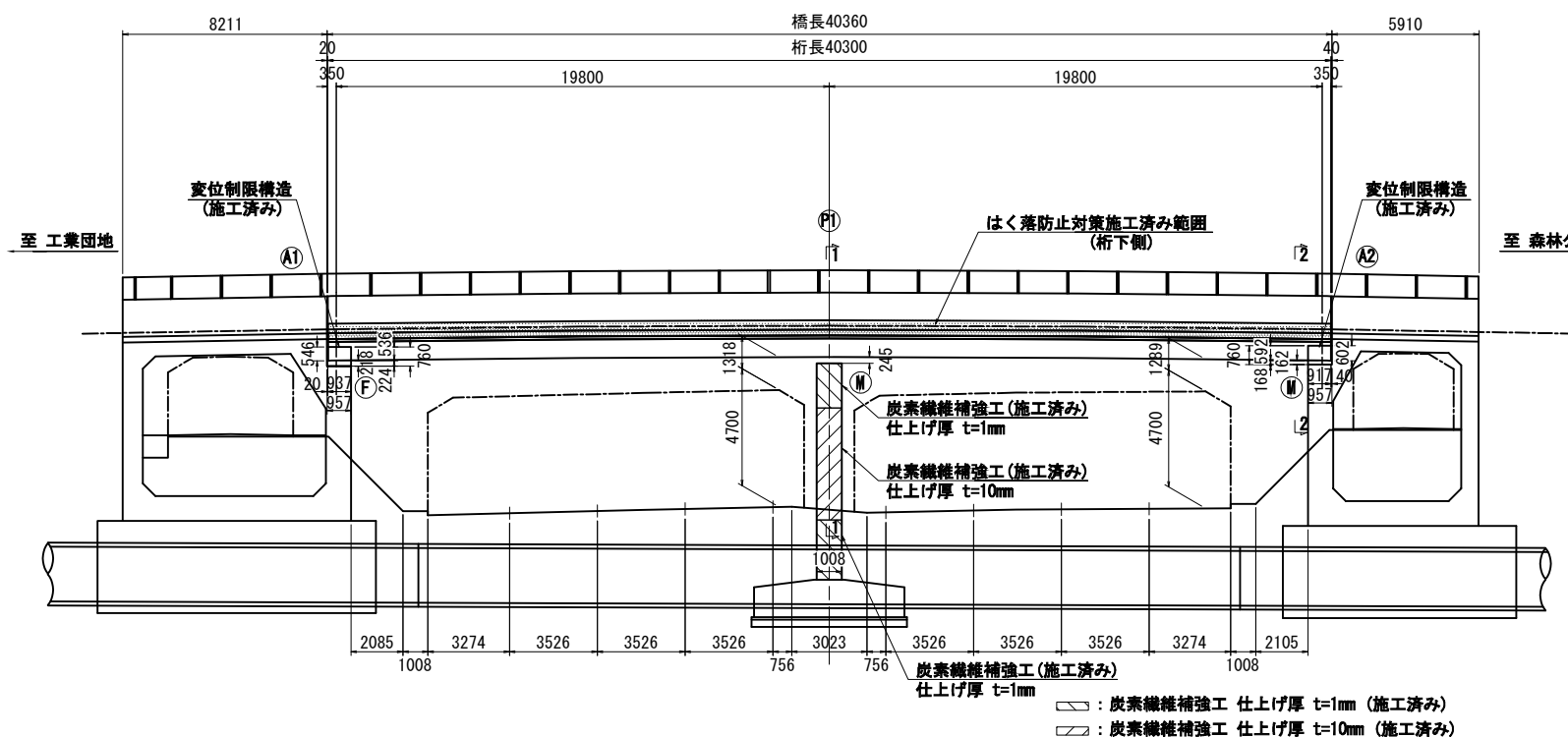
<施工手順>



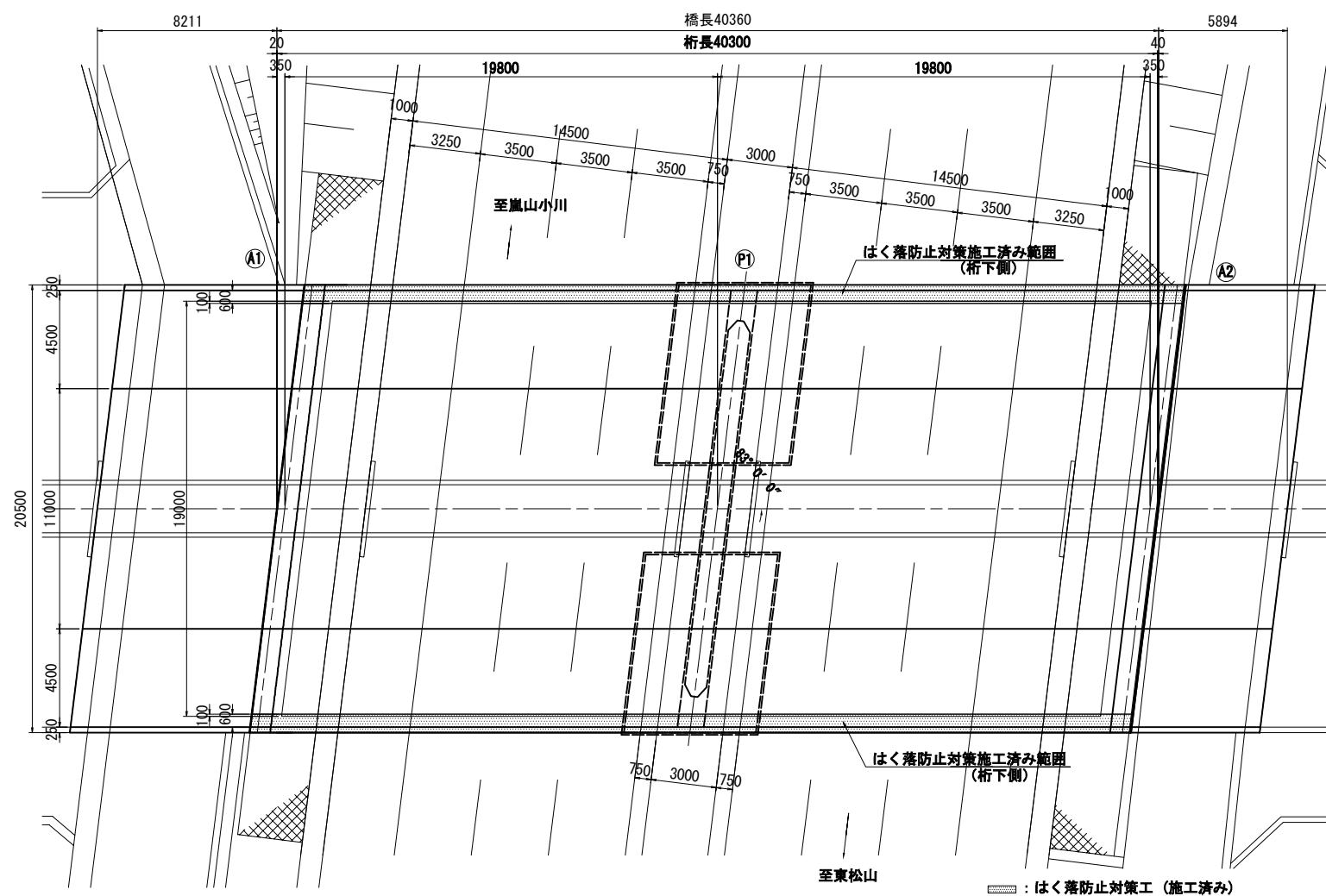
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 工法詳細図（その2）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

# 公園駅南通大橋 橋梁現況一般図

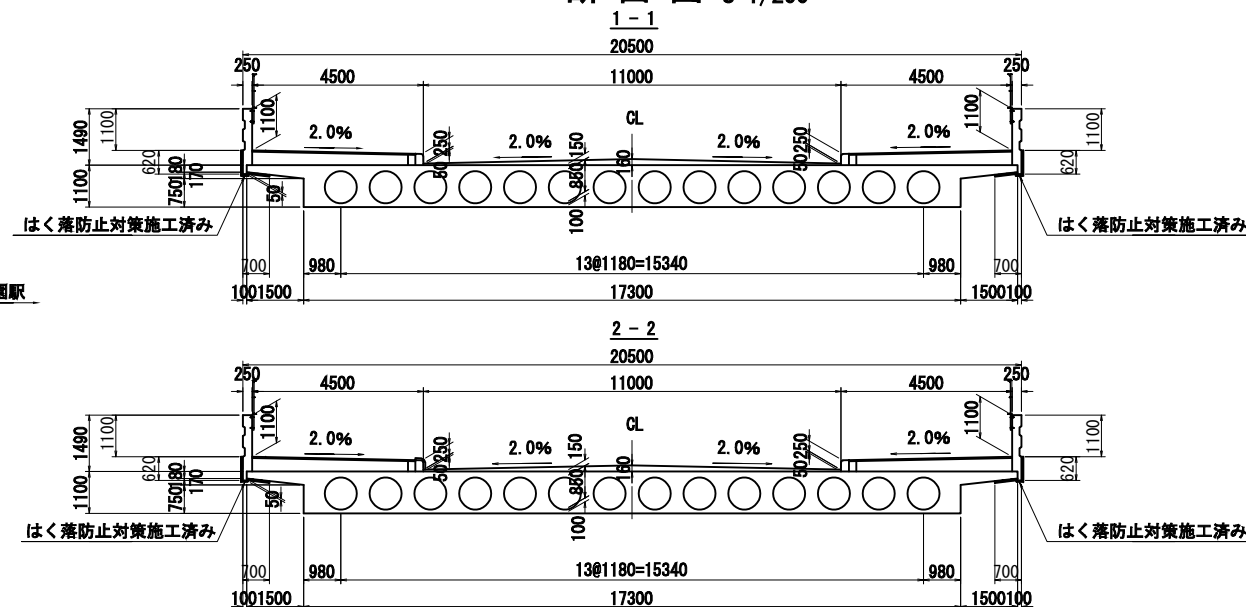
側面図 S=1/300



平面図 S=1/300

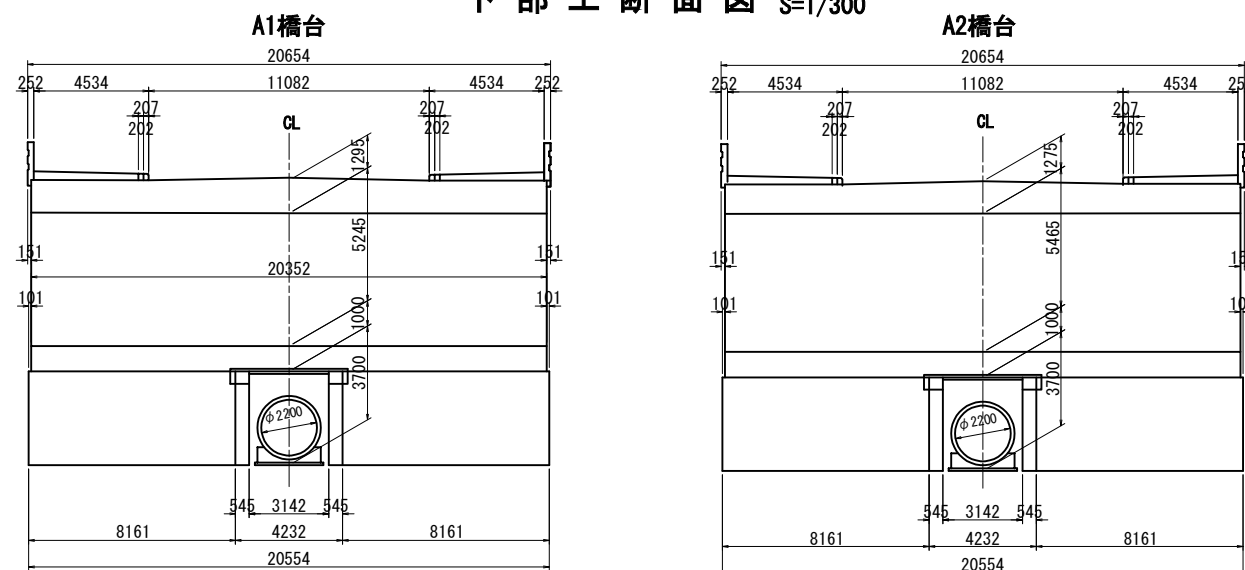


断面図 S=1/200

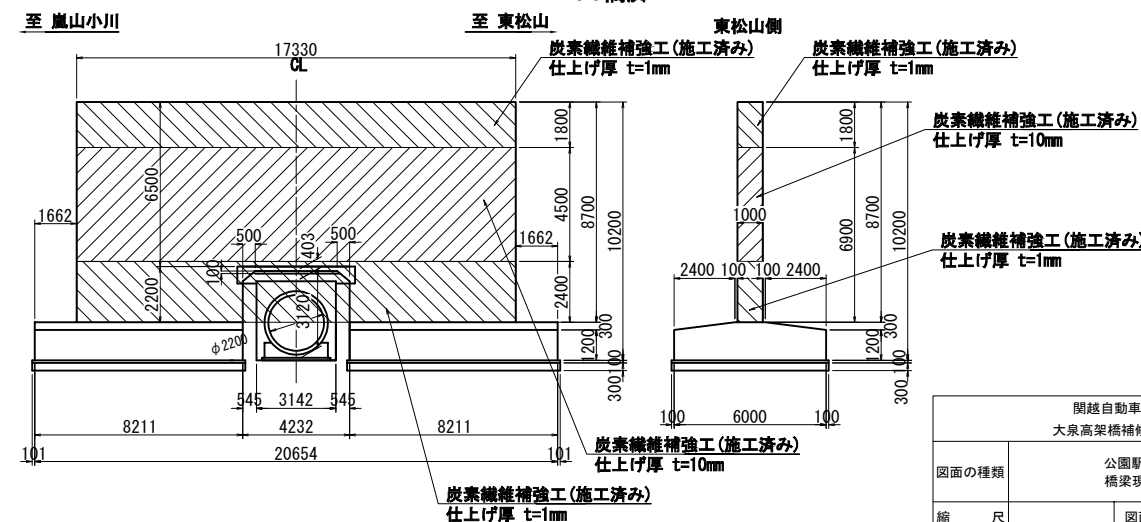


※A1橋台～A2橋台まで高欄部 (H=620)、張り出し部 (H=700) はく落防止対策施工済み。

下部工断面図 S=1/300



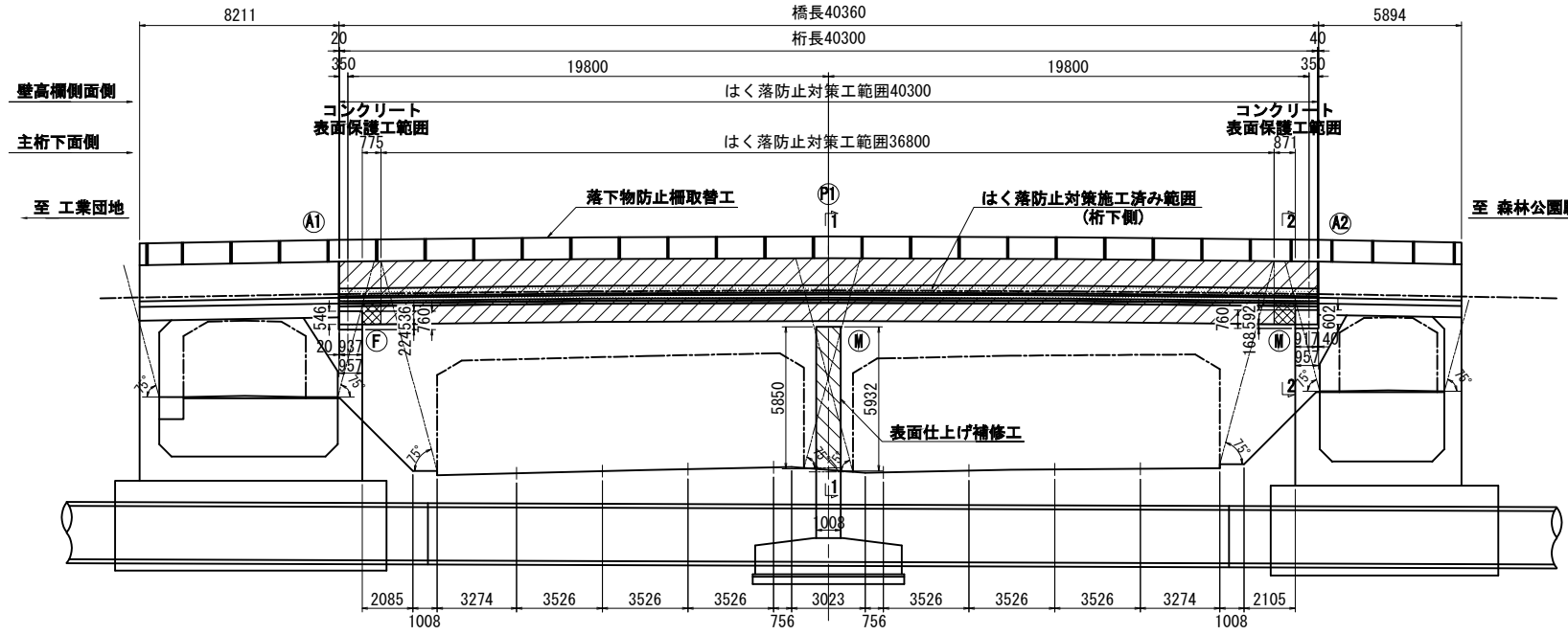
P1橋脚



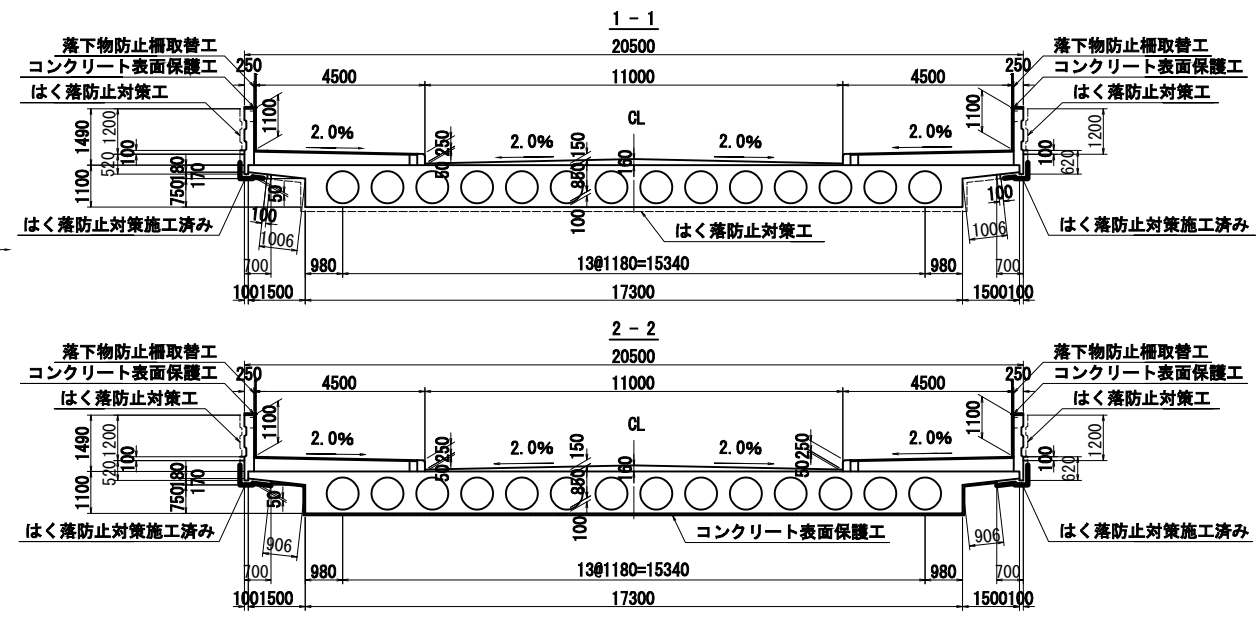
関係自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	公園駅南通大橋 橋梁現況一般図
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所

# 公園駅南通大橋 橋梁補修一般図

側面図 S=1/300

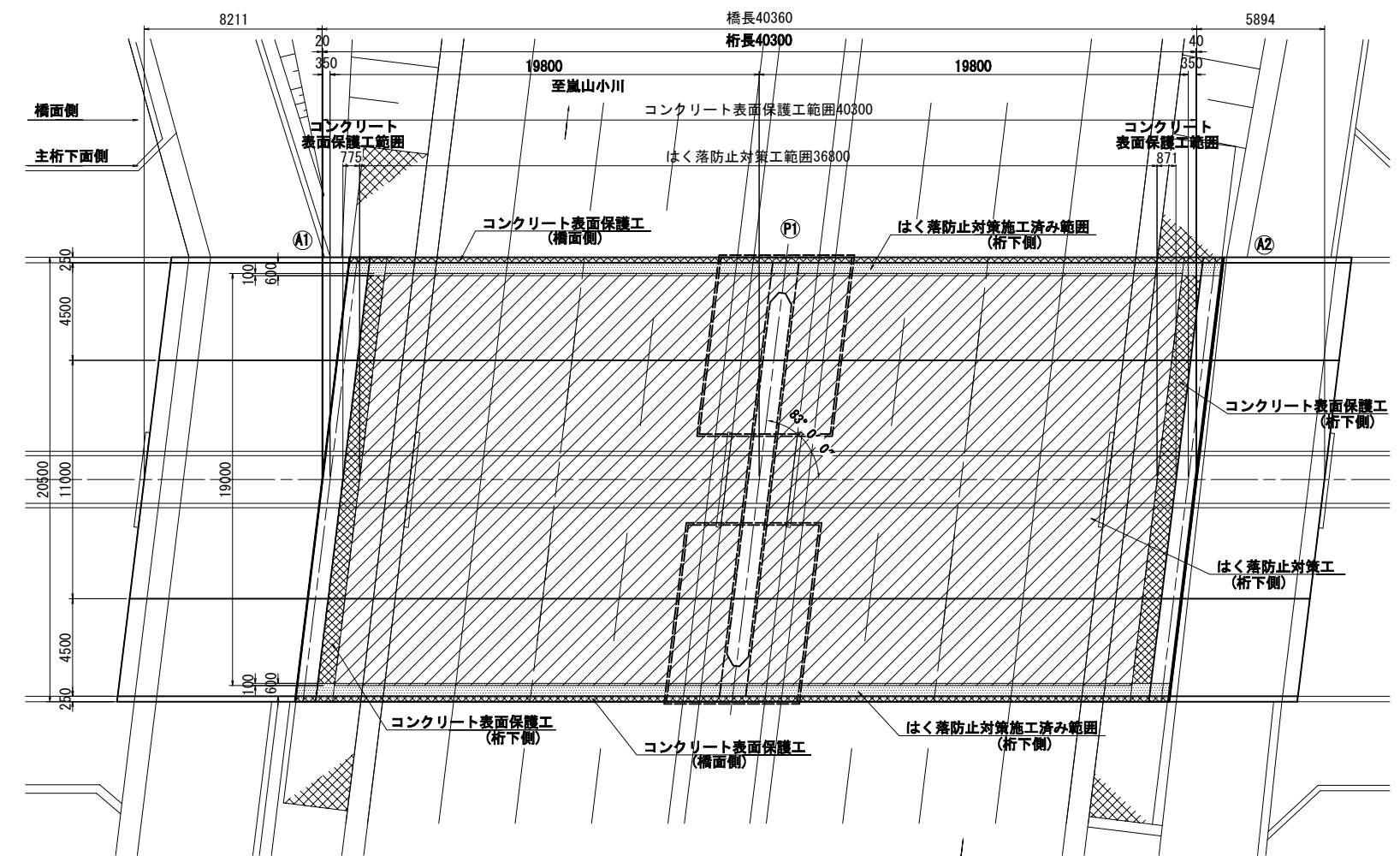


断面図 S=1/200

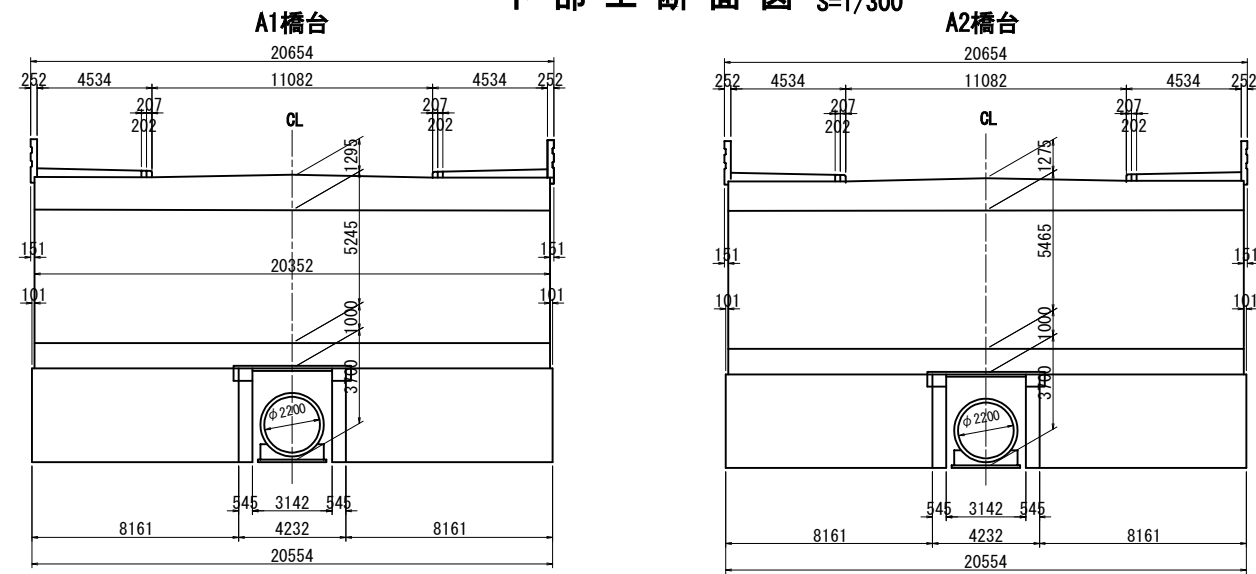


※A1橋台～A2橋台まで高欄部(H=620)、張り出し部(H=700)はく落防止対策工施工済み。

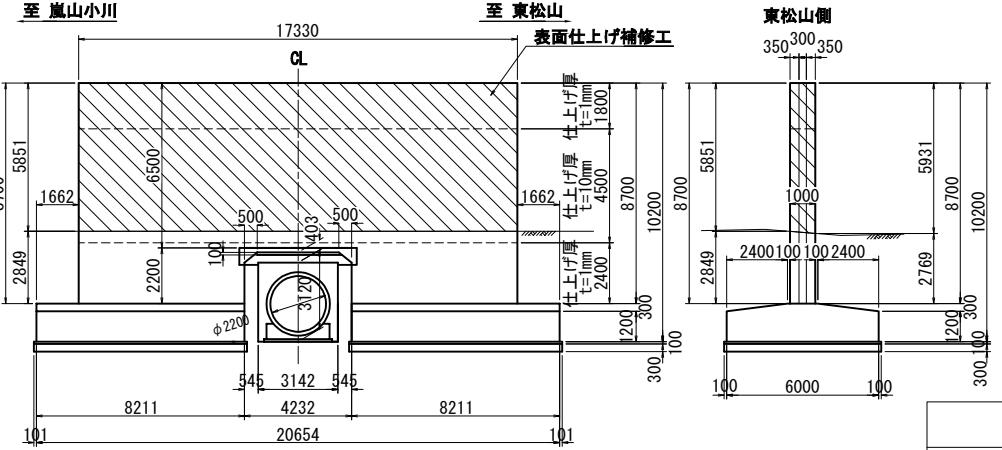
平面図 S=1/300



下部工断面図 S=1/300



P1橋脚

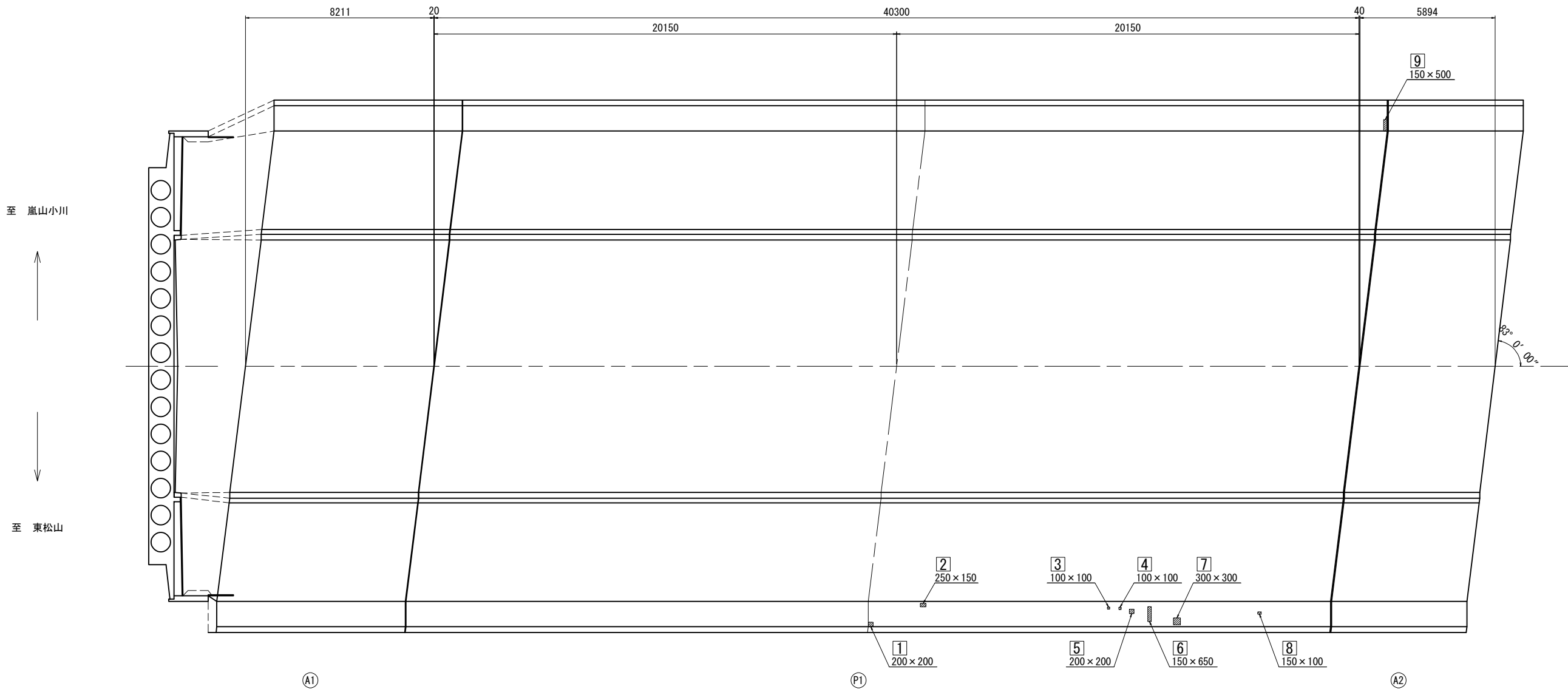


- コンクリート表面保護工
- はく落防止対策工
- はく落防止対策工 (施工済み)

関係自動車道 大泉高架橋補修工事	
図面の種類	公園駅南通大橋 橋梁補修一般図
縮尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所

公園駅南通大橋 補修詳細図（その１）  
コンクリートはつリエ 断面修復工

平面図（橋面側） S=1/200



凡例

断面修復工範囲

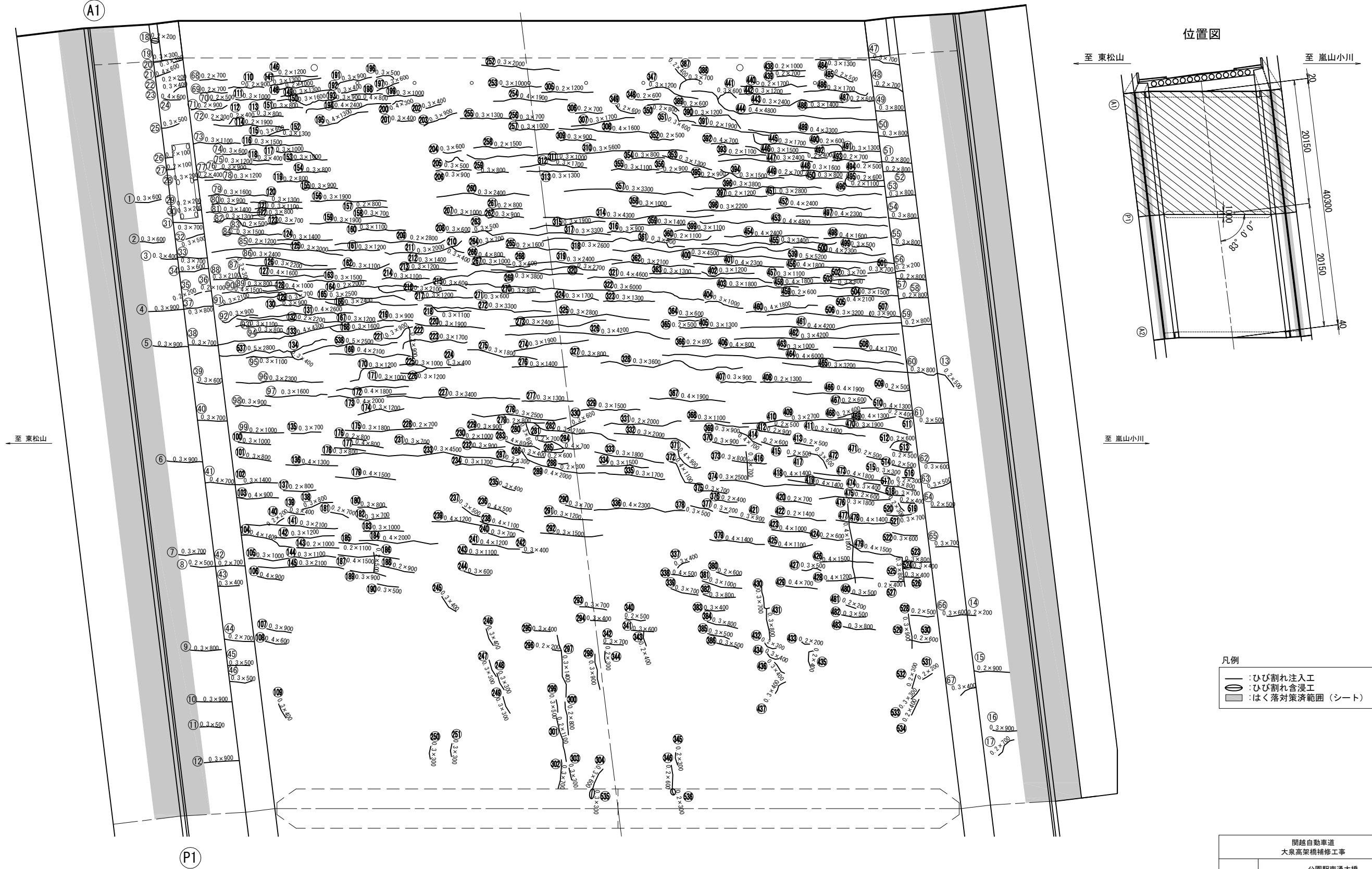
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１）		
	縮 尺	1/200	図面番号
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



公園駅南通大橋 補修詳細図（その2）

ひび割れ注入工 ひび割れ含浸工

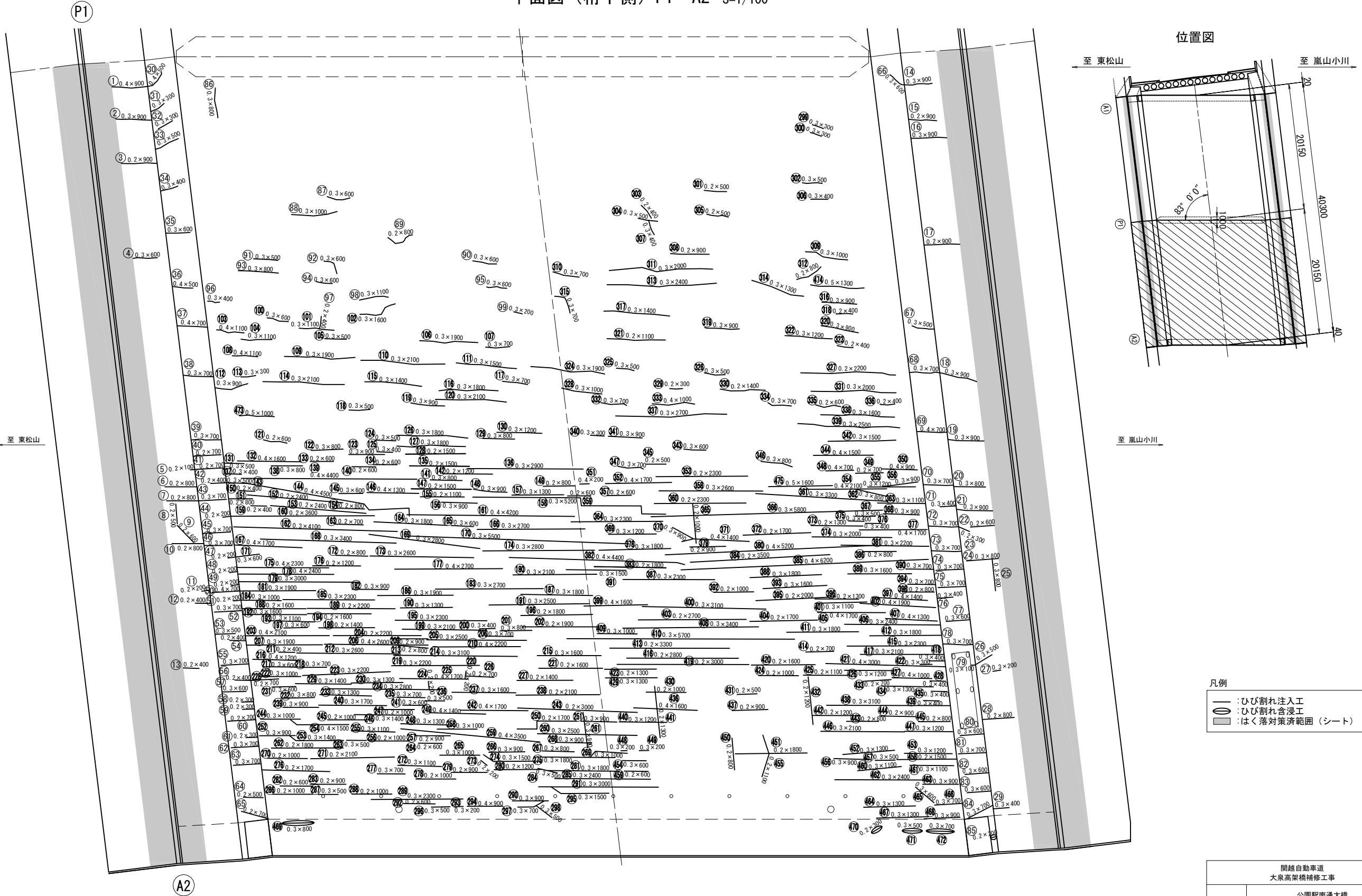
平面図（桁下側）A1～P1 s=1/100



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その2）		
縮 尺	1/100	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 補修詳細図 (その3)  
ひび割れ注入工 ひび割れ含浸工

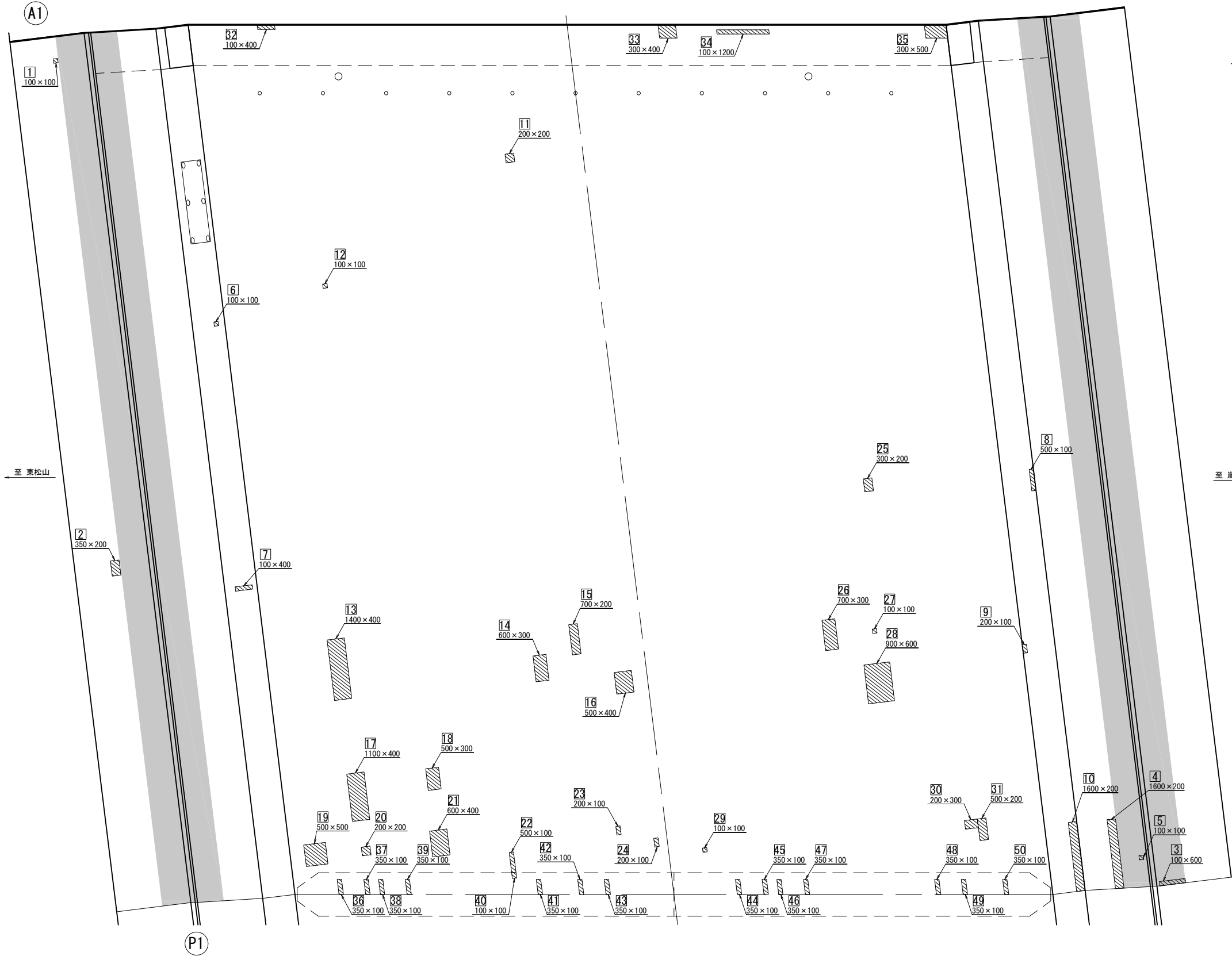
平面図 (桁下側) P1~A2 S=1/100



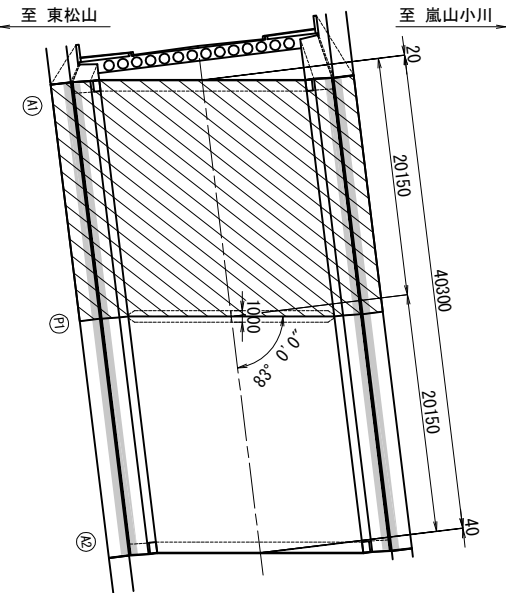
<p align="center"><b>関越自動車道 大泉高架橋補修工事</b></p>			
図面の種類	<p align="center"><b>公園駅南通大橋 補修詳細図（その３）</b></p>		
縮 尺	1/100	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	<p align="center"><b>東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所</b></p>		

公園駅南通大橋 補修詳細図（その4）  
コンクリートはつリエ 断面修復工

平面図（桁下側）A1～P1 S=1/100



位置図

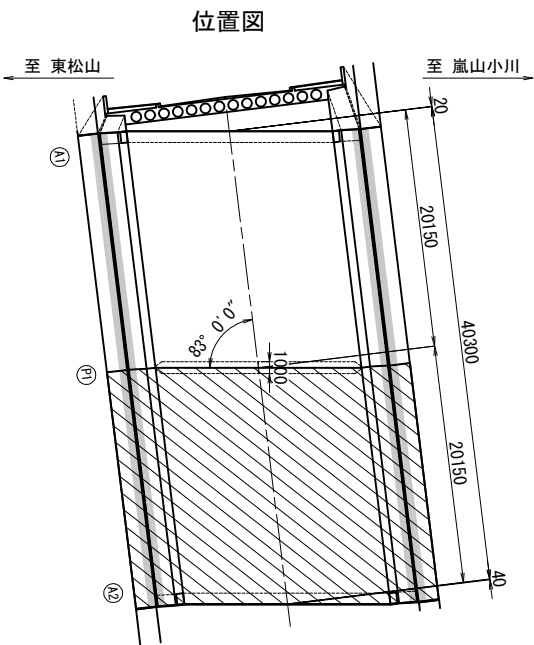
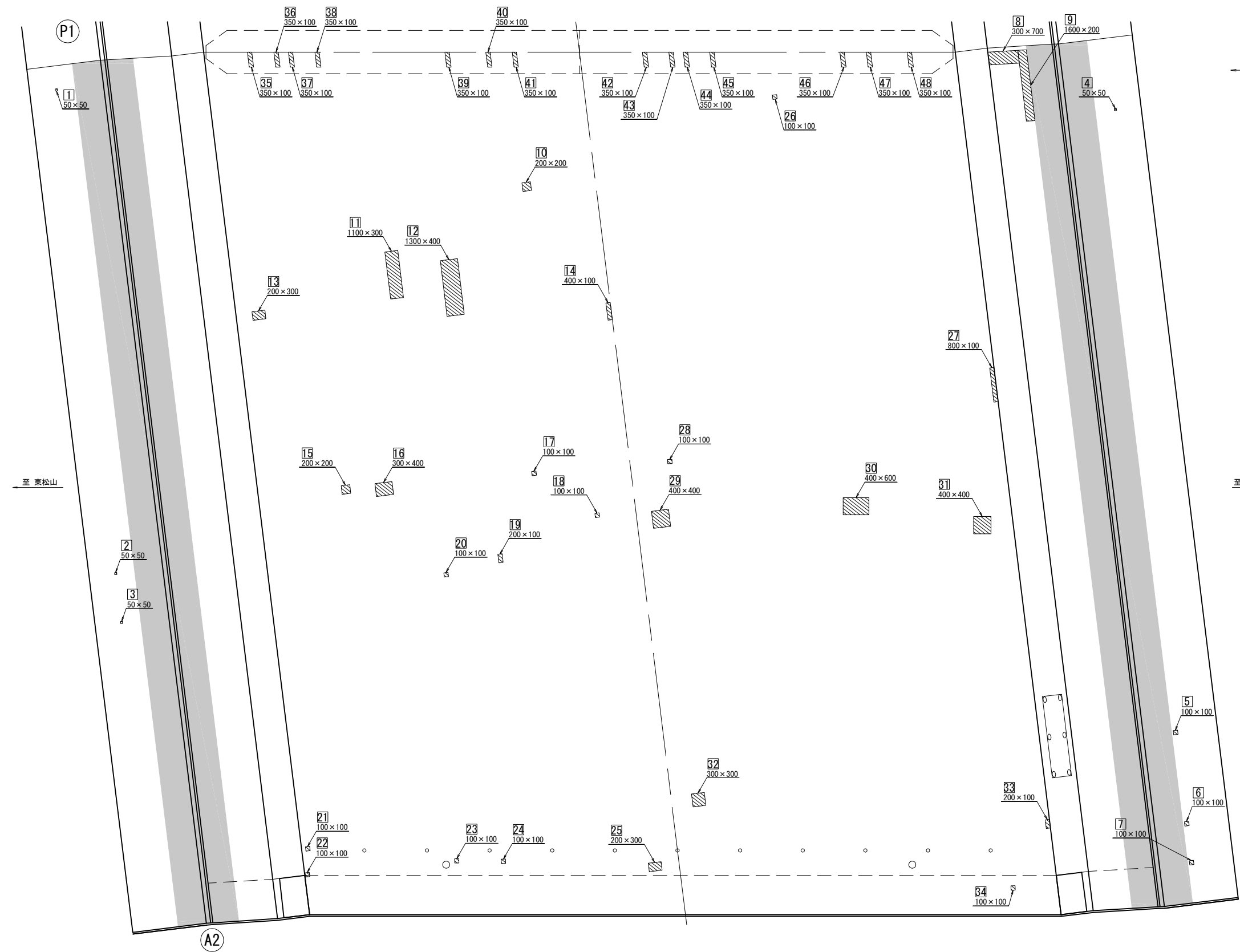


- 凡例
- : 断面修復工範囲
  - : はく落対策済範囲（シート）

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その4）		
縮 尺	1/100	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 補修詳細図（その5）  
コンクリートはつリエ 断面修復工

平面図（桁下側）P1～A2 S=1/100



- 凡例
- 断面修復工範囲
  - はく落対策済範囲（シート）

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その5）		
縮 尺	1/100	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 補修詳細図（その6）

（上部工：A1-P1）ひび割れ注入工B（滑） 下面

番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)
1	0.3	600	51	0.2	800	101	0.3	800	151	0.3	800	201	0.3	400	251	0.3	300	301	0.2	1,100	351	0.3	600
2	0.3	600	52	0.2	800	102	0.3	1,400	152	0.3	1,300	202	0.3	400	252	0.3	2,000	302	0.3	700	352	0.2	500
3	0.3	400	53	0.3	800	103	0.4	900	153	0.3	1,000	203	0.3	900	253	0.3	1,000	303	0.3	300	353	0.3	1,300
4	0.3	900	54	0.3	800	104	0.4	1,400	154	0.3	800	204	0.3	600	254	0.4	1,900	304	0.3	600	354	0.3	800
5	0.3	900	55	0.3	800	105	0.3	1,000	155	0.3	900	205	0.3	500	255	0.3	1,300	305	0.2	1,200	355	0.3	1,100
6	0.3	900	56	0.2	200	106	0.4	900	156	0.3	1,900	206	0.3	900	256	0.3	700	306	0.2	700	356	0.2	900
7	0.3	700	57	0.2	800	107	0.3	900	157	0.2	800	207	0.3	1,000	257	0.3	1,000	307	0.3	1,700	357	0.3	3,300
8	0.2	500	58	0.2	800	108	0.4	600	158	0.3	700	208	0.3	600	258	0.2	1,500	308	0.4	1,600	358	0.3	1,000
9	0.3	800	59	0.2	800	109	0.3	400	159	0.3	1,900	209	0.2	2,800	259	0.3	800	309	0.3	900	359	0.3	1,400
10	0.3	900	60	0.3	800	110	0.2	900	160	0.3	1,100	210	0.3	400	260	0.3	2,400	310	0.3	5,600	360	0.2	1,100
11	0.3	500	61	0.3	500	111	0.3	1,000	161	0.3	1,200	211	0.3	2,000	261	0.2	800	311	0.3	1,000	361	0.3	900
12	0.3	900	62	0.3	600	112	0.2	400	162	0.3	1,100	212	0.3	1,400	262	0.3	900	312	0.3	1,700	362	0.3	2,100
13	0.2	500	63	0.3	500	113	0.3	800	163	0.3	1,500	213	0.3	1,200	263	0.3	500	313	0.3	1,300	363	0.3	1,300
14	0.2	200	64	0.2	500	114	0.2	1,900	164	0.2	2,000	214	0.3	1,100	264	0.3	700	314	0.3	4,300	364	0.3	600
15	0.2	900	65	0.3	700	115	0.3	600	165	0.3	2,500	215	0.3	600	265	0.2	1,600	315	0.3	1,900	365	0.2	500
16	0.3	900	66	0.3	600	116	0.3	1,500	166	0.3	2,400	216	0.3	2,100	266	0.4	800	316	0.3	900	366	0.2	800
17	0.2	700	67	0.3	400	117	0.3	1,000	167	0.3	1,200	217	0.3	1,200	267	0.3	1,000	317	0.3	3,300	367	0.4	1,900
18	ひび割れ含浸工で集計		68	0.2	700	118	0.3	400	168	0.3	1,600	218	0.3	1,100	268	0.3	600	318	0.3	2,600	368	0.3	1,100
19	0.3	300	69	0.2	700	119	0.2	800	169	0.4	2,100	219	0.3	900	269	0.3	3,800	319	0.3	2,400	369	0.3	900
20	0.3	300	70	0.2	500	120	0.3	1,300	170	0.3	1,200	220	0.3	1,900	270	0.3	800	320	0.3	2,700	370	0.3	900
21	0.4	600	71	0.2	900	121	0.3	1,100	171	0.3	1,000	221	0.3	900	271	0.3	600	321	0.4	4,600	371	0.4	900
22	0.2	200	72	0.2	300	122	0.3	800	172	0.4	1,800	222	0.2	900	272	0.3	3,300	322	0.3	6,000	372	0.4	1,100
23	0.3	400	73	0.3	1,100	123	0.3	700	173	0.4	2,000	223	0.3	1,700	273	0.3	2,400	323	0.3	1,300	373	0.3	800
24	0.4	600	74	0.3	600	124	0.3	1,400	174	0.3	1,200	224	0.3	400	274	0.3	1,900	324	0.3	1,700	374	0.3	2,500
25	0.3	500	75	0.3	1,200	125	0.3	3,000	175	0.3	1,800	225	0.3	1,000	275	0.3	1,800	325	0.3	2,800	375	0.3	700
26	0.2	100	76	0.3	900	126	0.3	2,200	176	0.2	800	226	0.3	1,200	276	0.3	1,400	326	0.3	4,200	376	0.2	400
27	0.2	100	77	0.2	400	127	0.4	1,600	177	0.4	800	227	0.3	3,400	277	0.3	1,300	327	0.3	800	377	0.3	200
28	0.3	200	78	0.3	1,200	128	0.4	1,000	178	0.3	800	228	0.2	700	278	0.3	2,500	328	0.3	3,600	378	0.3	500
29	0.2	200	79	0.3	1,600	129	0.3	700	179	0.4	1,500	229	0.3	900	279	0.2	800	329	0.3	1,500	379	0.4	1,400
30	0.3	200	80	0.3	900	130	0.3	900	180	0.3	800	230	0.2	1,000	280	0.3	800	330	0.3	600	380	0.2	600
31	0.3	700	81	0.3	1,400	131	0.4	2,600	181	0.2	700	231	0.3	700	281	0.2	700	331	0.2	2,000	381	0.3	1,000
32	0.3	500	82	0.3	1,300	132	0.2	2,200	182	0.3	700	232	0.3	900	282	0.3	2,100	332	0.3	2,000	382	0.3	800
33	0.3	700	83	0.2	500	133	0.4	4,300	183	0.3	1,000	233	0.3	4,500	283	0.4	800	333	0.3	1,800	383	0.3	400
34	0.3	600	84	0.3	1,500	134	0.3	400	184	0.4	2,000	234	0.3	1,700	284	0.4	700	334	0.3	1,500	384	0.3	800
35	0.2	200	85	0.2	1,200	135	0.3	700	185	0.2	1,100	235	0.3	400	285	0.2	600	335	0.3	1,700	385	0.3	500
36	0.2	100	86	0.3	2,400	136	0.4	1,300	186	0.2	500	236	0.4	500	286	0.3	400	336	0.4	2,300	386	0.3	500
37	0.3	800	87	0.3	300	137	0.2	800	187	0.4	1,500	237	0.3	500	287	0.2	300	337	0.3	400	387	0.2	400
38	0.3	700	88	0.3	2,100	138	0.3	800	188	0.2	900	238	0.4	1,100	288	0.2	300	338	0.4	500	388	0.3	700
39	0.3	600	89	0.3	800	139	0.3	400	189	0.3	900	239	0.4	1,200	289	0.4	2,000	339	0.3	700	389	0.2	600
40	0.3	700	90	0.4	1,500	140	0.2	200	190	0.3	500	240	0.3	700	290	0.3	700	340	0.2	500	390	0.3	1,200
41	0.4	700	91	0.3	2,100	141	0.3	2,100	191	0.3	900	241	0.4	1,200	291	0.3	1,200	341	0.3	600	391	0.2	1,900
42	0.2	700	92	0.3	900	142	0.3	1,200	192	0.3	400	242	0.3	400	292	0.3	1,500	342	0.3	700	392	0.4	700
43	0.3	400	93	0.3	1,100	143	0.2	1,000	193	0.3	900	243	0.3	1,100	293	0.3	700	343	0.2	400	393	0.2	1,100
44	0.2	700	94	0.3	800	144	0.3	1,100	194	0.4	2,400	244	0.3	600	294	0.3	400	344	0.2	300	394	0.3	1,500
45	0.3	500	95	0.3	1,100	145	0.3	2,100	195	0.4	1,300	245	0.3	400	295	0.3	400	345	0.2	300	395	0.2	900
46	0.3	500	96	0.3	2,300	146	0.2	1,200	196	0.3	500	246	0.3	400	296	0.2	200	346	0.2	600	396	0.3	3,800
47	0.3	700	97	0.3	1,600	147	0.3	1,300	197	0.3	600	247	0.3	300	297	0.3	1,400	347	0.3	1,200	397	0.2	1,200
48	0.2	700	98	0.3	900	148	0.2	1,000	198	0.4	800	248	0.3	300	298	0.3	900	348	0.2	600	398	0.3	2,200
49	0.3	800	99	0.2	1,000	149	0.3	1,300	199	0.3	1,000	249	0.3	300	299	0.3	500	349	0.2	600	399	0.3	1,100
50	0.3	800	100	0.3	1,000	150	0.3	1,600	200	0.4	300	250	0.3	300	300	0.2	800	350	0.2	800	400	0.3	4,500

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その6）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 補修詳細図（その 7）

（上部工：A1-P1）ひび割れ注入工B（滑） 下面

番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)
401	0.4	2,300	451	0.3	2,800	501	0.3	700
402	0.3	1,200	452	0.4	2,400	502	0.3	700
403	0.3	1,800	453	0.4	4,800	503	0.3	800
404	0.3	1,000	454	0.4	2,400	504	0.3	1,500
405	0.3	1,300	455	0.3	3,400	505	0.4	2,100
406	0.4	800	456	0.4	1,800	506	0.3	3,200
407	0.3	900	457	0.3	1,100	507	0.3	900
408	0.2	1,300	458	0.4	1,800	508	0.4	1,700
409	0.3	2,700	459	0.2	600	509	0.2	500
410	0.2	500	460	0.4	1,800	510	0.4	1,300
411	0.3	1,400	461	0.4	4,200	511	0.2	400
412	0.2	900	462	0.3	4,200	512	0.2	600
413	0.2	500	463	0.3	1,000	513	0.2	500
414	0.4	700	464	0.4	6,000	514	0.2	500
415	0.2	600	465	0.3	3,200	515	0.3	300
416	0.3	700	466	0.4	1,900	516	0.2	300
417	0.2	500	467	0.2	600	517	0.3	800
418	0.4	1,400	468	0.2	600	518	0.3	700
419	0.4	1,400	469	0.4	1,300	519	0.2	400
420	0.2	700	470	0.3	1,900	520	0.2	300
421	0.3	900	471	0.2	500	521	0.3	700
422	0.2	1,400	472	0.3	600	522	0.3	600
423	0.4	1,000	473	0.4	1,800	523	0.3	800
424	0.2	600	474	0.3	400	524	0.3	400
425	0.4	1,100	475	0.2	600	525	0.3	800
426	0.4	1,500	476	0.3	1,800	526	0.3	400
427	0.3	500	477	0.4	1,800	527	0.2	400
428	0.4	1,200	478	0.4	1,400	528	0.2	500
429	0.4	700	479	0.4	1,500	529	0.3	900
430	0.3	700	480	0.3	500	530	0.2	600
431	0.3	800	481	0.2	200	531	0.2	200
432	0.2	300	482	0.3	500	532	0.2	300
433	0.2	200	483	0.3	800	533	0.3	300
434	0.3	400	484	0.3	1,300	534	0.2	400
435	0.2	400	485	0.2	500	535	ひび割れ含浸工で集計	
436	0.3	400	486	0.3	1,700	536	ひび割れ含浸工で集計	
437	0.3	400	487	0.2	600	537	0.5	2,800
438	0.2	1,000	488	0.3	1,400	538	0.5	2,500
439	0.2	700	489	0.4	3,300	539	0.5	5,200
440	0.2	1,700	490	0.2	600			
441	0.3	600	491	0.3	1,300			
442	0.3	1,200	492	0.2	400			
443	0.3	2,400	493	0.2	700			
444	0.4	4,800	494	0.2	500			
445	0.3	1,700	495	0.2	600			
446	0.3	1,500	496	0.2	1,100			
447	0.3	2,400	497	0.4	2,300			
448	0.3	1,600	498	0.4	1,600			
449	0.2	700	499	0.3	500			
450	0.3	800	500	0.4	2,300	長さ合計		618,400

（上部工：P1-A2）ひび割れ注入工B（滑） 下面

番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)
1	0.4	900	51	0.2	200	101	0.3	1,100	151	0.2	800
2	0.3	900	52	0.3	700	102	0.3	1,600	152	0.2	2,400
3	0.2	900	53	0.3	500	103	0.4	1,100	153	0.2	2,400
4	0.3	600	54	0.2	400	104	0.3	1,100	154	0.2	800
5	0.2	100	55	0.3	700	105	0.3	500	155	0.2	1,100
6	0.2	800	56	0.2	400	106	0.3	1,900	156	0.3	900
7	0.2	800	57	0.3	600	107	0.3	700	157	0.3	1,300
8	0.2	500	58	0.2	300	108	0.4	1,100	158	0.3	5,200
9	0.2	600	59	0.2	300	109	0.3	1,900	159	0.2	400
10	0.2	800	60	0.2	700	110	0.3	2,100	160	0.2	3,600
11	0.2	200	61	0.2	300	111	0.3	1,500	161	0.4	4,200
12	0.2	400	62	0.3	700	112	0.3	900	162	0.3	4,100
13	0.2	400	63	0.3	700	113	0.3	300	163	0.2	700
14	0.3	900	64	0.2	500	114	0.3	2,100	164	0.3	1,800
15	0.2	900	65	0.2	700	115	0.3	1,400	165	0.3	600
16	0.3	900	66	0.3	600	116	0.3	1,800	166	0.3	2,700
17	0.2	900	67	0.3	500	117	0.3	700	167	0.4	1,700
18	0.3	900	68	0.3	700	118	0.3	500	168	0.3	3,400
19	0.3	900	69	0.4	700	119	0.3	900	169	0.3	2,800
20	0.3	800	70	0.3	700	120	0.3	2,100	170	0.3	5,500
21	0.3	900	71	0.3	400	121	0.2	600	171	0.3	600
22	0.2	600	72	0.3	700	122	0.3	800	172	0.2	800
23	0.2	300	73	0.3	700	123	0.3	900	173	0.3	2,600
24	0.3	800	74	0.3	700	124	0.3	500	174	0.3	2,800
25	0.3	800	75	0.3	700	125	0.3	400	175	0.4	2,300
26	0.3	500	76	0.3	400	126	0.3	1,800	176	0.2	1,200
27	0.3	200	77	0.3	600	127	0.3	1,800	177	0.4	2,700
28	0.2	800	78	0.3	700	128	0.2	1,500	178	0.4	2,400
29	0.3	400	79	0.3	100	129	0.3	800	179	0.3	3,000
30	0.4	500	80	0.3	600	130	0.3	1,200	180	0.3	2,100
31	0.3	300	81	0.3	700	131	0.3	500	181	0.3	1,900
32	0.3	300	82	0.3	600	132	0.4	1,600	182	0.3	900
33	0.3	500	83	0.3	600	133	0.2	600	183	0.3	2,700
34	0.3	400	84	0.3	700	134	0.2	600	184	0.3	1,000
35	0.3	600	85	ひび割れ含浸工で集計		135	0.2	1,500	185	0.3	2,300
36	0.4	500	86	0.3	800	136	0.3	2,900	186	0.3	1,900
37	0.4	700	87	0.3	600	137	0.3	400	187	0.3	1,800
38	0.3	700	88	0.3	1,000	138	0.3	800	188	0.2	1,600
39	0.3	700	89	0.2	800	139	0.4	4,400	189	0.2	2,200
40	0.2	700	90	0.3	600	140	0.2	600	190	0.3	1,300
41	0.2	700	91	0.3	500	141	0.3	800	191	0.3	2,500
42	0.2	400	92	0.3	600	142	0.2	1,200	192	0.3	1,600
43	0.3	700	93	0.3	800	143	0.3	500	193	0.3	1,100
44	0.2	200	94	0.3	600	144	0.4	4,500	194	0.2	1,600
45	0.3	700	95	0.3	600	145	0.3	600	195	0.3	2,300
46	0.3	700	96	0.3	400	146	0.4	1,300	196	0.2	1,800
47	0.2	200	97	0.2	400	147	0.2	1,500	197	0.3	600
48	0.2	200	98	0.3	1,100	148	0.3	900	198	0.2	1,400
49	0.2	200	99	0.3	200	149	0.2	800	199	0.3	2,100
50	0.4	700	100	0.3	600	150	0.2	400	200	0.3	400

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その 7）		
	縮 尺	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 補修詳細図（その８）

（上部工：P1-A2）ひび割れ注入工B（滑） 下面

番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)	番号	幅 (mm)	長さ (mm)
201	0.3	800	251	0.3	900	301	0.2	500	351	0.4	200	401	0.3	1,100	451	0.2	1,800
202	0.2	1,900	252	0.3	900	302	0.3	500	352	0.4	1,700	402	0.4	1,900	452	0.3	1,300
203	0.4	2,100	253	0.3	1,400	303	0.2	400	353	0.2	2,300	403	0.2	2,700	453	0.3	1,200
204	0.2	2,200	254	0.4	1,500	304	0.3	500	354	0.4	2,100	404	0.2	1,700	454	0.3	600
205	0.3	2,500	255	0.3	1,100	305	0.2	500	355	0.3	1,200	405	0.4	1,700	455	0.2	1,100
206	0.3	700	256	0.2	1,000	306	0.3	400	356	0.3	900	406	0.3	2,400	456	0.3	900
207	0.3	1,900	257	0.2	900	307	0.3	400	357	0.2	600	407	0.4	1,300	457	0.3	500
208	0.4	2,600	258	0.3	1,000	308	0.2	900	358	0.3	2,600	408	0.3	3,400	458	0.2	1,500
209	0.2	900	259	0.4	3,500	309	0.3	1,000	359	0.2	600	409	0.3	1,000	459	0.2	600
210	0.4	2,200	260	0.3	2,500	310	0.3	700	360	0.2	2,300	410	0.3	5,700	460	0.3	1,100
211	0.2	400	261	0.3	900	311	0.3	2,000	361	0.3	3,300	411	0.3	1,800	461	0.3	1,100
212	0.3	2,600	262	0.2	1,800	312	0.2	800	362	0.3	800	412	0.3	1,800	462	0.3	2,400
213	0.2	800	263	0.3	500	313	0.3	2,400	363	0.3	1,100	413	0.2	3,300	463	0.3	900
214	0.3	3,100	264	0.2	600	314	0.3	1,300	364	0.3	2,300	414	0.2	700	464	0.3	1,300
215	0.3	1,600	265	0.3	1,000	315	0.3	700	365	0.2	1,000	415	0.3	2,300	465	0.3	600
216	0.4	1,200	266	0.3	900	316	0.3	900	366	0.3	5,800	416	0.2	2,800	466	0.3	700
217	0.3	600	267	0.3	800	317	0.3	1,400	367	0.3	500	417	0.3	2,100	467	0.3	1,300
218	0.3	700	268	0.3	900	318	0.2	400	368	0.3	900	418	0.3	400	468	0.3	900
219	0.3	2,200	269	0.3	1,000	319	0.3	900	369	0.3	1,200	419	0.2	3,000	469	ひび割れ含浸工で集計	
220	0.2	200	270	0.2	1,000	320	0.3	900	370	0.3	900	420	0.2	1,600	470	ひび割れ含浸工で集計	
221	0.2	1,600	271	0.2	2,100	321	0.2	1,100	371	0.4	1,400	421	0.4	3,000	471	ひび割れ含浸工で集計	
222	0.3	1,000	272	0.3	1,100	322	0.3	1,200	372	0.2	1,700	422	0.3	300	472	ひび割れ含浸工で集計	
223	0.3	2,200	273	0.2	200	323	0.2	400	373	0.2	1,300	423	0.2	1,300	473	0.5	1,000
224	0.2	200	274	0.3	1,500	324	0.3	1,900	374	0.3	2,000	424	0.2	1,000	474	0.5	1,300
225	0.4	1,700	275	0.3	1,800	325	0.3	500	375	0.3	400	425	0.2	1,100	475	0.5	1,600
226	0.2	700	276	0.2	1,700	326	0.3	500	376	0.3	400	426	0.3	1,200			
227	0.2	1,400	277	0.3	700	327	0.2	2,200	377	0.4	1,700	427	0.4	1,000			
228	0.2	700	278	0.2	1,000	328	0.3	1,000	378	0.3	1,800	428	0.3	400			
229	0.3	1,400	279	0.2	900	329	0.2	300	379	0.2	900	429	0.3	1,300			
230	0.3	1,300	280	0.2	1,200	330	0.2	1,400	380	0.4	5,200	430	0.2	1,000			
231	0.3	600	281	0.3	1,800	331	0.3	2,000	381	0.3	2,200	431	0.2	500			
232	0.3	800	282	0.2	600	332	0.3	700	382	0.4	4,400	432	0.2	1,200			
233	0.3	1,300	283	0.2	900	333	0.4	1,000	383	0.2	1,800	433	0.2	700			
234	0.3	2,800	284	0.3	500	334	0.3	700	384	0.2	3,500	434	0.3	1,300			
235	0.3	700	285	0.3	2,400	335	0.2	600	385	0.4	6,200	435	0.3	400			
236	0.3	500	286	0.2	1,000	336	0.2	400	386	0.2	800	436	0.4	1,600			
237	0.3	1,600	287	0.3	500	337	0.3	2,700	387	0.3	2,300	437	0.2	900			
238	0.2	2,100	288	0.2	1,000	338	0.3	1,600	388	0.3	1,800	438	0.3	3,100			
239	0.3	900	289	0.3	2,300	339	0.3	2,500	389	0.3	1,600	439	0.3	400			
240	0.3	1,700	290	0.3	900	340	0.3	300	390	0.3	700	440	0.3	1,200			
241	0.3	600	291	0.3	3,000	341	0.3	900	391	0.3	1,500	441	0.2	1,300			
242	0.4	1,700	292	0.2	600	342	0.3	1,500	392	0.2	1,000	442	0.2	1,200			
243	0.2	3,000	293	0.3	200	343	0.3	600	393	0.3	1,600	443	0.2	800			
244	0.3	1,000	294	0.4	900	344	0.4	1,500	394	0.3	700	444	0.2	900			
245	0.2	1,000	295	0.3	1,500	345	0.2	500	395	0.2	2,000	445	0.2	800			
246	0.3	1,400	296	0.3	500	346	0.3	800	396	0.2	1,300	446	0.3	2,100			
247	0.2	1,000	297	0.3	700	347	0.3	700	397	0.4	1,400	447	0.3	1,200			
248	0.3	1,300	298	0.3	500	348	0.4	700	398	0.2	800	448	0.3	200			
249	0.4	1,400	299	0.3	300	349	0.2	700	399	0.4	1,600	449	0.3	200			
250	0.2	1,700	300	0.3	300	350	0.4	900	400	0.3	3,100	450	0.2	800	長さ延長		585.300

（上部工）ひび割れ注入工B（滑） 集計表

箇所	ひび割れ注入工 (m)
（上部工：A1-P1）下面	618.4
（上部工：P1-A2）下面	585.3
合計	1203.7

（上部工：A1-P1）ひび割れ含浸工A（滑） 下面

番号	幅 (mm)	長さ (mm)
18	0.2	200
535	0.3	300
536	0.2	300
長さ合計		800

（上部工：P1-A2）ひび割れ含浸工A（滑） 下面

番号	幅 (mm)	長さ (mm)
85	0.2	200
469	0.3	800
470	0.2	300
471	0.3	500
472	0.3	700
長さ合計		2,500

（上部工）ひび割れ含浸工A（滑） 集計表

箇所	ひび割れ含浸工 (m)
（上部工：A1-P1）下面	0.8
（上部工：P1-A2）下面	2.5
合計	3.3

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その８）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

## 公園駅南通大橋 補修詳細図（その９）

（上部工：A1-P1）コンクリートはつりエＢ（滑）下面

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	コンクリートはつり (m3)
1	0.100	0.100	0.010	0.068	0.001
2	0.350	0.200	0.070	0.068	0.005
3	0.100	0.600	0.060	0.057	0.003
4	1.600	0.200	0.320	0.057	0.018
5	0.100	0.100	0.010	0.057	0.001
6	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
7	0.100	0.400	0.040	0.059	0.002
8	0.500	0.100	0.050	0.059	0.003
9	0.200	0.100	0.020	0.059	0.001
10	1.600	0.200	0.320	0.059	0.019
11	0.200	0.200	0.040	0.059	0.002
12	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
13	1.400	0.400	0.560	0.059	0.033
14	0.600	0.300	0.180	0.059	0.011
15	0.700	0.200	0.140	0.059	0.008
16	0.500	0.400	0.200	0.059	0.012
17	1.100	0.400	0.440	0.059	0.026
18	0.500	0.300	0.150	0.059	0.009
19	0.500	0.500	0.250	0.059	0.015
20	0.200	0.200	0.040	0.059	0.002
21	0.600	0.400	0.240	0.059	0.014
22	0.500	0.100	0.050	0.059	0.003
23	0.200	0.100	0.020	0.059	0.001
24	0.200	0.100	0.020	0.059	0.001
25	0.300	0.200	0.060	0.059	0.004
26	0.700	0.300	0.210	0.059	0.012
27	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
28	0.900	0.600	0.540	0.059	0.032
29	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
30	0.200	0.300	0.060	0.059	0.004
31	0.500	0.200	0.100	0.059	0.006
32	0.100	0.400	0.040	0.059	0.002
33	0.300	0.400	0.120	0.059	0.007
34	0.100	1.200	0.120	0.059	0.007
35	0.300	0.500	0.150	0.059	0.009
36	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
37	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
38	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
39	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
40	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
41	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
42	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
43	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
44	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
45	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
46	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
47	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
48	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
49	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
50	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
A1-P1（下面） 合計					0.306

（上部工：P1-A2）コンクリートはつりエＢ（滑）下面

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	コンクリートはつり (m3)
1	0.050	0.050	0.003	0.068	0.001
2	0.050	0.050	0.003	0.068	0.001
3	0.050	0.050	0.003	0.068	0.001
4	0.050	0.050	0.003	0.068	0.001
5	0.100	0.100	0.010	0.068	0.001
6	0.100	0.100	0.010	0.068	0.001
7	0.100	0.100	0.010	0.068	0.001
8	0.300	0.700	0.210	0.057	0.012
9	1.600	0.200	0.320	0.057	0.018
10	0.200	0.200	0.040	0.059	0.002
11	1.100	0.300	0.330	0.059	0.019
12	1.300	0.400	0.520	0.059	0.031
13	0.200	0.300	0.060	0.059	0.004
14	0.400	0.100	0.040	0.059	0.002
15	0.200	0.200	0.040	0.059	0.002
16	0.300	0.400	0.120	0.059	0.007
17	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
18	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
19	0.200	0.100	0.020	0.059	0.001
20	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
21	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
22	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
23	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
24	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
25	0.200	0.300	0.060	0.059	0.004
26	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
27	0.800	0.100	0.080	0.059	0.005
28	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
29	0.400	0.400	0.160	0.059	0.009
30	0.400	0.600	0.240	0.059	0.014
31	0.400	0.400	0.160	0.059	0.009
32	0.300	0.300	0.090	0.059	0.005
33	0.200	0.100	0.020	0.059	0.001
34	0.100	0.100	0.010	0.059	0.001
35	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
36	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
37	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
38	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
39	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
40	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
41	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
42	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
43	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
44	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
45	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
46	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
47	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
48	0.350	0.100	0.035	0.059	0.002
（上部工：P1-A2） 合計					0.190

（上部工）コンクリートはつりエＢ 集計表

箇所	コンクリートはつり (m3)
（上部工：A1-P1）下面	0.306
（上部工：P1-A2）下面	0.190
（上部工：P1-A2）橋面	0.030
合計	0.526

（上部工：A1-A2）コンクリートはつりエＢ（滑）橋面

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	コンクリートはつり (m3)
1	0.200	0.200	0.040	0.068	0.003
2	0.250	0.150	0.038	0.068	0.003
3	0.100	0.100	0.010	0.068	0.001
4	0.100	0.100	0.010	0.068	0.001
5	0.200	0.200	0.040	0.068	0.003
6	0.150	0.650	0.098	0.068	0.007
7	0.300	0.300	0.090	0.068	0.006
8	0.150	0.100	0.015	0.068	0.001
9	0.150	0.500	0.075	0.068	0.005
P1-A2（橋面）合計					0.030

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その９）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



## 公園駅南通大橋 補修詳細図（その１０）

（上部工：A1-P1）断面修復工A 2－2（滑）下面

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	断面修復 (L)
1	0.100	0.100	0.010	0.068	0.7
2	0.350	0.200	0.070	0.068	4.8
3	0.100	0.600	0.060	0.057	3.4
4	1.600	0.200	0.320	0.057	18.2
5	0.100	0.100	0.010	0.057	0.6
6	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
7	0.100	0.400	0.040	0.059	2.4
8	0.500	0.100	0.050	0.059	3.0
9	0.200	0.100	0.020	0.059	1.2
10	1.600	0.200	0.320	0.059	18.9
11	0.200	0.200	0.040	0.059	2.4
12	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
13	1.400	0.400	0.560	0.059	33.0
14	0.600	0.300	0.180	0.059	10.6
15	0.700	0.200	0.140	0.059	8.3
16	0.500	0.400	0.200	0.059	11.8
17	1.100	0.400	0.440	0.059	26.0
18	0.500	0.300	0.150	0.059	8.9
19	0.500	0.500	0.250	0.059	14.8
20	0.200	0.200	0.040	0.059	2.4
21	0.600	0.400	0.240	0.059	14.2
22	0.500	0.100	0.050	0.059	3.0
23	0.200	0.100	0.020	0.059	1.2
24	0.200	0.100	0.020	0.059	1.2
25	0.300	0.200	0.060	0.059	3.5
26	0.700	0.300	0.210	0.059	12.4
27	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
28	0.900	0.600	0.540	0.059	31.9
29	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
30	0.200	0.300	0.060	0.059	3.5
31	0.500	0.200	0.100	0.059	5.9
32	0.100	0.400	0.040	0.059	2.4
33	0.300	0.400	0.120	0.059	7.1
34	0.100	1.200	0.120	0.059	7.1
35	0.300	0.500	0.150	0.059	8.9
36	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
37	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
38	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
39	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
40	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
41	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
42	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
43	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
44	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
45	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
46	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
47	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
48	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
49	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
50	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
A1-P1（下面） 合計					306.1

（上部工：P1-A2）断面修復工A 2－2（滑）下面

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	断面修復 (L)
1	0.050	0.050	0.003	0.068	0.2
2	0.050	0.050	0.003	0.068	0.2
3	0.050	0.050	0.003	0.068	0.2
4	0.050	0.050	0.003	0.068	0.2
5	0.100	0.100	0.010	0.068	0.7
6	0.100	0.100	0.010	0.068	0.7
7	0.100	0.100	0.010	0.068	0.7
8	0.300	0.700	0.210	0.057	12.0
9	1.600	0.200	0.320	0.057	18.2
10	0.200	0.200	0.040	0.059	2.4
11	1.100	0.300	0.330	0.059	19.5
12	1.300	0.400	0.520	0.059	30.7
13	0.200	0.300	0.060	0.059	3.5
14	0.400	0.100	0.040	0.059	2.4
15	0.200	0.200	0.040	0.059	2.4
16	0.300	0.400	0.120	0.059	7.1
17	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
18	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
19	0.200	0.100	0.020	0.059	1.2
20	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
21	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
22	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
23	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
24	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
25	0.200	0.300	0.060	0.059	3.5
26	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
27	0.800	0.100	0.080	0.059	4.7
28	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
29	0.400	0.400	0.160	0.059	9.4
30	0.400	0.600	0.240	0.059	14.2
31	0.400	0.400	0.160	0.059	9.4
32	0.300	0.300	0.090	0.059	5.3
33	0.200	0.100	0.020	0.059	1.2
34	0.100	0.100	0.010	0.059	0.6
35	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
36	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
37	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
38	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
39	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
40	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
41	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
42	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
43	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
44	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
45	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
46	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
47	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
48	0.350	0.100	0.035	0.059	2.1
（上部工：P1-A2） 合計					185.4

（上部工）断面修復工A 2－2（滑） 集計表

箇所	断面修復 (L)
（上部工：A1-P1）下面	306.1
（上部工：P1-A2）下面	185.4
（上部工：P1-A2）橋面	28.3
合計	519.8

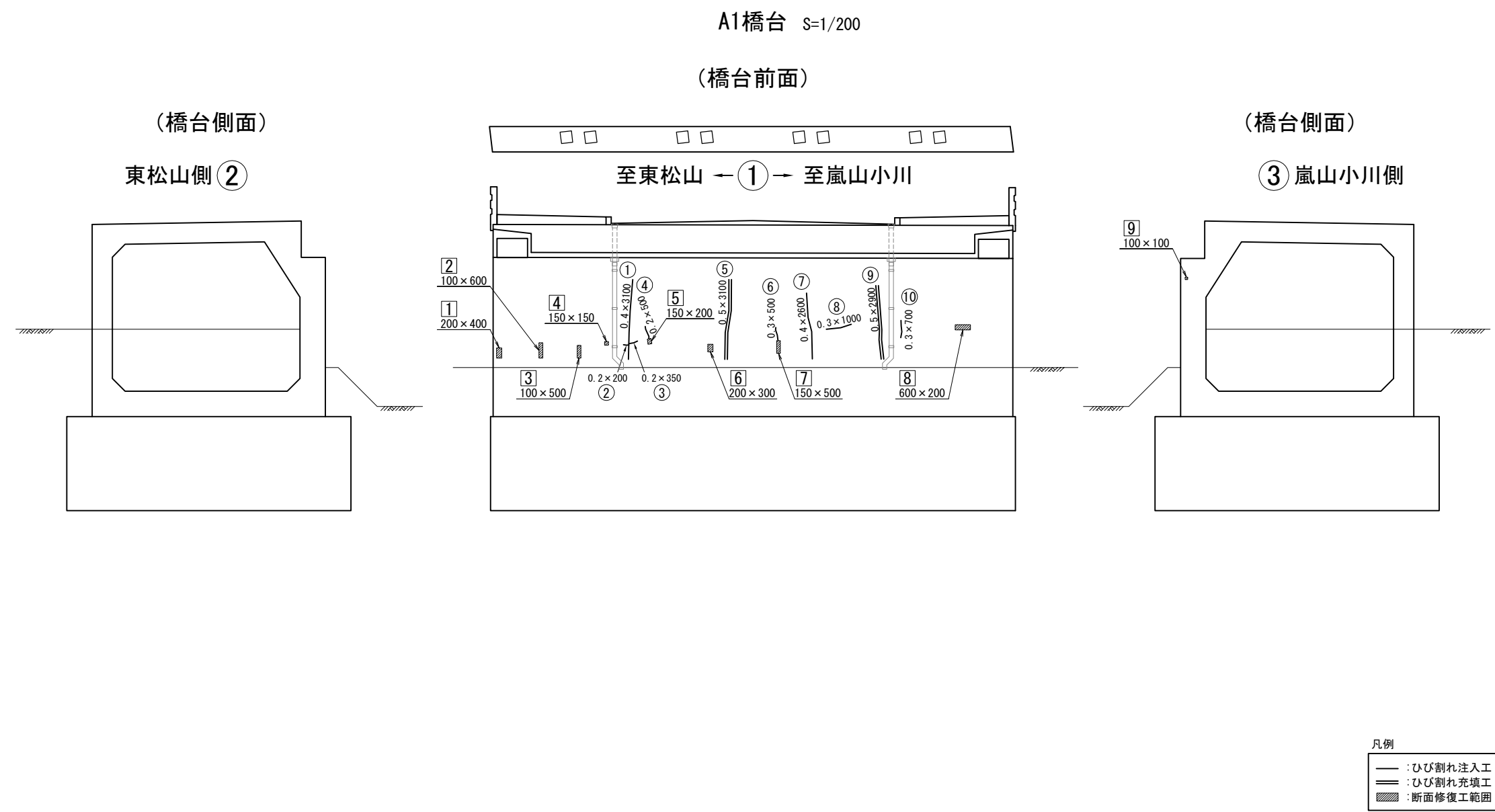
（上部工：A1-A2）断面修復工A 2－2（滑）橋面

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	断面修復 (L)
1	0.200	0.200	0.040	0.068	2.7
2	0.250	0.150	0.038	0.068	2.6
3	0.100	0.100	0.010	0.068	0.7
4	0.100	0.100	0.010	0.068	0.7
5	0.200	0.200	0.040	0.068	2.7
6	0.150	0.650	0.098	0.068	6.7
7	0.300	0.300	0.090	0.068	6.1
8	0.150	0.100	0.015	0.068	1.0
9	0.150	0.500	0.075	0.068	5.1
P1-A2（橋面）合計					28.3

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１０）		
	縮 尺	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 補修詳細図（その 1 1）

ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 コンクリートはつり工 断面修復工 表面保護工

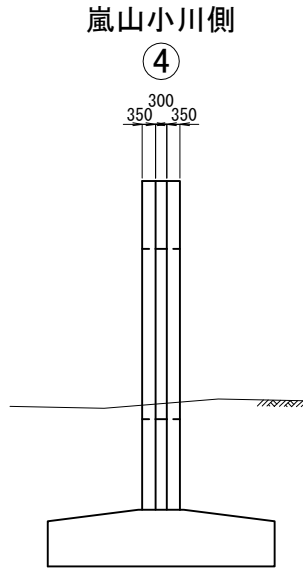
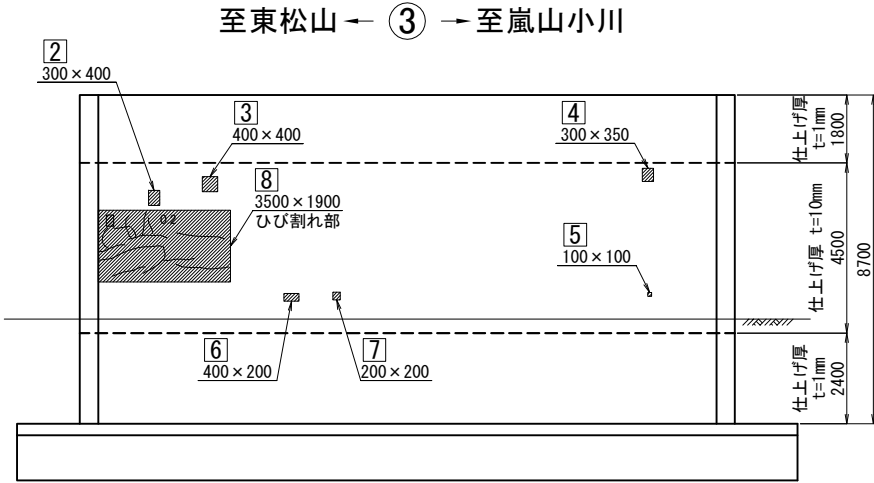
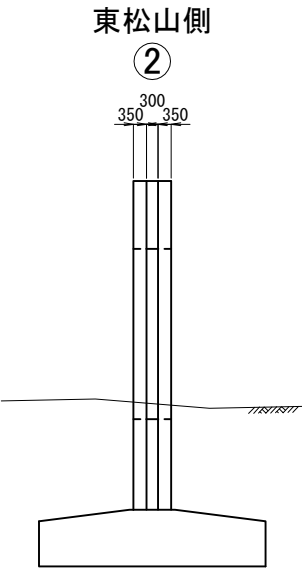
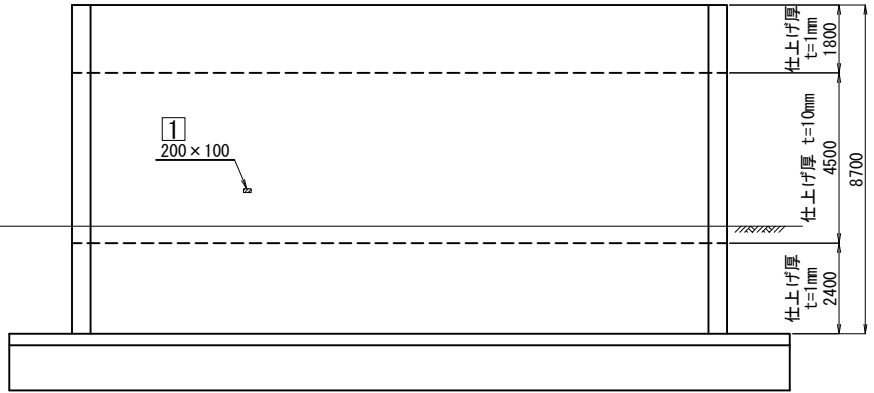
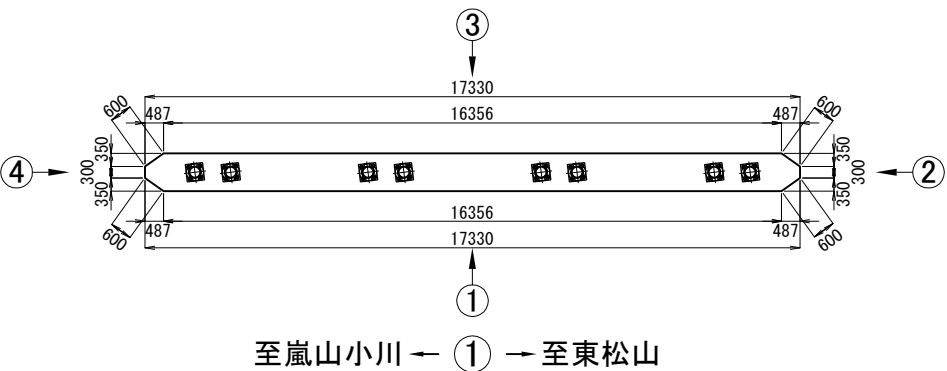


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その 1 1）		
縮 尺	1/200	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

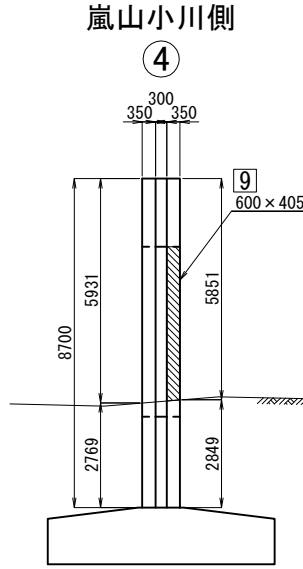
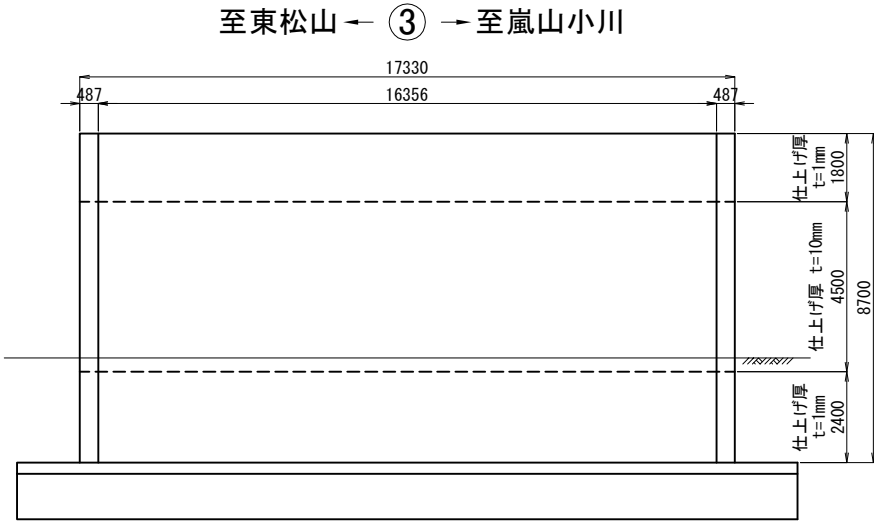
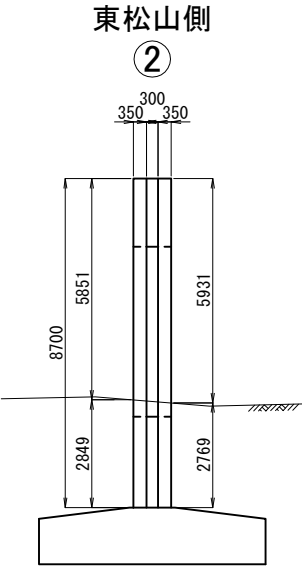
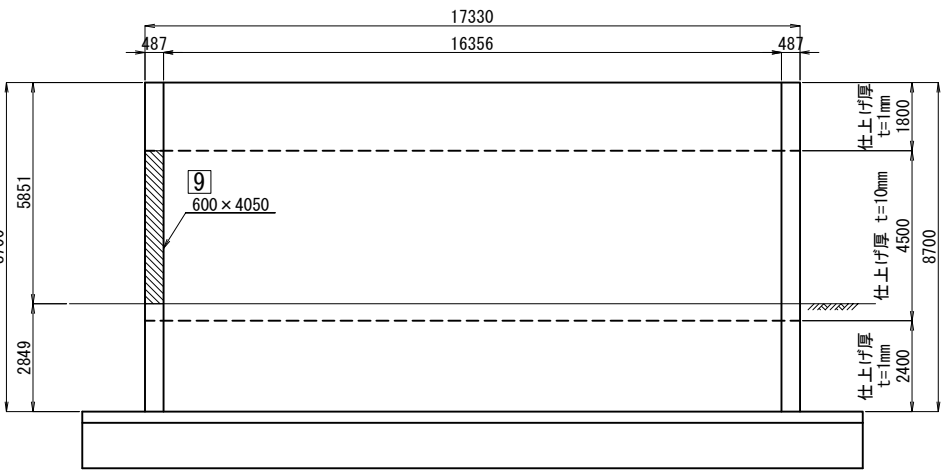
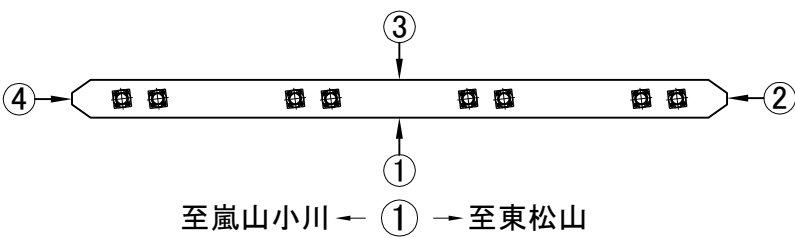
公園駅南通大橋 補修詳細図（その１２）

P1橋脚 S=1/200

表面仕上げ補修工 A 1（滑）（夜）  
（橋梁耐震補強部）



表面仕上げ補修工 A 2（滑）（夜）  
（橋梁耐震補強部）

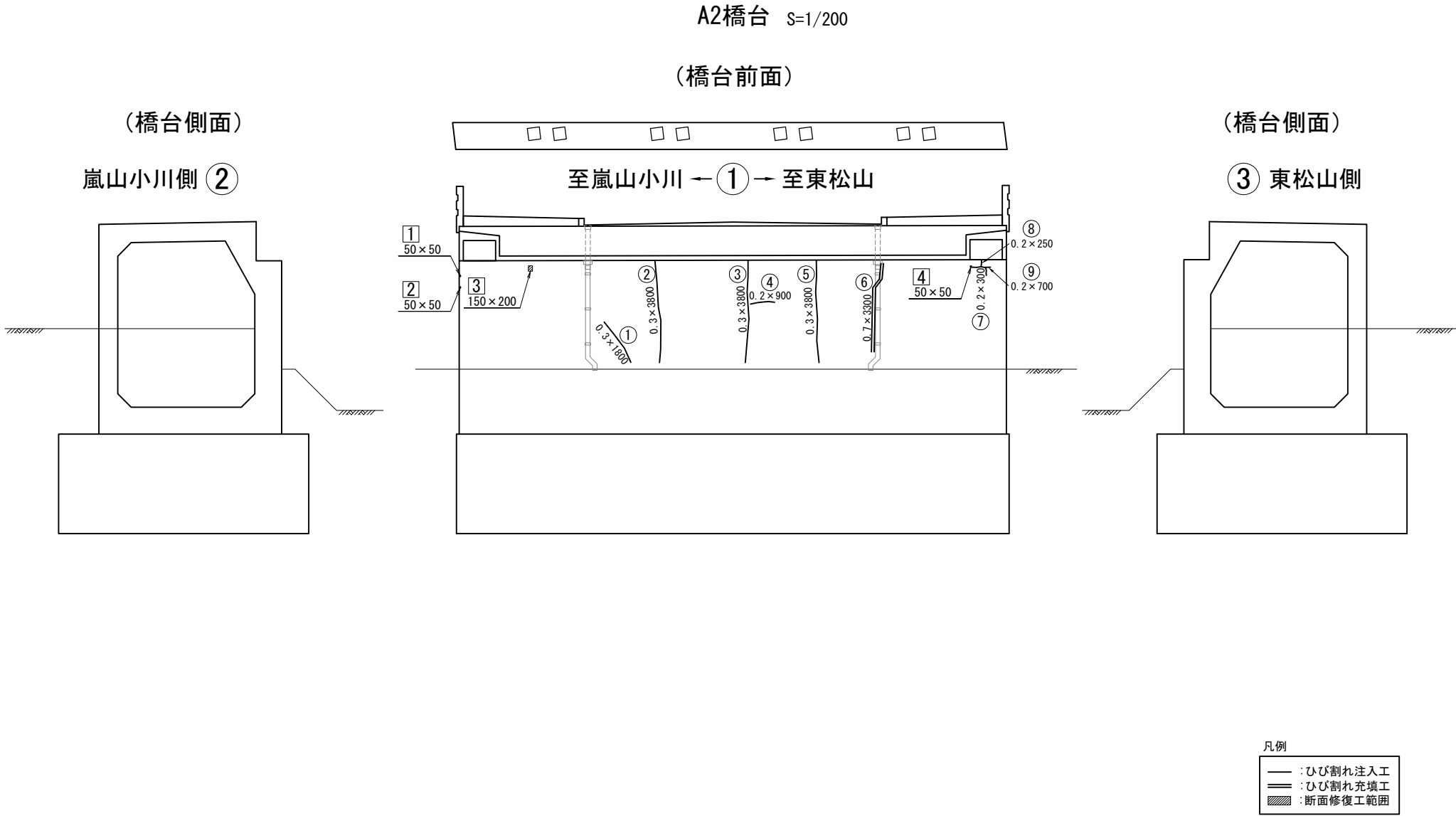


凡例  
■ : 表面仕上げ補修工 A 1（滑）（夜）範囲  
■ : 表面仕上げ補修工 A 2（滑）（夜）範囲

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１２）		
縮 尺	1/200	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 補修詳細図（その１３）

ひび割れ注入工 ひび割れ充填工 コンクリートはつり工 断面修復工 表面保護工



関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１３）		
縮 尺	1/200	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

## 公園駅南通大橋 補修詳細図（その１４）

（下部工：A1）ひび割れ注入工A 1（滑）（夜）

番号	幅 (mm)	長さ (mm)
1	0.4	3,100
2	0.2	200
3	0.2	350
4	0.2	500
6	0.3	500
7	0.4	2,600
8	0.3	1,000
10	0.3	700
長さ合計		8,950

（下部工：A1）コンクリートはつり工A 1（滑）（夜）

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	コンクリートはつり (m3)
1	0.200	0.400	0.080	0.112	0.009
2	0.100	0.600	0.060	0.112	0.007
3	0.100	0.500	0.050	0.112	0.006
4	0.150	0.150	0.023	0.112	0.003
5	0.150	0.200	0.030	0.112	0.003
6	0.200	0.300	0.060	0.112	0.007
7	0.150	0.500	0.075	0.112	0.008
8	0.600	0.200	0.120	0.112	0.013
9	0.100	0.100	0.010	0.098	0.001
合計					0.057

（下部工：A1）断面修復工A 2－1－1（滑）（夜）

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	断面修復 (L)
1	0.200	0.400	0.080	0.112	9.0
2	0.100	0.600	0.060	0.112	6.7
3	0.100	0.500	0.050	0.112	5.6
4	0.150	0.150	0.023	0.112	2.6
5	0.150	0.200	0.030	0.112	3.4
6	0.200	0.300	0.060	0.112	6.7
7	0.150	0.500	0.075	0.112	8.4
8	0.600	0.200	0.120	0.112	13.4
9	0.100	0.100	0.010	0.098	1.0
合計					56.8

表面保護工（極小部）  
（下部工：A1）コンクリート表面被覆工A 1（滑）（夜）

番号	長さ (m)	幅 (m)	表面保護 (m2)
1	0.200	0.400	0.08
2	0.100	0.600	0.06
3	0.100	0.500	0.05
4	0.150	0.150	0.02
5	0.150	0.200	0.03
6	0.200	0.300	0.06
7	0.150	0.500	0.08
8	0.600	0.200	0.12
9	0.100	0.100	0.01
合計			0.51

（下部工：A2）ひび割れ注入工A 2（滑）（夜）

番号	幅 (mm)	長さ (mm)
1	0.3	1,800
2	0.3	3,800
3	0.3	3,800
4	0.2	900
5	0.3	3,800
7	0.2	300
8	0.2	250
9	0.2	700
長さ合計		15,350

（下部工：A2）コンクリートはつり工A 2（滑）（夜）

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	コンクリートはつり (m3)
1	0.050	0.050	0.003	0.112	0.001
2	0.050	0.050	0.003	0.112	0.001
3	0.150	0.200	0.030	0.112	0.003
4	0.050	0.050	0.003	0.112	0.001
合計					0.006

（下部工：A2）断面修復工A 2－1－2（滑）（夜）

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)	深さ (m)	断面修復 (L)
1	0.050	0.050	0.003	0.112	0.3
2	0.050	0.050	0.003	0.112	0.3
3	0.150	0.200	0.030	0.112	3.4
4	0.050	0.050	0.003	0.112	0.3
合計					4.3

表面保護工（極小部）  
（下部工：A2）コンクリート表面被覆工A 2（滑）（夜）

番号	長さ (m)	幅 (m)	表面保護 (m2)
1	0.050	0.050	0.003
2	0.050	0.050	0.003
3	0.150	0.200	0.030
4	0.050	0.050	0.003
合計			0.039

（下部工：A1）ひび割れ充填工A 1（滑）（夜）

番号	幅 (mm)	長さ (mm)
5	0.5	3,100
9	0.5	2,900
長さ合計		6,000

（下部工：A2）ひび割れ充填工A 2（滑）（夜）

番号	幅 (mm)	長さ (mm)
6	0.7	3,300
長さ合計		3,300

（下部工：P1）表面仕上げ補修工A 1（滑）（夜）

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)
1	0.200	0.100	0.020
2	0.300	0.400	0.120
3	0.400	0.400	0.160
4	0.300	0.350	0.105
5	0.100	0.100	0.010
6	0.400	0.200	0.080
7	0.200	0.200	0.040
8	3.500	1.900	6.650
合計			7.185

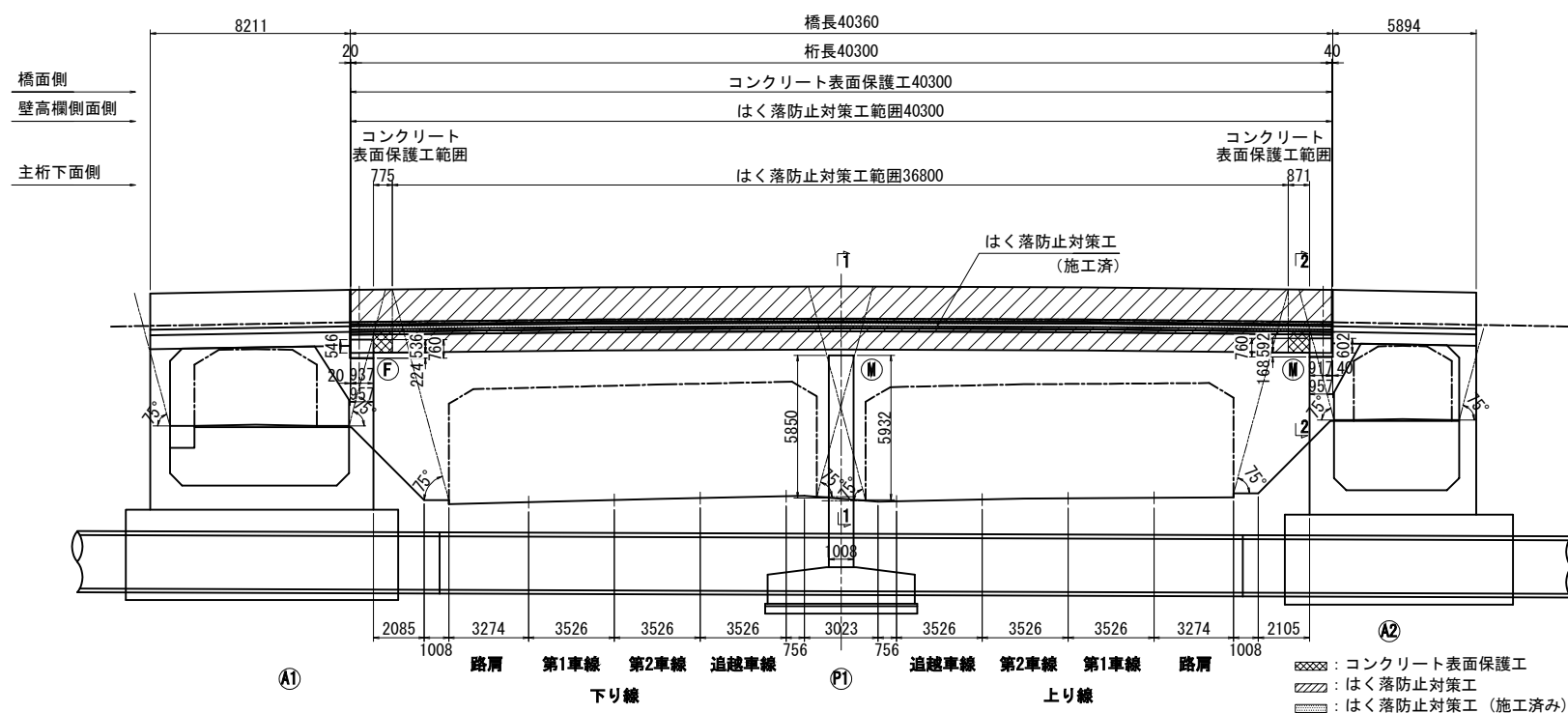
（下部工：P1）表面仕上げ補修工A 2（滑）（夜）

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m2)
9	0.600	4.050	2.430
合計			2.430

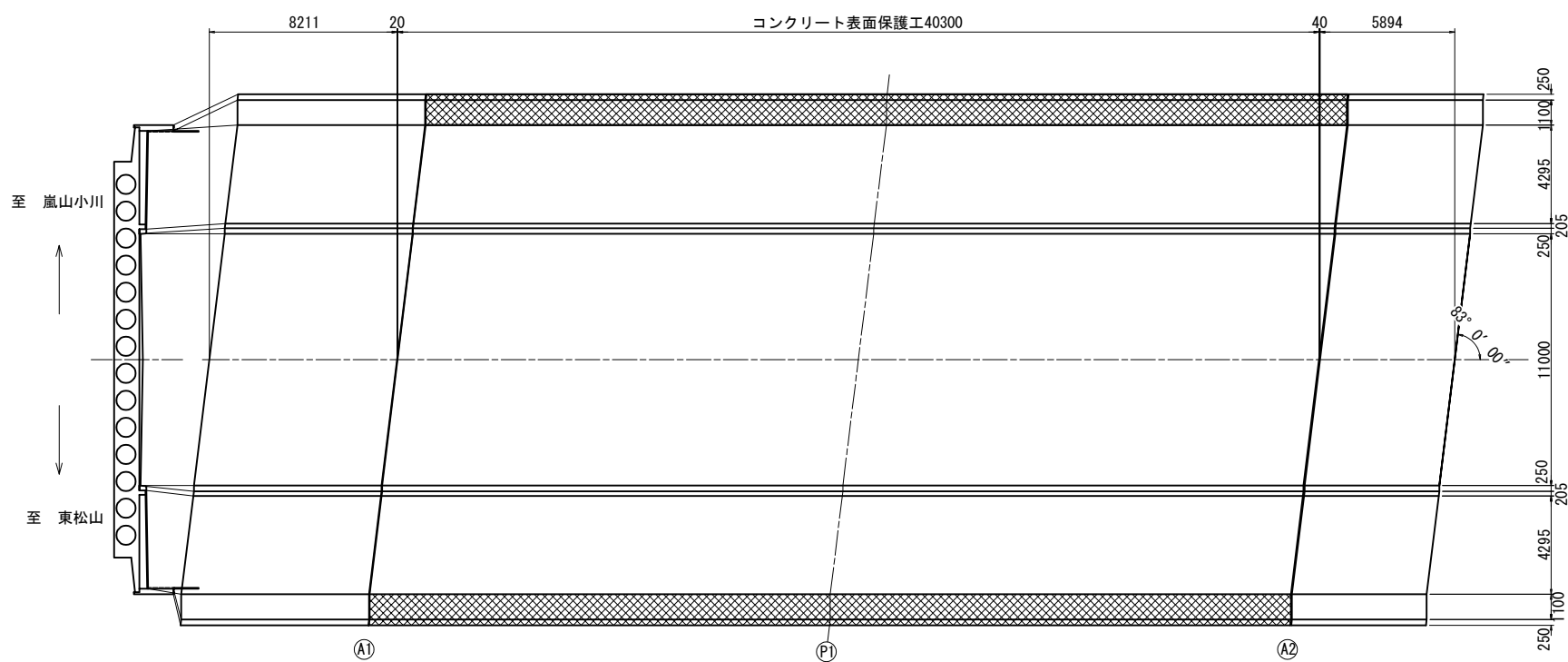
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 補修詳細図（その１４）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 はく落防止対策工・コンクリート表面保護工図（その１）

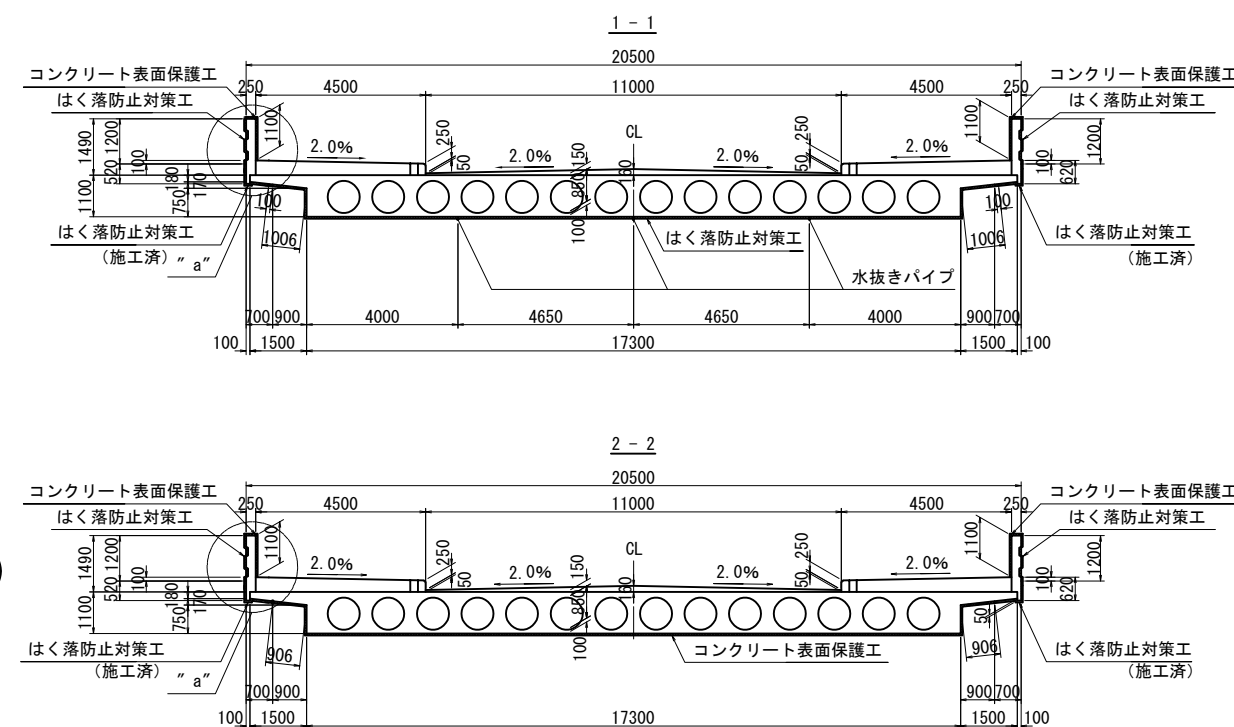
側面図 S=1/300



平 面 図(橋面側) S=1/300

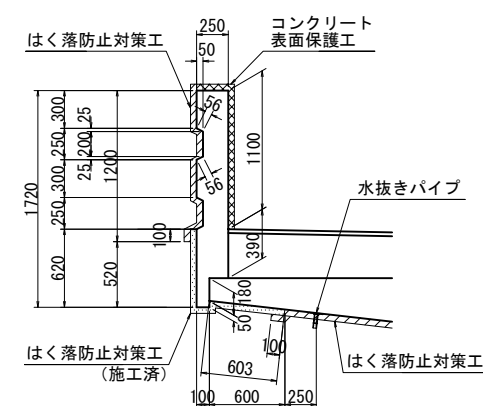


断面図 S=1/200



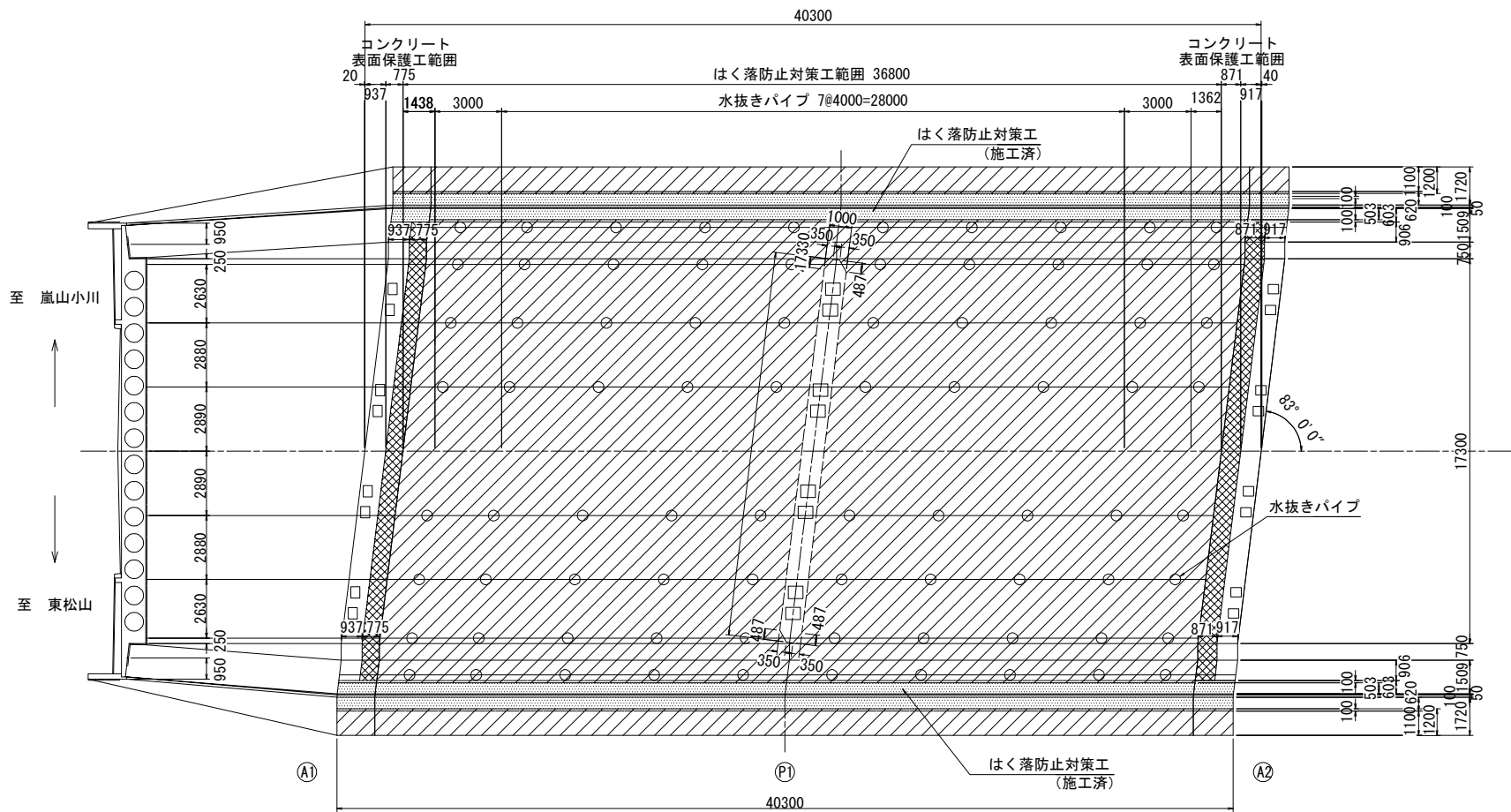
※A1橋台～A2橋台まで高欄部(W=620)、張り出し部(W=700)はく落防止対策工施工済み。

” a” 部 詳細図 s=1/60



関越自動車道 大泉高架橋補修工事		
図面の種類	公園駅南通大橋 はく落防止対策工・コンクリート 表面保護工図（その１）	
縮 尺	図示	図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所	

展開図（桁下側） S=1/300



※A1橋台～A2橋台まで高欄部(W=620)、張り出し部(W=700)  
はく落防止対策工施工済み。

凡例  
○：水抜きパイプ  
▨：コンクリート表面保護工  
▧：はく落防止対策工  
▩：はく落防止対策工（施工済み）

（上部工）はく落防止対策工B（滑）

工 種	単 位	上下線区分	支 間	施工数量
はく落防止対策工B（滑）	m2	下り線	A1-P1	427.7
		上り線	P1-P2	427.8
		合計		855.5

（上部工）コンクリート表面処理工B（滑）

工 種	単 位	上下線区分	支 間	施工数量
コンクリート表面処理工B（滑）	m2	下り線	A1-P1	427.7
		上り線	P1-P2	427.8
		合計		855.5

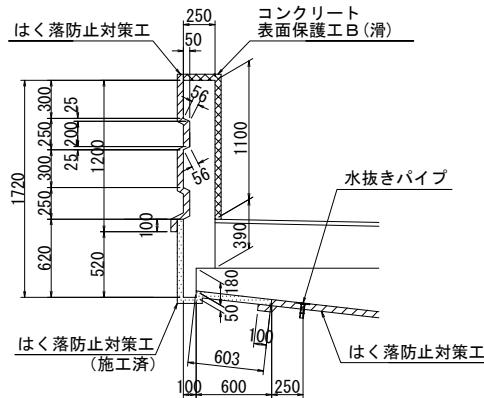
（上部工）表面保護工 コンクリート表面被覆工B（滑）

工 種	単 位	上下線区分	支 間	施工数量
コンクリート表面被覆工B（滑）	m2	下り線	A1-P1	16.0
		上り線	P1-P2	18.0
		合計		34.0

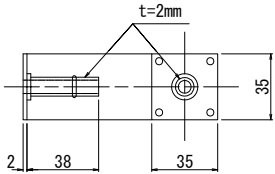
（壁高欄橋面側）表面保護工 コンクリート表面被覆工B（滑）

工 種	単 位	箇所	支 間	施工数量
コンクリート表面被覆工B（滑）	m2	東松山側	A1-A2	54.4
		嵐山小川側	A1-A2	54.4
		合計		108.8

水抜きパイプ詳細図 S=1/60



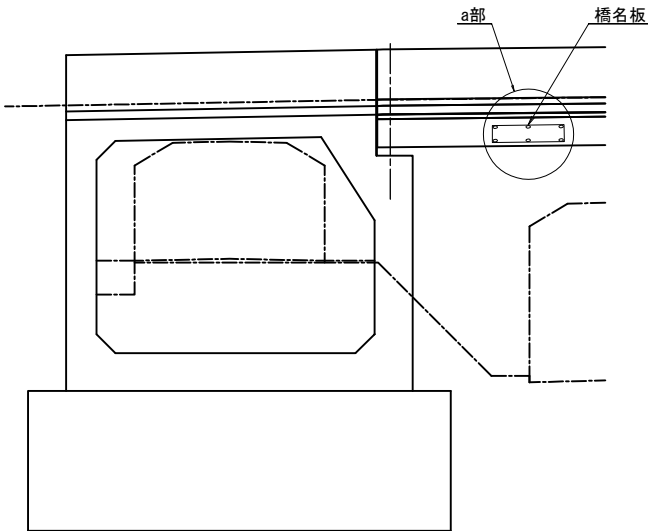
水抜きパイプ S=1/4



注1: 上図の水抜きパイプの形状・寸法は参考である。  
注2: 水抜きパイプの材質は、硬質塩化ビニル管やポリプロピレン管等の耐食性や耐候性が有るものとする。

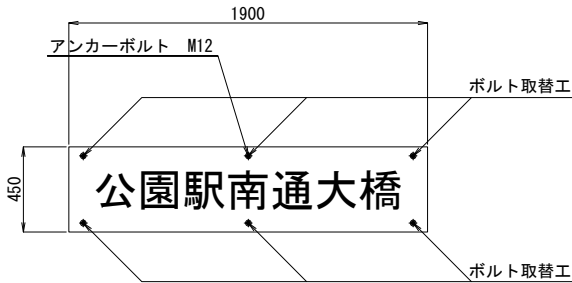
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 はく落防止対策工・コンクリート 表面保護工図（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

A1側 断面図 S=1/200



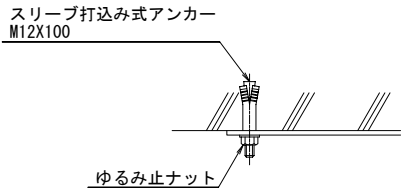
a部詳細図 S=1/40

橋名板 N=2ヶ所

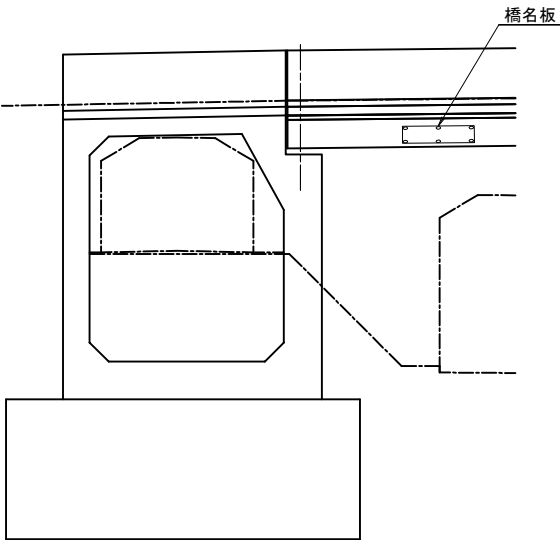


※ 橋名板は、はく落防止対策工の施工前に一時撤去し、その際に既設ボルトも撤去する。  
※ はく落防止対策工の施工後にボルトを新設し、橋名板を再設置する。

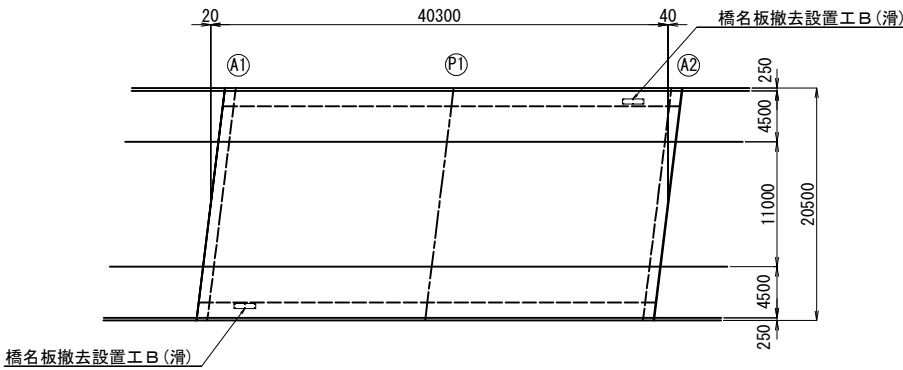
ボルト詳細図 S=1/10



A2側 断面図 S=1/200



位置図



橋名板撤去設置工B(滑)

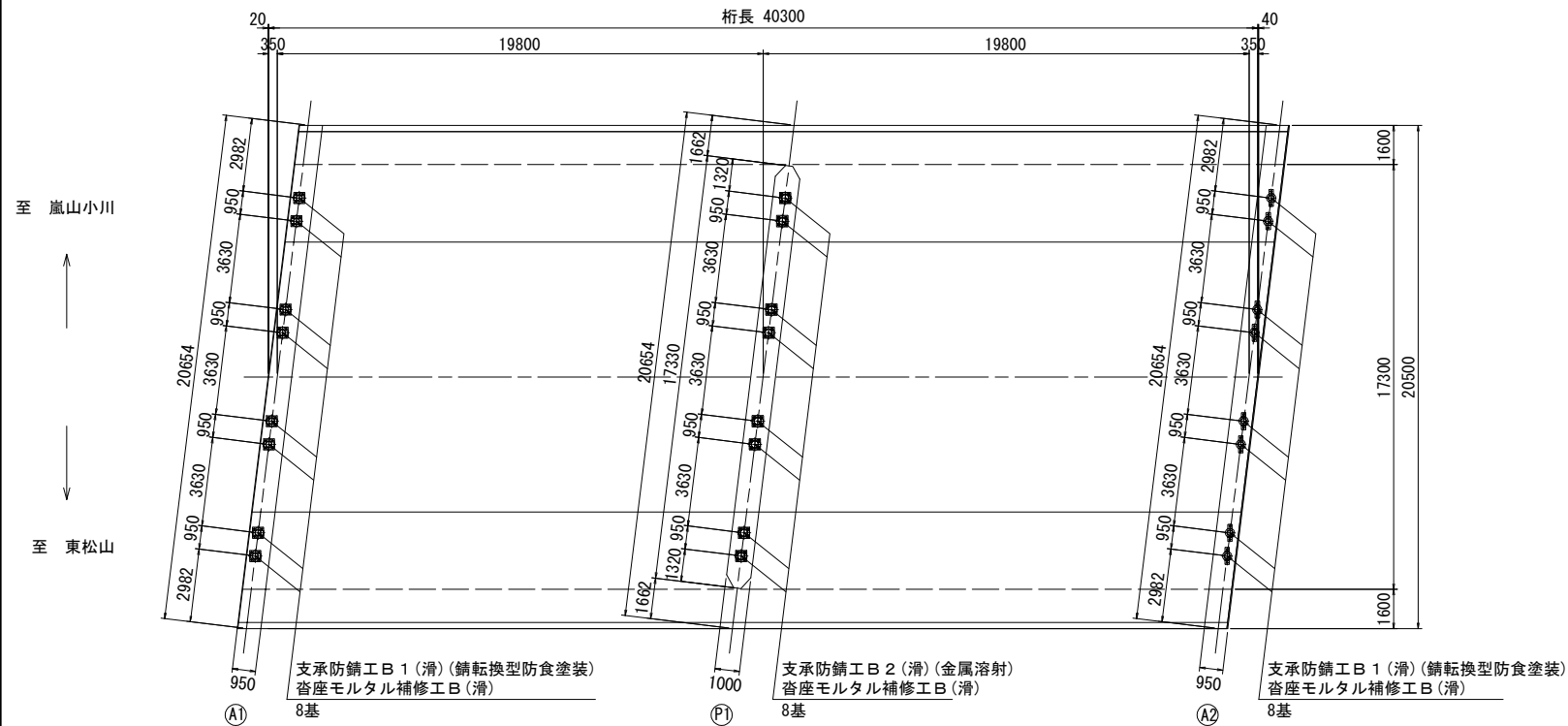
上下線区分	区 分	支間・橋脚	数量 (枚)	摘要
上り線	上部工	P1-A2	1.0	
下り線	上部工	A1-P1	1.0	
合 計			2.0	

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 橋名板撤去設置工		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

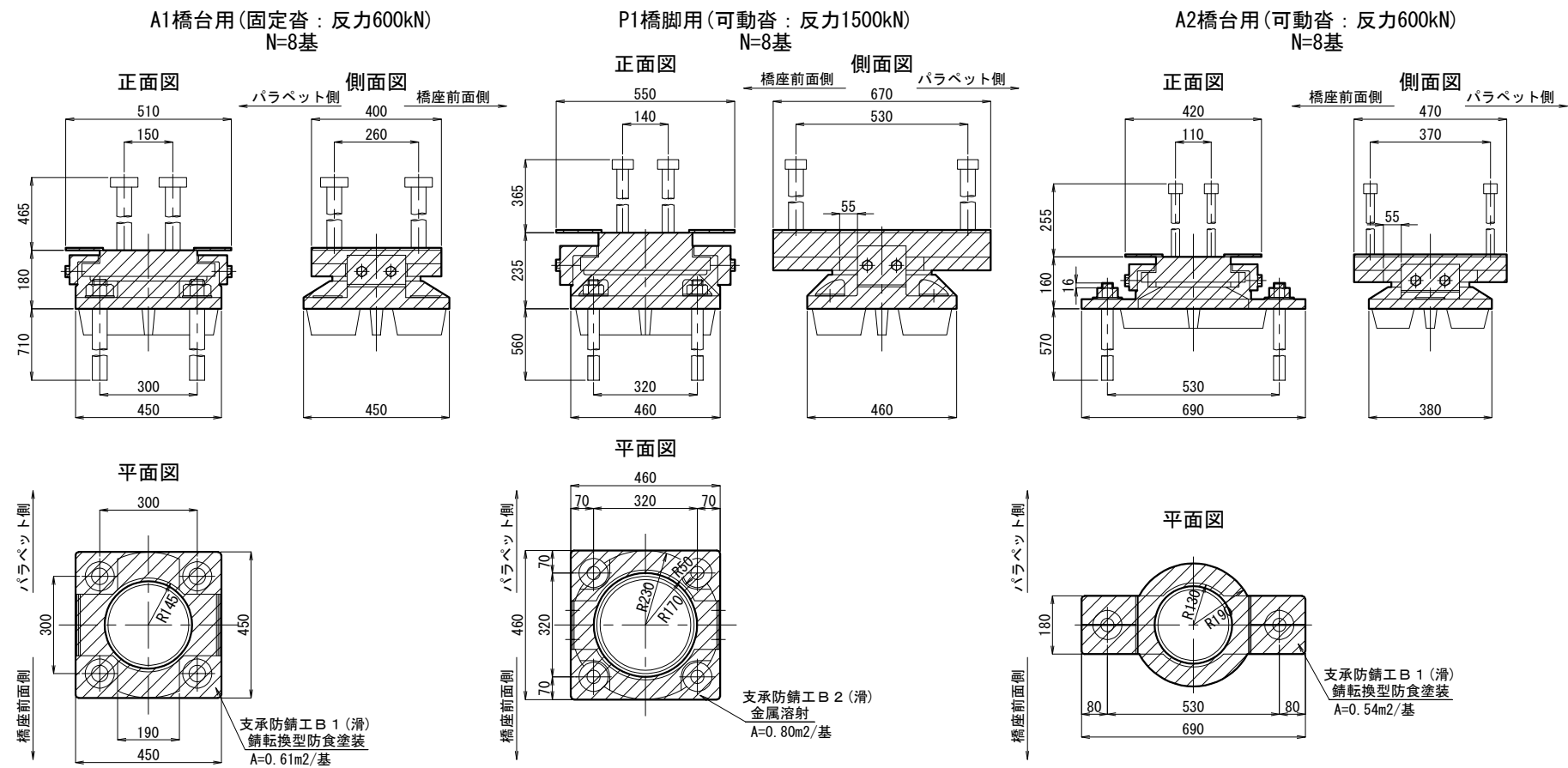


公園駅南通大橋 支承防錆工 沓座モルタル補修工

支承配置図 S=1/300



支承防錆工詳細図 S=1/20



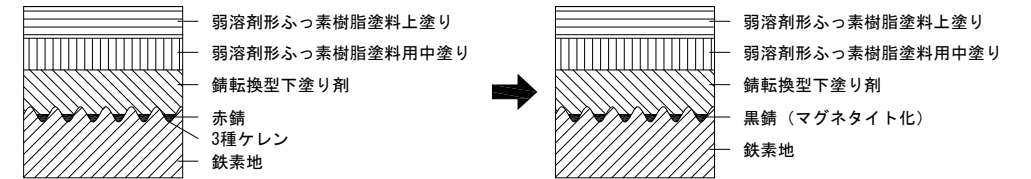
支承防錆工 B 1 (滑)

規格・材料	単位	数量	摘要
錆転換型防食塗装	基	8	A1
	基	8	A2

支承防錆工 B 2 (滑)

規格・材料	単位	数量	摘要
金属溶射	基	8	P1

錆転換型防食塗装断面図



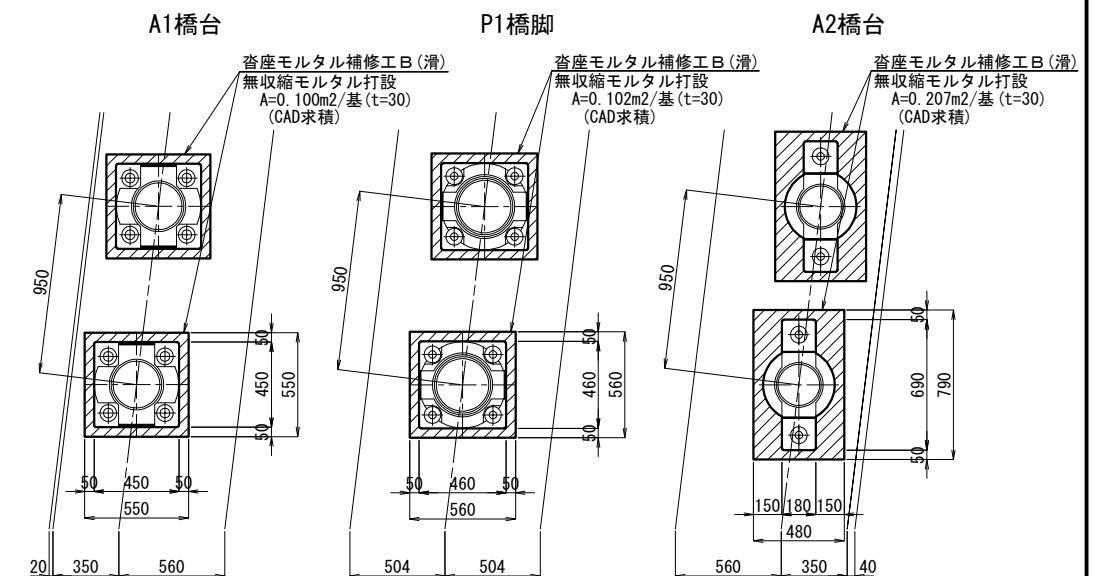
支承防錆工 B 1 (滑)：錆転換型防食塗装 防食仕様

塗装工程	塗料名等	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	標準塗膜 (μm)	塗装間隔
素地調整	素地調整3種ケレン以上	—	—	4時間以内
脱脂洗浄	錆転換型防食塗装脱脂洗浄剤	ウエス拭き 50	—	
下塗り	錆転換型防食塗装下塗り剤	ハケ・ローラー 150	70	1～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り	ハケ・ローラー 140	30	
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	ハケ・ローラー 120	25	

支承防錆工 B 2 (滑)：金属溶射 防食仕様

塗装工程	塗料名等	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	標準塗膜 (μm)	塗装間隔
素地調整	ブラスト処理 除せい度ISO8501-1 Sa 2・1/2以上	—	—	—
金属溶射	JIS H 8300 亜鉛・アルミニウム合金溶射、亜鉛・アルミニウム合金溶射	—	100以上	4時間以内
封孔処理	金属溶射面用封孔処理剤	スプレー 200 (ハケ・ローラー 140)	—	24時間以内
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り	スプレー 200 (ハケ・ローラー 140)	30	1～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	スプレー 150 (ハケ・ローラー 120)	25	1～10日

沓座モルタル補修工 B (滑) S=1/40



沓座モルタル補修工 B (滑)

上下線区分	上下部区分	支間・橋脚	単位	数量
下り線	下部工	A1	基	8
上下線	下部工	P1	基	8
上り線	下部工	A2	基	8
合計				24

注記)  
施工前に現地計測の上、実施すること。

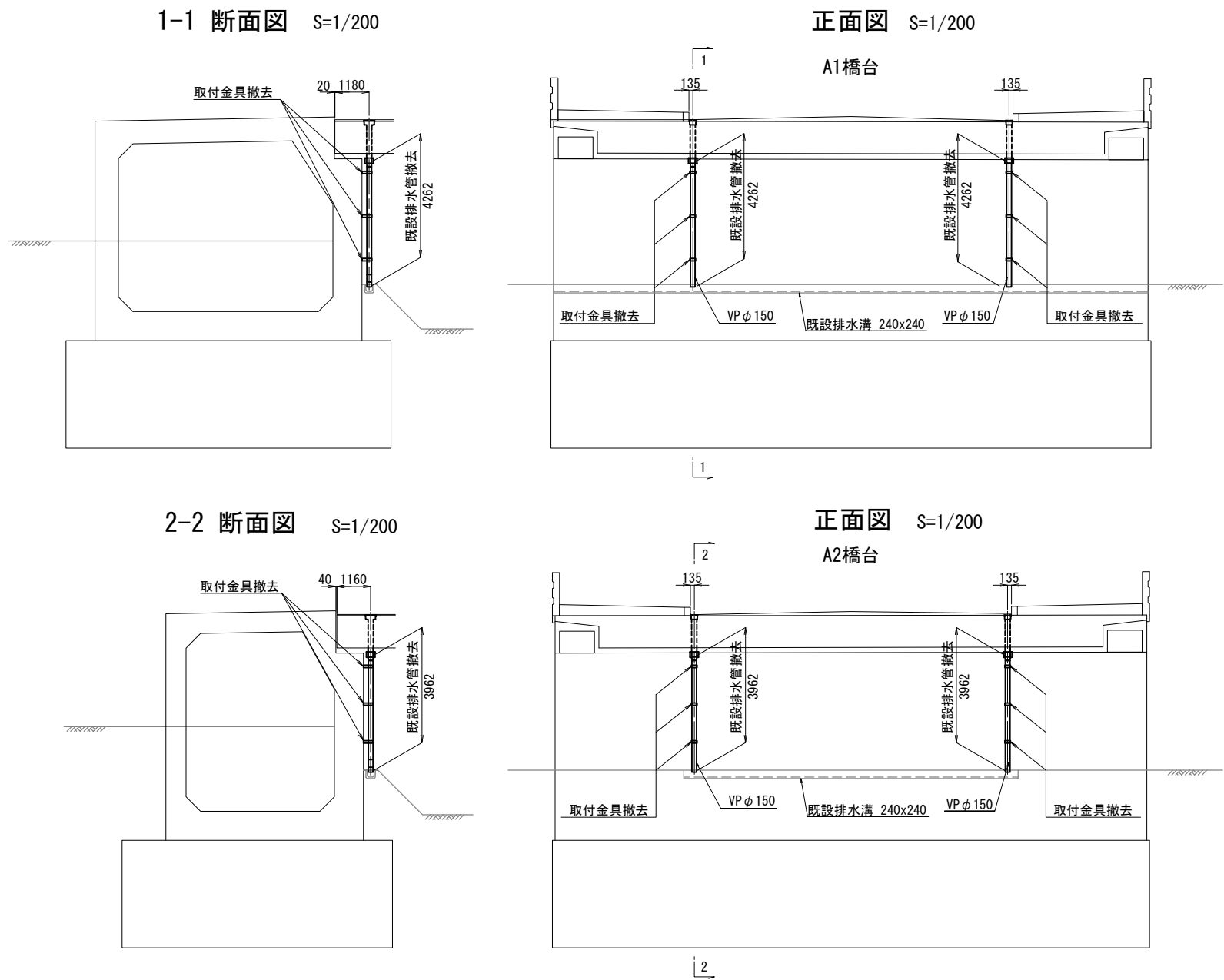
関係自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 支承防錆工 沓座モルタル補修工		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

※ 支承の寸法は完成図より

※ 支承の寸法は「道路橋支承標準設計 (S51.1) 日本道路協会」  
の高力黄銅支承板支承 (反力150t) を参考とした。

※ 支承の寸法は「道路橋支承標準設計 (S51.1) 日本道路協会」  
の高力黄銅支承板支承 (反力75t) を参考とした。

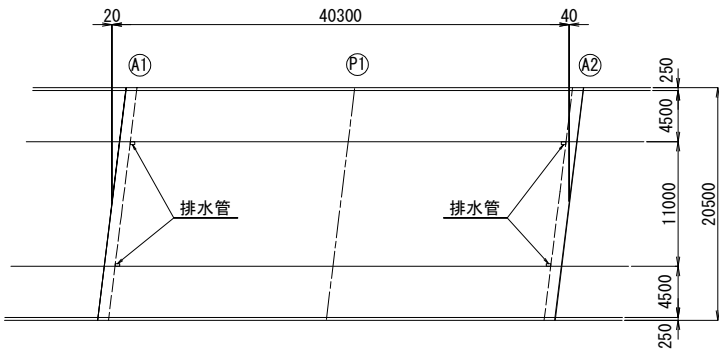
撤去図



撤去延長

箇所	単位	数量
A1橋台	m	8.5
A2橋台	m	7.9

位置図

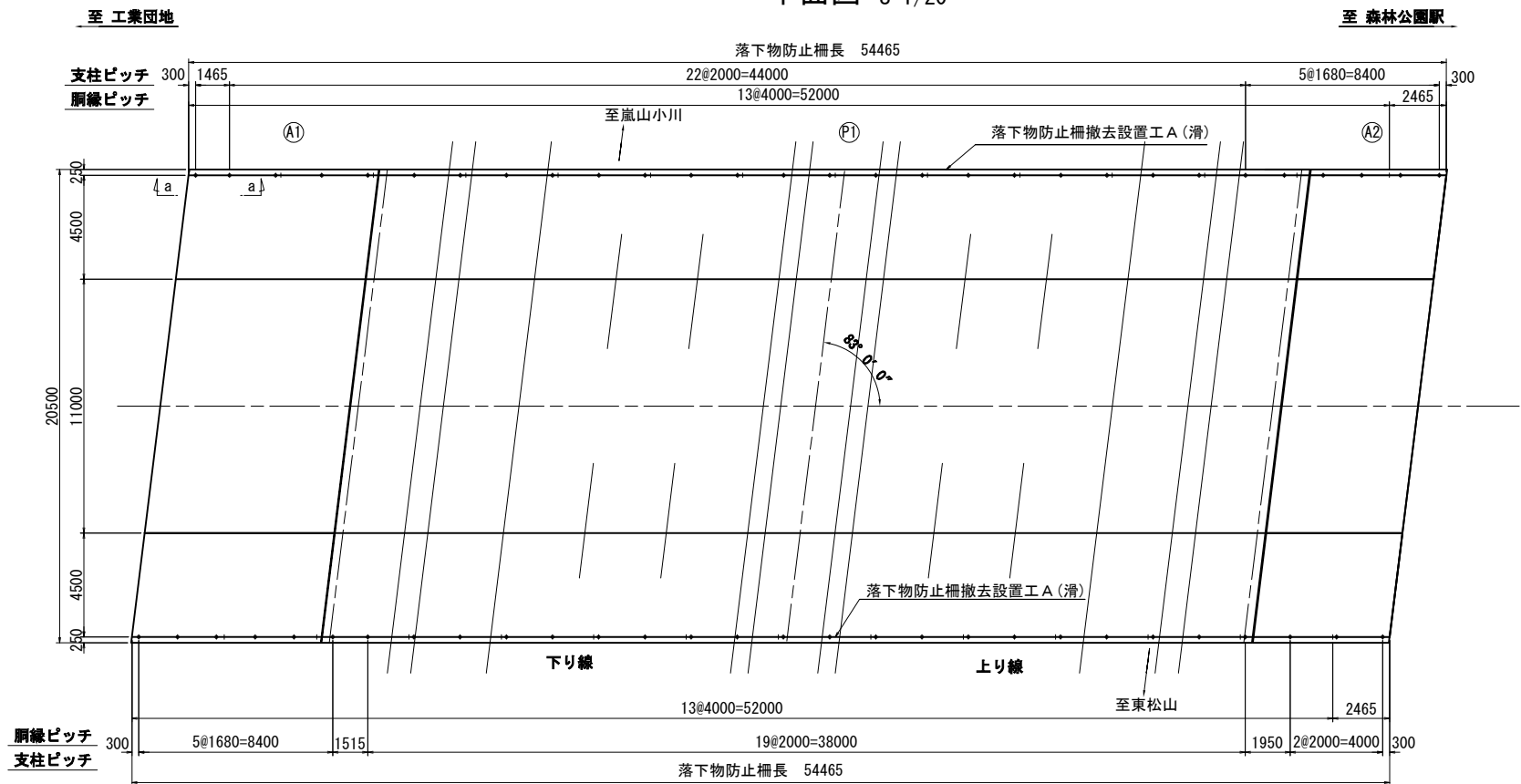


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 排水装置取替工（その１）		
縮 尺	1/200	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

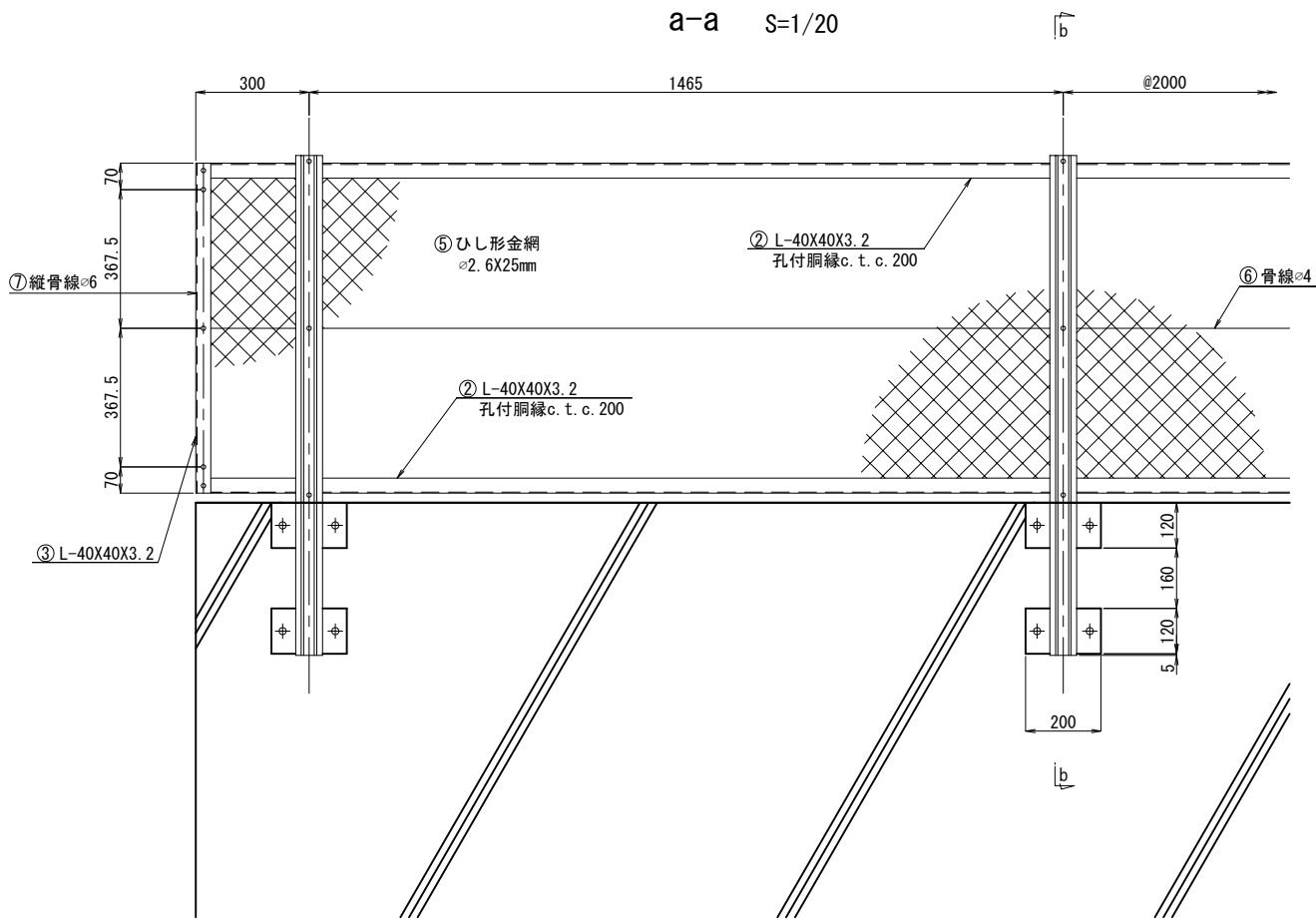


公園駅南通大橋 落下物防止柵撤去設置工

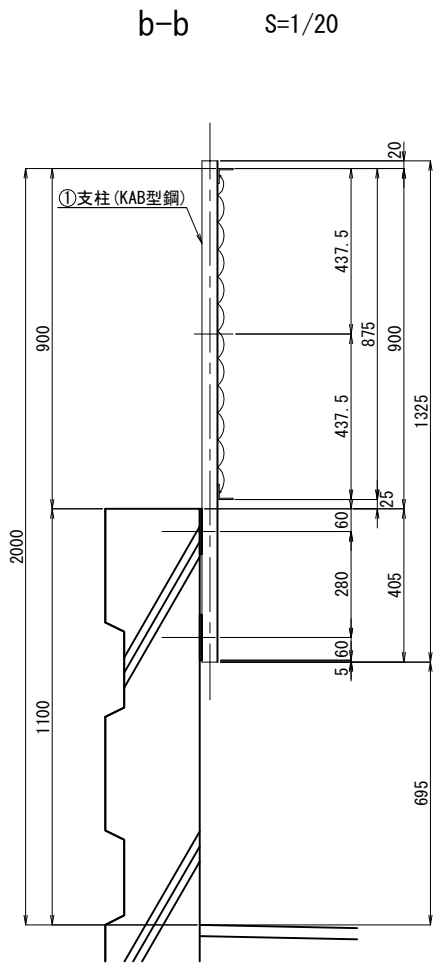
平面図 S=1/20



a-a S=1/20



b-b S=1/20



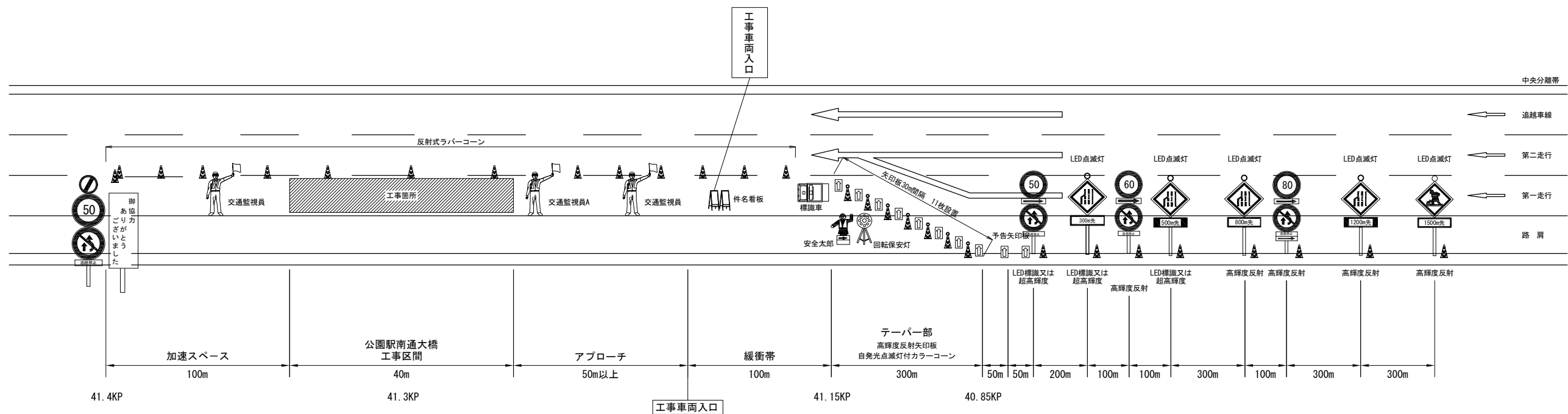
落下物防止柵撤去設置工 A (滑)

径間	箇所	単位	数量	摘 要
A1-A2	東松山側	m	54.5	跨道橋落下物防止柵 A 1
	嵐山小川側	m	54.5	"
	合計		109.0	

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 落下物防止柵撤去設置工		
縮 尺	1/20	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 交通規制図（その１）

一車線規制 I × 1 × 0 × 1 ・ A 1 (滑) (夜)



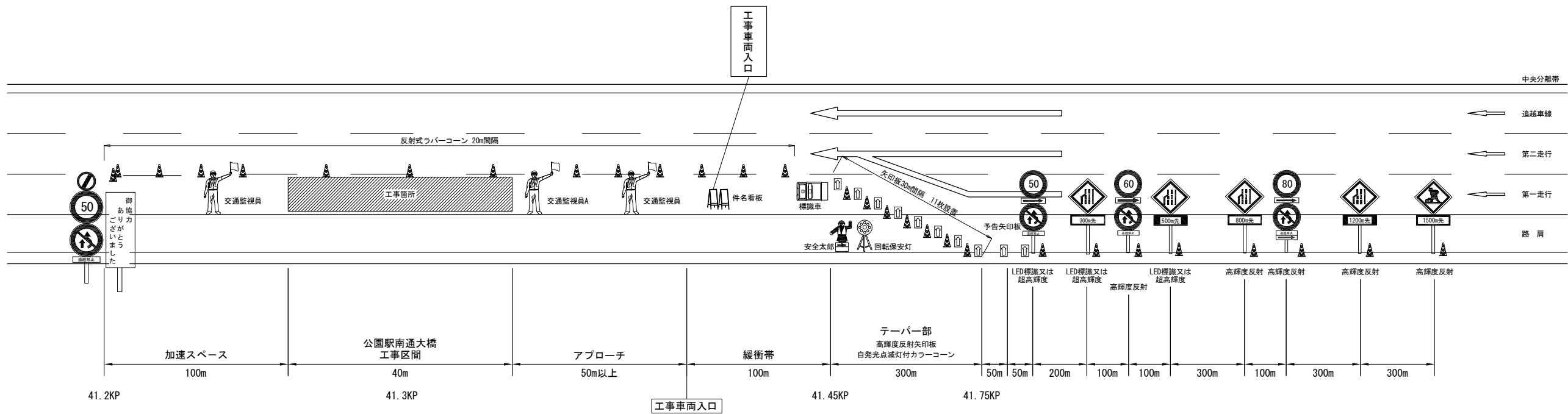
※ 予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。  
※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーバー設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

一車線規制 I × 1 × 0 × 1 ・ A 1 (滑) (夜)

数量表				1 規制当り
名 称	数 量	単 位	備 考	
予告標識	10	枚	貸与品	
予告看板	2	枚	貸与品	
矢印板	必要数	枚	貸与品	
ラバーコーン	必要数	本	貸与品	
LED点滅灯	必要数	本	貸与品	
標識車	1	台	貸与品	
安全太郎	1	台	貸与品	
回転保安灯	1	台	貸与品	
発煙筒 (設置・撤去)	6	本	受注者持	
交通監視員 (規制材保守)	3	人	規制費に含む (交替含む)	
交通監視員 A (工事箇所)	1	人	別途検測	

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 交通規制図（その１）		
	縮 尺	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 交通規制図（その2）  
一車線規制 I × 1 × 0 × 1 ・ A 2（滑）（夜）



※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパー設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。  
※ 必要に応じてLED点滅灯を設置することとする。

一車線規制 I × 1 × 0 × 1 ・ A 2（滑）（夜）			
数量表		1 規制当り	
名 称	数 量	単 位	備 考
予告標識	10	枚	貸与品
予告看板	2	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
LED点滅灯	必要数	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
安全太郎	1	台	貸与品
回転保安灯	1	台	貸与品
発煙筒（設置・撤去）	6	本	受注者持
交通監視員（規制材保守）	3	人	規制費に含む（交替含む）
交通監視員 A（工事箇所）	1	人	別途検測

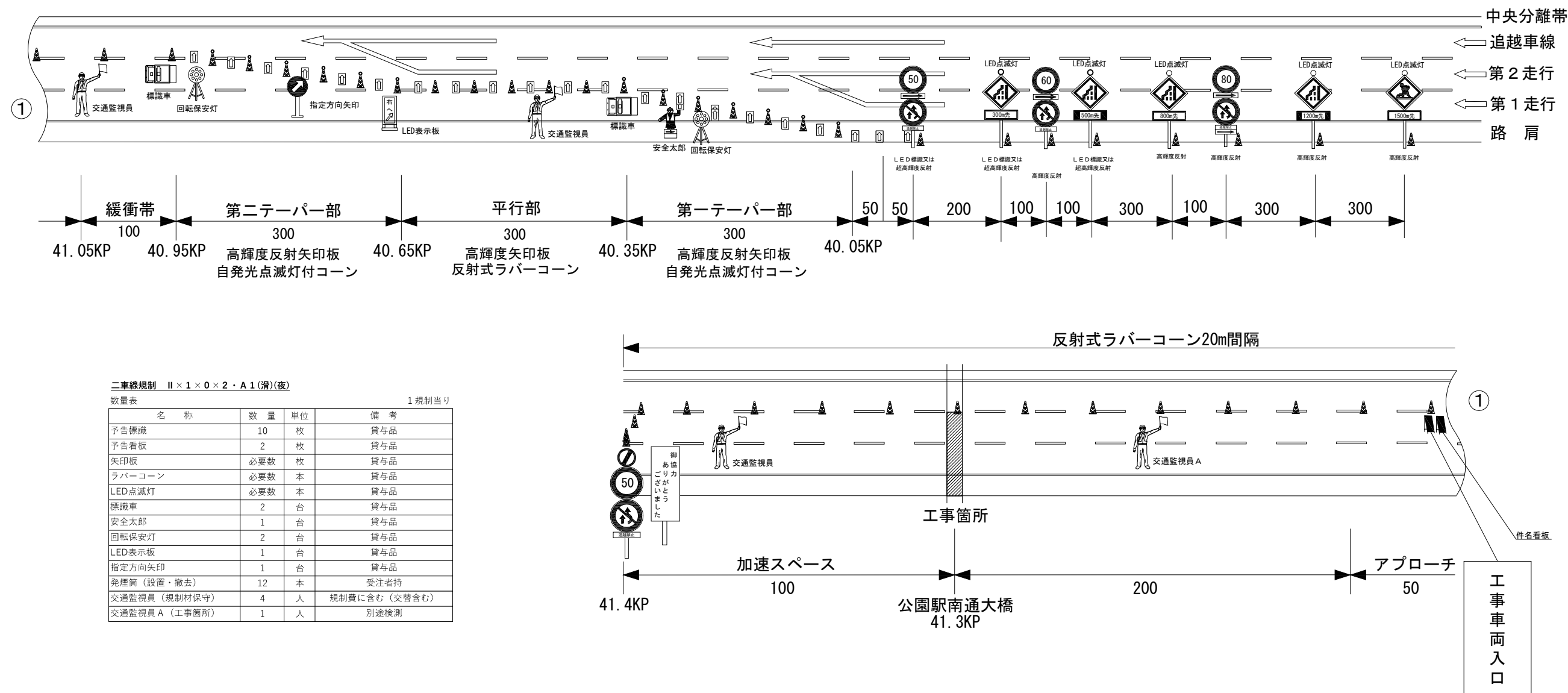
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 交通規制図（その2）		
	縮 尺	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 交通規制図（その３）

二車線規制 II × 1 × 0 × 2 ・ A 1 (滑) (夜)

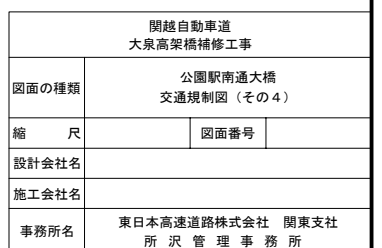
至新潟

至練馬



- ※ 予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。
- ※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパー設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時:3本、撤去時:3本)
- ※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

関越自動車道 大泉高架橋補修工事		
図面の種類	公園駅南渡大橋 交通規制図（その３）	
縮 尺		図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所	



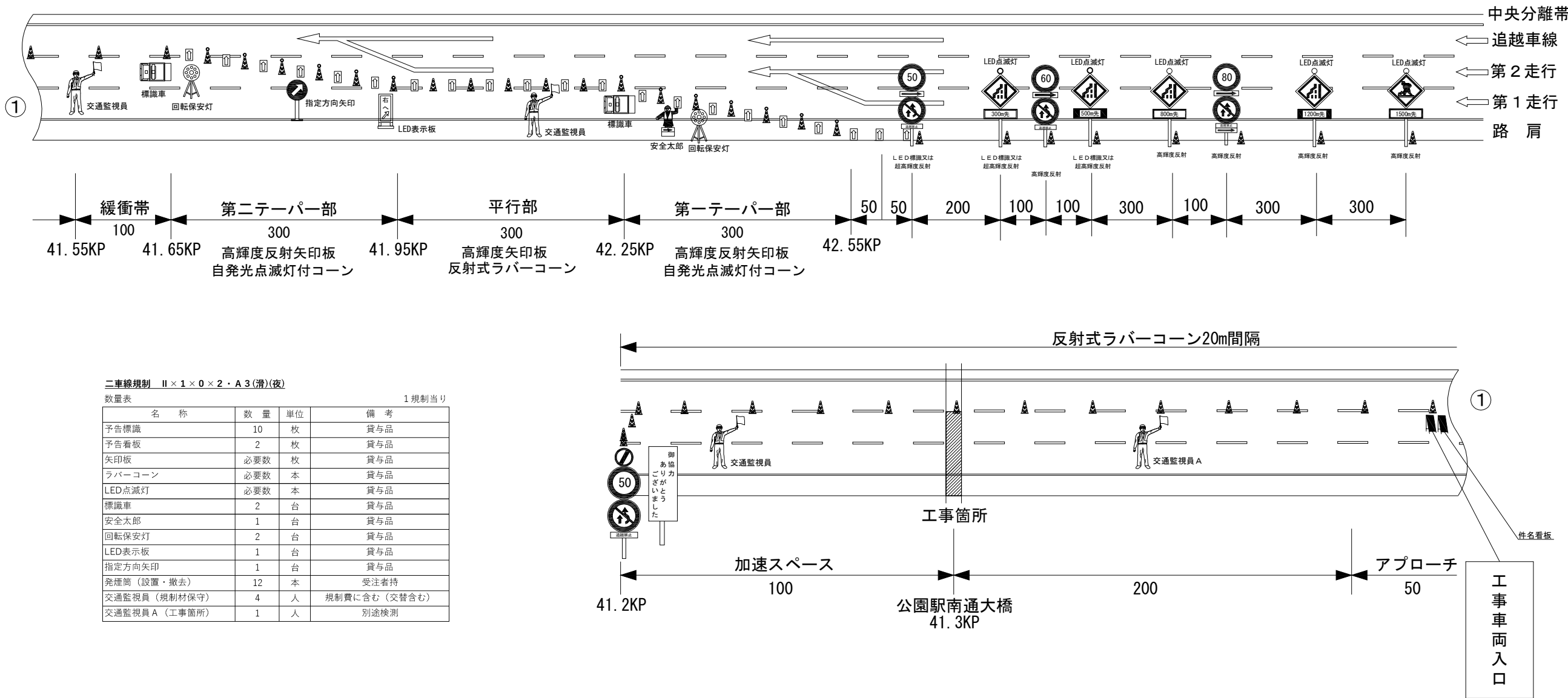


公園駅南通大橋 交通規制図（その5）

二車線規制 II × 1 × 0 × 2 ・ A 3 (滑) (夜)

至練馬

至新潟

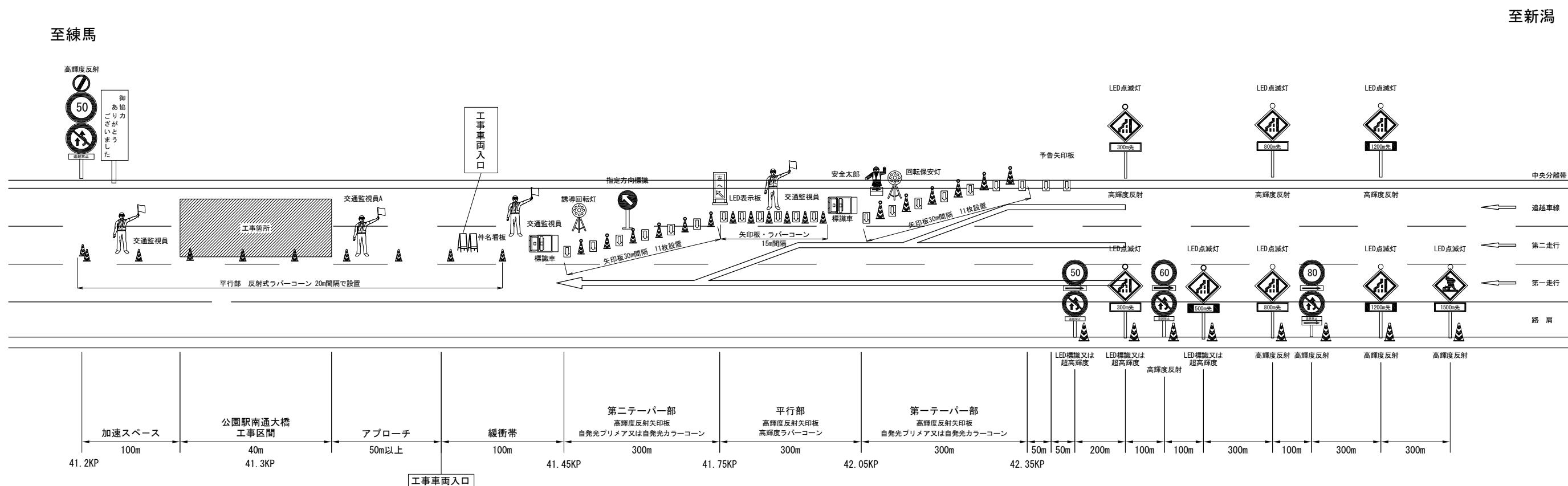


※ 予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。  
※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパ設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)  
※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 交通規制図（その5）		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 交通規制図（その6）

二車線規制 II × 1 × 0 × 2 ・ A 4 (滑) (夜)



二車線規制  $11 \times 1 \times 0 \times 2 \cdot A4$  (滑)(夜)

数量表

1 規制当り

名 称	数 量	単 位	備 考
予告標識	13	枚	貸与品
予告看板	2	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
LED点滅灯	必要数	本	貸与品
標識車	2	台	貸与品
安全太郎	1	台	貸与品
回転保安灯	2	台	貸与品
LED表示板	1	台	貸与品
指定方向矢印	1	台	貸与品
発煙筒（設置・撤去）	12	本	受注者持
交通監視員（規制材保守）	4	人	規制費に含む（交替含む）
交通監視員 A（工事箇所）	1	人	別途検測

※ 予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。

※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパー設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)

※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

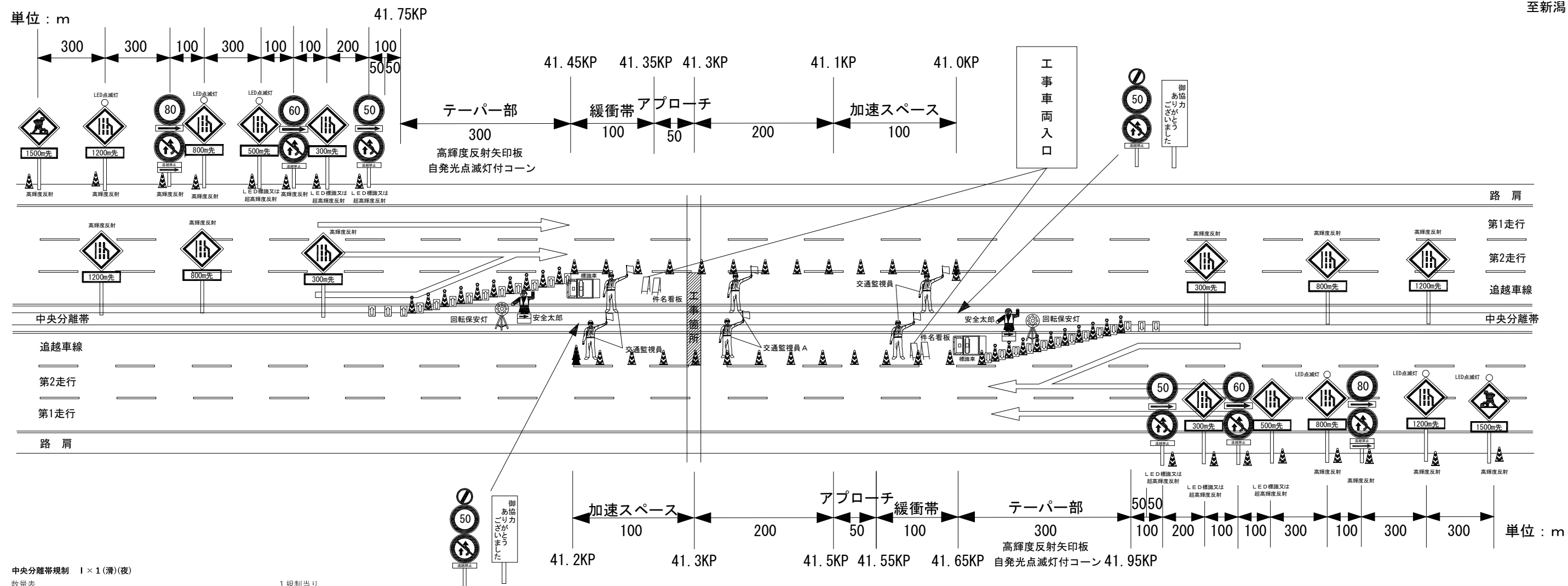
<p>関越自動車道 大泉高架橋補修工事</p>		
図面の種類	<p>公園駅南大橋 交通規制図（その６）</p>	
縮 尺		図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所</p>	

公園駅南通大橋 交通規制図（その7）

中央分離帯規制 I × 1 (滑) (夜)

至練馬

至新瀉



中央分離帶規制 1×1(滑)(夜)

数量表

1 規制当り

名 称	数 量	単位	備 考
予告標識	26	枚	貸与品
予告看板	4	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
LED点滅灯	必要数	本	貸与品
標識車	2	台	貸与品
安全太郎	2	台	貸与品
回転保安灯	2	台	貸与品
発煙筒（設置・撤去）	12	本	受注者持
交通監視員（規制材保守）	5	人	規制員に含む（交替含む）
交通監視員 A（工事箇所）	2	人	別途検測

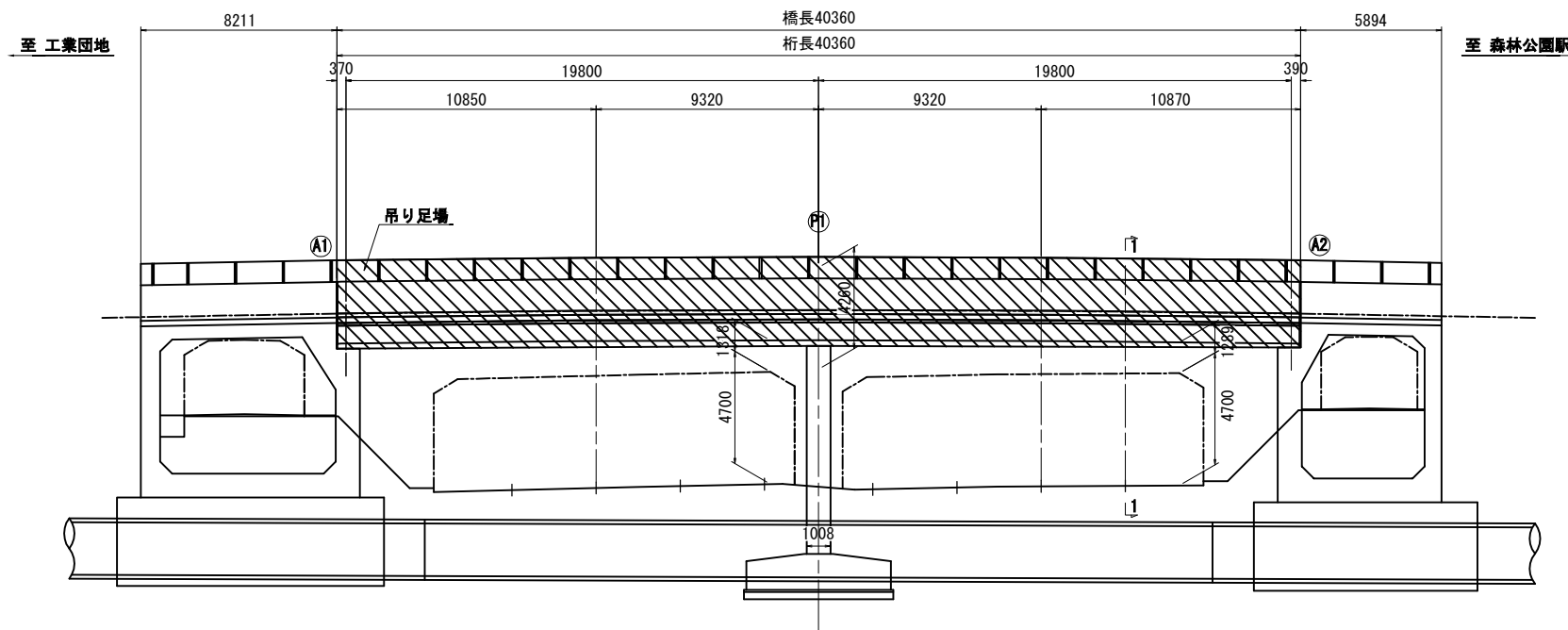
- ※ 予告標識に設置するLED点滅灯は、必要に応じて追加する。
- ※ 発煙筒(5分用)使用本数は、各テーパー設置・撤去時本数3本/箇所とする。(設置時：3本、撤去時：3本)
- ※ ラバーコーン設置は20m間隔を標準とし、工事箇所については10m間隔とする。

閑越自動車道 大泉高架橋補修工事		
図面の種類	公園駅南通大橋 交通規制図（その7）	
縮 尺	図面番号	
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 閑東支社 所 沢 管 理 事 務 所	

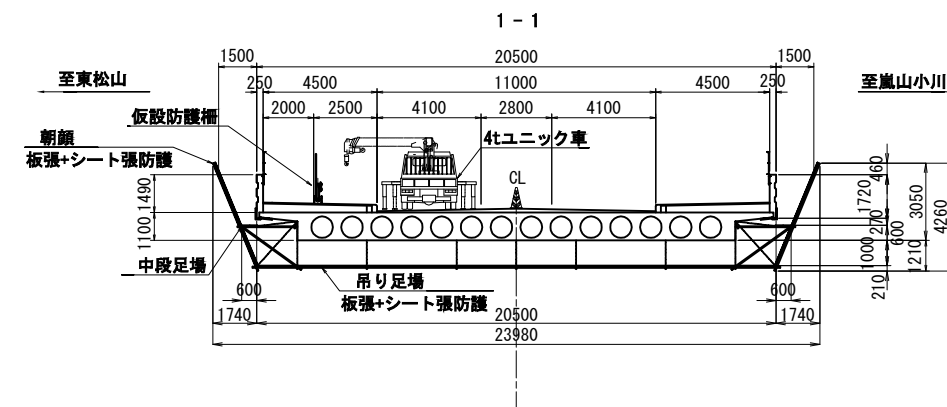
公園駅南通大橋 規制図（その１）

**橋面(東松山側)施工時：町道145号線 片側交互通行規制**

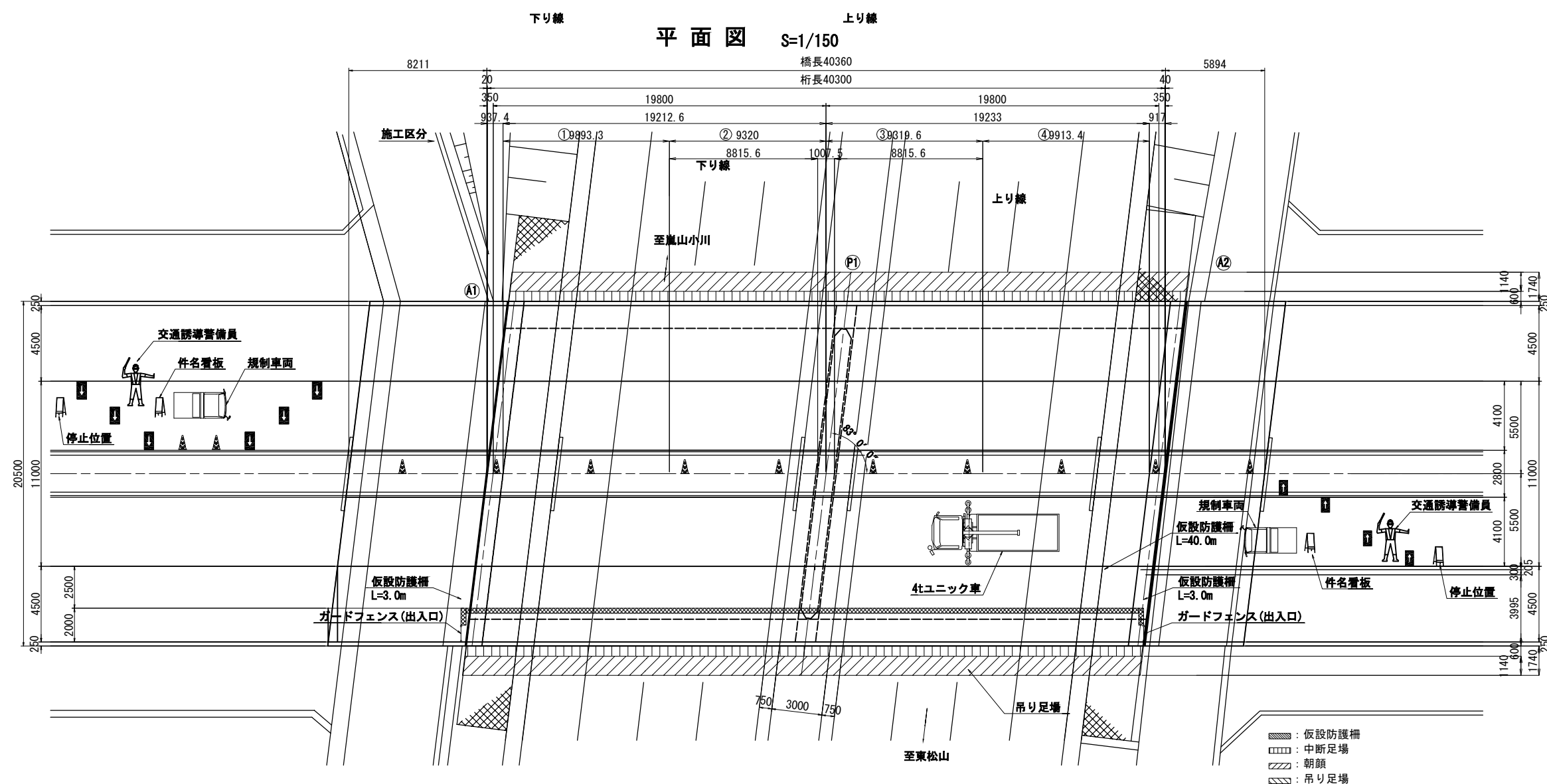
側面図 S=1/150



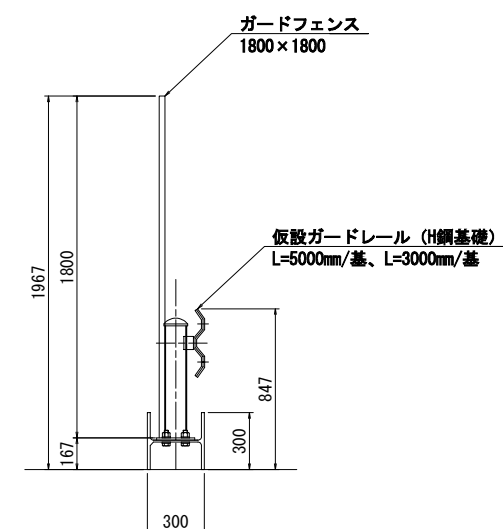
断面図 S=1/150



平面图 S=1/150



仮設防護柵詳細図 S=1/20

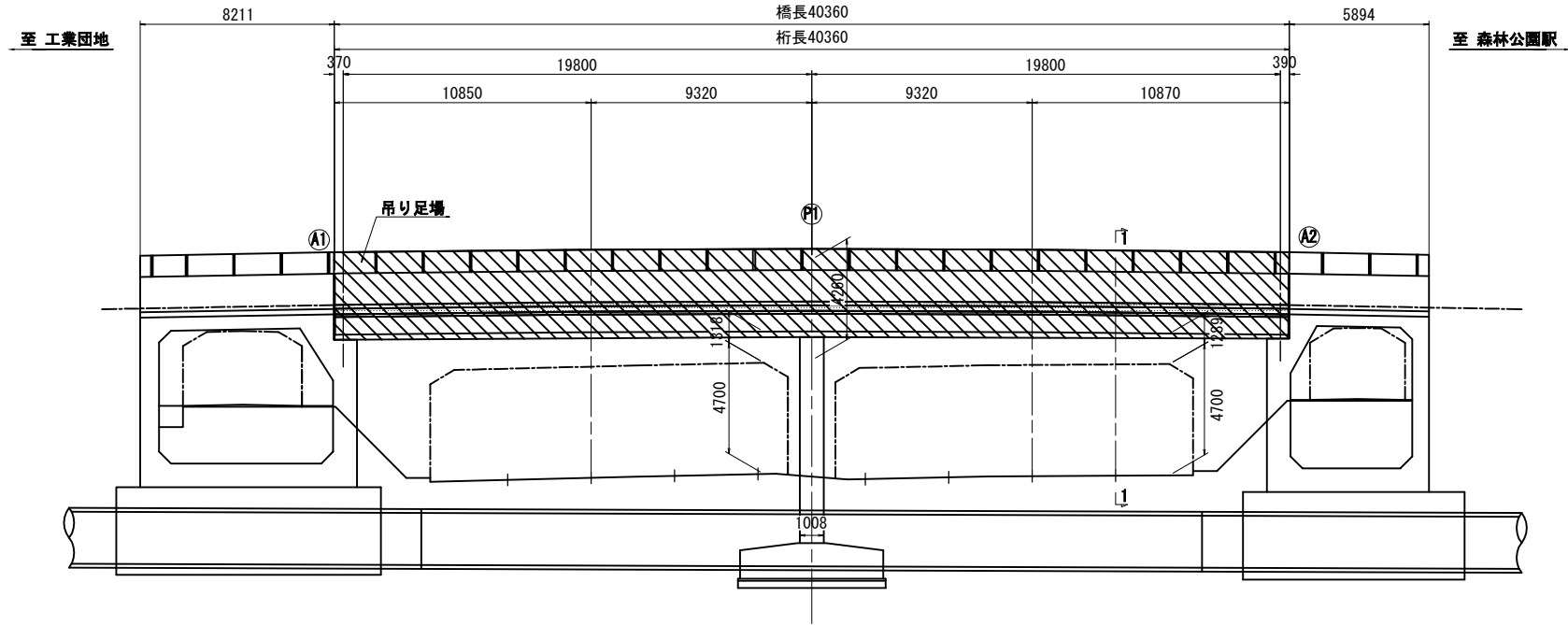


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南邊大橋 規制図（その１）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

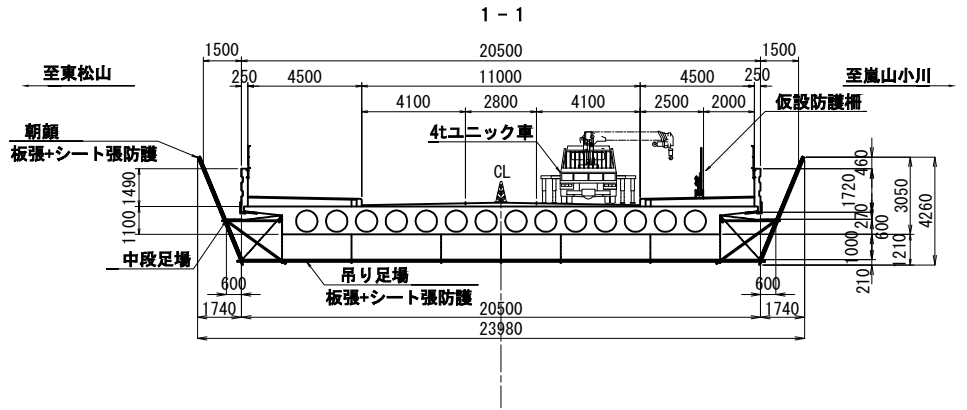
公園駅南通大橋 規制図（その2）

橋面(嵐山小川側)施工時：町道145号線 片側交互通行規制

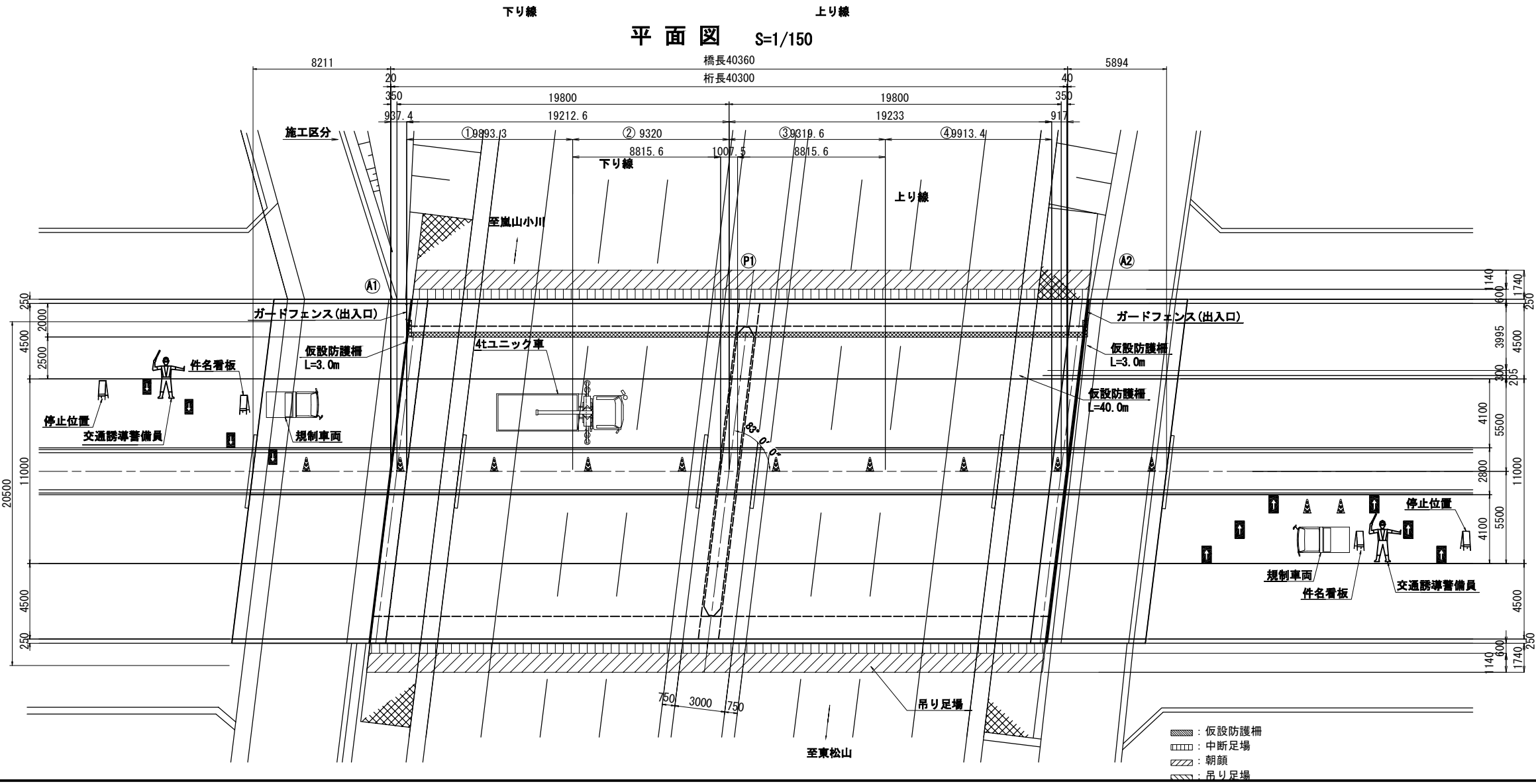
側面図 S=1/150



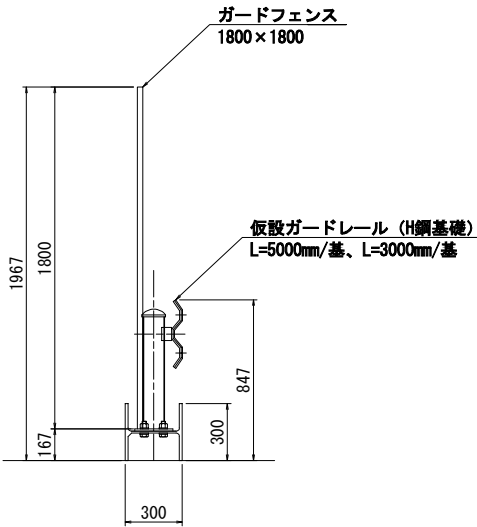
断面図 S=1/150



平面図 S=1/150



仮設防護柵詳細図 S=1/20



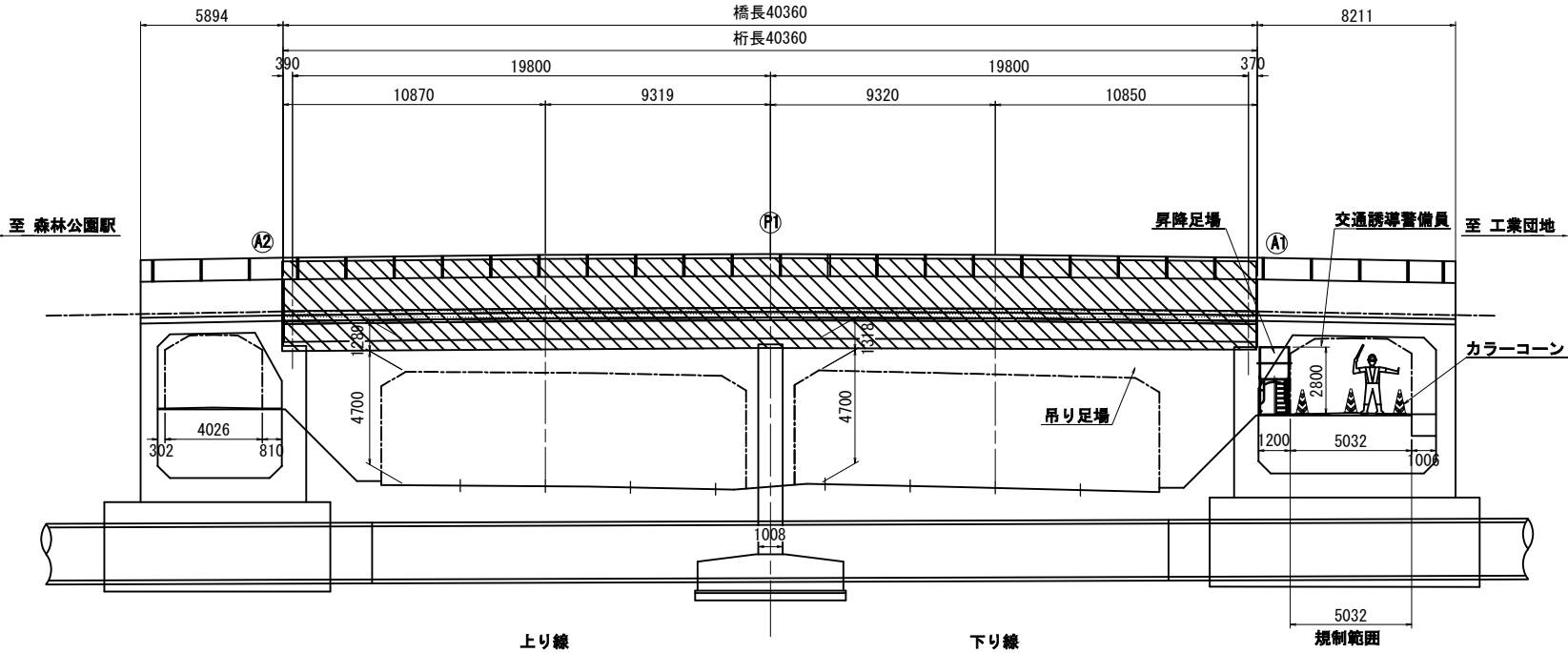
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 規制図（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

公園駅南通大橋 規制図（その3）

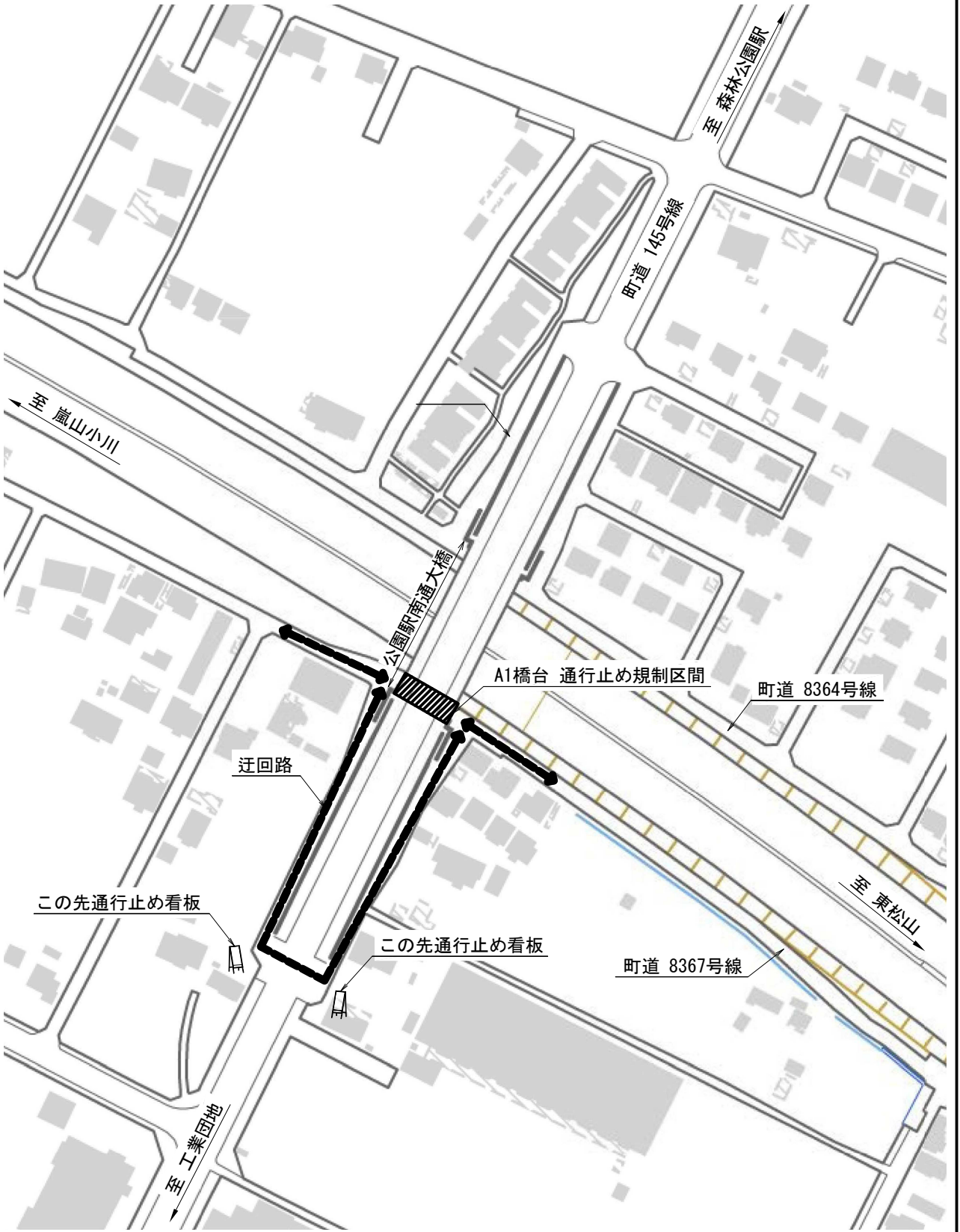
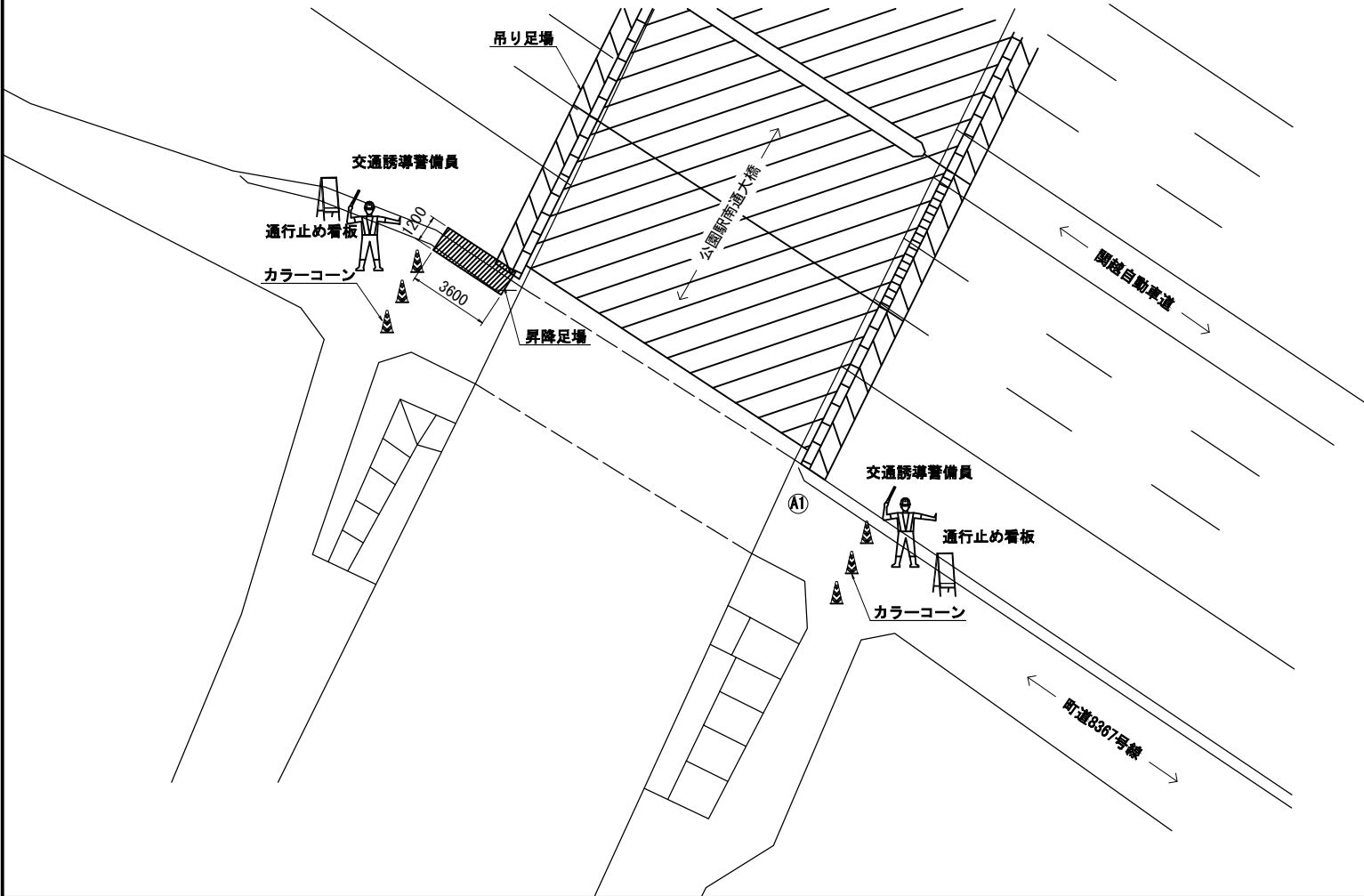
側面図 S=1/150

町道8367号線 通行止め規制

全体平面図 S=1/1000



平面図

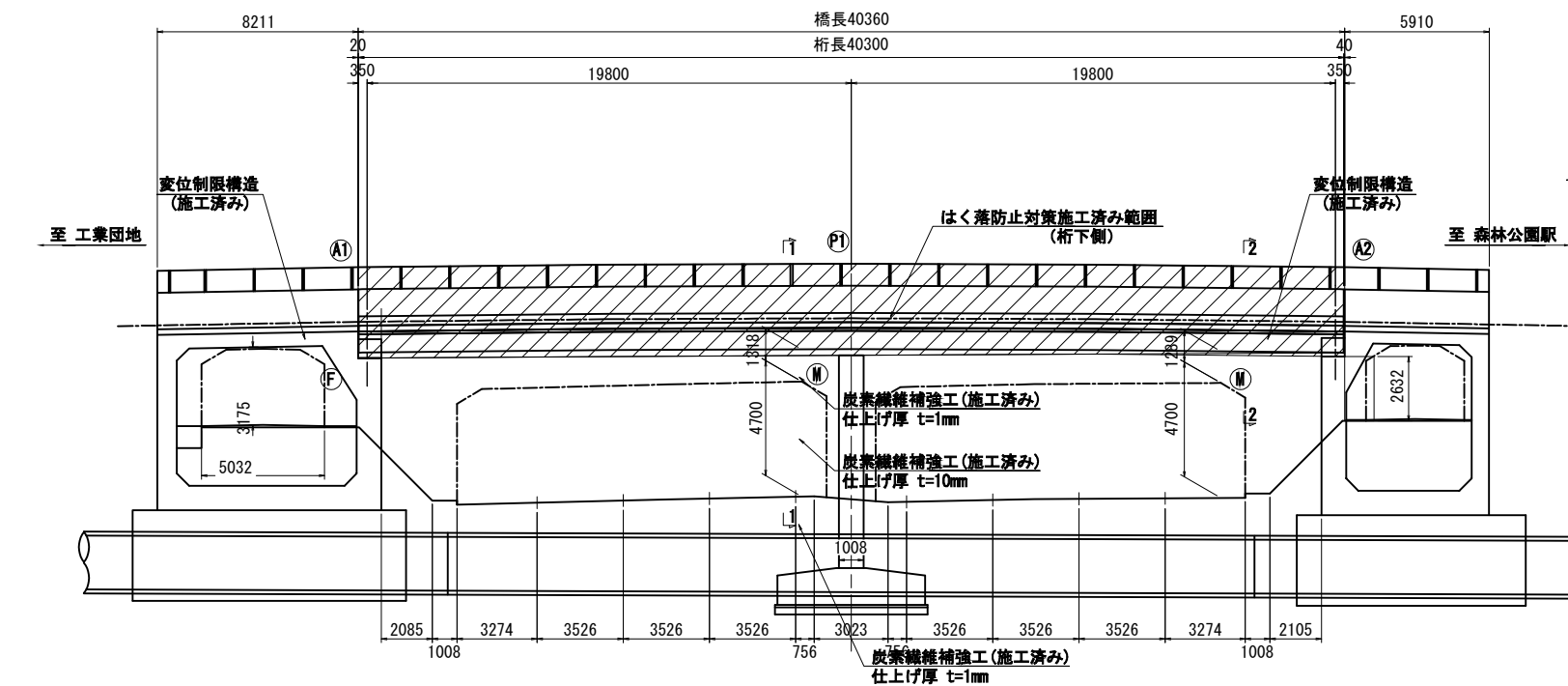


関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 規制図（その3）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

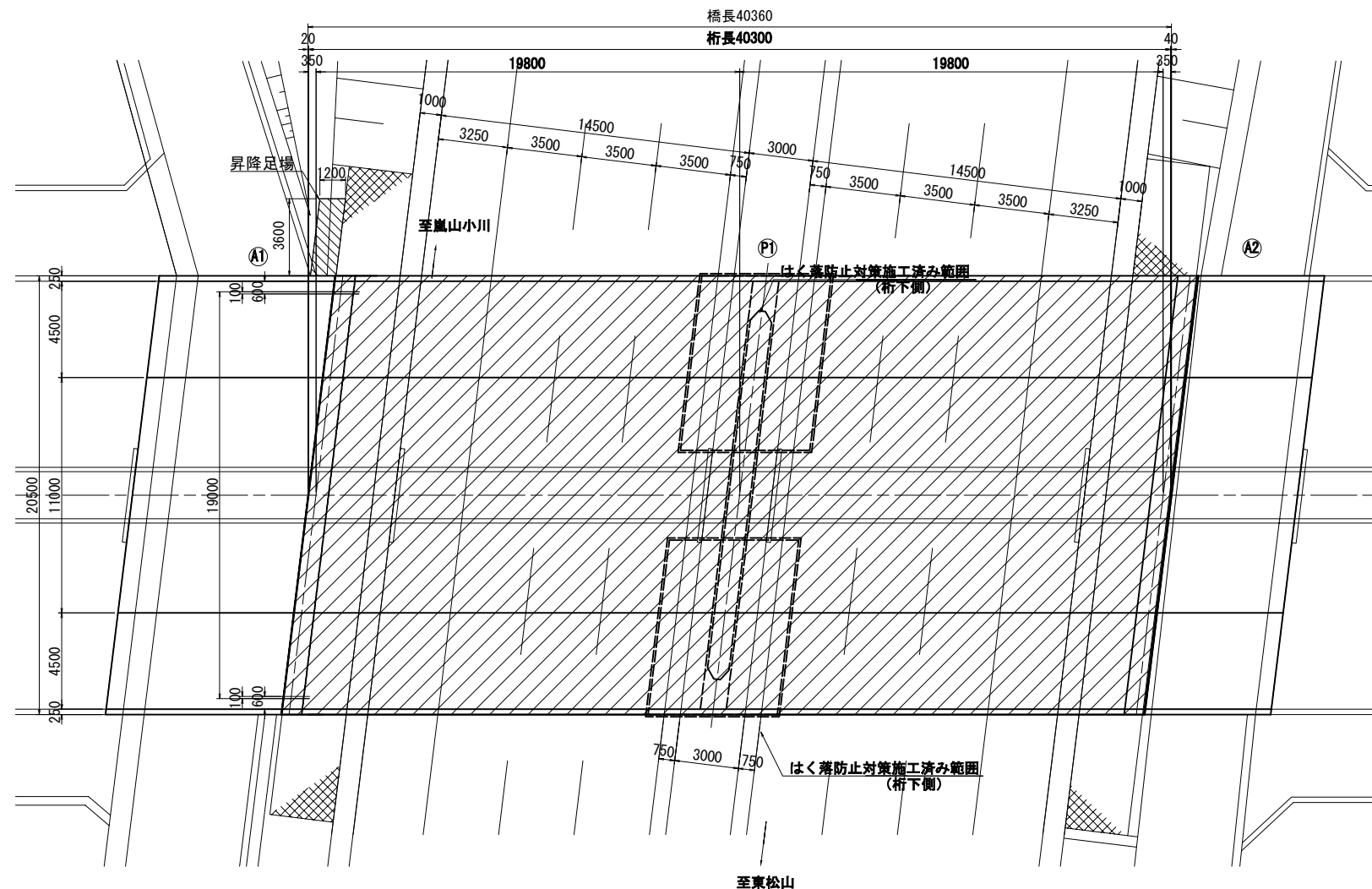
# 公園駅南通大橋 足場仮設図（参考図）

凡例  
：吊足場  
：昇降足場

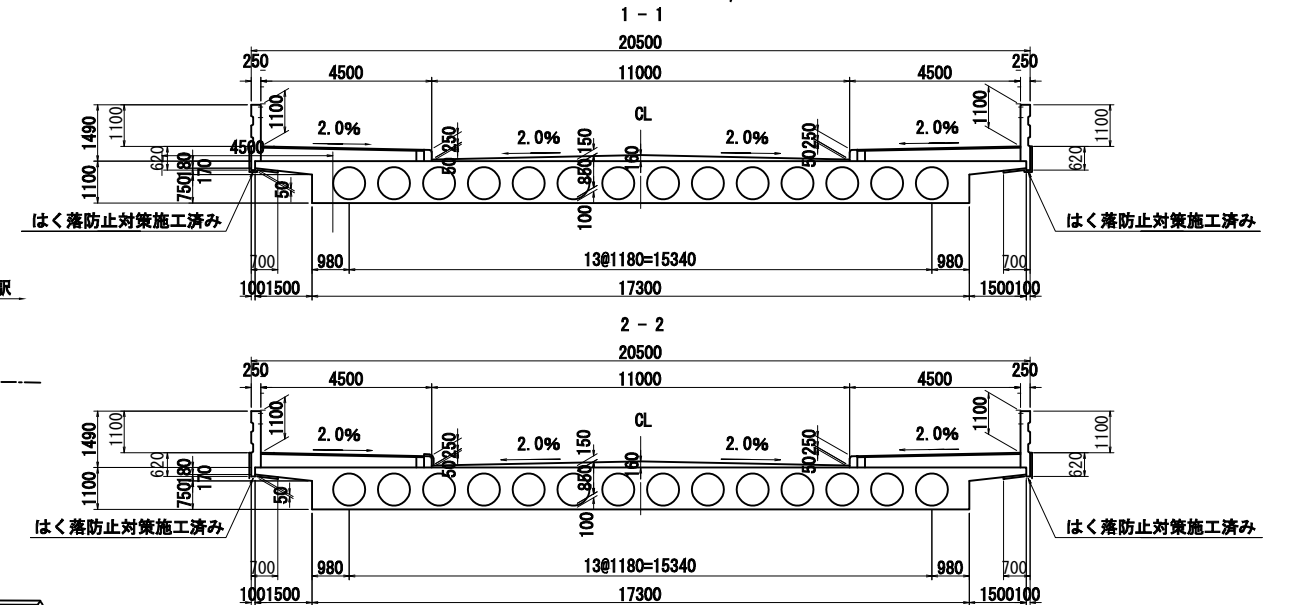
側面図 S=1/150



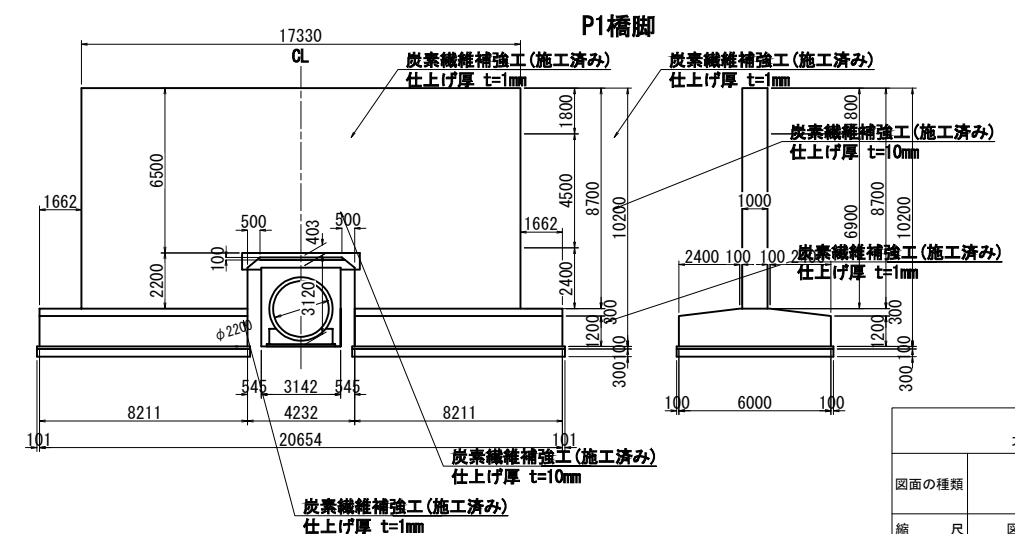
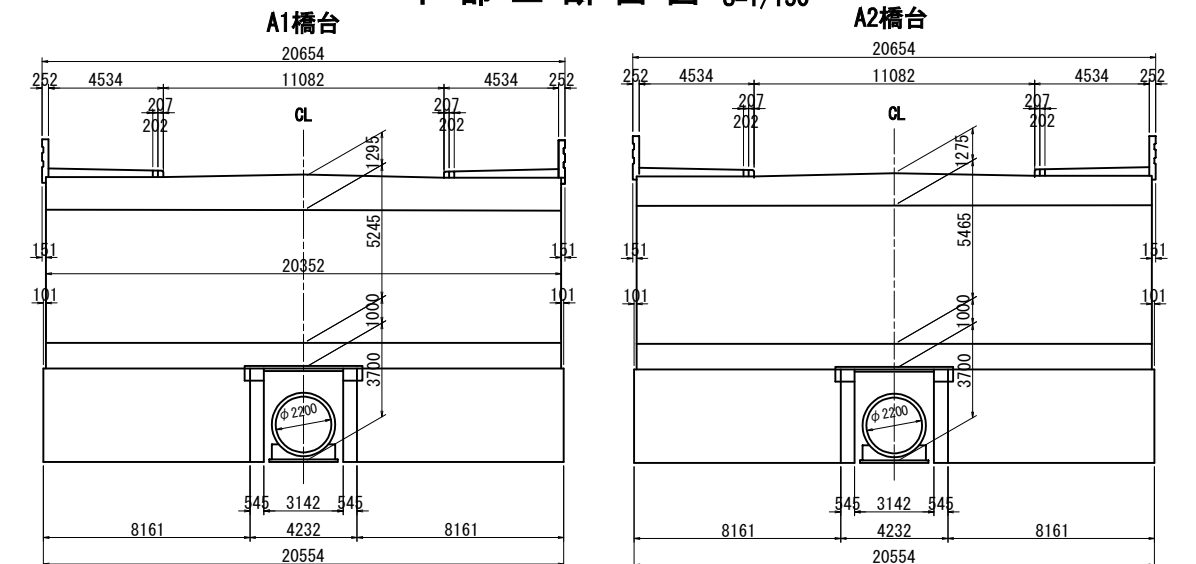
平面図 S=1/150



断面図 S=1/100



下部工断面図 S=1/150



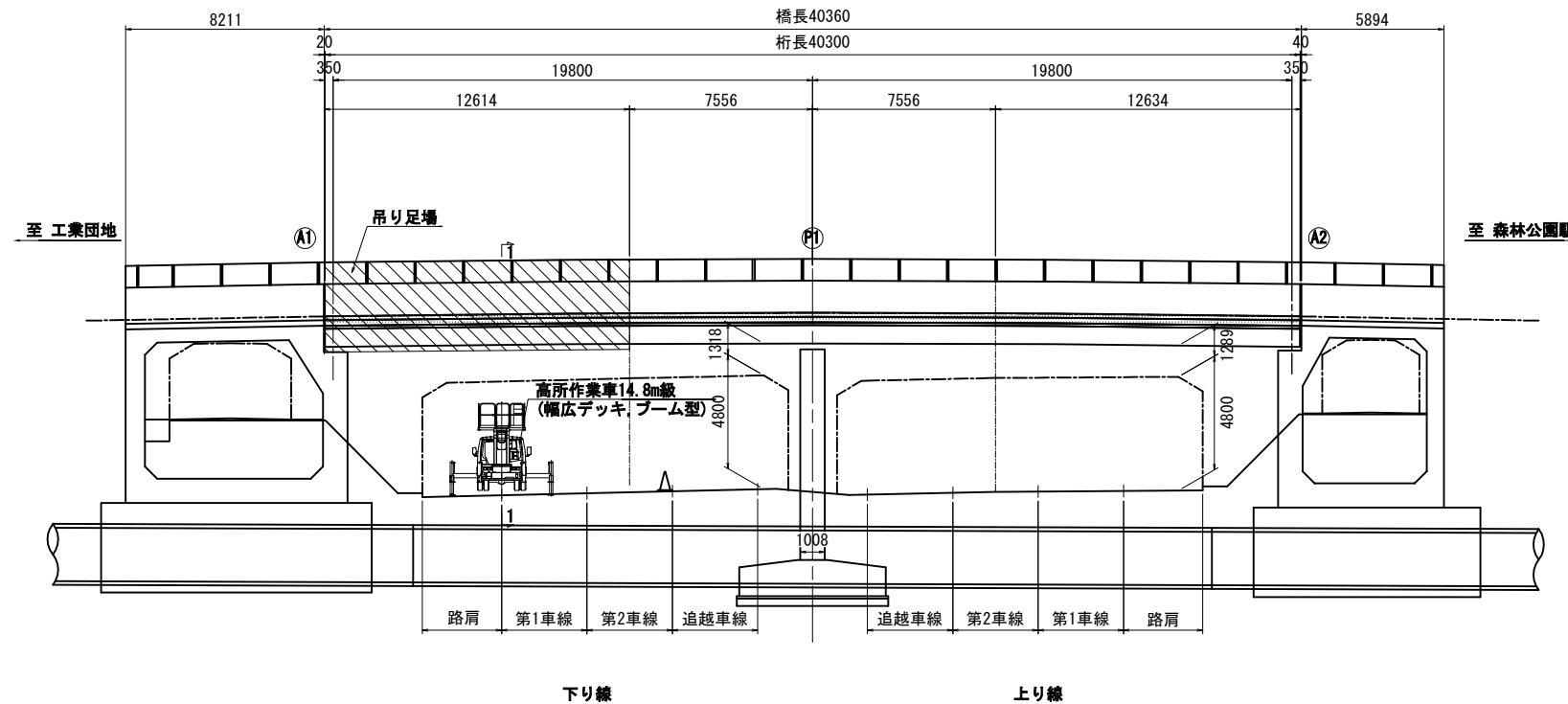
関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 足場仮設図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		



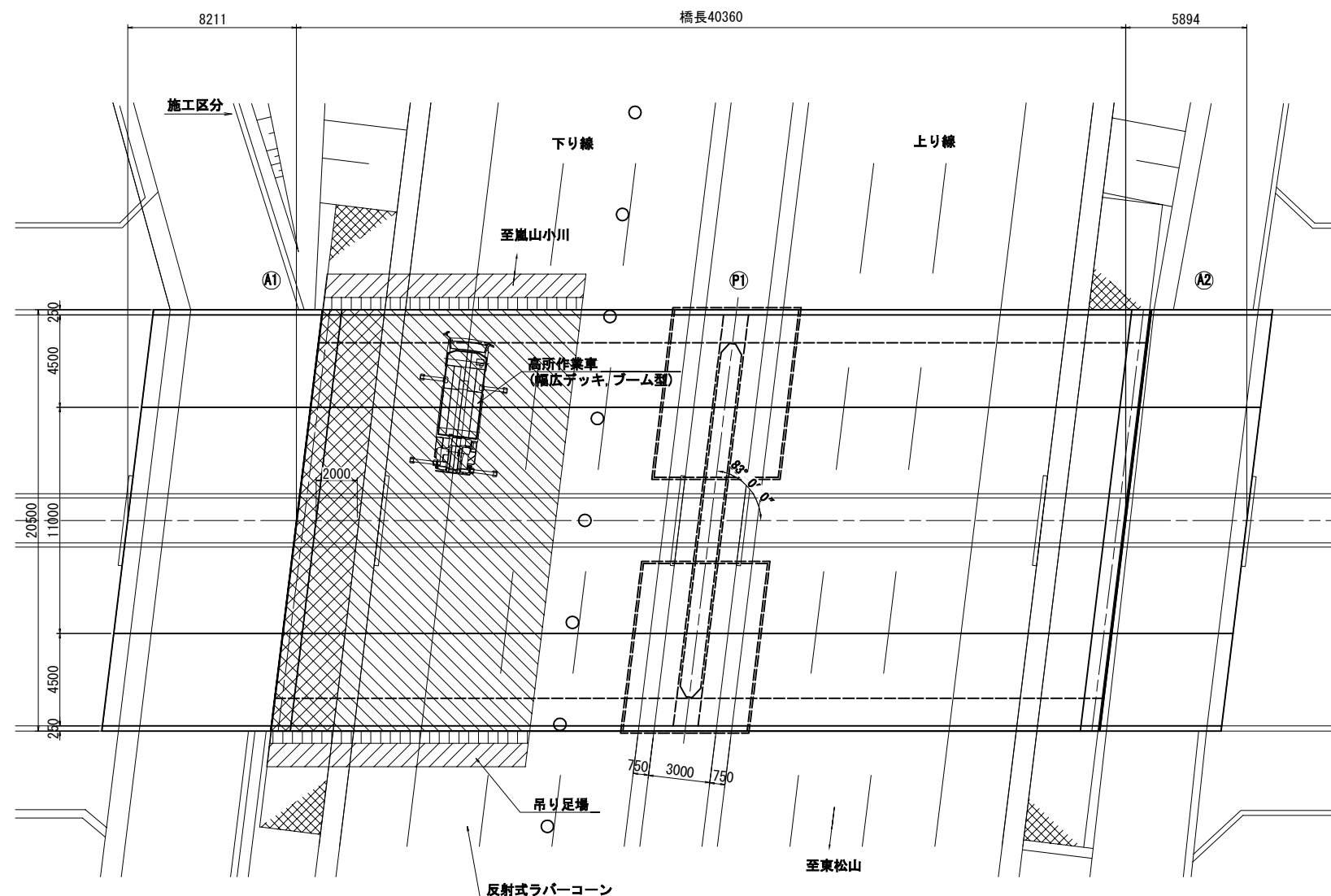
公園駅南通大橋 施工計画図（その１）（参考図）

吊り足場架設時：下り線側第1, 第2走行車線規制 ※撤去時も同様

側面図 S=1/300



平面図 S=1/300



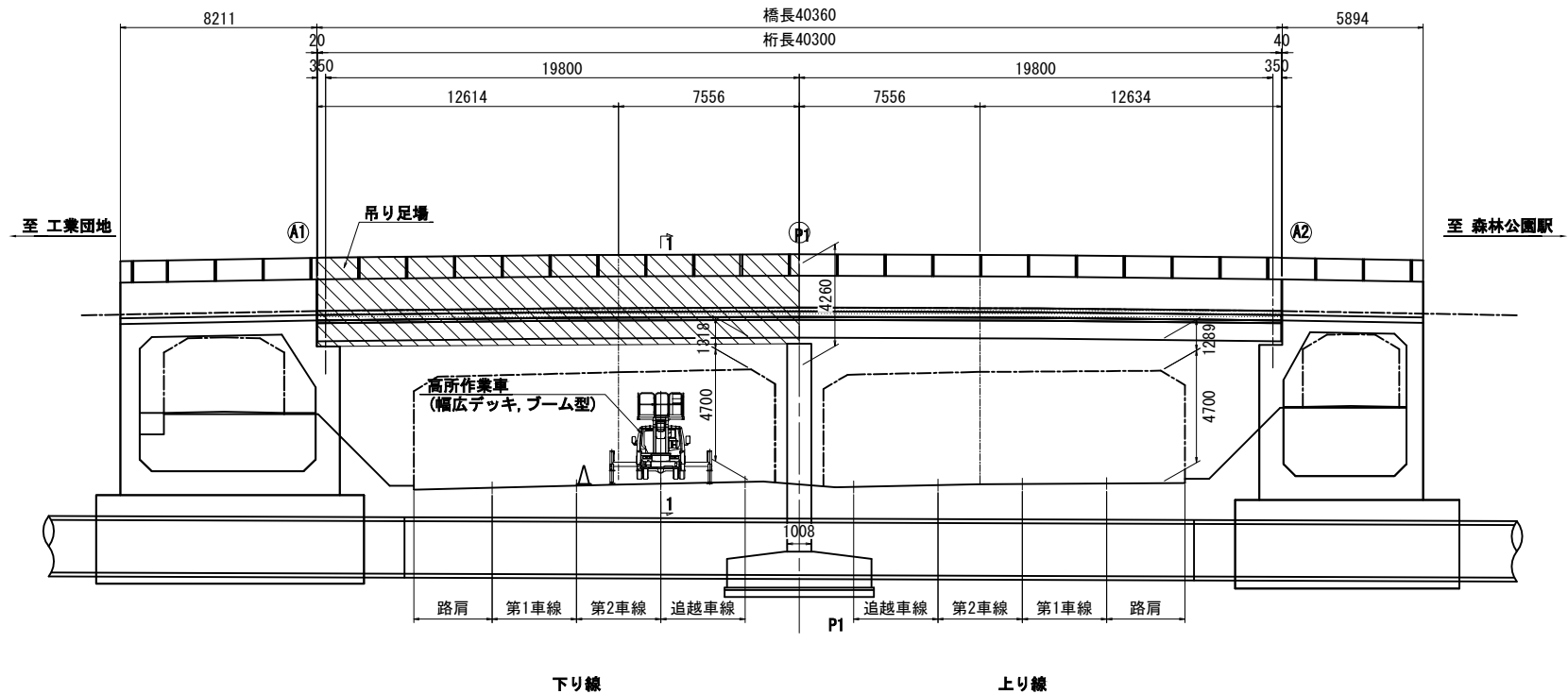
- 凡例
- 吊り足場 (桁下面から1000mm下がり)
  - 吊り足場 (桁下面から1500mm下がり)
  - 中段足場
  - 朝顔

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 施工計画図（その１）（参考図）		
縮 尺	1/300	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

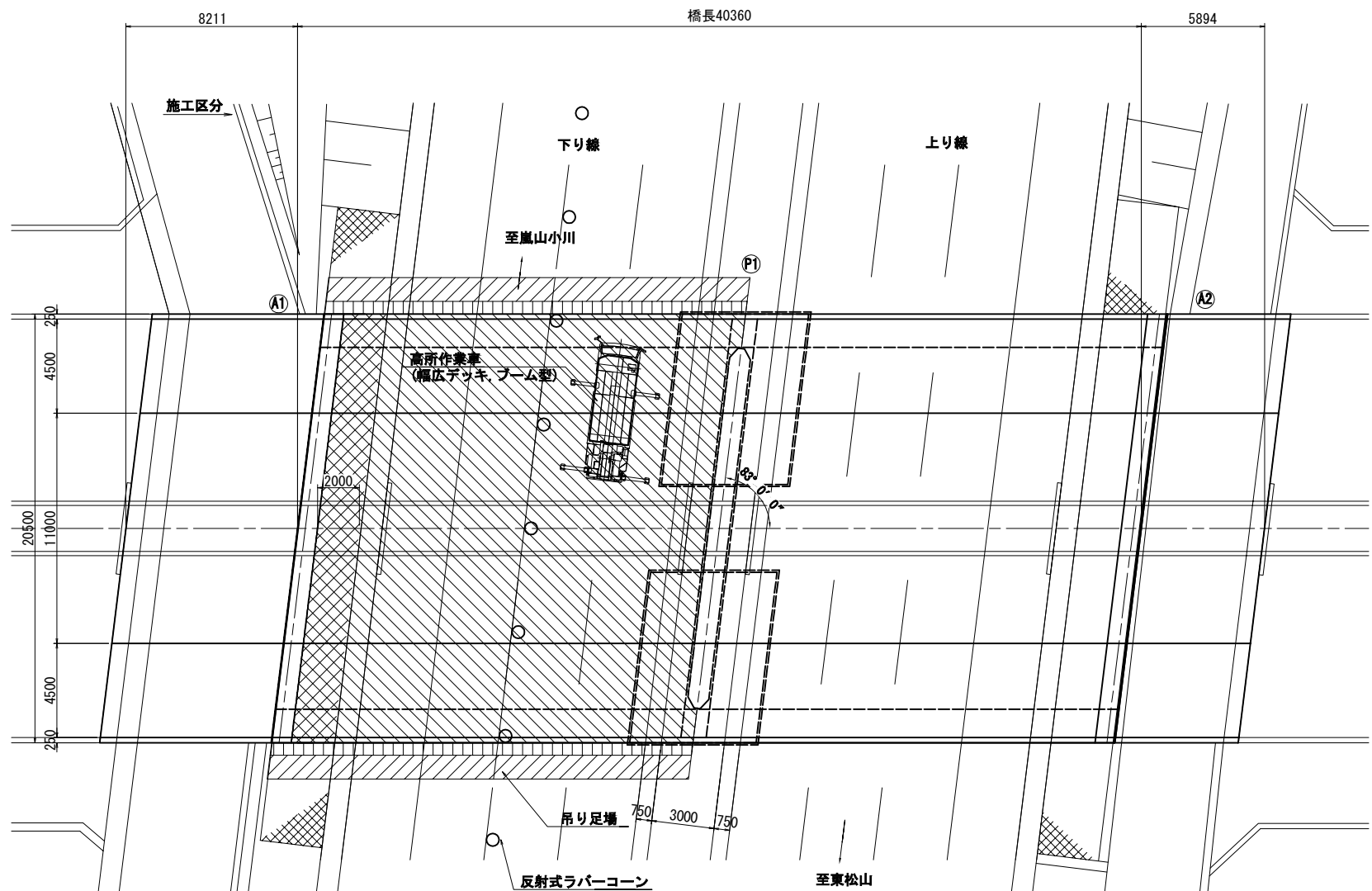


公園駅南通大橋 施工計画図（その2）（参考図）  
吊り足場架設時：下り線側第2車線・追越車線規制 ※撤去時も同様

側面図 S=1/300



平面図 S=1/300



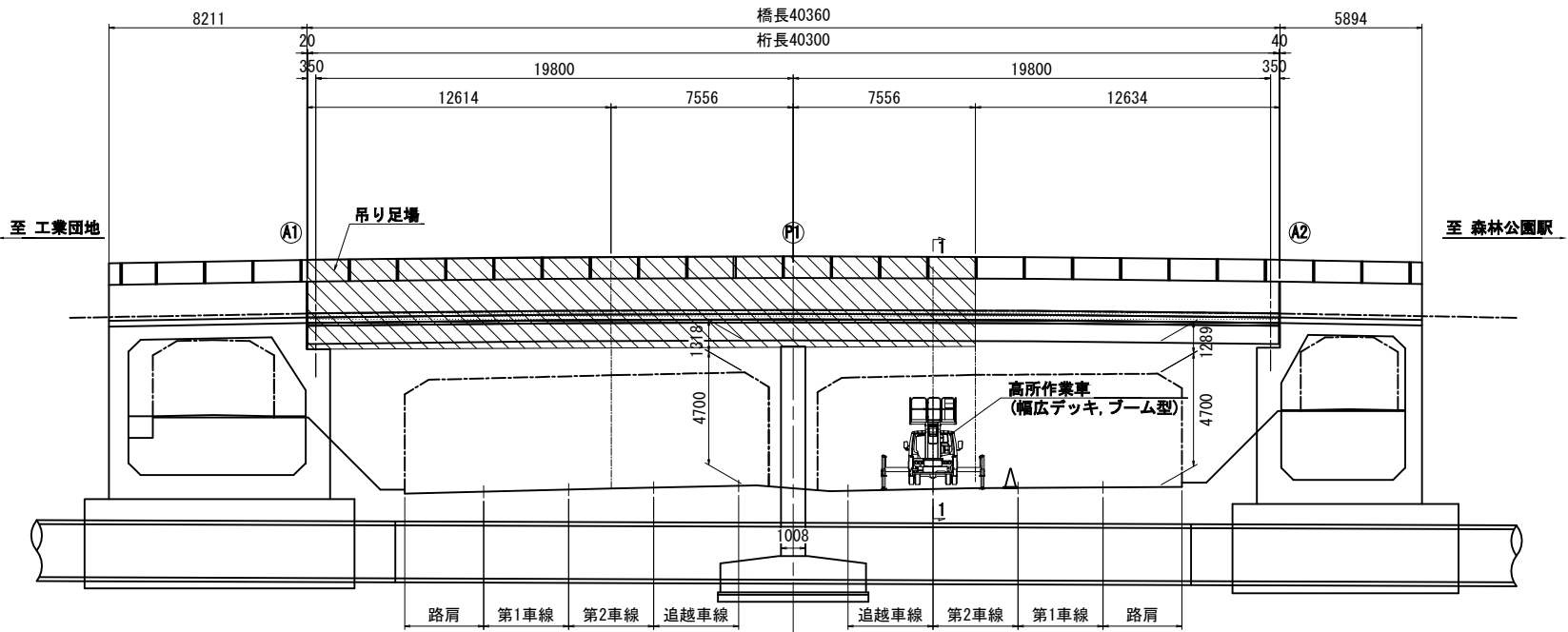
- 凡例
- 吊り足場(桁下面から1000mm下がり)
  - 吊り足場(桁下面から1500mm下がり)
  - 中段足場
  - 朝顔

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 施工計画図（その2）（参考図）		
縮 尺	1/300	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

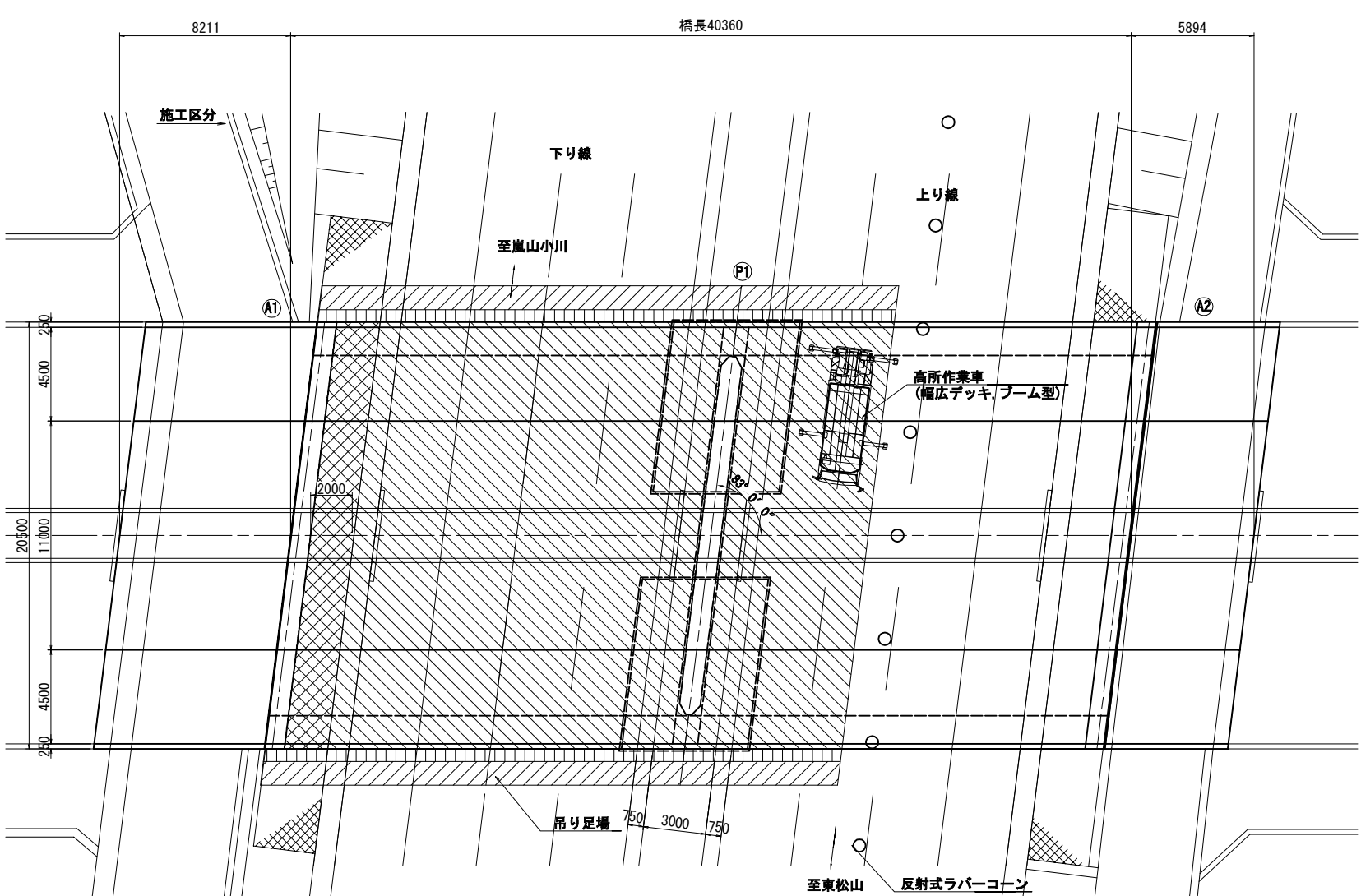
公園駅南通大橋 施工計画図（その3）（参考図）

吊り足場架設時：上り線側第2車線・追越車線規制 ※撤去時も同様

側面図 S=1/300



平面図 S=1/300



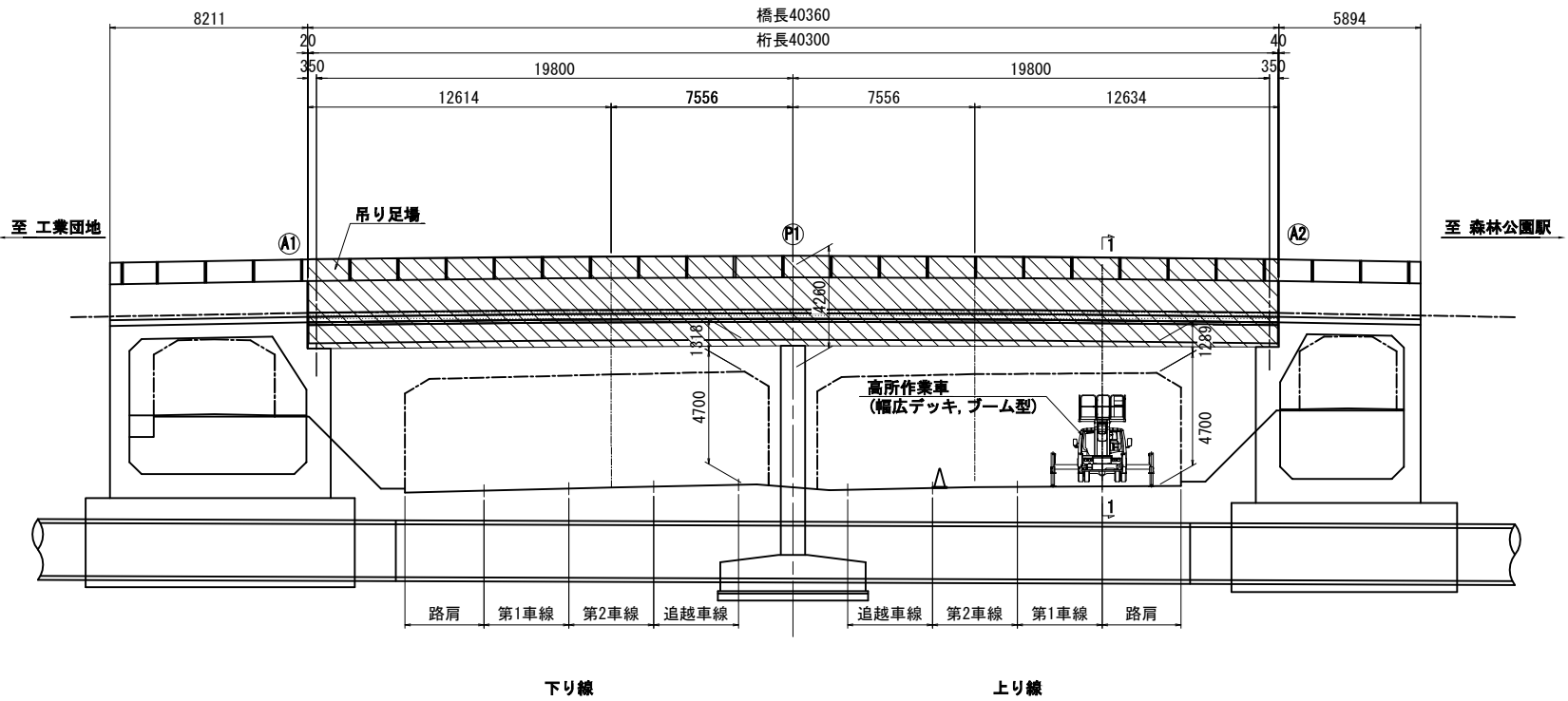
- 凡例
- 吊り足場 (桁下面から1000mm下がり)
  - 吊り足場 (桁下面から1500mm下がり)
  - 中段足場
  - 朝顔

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 施工計画図（その3）（参考図）		
縮 尺	1/300	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		

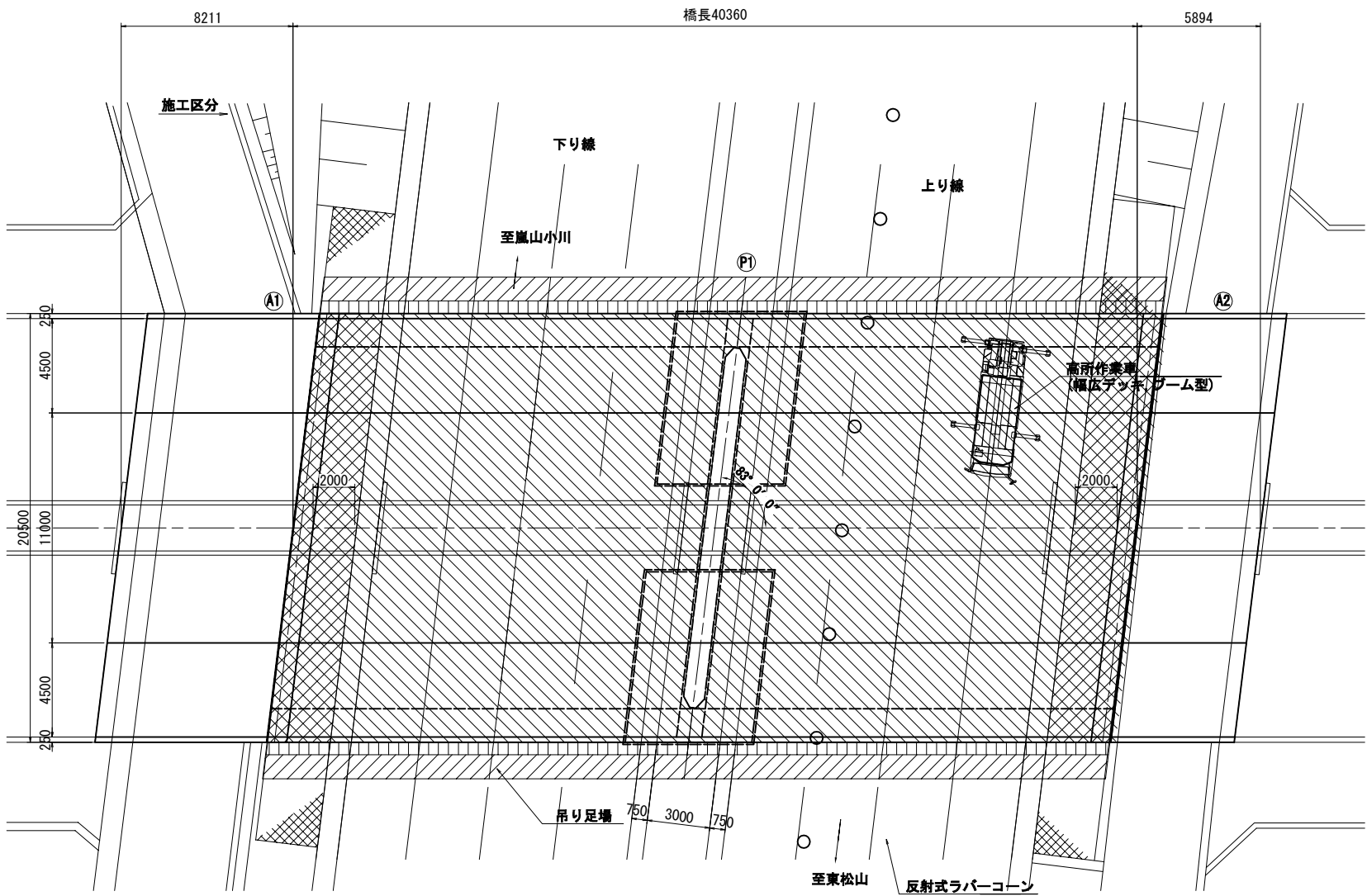
公園駅南通大橋 施工計画図（その4）（参考図）

吊り足場架設時：上り線側第2車線・追越車線規制 ※撤去時も同様

側面図 S=1/300



平面図 S=1/300



- 吊り足場 (桁下面から1000mm下がり)
- 吊り足場 (桁下面から1500mm下がり)
- 中段足場
- 朝顔

関越自動車道 大泉高架橋補修工事			
図面の種類	公園駅南通大橋 施工計画図（その4）（参考図）		
縮 尺	1/300	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所 沢 管 理 事 務 所		